赤十字概論

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年・編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」連携**　**「2」関係**　**「3」探求**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**HBRC100**

○角田　敦彦

▌授業の目的

国際赤十字・赤新月運動の歴史、活動、理念の学びを通して人間として、また人道を実現する医療人に相応しい人間的資質を養う。

▌到達目標

1．国際赤十字・赤新月運動(日本赤十字社を含む)の歴史、理念、活動について理解し、説明できる。
2．赤十字と国際人道法の基本的な内容や赤十字標章の正しい使い方について自分の言葉で説明できる。
3．人道と人権の概念の理解を深め、人間尊重の文化について自分なりの意見を持つことができる。
4．学習した内容を元に他者に赤十字の概要を説明できる。

▌学習の進め方

授業は、講義のほか質疑、意見交換(ディスカッション)を交えて展開する。科目担当者の実務経験から、人道支援に関する具体的な事例を取り上げ、映像等も交えて紹介する。
特に授業参加者は自らの問題意識を高め、積極的な質疑、発言を行うことが期待される。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス：授業の進め方について** **国際赤十字・赤新月運動の起源とアンリ・デュナン** 事前学修：［30 分］国際赤十字運動に関する記事等を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
2	**国際赤十字のしくみと活動** 事前学修：［30 分］国際赤十字に関する資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
3	**日本赤十字社のしくみと活動** 事前学修：［30 分］日本赤十字社の組織・活動に関する資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
4	**赤十字運動の基本原則:人道　公平　中立　独立　奉仕　単一　世界性** 事前学修：［30 分］赤十字運動の基本原則について参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
5	**戦争の歴史と国際人道法** 事前学修：［30 分］国際人道法に関する参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
6	**現代の武力紛争と赤十字及び国際人道法** 事前学修：［30 分］現代の武力紛争の特徴について資料を検索し、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
7	**赤十字標章の意味と適正な使用** 事前学修：［30 分］赤十字標章について参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
8	**国際社会における赤十字の役割** 事前学修：［30 分］現代の人道危機に関する報道記事などを検索し、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田

▌教科書
授業の中で、適宜資料を提示する。

▌参考書、参考資料等
デュナン，H（1959）. ソルフェリーノの思い出．日本赤十字社.
井上忠男(2015). 戦争と国際人道法．東信堂.
枡居孝・森正尚(2014)．新版　世界と日本の赤十字．東信堂.
ピクテ，J（1979/2006)解説　赤十字基本原則．東信堂
その他、日本赤十字社、ICRC の刊行物、ウェブサイトなど。

▌フィードバックの仕方
レポートまたは試験のフィードバックは、実施後 7 日目以降 21 日以内に 410 研究室にて、採点後の答案用紙(レポートの場合はコメント付き)の返却により行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りに来ること。

▌他の授業科目との関連
赤十字国際活動論、赤十字国際活動論演習は、赤十字概論を基礎に、より発展的な内容を取り扱う。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取組み 20 %　　2. 試験または課題レポートの提出 80 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に教室で質問を受け付けます。また、図時、電子メールで質問を受け付けます。

赤十字国際活動論

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」連携**　**「2」国際貢献**　**「3」探求**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**HBRC300**

○角田　敦彦

▌授業の目的

グローバル化が進む現代の国際社会が抱える多様な問題を理解するとともに、これらの解決に取り組む赤十字や国際機関、その他 NGO 等の活動の現状と課題について、赤十字の国際活動の歴史とその特色などを中心に考察し理解を深めることを目的とする。

▌到達目標

1．地球規模の諸問題、特に戦争、自然災害、健康に関する諸問題の概要を理解し、説明できる。
2．1の諸問題の犠牲者救済のため赤十字がどのように活動してきたのか理解し、説明することができる。
3．人道支援の現場が抱える問題について、自分なりの意見を持ち説明できる。

▌学習の進め方

授業は、講義のほか質疑、意見交換(ディスカッション)を交えて展開する。授業は、科目担当者の実務経験から、紛争・災害救援活動の体験や映像を紹介する。また、日本赤十字社等の職員を招き、人道支援の政策決定や直近の人道支援の実際についての講話等も行う予定である。授業参加者は世界が抱える問題に関心を持ち、自らの問題意識を深め、授業においても積極的に発言参加することが期待される。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス：授業の進め方について** **赤十字の人道支援とは：救援と開発** 事前学修：[30 分] 最近の人道危機や赤十字の国際活動について一般的な情報を検索しノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
2	**頻発する人道危機と人道支援機関** 事前学修：[30 分] ニュースなどで関心のある人道危機について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
3	**赤十字の国際活動：政策決定と課題** 事前学修：[30 分] 赤十字や国際機関の政策決定プロセスについて検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田・外部講師
4	**赤十字と人道思想の系譜：歴史的概観** 事前学修：[30 分] 紛争、災害時の赤十字活動について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[20 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
5	**トルコ軍艦遭難～日清戦争時の赤十字の活動** 事前学修：[30 分] トルコ軍艦の遭難、日清戦争の概要について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
6	**ポーランド孤児救済～日露戦争時の赤十字の活動** 事前学修：[30 分] ポーランド孤児、日露戦争の概要について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
7	**二つの大戦時の赤十字の活動** 事前学修：[30 分] 第一次世界大戦、第二次世界大戦の概要について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田

No	内容	形式	教員
8	**第二次世界大戦後の国際社会：国際人道法と赤十字の基本原則** 事前学修：［30 分］国際人道法と赤十字の基本原則について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
9	**冷戦後の紛争と国際問題** 事前学修：［30 分］冷戦後の様々な紛争について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
10	**国際赤十字・赤新月運動の実際** 事前学修：［30 分］アジア太平洋地域の紛争や自然災害について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
11	**国際救援と開発協力の実際：フィールド経験者から聞く** 事前学修：［30 分］救援、開発の概要について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田・外部講師
12	**その他人道上の諸問題と赤十字の活動** 事前学修：［30 分］人道危機における「弱者」について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
13	**核兵器と赤十字** 事前学修：［30 分］核兵器の特徴と人道的な問題について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
14	**人道支援に関する様々な行動規範** 事前学修：［30 分］人道支援に関連するルールについて調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
15	**グローバル社会の諸課題** 事前学修：［30 分］世界で注目を集めている紛争、災害について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田

▌教科書
適宜、資料を提示する。

▌参考書、参考資料等
井上忠男(2015). 戦争と国際人道法. 東信堂.
黒沢文貴・河合利修(2009). 日本赤十字社と人道援助. 東京大学出版会
枡居孝・森正尚(2014). 新版　世界と日本の赤十字―世界最大の人道支援機関の活動。東信堂.
その他　日本赤十字社ＨＰなど

▌フィードバックの仕方
試験またはレポートのフィードバックは、試験終了後(レポート提出期間後) 7 日目以降 21 日以内に 410 研究室で返却する。

▌他の授業科目との関連
本授業は、赤十字概論ならびに国際活動論を基礎に発展的な内容を取り扱う。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取組み 20 %　　2. 試験または課題レポートの提出状況 80 %

▌オフィスアワー・研究室等
開講期間中の①火曜日　② 12:30～13:00　③ 410 研究室

▌受講上の注意事項
外部講師による講演は、講師の都合により実施コマを変更することがある。

赤十字国際活動論演習

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**3・4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**HBRC301**

○角田　敦彦

▌授業の目的

赤十字の起源、歴史とその広範な世界的な事業を体験するためのイタリア・ソルフェリーノ、スイス・ジュネーブ等への海外研修により、赤十字運動のダイナミズムを体験的に理解し、将来、国内外において人道事業を牽引する人材としての国際的素養を養うことを目指す。

▌到達目標

1. 赤十字の起源、歴史とその広範な世界的な事業を説明できる。
2. アンリ・デュナンの業績を理解し、説明することができる。
3. 主要な国際機関の活動を理解し、説明することができる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開：

赤十字概論、赤十字国際活動論で習得した内容を基礎に赤十字発祥の地を訪ね、体験的に学ぶ演習である。8 月下旬に概ね 8 泊 9 日の日程でソルフェリーノ（北イタリア）、ジュネーブ（スイス）を中心とする赤十字ゆかりの地において赤十字機関のほか WHO や UNHCR など（予定）の研修を実施する。本研修には教員が同行する。

2. 参考資料の提示：

事前に関連する資料等を提示するので熟読し、実りある演習となるよう事前準備を行う。

3. 求められる姿勢：

学生各自の主体的な参加による研修とするために本演習期間中は担当役割を担い、互いに研修成果を上げるためにチームスピリットを持って行動することが期待される。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. オリエンテーション
2. 実施時期は、8 月 23 日（土）～8 月 30 日（日）の 9 日間の予定である。
3. 学習内容：研修での訪問先は、赤十字思想誕生の地であるイタリア・ソルフェリーノの古戦場跡、赤十字国際博物館（カスティリオーネ）、ミラノ、ジュネーブ（赤十字の創始者アンリ・デュナン生家、赤十字国際委員会、国際赤十 字・赤新月社連盟、赤十字国際博物館、WHO、UNHCR、ジュネーブ大学博物館その他）、ローザンヌ（本学提携校 訪問、その他）などを予定。現地での移動は公共交通機関やバスを予定。

No	内容	形式	教員

▌教科書

なし

▌参考書、参考資料等

事前学習において、適宜赤十字の誕生・歴史に関する書籍を提示する。

▌フィードバックの仕方

演習中、各日の終わりにミーティングを実施し、プログラムの振り返りを行い、教員から適宜フィードバックを行う。

▌他の授業科目との関連

1 年次前期の赤十字概論の内容を基礎に実施する。本演習の参加者は赤十字国際活動論の受講が必須となる。

▌成績評価の仕方

1. 研修への取り組み 50 %　2. 報告書（レポート）提出 50 %

▌オフィスアワー・研究室等

月曜 12：30～13：00　　角田（410 研究室）

▌受講上の注意事項

履修資格：「赤十字国際活動論」（2 単位・選択）の単位を修得した者あるいは修得見込みの者

哲学と倫理

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年・編入 4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」擁護**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBHU400**

〇榊原　哲也

▌授業の目的

看護師になるための学びの最終年度にあたり、「看護」がどのような人間の営みであるのかを、哲学と倫理の思想を手がかりにして見つめ直す。近年、看護研究や看護実践において注目されている「現象学」という哲学について学び、看護の営みとその倫理について考える。

▌到達目標

1．看護の営みを考えるための哲学と倫理の思想について、その基本的な論点を説明できる。
2．現象学的看護理論および「ケアの倫理」について、その基本的な論点を説明できる。
3．患者を全人的に理解し尊重する「看護」について、自ら考える基礎的能力を身につける。

▌学習の進め方

・授業は対面講義またはオンライン双方向型講義で行い、どちらの場合も適宜、学生同士でディスカッションできる時間を可能な限り設ける。
・毎回、授業終了後に、授業に関する感想や質問をリアクションペーパーまたはメールで提出してもらうことで、授業内容の振り返りができるようにし、次回の授業では感想を紹介したり、質問に回答したりすることで、学生同士が学びを深められるようにする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**イントロダクション：看護のための哲学と倫理――「どのような看護師になりたいのか」「そのためには何が必要か」** 事前学修：講義概要およびテキストに目を通しておく 事後学修：授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義とディスカッション	榊原
2	**「疾患」と「病い」：人はどのように病気を経験するのか** 事前学修：前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
3	**医学はどのように人間を見るのか** 事前学修：前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
4	**医学の見方では見えないもの：自然科学的思考の問題点** 事前学修：［30 分］前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義とディスカッション	榊原
5	**患者の「病い」体験を理解するために：現象学という哲学の導入** 事前学修：［30 分］前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
6	**フッサールの現象学：人は意味の世界に生きている** 事前学修：［30 分］前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
7	**ハイデガーの現象学：人間の本質はケアすることにある** 事前学修：［30 分］前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
8	**ハイデガーの現象学：この世に生まれ、生き、そして死ぬということ** 事前学修：［30 分］前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
9	**メルロ＝ポンティの現象学：普段の生活において私たちの身体はどのような働きをしているのか** 事前学修：［30 分］前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
10	**ベナーの現象学的人間観：身体化した知性** 事前学修：［30 分］前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義とディスカッション	榊原

No	内容	形式	教員
11	**ベナーの現象学的人間観：背景的意味** 事前学修：［30 分］前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義とディスカッション	榊原
12	**ベナーの現象学的人間観：気遣い・関心** 事前学修：［30 分］前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義とディスカッション	榊原
13	**ベナーの現象学的人間観：状況／時間性** 事前学修：［30 分］前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義とディスカッション	榊原
14	**ベナーの現象学的看護理論：well-being を目指す** 事前学修：［30 分］前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義とディスカッション	榊原
15	**まとめ：看護ケアのための哲学と倫理** 事前学修：［30 分］前回の授業内容を振り返り、資料とノートを読み返して要点をまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／振り返り／ディスカッション	榊原

▌教科書

榊原哲也 (2018). 医療ケアを問いなおす一患者をトータルにみることの現象学. ちくま新書.

▌参考書、参考資料等

西村ユミ・榊原哲也編著 (2017). ケアの実践とは何か：現象学からの質的研究アプローチ. ナカニシヤ出版.
Benner, P. & Wrubel, J,(1989) ／難波卓志訳 (1999). 現象学的人間論と看護. 医学書院.
その他は授業中に指示する。

▌フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、ガイダンス期間に成績通知表を配布する際に、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

2 年次開講の「生命倫理」と密接な関係にあり、「生命倫理」が看護ケアにおいてどのように位置づけられるのかが、本講義で明らかになります

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 30 %　2. 期末レポート 70 %。

▌オフィスアワー・研究室等

対面授業の場合は授業終了後に対面で、オンライン双方向型授業の場合は終了後に Zoom またはメールで、質問を受け付けます。

▌受講上の注意事項

履修前に必要な予備知識は特にありませんが、2 回目以降の授業では、教科書をよく読むとともに、前回の授業内容をよく復習して臨んでください。

生命倫理

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」擁護**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHU350**

〇榊原　哲也

▌授業の目的

医療技術の進歩に伴い、現代の医療現場はさまざまな生命倫理上の諸問題に直面しているが、本講義では、生命倫理をその歴史的・思想的背景から学び、生殖補助医療、人工妊娠中絶、臓器移植という３つの問題にテーマを絞り、具体的に考察を深める

▌到達目標

１. 生命倫理の歴史的・思想的背景について説明できる。
２. 生殖補助医療、人工妊娠中絶、臓器移植というテーマについて、現状がどうであり、そこにどのような生命倫理上の問題があるのかを説明することができる。
３. 生命倫理上の諸問題に対して、看護がどうあるべきかを学生が自ら考える基礎的能力を身につける

▌学習の進め方

１．授業の展開：　対面またはオンライン双方向型で、主として講義形式で授業は進められるが、テーマごとに、学生同士でディスカッションしたり意見交換ができる時間を授業時間内に設ける。また毎回、リアクションペーパーまたは Glexa を通じて、学生が感想や質問を記入して提出することで、学習内容を振り返ることができるようにし、さらに次回の授業では質問に回答して学生が学びを深められるようにするとともに、主な感想を紹介することによって、学生相互の学びができるように配慮する。
２．参考資料の提示：　授業中に配布される資料や、指示される参考文献、インターネット情報を通じて、事前や事後に学生が自主的に学習を進められるようにする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**生命倫理とは何か――その歴史的・思想的背景** 事前学修：［30 分］シラバスをよく読んで授業に臨む 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
2	**生殖補助医療をめぐる諸問題――人工授精と体外受精** 事前学修：［30 分］配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
3	**生殖補助医療をめぐる諸問題――代理出産** 事前学修：［30 分］配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	榊原
4	**人工妊娠中絶をめぐる諸問題** 事前学修：［30 分］配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
5	**出生前診断をめぐる諸問題** 事前学修：［30 分］配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	榊原
6	**脳死と臓器移植をめぐる諸問題――歴史的経緯** 事前学修：［30 分］配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
7	**脳死と臓器移植をめぐる諸問題――臓器移植法の改正をめぐって** 事前学修：［30 分］配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	榊原
8	**まとめ――ケアの倫理と正義の倫理** 事前学修：［30 分］指示された参考文献を読んで、要点をノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	榊原

▌教科書
特に用いない。そのつど、資料を配布する。

▌参考書、参考資料等
赤林朗編 (2017). 入門・医療倫理Ⅰ〔改訂版〕. 勁草書房.
その他は、授業中に指示する。

▌フィードバックの仕方
筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

▌他の授業科目との関連
この授業の学習内容のうち、「生殖補助医療をめぐる諸問題」と「人工妊娠中絶をめぐる諸問題」は、「発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)」と関係している。また「出生前診断をめぐる諸問題」は、「遺伝と遺伝カウンセリング」と関係している。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み　25 %　　2. 期末の筆記試験　75 %　（オンライン双方向型授業の場合は変更の可能性あり。その場合は事前に告知する。）

▌オフィスアワー・研究室等
対面授業の場合、授業終了後に教室またはラウンジで質問を受け付ける。オンライン双方向型授業の場合は、Glexa を通じて質問を受け付ける。

▌受講上の注意事項
自ら積極的に考える主体的な学習態度を望みます。

生命倫理

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」擁護**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHU350**

〇榊原　哲也

▌授業の目的

医療技術の進歩に伴い、現代の医療現場はさまざまな生命倫理上の諸問題に直面しているが、本講義では、生命倫理をその歴史的・思想的背景から学び、生殖補助医療、人工妊娠中絶、臓器移植という３つの問題にテーマを絞り、具体的に考察を深める

▌到達目標

１. 生命倫理の歴史的・思想的背景について説明できる。
２. 生殖補助医療、人工妊娠中絶、臓器移植というテーマについて、現状がどうであり、そこにどのような生命倫理上の問題があるのかを説明することができる。
３. 生命倫理上の諸問題に対して、看護がどうあるべきかを学生が自ら考える基礎的能力を身につける

▌学習の進め方

１．授業の展開：　対面またはオンライン双方向型で、主として講義形式で授業は進められるが、テーマごとに、学生同士でディスカッションしたり意見交換ができる時間を授業時間内に設ける。また毎回、リアクションペーパーまたは Glexa を通じて、学生が感想や質問を記入して提出することで、学習内容を振り返ることができるようにし、さらに次回の授業では質問に回答して学生が学びを深められるようにするとともに、主な感想を紹介することによって、学生相互の学びができるように配慮する。
２．参考資料の提示：　授業中に配布される資料や、指示される参考文献、インターネット情報を通じて、事前や事後に学生が自主的に学習を進められるようにする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**生命倫理とは何か――その歴史的・思想的背景** 事前学修：［30 分］シラバスをよく読んで授業に臨む 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
2	**生殖補助医療をめぐる諸問題――人工授精と体外受精** 事前学修：［30 分］配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
3	**生殖補助医療をめぐる諸問題――代理出産** 事前学修：［30 分］配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	榊原
4	**人工妊娠中絶をめぐる諸問題** 事前学修：［30 分］配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
5	**出生前診断をめぐる諸問題** 事前学修：［30 分］配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	榊原
6	**脳死と臓器移植をめぐる諸問題――歴史的経緯** 事前学修：［30 分］配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義	榊原
7	**脳死と臓器移植をめぐる諸問題――臓器移植法の改正をめぐって** 事前学修：［30 分］配布資料を読み、テーマについてインターネット等で情報を集め、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	榊原
8	**まとめ――ケアの倫理と正義の倫理** 事前学修：［30 分］指示された参考文献を読んで、要点をノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、資料とノートを読み直して、要点をまとめる。	講義／ディスカッション	榊原

▌教科書
特に用いない。そのつど、資料を配布する。

▌参考書、参考資料等
赤林朗編 (2017). 入門・医療倫理Ⅰ〔改訂版〕. 勁草書房.
その他は、授業中に指示する。

▌フィードバックの仕方
筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

▌他の授業科目との関連
この授業の学習内容のうち、「生殖補助医療をめぐる諸問題」と「人工妊娠中絶をめぐる諸問題」は、「発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)」と関係している。また「出生前診断をめぐる諸問題」は、「遺伝と遺伝カウンセリング」と関係している。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み　25 %　　2. 期末の筆記試験　75 %　（オンライン双方向型授業の場合は変更の可能性あり。その場合は事前に告知する。）

▌オフィスアワー・研究室等
対面授業の場合、授業終了後に教室またはラウンジで質問を受け付ける。オンライン双方向型授業の場合は、Glexa を通じて質問を受け付ける。

▌受講上の注意事項
自ら積極的に考える主体的な学習態度を望みます。

心理学Ⅰ

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHU100**

〇遠藤　公久

▌授業の目的

本講義では、人間の認知、感情、行動の諸特徴の基本的な心のしくみについて、ライフサイクルという時間と心の発達のあり方について、そして社会とのかかわりについて、心理学の基本的知識を理解し、心理臨床あるいは看護・介護にどのようにつながるかについても考察する。

▌到達目標

1. 人の心のしくみについて理解する。
2. 人の心の発達について理解する。
3. 人の心と社会とのかかわりについて理解する。

▌学習の進め方

1. 各単元ごとに、具体例を挙げながらわかりやすく講義形式によって説明する。基本的に毎回視聴覚教材を用いる。
2. 毎回授業の課題と感想（あれば不明な点）について記述を求め、質問には次の講義冒頭に説明する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション：心を科学するとは** 事前学修：［10 分］シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：［10 分］配布資料に目を通しておく	講義	遠藤
2	**心のしくみ１：感覚と知覚（錯覚はなぜ起こるのか）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
3	**心のしくみ２：記憶と忘却（どのように覚え、忘れるのか、効率的な覚え方とは）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
4	**心のしくみ３：学習１（人が縁起をかつぐのはなぜか）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
5	**心のしくみ４：学習２（人はなぜ攻撃するのか）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
6	**心のしくみ５：感情と動機（感情はなぜ生れるか？　意欲を高めるにはどうすればよいか）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
7	**心の発達１：心が発達するとは？** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
8	**心の発達２：乳児期（赤ちゃんの能力はすごい！）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
9	**心の発達３：幼児・児童期（子どもの世界観ってどうなっているの？）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
10	**心の発達４：青年期（アイデンティティに悩む若者、悩まない若者）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
11	**心の発達５：中年期・老年期（中年期の危機って？　老いても発達するとは？）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤

No	内容	形式	教員
12	**心と社会１：対人関係の心理（人の印象はどう作られるのか、魅力的な人とは？）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
13	**心と社会２：対人関係の心理２（愛すること、信じること、でもときに危険な思い込みも）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
14	**心と社会３：集団心理（集団でいるときの心理の光と影）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
15	**心と社会４：災害心理学（災害時の「こころのケア」とは）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤

▌教科書

遠藤公久編著 (2019). 看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する. 弘文堂.

▌参考書、参考資料等

授業中に適宜紹介する。

▌フィードバックの仕方

レポートの結果については、後期授業前にいつでも返却可能です。返却希望者は研究室まで来てください。

▌他の授業科目との関連

他の授業科目との直接的な関連はない

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み（10 %）2. 課題（30 %）3. レポート（60 %）で総合的に判断する。

▌オフィスアワー・研究室等

木曜日 12:30 － 13:00　遠藤（404 研究室）　メール：k-endo@redcross.ac.jp

心理学Ⅰ

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHU100**

〇遠藤　公久

▌授業の目的

本講義では、人間の認知、感情、行動の諸特徴の基本的な心のしくみについて、ライフサイクルという時間と心の発達のあり方について、そして社会とのかかわりについて、心理学の基本的知識を理解し、心理臨床あるいは看護・介護にどのようにつながるかについても考察する。

▌到達目標

1. 人の心のしくみについて理解する。
2. 人の心の発達について理解する。
3. 人の心と社会とのかかわりについて理解する。

▌学習の進め方

1. 各単元ごとに、具体例を挙げながらわかりやすく講義形式によって説明する。基本的に毎回視聴覚教材を用いる。
2. 毎回授業の課題と感想（あれば不明な点）について記述を求め、質問には次の講義冒頭に説明する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション：心を科学するとは** 事前学修：［10 分］シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：［10 分］配布資料に目を通しておく	講義	遠藤
2	**心のしくみ１：感覚と知覚（錯覚はなぜ起こるのか）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
3	**心のしくみ２：記憶と忘却（どのように覚え、忘れるのか、効率的な覚え方とは）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
4	**心のしくみ３：学習１（人が縁起をかつぐのはなぜか）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
5	**心のしくみ４：学習２（人はなぜ攻撃するのか）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
6	**心のしくみ５：感情と動機（感情はなぜ生れるか？　意欲を高めるにはどうすればよいか）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
7	**心の発達１：心が発達するとは？** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
8	**心の発達２：乳児期（赤ちゃんの能力はすごい！）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
9	**心の発達３：幼児・児童期（子どもの世界観ってどうなっているの？）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
10	**心の発達４：青年期（アイデンティティに悩む若者、悩まない若者）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
11	**心の発達５：中年期・老年期（中年期の危機って？　老いても発達するとは？）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤

No	内容	形式	教員
12	**心と社会１：対人関係の心理（人の印象はどう作られるのか、魅力的な人とは？）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
13	**心と社会２：対人関係の心理２（愛すること、信じること、でもときに危険な思い込みも）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
14	**心と社会３：集団心理（集団でいるときの心理の光と影）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
15	**心と社会４：災害心理学（災害時の「こころのケア」とは）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤

▌教科書

遠藤公久編著 (2019). 看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する. 弘文堂.

▌参考書、参考資料等

授業中に適宜紹介する。

▌フィードバックの仕方

レポートの結果については、後期授業前にいつでも返却可能です。返却希望者は研究室まで来てください。

▌他の授業科目との関連

他の授業科目との直接的な関連はない

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み（10 %）2. 課題（30 %）3. レポート（60 %）で総合的に判断する。

▌オフィスアワー・研究室等

木曜日 12:30 － 13:00　遠藤（404 研究室）　メール：k-endo@redcross.ac.jp

心理学Ⅰ

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHU100**

〇遠藤　公久

▌授業の目的

本講義では、人間の認知、感情、行動の諸特徴の基本的な心のしくみについて、ライフサイクルという時間と心の発達のあり方について、そして社会とのかかわりについて、心理学の基本的知識を理解し、心理臨床あるいは看護・介護にどのようにつながるかについても考察する。

▌到達目標

1. 人の心のしくみについて理解する。
2. 人の心の発達について理解する。
3. 人の心と社会とのかかわりについて理解する。

▌学習の進め方

1. 各単元ごとに、具体例を挙げながらわかりやすく講義形式によって説明する。基本的に毎回視聴覚教材を用いる。
2. 毎回授業の課題と感想（あれば不明な点）について記述を求め、質問には次の講義冒頭に説明する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション：心を科学するとは** 事前学修：［10 分］シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：［10 分］配布資料に目を通しておく	講義	遠藤
2	**心のしくみ１：感覚と知覚（錯覚はなぜ起こるのか）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
3	**心のしくみ２：記憶と忘却（どのように覚え、忘れるのか、効率的な覚え方とは）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
4	**心のしくみ３：学習１（人が縁起をかつぐのはなぜか）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
5	**心のしくみ４：学習２（人はなぜ攻撃するのか）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
6	**心のしくみ５：感情と動機（感情はなぜ生れるか？　意欲を高めるにはどうすればよいか）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
7	**心の発達１：心が発達するとは？** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
8	**心の発達２：乳児期（赤ちゃんの能力はすごい！）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
9	**心の発達３：幼児・児童期（子どもの世界観ってどうなっているの？）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
10	**心の発達４：青年期（アイデンティティに悩む若者、悩まない若者）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
11	**心の発達５：中年期・老年期（中年期の危機って？　老いても発達するとは？）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤

No	内容	形式	教員
12	**心と社会１：対人関係の心理（人の印象はどう作られるのか、魅力的な人とは？）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
13	**心と社会２：対人関係の心理２（愛すること、信じること、でもときに危険な思い込みも）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
14	**心と社会３：集団心理（集団でいるときの心理の光と影）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
15	**心と社会４：災害心理学（災害時の「こころのケア」とは）** 事前学修：［15 分］教科書に目を通しておく 事後学修：［15 分］授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤

▌教科書

遠藤公久編著 (2019). 看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する. 弘文堂.

▌参考書、参考資料等

授業中に適宜紹介する。

▌フィードバックの仕方

レポートの結果については、後期授業前にいつでも返却可能です。返却希望者は研究室まで来てください。

▌他の授業科目との関連

他の授業科目との直接的な関連はない

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み（10 %）2. 課題（30 %）3. レポート（60 %）で総合的に判断する。

▌オフィスアワー・研究室等

木曜日 12:30 － 13:00　遠藤（404 研究室）　メール：k-endo@redcross.ac.jp

心理学Ⅱ

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHU250**

〇遠藤　公久

▌授業の目的

本授業では、自己について学び、適応との関連について理解する。また、心の健康を理解するうえで重要な個人差の側面(性格や知能)そしてストレスの心理学について理解する。さらに、医療心理学の側面から、カウンセリングの基礎と医療コミュニケーションの基礎について学ぶ。

▌到達目標

1. 自己の認知的、情緒的側面、そして行動的側面について説明できる。
2. 人格や知能と心の健康について理解し、ストレスと適応行動との関連について説明できる。
3. 医療場面における心理的支援として、コミュニケーションやカウンセリングの基本的考えについて理解し説明できる。

▌学習の進め方

基本的に講義形式と課題への取り組みから構成される。授業と関連する課題に取り組むことで、授業理解を深めると共に、自己理解につなげる。また、その課題をもとに、レポートにまとめる。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Ⅰ-1　自己の心理学１：自己概念と適応** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
2	**Ⅰ-2　自己の心理学２：自己意識と適応(抑うつと自己注目)** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
3	**Ⅰ-3　自己の心理学３：自己評価と自尊感情** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
4	**Ⅰ-4　自己の心理学４：社交不安と自己呈示** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
5	**Ⅰ-5　自己の心理学５：心身の健康(トラウマ)と自己開示** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
6	**Ⅱ-1　心の健康の心理学１：性格とは何か** **(YG 性格検査と Big Five Inventory)** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
7	**Ⅱ-2　心の健康の心理学２：性格のアセスメント** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
8	**Ⅱ-3　心の健康の心理学３：性格の形成とその人らしさと** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
9	**Ⅱ-4　心の健康の心理学４：ストレスと心の健康** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
10	**Ⅱ-5　心の健康の心理学５：心の回復力(レジリエンスについて)** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
11	**Ⅲ-1　医療場面の心理学１：医療コミュニケーションの概要** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤

No	内容	形式	教員
12	**Ⅲ-2　医療場面の心理学２：医療コミュニケーションの基礎１（コミュニケーションとは何か）** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
13	**Ⅲ-3　医療場面の心理学３：医療コミュニケーションの基礎２（傾聴と敬聴ーカウンセリングの基本的考えと技法１）** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
14	**Ⅲ-4　医療場面の心理学４：医療コミュニケーションの基礎３（傾聴と敬聴ーカウンセリングの基本的考えと技法２）** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
15	**Ⅲ-5　医療場面の心理学５：医療コミュニケーションの基礎４（アサーションの上手な使い方）** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］15 回全体を見直し、レポートに備える	講義・討論	遠藤

▌教科書
適宜配布する。

▌参考書、参考資料等
遠藤公久 (2019). 看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する. 弘文堂.

▌フィードバックの仕方
レポート結果は、3 月中にいつでも返却しますので、希望者は研究室まで来てください。

▌他の授業科目との関連
この授業履修希望者は、心理学Ⅰを履修していることが望ましい。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み（10 %）2. 毎回のコメント（30 %）3. レポート（60 %）によって行なう。

▌オフィスアワー・研究室等
木曜日 12：30〜13：00　遠藤公久（404 研究室）　メール：k-endo@redcross.ac.jp

心理学Ⅱ

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHU250**

〇遠藤　公久

▌授業の目的

本授業では、自己について学び、適応との関連について理解する。また、心の健康を理解するうえで重要な個人差の側面(性格や知能)そしてストレスの心理学について理解する。さらに、医療心理学の側面から、カウンセリングの基礎と医療コミュニケーションの基礎について学ぶ。

▌到達目標

1. 自己の認知的、情緒的側面、そして行動的側面について説明できる。
2. 人格や知能と心の健康について理解し、ストレスと適応行動との関連について説明できる。
3. 医療場面における心理的支援として、コミュニケーションやカウンセリングの基本的考えについて理解し説明できる。

▌学習の進め方

基本的に講義形式と課題への取り組みから構成される。授業と関連する課題に取り組むことで、授業理解を深めると共に、自己理解につなげる。また、その課題をもとに、レポートにまとめる。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Ⅰ-1　自己の心理学１：自己概念と適応** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
2	**Ⅰ-2　自己の心理学２：自己意識と適応(抑うつと自己注目)** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
3	**Ⅰ-3　自己の心理学３：自己評価と自尊感情** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
4	**Ⅰ-4　自己の心理学４：社交不安と自己呈示** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
5	**Ⅰ-5　自己の心理学５：心身の健康(トラウマ)と自己開示** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
6	**Ⅱ-1　心の健康の心理学１：性格とは何か** **(YG 性格検査と Big Five Inventory)** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
7	**Ⅱ-2　心の健康の心理学２：性格のアセスメント** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
8	**Ⅱ-3　心の健康の心理学３：性格の形成とその人らしさと** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
9	**Ⅱ-4　心の健康の心理学４：ストレスと心の健康** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
10	**Ⅱ-5　心の健康の心理学５：心の回復力(レジリエンスについて)** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
11	**Ⅲ-1　医療場面の心理学１：医療コミュニケーションの概要** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤

No	内容	形式	教員
12	**Ⅲ-2　医療場面の心理学２：医療コミュニケーションの基礎１（コミュニケーションとは何か）** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
13	**Ⅲ-3　医療場面の心理学３：医療コミュニケーションの基礎２（傾聴と敬聴ーカウンセリングの基本的考えと技法１）** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
14	**Ⅲ-4　医療場面の心理学４：医療コミュニケーションの基礎３（傾聴と敬聴ーカウンセリングの基本的考えと技法２）** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
15	**Ⅲ-5　医療場面の心理学５：医療コミュニケーションの基礎４（アサーションの上手な使い方）** 事前学修：［10 分］配布資料に目を通しておく 事後学修：［10 分］15 回全体を見直し、レポートに備える	講義・討論	遠藤

▌教科書
適宜配布する。

▌参考書、参考資料等
『看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する』（弘文堂）（遠藤公久編著）2019 年

▌フィードバックの仕方
レポート結果は、3 月中にいつでも返却しますので、希望者は研究室まで来てください。

▌他の授業科目との関連
この授業履修希望者は、心理学Ⅰを履修していることが望ましい。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み（10 %）2. 毎回のコメント（30 %）3. レポート（60 %）によって行なう。

▌オフィスアワー・研究室等
木曜日 12：30〜13：00　遠藤公久（404 研究室）　メール：k-endo@redcross.ac.jp

教育学概論

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」成長**　**「3」国際貢献**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHU101**

〇渋谷　真樹

▌授業の目的

この授業では、教育の理念や歴史、方法、制度、課題などの概要を学びます。
教育学を概観することを通して幅広い教養を培い、主体的に課題を発見し解決する力や学び続ける態度、グローバル社会で生きる力を身に付けることを目的とします。

▌到達目標

1　教育に関する思想、歴史、方法、制度の基本的事項について、簡潔に説明できる。
2　教育をめぐる課題について、自ら問いをもち、探究することができる。
3　教育と看護との共通点や相違点について、自分なりの考えを表明できる。

▌学習の進め方

AL　講義・演習
受講生は皆、教育に関する経験や意見をもっていることでしょう。この授業では、それらをもとに、教育に対する問いを立て、講義や討論、小レポートの作成などを通して、その問いに接近していきます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション：看護大学で教育学を学ぶ意義** 事前学修：［30 分］この授業で学びたいこと、身に付けたい力を記す。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
2	**教育とは何か：教育をめぐる問いの設定** 事前学修：［30 分］これまでの教育経験を振り返って、簡潔に記す。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
3	**教育の思想：さまざまな子ども観** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
4	**教育の歴史：学校のはじまりと変遷** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
5	**教育の制度：戦前の制度や外国の制度との比較** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
6	**教育をめぐる法律：教育の権利の保障** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
7	**教育の方法：系統主義と経験主義** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
8	**教育の内容：カリキュラムとは** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
9	**教師の仕事：働き方をめぐって** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
10	**学歴をめぐる競争：選択と選抜** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
11	**教育問題の社会学①不登校** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷

No	内容	形式	教員
12	**教育問題の社会学②いじめ** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
13	**グローバリゼーションと教育：多文化を生きる子どもたち** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
14	**現代の教育的課題** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
15	**ふりかえり・まとめ** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷

▌教科書
教科書は使用しません。
授業中に関連資料を配布します。

▌参考書、参考資料等
木村元・小玉重夫・船橋一男(2019). 教育学をつかむ［改訂版］. 有斐閣.

▌フィードバックの仕方
小レポートには Glexa 上でコメントするとともに、授業に反映させます。
最終レポートも、Glexa 上でフィードバックします。

▌他の授業科目との関連
「現代教育論」や看護教育学系の科目の基礎に位置づく科目です。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み(50%)：小レポート、討論やグループワークなどへの参加状況
最終レポート(50%)
最終的には、受講の状況と成果を総合的に判断して評価しますので、Glexa 上の配点と異なることがあります。

▌オフィスアワー・研究室等
月曜日 5 限終了後 18:30 まで 404 研究室にて

▌受講上の注意事項
状況に応じて、授業の内容や方法を調整する場合があります。

教育学概論

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」成長**　**「3」国際貢献**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHU101**

〇渋谷　真樹

▌授業の目的

この授業では、教育の理念や歴史、方法、制度、課題などの概要を学びます。
教育学を概観することを通して幅広い教養を培い、主体的に課題を発見し解決する力や学び続ける態度、グローバル社会で生きる力を身に付けることを目的とします。

▌到達目標

1　教育に関する思想、歴史、方法、制度の基本的事項について、簡潔に説明できる。
2　教育をめぐる課題について、自ら問いをもち、探究することができる。
3　教育と看護との共通点や相違点について、自分なりの考えを表明できる。

▌学習の進め方

AL　講義・演習
受講生は皆、教育に関する経験や意見をもっていることでしょう。この授業では、それらをもとに、教育に対する問いを立て、講義や討論、小レポートの作成などを通して、その問いに接近していきます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション：看護大学で教育学を学ぶ意義** 事前学修：［30 分］この授業で学びたいこと、身に付けたい力を記す。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
2	**教育とは何か：教育をめぐる問いの設定** 事前学修：［30 分］これまでの教育経験を振り返って、簡潔に記す。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
3	**教育の思想：さまざまな子ども観** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
4	**教育の歴史：学校のはじまりと変遷** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
5	**教育の制度：戦前の制度や外国の制度との比較** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
6	**教育をめぐる法律：教育の権利の保障** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
7	**教育の方法：系統主義と経験主義** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
8	**教育の内容：カリキュラムとは** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
9	**教師の仕事：働き方をめぐって** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
10	**学歴をめぐる競争：選択と選抜** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
11	**教育問題の社会学①不登校** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷

No	内容	形式	教員
12	**教育問題の社会学②いじめ** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
13	**グローバリゼーションと教育：多文化を生きる子どもたち** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
14	**現代の教育的課題** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
15	**ふりかえり・まとめ** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷

▌教科書
教科書は使用しません。
授業中に関連資料を配布します。

▌参考書、参考資料等
木村元・小玉重夫・船橋一男(2019). 教育学をつかむ［改訂版］. 有斐閣.

▌フィードバックの仕方
小レポートには Glexa 上でコメントするとともに、授業に反映させます。
最終レポートも、Glexa 上でフィードバックします。

▌他の授業科目との関連
「現代教育論」や看護教育学系の科目の基礎に位置づく科目です。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み(50%)：小レポート、討論やグループワークなどへの参加状況
最終レポート(50%)
最終的には、受講の状況と成果を総合的に判断して評価しますので、Glexa 上の配点と異なることがあります。

▌オフィスアワー・研究室等
月曜日 5 限終了後 18:30 まで 404 研究室にて

▌受講上の注意事項
状況に応じて、授業の内容や方法を調整する場合があります。

教育学概論

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」成長**　**「3」国際貢献**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHU101**

〇渋谷　真樹

▌授業の目的

この授業では、教育の理念や歴史、方法、制度、課題などの概要を学びます。
教育学を概観することを通して幅広い教養を培い、主体的に課題を発見し解決する力や学び続ける態度、グローバル社会で生きる力を身に付けることを目的とします。

▌到達目標

1　教育に関する思想、歴史、方法、制度の基本的事項について、簡潔に説明できる。
2　教育をめぐる課題について、自ら問いをもち、探究することができる。
3　教育と看護との共通点や相違点について、自分なりの考えを表明できる。

▌学習の進め方

AL　講義・演習
受講生は皆、教育に関する経験や意見をもっていることでしょう。この授業では、それらをもとに、教育に対する問いを立て、講義や討論、小レポートの作成などを通して、その問いに接近していきます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション：看護大学で教育学を学ぶ意義** 事前学修：［30 分］この授業で学びたいこと、身に付けたい力を記す。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
2	**教育とは何か：教育をめぐる問いの設定** 事前学修：［30 分］これまでの教育経験を振り返って、簡潔に記す。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
3	**教育の思想：さまざまな子ども観** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
4	**教育の歴史：学校のはじまりと変遷** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
5	**教育の制度：戦前の制度や外国の制度との比較** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
6	**教育をめぐる法律：教育の権利の保障** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
7	**教育の方法：系統主義と経験主義** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
8	**教育の内容：カリキュラムとは** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
9	**教師の仕事：働き方をめぐって** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
10	**学歴をめぐる競争：選択と選抜** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
11	**教育問題の社会学①不登校** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷

No	内容	形式	教員
12	**教育問題の社会学②いじめ** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
13	**グローバリゼーションと教育：多文化を生きる子どもたち** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
14	**現代の教育的課題** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
15	**ふりかえり・まとめ** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷

▌教科書
教科書は使用しません。
授業中に関連資料を配布します。

▌参考書、参考資料等
木村元・小玉重夫・船橋一男(2019). 教育学をつかむ［改訂版］. 有斐閣.

▌フィードバックの仕方
小レポートには Glexa 上でコメントするとともに、授業に反映させます。
最終レポートも、Glexa 上でフィードバックします。

▌他の授業科目との関連
「現代教育論」や看護教育学系の科目の基礎に位置づく科目です。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み(50%)：小レポート、討論やグループワークなどへの参加状況
最終レポート(50%)
最終的には、受講の状況と成果を総合的に判断して評価しますので、Glexa 上の配点と異なることがあります。

▌オフィスアワー・研究室等
月曜日 5 限終了後 18:30 まで 404 研究室にて

▌受講上の注意事項
状況に応じて、授業の内容や方法を調整する場合があります。

現代教育論

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　**「3」国際貢献**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHU150**

〇渋谷　真樹

▌授業の目的

この授業では、現代社会において教育はどのような課題を抱えているのかを学び、その改善のためにどのような方法があり得るのかを考えます。
教育の現代的な課題を学習することを通して幅広い教養を培い、学び探究し続ける態度や、多様な他者と関係を築く力、グローバル社会に貢献する力を身に付けることを目指します。

▌到達目標

1　現代的な教育課題について、基本的事項を説明できる。
2　現代的な教育課題の解決のために、多様な他者と関係を築く必要性を理解する。
3　現代社会と教育について、自らの問題意識を表明できる。

▌学習の進め方

AL
講義や討論を通して、さまざまな教育の問題に接近していきましょう。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション：教育とはなにか** 事前学修：［30 分］この授業で学びたいこと、身に付けたい力を簡潔に記す。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
2	**現代社会と教育** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
3	**教育を科学する①：教師の仕事** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
4	**教育を科学する②：保健室という居場所** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
5	**教育・平等・公正①：子どもの貧困** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
6	**教育・平等・公正②：文化的再生産と教育格差** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
7	**教育・平等・公正③：格差是正のための教育** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
8	**教育・平等・公正④：平等とは？ 公正とは？** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
9	**グローバリゼーションと教育①：グローバリゼーションとはなにか** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
10	**グローバリゼーションと教育②：多文化の中で育つ子どもたち** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
11	**グローバリゼーションと教育③：多文化共生のための教育** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷

No	内容	形式	教員
12	**多様性と教育①：ジェンダーと教育** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
13	**多様性と教育②：多様な性・多様な家族** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
14	**多様性と教育③：インクルーシブ教育** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷
15	**まとめ：授業のふりかえりと今後の課題** 事前学修：［30 分］前の授業で指定された課題に取り組む。 事後学修：［30 分］小レポートの作成	講義・討論	渋谷

▌教科書

教科書は使用しません。
授業中に関連資料を配布します。

▌参考書、参考資料等

阿部彩（2014）. 子どもの貧困Ⅱ―解決策を考える―. 岩波新書.
内田良（2015）. 教育という病－子どもと先生を苦しめる「教育リスク」－. 光文社新書.
松岡亮二（2019）. 教育格差. 筑摩書房.
木村元・小玉重夫・船橋一男（2019）. 教育学をつかむ［改訂版］. 有斐閣.

▌フィードバックの仕方

小レポートは、Glexa でコメントするとともに、随時授業に反映させます。
最終レポートのフィードバックも、Glexa で行います。

▌他の授業科目との関連

「教育学概論」と関連しています。看護教育学系の科目を学ぶ上での基礎になります。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み（50%）：授業への参加状況や小レポートを通して、意欲と理解を評価します。
定期試験（50%）：現代的な教育課題について、どのくらい多角的に考察し、論理的に表現できるかを評価します。
最終的には、上記を総合して判断します。

▌オフィスアワー・研究室等

火曜日 3 限終了後から 17:00 まで、404 研究室

身体運動論Ⅰ（理論）

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」連携**　**「3」探求**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHU151**

〇伊藤　麻希

▌授業の目的

皆さんは人生 100 年時代の健康長寿に向けて医療、福祉、地域、教育等の現場でライフステージに適した健康管理方法を指導、実践する役割を担っています。また、身体運動やスポーツを習慣化し健康を維持・増進することは、皆さんが社会的務めを果たし活躍するためにも、個人として人生を豊かに過ごすためにも必要なことです。
本講義は身体運動やスポーツを安全に、効果的に、楽しく実践するための基本的知識を学ぶことを目的とします。

▌到達目標

1. 身体運動やスポーツの意義や効果を理解し、自ら実践できるようになる。
2. 医療、福祉、地域、教育等の現場で身体運動、スポーツ、レクリエーションが持つ豊かな価値を提供できる。

▌学習の進め方

講義を中心としますが、ディスカッション、リフレクションシートを用いての対話等、積極的にアクティブラーニングを導入します。履修者数によって講義形式が変わる場合がありますので予めご了承下さい。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**講義の目的、計画、講義の進め方、到達目標、評価基準等についての説明** 事前学修：［15 分］予めシラバスを読み、講義内容を確認する。 事後学修：［30 分］次週の講義内容に必要なキーワードを調べて、ノートに記す。	講義とディスカッション	伊藤
2	**人生 100 年時代の身体運動・スポーツ①** **「ライフデザインと健康長寿への取組みの重要性について」** 事前学修：［30 分］提示された講義内容に必要なキーワードを調べて、ノートに記す。 事後学修：［60 分］配布資料をもとに講義の復習をする。疑問点を調べ、ノートに記す。	講義とディスカッション	伊藤
3	**人生 100 年時代の身体運動・スポーツ②** **「身体運動のメカニズムと効果について」** 事前学修：［30 分］提示された講義内容に必要なキーワードを調べて、ノートに記す。 事後学修：［60 分］配布資料をもとに講義の復習をする。疑問点を調べ、ノートに記す。	講義とディスカッション	伊藤
4	**人生 100 年時代の身体運動・スポーツ③** **「身体運動やトレーニング方法の紹介」** 事前学修：［60 分］提示された講義内容に必要なキーワードを調べて、ノートに記す。 事後学修：［60 分］配布資料をもとに講義の復習をする。疑問点を調べ、ノートに記す。	講義とディスカッション	伊藤
5	**人生 100 年時代の身体運動・スポーツ④** **「ライフ・ステージにあった運動プログラムの提供を考える」1** 事前学修：［60 分］提示された講義内容に必要なキーワードを調べて、ノートに記す。 事後学修：［60 分］配布資料をもとに講義の復習をする。疑問点を調べ、ノートに記す。	講義とディスカッション	伊藤
6	**人生 100 年時代の身体運動・スポーツ⑤** **「ライフ・ステージにあった運動プログラムの提供を考える」2** 事前学修：［60 分］提示された講義内容に必要なキーワードを調べて、ノートに記す。 事後学修：［60 分］配布資料をもとに講義の復習をする。疑問点を調べ、ノートに記す。	講義とディスカッション	伊藤
7	**教養として学ぶ身体運動①** **「スポーツの歴史的変遷に見る、文化的・社会的価値」1** 事前学修：［60 分］提示された講義内容に必要なキーワードを調べて、ノートに記す。 事後学修：［60 分］配布資料をもとに講義の復習をする。疑問点を調べ、ノートに記す。	講義とディスカッション	伊藤
8	**教養として学ぶ身体運動②** **「スポーツの歴史的変遷に見る、文化的・社会的価値」2** **講義のまとめと質疑応答** 事前学修：［60 分］提示された講義内容に必要なキーワードを調べて、ノートに記す。 事後学修：［90 分］講義内容やノートの内容をまとめて最終レポートを作成、Glexa にて提出する。	講義とディスカッション	伊藤

▌教科書
教科書は使用しません。講義資料を配布します。

▌参考書、参考資料等
1)東京大学身体運動科学研究室編(2000). 教養としてのスポーツ・身体運動. 東京大学出版会.
2)東京大学医学部健康総合学科編(2016). 社会を変える健康のサイエンス. 東京大学出版会.
3)深代千之・内海良子(2018). 身体と動きで学ぶスポーツ科学. 東京大学出版会.
4) 福田洋・江口泰正編(2016). ヘルスリテラシー. 大修館書店.
5) 橋場弦・村田奈々子編(2016). 学問としてのオリンピック. 山川出版社.
6)広瀬一郎(2005). スポーツマンシップを考える. 小学館.
7)朝岡正雄(2019). 指導者のためのスポーツ運動学. 大修館書店.

▌フィードバックの仕方
最終レポートのフィードバックは、コメントを付したレポートの返却を通じて行います。

▌他の授業科目との関連
前期開講科目「身体運動論Ⅱ(実技)」を履修しておくことを勧めます。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取組み(含講義内ミニレポート等) 40 %　2. 学期末レポート 60 %
学期末レポートの 60%分の評価については、受講者数等によりレポートを筆記試験に変更する場合があります。

▌オフィスアワー・研究室等
講義の前後で対応します。また、質問等はメールでも対応します。

▌受講上の注意事項
時間割に試験日が記されていますが、試験は実施せず最終レポート提出に変更の予定です。

身体運動論Ⅱ（実技）

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」関係**　**「3」探求**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHU102**

〇伊藤　麻希

▌授業の目的

第一の目的は、運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティの享受能力を高めることです。第二の目的は、看護に関わる者として医療や教育の現場でこれら経験や知識を活かせる能力を身につけることです。なお運動強度は、健康的な心身の維持・増進を目的としたものです。

▌到達目標

1. 健康な身体と心を維持、増進、管理できる実践能力を身に付ける。
2. 身体運動、スポーツレクリエーションアクティビティを自ら創意工夫して提供できる実践能力を身に付けるとともに身体運動を通じてコミュニケーション能力を向上させる。
3. 身体と心の健康を探求し、自分自身の実生活に活かしていく。

▌学習の進め方

現在（2021 年 1 月）の予定としては、授業の前半では対面授業と遠隔授業（同時双方向）を週ごとに交互に実施します。後半では、対面授業を中心に行います。
可能な限り対面での授業を行っていく予定ではありますが、状況によって課題提出やオンデマンド型での授業に変更となる可能性もありますので、Glexa で掲示される情報を随時確認してください。
授業で学んだ実技を日常生活で活かせるようしっかり身につけてください。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** **〈自分の身体を観察する・知る〉〈相手の身体を観察する・知る〉** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］講義の情報から自分の身体について知ったことをノートに記す。	講義・演習	伊藤
2	**ヨガの実践①** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **イントロダクションとウォーミングアップ、呼吸法** 事前学修：［20 分］ヨガの歴史や効果、種類について調べてノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
3	**ヨガの実践②** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **瞑想法とヨガの基本的なアーサナ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
4	**ヨガの実践③** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ヨガの基本的なアーサナ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
5	**ヨガの実践④** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ヨガの基本的なアーサナ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
6	**ヨガの実践⑤** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ヨガの基本的なアーサナと太陽礼拝** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
7	**ヨガの実践⑥** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **心の健康とヨガの思想** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］感想レポートを Glexa に提出する。実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
8	**ピラティスの実践①** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **イントロダクションとピラティスの基本的なポーズ** 事前学修：［30 分］ピラティスの歴史や効果について調べてノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
9	**ピラティスの実践②** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ピラティスの基本的なポーズ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
10	**ピラティスの実践③** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ピラティスの基本的なポーズ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］感想レポートを Glexa に提出する。実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
11	**運動処方箋の作成と実施①** **〈相手の心と身体を観察する・知る〉** **グループに分かれて相手に教えてみる** 事前学修：［30 分］ヨガ・ピラティスのポーズの中からいくつかポーズを選び、教える手順を確認、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
12	**運動処方箋の作成と実施②** **〈相手の心と身体を観察する・知る〉** **グループに分かれて相手に教えてみる** 事前学修：［30 分］ヨガ・ピラティスのポーズの中からいくつかポーズを選び、教える手順を確認、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］感想レポートを Glexa に提出する。実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
13	**スポーツレクリエーションアクティビティの実践①（実施競技は検討中）** **〈仲間と協働する身体〉** 事前学修：［30 分］実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：［20 分］実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
14	**スポーツレクリエーションアクティビティの実践②（実施競技は検討中）** **〈仲間と協働する身体〉** 事前学修：［30 分］実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：［20 分］実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
15	**授業全体の振り返り** **最終レポートについて** 事前学修：［30 分］授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことをノートに記す。 事後学修：［60 分］授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことを Glexa に最終レポートとして提出する。日常生活において授業内容を生かし、生活習慣を見直してみる。	講義・演習	伊藤

▌教科書
なし

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
各テーマ終了毎に感想レポートを Glexa にて提出、フィードバックを全体に対し行う。
また最終レポートのフィードバックは、コメントを付したレポートの返却を通じて行います。

▌他の授業科目との関連
身体運動論Ⅰ（理論）と合わせて理解を深めます。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み（ノートの内容も含む）70 %　2. 課題 30 %

▌オフィスアワー・研究室等
質問等は Glexa にて受け付けます。

▌受講上の注意事項
対面授業と同時双方向型授業を組み合わせて実施する予定ですが、授業形式が変更となる可能性もあります。
講義への理解度や全体の身体能力、習得度等によりシラバスを一部変更したり、屋外でスポーツ競技を実施する場合には天候によってシラバスに示す授業順から前後して実施・内容変更したりする場合があります。
スポーツ競技として現在検討しているのは、ソフトバレー・インディアカ・ボッチャ・フットサルなどです。その他競技の希望も実施可能であれば受け付けます。
身体運動論Ⅱ用のノート１冊をオリエンテーションまでに用意してください。

身体運動論Ⅱ（実技）

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」関係**　**「3」探求**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHU102**

〇伊藤　麻希

▌授業の目的

第一の目的は、運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティの享受能力を高めることです。第二の目的は、看護に関わる者として医療や教育の現場でこれら経験や知識を活かせる能力を身につけることです。なお運動強度は、健康的な心身の維持・増進を目的としたものです。

▌到達目標

1. 健康な身体と心を維持、増進、管理できる実践能力を身に付ける。
2. 身体運動、スポーツレクリエーションアクティビティを自ら創意工夫して提供できる実践能力を身に付けるとともに身体運動を通じてコミュニケーション能力を向上させる。
3. 身体と心の健康を探求し、自分自身の実生活に活かしていく。

▌学習の進め方

現在（2021 年 1 月）の予定としては、授業の前半では対面授業と遠隔授業（同時双方向）を週ごとに交互に実施します。後半では、対面授業を中心に行います。
可能な限り対面での授業を行っていく予定ではありますが、状況によって課題提出やオンデマンド型での授業に変更となる可能性もありますので、Glexa で掲示される情報を随時確認してください。
授業で学んだ実技を日常生活で活かせるようしっかり身につけてください。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** **〈自分の身体を観察する・知る〉〈相手の身体を観察する・知る〉** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］講義の情報から自分の身体について知ったことをノートに記す。	講義・演習	伊藤
2	**ヨガの実践①** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **イントロダクションとウォーミングアップ、呼吸法** 事前学修：［20 分］ヨガの歴史や効果、種類について調べてノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
3	**ヨガの実践②** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **瞑想法とヨガの基本的なアーサナ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
4	**ヨガの実践③** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ヨガの基本的なアーサナ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
5	**ヨガの実践④** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ヨガの基本的なアーサナ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
6	**ヨガの実践⑤** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ヨガの基本的なアーサナと太陽礼拝** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
7	**ヨガの実践⑥** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **心の健康とヨガの思想** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］感想レポートを Glexa に提出する。実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
8	**ピラティスの実践①** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **イントロダクションとピラティスの基本的なポーズ** 事前学修：［30 分］ピラティスの歴史や効果について調べてノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
9	**ピラティスの実践②** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ピラティスの基本的なポーズ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
10	**ピラティスの実践③** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ピラティスの基本的なポーズ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］感想レポートを Glexa に提出する。実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
11	**運動処方箋の作成と実施①** **〈相手の心と身体を観察する・知る〉** **グループに分かれて相手に教えてみる** 事前学修：［30 分］ヨガ・ピラティスのポーズの中からいくつかポーズを選び、教える手順を確認、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
12	**運動処方箋の作成と実施②** **〈相手の心と身体を観察する・知る〉** **グループに分かれて相手に教えてみる** 事前学修：［30 分］ヨガ・ピラティスのポーズの中からいくつかポーズを選び、教える手順を確認、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］感想レポートを Glexa に提出する。実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
13	**スポーツレクリエーションアクティビティの実践①（実施競技は検討中）** **〈仲間と協働する身体〉** 事前学修：［30 分］実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：［20 分］実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
14	**スポーツレクリエーションアクティビティの実践②（実施競技は検討中）** **〈仲間と協働する身体〉** 事前学修：［30 分］実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：［20 分］実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
15	**授業全体の振り返り** **最終レポートについて** 事前学修：［30 分］授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことをノートに記す。 事後学修：［60 分］授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことを Glexa に最終レポートとして提出する。日常生活において授業内容を生かし、生活習慣を見直してみる。	講義・演習	伊藤

▌教科書
なし

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
各テーマ終了毎に感想レポートを Glexa にて提出、フィードバックを全体に対し行う。
また最終レポートのフィードバックは、コメントを付したレポートの返却を通じて行います。

▌他の授業科目との関連
身体運動論Ⅰ（理論）と合わせて理解を深めます。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み（ノートの内容も含む）70 %　2. 課題 30 %

▌オフィスアワー・研究室等
質問等は Glexa にて受け付けます。

▌受講上の注意事項
対面授業と同時双方向型授業を組み合わせて実施する予定ですが、授業形式が変更となる可能性もあります。
講義への理解度や全体の身体能力、習得度等によりシラバスを一部変更したり、屋外でスポーツ競技を実施する場合には天候によってシラバスに示す授業順から前後して実施・内容変更したりする場合があります。
スポーツ競技として現在検討しているのは、ソフトバレー・インディアカ・ボッチャ・フットサルなどです。その他競技の希望も実施可能であれば受け付けます。
身体運動論Ⅱ用のノート１冊をオリエンテーションまでに用意してください。

身体運動論Ⅱ（実技）

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」関係**　**「3」探求**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHU102**

〇伊藤　麻希

▌授業の目的

第一の目的は、運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティの享受能力を高めることです。第二の目的は、看護に関わる者として医療や教育の現場でこれら経験や知識を活かせる能力を身につけることです。なお運動強度は、健康的な心身の維持・増進を目的としたものです。

▌到達目標

1. 健康な身体と心を維持、増進、管理できる実践能力を身に付ける。
2. 身体運動、スポーツレクリエーションアクティビティを自ら創意工夫して提供できる実践能力を身に付けるとともに身体運動を通じてコミュニケーション能力を向上させる。
3. 身体と心の健康を探求し、自分自身の実生活に活かしていく。

▌学習の進め方

現在（2021 年 1 月）の予定としては、授業の前半では対面授業と遠隔授業（同時双方向）を週ごとに交互に実施します。後半では、対面授業を中心に行います。
可能な限り対面での授業を行っていく予定ではありますが、状況によって課題提出やオンデマンド型での授業に変更となる可能性もありますので、Glexa で掲示される情報を随時確認してください。
授業で学んだ実技を日常生活で活かせるようしっかり身につけてください。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** **〈自分の身体を観察する・知る〉〈相手の身体を観察する・知る〉** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］講義の情報から自分の身体について知ったことをノートに記す。	講義・演習	伊藤
2	**ヨガの実践①** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **イントロダクションとウォーミングアップ、呼吸法** 事前学修：［20 分］ヨガの歴史や効果、種類について調べてノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
3	**ヨガの実践②** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **瞑想法とヨガの基本的なアーサナ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
4	**ヨガの実践③** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ヨガの基本的なアーサナ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
5	**ヨガの実践④** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ヨガの基本的なアーサナ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
6	**ヨガの実践⑤** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ヨガの基本的なアーサナと太陽礼拝** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
7	**ヨガの実践⑥** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **心の健康とヨガの思想** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］感想レポートを Glexa に提出する。実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
8	**ピラティスの実践①** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **イントロダクションとピラティスの基本的なポーズ** 事前学修：［30 分］ピラティスの歴史や効果について調べてノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
9	**ピラティスの実践②** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ピラティスの基本的なポーズ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
10	**ピラティスの実践③** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ピラティスの基本的なポーズ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］感想レポートを Glexa に提出する。実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
11	**運動処方箋の作成と実施①** **〈相手の心と身体を観察する・知る〉** **グループに分かれて相手に教えてみる** 事前学修：［30 分］ヨガ・ピラティスのポーズの中からいくつかポーズを選び、教える手順を確認、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
12	**運動処方箋の作成と実施②** **〈相手の心と身体を観察する・知る〉** **グループに分かれて相手に教えてみる** 事前学修：［30 分］ヨガ・ピラティスのポーズの中からいくつかポーズを選び、教える手順を確認、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］感想レポートを Glexa に提出する。実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
13	**スポーツレクリエーションアクティビティの実践①（実施競技は検討中）** **〈仲間と協働する身体〉** 事前学修：［30 分］実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：［20 分］実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
14	**スポーツレクリエーションアクティビティの実践②（実施競技は検討中）** **〈仲間と協働する身体〉** 事前学修：［30 分］実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：［20 分］実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
15	**授業全体の振り返り** **最終レポートについて** 事前学修：［30 分］授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことをノートに記す。 事後学修：［60 分］授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことを Glexa に最終レポートとして提出する。日常生活において授業内容を生かし、生活習慣を見直してみる。	講義・演習	伊藤

▌教科書
なし

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
各テーマ終了毎に感想レポートを Glexa にて提出、フィードバックを全体に対し行う。
また最終レポートのフィードバックは、コメントを付したレポートの返却を通じて行います。

▌他の授業科目との関連
身体運動論Ⅰ（理論）と合わせて理解を深めます。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み（ノートの内容も含む）70 %　2. 課題 30 %

▌オフィスアワー・研究室等
質問等は Glexa にて受け付けます。

▌受講上の注意事項
対面授業と同時双方向型授業を組み合わせて実施する予定ですが、授業形式が変更となる可能性もあります。
講義への理解度や全体の身体能力、習得度等によりシラバスを一部変更したり、屋外でスポーツ競技を実施する場合には天候によってシラバスに示す授業順から前後して実施・内容変更したりする場合があります。
スポーツ競技として現在検討しているのは、ソフトバレー・インディアカ・ボッチャ・フットサルなどです。その他競技の希望も実施可能であれば受け付けます。
身体運動論Ⅱ用のノート１冊をオリエンテーションまでに用意してください。

身体運動論Ⅱ（実技）

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」関係**　**「3」探求**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHU102**

〇伊藤　麻希

▌授業の目的

第一の目的は、運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティの享受能力を高めることです。第二の目的は、看護に関わる者として医療や教育の現場でこれら経験や知識を活かせる能力を身につけることです。なお運動強度は、健康的な心身の維持・増進を目的としたものです。

▌到達目標

1. 健康な身体と心を維持、増進、管理できる実践能力を身に付ける。
2. 身体運動、スポーツレクリエーションアクティビティを自ら創意工夫して提供できる実践能力を身に付けるとともに身体運動を通じてコミュニケーション能力を向上させる。
3. 身体と心の健康を探求し、自分自身の実生活に活かしていく。

▌学習の進め方

現在（2021 年 1 月）の予定としては、授業の前半では対面授業と遠隔授業（同時双方向）を週ごとに交互に実施します。後半では、対面授業を中心に行います。
可能な限り対面での授業を行っていく予定ではありますが、状況によって課題提出やオンデマンド型での授業に変更となる可能性もありますので、Glexa で掲示される情報を随時確認してください。
授業で学んだ実技を日常生活で活かせるようしっかり身につけてください。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** **〈自分の身体を観察する・知る〉〈相手の身体を観察する・知る〉** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］講義の情報から自分の身体について知ったことをノートに記す。	講義・演習	伊藤
2	**ヨガの実践①** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **イントロダクションとウォーミングアップ、呼吸法** 事前学修：［20 分］ヨガの歴史や効果、種類について調べてノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
3	**ヨガの実践②** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **瞑想法とヨガの基本的なアーサナ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
4	**ヨガの実践③** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ヨガの基本的なアーサナ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
5	**ヨガの実践④** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ヨガの基本的なアーサナ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
6	**ヨガの実践⑤** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ヨガの基本的なアーサナと太陽礼拝** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
7	**ヨガの実践⑥** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **心の健康とヨガの思想** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］感想レポートを Glexa に提出する。実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
8	**ピラティスの実践①** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **イントロダクションとピラティスの基本的なポーズ** 事前学修：［30 分］ピラティスの歴史や効果について調べてノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
9	**ピラティスの実践②** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ピラティスの基本的なポーズ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
10	**ピラティスの実践③** **〈自分の心と身体を観察する・知る〉** **ピラティスの基本的なポーズ** 事前学修：［20 分］日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：［30 分］感想レポートを Glexa に提出する。実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
11	**運動処方箋の作成と実施①** **〈相手の心と身体を観察する・知る〉** **グループに分かれて相手に教えてみる** 事前学修：［30 分］ヨガ・ピラティスのポーズの中からいくつかポーズを選び、教える手順を確認、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
12	**運動処方箋の作成と実施②** **〈相手の心と身体を観察する・知る〉** **グループに分かれて相手に教えてみる** 事前学修：［30 分］ヨガ・ピラティスのポーズの中からいくつかポーズを選び、教える手順を確認、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］感想レポートを Glexa に提出する。実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
13	**スポーツレクリエーションアクティビティの実践①（実施競技は検討中）** **〈仲間と協働する身体〉** 事前学修：［30 分］実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：［20 分］実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
14	**スポーツレクリエーションアクティビティの実践②（実施競技は検討中）** **〈仲間と協働する身体〉** 事前学修：［30 分］実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：［20 分］実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
15	**授業全体の振り返り** **最終レポートについて** 事前学修：［30 分］授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことをノートに記す。 事後学修：［60 分］授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことを Glexa に最終レポートとして提出する。日常生活において授業内容を生かし、生活習慣を見直してみる。	講義・演習	伊藤

▌教科書
なし

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
各テーマ終了毎に感想レポートを Glexa にて提出、フィードバックを全体に対し行う。
また最終レポートのフィードバックは、コメントを付したレポートの返却を通じて行います。

▌他の授業科目との関連
身体運動論Ⅰ（理論）と合わせて理解を深めます。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み（ノートの内容も含む）70 %　2. 課題 30 %

▌オフィスアワー・研究室等
質問等は Glexa にて受け付けます。

▌受講上の注意事項
対面授業と同時双方向型授業を組み合わせて実施する予定ですが、授業形式が変更となる可能性もあります。
講義への理解度や全体の身体能力、習得度等によりシラバスを一部変更したり、屋外でスポーツ競技を実施する場合には天候によってシラバスに示す授業順から前後して実施・内容変更したりする場合があります。
スポーツ競技として現在検討しているのは、ソフトバレー・インディアカ・ボッチャ・フットサルなどです。その他競技の希望も実施可能であれば受け付けます。
身体運動論Ⅱ用のノート１冊をオリエンテーションまでに用意してください。

生活環境論

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求　「2」連携　「3」変化**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHU251**

○石田　千絵、井口　理、湯淺　晶子、吉川　悦子

▌授業の目的

人の生活を中心に、環境の成立や人の生活との相互作用を含む環境の変化を捉え、環境が健康と生活へ与える影響とその対策について学習を深める。また、人間と環境との関連を身近な生活の問題として捉え、公衆衛生学的視点からそれぞれの課題を探求する。

▌到達目標

1. 人間の生活と環境の関係、環境が健康にもたらす影響を説明できる。
2. 人間と環境との関連を身近な問題として捉え、公衆衛生学的視点から課題と対策を理解する。
3. 特定地域の生活環境をアセスメントし、人びとの健康に影響を与える具体的な視点について説明できる。

▌学習の進め方

AL

講義・演習・GW・発表

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**健康な暮らしと環境/オリエンテーション** 事前学修：［15 分］健康な暮らしとは何かを考え、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［20 分］配布資料を読み返し学びを深める	講義	石田、湯淺
2	**健康と環境のアセスメント①　演習の説明** 事前学修：［15 分］健康な暮らしを支える環境について考え、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［20 分］配布資料を読み返し、演習の計画を立てる	講義・演習	全員
3	**健康と環境のアセスメント②　地区踏査** 事前学修：［15 分］地区踏査の方法について、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［20 分］地区踏査の結果を要約しまとめる	演習.GW	全員
4	**健康と環境のアセスメント③　地区踏査** 事前学修：［15 分］地区踏査の結果と地区の特徴について、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［20 分］地域の特徴としての強みと弱みを抽出する	演習.GW	全員
5	**健康と環境のアセスメント④　地区踏査、まとめ** 事前学修：［15 分］地区踏査の結果と地域の特徴（強み・弱み）を要約する 事後学修：［30 分］地区踏査の結果と地域の特徴（強み・弱み）を見直す	演習.GW	全員
6	**健康と環境のアセスメント⑤　地区踏査、発表準備** 事前学修：［15 分］地区踏査の結果と地域の特徴（強み・弱み）の発表資料原稿を作成する 事後学修：［30 分］発表の配布資料を作成する	演習.GW	全員
7	**健康と環境のアセスメント⑥　発表** 事前学修：［20 分］パワーポイントでの発表の準備を行う 事後学修：［20 分］発表資料を見直し、学びを深める	演習.GW	全員
8	**健康と環境のアセスメント⑦　まとめ** 事前学修：［30 分］健康な暮らしと環境について、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［20 分］演習で得た学びを考察する	講義	全員

▌教科書

適宜、資料を配布する。

▌参考書、参考資料等

厚生労働統計協会：国民衛生の動向（最新版）

環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書（最新版）

▌フィードバックの仕方

グループ発表については、担当の教員がその場で講評をする。

▌他の授業科目との関連

看護全般の基本となる科目である。特に、公衆衛生看護、在宅看護、災害看護の基盤となる。

▌成績評価の仕方

演習への取り組みと発表（80 %）、提出資料（20 %）

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30〜13:00
石田（432 研究室）　井口（452 研究室）　吉川（425 研究室）　湯淺（445 研究室）

▌受講上の注意事項

遅刻・欠席は演習の取り組み不十分とみなし、「評価：演習の取り組みと発表（80 %）」の減点対象となります。

障がい論

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**3 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」連携**　**「2」擁護**　**「3」実践**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHU351**

○坂口　千鶴、鷹野　朋実、堀井　湖浪、山内　朋子、湯淺　晶子、井口　理、池田　良輔子

▌授業の目的

国内外の様々な学問領域の視点から障がいを捉え、その基本的内容や枠組みの概要を理解し、わが国における今日的な障がい児・者問題の課題を各自が主体的に考える。

▌到達目標

1. 国内外の様々な学問領域の視点をもとに障がいを説明することができる。
2. 障がいのある人の尊厳と権利を倫理的な視点から説明することができる。
3. 障がいのある人のもつ能力について理解でき、その能力を活かした看護実践について説明できる。
4. 共生する社会の実現に向けて、新たな看護の役割を説明することができる。

▌学習の進め方

AL 各看護領域の教員がオムニバスで講義を担当するが、その中でグループ討議や個別の問いかけを随時入れていく。グループ討議等では積極的に学生同士で意見交換をしながら理解を深めていく。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション / 障がいって何？　障がいの喜びと苦悩** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成する（次回授業までに提出）	講義・討論	坂口
2	**障がいをもちながら成長発達するということ / 「自立と共生」** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成する（次回授業までに提出）	講義・討論	山内
3	**地域における障がい者** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成する（次回授業までに提出）	講義・討論	井口
4	**リハビリテーションの概念と ICF（国際生活機能分類）** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成する（次回授業までに提出）	講義・討論	鷹野
5	**発達障がいのある子どもと家族** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成する（次回授業までに提出）	講義・討論	山内
6	**障がいを抱える人の自立支援～セルフヘルプグループの視点から～** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成する（次回授業までに提出）	講義・討論	堀井
7	**障がいと雇用** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成する（次回授業までに提出）	講義・討論	湯淺
8	**高齢者と障がい** 事前学修：［30 分分］事前に配布した資料を読み、疑問あるいは意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分分］リフレクションペーパーを作成する（次回授業までに提出）	講義・討論	池田

▌教科書

なし

▌参考書、参考資料等

授業中に適宜参考文献を紹介する。

▌フィードバックの仕方

事前学習の内容とリフレクションペーパーのフィードバックは、各担当教員が最終授業終了後 1 ヶ月以内に Glexa 上にてコメントとともに返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

母性、小児、精神保健、成人、老年、地域等各看護学領域と関連づけながら、障がいに焦点を当てた学習内容を扱う。

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み　20 %　2. 事前学習の内容・リフレクションペーパー　80 %（Glexa 上に提出）

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日当日 12:30〜13:00　　坂口（414 研究室）・鷹野（428 研究室）・堀井（428 研究室）・山内（443 研究室）・神谷（441 研究室）・池田（450 研究室）

社会学 I

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」関係**　**「2」探求**　**「3」変化**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBSS100**

〇鷹田　佳典

▌授業の目的

社会学の学び方はいろいろありますが、そのひとつは社会学独自の「概念」を知ることです。これらの概念は、私たちが日常生活のなかで疑問に感じている事柄について、通常とは違う視点から考えるための手がかりを与えてくれます。本講義では毎回一つずつ社会学の基礎概念を取り上げ、その内容について解説しながら、これらの疑問に対する社会学なりの回答の仕方を提示します。こうした作業を通じて、社会学の基礎と思考方法を習得することが本講義の目的です。

▌到達目標

1．社会学の基礎と思考方法を習得する。
2．社会学の概念の意味を理解する。
3．社会学の概念を用いて日常で起こる社会事象を説明することができるようになる。

▌学習の進め方

授業は講義形式で行います。毎回、授業終了後に Glexa でリアクションペーパーを提出してもらいます。次回授業でリアクションペーパーへのリプライを行い、授業への理解を深める機会とします。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**イントロダクション：社会学への招待** 事前学修：［30 分］社会学についての自分なりのイメージをノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
2	**禁欲主義：なぜ西洋においてのみ資本主義は成立したのか？** 事前学修：［30 分］宗教改革の概要をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
3	**アノミー：なぜ人は自殺するのか？** 事前学修：ここ 20 年の日本の自殺に関する統計データを確認し、気づいたことこをノートにまとめておく。 事後学修：配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
4	**印象操作：なぜ三者面談はしんどいのか？** 事前学修：［30 分］人前で自分がどのように振舞っているのかをノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
5	**感情労働：なぜ人相手の仕事は疲れるのか？** 事前学修：［30 分］バイトで大変なことをノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
6	**予言の自己成就：なぜ予言は当たるのか？** 事前学修：［30 分］プラセボ効果についてノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
7	**ラベリング：なぜ再犯が多いのか？** 事前学修：［30 分］犯罪が起きる理由をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
8	**相互行為儀礼：なぜ車内での化粧は迷惑なのか？** 事前学修：［30 分］公共交通機関を利用したときに乗客の様子を観察し、ノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
9	**社会的性格：なぜ人は自由から逃れようとするのか？** 事前学修：［30 分］日本人の国民性の特徴をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
10	**モラトリアム：人はいつオトナになるのか？** 事前学修：［30 分］アイデンティティの確立に必要な要素をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

No	内容	形式	教員
11	**誇示的消費：なぜ「映え」が重要なのか？** 事前学修：［30 分］普段の消費を振り返り、その特徴をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
12	**準拠集団：なぜお給料が上がったのに不満なのか？** 事前学修：［30 分］自分が所属したいと思う集団の特徴をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
13	**マクドナルド化：なぜ飲食店の椅子は硬いのか？** 事前学修：［30 分］ファストフードレストランが増える理由をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
14	**リスク：なぜ折りたたみ傘を持って外出するのか？** 事前学修：［30 分］身の回りにあるリスクをノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
15	**リキッドモダン：なぜこれほど自己責任が叫ばれるのか？** 事前学修：［30 分］断捨離ブームについて調べ、要点をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

▌教科書
特定の教科書は使用しません。

▌参考書、参考資料等
講義時に適宜紹介します。

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説を行います。

▌他の授業科目との関連
社会学Ⅱ、家族社会学と関連します。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み（30 %）、定期試験（70 %）

▌オフィスアワー・研究室等
Glexa で質問を受けつけます。

社会学Ⅱ

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　**「3」変化**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBSS250**

〇鷹田　佳典

▌授業の目的

私たちは日常で起こる出来事を、しばしば「個人的な事柄」と考えがちです。しかし、一見何気ない日常の一コマも、実は大きな歴史の流れやマクロな社会構造と深く関わっています。したがって、私たちの生きるこの現実を理解するためには、こうした個人と社会の相互規定関係を捉える姿勢が求められます。このように、個人的な事象を社会全体と結びつけて考える能力を、社会学では「社会学的想像力」(ミルズ)と言います。社会学的想像力は、将来、医療専門職者として働く際にも役に立つはずです。そこで本講義では、さまざまなテーマを取り上げながら、社会学的想像力の涵養を目指します。

▌到達目標

1．さまざまな社会領域で起きている事柄についての関心を深める。
2．社会学の基礎概念を理解する。
3．個人と社会を結び付けて考える「社会学的想像力」を身につける。

▌学習の進め方

授業は講義形式で行います。授業終了後にリアクションペーパーを提出してもらいます。次回授業でリアクションペーパーへのリプライを行い、授業への理解を深める機会とします。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**イントロダクション：社会学的想像力とは何か** 事前学修：［30 分］最近の気になるニュース記事を二つ切り抜いておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
2	**ガラスの天井：女性の社会進出を阻む見えない壁** 事前学修：［30 分］女性の大統領や首相がどれくらいいるか調べ、ノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
3	**男らしさという檻：男はつらいよ？** 事前学修：［30 分］どんな行為が男らしいとされているかをノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
4	**やりがい搾取：やりがいに潜む罠** 事前学修：［30 分］個人事業主という働き方について調べ、要点をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
5	**ブルシットジョブ：どうでもいい仕事／不可欠な仕事** 事前学修：［30 分］エッセンシャルワーカーと呼ばれる人たちの仕事の特徴をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
6	**シェア：所有しない生き方の広がり** 事前学修：［30 分］普段どんなものを他者とシェアしているのかをノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
7	**ベーシックインカム：お金がただでもらえる？** 事前学修：［30 分］ベーシックインカムのメリットとデメリットについて調べ、要点をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
8	**健康至上主義：健康という義務** 事前学修：［30 分］健康に気をつけていることをノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
9	**健康格差：不健康は自己責任か？** 事前学修：［30 分］人々の健康状態に影響を与える要因をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

No	内容	形式	教員
10	**スティグマ：なぜ感染者はバッシングを受けるのか** 事前学修：［30 分］コロナ患者に対する誹謗中傷がなぜ起きるのか、考えをノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
11	**バイオグラフィーの混乱：寛解者の社会を生きる** 事前学修：［120 分］闘病記を 1 冊読んで、感想をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
12	**継続する絆：SNS 上で生き続ける死者** 事前学修：［30 分］自分が亡くなった後の SNS の管理について考えをまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
13	**曖昧な喪失：行方不明者遺族の苦しみ** 事前学修：［30 分］悲嘆についてどのようなモデルがあるのかを調べ、特徴をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
14	**孤独死：孤独死は自己決定として尊重されるのか** 事前学修：［30 分］日本における孤独死の発生状況を調べ、ノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
15	**終活：自分らしい死？** 事前学修：［30 分］終活がなぜこれほど関心を集めているのか、その理由をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

▌教科書
特定の教科書は試用しません。

▌参考書、参考資料等
講義時に適宜紹介します。

▌フィードバックの仕方
レポートのフィードバックは、レポート提出から 1 か月以内に、コメントをつけて Glexa で返却します。

▌他の授業科目との関連
社会学Ⅰ、家族社会学と関連します。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み（45 %）、レポート（55 %）

▌オフィスアワー・研究室等
Glexa で質問を受け付けます。

社会保障論

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年・編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」関係**　**「2」連携**　**「3」擁護**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBSS300**

〇奥貫　妃文

▌授業の目的

「社会保障」は、「個人」という枠を超えて「社会連帯」に皆が参加することで、社会全体の安定性を保つという考えが共有されることで成り立っています。つまり、「社会保障論」を学ぶことは、単なる制度の理解に留まらず、私たちの社会のあり方そのものを考えることでもあります。したがって、まずは社会への幅広い視野と問題意識をもつことが、この授業における最大の目的となります。さらに、看護大学の学生として、将来、医療・福祉現場で働く際に、最低限身につけておくべき社会保障制度を正確に理解したうえで、ケアや当事者の生活の質を高め、社会復帰をより円滑に進められるようになることをめざします。

▌到達目標

まずは社会保障制度の全体像を把握することが第 1 の目標となります。第 2 に、法律用語に慣れ、頻繁に変わる法改正の動向をフォローすること、最後に、現在の社会保障制度に対する自らの見解を持ち、それを客観的、論理的に第三者に伝えられる文章作成能力を身につけることとなります。

▌学習の進め方

この授業は講義形式で進めていきます。現在進行形で動いている日本の社会保障制度の全体像を学びながら、とりわけ今日的でかつ重要と思われるテーマをピックアップして話をします。
具体的には、学説や裁判例、社会保障に関わる新聞記事やトピックを素材に、問題の所在を明らかにしたうえで、いかに制度の改善を図るべきか、共に考えます。なお、複雑な制度をなるべくシンプルに理解することができるように、原則として人の誕生から高齢期に至るまでの「人間のライフステージ」に沿いながら授業を進めます。
※原則、対面授業形態を前提としますが、同時に遠隔授業形態（Glexa でのオンデマンド型、Teams や Zoom を使用した同時双方向型またはその併用）も確保します。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**イントロダクション：社会保障論を学ぶ意義・看護師がもつべき社会保障制度の知識とは** 事前学修：［30 分］該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：［30 分］配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	ハイブリッド型（対面＆遠隔）	奥貫
2	**総論：社会保障制度の全体像とその理念、目的、意義・社会保障関連法の立法の歴史** 事前学修：［30 分］該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：［30 分］配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	ハイブリッド型（対面＆遠隔）	奥貫
3	**児童に関わる法制度：児童手当・児童扶養手当・児童虐待防止法・親権停止制度** 事前学修：［30 分］該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：［30 分］配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	ハイブリッド型（対面＆遠隔）	奥貫
4	**年金制度：国民年金・厚生年金** 事前学修：［30 分］該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：［30 分］配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	ハイブリッド型（対面＆遠隔）	奥貫
5	**健康保険制度：国民健康保険・健康保険** 事前学修：［30 分］該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：［30 分］配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	ハイブリッド型（対面＆遠隔）	奥貫

No	内容	形式	教員
6	**高齢者福祉制度：介護保険・介護予防・老老介護の現状・介護労働者の労働問題** 事前学修：［30 分］該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：［30 分］配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	ハイブリッド型（対面＆遠隔）	奥貫
7	**障害のある人に関わる法制度：障害年金、障害者総合支援法、障害者雇用** 事前学修：［30 分］該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：［30 分］配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	ハイブリッド型（対面＆遠隔）	奥貫
8	**貧困政策：貧困の現状（子どもの貧困、若者の貧困、女性の貧困、高齢者の貧困）・生活保護制度** 事前学修：［30 分］該当するテーマについて参考書やウェブサイト等で調べて不明なワード等を書き出しておく 事後学修：［30 分］配布したレジュメを読み直し、キーワードを再度ノートに書き、知識の確認を行う	オンデマンド型	奥貫

▌教科書
使用しません。適宜レジュメを配付します。

▌参考書、参考資料等
・久塚純一・山田省三編『社会保障法解体新書〔第 4 版〕』（法律文化社、2015 年）
・健康保険組合連合会編『社会保障年鑑』（東洋経済新報社、各年発刊）
・独立行政法人福祉医療機構ウェブサイト「WAM NET(ワムネット)」http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/

▌フィードバックの仕方
ポータルにて一定期間解説資料を公開する。

▌他の授業科目との関連
障がい論、看護関係法規、母性・小児・老年・精神保健看護学とも関連があります。

▌成績評価の仕方
学期末に、筆記試験実施。筆記試験未受験者は単位取得できません。
平常の授業態度（55 %）、筆記試験（45 %）

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後、質問を受け付けます。

▌受講上の注意事項
疑問点は、早い内に解消するように心がけてください。分からないことを分からないまま放置しないよう留意してください。
「社会保障」制度は、社会の成員全体の生活の安定を図るためにあります。社会保障を学ぶということは、私たち一人一人が将来どんな社会を望むのか、常に考え続けることでもあります。ぜひ、幅広い視野と柔軟な心をもって授業に臨んでください。

家族社会学

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBSS251**

〇三具　淳子

▌授業の目的

家族は私たちにとって、とても身近なものです。そのため、家族について考えるのは簡単なことのように思われがちですが、身近であるからこそ、個人的な経験から離れて家族を客観的に捉えることは難しいともいえます。この授業では、まず、家族関係や家族と社会の関係を読み解くための基礎を学び、そのうえで、地域的・歴史的な比較をとおして家族が多様なものであり，変化するものであることを学びます。さらに、現代日本の家族が直面しているさまざまな問題を具体的にとりあげ、家族社会学における議論を踏まえながら、問題の構成を考えていきます。

▌到達目標

1．現代日本の家族が人口学的にみてどのように位置づけられるかを理解し、説明できる。
2．現代日本の家族の特徴を具体的に示すことができる。
3．家族が直面する諸問題を社会との関係から説明できる。

▌学習の進め方

授業は、レジュメや資料に沿って講義形式で行います。授業で取り上げるテーマは、簡単に答えの見つかるものではないかもしれません。意見や質問を交わすことで考えを深め、新たな関心へと発展させていきましょう。コメントカードも活用します。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**1．イントロダクション：家族とはなにか？** 事前学修：［15 分］図書館の社会学関連の書棚をみて、どのようなテーマが扱われているかを調べる。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具
2	**家族をとらえるキーワード** 事前学修：［30 分］前回授業での課題を調べる。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具
3	**日本の家族の変容１：人口構造と家族構造** 事前学修：［30 分］最新の「国民生活基礎調査の概況」を読む。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具
4	**日本の家族の変容２：近代家族モデル** 事前学修：［30 分］最新の「国民生活基礎調査の概況」を読む。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具
5	**多様な家族：欧米の家族、アジアの家族** 事前学修：［30 分］前回授業での課題を調べる。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具
6	**現代日本の家族　配偶者選択と結婚** 事前学修：［30 分］最新の「出生動向基本調査」を読む。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具
7	**現代日本の家族　夫婦関係** 事前学修：［30 分］最新の「男女共同参画白書」を読む。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具
8	**現代日本の家族　親子関係** 事前学修：［30 分］最新の「学校基本調査」を読む。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具
9	**現代日本の家族　きょうだい関係** 事前学修：［30 分］前回授業での課題を調べる。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具
10	**現代日本の家族　ケア（１）子育て** 事前学修：［30 分］最新の「少子化社会対策白書」を読む。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具

No	内容	形式	教員
11	**現代日本の家族　ケア（2）介護** 事前学修：［30 分］最新の「高齢社会白書」を読む。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具
12	**ワーク・ライフ・バランス** 事前学修：［30 分］最新の「男女共同参画白書」を読む。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具
13	**社会政策と家族** 事前学修：［30 分］最新の「男女共同参画白書」を読む。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具
14	**社会福祉と家族** 事前学修：［30 分］最新の「厚生労働白書」を読む。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具
15	**まとめ　これからの家族** 事前学修：［30 分］これまでの講義全体のレジュメを復習する。 事後学修：［30 分］授業内容を復習する。	講義	三具

▌教科書
教科書は使用しない。授業時にレジュメおよび資料を配布する。

▌参考書、参考資料等
授業時に紹介する。

▌フィードバックの仕方
筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

▌他の授業科目との関連
「社会学」を履修する（している）ことが望ましい。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み 30 %、定期試験 70 %により評価する。

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に教室で質問を受け付ける。

世界の文化と宗教

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」関係**　**「2」擁護**　**「3」国際貢献**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBSS200**

〇佐藤　眞

▌授業の目的

ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、仏教など世界の宗教について学ぶ。それぞれの宗教の信仰、価値観、人間観などを理解する。それぞれの宗教によって成立した文化や社会の過去と現在についても理解する。

▌到達目標

1. さまざまな宗教的背景、文化的背景を持つ人々を理解することができる。
2. 宗教を持つ人々の価値観、人間観、人生観、社会観などを尊重する態度を持つことができる。
3. 日本人、日本、日本の文化や宗教について考えを深める。

▌学習の進め方

1. 授業展開：
   開講時に配布される冊子に挙げられている世界の文化や宗教に関する項目を学生が調べ、「発表」する。
   発表に関する「討論」によって理解を深める。
   学生の発表後教員によるその宗教の全体像や特徴などの「講義」を聞く。
   毎週授業後に配布される「課題」にその授業に関する内容を記述し、提出する(「宿題」)。
2. 見学：
   いくつかの宗教については、その宗教施設を訪問する(「フィールドワーク」)

※原則、課題提出や遠隔授業方式(Glexa でのオンデマンド型、Teams や Zoom を使用した同時双方向型またはその併用)ですすめます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**宗教と文化の関係を考える** 事前学修：[20 分] 現在までの自分と宗教の関わりについて考える。 事後学修：[30 分] 課題１：配布される「自分自身と宗教文化」に記述、提出。	自宅学習	佐藤
2	**ユダヤ教とその文化(1)「ユダヤ教の聖典」「ユダヤ教の祭儀」「ユダヤ教徒の教え」** 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「ユダヤ教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題２：配布される「ユダヤ教１」に記述、提出。	自宅学習	佐藤
3	**ユダヤ教とその文化(2)「ユダヤ教徒の生活」「シナゴグ」「ユダヤ人と学問・芸術」** 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「ユダヤ教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題３：配布される「ユダヤ教２」に記述、提出。	自宅学習	佐藤
4	**キリスト教とその文化(1)「キリスト教の聖典」「キリスト教の祭儀」「イエス・キリスト」「キリスト教の教え」** 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「キリスト教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題４：配布される「キリスト教１」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
5	**キリスト教とその文化(2)「パウロ」「キリスト教の諸派」「建築としての教会」「キリスト教芸術」** 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「キリスト教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題５：配布される「キリスト教２」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
6	**ユダヤ教のシナゴーグ訪問** 事前学修：[30 分] 授業で学んだことを振り返り、見学時に質問する内容を考え、記録しておく。 事後学修：[30 分] 配布される「見学レポート１」に記述、提出。	フィールドワーク	佐藤
7	**イスラム教とその文化(1)「イスラム教の聖典」「イスラム教の祭儀」「ムハンマド」** 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「イスラム教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題６：配布される「イスラム教１」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤

No	内容	形式	教員
8	**イスラム教と文化(2)「イスラム教徒の生活」「イスラム教の広がり」「イスラム教の諸派」** 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「イスラム教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題７：配布される「イスラム教２」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
9	**イスラム教のモスク訪問** 事前学修：[30 分] 見学時に質問する内容を考え、記録しておく。 事後学修：[30 分] 配布される「見学レポート２」に記述、提出。	フィールドワーク	佐藤
10	**インドの宗教と文化(1)「仏教の教え」「ゴータマ・シッダルーダ」「仏教の広がり」** 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「インドの宗教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題８：配布される「インドの宗教１」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
11	**インドの宗教と文化(2)「ヒンドゥー教」「シーク教」「インドの宗教対立」** 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「インドの宗教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題９：配布される「インドの宗教２」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
12	**アジアの宗教と文化　「中国仏教」「道教」「フィリピンの宗教」「インドネシアの宗教」** 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「アジアの宗教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題１０：配布される「アジアの宗教」に記述。提出。	発表、討論、講義	佐藤
13	**日本の宗教と文化(1)「神道の祭儀」「神道の神・神社」「日本の神話」「国家神道」** 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「日本の宗教」に関して読む。気づいたこと、疑問に思ったことなどを記録して発表後の質問、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題１１：配布される「日本の宗教１」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
14	**日本の宗教と文化(2)「仏教の日本伝来」「遣唐使と仏教」「仏教の諸派とその教え」「檀家制度」「神仏習合」「廃仏毀釈」** 事前学修：[60 分] 配布冊子中の参考文献を図書館で探し「日本の宗教」に関して読む。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題１２：配布される「日本の宗教２」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤
15	**日本の宗教と文化 (3)「天理教」「創価学会」「大本教」「PL 教団」「幸福の科学」「立正佼成会」「世界基督教統一神霊協会」** 事前学修：[30 分] この授業で学んだことを振り返る。前回の授業で疑問に思ったことなどをさらに調べ、討論に備える。 事後学修：[30 分] 課題１３：配布される「日本の宗教３」に記述、提出。	発表、討論、講義	佐藤

▌教科書
使いません。必要な参考図書、辞典等は配布する冊子に記載されています。

▌参考書、参考資料等
必要な図書、資料は配布する冊子に記載されています。

▌フィードバックの仕方
「課題」について次週に振り返りを行います。
「期末レポート」の題材は配布冊子の「レポートタイトル例」を参考に学生が選び、必要ならば助言します。

▌他の授業科目との関連
「基礎ゼミ Ⅰ」、「社会学 Ⅰ」、「国際看護学 Ⅰ」、「国際看護学 Ⅱ」等の科目と関連があります。

▌成績評価の仕方
課題：２０%、　見学レポート：１０%、　発表：２５%、　期末レポート：４５% を総合して評価します。

▌オフィスアワー・研究室等
月曜日：昼休み、３限、５限終了後（４月１２日から７月２６日の間）、水曜日：４限（４月１４日から７月２８日の間）、木曜日：２限、昼休み、５限（４月８日から７月２９日の間）は５５７研究室において。または随時メールで質問を受け付けます。メールアドレス：m.sato@redcross.ac.jp

国際関係論

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」関係**　**「2」連携**　**「3」国際貢献**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBSS150**

○角田　敦彦

▌授業の目的

いま、世界で何が起き、何が問題とされているのか。現代の国際社会の枠組みやシステムについて考え、世界に対する基本的理解を深めることが本授業の目的です。あらゆる個人も国家も、自らの安心安全を希求して行動するとするならば国際社会の行動原理も同様といえるでしょう。本授業ではグローバル化が加速する国際社会の成り立ち、直面する諸問題を「人類への脅威」として捉え、国家の安全保障と人間の安全保障という二つの視点からこれらを考察します。またこうした諸問題の解決に向けての国際機関やＮＧＯ等の活動に対する理解も深めます。

▌到達目標

1. 世界で起きている出来事に関心を抱き、身近な社会との関連性が理解できる。
2. 国際社会の一員としての自覚に基づく国際的な相互依存の構図が理解できる。
3. 地球市民として異文化に対する理解と共感を深めることができる。

▌学習の進め方

授業は、講義のほか質疑、討論を交えて展開する。授業参加学生は世界の現状についての関心と問題意識を高め、積極的な質疑応答、討論を行うことが期待される。疑問については、授業ごとのフィードバックシートにより、科目担当者から回答もしくは授業の中で相互に議論しながら答えを得るよう努める。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス:授業の進め方** **国際関係論とは** 事前学修：［30 分］現代の国際問題について一般的な情報を検索し、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
2	**20 世紀の国際関係の理解** 事前学修：［30 分］二つの世界大戦とその後の冷戦について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
3	**今日の国際関係** 事前学修：［30 分］宗教や文化の衝突による紛争について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［20 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
4	**グローバリゼーションの時代** 事前学修：［30 分］グローバリゼーションとはどのようなものか、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
5	**現代の安全保障** 事前学修：［30 分］安全保障の様々な考え方に関する資料を検索し、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
6	**国際社会における日本の位置づけ** 事前学修：［30 分］日本の外交や安全保障に関する課題をノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
7	**北東アジアの政治と国際関係** 事前学修：［30 分］日本が北東アジアにおいて抱える問題について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
8	**国際関係理論とは？** 事前学修：［30 分］リアリズム、リベラリズムなどの理論について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
9	**国際レジームとグローバル・ガバナンス** 事前学修：［30 分］国際レジームの具体例について検索し、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田

No	内容	形式	教員
10	**リージョナリズムと欧州統合** 事前学修：［30 分］EU など欧州統合の具体例を自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
11	**南北問題** 事前学修：［30 分］南北問題とはどういうものか自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［20 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
12	**地球環境問題** 事前学修：［30 分］現在起こっている地球環境問題について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
13	**非国家アクターの台頭** 事前学修：［30 分］非国家アクターとはどういうものか自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
14	**地球的諸問題に市民社会はどのように貢献できるか** 事前学修：［30 分］市民社会が世界を動かした事例について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
15	**国際・国内紛争の解決** 事前学修：［30 分］紛争解決に重要なアクターについて自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［20 分］講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田

▌教科書
なし。必要の都度提示する。

▌参考書、参考資料等
佐渡友哲、国際関係論、弘文堂、2018

▌フィードバックの仕方
レポートのフィードバックは、提出後７日目以降 21 日以内に、410 研究室にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
赤十字国際活動論、国際看護学、異文化理解等の基礎となる知識を得ることができる。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取組み 20 %　2. 課題・レポートの提出 80 %

▌オフィスアワー・研究室等
①開講期間中の月曜日　② 12:30〜13:00　③ 410 研究室

▌受講上の注意事項
2021 年度に本学で開催される H.E.L.P. 研修会のため、授業内容の一部を振り替えることがある。

日本国憲法

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」擁護**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：**ー**　科目ナンバー：**HBSS101**

○吉田　直正

▌授業の目的

憲法といえども、人間によって作られたという点では他の法規範と異なるところはない。絶対視することなく、また逆に軽視することなく、日本国憲法について考える。

▌到達目標

1. わが国の憲法（日本国憲法はその重要な部分）の全体像が把握できる。
2. 日々の憲法関連報道に対する各自の判断基準が確立できる。
3. 法的思考力が涵養できる。

▌学習の進め方

講義形式で授業を行う。
各時間の最後に質問の時間を設ける。疑問点を解消すること。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**憲法学の対象について** 事前学修：［30 分］教科書 3～6 ページをよく読み、三種類の意味の憲法をノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容の整理と、教科書 14～21 ページをよく読み、その内容をノートにまとめる。	講義	吉田
2	**日本国憲法の成立経緯と前文について** 事前学修：［30 分］教科書 29～34 ページをよく読み、ポツダム宣言受諾から日本国憲法施行に至るまでの主な出来事をノートに書き出す。 事後学修：［30 分］分授業内容の整理と、教科書 34～39 ページをよく読み、日本国憲法の法的正当性をめぐる議論をノートにまとめる。	講義	吉田
3	**象徴天皇制と国民主権** 事前学修：［30 分］教科書 143～150 ページをよく読み、日本国憲法第 1 条をノートに書き写し、自分なりの解釈を書いてみる。 事後学修：［30 分］授業内容の整理と、教科書 143～150 ページをよく読み、皇位継承に伴う儀式の問題点をノートに書き出す。	講義	吉田
4	**天皇の行為について** 事前学修：［30 分］教科書 151～155 ページをよく読み、日本国憲法の規定する 13 の国事行為をノートに書き出し、具体的内容を考える。 事後学修：［30 分］授業内容の整理と、教科書 151～155 ページをよく読み、天皇の行為とされるものをノートにまとめる。	講義	吉田
5	**第 9 条解釈の諸相** 事前学修：［30 分］教科書 51～53 ページをよく読み、日本国憲法第 9 条をノートに書き写し、自分なりの解釈をノートに書いてみる。 事後学修：［30 分］授業内容の整理と、教科書 218～225 ページをよく読み、自衛権の内容をノートにまとめる。	講義	吉田
6	**人権の歴史** 事前学修：［30 分］教科書 54～57 ページをよく読み、自然権、人権、基本権、それぞれの意味をノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容の整理と、18 世紀後半以降から今日までの人権保障の大きな流れをノートにまとめる。	講義	吉田
7	**基本権の種類** 事前学修：［30 分］教科書 58～61 ページをよく読み、憲法の保障する 4 種類の権利とその内容ををノートに書き出す。 事後学修：［30 分］授業内容の整理と、教科書 73～75 ページをよく読み、「公共の福祉」の文言を含む日本国憲法の条文をノートに書き写し、その意味を考える。	講義	吉田

No	内容	形式	教員
8	**社会権の登場** 事前学修：［30 分］教科書 112～129 ページをよく読み、社会権規定が憲法に登場する契機をノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容の整理と、教科書 112～129 ページをよく読み、代表的な生存権訴訟とその概要を自分で調べてノートにまとめる。	講義	吉田
9	**法の下の平等** 事前学修：［30 分］教科書 79～81 ページをよく読み、日本国憲法 14 条をノートに書き写し、自分なりの解釈を書いてみる。 事後学修：［30 分］授業内容の整理と、「アファーマティヴアクション」をめぐる議論を自分で調べて、ノートに書いてみる。	講義	吉田
10	**国民代表原理** 事前学修：［30 分］教科書 44～47 ページをよく読み、「主権」の意味をノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容の整理と、教科書 157～160 ページをよく読み、「国権の最高機関」をどう捉えるかをノートに書き出す。	講義	吉田
11	**議会制と政党制** 事前学修：［30 分］憲法前文と第 43 条をよく読み、日本国憲法では国会議員がどのように位置付けられているかをノートに書き出す。 事後学修：［30 分］授業内容の整理と配付プリントを参考にして、「政党」と「会派」の違いをノートにまとめる。	講義	吉田
12	**両院制** 事前学修：［30 分］教科書 160～164 ページをよく読み、衆議院の優越とされるものをノートに書き出す。 事後学修：［30 分］授業内容の整理と、両院制議会の利点と欠点をノートに書き出す。	講義	吉田
13	**我が国の裁判制度** 事前学修：［30 分］教科書 187～189 ページをよく読み、戦前と戦後の「司法権」の範囲をノートに書き出す。 事後学修：［30 分］授業内容の整理と、教科書 190～195 ページをよく読み、明治初期から今日に至るまでの司法制度改革の契機をノートに書き出す。	講義	吉田
14	**違憲審査制の成立** 事前学修：［30 分］アメリカ建国から南北戦争までの歴史をノートに整理しておくこと。 事後学修：［30 分］講義内容を整理し、配付プリントにアメリカの主な違憲判決を書き込む。	講義	吉田
15	**憲法訴訟** 事前学修：［30 分］教科書 195～198 ページをよく読み、日本国憲法 81 条をノートに書き写し、自分なりの解釈を書くこと。 事後学修：［30 分］授業内容の整理と、教科書 198～201 ページをよく読み、配付プリントから 10 件の法令違憲判決を書き出し、可能ならば裁判所 HP で内容を確認する。	講義	吉田

▌教科書

「プラクティス法学実践教室Ⅱ《憲法編》第 4 版」高乗・奥村編著（成文堂、本体 1,900 円）ISBN978-4-7923-0610-6

▌参考書、参考資料等

適宜指示

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

▌他の授業科目との関連

関係法規との関連性あり。高校社会科各科目の履修内容を確認、整理しておくことが望ましい。

▌成績評価の仕方

定期試験（70 %）　授業への取り組み（30 %）

▌オフィスアワー・研究室等

講義の最後に質問の時間を設ける。

医療と文化

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」変化**　**「2」国際貢献**　**「3」関係**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBSS252**

〇鈴木　勝己

▌授業の目的

医療人類学(medical anthropology)という学問領域があることをご存じでしょうか。医療人類学は、文化人類学(cultural anthropology)という学問をベースに人間の生老病死や健康に関する文化について学ぶ学問です。例えば私たちは健康を害するとわかっているのにどうしてたばこやお酒などを摂取するのでしょうか。私たちは、栄養摂取のためだけに食事をするのではありません。おいしいから食べる、習慣だから食べる、健康になるために食べる、などなどいろいろな理由があります。この様々な理由がまさに文化なのです。

この授業では、私たちの生老病死や健康に関わる文化がどのようなものなのか、考えていく授業を展開します。具体的に扱うテーマは、貧困、婚姻と出産、身体変工、家族、健康生成論、伝統医療、安楽死と尊厳死、仏教看護、エイズ、ALS（筋萎縮性側索硬化症)、介護と虐待などの課題などを通して、私たちの健康に関する文化を考えていきます。どのトピックを掘り下げていくかは、実際の授業の展開によって決めていきます。したがって、ただ授業を聞くだけではなく、関心のある話題については積極的に自分の考えや意見を述べる必要があります。

医療人類学は、対人援助に重要な柔軟な思考を養っていくことができます。これまで私たちが慣れ親しんできた常識とは異なる視点を体得し、看護における異文化を理解したい方、国際医療援助に貢献する看護師を目指す方を歓迎します。

▌到達目標

この授業の具体的な目標は、以下の 3 項目です。

1)異文化の理解：自分たちと異なる文化に生きる人びとを理解し、尊重する想像力を養う
2)ケアマインドの育成：苦しみを抱える人びとに寄り添い、支援していく感性を養う
3)総合的な人間理解：文系・理系の垣根を越えて総合的な人間理解を深めていく

▌学習の進め方

授業内容の感想を記入するミニレポート(200 字程度で可)の作成を求める場合もあります。また、討論を行いますので、その際には積極的な意見提示を求めます。授業の順番は皆さんの興味関心や反応によって変更する場合があります。映像資料を用いる従業では、ドキュメンタリー映像や映画作品から「医療と文化」を考える授業内容になります。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**イントロダクション** 事前学修：[15 分] 看護師を目指す理由を整理しておく。 事後学修：[15 分] 授業の注意事項と内容を確認しておく。	講義＋討論	鈴木勝己
2	**医療人類学総論：医療人類学とはどんな学問か？** 事前学修：[15 分]「医療」、「健康」とはどのようなものか自分の考えを整理しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義＋討論	鈴木勝己
3	**欧米の文化が一番いい？：文化相対主義の可能性** 事前学修：[15 分]「文化相対主義」の意味について調べておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己
4	**伝統医療と医療の歴史** 事前学修：[15 分] 伝統医療のイメージを報告できるように整理しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己
5	**全人的医療モデル：心身症の理解** 事前学修：[15 分]「全人的医療モデル」について調べておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己
6	**社会的苦悩への着目** 事前学修：[15 分] 自分の「社会的苦悩」について報告できるように用意しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己
7	**貧困と病気** 事前学修：[15 分] 日本社会の最新の「貧困線」に関するデータを確認しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己
8	**妊娠・出産と家族** 事前学修：[15 分] 妊娠・出産の適齢がいつであるか自分の考えを整理しておく。 事後学修：[20 分] 授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理(次回授業まで)。	講義	鈴木勝己

No	内容	形式	教員
9	**映像資料その１** 事前学修：［15 分］情報伝達において映像を用いることの長所と短所を整理しておく。 事後学修：［20 分］授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理（次回授業まで）。	講義＋討論	鈴木勝己
10	**映像資料その２** 事前学修：［15 分］映像資料の「論点」が何であるかを読み取り、整理しておく。 事後学修：［20 分］授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理（次回授業まで）。	講義＋討論	鈴木勝己
11	**痛みと身体変工** 事前学修：［15 分］入れ墨・タトゥーの是非について自分の考えを整理しておく。 事後学修：［20 分］授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理（次回授業まで）。	講義	鈴木勝己
12	**超高齢社会と介護：虐待とは何か？** 事前学修：［15 分］介護経験や身近な介護事例について報告できるように整理しておく。 事後学修：［20 分］授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理（次回授業まで）。	講義	鈴木勝己
13	**臨床死生学・デススタディーズの挑戦** 事前学修：［15 分］人間の「生老病死」について考えを整理しておく。 事後学修：［20 分］授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理（次回授業まで）。	講義	鈴木勝己
14	**仏教看護：タイ・エイズホスピス寺院の事例から** 事前学修：［15 分］エイズの感染経路およびスティグマの意味について調べておく。 事後学修：［20 分］授業内容に関するミニレポートの作成および論点の整理（次回授業まで）。	講義	鈴木勝己
15	**まとめ：看護と医療人類学** 事前学修：［60 分］最も関心が高い授業内容を説明できるように総復習し、整理しておく。 事後学修：［60 分］各自で期末試験対策に取り組んでおく。	講義	鈴木勝己

▌教科書

学生の興味や関心によって横断的に文献・参考資料を利用するため、特定の教科書は指定しない。参考文献については下記を参照。必要に応じてコピーを配布する。

▌参考書、参考資料等

・『ヘルマン医療人類学：文化・健康・病い』C. ヘルマン著、金剛出版、2018
・『医療人類学のレッスン』池田光穂・奥野克巳共編著、学陽書房、2007
・「ALS を生きる者の尊厳」若林保子、早稲田大学人間科学部卒業論文、2021

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に口頭および解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

社会学Ⅰ、社会学Ⅱ、家族社会学と関連する。

▌成績評価の仕方

授業への参加態度（30 %）、ミニレポート（30 %）、期末試験（40 %）の三項目を点数化して総合評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

授業の前後に個別の質問や相談、その他の連絡を受け付ける。また、電子メール (educoach646@kurenai.waseda.jp) による質問・連絡も受け付ける。

▌受講上の注意事項

この授業では、単に知識を習得するだけではなく、自分の頭と身体を使って考え、主体的に学ぼうとする意欲が求められる。

数学Ⅰ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」成長**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBNS100**

○山下　龍生

▌授業の目的

近年、多くの分野で統計的なものの見方や統計的手法の必要性が高まっている。この授業では、統計学の基本的な理論を具体的な例を踏まえながら学び、データを客観的に評価できるようになることを目的とする。

▌到達目標

1. 統計学の基本的な考え方を理解し、基本的な計算ができる。
2. データの整理及び要約ができる。
3. 平均・分散・標準偏差の計算と考え方を理解する。

▌学習の進め方

基本的には講義を主体とするが、演習を交えながら理解の定着を図る。
社会情勢を鑑みて、オンラインで開講する可能性あり。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス：** **確率統計の起源と歴史を学び、統計学とはどのような学問であるか、どのように利用されているか学ぶ** 事前学修：［３０分］高校の数学 A 「場合の数・確率」の復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
2	**度数分布とヒストグラム：** **データの特徴をうまく捉える方法を学ぶ** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
3	**平均値：** **統計学でよく利用される平均値について、その捉え方を学ぶ** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
4	**分散と標準偏差：** **データのばらつき具合を知ることができる分散と標準偏差について学ぶ** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
5	**標準偏差の利用：** **株式を例にとって、標準偏差を利用したリスクヘッジを学ぶ** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
6	**正規分布：** **統計学でよく用いられる正規分布について実例を踏まえながら学ぶ** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
7	**正規分布を用いて未来を予測：** **正規分布の知識を使って、統計的に未来を予測する方法を学ぶ** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
8	**まとめ：** **授業で学んだことを復習して、まとめを行う** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生

▌教科書

授業中及び Glexa に配布する資料

▌参考書、参考資料等

小島寛之 (2006)「完全独習　統計学入門」ダイヤモンド社

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは試験後 3 週間以内に行う。その際、口頭での解説または解説資料の配布を用いて行う

▌他の授業科目との関連

2 年次の必修科目「保健統計学」のための基礎知識を学ぶ。数学に苦手意識がある学生に対して積極的に受講を勧める。

▌成績評価の仕方

定期試験 60%、授業への取り組み 40%

▌オフィスアワー・研究室等

質問は講義中、及び講義前後の時間で受け付ける。
また、メールでの問い合わせは下記まで
Mail: yamashita@uitec.ac.jp

▌受講上の注意事項

電卓またはエクセルを使える端末（PC、スマホ）があることが望ましい。
数学が苦手な学生についても、統計の考え方を一から解説するので受講を歓迎する。

数学Ⅱ

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」成長**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBNS150**

○山下　龍生

▌授業の目的

近年、多くの分野で統計的なものの見方や統計的手法の必要性が高まっている。この授業では、統計学の基本的な理論を具体的な例を踏まえながら学び、データを客観的に評価できるようになること、さらに一部のデータから全体を予測することができ、未来に起こることを統計的に推測できるようになることを目的とする。

▌到達目標

1. 統計学の基本的な考え方を理解し、基本的な計算ができる。
2. データの整理及び要約ができる。
3. 区間推定の考え方を理解し、基本的な計算ができる。
4.2 年次必修科目「保健統計学」の受講をスムーズにする。

▌学習の進め方

基本的には講義を主体とするが、演習を交えながら理解の定着を図る。
社会情勢を鑑みて、オンラインで開講する可能性あり。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス：** **主に数学 I の復習を行う。特に標準偏差、正規分布について復習する。** 事前学修：［３０分］高校の数学 A 「場合の数・確率」の復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
2	**仮説検定：** **仮説検定の考え方を学ぶ。** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習）	講義・演習	山下　龍生
3	**区間推定：** **信頼区間を学び、演習を通して考え方を理解する。** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
4	**母集団と統計的推定：** **一部から全体を推定する考え方と方法を学ぶ** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
5	**母分散と母標準偏差：** **母分散と母標準偏差について学び、簡単な例を計算できるようになる。** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
6	**標本平均：** **標本平均について学び、データの平均との関係について学ぶ。** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
7	**正規母集団と標本平均：** **正規分布の標本平均の性質について学ぶ。** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
8	**標本平均と母平均の区間推定：** **母平均や母分散を推定する方法を学ぶ。** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生

No	内容	形式	教員
9	**カイ二乗分布：** **標本分散とカイ二乗分布について学ぶ** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
10	**カイ二乗分布と推定：** **正規母集団の母分散を推定する方法を学ぶ** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
11	**標本分散とカイ二乗分布：** **標本分散とカイ二乗分布の関係について学ぶ** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
12	**母分散と母平均：** **母平均を用いずに母分散を推定する方法を学ぶ** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
13	**t 分布：** **t 分布について学ぶ。** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
14	**t 分布と推定：** **t 分布を用いた推定方法を学ぶ** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生
15	**まとめ：** **授業で学んだことを復習して、まとめを行う** 事前学修：［３０分］前回までの復習 事後学修：［３０分］授業の復習	講義・演習	山下　龍生

▌教科書
授業中及び Glexa に配布する資料

▌参考書、参考資料等
小島寛之 (2006)「完全独習　統計学入門」ダイヤモンド社

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは試験後 3 週間以内に行う。その際、口頭での解説または解説資料の配布を用いて行う。

▌他の授業科目との関連
前期「数学Ｉ」の学習内容に基づき（復習を兼ねる）、2 年次の必修科目「保健統計学」の導入知識を学ぶ。「保健統計学」の履修が不安な学生に対して積極的に受講を勧める。

▌成績評価の仕方
定期試験 60%、授業への取り組み 40%

▌オフィスアワー・研究室等
質問は講義中、及び講義前後の時間で受け付ける。
また、メールでの問い合わせは下記まで
Mail: yamashita@uitec.ac.jp

▌受講上の注意事項
電卓またはエクセルを使える端末（PC、スマホ）があることが望ましい。
数学が苦手な学生についても、統計の考え方を一から解説するので受講を歓迎する。

生物学Ⅰ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBNS101**

〇水野　壮

▌授業の目的

生物学を学んでいくための基礎的な素養を高め、それを活用していく力を養う。

▌到達目標

1．細胞や臓器の構造・機能と循環・消化・呼吸器系との関わりを理解する。
2．生命の情報物質と生命現象が起きるしくみとの関連を理解する。
3．減数分裂と次世代へ情報が受け継がれていくしくみについて理解する。

▌学習の進め方

1．スライドや配布資料による講義・調査・演習を行う。
2．講義後に演習問題やワークシートを配布することで情報整理およびアウトプットを行い、記憶の定着を促す。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**生物学Ⅰの概観、生物学の世界** 事前学修：とくになし 事後学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。	講義	水野
2	**細胞の進化、細胞小器官とそのはたらき** 事前学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。 事後学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。	講義・演習	水野
3	**生命の情報物質とのそのはたらき** 事前学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。 事後学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。	講義・演習	水野
4	**減数分裂と生殖** 事前学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。 事後学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。	講義・演習	水野
5	**体内の循環系・呼吸器系** 事前学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。 事後学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。	講義・演習	水野
6	**体内の情報処理機構①** 事前学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。 事後学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。	講義・演習	水野
7	**体内の情報処理機構②** 事前学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。 事後学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。	講義・演習	水野

No	内容	形式	教員
8	**まとめ、演習** 事前学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。 事後学修：［30 分］授業内容と資料、演習を見返し、講義のポイント、語句の定義、演習で間違えた箇所を学習し直す。	講義・演習	水野

▌教科書
教科書は使用しません。

▌参考書、参考資料等
数研出版社 2018 年　フォトサイエンス「生物図録」、第一学習社 2018 年「スクエア最新図説生物」

▌フィードバックの仕方
フィードバックは各学生の希望があれば、個別にメールなどで行う。

▌他の授業科目との関連
「生物学Ⅱ」のほか、「人体の構造と機能」や「疾病の成り立ちと回復の促進」などの医学系科目を学ぶための基礎的な知識となる。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み 30 %　2. 筆記試験 70 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に教室で質問を受け付ける。随時、電子メールで質問を受け付ける。

▌受講上の注意事項
特になし

生物学Ⅱ

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBNS151**

〇宮﨑　正峰

▌授業の目的

生物がどのように誕生し生命の連続性を保ち、そしてヒトをはじめとする生物へと進化していったのかを学び、生命について考える機会を持つことを目的とします。同化や異化などの生命の維持機能、遺伝の法則等の微視的な分野から動物の行動、コミュニケーション等の巨視的な分野まで広く生物学の基礎を学んでいきます。

▌到達目標

1. 生物の進化を理解する
2. 遺伝の法則などの基本事項を理解する
3. 動物の行動を学びヒトの行動との違いを考える
4. 生物間の相互作用、生態系について考える

▌学習の進め方

1. 授業は講義形式で行いますが、問題や質問を投げかける対話の時間も取り入れて進めます。
2. 毎回、授業時間の前半は板書や配布資料などを用いての授業、後半は該当分野の画像、映像を用いて視覚的にも理解しやすい内容で行います。
3. 授業の中で行われる小課題はその日に学習した事項の演習です。また、その用紙に質問などを記入してもらい、次週に紹介、回答していくことで、復習としての機能、および他の受講者がどのようなことに疑問を感じているかを知り、広く理解を深めることとなります。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**イントロダクション：生命の定義・生物の分類** **～何をもって生物、無生物としているか～** 事前学修：［30 分］生物学Ⅱで学ぶ内容をシラバスを見て把握し、生物学Ⅰやこれまでの自らの生物の学習との相違点などを理解してくること 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑
2	**体細胞分裂と減数分裂** **～細胞分裂には 2 種類ある～** 事前学修：［30 分］授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑
3	**遺伝の法則－親から子へ受け継がれる形質** **～自分は母親似？　父親似？ ～** 事前学修：［30 分］授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑
4	**生命の誕生** **～40 億年前に生命は地球上に誕生した～** 事前学修：［30 分］授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑
5	**生物の進化** **～進化は目に見えないゆっくりとしたスピードで起こっている～** 事前学修：［30 分］授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑
6	**植物ホルモン－屈性** **～植物も動く～** 事前学修：［30 分］授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑

No	内容	形式	教員
7	**植物はどのように季節を感じるか－光周性** **～春に咲く花、秋に咲く花～** 事前学修：［30 分］授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑
8	**動物の行動** **～動物はその場の状況で行動を変える～** 事前学修：［30 分］授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑
9	**群れの利益と不利益** **～群れでいることにはどのような利益があるのか～** 事前学修：［30 分］授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑
10	**動物のコミュニケーション** **～音声だけではないコミュニケーション～** 事前学修：［30 分］授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑
11	**配偶者選択－ヒトと動物の違い** **～どのような基準で自分の相手を選ぶのか～** 事前学修：［30 分］授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑
12	**ヒトのからだ（内分泌、免疫系）** **～体内を安定させておくシステム～** 事前学修：［30 分］授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑
13	**ヒトのからだ（心臓、腎臓、肝臓）** **～主要な臓器のはたらき～** 事前学修：［30 分］授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑
14	**生態系のバランスと保全** **～自然環境の現実～** 事前学修：［30 分］授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑
15	**まとめ** 事前学修：［30 分］授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：［30 分］ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義	宮﨑

▌教科書

教科書は使用しません。

▌参考書、参考資料等

宮崎正峰（2014 年）「ペンギンの不思議」誠文堂新光社

▌フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、ポータルにて解説資料を配布し、ガイダンス期間に成績通知表を配布する際に答案用紙の返却を通じて行う

▌他の授業科目との関連

生物学Ｉを履修しておくことが望ましい。また、「人体の構造と機能」や「疾病の成り立ちと回復の促進」などの医学系科目を学ぶため

の基礎的な知識となる。

▌成績評価の仕方

1. 定期試験 60 %　2. 授業内容に関する課題 20 %　3. 授業への取り組み 20 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業終了後あるいはメールで質問を受け付けます。

▌受講上の注意事項

これまで生物を履修していない人でも理解できるよう基礎から解説していきます。生物学Ⅱは生物学Ⅰの応用というわけではなく学習分野が異なるというものです。生物学Ⅰと生物学Ⅱをあわせて教養としての生物学の基礎全般を学習することができます。生物学Ⅱで学習するのは生物学Ⅰやヒトの体に関する他の科目とは重ならない分野であり、植物、動物に関する事項を中心として学んでいきます。試験では講義での板書を中心とした出題をしますので、しっかりとノートをとることが重要です。また、授業内容に即した映像なども用意していますので、視覚的に学び、感じとるという学習も体験して下さい。動物の行動生態に焦点をあてた専門的な話もしていきますので、ヒトだけではなく動物に興味のある人もぜひ履修して下さい。履修者数にもよりますがキャンパス付近の自然観察などにも出かけて実際に目で見てみるという体験も取り入れていきたいと思います。

化学Ⅰ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBNS102**

〇三好　洋

▌授業の目的

医療関連の専門科目の理解および医療従事者としての業務に必須な化学の基礎的考え方を学ぶ。

▌到達目標

1．医療に関係する物質の性質について化学的に説明できる。
2．水および水溶液について、化学的に説明できる。
3．水溶液の濃度、浸透圧、pH、緩衝液、透析について説明できる

▌学習の進め方

1．パワーポイントによる講義・解説、インターネット上の関連動画サイトの紹介などによって講義を進める。
2．講義内容の要旨・スライドなどは講義の前週に Glexa によって公開する。
3．講義の理解度を確認テストの提出によって行い、確認テストの解説・コメントを Glexa によって理解度の確認をフィードバックする。
4．講義内容は学習の進行状況に応じて変更する場合がある。
5．講義内容に応じた化学的な実演を行う場合がある。
6．講義の最終回には模擬試験を行って理解度の確認を行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**講義内容の概要説明-オリエンテーション、化学の必要性？ -** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［60 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
2	**水-性質・状態・身体と水-** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［60 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる、講義内容の理解度の確認。	講義	三好
3	**元素・原子・分子-融点・沸点、身体の中の分子・物質の状態、酸素と呼吸-** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［60 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
4	**溶液の濃度-溶解、濃度、有効数字、物質量、血糖値、生理食塩水-** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［60 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
5	**溶液の性質-沸点上昇・凝固点降下と滅菌、浸透、脱水、透析-** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［60 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる、講義内容の理解度の確認。	講義	三好
6	**酸と塩基-酸性・塩基性、pH、緩衝液、体液-** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［60 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好

No	内容	形式	教員
7	**これまでのまとめと生体高分子-核酸・糖質・脂質・蛋白質-** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［60 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
8	**模擬試験と解説** 事前学修：［30 分］これまでの講義資料の見直し 事後学修：［30 分］模擬試験解説の見直し	講義	三好

▌教科書

土居 純子 (2017)、栄養科学イラストレイテッド基礎化学、羊土社
教科書のほかに、毎回、講義概要・スライドを Glexa で配布する。

▌参考書、参考資料等

Glexa での講義概要・スライドの配布資料をダウンロードして講義に臨んでください。
さらに深く興味がある学生には参考書・副読本として、下記の成書を推薦する。 参考書・副読本の内容も講義内では紹介する。
野島 高彦（2012）、はじめて学ぶ化学、化学同人

▌フィードバックの仕方

毎回の確認テストのフィードバック・解説は Glexa によって行う。
模擬試験のフィードバックは最終回の講義時間内に行う。

▌他の授業科目との関連

他の授業科目と直結することは困難であるが、人体の構造と機能Ⅲ（生体防御と代謝/生化学、感染）などの生化学・生物系の科目の理解に役立つように生命現象および医療技術に関係する物質の性質を、化学（自然科学）的な考え方で捉えることが出来るように心がけて説明を行う。

▌成績評価の仕方

講義・確認テストへの取り組み 40 %、定期試験 60 %で評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

非常勤講師なので研究室はありませんが、講義中・後でも気軽に質問を受け付けます。
Glexa および電子メール（hmiyoshi@marianna-u.ac.jp）による問い合わせにも応じます。

▌受講上の注意事項

アクティブラーニング的な講義の進め方になっています。講義前に Glexa によって公開する講義概要・スライドに目を通しておくことを推奨します。 高校で「化学基礎」「化学」を学んだ実感がない人にも、身近な例を交えながら医療で必要な化学の考え方と知識を紹介します。可能な限り平易な言葉での授業を心がけますので、「化学アレルギー」のある人こそ選択してください。指定教科書は生命現象および医療技術に繋がる平易な表現が用いられているものを採用しています。講義では教科書の内容よりもさらに看護に役立つ情報に触れるようにします、これまで化学を学んでも「化学なんか役に立たない」と考えていた人にとって有意義な講義にします。

化学Ⅰ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBNS102**

〇三好　洋

▌授業の目的

医療関連の専門科目の理解および医療従事者としての業務に必須な化学の基礎的考え方を学ぶ。

▌到達目標

1．医療に関係する物質の性質について化学的に説明できる。
2．水および水溶液について、化学的に説明できる。
3．水溶液の濃度、浸透圧、pH、緩衝液、透析について説明できる

▌学習の進め方

1．パワーポイントによる講義・解説、インターネット上の関連動画サイトの紹介などによって講義を進める。
2．講義内容の要旨・スライドなどは講義の前週に Glexa によって公開する。
3．講義の理解度を確認テストの提出によって行い、確認テストの解説・コメントを Glexa によって理解度の確認をフィードバックする。
4．講義内容は学習の進行状況に応じて変更する場合がある。
5．講義内容に応じた化学的な実演を行う場合がある。
6．講義の最終回には模擬試験を行って理解度の確認を行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**講義内容の概要説明-オリエンテーション、化学の必要性？ -** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［60 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
2	**水-性質・状態・身体と水-** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［60 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる、講義内容の理解度の確認。	講義	三好
3	**元素・原子・分子-融点・沸点、身体の中の分子・物質の状態、酸素と呼吸-** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［60 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
4	**溶液の濃度-溶解、濃度、有効数字、物質量、血糖値、生理食塩水-** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［60 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
5	**溶液の性質-沸点上昇・凝固点降下と滅菌、浸透、脱水、透析-** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［60 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる、講義内容の理解度の確認。	講義	三好
6	**酸と塩基-酸性・塩基性、pH、緩衝液、体液-** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［60 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好

No	内容	形式	教員
7	**これまでのまとめと生体高分子-核酸・糖質・脂質・蛋白質-** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［60 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
8	**模擬試験と解説** 事前学修：［30 分］これまでの講義資料の見直し 事後学修：［30 分］模擬試験解説の見直し	講義	三好

▌教科書

土居 純子 (2017)、栄養科学イラストレイテッド基礎化学、羊土社
教科書のほかに、毎回、講義概要・スライドを Glexa で配布する。

▌参考書、参考資料等

Glexa での講義概要・スライドの配布資料をダウンロードして講義に臨んでください。
さらに深く興味がある学生には参考書・副読本として、下記の成書を推薦する。 参考書・副読本の内容も講義内では紹介する。
野島 高彦(2012)、はじめて学ぶ化学、化学同人

▌フィードバックの仕方

毎回の確認テストのフィードバック・解説は Glexa によって行う。
模擬試験のフィードバックは最終回の講義時間内に行う。

▌他の授業科目との関連

他の授業科目と直結することは困難であるが、人体の構造と機能Ⅲ(生体防御と代謝/生化学、感染)などの生化学・生物系の科目の理解に役立つように生命現象および医療技術に関係する物質の性質を、化学(自然科学)的な考え方で捉えることが出来るように心がけて説明を行う。

▌成績評価の仕方

講義・確認テストへの取り組み 40 %、定期試験 60 %で評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

非常勤講師なので研究室はありませんが、講義中・後でも気軽に質問を受け付けます。
Glexa および電子メール(hmiyoshi@marianna-u.ac.jp)による問い合わせにも応じます。

▌受講上の注意事項

アクティブラーニング的な講義の進め方になっています。講義前に Glexa によって公開する講義概要・スライドに目を通しておくことを推奨します。 高校で「化学基礎」「化学」を学んだ実感がない人にも、身近な例を交えながら医療で必要な化学の考え方と知識を紹介します。可能な限り平易な言葉での授業を心がけますので、「化学アレルギー」のある人こそ選択してください。指定教科書は生命現象および医療技術に繋がる平易な表現が用いられているものを採用しています。講義では教科書の内容よりもさらに看護に役立つ情報に触れるようにします、これまで化学を学んでも「化学なんか役に立たない」と考えていた人にとって有意義な講義にします。

化学Ⅱ

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBNS152**

〇三好　洋

▌授業の目的

生命現象や医療技術に関する生体関連物質の性質から物事を考えるために必要な化学の基礎的な知識を学ぶ。

▌到達目標

1．細胞内で起こる基本的な化学反応の仕組みを説明できる。
2．生命現象や医療技術に関係する事象について仕組みを自然科学の面から説明できる。
3．生命現象や医療技術に関係する重要化合物の構造と性質・利用法について説明できる。

▌学習の進め方

1．パワーポイントによる講義・解説、インターネット上の関連動画サイトの紹介などによって講義を進める。
2．講義内容の要旨・スライドなどは講義の前週に Glexa によって公開する。
3．講義の理解度を Glexa への確認テストの提出によって行い、確認テストに対して解説・コメントをフィードバックする。受講生はフィードバックから理解度を確認する。
4．講義内容は学習の進行状況に応じて変更する場合がある。
5．講義内容に応じた化学的な実演を行う場合がある。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーションーこの科目で何を学ぶのか？ 原子とは？ 分子とは？ 物質とは？ 量を表す国際ルールー** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［30 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
2	**化学反応と熱エネルギー** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［30 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
3	**物質の性質と状態** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［30 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
4	**酸化と還元** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［30 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
5	**水と溶液** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［30 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
6	**化学反応と化学平衡** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［30 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好

No	内容	形式	教員
7	**透析と浸透圧** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［30 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
8	**化学結合-原子軌道と分子の形** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［30 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
9	**有機化学の世界、有機化合物と性質 1 －アルカン－** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［30 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
10	**有機化合物と性質 2 －アルケン・アルキン－** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［30 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
11	**酸素を含む有機化合物** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［30 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
12	**窒素・ベンゼン環を含む有機化合物** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［30 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
13	**生体高分子の化学 -核酸・タンパク質-** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［30 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
14	**バイオテクノロジー、2032 年の化学** 事前学修：［30 分］Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：［30 分］確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
15	**模擬試験と解説** 事前学修：［30 分］これまでの講義資料の見直し 事後学修：［30 分］模擬試験解説の見直し	講義	三好

▌教科書

毎回、教科書代わりとなる講義に対する資料を Glexa で配布するため教科書は使用しないが、配布資料をダウンロードして臨む必要がある。

▌参考書、参考資料等

講義に対する資料は Glexa で配布するが、さらに深く興味がある学生には参考書・副読本として、下記の成書を推薦する。 参考書・副読本の内容も講義内では紹介する。

野島 高彦(2012)、はじめて学ぶ化学、化学同人

▌フィードバックの仕方

毎回の確認テストのフィードバック・解説は Glexa によって行う。

模擬試験のフィードバックは最終回の講義時間内に行う。

▌他の授業科目との関連

化学Ⅱは、化学Ⅰを土台とした発展的な内容を扱うが、化学Ⅰの未受講者にも問題なく理解ができるように配慮して講義を行う。
化学Ⅱでは、人体の構造と機能Ⅲなどの代謝、生化学、生体防御に関連した科目の理解に役立つように生命現象および医療技術に関係する物質の性質を、化学(自然科学)的な考え方で捉えることが出来るように心がけて説明を行う。

▌成績評価の仕方

講義・確認テストへの取り組み 40 %、定期試験 60 %で評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

非常勤講師なので研究室はありませんが、授業中でも気軽に質問してください。
電子メール(hmiyoshi@marianna-u.ac.jp)による問い合わせにも応じます。

▌受講上の注意事項

高校で「化学基礎」「化学」を学んだ実感がない人にも、我々の身体の細胞、医薬品や医療材料がすべて粒子から成り立っていることが理解出来るように、身近な例を交えながら化学の考え方と知識を講義します。
実演は、実際に教科書で書いてあることを実感できるようなものを用意します。
アクティブラーニング的な講義の進め方になっています。講義前に Glexa によって公開する講義概要・スライドに目を通しておくことを推奨します。可能な限り平易な言葉での授業を心がけますので、「化学アレルギー」のある人こそ選択してください。これまで化学を学んでも「化学なんか役に立たない」と考えていた人にとって有意義な講義にします。

情報学概論

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」関係**　**「3」連携**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBIS150**

○鷹田　佳典、川﨑　洋平

▌授業の目的

情報の意味と伝達について学ぶ。
人間・社会と情報の関わりについて学ぶ。
医療情報処理の基礎について学ぶ。
医療情報の収集方法の基礎について学ぶ。

▌到達目標

情報とは何かを説明できる。
情報社会の特性を説明できる。
医療や看護の提供にあたってどのような情報が必要かを述べることができる。
医療・患者情報の扱いにおけるセキュリティの重要性と医療者の責務について説明できる。

▌学習の進め方

本講義は、第 1〜6 回(担当：鷹田)でわれわれ人間が情報をどのように用い、情報からどのような影響を受けているのかや、メディアやインターネットが発達した現代社会において情報が人間生活とどう関わっているのかについて学ぶ。続く第 7・8 回(担当：川﨑洋平)では、医療・看護と情報の関わりについて学ぶ。
授業は講義形式で進める。
授業終了時に配布する用紙に、授業の重点項目のまとめ、理解度、質問を記入してもらう。次の授業のはじめに、質問に対する回答として補足説明することによって、理解を深める。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**情報とは何か** 事前学修：[30 分] 情報の定義について調べ、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	鷹田
2	**情報を伝える①(死の認識文脈、病名告知)** 事前学修：[30 分] Bad news の伝え方について調べ、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	鷹田
3	**情報を伝える②(メディアの効果)** 事前学修：[30 分] メディアごとの特徴を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	鷹田
4	**情報を見分ける①(流言、フェイクニュース)** 事前学修：[30 分] 真偽が定かではない情報に接したときにどう行動するかを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	鷹田
5	**情報を見極める②(医療情報、情報リテラシー)** 事前学修：[30 分] 医療情報サイトをひとつ選び、その特徴や信頼性などを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す。	講義	鷹田
6	**情報に基づいて決める(意思決定と情報)** 事前学修：[30 分] 普段自分が SNS を使ってどのような情報を発信しているのかを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す。	講義	鷹田
7	**医療情報処理の基礎(医療情報について、情報セキュリティ、データベース 等)** 事前学修：[30 分] 医療情報処理について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す。	講義	川﨑 洋平
8	**医療情報の収集(公的ウェブサイト、文献検索(データベースや種類)、調査方法(調査票 等))** 事前学修：[30 分] 医療情報収集について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返す。	講義	川﨑 洋平

▌教科書
使用しない。必要に応じて資料を配付する。

▌参考書、参考資料等
第 1 回〜第 6 回
北澤京子(2009)『患者のための医療情報収集ガイド』ちくま新書
中山健夫(2008)『健康・医療の情報を読み解く－健康情報学への招待』丸善
富田英典・南田勝也・辻泉編(2007)『デジタルメディア・トレーニング－情報化時代の社会学的思考法』有斐閣選書

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
特になし

▌成績評価の仕方
試験 80%、授業への取り組み 20%

▌オフィスアワー・研究室等
鷹田：Glexa で質問を受け付ける。
川﨑：授業終了後に教室で質問を受け付ける。

情報科学

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBIS250**

○川﨑　洋平

▌授業の目的

保健統計学の授業で学んだ統計手法を実際のデータに適用できるように、コンピュータを用いたデータ解析を学ぶ。

▌到達目標

1. 統計ソフトや EXCEL を用いて、グラフを描いたり、データを要約して、データの特性を把握できる。
2. 解析目的とデータの特性に適する統計手法を選択して、母数に関する推定および検定を行える。
3. 統計ソフトや EXCEL の出力から分析結果を読みとり、解釈できる。

▌学習の進め方

授業の展開：講義と演習を適宜行って、理解を着実にする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**EXCEL 操作の基本：データベースの作成** 事前学修：［30 分］保健統計学の復習、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
2	**EXCEL 操作の基本：データの検索・データの操作** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
3	**１変数のグラフ表現：棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフ** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
4	**１変数の統計量：平均・分散・標準偏差** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
5	**２変数のグラフ表現と統計量：散布図と相関係数** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
6	**回帰直線とその予測** 事前学修：［20 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
7	**度数分布表とヒストグラム** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
8	**いろいろな確率分布とその数表** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
9	**平均の区間推定と比率の区間推定** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
10	**平均の差の検定** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
11	**対応のある平均の差の検定** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
12	**クロス集計表と独立性の検定** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平

No	内容	形式	教員
13	**１元配置の分散分析** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
14	**レポート課題の発表準備** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
15	**レポート課題の発表** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	発表	川崎　洋平

▌教科書
授業で配布する資料

▌参考書、参考資料等
１．石村貞夫・劉晨・石村友二郎（２０１９）. Excel でやさしく学ぶ統計解析２０１９．東京図書
２．石村友二郎・今福恵子・石村貞夫（２０２０）．Excel で学ぶ 医療・看護のための統計入門．東京図書

▌フィードバックの仕方
レポートのフィードバックは、Glexa で行う。

▌他の授業科目との関連
「情報科学」は「保健統計学」の学習内容の理解に基づき、より実際的なデータ解析を扱う。
４年開講科目「研究方法論Ⅲ（量的研究方法論）」では「情報科学」より進んだ統計手法を扱う。

▌成績評価の仕方
レポート７０%、課題への取り組み３０%

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に教室で質問を受け付ける

情報科学

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBIS250**

○川﨑　洋平

▌授業の目的

保健統計学の授業で学んだ統計手法を実際のデータに適用できるように、コンピュータを用いたデータ解析を学ぶ。

▌到達目標

1. 統計ソフトや EXCEL を用いて、グラフを描いたり、データを要約して、データの特性を把握できる。
2. 解析目的とデータの特性に適する統計手法を選択して、母数に関する推定および検定を行える。
3. 統計ソフトや EXCEL の出力から分析結果を読みとり、解釈できる。

▌学習の進め方

授業の展開：講義と演習を適宜行って、理解を着実にする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**EXCEL 操作の基本：データベースの作成** 事前学修：［30 分］保健統計学の復習、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
2	**EXCEL 操作の基本：データの検索・データの操作** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
3	**１変数のグラフ表現：棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフ** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
4	**１変数の統計量：平均・分散・標準偏差** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
5	**２変数のグラフ表現と統計量：散布図と相関係数** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
6	**回帰直線とその予測** 事前学修：［20 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
7	**度数分布表とヒストグラム** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
8	**いろいろな確率分布とその数表** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
9	**平均の区間推定と比率の区間推定** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
10	**平均の差の検定** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
11	**対応のある平均の差の検定** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
12	**クロス集計表と独立性の検定** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平

No	内容	形式	教員
13	**１元配置の分散分析** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
14	**レポート課題の発表準備** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義，演習	川崎　洋平
15	**レポート課題の発表** 事前学修：［30 分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認）、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	発表	川崎　洋平

▌教科書
授業で配布する資料

▌参考書、参考資料等
１．石村貞夫・劉晨・石村友二郎（２０１９）. Excel でやさしく学ぶ統計解析２０１９．東京図書
２．石村友二郎・今福恵子・石村貞夫（２０２０）．Excel で学ぶ 医療・看護のための統計入門．東京図書

▌フィードバックの仕方
レポートのフィードバックは、Glexa で行う。

▌他の授業科目との関連
「情報科学」は「保健統計学」の学習内容の理解に基づき、より実際的なデータ解析を扱う。
４年開講科目「研究方法論Ⅲ（量的研究方法論）」では「情報科学」より進んだ統計手法を扱う。

▌成績評価の仕方
レポート７０%、課題への取り組み３０%

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に教室で質問を受け付ける

保健統計学

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年・編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」成長**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBIS200**

○川﨑　洋平

▌授業の目的

根拠にもとづく医療・看護・保健活動および看護研究において必要な統計学のうち、初等的な統計手法について学ぶ。

▌到達目標

1．要約統計量および表やグラフから情報を読み取れる。
2．データの性質に応じて、初等的な統計手法の中から正しい手法を選択できる。
3．推定と検定の基本概念を説明できる。

▌学習の進め方

授業の展開：講義を主体とするが、演習を適宜行って、理解を着実にする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	**データの種類と代表値** 事前学修：［３０分］高校数学の復習 (高校の数学 A「場合の数・確率」の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
2	**図と表の利用** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
3	**代表的な確率分布** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
4	**相関** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
5	**回帰** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
6	**推定と検定１(基礎)** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
7	**推定と検定２(応用)** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
8	**t 検定１(基礎)** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
9	**t 検定２(応用)** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
10	**順序があるデータの検定** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
11	**分類されたデータの検定** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平

No	内容	形式	教員
12	**人口統計１：人口静態統計** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義・演習	川﨑　洋平
13	**人口統計２：人口動態統計・生命表** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義・演習	川﨑　洋平
14	**保健統計調査１：基幹統計** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義・演習	川﨑　洋平
15	**保健統計調査２：基礎的な統計調査・医療経済統計・疾病障害の定義と分類・情報処理** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義・演習	川﨑　洋平

▌教科書
授業中に配布する資料

▌参考書、参考資料等
１．白戸 亮吉、 鈴木 研太（２００８年）．ていねいな保健統計学．羊土社．
２．大木 秀一（２００８年）．看護統計学入門．第２版．医歯薬出版．

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは、試験実施後に４０７研究室又は Glexa にて、解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
「数学Ⅰ」・「数学Ⅱ」であつかった数学及び統計学の知識があると望ましい。
本科目に引き続いて、２年後期開講科目「情報科学」において統計ソフトを利用したデータ解析を学ぶことができる。
２年次後期開講科目「疫学」では「保健統計学」の内容を理解しておく必要がある。

▌成績評価の仕方
定期試験７０%、授業への取り組み３０%（レポート・演習問題）

▌オフィスアワー・研究室等
質問は講義前後の時間、開講期間中の木曜日１０時～１２時に４０７研究室もしくはオンラインで受け付ける。

▌受講上の注意事項
数式の統計的な意味や考え方の理解に努めること。

保健統計学

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年・編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」成長**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBIS200**

○川﨑　洋平

▌授業の目的

根拠にもとづく医療・看護・保健活動および看護研究において必要な統計学のうち、初等的な統計手法について学ぶ。

▌到達目標

1．要約統計量および表やグラフから情報を読み取れる。
2．データの性質に応じて、初等的な統計手法の中から正しい手法を選択できる。
3．推定と検定の基本概念を説明できる。

▌学習の進め方

授業の展開：講義を主体とするが、演習を適宜行って、理解を着実にする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	**データの種類と代表値** 事前学修：［３０分］高校数学の復習 (高校の数学 A「場合の数・確率」の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
2	**図と表の利用** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
3	**代表的な確率分布** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
4	**相関** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
5	**回帰** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
6	**推定と検定１(基礎)** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
7	**推定と検定２(応用)** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
8	**t 検定１(基礎)** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
9	**t 検定２(応用)** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
10	**順序があるデータの検定** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平
11	**分類されたデータの検定** 事前学修：［３０分］前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：［３０分］授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川﨑　洋平

No	内容	形式	教員
12	**人口統計１：人口静態統計** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義・演習	川﨑　洋平
13	**人口統計２：人口動態統計・生命表** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義・演習	川﨑　洋平
14	**保健統計調査１：基幹統計** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義・演習	川﨑　洋平
15	**保健統計調査２：基礎的な統計調査・医療経済統計・疾病障害の定義と分類・情報処理** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認、問題の解き直し）	講義・演習	川﨑　洋平

▌教科書
授業中に配布する資料

▌参考書、参考資料等
１．白戸 亮吉、 鈴木 研太（２００８年）．ていねいな保健統計学．羊土社．
２．大木 秀一（２００８年）．看護統計学入門．第２版．医歯薬出版．

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは、試験実施後に４０７研究室又は Glexa にて、解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
「数学Ⅰ」・「数学Ⅱ」であつかった数学及び統計学の知識があると望ましい。
本科目に引き続いて、２年後期開講科目「情報科学」において統計ソフトを利用したデータ解析を学ぶことができる。
２年次後期開講科目「疫学」では「保健統計学」の内容を理解しておく必要がある。

▌成績評価の仕方
定期試験７０%、授業への取り組み３０%（レポート・演習問題）

▌オフィスアワー・研究室等
質問は講義前後の時間、開講期間中の木曜日１０時～１２時に４０７研究室もしくはオンラインで受け付ける。

▌受講上の注意事項
数式の統計的な意味や考え方の理解に努めること。

日本語の表現

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」関係**　**「2」探求**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBLS101**

○越後　敬子

▌授業の目的

普段何気なく使っている「日本語」について改めて考えてみよう。この授業では日本語に関するさまざまな知識を身につけ、自己の考えを「ことば」や「文字」で的確に表現できるようにすることを目的とする。

▌到達目標

1．日本語の語彙を増やす。
2．敬意表現を身につけ、正しい話し言葉を習得する。
3．敬意表現を身につけ、正しい書き言葉を習得する。
4．手紙やメールなど、正しい伝達方法を身につける。
5．自分の考えを口頭で述べることができるようにする。

▌学習の進め方

1．授業の前半で「日本語」に関する講義を行い、後半はその内容に基づいた課題に取り組む。
2．課題を提出して採点を受け、自分の日本語運用能力について知り今後に生かす。
3．授業の終盤には、受講生自らがテーマに沿ったスピーチを行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**「日本語検定」にチャレンジ** 事前学修：［30 分］シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、疑問点がなかったかどうか改めて考える。	演習・講義	越後
2	**文の構造①―主語・述語・修飾語・被修飾語―** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
3	**文の構造②―助詞等―** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
4	**敬語・敬意表現①** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
5	**敬語・敬意表現②** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
6	**敬語・敬意表現③** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
7	**手紙の書き方①** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
8	**手紙の書き方②** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後

No	内容	形式	教員
9	**手紙の書き方③** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
10	**メールの書き方** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
11	**日本語弱者について考える①** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
12	**日本語弱者について考える②** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
13	**スピーチ①** 事前学修：［30 分］スピーチの準備をする。 事後学修：［30 分］他者のスピーチについて、良かった点を考える。	講義・演習	越後
14	**スピーチ②** 事前学修：［30 分］スピーチの準備をする。 事後学修：［30 分］他者のスピーチについて、よかった点を考える。	講義・演習	越後
15	**スピーチ③** 事前学修：［30 分］スピーチの準備をする。 事後学修：［30 分］他者のスピーチについて、良かった点を考える。	講義・演習	越後

▌教科書
プリントを配布する。

▌参考書、参考資料等
授業時に適宜紹介する。

▌フィードバックの仕方
提出された課題は、翌週あるいは翌々週の授業時に返却する。

▌他の授業科目との関連
日本語を使用するすべての科目と関連し、今後の大学生活、社会生活全般において必要であろう。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み４０%、課程提出６０%

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に教室で質問を受ける。

▌受講上の注意事項
主体的な参加を希望する。

日本語の表現

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」関係**　**「2」探求**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBLS101**

○越後　敬子

▌授業の目的

普段何気なく使っている「日本語」について改めて考えてみよう。この授業では日本語に関するさまざまな知識を身につけ、自己の考えを「ことば」や「文字」で的確に表現できるようにすることを目的とする。

▌到達目標

1．日本語の語彙を増やす。
2．敬意表現を身につけ、正しい話し言葉を習得する。
3．敬意表現を身につけ、正しい書き言葉を習得する。
4．手紙やメールなど、正しい伝達方法を身につける。
5．自分の考えを口頭で述べることができるようにする。

▌学習の進め方

1．授業の前半で「日本語」に関する講義を行い、後半はその内容に基づいた課題に取り組む。
2．課題を提出して採点を受け、自分の日本語運用能力について知り今後に生かす。
3．授業の終盤には、受講生自らがテーマに沿ったスピーチを行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**「日本語検定」にチャレンジ** 事前学修：［30 分］シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、疑問点がなかったかどうか改めて考える。	演習・講義	越後
2	**文の構造①―主語・述語・修飾語・被修飾語―** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
3	**文の構造②―助詞等―** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
4	**敬語・敬意表現①** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
5	**敬語・敬意表現②** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
6	**敬語・敬意表現③** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
7	**手紙の書き方①** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
8	**手紙の書き方②** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後

No	内容	形式	教員
9	**手紙の書き方③** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
10	**メールの書き方** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
11	**日本語弱者について考える①** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
12	**日本語弱者について考える②** 事前学修：［30 分］配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：［30 分］配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
13	**スピーチ①** 事前学修：［30 分］スピーチの準備をする。 事後学修：［30 分］他者のスピーチについて、良かった点を考える。	講義・演習	越後
14	**スピーチ②** 事前学修：［30 分］スピーチの準備をする。 事後学修：［30 分］他者のスピーチについて、よかった点を考える。	講義・演習	越後
15	**スピーチ③** 事前学修：［30 分］スピーチの準備をする。 事後学修：［30 分］他者のスピーチについて、良かった点を考える。	講義・演習	越後

▌教科書
プリントを配布する。

▌参考書、参考資料等
授業時に適宜紹介する。

▌フィードバックの仕方
提出された課題は、翌週あるいは翌々週の授業時に返却する。

▌他の授業科目との関連
日本語を使用するすべての科目と関連し、今後の大学生活、社会生活全般において必要であろう。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み４０%、課程提出６０%

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に教室で質問を受ける。

▌受講上の注意事項
主体的な参加を希望する。

英語 R1-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS100**

○川﨑　修一

▌授業の目的

学術的な英文を正確に読む。

▌到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

▌学習の進め方

AL

看護・医療だけでなく、言語・心理・コミュニケーションなど、様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Dental Heath During Pregnancy (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
2	**Dental Heath During Pregnancy (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
3	**Why Swearing Is Good For You? (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
4	**Why Swearing Is Good For You? (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
5	**Autism and Theory of Mind (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
6	**Autism and Theory of Mind (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
7	**Language and Woman's Place (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
8	**Language and Woman's Place (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
9	**Mind and Perception (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
10	**Mind and Perception (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
11	**The Pandemic (H1N1) 2009 Virus Vaccine (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
12	**The Pandemic (H1N1) 2009 Virus Vaccine (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑

No	内容	形式	教員
13	**Placebo/Nocebo Effect (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
14	**Placebo/Nocebo Effect (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
15	**Review** 事前学修：［30 分］１～１４回の QUIZ2 の問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：［60 分］スライドに挙げた全てのポイントを復習する。		川﨑

▌教科書
毎回プリントを配布します。

▌参考書、参考資料等
電子辞書を持参して下さい。

▌フィードバックの仕方
全ての小テストのフィードバックは授業最終回に行います。期末試験のフィードバックを希望する場合は、3 週間以内にメールにて連絡して下さい。

▌他の授業科目との関連
なし

▌成績評価の仕方
授業毎の小テストと課題 60 %＋期末試験 40 %

▌オフィスアワー・研究室等
402 研究室　月曜日 13：10 － 16：20

▌受講上の注意事項
＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 R1-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」成長**　**「3」実践**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS100**

〇遠藤　花子

▌授業の目的

『レナードの朝』はオリバー・サックスによって、自らの体験に基づいて書かれた小説です。患者に向き合う上で大切なことや患者と家族の関係など、作品を読むことを通して、英語力だけでなく思考力の向上にもつなげていきます。

▌到達目標

1. 英文を正確に読むことができる。
2. 医療英語の用語や表現を身に付けることができる。
3. 自分の考えをまとめることができる。

▌学習の進め方

1. テキストを読み進めながら、英語の訳読をする。
2. ビデオを鑑賞し、理解を深める。
3. 各チャプターごとの要点をまとめる。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** 事前学修：［15 分］テキストを眺める 事後学修：［15 分］当該範囲を復習する	講義	遠藤
2	**Chapter 1　Encephalitis Lethargica** 事前学修：［60 分］Chapter 1 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
3	**Chapter 2　Bronx, New York** 事前学修：［60 分］Chapter 2 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
4	**Chapter 3　Experimental Drugs** 事前学修：［60 分］Chapter 3 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
5	**Chapter 4　L-dopa** 事前学修：［60 分］Chapter 4 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
6	**Chapter 5　Amantadine** 事前学修：［60 分］Chapter 5 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
7	**Chapter 6　Psychiatric Care Team-members** 事前学修：［60 分］Chapter 6 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
8	**前半のまとめ（小テスト）** 事前学修：［60 分］前半の範囲を復習する 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
9	**Chapter 7　Absence Epilepsy** 事前学修：［60 分］Chapter 7 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
10	**Chapter 8　Tic-like Movements** 事前学修：［60 分］Chapter 8 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
11	**Chapter 9　Euthanasia** 事前学修：［60 分］Chapter 9 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤

No	内容	形式	教員
12	**Chapter 10　US Psychiatric Institutions** 事前学修：［60 分］Chapter 10 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
13	**Chapter 11　Parkinson's Disease** 事前学修：［60 分］Chapter 11 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
14	**Chapter 12　Clinical Trials** 事前学修：［60 分］Chapter 12 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
15	**Chapter 13　Neurological Infections** 事前学修：［60 分］Chapter 13 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤

▌教科書
平井清子編 (2016). Oliver Sack's Awakenings. 南雲堂.

▌参考書、参考資料等
授業内でその都度紹介します。

▌フィードバックの仕方
リフレクション・ペーパーのフィードバックは、最終授業にて、コメントを付して返却をします。試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に 401 研究室にて、試験問題と採点基準の解説を行います。

▌他の授業科目との関連
2 年次に開講される「英 R2-1」「英 R2-2」の基礎的な学習になります。

▌成績評価の仕方
授業への取組み 30 %
リアクションペーパー 30 %
定期試験 40 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室（401）

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参すること。
この授業は指定されたクラスで履修します。

▌その他
HBLS150

英語 R1-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS100**

○川﨑　修一

▌授業の目的

学術的な英文を正確に読む。

▌到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

▌学習の進め方

AL

看護・医療だけでなく、言語・心理・コミュニケーションなど、様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Dental Heath During Pregnancy (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
2	**Dental Heath During Pregnancy (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
3	**Why Swearing Is Good For You? (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
4	**Why Swearing Is Good For You? (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
5	**Autism and Theory of Mind (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
6	**Autism and Theory of Mind (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
7	**Language and Woman's Place (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
8	**Language and Woman's Place (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
9	**Mind and Perception (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
10	**Mind and Perception (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
11	**The Pandemic (H1N1) 2009 Virus Vaccine (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
12	**The Pandemic (H1N1) 2009 Virus Vaccine (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑

No	内容	形式	教員
13	**Placebo/Nocebo Effect (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
14	**Placebo/Nocebo Effect (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
15	**Review** 事前学修：［30 分］１～１４回の QUIZ2 の問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：［60 分］スライドに挙げた全てのポイントを復習する。		川﨑

▌教科書
毎回プリントを配布します。

▌参考書、参考資料等
電子辞書を持参して下さい。

▌フィードバックの仕方
全ての小テストのフィードバックは授業最終回に行います。期末試験のフィードバックを希望する場合は、3 週間以内にメールにて連絡して下さい。

▌他の授業科目との関連
なし

▌成績評価の仕方
授業毎の小テストと課題 60 %＋期末試験 40 %

▌オフィスアワー・研究室等
402 研究室　月曜日 13：10 － 16：20

▌受講上の注意事項
＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 R1-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」成長**　**「3」実践**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS100**

〇遠藤　花子

▌授業の目的

『レナードの朝』はオリバー・サックスによって、自らの体験に基づいて書かれた小説です。患者に向き合う上で大切なことや患者と家族の関係など、作品を読むことを通して、英語力だけでなく思考力の向上にもつなげていきます。

▌到達目標

1. 英文を正確に読むことができる。
2. 医療英語の用語や表現を身に付けることができる。
3. 自分の考えをまとめることができる。

▌学習の進め方

1. テキストを読み進めながら、英語の訳読をする。
2. ビデオを鑑賞し、理解を深める。
3. 各チャプターごとの要点をまとめる。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** 事前学修：［15 分］テキストを眺める 事後学修：［15 分］当該範囲を復習する	講義	遠藤
2	**Chapter 1　Encephalitis Lethargica** 事前学修：［60 分］Chapter 1 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
3	**Chapter 2　Bronx, New York** 事前学修：［60 分］Chapter 2 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
4	**Chapter 3　Experimental Drugs** 事前学修：［60 分］Chapter 3 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
5	**Chapter 4　L-dopa** 事前学修：［60 分］Chapter 4 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
6	**Chapter 5　Amantadine** 事前学修：［60 分］Chapter 5 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
7	**Chapter 6　Psychiatric Care Team-members** 事前学修：［60 分］Chapter 6 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
8	**前半のまとめ（小テスト）** 事前学修：［60 分］前半の範囲を復習する 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
9	**Chapter 7　Absence Epilepsy** 事前学修：［60 分］Chapter 7 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
10	**Chapter 8　Tic-like Movements** 事前学修：［60 分］Chapter 8 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
11	**Chapter 9　Euthanasia** 事前学修：［60 分］Chapter 9 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤

No	内容	形式	教員
12	**Chapter 10　US Psychiatric Institutions** 事前学修：［60 分］Chapter 10 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
13	**Chapter 11　Parkinson's Disease** 事前学修：［60 分］Chapter 11 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
14	**Chapter 12　Clinical Trials** 事前学修：［60 分］Chapter 12 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
15	**Chapter 13　Neurological Infections** 事前学修：［60 分］Chapter 13 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤

▌教科書
平井清子編 (2016). Oliver Sack's Awakenings. 南雲堂.

▌参考書、参考資料等
授業内でその都度紹介します。

▌フィードバックの仕方
リフレクション・ペーパーのフィードバックは、最終授業にて、コメントを付して返却をします。試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に 401 研究室にて、試験問題と採点基準の解説を行います。

▌他の授業科目との関連
2 年次に開講される「英 R2-1」「英 R2-2」の基礎的な学習になります。

▌成績評価の仕方
授業への取組み 30 %
リアクションペーパー 30 %
定期試験 40 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室（401）

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参すること。
この授業は指定されたクラスで履修します。

▌その他
HBLS150

英語 R1-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」成長**　**「3」実践**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS150**

〇遠藤　花子

▌授業の目的

『レナードの朝』はオリバー・サックスによって、自らの体験に基づいて書かれた小説です。患者に向き合う上で大切なことや患者と家族の関係など、作品を読むことを通して、英語力だけでなく思考力の向上にもつなげていきます。

▌到達目標

1. 英文を正確に読むことができる。
2. 医療英語の用語や表現を身に付けることができる。
3. 自分の考えをまとめることができる。

▌学習の進め方

1. テキストを読み進めながら、英語の訳読をする。
2. ビデオを鑑賞し、理解を深める。
3. 各チャプターごとの要点をまとめる。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** 事前学修：［15 分］テキストを眺める 事後学修：［15 分］当該範囲を復習する	講義	遠藤
2	**Chapter 1　Encephalitis Lethargica** 事前学修：［60 分］Chapter 1 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
3	**Chapter 2　Bronx, New York** 事前学修：［60 分］Chapter 2 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
4	**Chapter 3　Experimental Drugs** 事前学修：［60 分］Chapter 3 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
5	**Chapter 4　L-dopa** 事前学修：［60 分］Chapter 4 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
6	**Chapter 5　Amantadine** 事前学修：［60 分］Chapter 5 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
7	**Chapter 6　Psychiatric Care Team-members** 事前学修：［60 分］Chapter 6 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
8	**前半のまとめ（小テストと GW）** 事前学修：［60 分］前半の範囲を復習する 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習、GW	遠藤
9	**Chapter 7　Absence Epilepsy** 事前学修：［60 分］Chapter 7 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
10	**Chapter 8　Tic-like Movements** 事前学修：［60 分］Chapter 8 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
11	**Chapter 9　Euthanasia** 事前学修：［60 分］Chapter 9 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤

No	内容	形式	教員
12	**Chapter 10　US Psychiatric Institutions** 事前学修：［60 分］Chapter 10 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
13	**Chapter 11　Parkinson's Disease** 事前学修：［60 分］Chapter 11 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
14	**Chapter 12　Clinical Trials** 事前学修：［60 分］Chapter 12 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
15	**Chapter 13　Neurological Infections** 事前学修：［60 分］Chapter 13 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤

▌教科書
平井清子編 (2016). Oliver Sack's Awakenings. 南雲堂.

▌参考書、参考資料等
授業内でその都度紹介します。

▌フィードバックの仕方
リフレクション・ペーパーのフィードバックは、最終授業にて、コメントを付して返却をします。試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に 401 研究室にて、試験問題と採点基準の解説を行います。

▌他の授業科目との関連
2 年次に開講される「英 R2-1」「英 R2-2」の基礎的な学習になります。

▌成績評価の仕方
授業への取組み 30 %
リアクションペーパー 30 %
定期試験 40 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室（401）

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参すること。
この授業は指定されたクラスで履修します。

▌その他
HBLS150

英語 R1-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS150**

○川﨑　修一

▌授業の目的

学術的な英文を正確に読む。

▌到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

▌学習の進め方

AL

看護・医療だけでなく、言語・心理・コミュニケーションなど、様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。

履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。

履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Blindness, Deafness, and Language Acquisition (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
2	**Blindness, Deafness, and Language Acquisition (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
3	**Folk Psychology (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
4	**Folk Psychology (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
5	**Myth and Meaning (1)** 事前学修：［60 分］英文を読んで内容を理解する 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する	講義・演習	川﨑
6	**Myth and Meaning (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
7	**Children's Cognitive Development (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
8	**Children's Cognitive Development (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
9	**The Elementary Structures of Kinship (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
10	**The Elementary Structures of Kinship (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
11	**Mental Models (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑

No	内容	形式	教員
12	**Mental Models (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
13	**On Behaviourism (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
14	**On Behaviourism (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
15	**Review** 事前学修：［30 分］１～１４回の QUIZ2 の問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：［60 分］スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川﨑

▌教科書
毎回プリントを配布します。

▌参考書、参考資料等
電子辞書を持参して下さい。

▌フィードバックの仕方
全ての小テストのフィードバックは授業最終回に行います。期末試験のフィードバックを希望する場合は、3 週間以内にメールにて連絡して下さい。

▌他の授業科目との関連
R1-1 を履修して下さい。

▌成績評価の仕方
授業毎の小テストと課題 60 %＋期末試験 40 %。

▌オフィスアワー・研究室等
月曜、火曜、水曜、金曜の昼休み（12:30-13:00）。研究室は 4 階 402 号室。

▌受講上の注意事項
＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 R1-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」成長**　**「3」実践**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS150**

〇遠藤　花子

▌授業の目的

『レナードの朝』はオリバー・サックスによって、自らの体験に基づいて書かれた小説です。患者に向き合う上で大切なことや患者と家族の関係など、作品を読むことを通して、英語力だけでなく思考力の向上にもつなげていきます。

▌到達目標

1. 英文を正確に読むことができる。
2. 医療英語の用語や表現を身に付けることができる。
3. 自分の考えをまとめることができる。

▌学習の進め方

1. テキストを読み進めながら、英語の訳読をする。
2. ビデオを鑑賞し、理解を深める。
3. 各チャプターごとの要点をまとめる。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** 事前学修：［15 分］テキストを眺める 事後学修：［15 分］当該範囲を復習する	講義	遠藤
2	**Chapter 1　Encephalitis Lethargica** 事前学修：［60 分］Chapter 1 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
3	**Chapter 2　Bronx, New York** 事前学修：［60 分］Chapter 2 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
4	**Chapter 3　Experimental Drugs** 事前学修：［60 分］Chapter 3 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
5	**Chapter 4　L-dopa** 事前学修：［60 分］Chapter 4 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
6	**Chapter 5　Amantadine** 事前学修：［60 分］Chapter 5 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
7	**Chapter 6　Psychiatric Care Team-members** 事前学修：［60 分］Chapter 6 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
8	**前半のまとめ（小テストと GW）** 事前学修：［60 分］前半の範囲を復習する 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習、GW	遠藤
9	**Chapter 7　Absence Epilepsy** 事前学修：［60 分］Chapter 7 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
10	**Chapter 8　Tic-like Movements** 事前学修：［60 分］Chapter 8 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
11	**Chapter 9　Euthanasia** 事前学修：［60 分］Chapter 9 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤

No	内容	形式	教員
12	**Chapter 10　US Psychiatric Institutions** 事前学修：［60 分］Chapter 10 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
13	**Chapter 11　Parkinson's Disease** 事前学修：［60 分］Chapter 11 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
14	**Chapter 12　Clinical Trials** 事前学修：［60 分］Chapter 12 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
15	**Chapter 13　Neurological Infections** 事前学修：［60 分］Chapter 13 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：［15 分］テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤

▌教科書
平井清子編 (2016). Oliver Sack's Awakenings. 南雲堂.

▌参考書、参考資料等
授業内でその都度紹介します。

▌フィードバックの仕方
リフレクション・ペーパーのフィードバックは、最終授業にて、コメントを付して返却をします。試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に 401 研究室にて、試験問題と採点基準の解説を行います。

▌他の授業科目との関連
2 年次に開講される「英 R2-1」「英 R2-2」の基礎的な学習になります。

▌成績評価の仕方
授業への取組み 30 %
リアクションペーパー 30 %
定期試験 40 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室（401）

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参すること。
この授業は指定されたクラスで履修します。

▌その他
HBLS150

英語 R1-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS150**

○川﨑　修一

▌授業の目的

学術的な英文を正確に読む。

▌到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

▌学習の進め方

AL

看護・医療だけでなく、言語・心理・コミュニケーションなど、様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。

履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。

履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Blindness, Deafness, and Language Acquisition (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
2	**Blindness, Deafness, and Language Acquisition (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
3	**Folk Psychology (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
4	**Folk Psychology (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
5	**Myth and Meaning (1)** 事前学修：［60 分］英文を読んで内容を理解する 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する	講義・演習	川﨑
6	**Myth and Meaning (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
7	**Children's Cognitive Development (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
8	**Children's Cognitive Development (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
9	**The Elementary Structures of Kinship (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
10	**The Elementary Structures of Kinship (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
11	**Mental Models (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑

No	内容	形式	教員
12	**Mental Models (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
13	**On Behaviourism (1)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
14	**On Behaviourism (2)** 事前学修：［30 分］英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：［30 分］配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川﨑
15	**Review** 事前学修：［30 分］１～１４回の QUIZ2 の問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：［60 分］スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川﨑

▌教科書
毎回プリントを配布します。

▌参考書、参考資料等
電子辞書を持参して下さい。

▌フィードバックの仕方
全ての小テストのフィードバックは授業最終回に行います。期末試験のフィードバックを希望する場合は、3 週間以内にメールにて連絡して下さい。

▌他の授業科目との関連
R1-1 を履修して下さい。

▌成績評価の仕方
授業毎の小テストと課題 60 %＋期末試験 40 %。

▌オフィスアワー・研究室等
月曜、火曜、水曜、金曜の昼休み（12:30-13:00）。研究室は 4 階 402 号室。

▌受講上の注意事項
＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 W1-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」成長**　**「3」関係**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS102**

〇佐藤　眞

▌授業の目的

英語で自分の考えや説明事項を読み手にうまく伝えられるようになる。

▌到達目標

1. 正確な英文を書くことができる。
2. 論理的に物事を考え、英語で書くことができる。
3. 人物、場所の描写を英文で表現できる。

▌学習の進め方

AL

1. 予習プリントを使った事前学習（予習プリントはシステム上で配布される）
2. 教室での教員による説明（ハンドアウトはシステム上で配布される）「講義」
3. 基本的な文の書き方の練習「演習」
4. グループでの作業「演習」
5. 課題の提出（システム上で配布、提出をおこなう）

※原則、課題提出や遠隔授業方式（Glexa でのオンデマンド型、Zoom を使用した同時双方向型またはその併用）ですすめます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** **授業内容や授業方法について説明 / タイピングの練習について** 事前学修：［10 分］自分の使う辞書に「英和辞典」「類語辞典（シソーラス）」が入っているか確認する。 事後学修：［20 分］課題 1: いままでに経験した英作文について記し、提出する。	講義	佐藤
2	**説明を加える１：抽象的な言葉をそのままにしない / 複数の説明を加える** 事前学修：［20 分］タイピングの練習１：指定された練習を行い、結果を提出する。 事後学修：［30 分］課題 2: 与えられた言葉の説明を複数の文を使って行う。	講義・演習	佐藤
3	**説明を加える２：説明を加える際に大切なこと** **辞書を使う１：英和辞典と類義語辞典** 事前学修：［20 分］タイピングの練習２：指定された練習を行い、結果を提出する。 事後学修：［30 分］課題 3: 与えられた文の説明として複数の文を作り提出する。	講義・演習	佐藤
4	**説明を加える３：人物の描写 / 説明をまとまった形にする** 事前学修：［30 分］タイピングの練習３：指定された練習を行い、結果を提出する。 事後学修：［30 分］課題 4:人物の描写をひとつのまとまった形の作文にして提出する。	講義・演習	佐藤
5	**辞書を使う２: ２種類の辞書を使い分ける** 事前学修：［20 分］類語辞典で自分の知っている言葉をいくつか調べてみる。/ タイピングの練習４：指定された練習を行い、結果を提出する。 事後学修：［30 分］課題５:与えられた言葉を類語辞典、英和辞典で調べ提出する。	講義・演習	佐藤
6	**辞書を使う３：辞書を使って言葉の説明をさがす** 事前学修：［20 分］与えられた文中の下線語の意味を類語辞典、英和辞典で調べ、結果を提出する。 / タイピングの練習５：指定された練習を行い、結果を提出する。 事後学修：［30 分］課題 6: 与えられた文に英文を複数書き加えて提出する。	講義・演習	佐藤
7	**動詞の時制：使い分けについて** 事前学修：［20 分］与えられた文の動詞の時制を変えて文を書き直してみる。/ タイピングの練習６：指定された練習を行い、結果を提出する。 事後学修：［30 分］課題 7: 与えられた文の時制に合わせて英文複数を書き加えて提出する。	講義・演習	佐藤

No	内容	形式	教員
8	**数字の読み方、書き方** **ローマ数字について** 事前学修：[20 分] 日本語の数字表現の特徴を考え、提出する。/ タイピングの練習７：指定された練習をおこない、結果を提出する。 事後学修：[30 分] 課題 8: 与えられた数字の読み方を英語で書き提出する。	講義・演習	佐藤
9	**時間を英語で表現する** 事前学修：[20 分] 日本語の時間表現の特徴を考え、提出する。/ タイピングの練習８：指定された練習をおこない、結果を提出する。 事後学修：[30 分] 課題 9: 与えられた時間を英語で書き提出する。	講義・演習	佐藤
10	**場所の描写１：場所の描写に使える言葉** 事前学修：[20 分] 場所を描写する際にどのような側面を描写できるか書き出してみる / タイピングの練習９：指定された練習をおこない、結果を提出する。 事後学修：[30 分] 課題 10: 描写しようと思う場所の特徴を書き提出する。	講義・演習	佐藤
11	**場所の描写２：描写の順序について** 事前学修：[20 分] 描写しようと考えている場所の特徴をどのような順序で説明するか考え、提出する / タイピング練習１０：指定された練習をおこない、結果を提出する。 事後学修：[30 分] 課題１１: 場所を描写する作文のトピックセンテンスを書き提出する。	講義・演習	佐藤
12	**場所の描写３：トピックセンテンスの検討** 事前学修：[20 分] 提出したトピックセンテンスが描こうとしている場所の説明と合うか検討する。/ タイピングの練習１１：指定された練習をおこない、結果を提出する。 事後学修：[30 分] 課題 12: 場所を描写する作文のコンクルージョンを書き提出する。	講義・演習	佐藤
13	**場所の描写４：コンクルージョンの検討** 事前学修：[20 分] 提出したコンクルージョンが描こうとしている場所の説明と合うか検討する。/ タイピング練習１２：指定された練習をおこない、結果を提出する。 事後学修：[60 分] 課題 13: 場所を描写する作文を完成させ提出する。	講義・演習	佐藤
14	**まとめ１：** **今学期学んだことを振り返り、どのような成果があったか考える。** 事前学修：[20 分] 今学期学んだことで大切だと思うことを書き出してみる。 事後学修：[20 分] 課題 14: 今学期学んだ内容のうち「自分に足りない部分」を書き出す。	講義・演習	佐藤
15	**まとめ２：** **課題 14 に含まれている「今学期の自分の足りない部分」にあげた項目について配布済み資料を使って確認したり質問したりすることによって、理解不足の部分を補う。** 事前学修：[20 分] 課題 14 の「自分に足りない部分」が何回目の授業の内容か確認する。 事後学修：[60 分] 授業内容に基づいて「自分に足りない部分」の授業回の内容を振り返る。	講義・演習	佐藤

▌教科書

教科書は使いません。毎回の授業時に配布する”Classwork”に、その日の授業の「説明」「練習問題」などのほかに「事後学修」に相当する ”Assignment”、次の授業の準備である「事前学修」に相当する「課題」などが記されています。

▌参考書、参考資料等

なし

▌フィードバックの仕方

提出された課題は、返却したり、次週の”Classwork”の中で取り上げたり、説明したりします。

▌他の授業科目との関連

「英語 W1-1」で英文を書くことに関する知識を身につけ、「英語 W1-2」でのパラグラフを書くことにつながります。さらに２年次の「英語 W2-1」や「英語 W2-2」で１年次にこの科目で学んだことを発展させます。

▌成績評価の仕方

課題 ４０%、タイピングの成果　２０%、期末レポート（２作文）２０%×２

▌オフィスアワー・研究室等

月曜日：昼休み、３限、５限終了後（４月１３日から７月２０日の間）、水曜日：４限（４月８日から７月２９日の間）、木曜日：２限、昼休み、５限（４月９日から７月２３日の間）は５５７研究室において。または随時メールで質問を受け付けます。メールアドレス：m.sato@redcross.ac.jp

▌受講上の注意事項

＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 W1-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS102**

○ Michelle　van　Bokhorst

▌授業の目的

The aim of this course is to strengthen the English grammar knowledge of the students, to provide them with basic information on writing a (short) paper, and to refine their writing skills through practice.

▌到達目標

By the end of this course, students will be able to write more complex sentences in English, be able to express their ideas better in writing, and will have a better idea on the structure of a paper.

▌学習の進め方

The class consists of a lecture component and a groupwork component. Students are expected to prepare before class, actively participate and contribute during the lecture and group assignments, and to do their homework after class.

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction to the class; writing e-mails** 事前学修：Confirm that you have an e-mail account that can be used for class-related communication 事後学修：Send an e-mail to the teacher with a self-introduction	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
2	**Using dictionaries** 事前学修：[30 分] Open a random English website and find 3 words you don’t understand 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
3	**Writing basics: types of sentences** 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
4	**Writing basics: clauses** 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
5	**Writing basics: tense and aspect** 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
6	**Finding a topic of interest** 事前学修：[30 分] Think about topics you like/don’t like to write about 事後学修：[30 分] Decide on a topic for your paper, complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
7	**The structure of a paper** 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Come up with an outline for your paper	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
8	**Conducting a survey** 事前学修：[30 分] Think of questions for the survey 事後学修：[30 分] Fill out the surveys of your classmates	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
9	**Describing graphs and figures** 事前学修：[30 分] Look at the results of your survey 事後学修：[30 分] Describe the results of your survey, complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
10	**Comparing and contrasting** 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Compare and contrast the results of your survey, complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
11	**Concessions** 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst

No	内容	形式	教員
12	**Linking words** 事前学修：［30 分］Read the materials provided by the teacher 事後学修：［30 分］Write out the results of the survey while using linking words	講義・演習	Michelle van Bokhorst
13	**Writing conclusions** 事前学修：［30 分］Think about the conclusion of your survey 事後学修：［30 分］Write a conclusion of your paper or the survey	講義・演習	Michelle van Bokhorst
14	**Proofreading & peer-review** 事前学修：［30 分］Finish a draft of your paper 事後学修：［30 分］Submit your paper and check your classmate’s paper	講義・演習	Michelle van Bokhorst
15	**Tips & tricks on formatting your paper** 事前学修：［30 分］Review your classmate’s notes and apply them 事後学修：［30 分］Submit your final paper	講義・演習	Michelle van Bokhorst

▌教科書

None. Handouts and other materials will be provided during the class.

▌参考書、参考資料等

Dictionary, smartphone or laptop (if possible).

▌フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

▌他の授業科目との関連

This class will continue as W1-2 in the second semester.

▌成績評価の仕方

20% class participation, 50% assignments, 30% final paper.

▌オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail).
E-mail: mhvanbokhorst[at]gmail.com (replace [at] with @).

▌受講上の注意事項

The class will be conducted in English. The contents of the course might change depending on the students’ ability.

▌その他

＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 W1-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」成長**　**「3」関係**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS102**

〇佐藤　眞

▌授業の目的

英語で自分の考えや説明事項を読み手にうまく伝えられるようになる。

▌到達目標

1. 正確な英文を書くことができる。
2. 論理的に物事を考え、英語で書くことができる。
3. 人物、場所の描写を英文で表現できる。

▌学習の進め方

AL

1. 予習プリントを使った事前学習（予習プリントはシステム上で配布される）
2. 教室での教員による説明（ハンドアウトはシステム上で配布される）「講義」
3. 基本的な文の書き方の練習「演習」
4. グループでの作業「演習」
5. 課題の提出（システム上で配布、提出をおこなう）

※原則、課題提出や遠隔授業方式（Glexa でのオンデマンド型、Zoom を使用した同時双方向型またはその併用）ですすめます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** **授業内容や授業方法について説明 / タイピングの練習について** 事前学修：［10 分］自分の使う辞書に「英和辞典」「類語辞典（シソーラス）」が入っているか確認する。 事後学修：［20 分］課題 1: いままでに経験した英作文について記し、提出する。	講義	佐藤
2	**説明を加える１：抽象的な言葉をそのままにしない / 複数の説明を加える** 事前学修：［20 分］タイピングの練習１：指定された練習を行い、結果を提出する。 事後学修：［30 分］課題 2: 与えられた言葉の説明を複数の文を使って行う。	講義・演習	佐藤
3	**説明を加える２：説明を加える際に大切なこと** **辞書を使う１：英和辞典と類義語辞典** 事前学修：［20 分］タイピングの練習２：指定された練習を行い、結果を提出する。 事後学修：［30 分］課題 3: 与えられた文の説明として複数の文を作り提出する。	講義・演習	佐藤
4	**説明を加える３：人物の描写 / 説明をまとまった形にする** 事前学修：［30 分］タイピングの練習３：指定された練習を行い、結果を提出する。 事後学修：［30 分］課題 4:人物の描写をひとつのまとまった形の作文にして提出する。	講義・演習	佐藤
5	**辞書を使う２: ２種類の辞書を使い分ける** 事前学修：［20 分］類語辞典で自分の知っている言葉をいくつか調べてみる。/ タイピングの練習４：指定された練習を行い、結果を提出する。 事後学修：［30 分］課題５:与えられた言葉を類語辞典、英和辞典で調べ提出する。	講義・演習	佐藤
6	**辞書を使う３：辞書を使って言葉の説明をさがす** 事前学修：［20 分］与えられた文中の下線語の意味を類語辞典、英和辞典で調べ、結果を提出する。 / タイピングの練習５：指定された練習を行い、結果を提出する。 事後学修：［30 分］課題 6: 与えられた文に英文を複数書き加えて提出する。	講義・演習	佐藤
7	**動詞の時制：使い分けについて** 事前学修：［20 分］与えられた文の動詞の時制を変えて文を書き直してみる。/ タイピングの練習６：指定された練習を行い、結果を提出する。 事後学修：［30 分］課題 7: 与えられた文の時制に合わせて英文複数を書き加えて提出する。	講義・演習	佐藤

No	内容	形式	教員
8	**数字の読み方、書き方** **ローマ数字について** 事前学修：[20 分] 日本語の数字表現の特徴を考え、提出する。/ タイピングの練習７：指定された練習をおこない、結果を提出する。 事後学修：[30 分] 課題 8: 与えられた数字の読み方を英語で書き提出する。	講義・演習	佐藤
9	**時間を英語で表現する** 事前学修：[20 分] 日本語の時間表現の特徴を考え、提出する。/ タイピングの練習８：指定された練習をおこない、結果を提出する。 事後学修：[30 分] 課題 9: 与えられた時間を英語で書き提出する。	講義・演習	佐藤
10	**場所の描写１：場所の描写に使える言葉** 事前学修：[20 分] 場所を描写する際にどのような側面を描写できるか書き出してみる / タイピングの練習９：指定された練習をおこない、結果を提出する。 事後学修：[30 分] 課題 10: 描写しようと思う場所の特徴を書き提出する。	講義・演習	佐藤
11	**場所の描写２：描写の順序について** 事前学修：[20 分] 描写しようと考えている場所の特徴をどのような順序で説明するか考え、提出する / タイピング練習１０：指定された練習をおこない、結果を提出する。 事後学修：[30 分] 課題１１: 場所を描写する作文のトピックセンテンスを書き提出する。	講義・演習	佐藤
12	**場所の描写３：トピックセンテンスの検討** 事前学修：[20 分] 提出したトピックセンテンスが描こうとしている場所の説明と合うか検討する。/ タイピングの練習１１：指定された練習をおこない、結果を提出する。 事後学修：[30 分] 課題 12: 場所を描写する作文のコンクルージョンを書き提出する。	講義・演習	佐藤
13	**場所の描写４：コンクルージョンの検討** 事前学修：[20 分] 提出したコンクルージョンが描こうとしている場所の説明と合うか検討する。/ タイピング練習１２：指定された練習をおこない、結果を提出する。 事後学修：[60 分] 課題 13: 場所を描写する作文を完成させ提出する。	講義・演習	佐藤
14	**まとめ１：** **今学期学んだことを振り返り、どのような成果があったか考える。** 事前学修：[20 分] 今学期学んだことで大切だと思うことを書き出してみる。 事後学修：[20 分] 課題 14: 今学期学んだ内容のうち「自分に足りない部分」を書き出す。	講義・演習	佐藤
15	**まとめ２：** **課題 14 に含まれている「今学期の自分の足りない部分」にあげた項目について配布済み資料を使って確認したり質問したりすることによって、理解不足の部分を補う。** 事前学修：[20 分] 課題 14 の「自分に足りない部分」が何回目の授業の内容か確認する。 事後学修：[60 分] 授業内容に基づいて「自分に足りない部分」の授業回の内容を振り返る。	講義・演習	佐藤

▌教科書

教科書は使いません。毎回の授業時に配布する”Classwork”に、その日の授業の「説明」「練習問題」などのほかに「事後学修」に相当する ”Assignment”、次の授業の準備である「事前学修」に相当する「課題」などが記されています。

▌参考書、参考資料等

なし

▌フィードバックの仕方

提出された課題は、返却したり、次週の”Classwork”の中で取り上げたり、説明したりします。

▌他の授業科目との関連

「英語 W1-1」で英文を書くことに関する知識を身につけ、「英語 W1-2」でのパラグラフを書くことにつながります。さらに２年次の「英語 W2-1」や「英語 W2-2」で１年次にこの科目で学んだことを発展させます。

▌成績評価の仕方

課題 ４０%、タイピングの成果　２０%、期末レポート（２作文）２０%×２

▌オフィスアワー・研究室等

月曜日：昼休み、３限、５限終了後（４月１３日から７月２０日の間）、水曜日：４限（４月８日から７月２９日の間）、木曜日：２限、昼休み、５限（４月９日から７月２３日の間）は５５７研究室において。または随時メールで質問を受け付けます。メールアドレス：m.sato@redcross.ac.jp

▌受講上の注意事項

＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 W1-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS102**

○ Michelle　van　Bokhorst

▌授業の目的

The aim of this course is to strengthen the English grammar knowledge of the students, to provide them with basic information on writing a (short) paper, and to refine their writing skills through practice.

▌到達目標

By the end of this course, students will be able to write more complex sentences in English, be able to express their ideas better in writing, and will have a better idea on the structure of a paper.

▌学習の進め方

The class consists of a lecture component and a groupwork component. Students are expected to prepare before class, actively participate and contribute during the lecture and group assignments, and to do their homework after class.

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction to the class; writing e-mails** 事前学修：Confirm that you have an e-mail account that can be used for class-related communication 事後学修：Send an e-mail to the teacher with a self-introduction	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
2	**Using dictionaries** 事前学修：[30 分] Open a random English website and find 3 words you don’t understand 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
3	**Writing basics: types of sentences** 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
4	**Writing basics: clauses** 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
5	**Writing basics: tense and aspect** 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
6	**Finding a topic of interest** 事前学修：[30 分] Think about topics you like/don’t like to write about 事後学修：[30 分] Decide on a topic for your paper, complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
7	**The structure of a paper** 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Come up with an outline for your paper	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
8	**Conducting a survey** 事前学修：[30 分] Think of questions for the survey 事後学修：[30 分] Fill out the surveys of your classmates	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
9	**Describing graphs and figures** 事前学修：[30 分] Look at the results of your survey 事後学修：[30 分] Describe the results of your survey, complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
10	**Comparing and contrasting** 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Compare and contrast the results of your survey, complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
11	**Concessions** 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst

No	内容	形式	教員
12	**Linking words** 事前学修：［30 分］Read the materials provided by the teacher 事後学修：［30 分］Write out the results of the survey while using linking words	講義・演習	Michelle van Bokhorst
13	**Writing conclusions** 事前学修：［30 分］Think about the conclusion of your survey 事後学修：［30 分］Write a conclusion of your paper or the survey	講義・演習	Michelle van Bokhorst
14	**Proofreading & peer-review** 事前学修：［30 分］Finish a draft of your paper 事後学修：［30 分］Submit your paper and check your classmate’s paper	講義・演習	Michelle van Bokhorst
15	**Tips & tricks on formatting your paper** 事前学修：［30 分］Review your classmate’s notes and apply them 事後学修：［30 分］Submit your final paper	講義・演習	Michelle van Bokhorst

▌教科書

None. Handouts and other materials will be provided during the class.

▌参考書、参考資料等

Dictionary, smartphone or laptop (if possible).

▌フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

▌他の授業科目との関連

This class will continue as W1-2 in the second semester.

▌成績評価の仕方

20% class participation, 50% assignments, 30% final paper.

▌オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail).
E-mail: mhvanbokhorst[at]gmail.com (replace [at] with @).

▌受講上の注意事項

The class will be conducted in English. The contents of the course might change depending on the students’ ability.

▌その他

＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 W1-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」成長**　**「3」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBLS151**

〇佐藤　眞

▌授業の目的

英語のパラグラフ（段落）の概念を理解して英語でまとまった文章を書き、自分の考えや何かに関する説明を論理的かつ説得力のあるものにする。

▌到達目標

1. パラグラフの理解に基づいて英文を書くことができる。
2. 論理的に英語の段落を構成できる。
3. 説得力のある説明を英語で書くことができる。

▌学習の進め方

AL

1. 予習（前の週に配布される課題に含まれている）
2. 授業中に配布される資料”Classwork”を使った教員による説明（講義）
3. ”Classwork”に含まれている練習問題、グループでの討論を通して理解（演習）
4. パラグラフの一部を英語で書いてみる（演習）
5. 配布される課題を授業終了後におこない提出する

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction：** **前学期の授業内容を振り返り、今学期の目標、課題などを考える。** 事前学修：［20 分］前期の全ての英語科目での成果を考え、書き出す。 事後学修：［20 分］課題１:自分が「英語 W １－１」で学んだ項目を書き出す		佐藤
2	**What Is Paragraph?** **パラグラフの定義などパラグラフについて学ぶ** 事前学修：［20 分］自分が「英語 W １－２」で学ぶべき項目を考え、書き出す。 事後学修：［30 分］課題２:パラグラフに関する質問に答え 、提出する。	講義・演習	佐藤
3	**Unity and Coherence** **パラグラフを成立させるために大切な「統一性」と「一貫性」について学ぶ** 事前学修：［20 分］課題２に含まれている「統一性」 と「一貫性」に関する質問に答えて、提出する。 事後学修：［30 分］課題３: 与えられたパラグラフの「統一性」と「一貫性」に関する質問に答え、提出する。	講義・演習	佐藤
4	**Topic Sentence（１回目）** **トピックセンテンスについて学ぶ** 事前学修：［20 分］課題３で与えられたパラグラフのトピックセンテンスに関する質問に答え、提出する。 事後学修：［30 分］課題４: 与えられた本文にトピックセンテンスを書き、提出する。	講義・演習	佐藤
5	**Topic Sentence（２回目）** **本文に合ったトピックセンテンスを書く** 事前学修：［20 分］課題４に含まれるいくつかのトピックセンテンスに関する質問に答え、提出する。 事後学修：［30 分］課題５: 与えられたいくつかのトピックセンテンスを直して適切な文にして、提出する。	講義・演習	佐藤
6	**Process（１回目）** **何かの「作り方」、「やり方」の説明をするパラグラフについて学ぶ** 事前学修：［20 分］日本語で何かの「作り方」や「やり方」を説明するときに何に気を付けるか書き出す。 事後学修：［30 分］課題６: 与えられたいくつかの文を並べ替えてプロセスのパラグラフにして、提出する。	講義・演習	佐藤

No	内容	形式	教員
7	**Process（２回目）** **実際にプロセスのパラグラフを段階を追って書く** 事前学修：[20 分] 自分で説明したい何かの「作り方」、「やり方」をいくつかあげ、書き出す。 事後学修：[30 分] 課題７: 自分が説明するプロセスの作文のトピックセンテンスを書き、提出する。	講義・演習	佐藤
8	**Process（３回目）** **トピックセンテンスを検討し、本文の構成、内容などを考える** 事前学修：[20 分] 自分が説明するプロセスの「段階数」や「本文の内容」を考える。 事後学修：[60 分] Assignment 8: プロセスの作文を完成させ、提出する。	講義・演習	佐藤
9	**Comparison and Contrast（１回目）** **「類似」と「対比」の作文の書き方などについて学ぶ** 事前学修：[30 分] Comparison と Contrast の両語の意味を辞書を使って調べ、書き出す。 事後学修：[30 分] 課題９: 比較の作文に関する質問に答えながら自分の題材を決め、提出する。	講義・演習	佐藤
10	**Comparison and Contrast（２回目）** **作文の適切な題材、内容などについて学ぶ** 事前学修：[20 分] 自分の題材に合った本文の構成、内容を考え、書き出す。 事後学修：[30 分] 課題１０: 自分の題材に合ったトピックセンテンスを書き、提出する。	講義・演習	佐藤
11	**Comparison and Contrast（３回目）** **トピックセンテンスを検討し、本文の構成、内容などについて考える** 事前学修：[20 分] 自分の題材の本文（構成、説明など）と結論を考え、メモを作る。 事後学修：[60 分] 課題１１: Comparison and Contrast の作文を完成させ、提出する。	講義・演習	佐藤
12	**Chronology（１回目）** **クロノロジーの作文の適した題材、構成などについて学ぶ** 事前学修：[20 分] 時間の経過を伴う題材を考え、いくつか書き出す。 事後学修：[30 分] 課題１２: 自分の考えた題材を検討し、時間の経過に沿った項目を考え、コンクルージョンと共に提出する。	講義・演習	佐藤
13	**Chronology（２回目）** **コンクルージョンを検討し、適切な内容になっているかなどを検討する** 事前学修：[20 分] 提出したコンクルージョンが本文の構成、内容などに合致するか考え、問題点などを書き出す。 事後学修：[30 分] 課題１３: 自分の題材を再検討し、題材を決め、トピックセンテンス、構成、内容などを記入して提出する。	講義・演習	佐藤
14	**Chronology（３回目）** **トピックセンテンスを本文の構成と照らし合わせて検討する** 事前学修：[30 分] 題材を決め、トピックセンテンス、構成、内容などを記入して提出する。 事後学修：[60 分] 課題１４: クロノロジーの作文を完成させ、提出する。	講義・演習	佐藤
15	**まとめ：今学期学んだ内容を確認する。** 事前学修：[30 分] 今学期学んだことを考え、「できたこと」と「できなかったこと」を書き出してみる。 事後学修：[30 分] 授業で確認した「今学期のまとめ」を基に、再度「できたこと」と「できなかったこと」を書き出してみる。		佐藤

▌教科書

教科書は使いません。毎週配布する”Classwork”にその日に学ぶ項目、説明などが記されています。

▌参考書、参考資料等

なし

▌フィードバックの仕方

毎週の課題は返却したり、次の週の”Classwork”の中で振り返ったり、学生の討論の材料にしたりします。また提出してもらう完成した３つの作文は添削して返却します。

▌他の授業科目との関連

２年次の「英語 W ２－１」や「英語 W ２－２」の基礎となる科目です。

▌成績評価の仕方

提出する「課題」(Assignment)：４０％
提出する作文：Process（２０％）、Comparison and Contrast（２０％）、Chronology（２０％）

▌オフィスアワー・研究室等

月曜日：昼休み、３限、５限終了後（４月１３日から７月２０日の間）、水曜日：４限（４月８日から７月２９日の間）、木曜日：２限、昼休み、５限（４月９日から７月２３日の間）は５５７研究室において。または随時メールで質問を受け付けます。メールアドレス：m.sato@redcross.ac.jp

▌受講上の注意事項

毎回、必ず「辞書」を持参してください。
＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 W1-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS151**

○ Michelle　van　Bokhorst

▌授業の目的

The purpose of this class is to provide students with knowledge on academic language and academic papers, and to guide them into writing their own essay.

▌到達目標

By the end of this course, students will be able to find and use academic sources related to their topic, organize their writing into logically organized paragraphs, and incorporate elements of academic style in their writing.

▌学習の進め方

The class consists of a lecture component and a groupwork component. Students are expected to prepare before class, actively participate and contribute during the lecture and group assignments, and to do their homework after class.

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Review of last semester** 事前学修：Go through your notes of last semester 事後学修：Complete the assignment	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
2	**Finding and evaluating sources** 事前学修：Think of a broad topic you want to research 事後学修：Find at least two sources and narrow down your topic	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
3	**Types of essays** 事前学修：Read the materials provided by the teacher 事後学修：Submit your topic idea	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
4	**Creating an outline; academic writing style** 事前学修：Review the topic for your essay 事後学修：Write an outline of your essay	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
5	**Structure of a paragraph** 事前学修：Read the materials provided by the teacher 事後学修：Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
6	**Paraphrasing and in-text citation** 事前学修：Choose a specific part of one of your sources to use in your essay 事後学修：Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
7	**Title and the introduction section** 事前学修：Revise the outline of your paper 事後学修：Write your introduction section	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
8	**The body and conclusion section** 事前学修：Organize your information for the body of your essay 事後学修：Start writing the body section	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
9	**Narrative and descriptive essays** 事前学修：Read the materials provided by the teacher 事後学修：Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
10	**Argumentative essays** 事前学修：Read the materials provided by the teacher 事後学修：Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
11	**Cause and effect essays** 事前学修：Read the materials provided by the teacher 事後学修：Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
12	**Process essays** 事前学修：Read the materials provided by the teacher 事後学修：Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst

No	内容	形式	教員
13	**Compare and contrast essays** 事前学修：Read the materials provided by the teacher 事後学修：Complete the handout	講義・演習	Michelle van Bokhorst
14	**References** 事前学修：Collect the sources you are using in your essay 事後学修：Make a list of your references in APA style	講義・演習	Michelle van Bokhorst
15	**Analysis of an essay** 事前学修：Finish a draft of your essay, prepare questions for the final class 事後学修：Submit your final essay	講義・演習	Michelle van Bokhorst

▌教科書

None. Handouts and other materials will be provided during the class.

▌参考書、参考資料等

Dictionary, smartphone or laptop (if possible).

▌フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

▌他の授業科目との関連

This class is a continuation of W1-1.

▌成績評価の仕方

20% class participation, 50% assignments, 30% final paper.

▌オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail).
E-mail: mhvanbokhorst[at]gmail.com (replace [at] with @).

▌受講上の注意事項

The class will be conducted in English. The contents of the course might change depending on the students' ability.

▌その他

＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 W1-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」成長**　**「3」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBLS151**

〇佐藤　眞

▌授業の目的

英語のパラグラフ（段落）の概念を理解して英語でまとまった文章を書き、自分の考えや何かに関する説明を論理的かつ説得力のあるものにする。

▌到達目標

1. パラグラフの理解に基づいて英文を書くことができる。
2. 論理的に英語の段落を構成できる。
3. 説得力のある説明を英語で書くことができる。

▌学習の進め方

AL

1. 予習（前の週に配布される課題に含まれている）
2. 授業中に配布される資料”Classwork”を使った教員による説明（講義）
3. ”Classwork”に含まれている練習問題、グループでの討論を通して理解（演習）
4. パラグラフの一部を英語で書いてみる（演習）
5. 配布される課題を授業終了後におこない提出する

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction：** **前学期の授業内容を振り返り、今学期の目標、課題などを考える。** 事前学修：［20 分］前期の全ての英語科目での成果を考え、書き出す。 事後学修：［20 分］課題１:自分が「英語 W １－１」で学んだ項目を書き出す		佐藤
2	**What Is Paragraph?** **パラグラフの定義などパラグラフについて学ぶ** 事前学修：［20 分］自分が「英語 W １－２」で学ぶべき項目を考え、書き出す。 事後学修：［30 分］課題２:パラグラフに関する質問に答え 、提出する。	講義・演習	佐藤
3	**Unity and Coherence** **パラグラフを成立させるために大切な「統一性」と「一貫性」について学ぶ** 事前学修：［20 分］課題２に含まれている「統一性」 と「一貫性」に関する質問に答えて、提出する。 事後学修：［30 分］課題３: 与えられたパラグラフの「統一性」と「一貫性」に関する質問に答え、提出する。	講義・演習	佐藤
4	**Topic Sentence（１回目）** **トピックセンテンスについて学ぶ** 事前学修：［20 分］課題３で与えられたパラグラフのトピックセンテンスに関する質問に答え、提出する。 事後学修：［30 分］課題４: 与えられた本文にトピックセンテンスを書き、提出する。	講義・演習	佐藤
5	**Topic Sentence（２回目）** **本文に合ったトピックセンテンスを書く** 事前学修：［20 分］課題４に含まれるいくつかのトピックセンテンスに関する質問に答え、提出する。 事後学修：［30 分］課題５: 与えられたいくつかのトピックセンテンスを直して適切な文にして、提出する。	講義・演習	佐藤
6	**Process（１回目）** **何かの「作り方」、「やり方」の説明をするパラグラフについて学ぶ** 事前学修：［20 分］日本語で何かの「作り方」や「やり方」を説明するときに何に気を付けるか書き出す。 事後学修：［30 分］課題６: 与えられたいくつかの文を並べ替えてプロセスのパラグラフにして、提出する。	講義・演習	佐藤

No	内容	形式	教員
7	**Process（２回目）** **実際にプロセスのパラグラフを段階を追って書く** 事前学修：[20 分] 自分で説明したい何かの「作り方」、「やり方」をいくつかあげ、書き出す。 事後学修：[30 分] 課題７: 自分が説明するプロセスの作文のトピックセンテンスを書き、提出する。	講義・演習	佐藤
8	**Process（３回目）** **トピックセンテンスを検討し、本文の構成、内容などを考える** 事前学修：[20 分] 自分が説明するプロセスの「段階数」や「本文の内容」を考える。 事後学修：[60 分] Assignment 8: プロセスの作文を完成させ、提出する。	講義・演習	佐藤
9	**Comparison and Contrast（１回目）** **「類似」と「対比」の作文の書き方などについて学ぶ** 事前学修：[30 分] Comparison と Contrast の両語の意味を辞書を使って調べ、書き出す。 事後学修：[30 分] 課題９: 比較の作文に関する質問に答えながら自分の題材を決め、提出する。	講義・演習	佐藤
10	**Comparison and Contrast（２回目）** **作文の適切な題材、内容などについて学ぶ** 事前学修：[20 分] 自分の題材に合った本文の構成、内容を考え、書き出す。 事後学修：[30 分] 課題１０: 自分の題材に合ったトピックセンテンスを書き、提出する。	講義・演習	佐藤
11	**Comparison and Contrast（３回目）** **トピックセンテンスを検討し、本文の構成、内容などについて考える** 事前学修：[20 分] 自分の題材の本文（構成、説明など）と結論を考え、メモを作る。 事後学修：[60 分] 課題１１: Comparison and Contrast の作文を完成させ、提出する。	講義・演習	佐藤
12	**Chronology（１回目）** **クロノロジーの作文の適した題材、構成などについて学ぶ** 事前学修：[20 分] 時間の経過を伴う題材を考え、いくつか書き出す。 事後学修：[30 分] 課題１２: 自分の考えた題材を検討し、時間の経過に沿った項目を考え、コンクルージョンと共に提出する。	講義・演習	佐藤
13	**Chronology（２回目）** **コンクルージョンを検討し、適切な内容になっているかなどを検討する** 事前学修：[20 分] 提出したコンクルージョンが本文の構成、内容などに合致するか考え、問題点などを書き出す。 事後学修：[30 分] 課題１３: 自分の題材を再検討し、題材を決め、トピックセンテンス、構成、内容などを記入して提出する。	講義・演習	佐藤
14	**Chronology（３回目）** **トピックセンテンスを本文の構成と照らし合わせて検討する** 事前学修：[30 分] 題材を決め、トピックセンテンス、構成、内容などを記入して提出する。 事後学修：[60 分] 課題１４: クロノロジーの作文を完成させ、提出する。	講義・演習	佐藤
15	**まとめ：今学期学んだ内容を確認する。** 事前学修：[30 分] 今学期学んだことを考え、「できたこと」と「できなかったこと」を書き出してみる。 事後学修：[30 分] 授業で確認した「今学期のまとめ」を基に、再度「できたこと」と「できなかったこと」を書き出してみる。		佐藤

▌教科書

教科書は使いません。毎週配布する”Classwork”にその日に学ぶ項目、説明などが記されています。

▌参考書、参考資料等

なし

▌フィードバックの仕方

毎週の課題は返却したり、次の週の”Classwork”の中で振り返ったり、学生の討論の材料にしたりします。また提出してもらう完成した３つの作文は添削して返却します。

▌他の授業科目との関連

２年次の「英語 W ２－１」や「英語 W ２－２」の基礎となる科目です。

▌成績評価の仕方

提出する「課題」(Assignment)：４０％
提出する作文：Process（２０％）、Comparison and Contrast（２０％）、Chronology（２０％）

▌オフィスアワー・研究室等

月曜日：昼休み、３限、５限終了後（４月１３日から７月２０日の間）、水曜日：４限（４月８日から７月２９日の間）、木曜日：２限、昼休み、５限（４月９日から７月２３日の間）は５５７研究室において。または随時メールで質問を受け付けます。メールアドレス：m.sato@redcross.ac.jp

▌受講上の注意事項

毎回、必ず「辞書」を持参してください。
＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 W1-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS151**

○ Michelle　van　Bokhorst

▌授業の目的

The purpose of this class is to provide students with knowledge on academic language and academic papers, and to guide them into writing their own essay.

▌到達目標

By the end of this course, students will be able to find and use academic sources related to their topic, organize their writing into logically organized paragraphs, and incorporate elements of academic style in their writing.

▌学習の進め方

The class consists of a lecture component and a groupwork component. Students are expected to prepare before class, actively participate and contribute during the lecture and group assignments, and to do their homework after class.

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Review of last semester** 事前学修：Go through your notes of last semester 事後学修：Complete the assignment	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
2	**Finding and evaluating sources** 事前学修：Think of a broad topic you want to research 事後学修：Find at least two sources and narrow down your topic	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
3	**Types of essays** 事前学修：Read the materials provided by the teacher 事後学修：Submit your topic idea	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
4	**Creating an outline; academic writing style** 事前学修：Review the topic for your essay 事後学修：Write an outline of your essay	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
5	**Structure of a paragraph** 事前学修：Read the materials provided by the teacher 事後学修：Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
6	**Paraphrasing and in-text citation** 事前学修：Choose a specific part of one of your sources to use in your essay 事後学修：Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
7	**Title and the introduction section** 事前学修：Revise the outline of your paper 事後学修：Write your introduction section	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
8	**The body and conclusion section** 事前学修：Organize your information for the body of your essay 事後学修：Start writing the body section	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
9	**Narrative and descriptive essays** 事前学修：Read the materials provided by the teacher 事後学修：Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
10	**Argumentative essays** 事前学修：Read the materials provided by the teacher 事後学修：Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
11	**Cause and effect essays** 事前学修：Read the materials provided by the teacher 事後学修：Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
12	**Process essays** 事前学修：Read the materials provided by the teacher 事後学修：Complete the handout	講義・演習	Michelle　van Bokhorst

No	内容	形式	教員
13	**Compare and contrast essays** 事前学修：Read the materials provided by the teacher 事後学修：Complete the handout	講義・演習	Michelle van Bokhorst
14	**References** 事前学修：Collect the sources you are using in your essay 事後学修：Make a list of your references in APA style	講義・演習	Michelle van Bokhorst
15	**Analysis of an essay** 事前学修：Finish a draft of your essay, prepare questions for the final class 事後学修：Submit your final essay	講義・演習	Michelle van Bokhorst

▌教科書

None. Handouts and other materials will be provided during the class.

▌参考書、参考資料等

Dictionary, smartphone or laptop (if possible).

▌フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

▌他の授業科目との関連

This class is a continuation of W1-1.

▌成績評価の仕方

20% class participation, 50% assignments, 30% final paper.

▌オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail).
E-mail: mhvanbokhorst[at]gmail.com (replace [at] with @).

▌受講上の注意事項

The class will be conducted in English. The contents of the course might change depending on the students' ability.

▌その他

＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 LS1-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS103**

○ Benjamin Tutcher

▌授業の目的

The purpose of this course is to equip students with valuable language skills in common environments and situations.

▌到達目標

In this course students will learn to communicate their opinions and ideas in English. The course specifically targets improvements in their ability to understand and verbally interact in English.

▌学習の進め方

This is an English course that focuses on a wide variety of activities and subjects in order to increase students' use and appreciation of English as a means to understand and interact with a modern global community and simultaneously learn more about themselves.
※ In principle, the course will be conducted using distance-teaching methods (on-demand learning in Glexa or/and simultaneous, interactive classes by Teams and/or Zoom), and will require assignment submission.

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Course orientation and introductions.** 事前学修：［30 分］Familiarize yourselves with the teacher and class. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
2	**Getting to know you.** 事前学修：［30 分］Prepare classroom questions. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
3	**Unit 1: food.** 事前学修：［30 分］Preview Unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review new language.	講義・演習	Tutcher
4	**Show and tell.** 事前学修：［30 分］Prepare relevant item and English. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
5	**Unit 2: Festivals** 事前学修：［30 分］Preview unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review new language.	講義・演習	Tutcher
6	**English activity design.** 事前学修：［30 分］Consider themes and English for an English game. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
7	**Unit 3: Cities.** 事前学修：［30 分］Preview unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review new language.	講義・演習	Tutcher
8	**Presentation preparation.** 事前学修：［30 分］Consider possible topics for a presentation. 事後学修：［30 分］Continue presentation preparation.	講義・演習	Tutcher
9	**Presentation preparation.** 事前学修：［30 分］Continue presentation preparation. 事後学修：［30 分］Continue preparation for presentation.	講義・演習	Tutcher
10	**Presentations.** 事前学修：［30 分］Continue working on presentation. 事後学修：［30 分］Review presentation performance and content.	講義・演習	Tutcher
11	**Unit 4: Jobs.** 事前学修：［30 分］Preview Unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review any new language.	講義・演習	Tutcher

No	内容	形式	教員
12	**Health and medicine.** 事前学修：［30 分］Prepare English related to medical situations. 事後学修：［30 分］Review any new language.	講義・演習	Tutcher
13	**Unit 5: Music.** 事前学修：［30 分］Preview unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
14	**Review and test preparation.** 事前学修：［30 分］Review course content. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
15	**Test.** 事前学修：［30 分］Study for the test. 事後学修：［30 分］Review everything.	試験	Tutcher

▌教科書
Inspire 2
Cengage Learning

▌参考書、参考資料等
None

▌フィードバックの仕方
The teacher will address all feedback issues and requests in class time. The teacher can also be contacted through email.

▌他の授業科目との関連
この授業は、「英語 LS1-2」へ続くコースです。

▌成績評価の仕方
40% participation
30% presentation
30% final test

▌オフィスアワー・研究室等
I can be contacted at this address: benjamin_tutcher@hotmail.com

▌受講上の注意事項
＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 LS1-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS103**

○ Sam Bamkin

▌授業の目的

To provide students the opportunity to use English on popular topics.
To increase comfort and skill in using English in everyday situations.

▌到達目標

Students will be able to speak using understandable English in a variety of situations.
Students will be able to do research, lead a conversation and learn tools for communicating, such as including back channeling, follow-up questions, agreeing and more.

▌学習の進め方

対面の場合
Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.
Students should be prepared to participate openly.
遠隔授業の場合
Because of CoVid-19, classes may be held online or through a combination of synchronous and asynchronous activities.
Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.
全員の活動はマイクとビデオを使うことは任意です。ブレークアウトの活動（ペア・小グループでの活動）はビデオとマイクを使う期待があります。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Self-introductions. Getting to know each other** 事前学修：［30 分］Read the syllabus carefully 事後学修：［30 分］Post in the class forum	対　面：Whole class discussion; small group activities 遠隔：全員ミーティング・非同期アクティビティ	S. Bamkin
2	**Identity & Faces of the World** 事前学修：［15 分］Watch the videos posted on Glexa 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：非同期アクティビティ	S. Bamkin
3	**Are you typical? Self-introduction projects** 事前学修：［45 分］Prepare to present about yourself 事後学修：［30 分］Watch other student's presentations and ask questions.	対　面：Whole class presentation, Q&A 遠隔：Glexa でボイスリコーダーで少プレゼン	S. Bamkin
4	**Sports** 事前学修：［30 分］Watch the videos posted on Glexa 事後学修：［30 分］View other student's posts/presentations and ask questions.	対　面：small group activities 遠隔：小グループで活動	S. Bamkin

No	内容	形式	教員
5	**Coronavirus (Covid-19 pandemic)** 事前学修：［30 分］Find English words related to the coronavirus 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：small group activities; worksheet listening. 遠隔：非同期アクティビティ	S. Bamkin
6	**Travel** 事前学修：［30 分］Think about your favourite holiday. Prepare to speak about it. 事後学修：［30 分］Watch other student's presentations and ask questions.	対　面：Whole class presentation; Q&A; listening worksheet. 遠隔：同期アクティビティ, Glexa でポスト	S. Bamkin
7	**Fashion** 事前学修：［30 分］Watch the videos posted on Glexa 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：Whole class discussion; small group activities, listening worksheet 遠隔：小グループで活動	S. Bamkin
8	**Climate change** 事前学修：［30 分］Watch the videos posted on Glexa 事後学修：［30 分］Vocabulary worksheet	対面：listening worksheets, small group activities. Present in groups. 遠隔：非同期アクティビティ, listening worksheet	S. Bamkin
9	**Daily routine** 事前学修：［30 分］Watch the videos posted on Glexa 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：Whole class discussion; brainstorming activities. 遠隔：非同期アクティビティ. listening worksheets	S. Bamkin
10	**Presentation preparation** 事前学修：［30 分］Think about a presentation topic. Prepare to speak about it. 事後学修：［30 分］Post ideas in class forum	対　面：Whole class discussion; small group activities 遠隔：全員ミーティング・非同期アクティビティ	S. Bamkin
11	**How to make a presentation.** **Speaking practice.** 事前学修：［30 分］Find a video of a public speaker who you like. 事後学修：［30 分］Rehearse a presentation by the speaker who you like.	Short lecture. Practice speaking and discussion about presentation videos.	S. Bamkin

No	内容	形式	教員
12	**Olympics** 事前学修：［30 分］Listen to an Olympic athlete speaking. Think about their good qualities 事後学修：［30 分］Revise vocabulary.	対面：listening worksheets, small group activities. Present in groups. 遠隔：非同期アクティビティ, listening worksheet	S. Bamkin
13	**Class Presentations** 事前学修：［30 分］Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：［30 分］Reflect on presentations	Class presentation	S. Bamkin
14	**Class Presentations** 事前学修：［30 分］Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：［30 分］Reflect on presentations	Class presentation	S. Bamkin
15	**Class survey** 事前学修：［30 分］Revise the syllabus. Reflect on the lessons 事後学修：［30 分］Plan English studies over the break	Online survey.	S. Bamkin

▌教科書

(none)

▌参考書、参考資料等

Please feel free to bring an electronic dictionary or smartphone dictionary app.

▌フィードバックの仕方

Online survey

▌他の授業科目との関連

この授業は「英語 LS1-2」へと続くコースです.

▌成績評価の仕方

Worksheets. Glexa posts.

▌オフィスアワー・研究室等

Thursday, you are welcome to speak with me after class.
Please feel free to message anytime via Glexa.

英語 LS1-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS103**

○ Michelle　van　Bokhorst

▌授業の目的

The purpose of this class is to build vocabulary and grammar necessary to facilitate smooth communication and give students opportunities to use English to express their opinions and ideas.

▌到達目標

By the end of this course students will have gained new vocabulary both on specific topics presented in class, as well as common terms and expressions helpful in discussions and conversations. The students will be able to communicate with more freedom and confidence.

▌学習の進め方

A class will consist of the following structure:
1. A short introduction to the topic in the form of an interactive lecture
2. Discussions in small groups related to the topic of the class

Students will hold group presentations and a poster presentation on topics of their choice.

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction to the class, getting to know each other** 事前学修：［30 分］Read the syllabus 事後学修：［30 分］Send an e-mail to the teacher	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
2	**Personality types** 事前学修：［30 分］Make the personality test and write down your personality type 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
3	**Life after COVID** 事前学修：［30 分］Read the article provided 事後学修：［30 分］Review the vocabulary, decide on a topic for your group presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
4	**Predicting the future** 事前学修：［30 分］Watch the video 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
5	**Advertising and our society** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Find a commercial or advertisement related to your presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
6	**Stereotypes** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary, work on the presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
7	**How to give a good presentation** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Prepare the presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
8	**Group presentations** 事前学修：［30 分］Prepare the presentation 事後学修：［30 分］Review feedback from your teacher and classmates	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
9	**Arts and our society: Films** 事前学修：［30 分］Prepare examples of your favorite films to share with the class 事後学修：［30 分］Review the vocabulary. Submit a proposal for your poster presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
10	**10 Arts and our society: Music** 事前学修：［30 分］Prepare examples of your favorite music to share with the class 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
11	**Bacteria, viruses and epidemics** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst

No	内容	形式	教員
12	**Perspectives on globalization** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle van Bokhorst
13	**Online education** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle van Bokhorst
14	**Poster presentations** 事前学修：［30 分］Practice your poster presentation 事後学修：［30 分］Go over the feedback	講義・演習	Michelle van Bokhorst
15	**Poster presentations** 事前学修：［30 分］Practice your poster presentation 事後学修：［30 分］Go over the feedback, submit your script	講義・演習	Michelle van Bokhorst

▌教科書

None. Materials will be provided during the course.

▌参考書、参考資料等

Smartphones or other devices with access to the internet will be helpful.

▌フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

▌他の授業科目との関連

This class will continue in the second semester as LS1-2.

▌成績評価の仕方

Class participation 30%, group presentation 20%, poster presentation 40%, script 10%.

▌オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail).
E-mail: mhvanbokhorst[at]gmail.com (replace [at] with @).

▌受講上の注意事項

The class will be conducted in English. The contents of the course might change depending on the students' ability.

▌その他

＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 LS1-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS103**

○ Benjamin Tutcher

▌授業の目的

The purpose of this course is to equip students with valuable language skills in common environments and situations.

▌到達目標

In this course students will learn to communicate their opinions and ideas in English. The course specifically targets improvements in their ability to understand and verbally interact in English.

▌学習の進め方

This is an English course that focuses on a wide variety of activities and subjects in order to increase students' use and appreciation of English as a means to understand and interact with a modern global community and simultaneously learn more about themselves.
※ In principle, the course will be conducted using distance-teaching methods (on-demand learning in Glexa or/and simultaneous, interactive classes by Teams and/or Zoom), and will require assignment submission.

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Course orientation and introductions.** 事前学修：［30 分］Familiarize yourselves with the teacher and class. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
2	**Getting to know you.** 事前学修：［30 分］Prepare classroom questions. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
3	**Unit 1: food.** 事前学修：［30 分］Preview Unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review new language.	講義・演習	Tutcher
4	**Show and tell.** 事前学修：［30 分］Prepare relevant item and English. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
5	**Unit 2: Festivals** 事前学修：［30 分］Preview unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review new language.	講義・演習	Tutcher
6	**English activity design.** 事前学修：［30 分］Consider themes and English for an English game. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
7	**Unit 3: Cities.** 事前学修：［30 分］Preview unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review new language.	講義・演習	Tutcher
8	**Presentation preparation.** 事前学修：［30 分］Consider possible topics for a presentation. 事後学修：［30 分］Continue presentation preparation.	講義・演習	Tutcher
9	**Presentation preparation.** 事前学修：［30 分］Continue presentation preparation. 事後学修：［30 分］Continue preparation for presentation.	講義・演習	Tutcher
10	**Presentations.** 事前学修：［30 分］Continue working on presentation. 事後学修：［30 分］Review presentation performance and content.	講義・演習	Tutcher
11	**Unit 4: Jobs.** 事前学修：［30 分］Preview Unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review any new language.	講義・演習	Tutcher

No	内容	形式	教員
12	**Health and medicine.** 事前学修：［30 分］Prepare English related to medical situations. 事後学修：［30 分］Review any new language.	講義・演習	Tutcher
13	**Unit 5: Music.** 事前学修：［30 分］Preview unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
14	**Review and test preparation.** 事前学修：［30 分］Review course content. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
15	**Test.** 事前学修：［30 分］Study for the test. 事後学修：［30 分］Review everything.	試験	Tutcher

▌教科書
Inspire 2
Cengage Learning

▌参考書、参考資料等
None

▌フィードバックの仕方
The teacher will address all feedback issues and requests in class time. The teacher can also be contacted through email.

▌他の授業科目との関連
この授業は、「英語 LS1-2」へ続くコースです。

▌成績評価の仕方
40% participation
30% presentation
30% final test

▌オフィスアワー・研究室等
I can be contacted at this address: benjamin_tutcher@hotmail.com

▌受講上の注意事項
＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 LS1-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS103**

○ Sam Bamkin

▌授業の目的

To provide students the opportunity to use English on popular topics.
To increase comfort and skill in using English in everyday situations.

▌到達目標

Students will be able to speak using understandable English in a variety of situations.
Students will be able to do research, lead a conversation and learn tools for communicating, such as including back channeling, follow-up questions, agreeing and more.

▌学習の進め方

対面の場合
Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.
Students should be prepared to participate openly.
遠隔授業の場合
Because of CoVid-19, classes may be held online or through a combination of synchronous and asynchronous activities.
Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.
全員の活動はマイクとビデオを使うことは任意です。ブレークアウトの活動（ペア・小グループでの活動）はビデオとマイクを使う期待があります。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Self-introductions. Getting to know each other** 事前学修：［30 分］Read the syllabus carefully 事後学修：［30 分］Post in the class forum	対　面：Whole class discussion; small group activities 遠隔：全員ミーティング・非同期アクティビティ	S. Bamkin
2	**Identity & Faces of the World** 事前学修：［15 分］Watch the videos posted on Glexa 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：非同期アクティビティ	S. Bamkin
3	**Are you typical? Self-introduction projects** 事前学修：［45 分］Prepare to present about yourself 事後学修：［30 分］Watch other student's presentations and ask questions.	対　面：Whole class presentation, Q&A 遠隔：Glexa でボイスリコーダーで少プレゼン	S. Bamkin
4	**Sports** 事前学修：［30 分］Watch the videos posted on Glexa 事後学修：［30 分］View other student's posts/presentations and ask questions.	対　面：small group activities 遠隔：小グループで活動	S. Bamkin

No	内容	形式	教員
5	**Coronavirus (Covid-19 pandemic)** 事前学修：［30 分］Find English words related to the coronavirus 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：small group activities; worksheet listening. 遠隔：非同期アクティビティ	S. Bamkin
6	**Travel** 事前学修：［30 分］Think about your favourite holiday. Prepare to speak about it. 事後学修：［30 分］Watch other student's presentations and ask questions.	対　面：Whole class presentation; Q&A; listening worksheet. 遠隔：同期アクティビティ, Glexa でポスト	S. Bamkin
7	**Fashion** 事前学修：［30 分］Watch the videos posted on Glexa 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：Whole class discussion; small group activities, listening worksheet 遠隔：小グループで活動	S. Bamkin
8	**Climate change** 事前学修：［30 分］Watch the videos posted on Glexa 事後学修：［30 分］Vocabulary worksheet	対面：listening worksheets, small group activities. Present in groups. 遠隔：非同期アクティビティ, listening worksheet	S. Bamkin
9	**Daily routine** 事前学修：［30 分］Watch the videos posted on Glexa 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：Whole class discussion; brainstorming activities. 遠隔：非同期アクティビティ. listening worksheets	S. Bamkin
10	**Presentation preparation** 事前学修：［30 分］Think about a presentation topic. Prepare to speak about it. 事後学修：［30 分］Post ideas in class forum	対　面：Whole class discussion; small group activities 遠隔：全員ミーティング・非同期アクティビティ	S. Bamkin
11	**How to make a presentation.** **Speaking practice.** 事前学修：［30 分］Find a video of a public speaker who you like. 事後学修：［30 分］Rehearse a presentation by the speaker who you like.	Short lecture. Practice speaking and discussion about presentation videos.	S. Bamkin

No	内容	形式	教員
12	**Olympics** 事前学修：［30 分］Listen to an Olympic athlete speaking. Think about their good qualities 事後学修：［30 分］Revise vocabulary.	対面：listening worksheets, small group activities. Present in groups. 遠隔：非同期アクティビティ, listening work-sheet	S. Bamkin
13	**Class Presentations** 事前学修：［30 分］Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：［30 分］Reflect on presentations	Class presen-tation	S. Bamkin
14	**Class Presentations** 事前学修：［30 分］Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：［30 分］Reflect on presentations	Class presen-tation	S. Bamkin
15	**Class survey** 事前学修：［30 分］Revise the syllabus. Reflect on the lessons 事後学修：［30 分］Plan English studies over the break	Online survey.	S. Bamkin

▌教科書
(none)

▌参考書、参考資料等
Please feel free to bring an electronic dictionary or smartphone dictionary app.

▌フィードバックの仕方
Online survey

▌他の授業科目との関連
この授業は「英語 LS1-2」へと続くコースです.

▌成績評価の仕方
Worksheets. Glexa posts.

▌オフィスアワー・研究室等
Thursday, you are welcome to speak with me after class.
Please feel free to message anytime via Glexa.

英語 LS1-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS103**

○ Michelle　van　Bokhorst

▌授業の目的

The purpose of this class is to build vocabulary and grammar necessary to facilitate smooth communication and give students opportunities to use English to express their opinions and ideas.

▌到達目標

By the end of this course students will have gained new vocabulary both on specific topics presented in class, as well as common terms and expressions helpful in discussions and conversations. The students will be able to communicate with more freedom and confidence.

▌学習の進め方

A class will consist of the following structure:
1. A short introduction to the topic in the form of an interactive lecture
2. Discussions in small groups related to the topic of the class

Students will hold group presentations and a poster presentation on topics of their choice.

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction to the class, getting to know each other** 事前学修：［30 分］Read the syllabus 事後学修：［30 分］Send an e-mail to the teacher	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
2	**Personality types** 事前学修：［30 分］Make the personality test and write down your personality type 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
3	**Life after COVID** 事前学修：［30 分］Read the article provided 事後学修：［30 分］Review the vocabulary, decide on a topic for your group presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
4	**Predicting the future** 事前学修：［30 分］Watch the video 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
5	**Advertising and our society** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Find a commercial or advertisement related to your presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
6	**Stereotypes** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary, work on the presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
7	**How to give a good presentation** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Prepare the presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
8	**Group presentations** 事前学修：［30 分］Prepare the presentation 事後学修：［30 分］Review feedback from your teacher and classmates	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
9	**Arts and our society: Films** 事前学修：［30 分］Prepare examples of your favorite films to share with the class 事後学修：［30 分］Review the vocabulary. Submit a proposal for your poster presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
10	**10 Arts and our society: Music** 事前学修：［30 分］Prepare examples of your favorite music to share with the class 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
11	**Bacteria, viruses and epidemics** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst

No	内容	形式	教員
12	**Perspectives on globalization** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle van Bokhorst
13	**Online education** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle van Bokhorst
14	**Poster presentations** 事前学修：［30 分］Practice your poster presentation 事後学修：［30 分］Go over the feedback	講義・演習	Michelle van Bokhorst
15	**Poster presentations** 事前学修：［30 分］Practice your poster presentation 事後学修：［30 分］Go over the feedback, submit your script	講義・演習	Michelle van Bokhorst

▌教科書

None. Materials will be provided during the course.

▌参考書、参考資料等

Smartphones or other devices with access to the internet will be helpful.

▌フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

▌他の授業科目との関連

This class will continue in the second semester as LS1-2.

▌成績評価の仕方

Class participation 30%, group presentation 20%, poster presentation 40%, script 10%.

▌オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail).
E-mail: mhvanbokhorst[at]gmail.com (replace [at] with @).

▌受講上の注意事項

The class will be conducted in English. The contents of the course might change depending on the students' ability.

▌その他

＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 LS1-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS152**

○ Benjamin Tutcher

▌授業の目的

The purpose of this course is to equip students with valuable language skills in common environments and situations.

▌到達目標

In this course students will learn to communicate their opinions and ideas in English. The course specifically targets improvements in their ability to understand and verbally interact in English.

▌学習の進め方

This is an English course that focuses on a wide variety of activities and subjects in order to increase students' use and appreciation of English as a means to understand and interact with a modern global community and simultaneously learn more about themselves.

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Welcome back.** 事前学修：［30 分］Prepare language regarding summer experiences. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
2	**Unit 6: Journeys.** 事前学修：［30 分］Preview unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
3	**50 word stories.** 事前学修：［30 分］Consider ideas for short stories. 事後学修：［30 分］Review new language.	講義・演習	Tutcher
4	**Unit 7: Family.** 事前学修：［30 分］Preview unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
5	**Description activities.** 事前学修：［30 分］Preview required description vocabulary. 事後学修：［30 分］Review new language.	講義・演習	Tutcher
6	**Unit 8: Nature.** 事前学修：［30 分］Consider themes and English for an English game. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
7	**Halloween activities.** 事前学修：［30 分］Preview Halloween vocabulary and activites. 事後学修：［30 分］Review new language.	講義・演習	Tutcher
8	**Presentation preparation.** 事前学修：［30 分］Consider possible topics for a presentation. 事後学修：［30 分］Continue presentation preparation.	講義・演習	Tutcher
9	**Presentation preparation.** 事前学修：［30 分］Continue presentation preparation. 事後学修：［30 分］Continue preparation for presentation.	講義・演習	Tutcher
10	**Presentations.** 事前学修：［30 分］Continue working on presentation. 事後学修：［30 分］Review presentation performance and content.	講義・演習	Tutcher
11	**Unit 9: Happiness.** 事前学修：［30 分］Preview Unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review any new language.	講義・演習	Tutcher
12	**Christmas conversations.** 事前学修：［30 分］Prepare English related to Christmas situations. 事後学修：［30 分］Review any new language.	講義・演習	Tutcher

No	内容	形式	教員
13	**Unit 10: Conservation.** 事前学修：［30 分］Preview unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
14	**Review and test preparation.** 事前学修：［30 分］Review course content. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
15	**Test.** 事前学修：［30 分］Study for the test. 事後学修：［30 分］Review everything.	試験	Tutcher

▌教科書

Inspire 2
Cengage Learning

▌参考書、参考資料等

None

▌フィードバックの仕方

The teacher will address all feedback issues and requests in class time. The teacher can also be contacted through email.

▌他の授業科目との関連

この授業は、「英語 LS1-2」へ続くコースです。

▌成績評価の仕方

40% participation
30% presentation
30% final test

▌オフィスアワー・研究室等

I can be contacted at this address: benjamin_tutcher@hotmail.com

▌受講上の注意事項

＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 LS1-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS152**

○ Sam Bamkin

▌授業の目的

To provide students the opportunity to use English on popular topics.
To increase comfort and skill in using English in everyday situations

▌到達目標

Students will be able to speak using understandable English in a variety of situations.
Students will be able to do research, lead a conversation and learn tools for communicating, such as including back channelling, follow-up questions, agreeing and more.

▌学習の進め方

対面の場合
Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.
Students should be prepared to participate openly.
遠隔授業の場合
Because of CoVid-19, classes may be held online or through a combination of synchronous and asynchronous activities.
Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.
全員の活動はマイクとビデオを使うことは任意です。ブレークアウトの活動(ペア・小グループでの活動)はビデオとマイクを使う期待があります。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Review of Spring term (LS1-1)** **Review of presentations** **Discuss syllabus** 事前学修：［30 分］Read the syllabus carefully. 事後学修：［30 分］Post in the class forum	対　面：Whole class discussion; small group activities 遠隔：全員ミーティング・非同期アクティビティ	S. Bamkin
2	**My part-time job** 事前学修：［30 分］Think about your part-time job, or if you want one. Prepare to present to the class. 事後学修：［30 分］Post in class forum	対　面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：Zoom 非同期アクティビティ	S. Bamkin
3	**Film and music / book / computer games** 事前学修：［30 分］Think about a film or other media you like. Prepare to present about it. 事後学修：［30 分］Post in class forum	対　面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：Zoom 非同期アクティビティ	S. Bamkin
4	**Club activities** 事前学修：［30 分］What club activities did you do in high school? Prepare to present about it. 事後学修：［30 分］Post in class forum	対　面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：Zoom 同期アクティビティ	S. Bamkin

No	内容	形式	教員
5	**Multiculturalism 1 / 2: Multiculturalism in England** 事前学修：［30 分］Watch the videos on Glexa 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：Zoom 非同期アクティビティ	S. Bamkin
6	**Multiculturalism 2 / 2: Multiculturalism in Japan** 事前学修：［30 分］None 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：Whole class discussion; worksheet listening. 遠隔：Zoom 同期アクティビティ. Small group discussions. worksheet listening.	S. Bamkin
7	**Future predictions** 事前学修：［30 分］What is the newest or most surprising technology created since 2019. 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：Zoom 同期アクティビティ, small group discussion.	S. Bamkin
8	**Stories 1 / 2: Write a children’s story** 事前学修：［30 分］None 事後学修：［30 分］Look at other students’ stories and post comments	対　面：Small group activities 遠隔：Zoom 同期アクティビティ, small group activities.	S. Bamkin
9	**Stories 2 / 2: Read a children’s story** 事前学修：［30 分］Watch the video on Glexa 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：Small group activities 遠　隔：Zoom 同期アクティビティ, voice recording.	S. Bamkin
10	**Presentation preparation** 事前学修：［30 分］Think about a presentation topic. Prepare to speak about it. 事後学修：［30 分］Post ideas in class forum	対　面：Whole class discussion; small group activities 遠隔：全員ミーティング・非同期アクティビティ	S. Bamkin
11	**Festivals in England: Christmas and New Year** 事前学修：［30 分］Find a video about Christmas or new year outside of Japan. 事後学修：［30 分］Revise vocabulary.	対　面：Small group activities 遠隔：Zoom 同期アクティビティ, small group activities.	S. Bamkin

No	内容	形式	教員
12	**Festivals in Japan New Year and others** 事前学修：［30 分］Post on Glexa 事後学修：［30 分］View other students' posts and comment.	対　面：Small group activities 遠隔：Zoom 同期アクティビティ, small group activities.	S. Bamkin
13	**Class Presentations** 事前学修：［30 分］Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：［30 分］Reflect on presentations	Class presentation	S. Bamkin
14	**Class Presentations** 事前学修：［30 分］Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：［30 分］Reflect on presentations	Class presentation	S. Bamkin
15	**Class survey** 事前学修：［30 分］Revise the syllabus. Reflect on the lessons 事後学修：［30 分］Plan English studies over the break	Online survey	S. Bamkin

▌教科書

(none)

▌参考書、参考資料等

Please feel free to bring an electronic dictionary or smartphone dictionary app.

▌フィードバックの仕方

Online survey

▌他の授業科目との関連

この授業は「英語 LS1-1」を続くコースです.

▌成績評価の仕方

Worksheets. Glexa posts.

▌オフィスアワー・研究室等

Thursday, you are welcome to speak with me after class.
Please feel free to message anytime via Glexa.

英語 LS1-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS152**

○ Michelle　van　Bokhorst

▌授業の目的

The purpose of this class is to build vocabulary and grammar necessary to facilitate smooth communication and give students opportunities to use English to express their opinions and ideas.

▌到達目標

By the end of this course students will have gained new vocabulary both on specific topics presented in class, as well as common terms and expressions helpful in discussions and conversations. The students will be able to communicate with more freedom and confidence.

▌学習の進め方

A class will consist of the following structure:
1. A short introduction to the topic in the form of an interactive lecture
2. Discussions in small groups related to the topic of the class

Students will hold group presentations and a poster presentation on topics of their choice.

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Welcome to the class, travel vlogging** 事前学修：［30 分］Read the syllabus 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
2	**Health and diet: the future of food** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
3	**Mindfulness** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary, decide on a topic for your group presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
4	**Technological development in the workplace** 事前学修：［30 分］Watch the video 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
5	**The Gender Gap Report** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
6	**Inequality in healthcare and medical research** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary, work on the presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
7	**Procrastination** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary, prepare the presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
8	**Group presentations** 事前学修：［30 分］Prepare the presentation 事後学修：［30 分］Review feedback from your teacher and classmates	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
9	**Human language** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary, submit a proposal for your poster presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
10	**Mental health crisis** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
11	**Fake news** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst

No	内容	形式	教員
12	**Failure** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle van Bokhorst
13	**The ageing societies** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle van Bokhorst
14	**Poster presentations** 事前学修：［30 分］Practice your poster presentation 事後学修：［30 分］Go over the feedback	講義・演習	Michelle van Bokhorst
15	**Poster presentations** 事前学修：［30 分］Practice your poster presentation 事後学修：［30 分］Go over the feedback, submit your script	講義・演習	Michelle van Bokhorst

▌教科書

None. Handouts and other materials will be provided during the course.

▌参考書、参考資料等

Smartphones or other devices with access to the internet will be helpful.

▌フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

▌他の授業科目との関連

This class is a continuation of LS1-1

▌成績評価の仕方

Class participation 30%, group presentation 20%, poster presentation 40%, script 10%.

▌オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail).
E-mail: mhvanbokhorst[at]gmail.com (replace [at] with @).

▌受講上の注意事項

The class will be conducted in English. The contents of the course might change depending on the students' ability.

▌その他

＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 LS1-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS152**

○ Benjamin Tutcher

▌授業の目的

The purpose of this course is to equip students with valuable language skills in common environments and situations.

▌到達目標

In this course students will learn to communicate their opinions and ideas in English. The course specifically targets improvements in their ability to understand and verbally interact in English.

▌学習の進め方

This is an English course that focuses on a wide variety of activities and subjects in order to increase students' use and appreciation of English as a means to understand and interact with a modern global community and simultaneously learn more about themselves.

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Welcome back.** 事前学修：［30 分］Prepare language regarding summer experiences. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
2	**Unit 6: Journeys.** 事前学修：［30 分］Preview unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
3	**50 word stories.** 事前学修：［30 分］Consider ideas for short stories. 事後学修：［30 分］Review new language.	講義・演習	Tutcher
4	**Unit 7: Family.** 事前学修：［30 分］Preview unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
5	**Description activities.** 事前学修：［30 分］Preview required description vocabulary. 事後学修：［30 分］Review new language.	講義・演習	Tutcher
6	**Unit 8: Nature.** 事前学修：［30 分］Consider themes and English for an English game. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
7	**Halloween activities.** 事前学修：［30 分］Preview Halloween vocabulary and activites. 事後学修：［30 分］Review new language.	講義・演習	Tutcher
8	**Presentation preparation.** 事前学修：［30 分］Consider possible topics for a presentation. 事後学修：［30 分］Continue presentation preparation.	講義・演習	Tutcher
9	**Presentation preparation.** 事前学修：［30 分］Continue presentation preparation. 事後学修：［30 分］Continue preparation for presentation.	講義・演習	Tutcher
10	**Presentations.** 事前学修：［30 分］Continue working on presentation. 事後学修：［30 分］Review presentation performance and content.	講義・演習	Tutcher
11	**Unit 9: Happiness.** 事前学修：［30 分］Preview Unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review any new language.	講義・演習	Tutcher
12	**Christmas conversations.** 事前学修：［30 分］Prepare English related to Christmas situations. 事後学修：［30 分］Review any new language.	講義・演習	Tutcher

No	内容	形式	教員
13	**Unit 10: Conservation.** 事前学修：［30 分］Preview unit vocabulary. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
14	**Review and test preparation.** 事前学修：［30 分］Review course content. 事後学修：［30 分］Review class content.	講義・演習	Tutcher
15	**Test.** 事前学修：［30 分］Study for the test. 事後学修：［30 分］Review everything.	試験	Tutcher

▌教科書

Inspire 2
Cengage Learning

▌参考書、参考資料等

None

▌フィードバックの仕方

The teacher will address all feedback issues and requests in class time. The teacher can also be contacted through email.

▌他の授業科目との関連

この授業は、「英語 LS1-2」へ続くコースです。

▌成績評価の仕方

40% participation
30% presentation
30% final test

▌オフィスアワー・研究室等

I can be contacted at this address: benjamin_tutcher@hotmail.com

▌受講上の注意事項

＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 LS1-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS152**

○ Sam Bamkin

▌授業の目的

To provide students the opportunity to use English on popular topics.
To increase comfort and skill in using English in everyday situations

▌到達目標

Students will be able to speak using understandable English in a variety of situations.
Students will be able to do research, lead a conversation and learn tools for communicating, such as including back channelling, follow-up questions, agreeing and more.

▌学習の進め方

対面の場合
Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.
Students should be prepared to participate openly.
遠隔授業の場合
Because of CoVid-19, classes may be held online or through a combination of synchronous and asynchronous activities.
Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.
全員の活動はマイクとビデオを使うことは任意です。ブレークアウトの活動（ペア・小グループでの活動）はビデオとマイクを使う期待があります。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Review of Spring term (LS1-1)** **Review of presentations** **Discuss syllabus** 事前学修：［30 分］Read the syllabus carefully. 事後学修：［30 分］Post in the class forum	対　面：Whole class discussion; small group activities 遠隔：全員ミーティング・非同期アクティビティ	S. Bamkin
2	**My part-time job** 事前学修：［30 分］Think about your part-time job, or if you want one. Prepare to present to the class. 事後学修：［30 分］Post in class forum	対　面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：Zoom 非同期アクティビティ	S. Bamkin
3	**Film and music / book / computer games** 事前学修：［30 分］Think about a film or other media you like. Prepare to present about it. 事後学修：［30 分］Post in class forum	対　面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：Zoom 非同期アクティビティ	S. Bamkin
4	**Club activities** 事前学修：［30 分］What club activities did you do in high school? Prepare to present about it. 事後学修：［30 分］Post in class forum	対　面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：Zoom 同期アクティビティ	S. Bamkin

No	内容	形式	教員
5	**Multiculturalism 1 / 2: Multiculturalism in England** 事前学修：［30 分］Watch the videos on Glexa 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：Zoom 非同期アクティビティ	S. Bamkin
6	**Multiculturalism 2 / 2: Multiculturalism in Japan** 事前学修：［30 分］None 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：Whole class discussion; worksheet listening. 遠隔：Zoom 同期アクティビティ. Small group discussions. worksheet listening.	S. Bamkin
7	**Future predictions** 事前学修：［30 分］What is the newest or most surprising technology created since 2019. 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：Zoom 同期アクティビティ, small group discussion.	S. Bamkin
8	**Stories 1 / 2: Write a children’s story** 事前学修：［30 分］None 事後学修：［30 分］Look at other students’ stories and post comments	対　面：Small group activities 遠隔：Zoom 同期アクティビティ, small group activities.	S. Bamkin
9	**Stories 2 / 2: Read a children’s story** 事前学修：［30 分］Watch the video on Glexa 事後学修：［30 分］Revise vocabulary	対　面：Small group activities 遠　隔：Zoom 同期アクティビティ, voice recording.	S. Bamkin
10	**Presentation preparation** 事前学修：［30 分］Think about a presentation topic. Prepare to speak about it. 事後学修：［30 分］Post ideas in class forum	対　面：Whole class discussion; small group activities 遠隔：全員ミーティング・非同期アクティビティ	S. Bamkin
11	**Festivals in England: Christmas and New Year** 事前学修：［30 分］Find a video about Christmas or new year outside of Japan. 事後学修：［30 分］Revise vocabulary.	対　面：Small group activities 遠隔：Zoom 同期アクティビティ, small group activities.	S. Bamkin

No	内容	形式	教員
12	**Festivals in Japan New Year and others** 事前学修：［30 分］Post on Glexa 事後学修：［30 分］View other students' posts and comment.	対　面：Small group activities 遠隔：Zoom 同期アクティビティ, small group activities.	S. Bamkin
13	**Class Presentations** 事前学修：［30 分］Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：［30 分］Reflect on presentations	Class presentation	S. Bamkin
14	**Class Presentations** 事前学修：［30 分］Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：［30 分］Reflect on presentations	Class presentation	S. Bamkin
15	**Class survey** 事前学修：［30 分］Revise the syllabus. Reflect on the lessons 事後学修：［30 分］Plan English studies over the break	Online survey	S. Bamkin

▌教科書
(none)

▌参考書、参考資料等
Please feel free to bring an electronic dictionary or smartphone dictionary app.

▌フィードバックの仕方
Online survey

▌他の授業科目との関連
この授業は「英語 LS1-1」を続くコースです.

▌成績評価の仕方
Worksheets. Glexa posts.

▌オフィスアワー・研究室等
Thursday, you are welcome to speak with me after class.
Please feel free to message anytime via Glexa.

英語 LS1-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS152**

○ Michelle　van　Bokhorst

▌授業の目的

The purpose of this class is to build vocabulary and grammar necessary to facilitate smooth communication and give students opportunities to use English to express their opinions and ideas.

▌到達目標

By the end of this course students will have gained new vocabulary both on specific topics presented in class, as well as common terms and expressions helpful in discussions and conversations. The students will be able to communicate with more freedom and confidence.

▌学習の進め方

A class will consist of the following structure:
1. A short introduction to the topic in the form of an interactive lecture
2. Discussions in small groups related to the topic of the class

Students will hold group presentations and a poster presentation on topics of their choice.

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Welcome to the class, travel vlogging** 事前学修：［30 分］Read the syllabus 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
2	**Health and diet: the future of food** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
3	**Mindfulness** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary, decide on a topic for your group presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
4	**Technological development in the workplace** 事前学修：［30 分］Watch the video 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
5	**The Gender Gap Report** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
6	**Inequality in healthcare and medical research** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary, work on the presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
7	**Procrastination** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary, prepare the presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
8	**Group presentations** 事前学修：［30 分］Prepare the presentation 事後学修：［30 分］Review feedback from your teacher and classmates	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
9	**Human language** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary, submit a proposal for your poster presentation	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
10	**Mental health crisis** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst
11	**Fake news** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle　van Bokhorst

No	内容	形式	教員
12	**Failure** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle van Bokhorst
13	**The ageing societies** 事前学修：［30 分］Read the article 事後学修：［30 分］Review the vocabulary	講義・演習	Michelle van Bokhorst
14	**Poster presentations** 事前学修：［30 分］Practice your poster presentation 事後学修：［30 分］Go over the feedback	講義・演習	Michelle van Bokhorst
15	**Poster presentations** 事前学修：［30 分］Practice your poster presentation 事後学修：［30 分］Go over the feedback, submit your script	講義・演習	Michelle van Bokhorst

▌教科書

None. Handouts and other materials will be provided during the course.

▌参考書、参考資料等

Smartphones or other devices with access to the internet will be helpful.

▌フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

▌他の授業科目との関連

This class is a continuation of LS1-1

▌成績評価の仕方

Class participation 30%, group presentation 20%, poster presentation 40%, script 10%.

▌オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail).
E-mail: mhvanbokhorst[at]gmail.com (replace [at] with @).

▌受講上の注意事項

The class will be conducted in English. The contents of the course might change depending on the students' ability.

▌その他

＊この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 R2-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」実践**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS200**

〇皆川　健次郎

▌授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。領域横断的に様々な学術的内容の英文を読むことで、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

▌到達目標

1. 英語で正確な読解ができる。
2. 英語で語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

▌学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** 事前学修：［30 分］テキストの確認をする 事後学修：［30 分］授業内容の確認をする	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
2	**1 You (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
3	**1 You (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
4	**2 Fat (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
5	**2 Fat (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
6	**3 Tradition (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
7	**3 Tradition (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
8	**4 Mathematics (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
9	**4 Mathematics (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村

No	内容	形式	教員
10	**5 Objectivity (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
11	**5 Objectivity (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
12	**6 Subjectivity (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
13	**6 Subjectivity (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
14	**7 Voice (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
15	**7 Voice (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村

▌教科書
東京大学教養学部英語部会編 (2006). On Campus. 東京大学出版会.

▌参考書、参考資料等
その都度指示します。

▌フィードバックの仕方
小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

▌他の授業科目との関連
「英 R2-2」は続きを読みます。

▌成績評価の仕方
1. 試験 50%
2. 授業への取り組み 50%

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参すること。

英語 R2-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」実践**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS200**

〇野村　美由紀

▌授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。領域横断的に様々な学術的内容の英文を読むことと、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

▌到達目標

1. 正確な読解ができる。
2. 語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

▌学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** 事前学修：［30 分］テキストの確認をする 事後学修：［30 分］授業内容の確認をする	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
2	**1 You (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
3	**1 You (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
4	**2 Fat (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
5	**2 Fat (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
6	**3 Tradition (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
7	**3 Tradition (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
8	**4 Mathematics (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
9	**4 Mathematics (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村

No	内容	形式	教員
10	**5 Objectivity (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
11	**5 Objectivity (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
12	**6 Subjectivity (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
13	**6 Subjectivity (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
14	**7 Voice (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
15	**7 Voice (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村

▌教科書
東京大学教養学部英語部会編 (2006). On Campus. 東京大学出版会.

▌参考書、参考資料等
その都度指示します。

▌フィードバックの仕方
小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

▌他の授業科目との関連
「英 R2-2」は続きを読みます。

▌成績評価の仕方
1. 試験 50%
2. 授業への取り組み 50%

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参すること。

英語 R2-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年・編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」実践**
実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS200**

○皆川　健次郎

▌授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。領域横断的に様々な学術的内容の英文を読むことで、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

▌到達目標

1. 英語で正確な読解ができる。
2. 英語で語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

▌学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** 事前学修：［30 分］テキストの確認をする 事後学修：［30 分］授業内容の確認をする	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
2	**1 You (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
3	**1 You (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
4	**2 Fat (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
5	**2 Fat (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
6	**3 Tradition (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
7	**3 Tradition (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
8	**4 Mathematics (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
9	**4 Mathematics (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村

No	内容	形式	教員
10	**5 Objectivity (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
11	**5 Objectivity (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
12	**6 Subjectivity (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
13	**6 Subjectivity (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
14	**7 Voice (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
15	**7 Voice (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村

▌教科書
東京大学教養学部英語部会編 (2006). On Campus. 東京大学出版会.

▌参考書、参考資料等
その都度指示します。

▌フィードバックの仕方
小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

▌他の授業科目との関連
「英 R2-2」は続きを読みます。

▌成績評価の仕方
1. 試験 50%
2. 授業への取り組み 50%

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参すること。

英語 R2-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年・編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」実践**
実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS200**

〇野村　美由紀

▌授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。領域横断的に様々な学術的内容の英文を読むことと、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

▌到達目標

1. 正確な読解ができる。
2. 語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

▌学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** 事前学修：［30 分］テキストの確認をする 事後学修：［30 分］授業内容の確認をする	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
2	**1 You (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
3	**1 You (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
4	**2 Fat (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
5	**2 Fat (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
6	**3 Tradition (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
7	**3 Tradition (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
8	**4 Mathematics (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
9	**4 Mathematics (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村

No	内容	形式	教員
10	**5 Objectivity (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
11	**5 Objectivity (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
12	**6 Subjectivity (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
13	**6 Subjectivity (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
14	**7 Voice (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村
15	**7 Voice (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業で扱った範囲を読み返す	演習・講義	1F0801、 1F0803 は皆川 1F0802、 1F0804 は野村

▌教科書
東京大学教養学部英語部会編 (2006). On Campus. 東京大学出版会.

▌参考書、参考資料等
その都度指示します。

▌フィードバックの仕方
小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

▌他の授業科目との関連
「英 R2-2」は続きを読みます。

▌成績評価の仕方
1. 試験 50%
2. 授業への取り組み 50%

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参すること。

英語 R2-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」実践**
実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS250**

○野村　美由紀

▌授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。領域横断的に様々な学術的内容の英文を読むことで、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

▌到達目標

1. 英語で正確な読解ができる。
2. 英語で語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

▌学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** 事前学修：［30 分］前期の内容の確認をする 事後学修：［30 分］後期授業内容の確認をする	講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
2	**8 Gender (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業 de	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
3	**8 Gender (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
4	**9 Coffee (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
5	**9 Coffee (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
6	**10 Petry (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
7	**10 Poetry (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
8	**11 View (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
9	**11 View (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川

No	内容	形式	教員
10	**12 Space (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
11	**12 Space (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
12	**13 Song (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
13	**13 Song (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
14	**14 Physics (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
15	**14 Physics (2)、まとめ** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川

▌教科書
東京大学教養学部英語部会編 (2006). On Campus. 東京大学出版会.

▌参考書、参考資料等
その都度指示します。

▌フィードバックの仕方
小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

▌他の授業科目との関連
「英 R2-1」の続きを読みます。

▌成績評価の仕方
1. 試験 50 %
2. 授業への取り組み 50 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参すること。

英語 R2-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」実践**
実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS250**

○皆川　健次郎

▌授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。領域横断的に様々な学術的内容の英文を読むことで、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

▌到達目標

1. 英語で正確な読解ができる。
2. 英語で語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

▌学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** 事前学修：［30 分］前期の内容の確認をする 事後学修：［30 分］後期授業内容の確認をする	講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
2	**8 Gender (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業 de	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
3	**8 Gender (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
4	**9 Coffee (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
5	**9 Coffee (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
6	**10 Petry (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
7	**10 Poetry (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
8	**11 View (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
9	**11 View (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川

No	内容	形式	教員
10	**12 Space (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
11	**12 Space (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
12	**13 Song (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
13	**13 Song (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
14	**14 Physics (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
15	**14 Physics (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川

▌教科書
東京大学教養学部英語部会編 (2006). On Campus. 東京大学出版会.

▌参考書、参考資料等
その都度指示します。

▌フィードバックの仕方
小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

▌他の授業科目との関連
「英 R2-1」の続きを読みます。

▌成績評価の仕方
1. 試験 50 %
2. 授業への取り組み 50 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参すること。

英語 R2-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」実践**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS250**

〇野村　美由紀

▌授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。領域横断的に様々な学術的内容の英文を読むことで、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

▌到達目標

1. 英語で正確な読解ができる。
2. 英語で語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

▌学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** 事前学修：［30 分］前期の内容の確認をする 事後学修：［30 分］後期授業内容の確認をする	講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
2	**8 Gender (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業 de	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
3	**8 Gender (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
4	**9 Coffee (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
5	**9 Coffee (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
6	**10 Petry (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
7	**10 Poetry (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
8	**11 View (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
9	**11 View (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川

No	内容	形式	教員
10	**12 Space (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
11	**12 Space (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
12	**13 Song (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
13	**13 Song (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
14	**14 Physics (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
15	**14 Physics (2)、まとめ** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川

▌教科書
東京大学教養学部英語部会編 (2006). On Campus. 東京大学出版会.

▌参考書、参考資料等
その都度指示します。

▌フィードバックの仕方
小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

▌他の授業科目との関連
「英 R2-1」の続きを読みます。

▌成績評価の仕方
1. 試験 50 %
2. 授業への取り組み 50 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参すること。

英語 R2-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」実践**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS250**

〇皆川　健次郎

▌授業の目的

英 R1 で受講したことを前提に授業を進めます。領域横断的に様々な学術的内容の英文を読むことで、高度な読解力を習得します。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とします。

▌到達目標

1. 英語で正確な読解ができる。
2. 英語で語彙力の構築ができる。
3. 難度の高い英文を読むことができる。

▌学習の進め方

パラグラフごと要約をしていきます。授業では、英語の訳のみならず、なぜそのような英文構造になっているのかにも焦点を当てます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** 事前学修：［30 分］前期の内容の確認をする 事後学修：［30 分］後期授業内容の確認をする	講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
2	**8 Gender (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業 de	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
3	**8 Gender (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
4	**9 Coffee (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
5	**9 Coffee (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
6	**10 Petry (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
7	**10 Poetry (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
8	**11 View (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
9	**11 View (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川

No	内容	形式	教員
10	**12 Space (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
11	**12 Space (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
12	**13 Song (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
13	**13 Song (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
14	**14 Physics (1)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川
15	**14 Physics (2)** 事前学修：［60 分］当該箇所の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の復習をする	演習・講義	1F0901、 1F0903 は野村 1F0902、 1F0904 は皆川

▌教科書
東京大学教養学部英語部会編 (2006). On Campus. 東京大学出版会.

▌参考書、参考資料等
その都度指示します。

▌フィードバックの仕方
小テストの返却時に、試験への全体的なコメントや質問欄への回答をして、また個々の答案に気付いた事を記す。定期試験のフィードバックはメールにて対応する。

▌他の授業科目との関連
「英 R2-1」の続きを読みます。

▌成績評価の仕方
1. 試験 50 %
2. 授業への取り組み 50 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に、教室で質問を受け付けます。

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参すること。

英語 W2-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」成長**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS201**

〇遠藤　花子

▌授業の目的

様々な種類の英文パラグラフの書き方を習得する。

▌到達目標

1. 正しい英文を書くことができる。
2. 異なるタイプのパラグラフを書くことができる。
3. 論理的に物事を考え、書くことができる。
4. ディスカッションから自分の考えを引き出すことができる。

▌学習の進め方

様々なタイプのパラグラフについて学び、実際にそれぞれのトピックに対応した英文パラグラフを書く。提出した課題は添削をし、返却する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** **The structure of a paragraph** **Brainstorming** 事前学修：［20 分］W1 で学んだことの復習をする 事後学修：［50 分］Paragraph の構成について復習する	演習・講義	遠藤
2	**Reasoning 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
3	**Reasoning 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤
4	**Reasoning 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
5	**Time order 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
6	**Time order 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤
7	**Time order 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
8	**Resume and Cover Letter 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
9	**Resume and Cover Letter 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
10	**Definition 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
11	**Definition 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
12	**Definition 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
13	**Comparison 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
14	**Comparison 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤
15	**Comparison 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤

▌教科書
随時プリントを配布します。

▌参考書、参考資料等
その都度紹介します。

▌フィードバックの仕方
各課題は授業時間中にフィーバックを行います。

▌他の授業科目との関連
なし

▌成績評価の仕方
授業内で提出された課題で評価します。

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室（401）

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参して下さい。

英語 W2-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」成長**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS201**

〇遠藤　花子

▌授業の目的

様々な種類の英文パラグラフの書き方を習得する。

▌到達目標

1. 正しい英文を書くことができる。
2. 異なるタイプのパラグラフを書くことができる。
3. 論理的に物事を考え、書くことができる。
4. ディスカッションから自分の考えを引き出すことができる。

▌学習の進め方

様々なタイプのパラグラフについて学び、実際にそれぞれのトピックに対応した英文パラグラフを書く。提出した課題は添削をし、返却する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** **The structure of a paragraph** **Brainstorming** 事前学修：［20 分］W1 で学んだことの復習をする 事後学修：［50 分］Paragraph の構成について復習する	演習・講義	遠藤
2	**Reasoning 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
3	**Reasoning 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤
4	**Reasoning 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
5	**Time order 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
6	**Time order 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤
7	**Time order 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
8	**Resume and Cover Letter 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
9	**Resume and Cover Letter 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
10	**Definition 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
11	**Definition 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
12	**Definition 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
13	**Comparison 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
14	**Comparison 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤
15	**Comparison 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤

▌教科書
随時プリントを配布します。

▌参考書、参考資料等
その都度紹介します。

▌フィードバックの仕方
各課題は授業時間中にフィーバックを行います。

▌他の授業科目との関連
なし

▌成績評価の仕方
授業内で提出された課題で評価します。

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室（401）

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参して下さい。

英語 W2-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS201**

○川﨑　修一

▌授業の目的

様々な種類の英文パラグラフの書き方を習得する。

▌到達目標

様々な種類の英文パラグラフが書けるようになる。

▌学習の進め方

AL

パラグラフについて学び、実際にさまざまな英文パラグラフを書く。同時に、文法的正確さは言うまでもなく、自然で実践的な英文の書き方を学びます。

履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。

履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**What is paragraph?** 事前学修：［30 分］英語の paragraph に関する課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	［講義・演習］	
2	**Topic Sentence** 事前学修：［30 分］Topic sentence についての課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	［講義・演習］	
3	**Conclusion** 事前学修：［30 分］Concluding sentence についての課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	［講義・演習］	
4	**Description** 事前学修：［30 分］Descriptive paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	［講義・演習］	
5	**Enumeration (1)** 事前学修：［30 分］Enumeration についての課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	［講義・演習］	
6	**Enumeration (2)** 事前学修：［30 分］Enumeration paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	［講義・演習］	
7	**Comparison and Contrast (1)** 事前学修：［30 分］Comparison and Contrast paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	［講義・演習］	
8	**Comparison and Contrast (2)** 事前学修：［30 分］Comparison and Contrast paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	［講義・演習］	
9	**Illustration (1)** 事前学修：［30 分］Illustration paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	［講義・演習］	
10	**Illustration (2)** 事前学修：［30 分］Illustration paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	［講義・演習］	
11	**Classification** 事前学修：［30 分］Classification paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	［講義・演習］	

No	内容	形式	教員
12	**Cause and Effect (1)** 事前学修：［30 分］Cause and Effect paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	［講義・演習］	
13	**Cause and Effect (2)** 事前学修：［30 分］Cause and Effect paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	［講義・演習］	
14	**Definition** 事前学修：［30 分］Definition paragraph についての課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	［講義・演習］	
15	**Review** 事前学修：［30 分］１～１４回の課題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：［60 分］スライドに挙げた全てのポイントを復習する。		

▌教科書
プリントを配布します。

▌参考書、参考資料等
随時配布します。

▌フィードバックの仕方
レポート課題のフィードバックは提出翌週に行います。最終課題のフィードバックは授業最終日に行います。

▌他の授業科目との関連
なし

▌成績評価の仕方
レポート課題 60%＋最終提出課題 40 %

▌オフィスアワー・研究室等
402 研究室　水曜日 10：40 － 12：10、13：10 － 14：40

▌受講上の注意事項
なし

英語 W2-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」成長**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS251**

〇遠藤　花子

▌授業の目的

様々な種類の英文パラグラフの書き方を習得する。

▌到達目標

1. 正しい英文を書くことができる。
2. 異なるタイプのパラグラフを書くことができる。
3. 論理的に物事を考え、書くことができる。
4. ディスカッションから自分の考えを引き出すことができる。
5. 1000 words の Research Essays を書くことができる。

▌学習の進め方

様々なタイプのパラグラフについて学び、実際にそれぞれのトピックに対応した英文パラグラフを書く。提出した課題は添削をし、返却する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** 事前学修：［20 分］W2-1 で学んだことの復習をする 事後学修：［50 分］授業の配布資料を読み返す	講義・演習	遠藤
2	**Process and Direction 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
3	**Process and Direction 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤
4	**Process and Direction 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
5	**Cause and Effect 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
6	**Cause and Effect 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤
7	**Cause and Effect 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
8	**Argumentative Essays 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
9	**Argumentative Essays 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤
10	**Argumentative Essays 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
11	**Research Essays 1** **テーマの選び方、エッセイの書き方** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
12	**Research Essays 2** **APA 方式のエッセイの書き方** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
13	**Research Essays 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤
14	**Research Essays 4** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤
15	**Research Essays 5** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、ノートに書いてくる 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤

▌教科書
随時プリントを配布します。

▌参考書、参考資料等
その都度、紹介します。

▌フィードバックの仕方
各課題は授業中にフィーバックを行います。

▌他の授業科目との関連
なし

▌成績評価の仕方
授業内で提出された課題で評価します。

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30-12:50

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参して下さい。

英語 W2-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」成長**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS251**

〇遠藤　花子

▌授業の目的

様々な種類の英文パラグラフの書き方を習得する。

▌到達目標

1. 正しい英文を書くことができる。
2. 異なるタイプのパラグラフを書くことができる。
3. 論理的に物事を考え、書くことができる。
4. ディスカッションから自分の考えを引き出すことができる。

▌学習の進め方

様々なタイプのパラグラフについて学び、実際にそれぞれのトピックに対応した英文パラグラフを書く。提出した課題は添削をし、返却する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** **The structure of a paragraph** **Brainstorming** 事前学修：［20 分］W1 で学んだことの復習をする 事後学修：［50 分］Paragraph の構成について復習する	演習・講義	遠藤
2	**Reasoning 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
3	**Reasoning 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤
4	**Reasoning 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
5	**Time order 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
6	**Time order 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤
7	**Time order 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
8	**Resume and Cover Letter 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
9	**Resume and Cover Letter 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
10	**Definition 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
11	**Definition 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
12	**Definition 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤
13	**Comparison 1** 事前学修：［30 分］配布プリントに目を通す 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	演習・講義	遠藤
14	**Comparison 2** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題の調査（文献検索、フィールドワークなど）を行う	演習・講義	遠藤
15	**Comparison 3** 事前学修：［30 分］課題のテーマ・構成を考え、essey の作成をする 事後学修：［30 分］課題を仕上げ、提出する	演習・講義	遠藤

▌教科書
随時プリントを配布します。

▌参考書、参考資料等
その都度紹介します。

▌フィードバックの仕方
各課題は授業時間中にフィーバックを行います。

▌他の授業科目との関連
なし

▌成績評価の仕方
授業内で提出された課題で評価します。

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室（401）

▌受講上の注意事項
授業には必ず辞書を持参して下さい。

英語 LS2-1

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS202**

○川﨑　修一

▌授業の目的

(1) 英語で行われるプレゼンテーション・講義を理解する技術を習得する。
(2) 英語でプレゼンテーションする技術を習得する。

▌到達目標

(1) 英語で行われるプレゼンテーション・講義を理解できるようになる。
(2) 英語で学術的内容のプレゼンテーションができるようになる。

▌学習の進め方

AL
この授業では英語でのプレゼンテーション・講義を聞き、通常の授業同様にメモを取りながら自分の理解度を確認していきます。講義終了後に、内容に関する質疑応答を行い更に理解を深めていきます。またプレゼンテーションでは、講義内容に関して自分でトピックを選択し発表してもらいます。英語での発表の仕方は授業中に詳しく説明します。
履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。
履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**What is science?** 事前学修：［30 分］Science についての課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
2	**Presentation** 事前学修：［30 分］Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する	講義・演習	川﨑
3	**What is psychology?** 事前学修：［30 分］Psychology に関する課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
4	**Presentation** 事前学修：［30 分］Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
5	**What is sociology?** 事前学修：［30 分］Sociology に関する課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
6	**Presentation** 事前学修：［30 分］Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
7	**What is linguistics?** 事前学修：［30 分］Linguistics に関する課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
8	**Presentation** 事前学修：［30 分］Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
9	**What is physiology?** 事前学修：［30 分］Physiology に関する課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
10	**Presentation** 事前学修：［30 分］Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑

No	内容	形式	教員
11	**What is anthropology?** 事前学修：［30 分］Anthoropology に関する課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
12	**Presentation** 事前学修：［30 分］Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
13	**What is literature?** 事前学修：［30 分］Literature に関する課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
14	**Presentation** 事前学修：［30 分］Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
15	**Review** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［60 分］スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川﨑

▌教科書
プリントを配布します。

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
プレゼン毎にフィードバックします。リスニングのフィードバックは授業最終日に行います。

▌他の授業科目との関連
LS1-1、LS1-2 を履修していることが望ましい。

▌成績評価の仕方
リスニング試験 50 %＋プレゼンテーション 50 %

▌オフィスアワー・研究室等
402 研究室　月曜日 13：10 － 14：40

▌受講上の注意事項
授業での会話は全て「英語」です (日本語は一切使用しません)。また、次週の授業のための課題が出ますので、しっかりと準備してきて下さい。
＊受講者が AB 合同で 10 名以下の場合、遠藤（花）クラスは開講せず、川﨑合同クラスで実施します。

英語 LS2-2

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」実践**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS252**

○川﨑　修一

▌授業の目的

(1)英語で行われるプレゼンテーション・講義を理解する技術を身につける。
(2)英語でプレゼンテーションを行う技術を習得する。

▌到達目標

(1)英語で行われるプレゼンテーション・講義を理解できるようになる。
(2)英語で学術的内容のプレゼンテーションができるようになる。

▌学習の進め方

AL
授業形態は基本的に LS2-1 と同じですが、授業内容のレヴェルは少し高度なものになります。授業では英語で講義を行い、通常の授業同様にメモを取りながら自分の理解度を確認していきます。講義終了後に、内容に関する質疑応答を行い更に理解を深めていきます。またプレゼンテーションでは、講義内容に関して自分でトピックを選択し発表してもらいます。英語での発表の仕方は授業中に詳しく説明します。
履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。
履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**What is science?** 事前学修：［30 分］Science に関する課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
2	**Presentation** 事前学修：［30 分］Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
3	**What is psychology?** 事前学修：［30 分］Psychology に関する課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
4	**Presentation** 事前学修：［30 分］Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
5	**What is sociology?** 事前学修：［30 分］Sociology に関する課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
6	**Presentation** 事前学修：［30 分］Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
7	**What is linguistics?** 事前学修：［30 分］Linguistics に関する課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
8	**Presentation** 事前学修：［30 分］Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
9	**What is physiology?** 事前学修：［30 分］Physiology に関する課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
10	**Presentation** 事前学修：［30 分］Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑

No	内容	形式	教員
11	**What is anthropology?** 事前学修：［30 分］Anthropology に関する課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
12	**Presentation** 事前学修：［30 分］Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
13	**What is literature?** 事前学修：［30 分］Literature に関する課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
14	**Presentation** 事前学修：［30 分］Presentation のための課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	講義・演習	川﨑
15	**Review** 事前学修：［30 分］１～１４回の課題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：［60 分］スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川﨑

▌教科書
プリントを配布します。

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
プレゼン毎にフィードバックします。リスニングのフィードバックは授業最終日に行います。

▌他の授業科目との関連
LS1-1、LS1-2、LS2-1 を履修していることが望ましい。

▌成績評価の仕方
リスニング試験 50 %＋プレゼンテーション 50 %

▌オフィスアワー・研究室等
401 研究室（遠藤）月曜、火曜、水曜、金曜の昼休み（12:30-13:00）
402 研究室（川﨑）月曜、水曜、木曜の昼休み（12:30-13:00）

▌受講上の注意事項
授業での会話は全て「英語」です（日本語は一切使用しません）。次週の授業の為の課題が出るので、しっかりと準備してきて下さい。

英語文献を読む Ⅰ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」成長**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS300**

〇遠藤　花子

▌授業の目的

英語で書かれた、看護・医療に関連する良質な論文や書物を読むことによって、高度な内容の英文を正確かつ迅速に理解する能力を養成することを目的とします。英語論文の基本的な構造や使われている言葉などに注目しながら読むことで、論文に対する苦手意識をなくし、論文を読む習慣を身に付け、専門性の高い文献の理解ができるようになることを目指します。

▌到達目標

1. 看護学に関する英語文献を精読し正確に理解することができる。
2. 英語の論文構造を理解し、読解力を向上することができる。
3. 論文に書かれていることについて議論することができる。
4. レイニンガーのサンライズ・モデルを理解することができる。

▌学習の進め方

1. テキストを読みながら英語の訳読をする。
2. 書かれている内容を理解する。
3. 考えをまとめる。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** 事前学修：［20 分］Ethnonursing とは何かを考える 事後学修：［20 分］テキストの興味のある箇所を調べる	講義・演習	遠藤
2	**Culture Care Diversity and Universality Theory (1)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
3	**Culture Care Diversity and Universality Theory (2)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
4	**Culture Care Diversity and Universality Theory (3)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
5	**Culture Care Diversity and Universality Theory (4)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
6	**Culture Care Diversity and Universality Theory (5)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
7	**Culture Care Diversity and Universality Theory (6)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
8	**Culture Care Diversity and Universality Theory (7)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
9	**Ethnonursing Research Studies (1)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
10	**Ethnonursing Research Studies (2)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
11	**Ethnonursing Research Studies (3)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
12	**Ethnonursing Research Studies (4)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
13	**Ethnonursing Research Studies (5)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
14	**Ethnonursing Research Studies (6)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
15	**Ethnonursing Research Studies (7)** **まとめ** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤

▌教科書

Leininger の Culture Care Diversity and Universality: A Theory of Nursing に関するプリントを配布します。

▌参考書、参考資料等

その都度紹介します。

▌フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、試験期間後 3 週間以内に 401 研究室にて、採点後の答案用紙の返却と解説資料の配布を通じて行います。

▌他の授業科目との関連

R2-1、R2-2 を履修すること。英語文献を読むⅡは続きを読みます。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み 50%
学期末レポート 50%

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室（401）

▌受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

英語文献を読むⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」成長**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS350**

○遠藤　花子

▌授業の目的

英語で書かれた、看護・医療に関連する良質な論文や書物を読むことによって、高度な内容の英文を正確かつ迅速に理解する能力を養成することを目的とします。英語論文の基本的な構造や使われている言葉などに注目しながら読むことで、論文に対する苦手意識をなくし、論文を読む習慣を身に付け、専門性の高い文献の理解ができるようになることを目指します。

▌到達目標

1. 看護学に関する英語文献を精読し正確に理解することができる。
2. 英語の論文構造を理解し、読解力を向上することができる。
3. 論文に書かれていることについて議論することができる。
4. レイニンガーのサンライズ・モデルを理解することができる。

▌学習の進め方

1. テキストを読みながら英語の訳読をする。
2. 書かれている内容を理解する。
3. 読んだ内容から、自身の経験などをもとに、何をどのように理解したかまとめる。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Introduction** 事前学修：［20 分］Ethnonursing とは何かを考える 事後学修：［20 分］テキストの興味のある箇所を調べる	講義・演習	遠藤
2	**Ethnonursing Research Studies 1 (1)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
3	**Ethnonursing Research Studies 1 (2)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
4	**Ethnonursing Research Studies 1 (3)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
5	**Ethnonursing Research Studies 1 (4)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
6	**Ethnonursing Research Studies 1 (5)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
7	**Ethnonursing Research Studies 1 (6)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
8	**Ethnonursing Research Studies 1 (7)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
9	**Ethnonursing Research Studies 2 (1)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
10	**Ethnonursing Research Studies 2 (2)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
11	**Ethnonursing Research Studies 2 (3)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
12	**Ethnonursing Research Studies 2 (4)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
13	**Ethnonursing Research Studies 2 (5)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
14	**Ethnonursing Research Studies 2 (6)** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
15	**Ethnonursing Research Studies 2 (7)** **まとめ** 事前学修：［60 分］当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］内容全体の見直しをする	演習・講義	遠藤

▌教科書

Leininger の Culture Care Diversity and Universality: A Theory of Nursing に関するプリントを配布します。

▌参考書、参考資料等

その都度紹介します。

▌フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、試験期間後 3 週間以内に 401 研究室にて、採点後の答案用紙の返却と解説資料の配布を通じて行います。

▌他の授業科目との関連

「英語文献を読むⅠ」の学習内容の理解に基づき、より発展的な内容となります。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み 50%
学期末レポート 50%

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室（401）

▌受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

中国語Ⅰ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」関係**　**「3」成長**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS104**

〇神谷　智幸

▌授業の目的

「普通話」と呼ばれる現代標準中国語を学習対象にし、その発音と基礎的な文法を習得し、簡単な挨拶や日常会話ができるようになることを目的とする。

▌到達目標

①中国語の発音を習得する。
②中国語で簡単な挨拶や会話ができるようになる。
③名前や所属など簡単な自己紹介ができるようになる。
④日本と中国の文化の違いを認識する。

▌学習の進め方

「AL」授業形態は「講義」と「演習」を併用するかたちで実施する。この授業は、以下のように進める。
１．教員の解説を聞き、毎回の課題となる表現を習得するために、音読練習・会話練習を行う。
２．中国語の発音、単語や文の理解度と定着度を測るため、小テストを行う。
３．授業後はノートにまとめた内容を復習するだけでなく、学んだ発音や単語・文を次回までにより正確に発音できるようくりかえし練習する。
この授業は「講義」だけでなく、ひとりひとりの学生に実際に声に出して発音を練習し、習得することを求める。さらに、授業を進めていく中で、中国語圏の人々の文化や思考、感覚および現代中国社会の時事問題についても触れる。ことばの理解のみならず、文化や社会についても理解を深める。授業参加者には、異文化や多様性に関心を寄せ、積極的に理解しようとする姿勢が期待される。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス** 事前学修：［15 分］身の回りにある中国語や中国文化を探し、メモする 事後学修：［15 分］授業内容を復習し、気づきや感想を 200 字程度にまとめる	講義・演習	神谷
2	**発音（１）：中国語についての概要と声調** 事前学修：［15 分］事後学習に必要な道具（ノートや教科書など）を準備し、教科書 7-9 頁を読み、知らなかった内容や興味のある内容をノートに書きだす 事後学修：［45 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、12 頁の「声調」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
3	**発音（２）：単母音** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、12 頁の「声調」を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、11 頁の「単母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
4	**発音（３）：子音（前半）・二重母音** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、11 頁の「単母音」を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、13 頁「子音（前半）」・19 頁「二重母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
5	**発音（４）：子音（後半）・三重母音** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、13・19 頁の「子音」と「二重母音」を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、13 頁「子音（後半）」・19 頁「三重母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
6	**発音（５）：二重母音と三重母音のまとめ・n、ng を含む母音（全体の概要）・数字 1〜10 の言い方** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、これまで学んだ発音を教科書やノートを見返し復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、数字 1〜10 を暗記する	講義・演習	神谷

No	内容	形式	教員
7	**発音（６）：n、ng を含む母音（前半）** **第１課　新出語句・「名前の言い方」** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、25 頁の「n、ng を含む母音」を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、14 頁「新出語句」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
8	**発音（７）：n、ng を含む母音（後半）・変調** **第１課　会話・文法ポイント解説（挨拶①など）** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、14 頁の単語を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、14 頁「会話」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
9	**発音のまとめ（１）：ピンイン書き換えのルール** **第１課　補足語句・ドリル** **〔自己紹介（１）〕名前（苗字）を紹介する** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、14 頁の会話を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、名前（苗字）の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
10	**発音のまとめ（２）：親族名称と軽声** **第２課　新出語句・挨拶②・「数字の言い方」** **〔自己紹介（２）〕誕生日を紹介する** 事前学修：［60 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、14-18 頁の第１課の内容を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、誕生日の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
11	**第２課　会話・補足語句** **〔自己紹介（３）〕大学名・専攻・学年を紹介する** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、20 頁の単語を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、大学名・専攻・学年の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
12	**第２課　ペアワーク・ドリル** **〔自己紹介（４）〕住まい（実家）を紹介する** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、20 頁の会話を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上で復習し、住まい（実家）の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
13	**第３課　新出語句・“的”「～の」解説** **〔自己紹介（５）〕家族を紹介する** 事前学修：［60 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、20-22 頁の第２課の内容を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、家族の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
14	**第３課　会話・指示代名詞** **〔自己紹介（６）〕好きな食べ物を紹介する** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、26 頁の単語を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、好きな食べ物や趣味の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
15	**第３課　補足語句・ドリル** **〔自己紹介（７）〕自己紹介総合練習** 事前学修：［60 分］前期に学んだ表現を用いて自分自身の「自己紹介」を書く 事後学修：［120 分］教科書全体を復習し発音と筆記の練習をする、「自己紹介」ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷

▌教科書

李偉・管虹著（2018）.『協同学習で学ぶ　医療系中国語会話』. 初版.　白帝社

▌参考書、参考資料等

小野秀樹著（2018）.『中国人のこころ：「ことば」からみる思考と感覚』. 初版. 集英社

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは試験終了直後に、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
この科目は中国語Ⅱの履修要件となっています。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み 20 %、小テスト 30 %、定期試験 50 %

▌オフィスアワー・研究室等
随時、電子メールで質問を受け付ける。

中国語Ⅰ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」関係**　**「3」成長**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS104**

〇神谷　智幸

▌授業の目的

「普通話」と呼ばれる現代標準中国語を学習対象にし、その発音と基礎的な文法を習得し、簡単な挨拶や日常会話ができるようになることを目的とする。

▌到達目標

①中国語の発音を習得する。
②中国語で簡単な挨拶や会話ができるようになる。
③名前や所属など簡単な自己紹介ができるようになる。
④日本と中国の文化の違いを認識する。

▌学習の進め方

「AL」授業形態は「講義」と「演習」を併用するかたちで実施する。この授業は、以下のように進める。
１．教員の解説を聞き、毎回の課題となる表現を習得するために、音読練習・会話練習を行う。
２．中国語の発音、単語や文の理解度と定着度を測るため、小テストを行う。
３．授業後はノートにまとめた内容を復習するだけでなく、学んだ発音や単語・文を次回までにより正確に発音できるようくりかえし練習する。
この授業は「講義」だけでなく、ひとりひとりの学生に実際に声に出して発音を練習し、習得することを求める。さらに、授業を進めていく中で、中国語圏の人々の文化や思考、感覚および現代中国社会の時事問題についても触れる。ことばの理解のみならず、文化や社会についても理解を深める。授業参加者には、異文化や多様性に関心を寄せ、積極的に理解しようとする姿勢が期待される。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス** 事前学修：［15 分］身の回りにある中国語や中国文化を探し、メモする 事後学修：［15 分］授業内容を復習し、気づきや感想を 200 字程度にまとめる	講義・演習	神谷
2	**発音（１）：中国語についての概要と声調** 事前学修：［15 分］事後学習に必要な道具（ノートや教科書など）を準備し、教科書 7-9 頁を読み、知らなかった内容や興味のある内容をノートに書きだす 事後学修：［45 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、12 頁の「声調」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
3	**発音（２）：単母音** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、12 頁の「声調」を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、11 頁の「単母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
4	**発音（３）：子音（前半）・二重母音** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、11 頁の「単母音」を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、13 頁「子音（前半）」・19 頁「二重母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
5	**発音（４）：子音（後半）・三重母音** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、13・19 頁の「子音」と「二重母音」を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、13 頁「子音（後半）」・19 頁「三重母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
6	**発音（５）：二重母音と三重母音のまとめ・n、ng を含む母音（全体の概要）・数字 1〜10 の言い方** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、これまで学んだ発音を教科書やノートを見返し復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、数字 1〜10 を暗記する	講義・演習	神谷

No	内容	形式	教員
7	**発音（６）：n、ng を含む母音（前半）** **第１課　新出語句・「名前の言い方」** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、25 頁の「n、ng を含む母音」を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、14 頁「新出語句」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
8	**発音（７）：n、ng を含む母音（後半）・変調** **第１課　会話・文法ポイント解説（挨拶①など）** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、14 頁の単語を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、14 頁「会話」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	神谷
9	**発音のまとめ（１）：ピンイン書き換えのルール** **第１課　補足語句・ドリル** **〔自己紹介（１）〕名前（苗字）を紹介する** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、14 頁の会話を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、名前（苗字）の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
10	**発音のまとめ（２）：親族名称と軽声** **第２課　新出語句・挨拶②・「数字の言い方」** **〔自己紹介（２）〕誕生日を紹介する** 事前学修：［60 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、14-18 頁の第１課の内容を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、誕生日の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
11	**第２課　会話・補足語句** **〔自己紹介（３）〕大学名・専攻・学年を紹介する** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、20 頁の単語を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、大学名・専攻・学年の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
12	**第２課　ペアワーク・ドリル** **〔自己紹介（４）〕住まい（実家）を紹介する** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、20 頁の会話を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上で復習し、住まい（実家）の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
13	**第３課　新出語句・“的”「～の」解説** **〔自己紹介（５）〕家族を紹介する** 事前学修：［60 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、20-22 頁の第２課の内容を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、家族の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
14	**第３課　会話・指示代名詞** **〔自己紹介（６）〕好きな食べ物を紹介する** 事前学修：［30 分］事後学習の定着度を数回発音して確認し、26 頁の単語を復習する 事後学修：［60 分］授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、好きな食べ物や趣味の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
15	**第３課　補足語句・ドリル** **〔自己紹介（７）〕自己紹介総合練習** 事前学修：［60 分］前期に学んだ表現を用いて自分自身の「自己紹介」を書く 事後学修：［120 分］教科書全体を復習し発音と筆記の練習をする、「自己紹介」ができるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷

▌教科書

李偉・管虹著（2018）.『協同学習で学ぶ　医療系中国語会話』. 初版.　白帝社

▌参考書、参考資料等

小野秀樹著（2018）.『中国人のこころ：「ことば」からみる思考と感覚』. 初版. 集英社

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは試験終了直後に、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
この科目は中国語Ⅱの履修要件となっています。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み 20 %、小テスト 30 %、定期試験 50 %

▌オフィスアワー・研究室等
随時、電子メールで質問を受け付ける。

中国語Ⅱ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」関係**　**「3」成長**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS153**

〇神谷　智幸

▌授業の目的

「普通話」と呼ばれる現代標準中国語を学習対象にし、中国語Ⅰで学習した発音と基礎的な文法事項をさらに発展させ、日常会話ができるようになることを目的とする。

▌到達目標

①発音表記をみて自分で正しく発音できる。
②中国語で挨拶や会話ができるようになる。
③日本と中国の文化の違いについて自分で考えられるようになる。

▌学習の進め方

「AL」授業形態は「講義」と「演習」を併用するかたちで実施する。この授業は、以下のように進める。
1．教員の解説を聞き、毎回の課題となる表現およびその関連表現を習得するために、音読練習・会話練習を行う。
2．中国語の発音、単語や文の理解度と定着度を測るため、小テストを行う。
3．授業後はノートにまとめた内容を復習するだけでなく、学んだ発音や単語・文を次回までにより正確に発音できるようくりかえし練習する。
この授業は「講義」だけでなく、ひとりひとりの学生に日常会話で用いる文を実際に発音し、習得することを求める。さらに、授業を進めていく中で、中国語圏の人々の文化や思考、感覚および医療に関する中国語についても触れる。ことばの理解のみならず、文化や社会についても理解を深める。授業参加者には、異文化や多様性に関心を寄せ、積極的に理解しようとする姿勢が期待される。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス（発音総復習）** 事前学修：［30 分］中国語Ⅰで配布した資料やノートを整理し、見返しておく 事後学修：［60 分］中国語Ⅰで学習した内容をすべて復習する	講義	神谷
2	**第４課　新出語句・会話** **会話小テスト（１）** 事前学修：［45 分］小テスト（会話 1-4）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［45 分］会話 1-4 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
3	**第４課　文法ポイント・補足語句** **会話小テスト（２）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 5-8）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 5-8 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
4	**第４課　ドリル** **会話小テスト（３）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 9-12）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 9-12 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
5	**第５課　新出語句・会話** **会話小テスト（４）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 13-16）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 13-16 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷

No	内容	形式	教員
6	**第５課　文法ポイント・補足語句** **会話小テスト（５）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 17-20）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 17-20 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
7	**第５課　ドリル** **会話小テスト（６）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 21-23）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 21-23 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
8	**第６課　新出語句・会話** **会話小テスト（７）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 24-26）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 24-26 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
9	**第６課　文法ポイント・補足語句** **会話小テスト（８）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 27-29）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 27-29 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
10	**第６課　ドリル** **会話小テスト（９）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 30-32）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 30-32 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
11	**第７課　新出語句・会話** **会話小テスト（10）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 33-35）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 33-35 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
12	**第７課　文法ポイント・補足語句** **会話小テスト（11）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 36-38）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 36-38 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
13	**第７課　ドリル** **会話小テスト（12）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 39-41）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 39-41 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
14	**基本会話［前半］（1-20）総合練習** **会話小テスト（13）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 42-43）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［60 分］後期に学んだ表現を用いて会話 1-20 の質問文と回答文を書く	講義・演習	神谷

No	内容	形式	教員
15	**基本会話［後半］(21-45)総復習** **会話小テスト(14)** 事前学修：［60 分］学んできた会話文の発音と筆記の練習をする 事後学修：［60 分］後期に学んだ表現を用いて会話 21-45 の質問文と回答文を書く	講義・演習	神谷

▌教科書

李偉・管虹著 (2018).『協同学習で学ぶ　医療系中国語会話』. 初版. 白帝社

▌参考書、参考資料等

小野秀樹著(2018).『中国人のこころ：「ことば」からみる思考と感覚』. 初版. 集英社

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に口頭での解説を行う。

▌他の授業科目との関連

中国語Ⅱは中国語Ⅰの理解に基づき、より発展的な内容を扱います。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み 20 %、小テスト 40 %、定期試験 40 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

中国語Ⅱ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」関係**　**「3」成長**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS153**

〇神谷　智幸

▌授業の目的

「普通話」と呼ばれる現代標準中国語を学習対象にし、中国語Ⅰで学習した発音と基礎的な文法事項をさらに発展させ、日常会話ができるようになることを目的とする。

▌到達目標

①発音表記をみて自分で正しく発音できる。
②中国語で挨拶や会話ができるようになる。
③日本と中国の文化の違いについて自分で考えられるようになる。

▌学習の進め方

「AL」授業形態は「講義」と「演習」を併用するかたちで実施する。この授業は、以下のように進める。
1．教員の解説を聞き、毎回の課題となる表現およびその関連表現を習得するために、音読練習・会話練習を行う。
2．中国語の発音、単語や文の理解度と定着度を測るため、小テストを行う。
3．授業後はノートにまとめた内容を復習するだけでなく、学んだ発音や単語・文を次回までにより正確に発音できるようくりかえし練習する。
この授業は「講義」だけでなく、ひとりひとりの学生に日常会話で用いる文を実際に発音し、習得することを求める。さらに、授業を進めていく中で、中国語圏の人々の文化や思考、感覚および医療に関する中国語についても触れる。ことばの理解のみならず、文化や社会についても理解を深める。授業参加者には、異文化や多様性に関心を寄せ、積極的に理解しようとする姿勢が期待される。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス（発音総復習）** 事前学修：［30 分］中国語Ⅰで配布した資料やノートを整理し、見返しておく 事後学修：［60 分］中国語Ⅰで学習した内容をすべて復習する	講義	神谷
2	**第４課　新出語句・会話** **会話小テスト（１）** 事前学修：［45 分］小テスト（会話 1-4）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［45 分］会話 1-4 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
3	**第４課　文法ポイント・補足語句** **会話小テスト（２）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 5-8）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 5-8 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
4	**第４課　ドリル** **会話小テスト（３）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 9-12）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 9-12 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
5	**第５課　新出語句・会話** **会話小テスト（４）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 13-16）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 13-16 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷

No	内容	形式	教員
6	**第５課　文法ポイント・補足語句** **会話小テスト（５）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 17-20）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 17-20 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
7	**第５課　ドリル** **会話小テスト（６）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 21-23）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 21-23 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
8	**第６課　新出語句・会話** **会話小テスト（７）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 24-26）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 24-26 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
9	**第６課　文法ポイント・補足語句** **会話小テスト（８）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 27-29）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 27-29 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
10	**第６課　ドリル** **会話小テスト（９）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 30-32）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 30-32 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
11	**第７課　新出語句・会話** **会話小テスト（10）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 33-35）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 33-35 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
12	**第７課　文法ポイント・補足語句** **会話小テスト（11）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 36-38）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 36-38 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
13	**第７課　ドリル** **会話小テスト（12）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 39-41）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［30 分］会話 39-41 の質問とその回答例をノートにまとめ、なめらかに発音できるようくりかえし練習する	講義・演習	神谷
14	**基本会話［前半］（1-20）総合練習** **会話小テスト（13）** 事前学修：［60 分］小テスト（会話 42-43）に出題される文を覚えることを目指し、発音と筆記の練習をする 事後学修：［60 分］後期に学んだ表現を用いて会話 1-20 の質問文と回答文を書く	講義・演習	神谷

No	内容	形式	教員
15	**基本会話［後半］(21-45)総復習** **会話小テスト(14)** 事前学修：［60 分］学んできた会話文の発音と筆記の練習をする 事後学修：［60 分］後期に学んだ表現を用いて会話 21-45 の質問文と回答文を書く	講義・演習	神谷

▌教科書

李偉・管虹著 (2018).『協同学習で学ぶ　医療系中国語会話』. 初版. 白帝社

▌参考書、参考資料等

小野秀樹著(2018).『中国人のこころ：「ことば」からみる思考と感覚』. 初版. 集英社

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に口頭での解説を行う。

▌他の授業科目との関連

中国語Ⅱは中国語Ⅰの理解に基づき、より発展的な内容を扱います。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み 20 %、小テスト 40 %、定期試験 40 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

フランス語 I

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」変化**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS105**

〇西脇　雅彦

▌授業の目的

フランス語によるコミュニケーションの基礎を学ぶ。

▌到達目標

・フランス文化に対する理解を深める。
・発音の規則に慣れる。
・簡単な会話や作文ができるようになる。

▌学習の進め方

会話文をもとに基本文法をおさえ、ペア・ワークを含むさまざまなアクティビティをとおして、実践的にフランス語を学んでいきます。また時間の許すかぎりで、フランス文化の紹介も行います。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス** 事前学修：［20 分］シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：［20 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
2	**Leçon1　自己紹介する** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
3	**名前、国籍、出身地を言う** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
4	**Leçon2　人について語る** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
5	**職業名、住んでいるところ、話せる言語を言う** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
6	**Leçon3　持ち物についてたずねる** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
7	**身の回りのものについて** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
8	**Leçon4　好き・嫌いを言う** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
9	**趣味・活動について** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
10	**Leçon5　行先を言う** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
11	**施設・場所について** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
12	**Leçon6　紹介する** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇

No	内容	形式	教員
13	**家族について** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
14	**補足 1：日付を言う** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
15	**まとめ** 事前学修：［90 分］全体を振り返り、疑問点があれば整理しておく。 事後学修：［30 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇

▌教科書
北村亜矢子・Vincent Durrenberger 著、『新・オン プラティック! ー使える・発音（はな）せるフランス語ー』、 朝日出版社、2017

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行います。

▌他の授業科目との関連
フランス語 II の基礎となる科目です。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み（50 %） 2. 試験（50 %）

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に教室で質問を受けつけます。

▌受講上の注意事項
わからないことがあれば、遠慮せず聞いてください。

フランス語 I

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」変化**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS105**

〇西脇　雅彦

▌授業の目的

フランス語によるコミュニケーションの基礎を学ぶ。

▌到達目標

・フランス文化に対する理解を深める。
・発音の規則に慣れる。
・簡単な会話や作文ができるようになる。

▌学習の進め方

会話文をもとに基本文法をおさえ、ペア・ワークを含むさまざまなアクティビティをとおして、実践的にフランス語を学んでいきます。また時間の許すかぎりで、フランス文化の紹介も行います。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス** 事前学修：［20 分］シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：［20 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
2	**Leçon1　自己紹介する** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
3	**名前、国籍、出身地を言う** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
4	**Leçon2　人について語る** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
5	**職業名、住んでいるところ、話せる言語を言う** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
6	**Leçon3　持ち物についてたずねる** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
7	**身の回りのものについて** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
8	**Leçon4　好き・嫌いを言う** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
9	**趣味・活動について** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
10	**Leçon5　行先を言う** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
11	**施設・場所について** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
12	**Leçon6　紹介する** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇

No	内容	形式	教員
13	**家族について** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
14	**補足 1：日付を言う** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
15	**まとめ** 事前学修：［90 分］全体を振り返り、疑問点があれば整理しておく。 事後学修：［30 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇

▌教科書
北村亜矢子・Vincent Durrenberger 著、『新・オン プラティック! ー使える・発音（はな）せるフランス語ー』、 朝日出版社、2017

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行います。

▌他の授業科目との関連
フランス語 II の基礎となる科目です。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み（50 %） 2. 試験（50 %）

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に教室で質問を受けつけます。

▌受講上の注意事項
わからないことがあれば、遠慮せず聞いてください。

フランス語Ⅱ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」変化**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS154**

〇西脇　雅彦

▌授業の目的

「フランス語Ⅰ」で学んだ内容を踏まえて、フランス語によるコミュニケーションの基礎をかためる。

▌到達目標

・フランス文化に対する理解を深める。
・発音の規則を習得する。
・状況に応じた会話や作文ができるようになる。

▌学習の進め方

会話文をもとに基本文法をおさえ、ペア・ワークを含むさまざまなアクティビティをとおして、実践的にフランス語を学んでいきます。また時間の許すかぎりで、フランス文化の紹介も行います。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス** **補足２：カフェで注文する** 事前学修：［20 分］シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：［30 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
2	**Leçon7　勧める** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
3	**飲み物・食べ物について** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
4	**Leçon8　位置関係を示す** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
5	**色、場所の表現** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
6	**Leçon9　贈り物の相談をする** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
7	**プレゼントあれこれ** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
8	**Leçon10　過去の行為、出来事を語る 1** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
9	**助動詞 avoir を使う場合** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
10	**Leçon11　過去の行為、出来事を語る 2** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
11	**助動詞 être を使う場合** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇

No	内容	形式	教員
12	**Leçon12　過去の状態や習慣を述べる** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
13	**感想を述べる** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
14	**補足 3：日常を語る** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
15	**まとめ** 事前学修：［90 分］全体を振り返り、疑問点があれば整理しておく。 事後学修：［30 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇

▌教科書
北村亜矢子・Vincent Durrenberger 著、『新・オン プラティック! ー使える・発音（はな）せるフランス語ー』、 朝日出版社、2017

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行います。

▌他の授業科目との関連
フランス語 I を発展させた科目です。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み（50 %）2. 試験（50 %）

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に教室で質問を受けつけます。

▌受講上の注意事項
わからないことがあれば、遠慮せず聞いてください。

フランス語Ⅱ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」探求**　**「3」変化**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBLS154**

〇西脇　雅彦

▌授業の目的

「フランス語Ⅰ」で学んだ内容を踏まえて、フランス語によるコミュニケーションの基礎をかためる。

▌到達目標

・フランス文化に対する理解を深める。
・発音の規則を習得する。
・状況に応じた会話や作文ができるようになる。

▌学習の進め方

会話文をもとに基本文法をおさえ、ペア・ワークを含むさまざまなアクティビティをとおして、実践的にフランス語を学んでいきます。また時間の許すかぎりで、フランス文化の紹介も行います。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス** **補足２：カフェで注文する** 事前学修：［20 分］シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：［30 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
2	**Leçon7　勧める** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
3	**飲み物・食べ物について** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
4	**Leçon8　位置関係を示す** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
5	**色、場所の表現** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
6	**Leçon9　贈り物の相談をする** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
7	**プレゼントあれこれ** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
8	**Leçon10　過去の行為、出来事を語る 1** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
9	**助動詞 avoir を使う場合** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
10	**Leçon11　過去の行為、出来事を語る 2** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
11	**助動詞 être を使う場合** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇

No	内容	形式	教員
12	**Leçon12　過去の状態や習慣を述べる** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
13	**感想を述べる** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
14	**補足 3：日常を語る** 事前学修：［20 分］教科書に目をとおして音声を聞き、疑問点があればチェックする。 事後学修：［40 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
15	**まとめ** 事前学修：［90 分］全体を振り返り、疑問点があれば整理しておく。 事後学修：［30 分］学んだ内容の復習	講義・演習	西脇

▌教科書
北村亜矢子・Vincent Durrenberger 著、『新・オン プラティック! ー使える・発音（はな）せるフランス語ー』、 朝日出版社、2017

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行います。

▌他の授業科目との関連
フランス語 I を発展させた科目です。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み（50 %）2. 試験（50 %）

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に教室で質問を受けつけます。

▌受講上の注意事項
わからないことがあれば、遠慮せず聞いてください。

基礎ゼミⅠ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求　「2」実践　「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFS100**

渋谷　真樹、川﨑　修一、遠藤　花子、井上　明宏、遠藤　公久、逸見　功、川﨑　洋平、鷹田　佳典、越後　敬子、宮﨑　正峰、伊藤　麻希、佐藤　眞

▌授業の目的

大学で学問を学ぶために必要な「聴く力」「話す力」「読む力」「書く力」「調べる力」の基本を身につける。

▌到達目標

1. 人文・社会・自然科学の講義や他者の意見の内容を理解できる。
2. 学術的な文章を読んでその内容を理解できる。
3. 自分の意見をその根拠も含めて相手にわかりやすく説明できる。
4. 調べたいテーマに関する文献を検索・収集できる。
5. テーマに即した論理的な文章を書くことができる。

▌学習の進め方

「AL」
上記の到達目標が達成できるように、少人数(10 数名)のゼミにおいて個人やグループで課題に取り組む。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**自己紹介を兼ねて「私はどのような大学生になりたいか。なぜそう考えるか。」等のテーマで自分の意見を発表する。授業終了前に 4 回目の討論テーマを決める。** 事前学修：[15 分] 自己紹介の内容を考えて A4 用紙 1 枚にまとめ、発表準備をする 事後学修：[15 分] 授業の振り返り	発表	各担当教員
2	**A1 グループ** **(前半)(オンラインを含む)文献検索の練習** **(後半)図書館の図書・雑誌・辞典類・AV 資料の配置を覚える。** **A2 グループ** **(前半)図書館の図書・雑誌・辞典類・AV 資料の配置を覚える。** **B1・B2 グループ** **第 4 回の討論の準備** 事前学修：[15 分] 関連するテキストの部分を読み、注意点をノートにメモしておく。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、討論	各担当教員
3	**A1・A2 グループ** **第 4 回討論の準備** **B1 グループ** **(前半)(オンラインを含む)文献検索の復習** **(後半)指定された図書・雑誌論文等の検索** **B2 グループ** **(前半)指定された図書・雑誌論文等の検索** **(後半)(オンラインを含む)文献検索の復習** **B1・B2 グループ** **1 回目で決めたテーマについての賛否とその理由について討論する。** 事前学修：[30 分] 関連するテキストの部分を読み、注意点をノートにメモしておく。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、討論	各担当教員
4	**第 1 回で決定したテーマについて討論** 事前学修：[30 分] 討論テーマについて、自身の考えをまとめノートに記す。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	発表、討論	各担当教員
5	**指定図書を読み自分の意見を発表し討論する。** 事前学修：[30 分] 事前に提示された指定図書を読み発表資料を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	発表、討論	各担当教員

No	内容	形式	教員
6	**A1・A2 グループ：研究論文の読解と討論(1 回目)** **B1・B2 グループ：MS Word の基本操作と APA の学習** 事前学修：[60 分] 指定の研究論文を読み自分の意見をまとめる(A1・A2)。テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく(B1・B2)。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、発表、討論	各担当教員
7	**A1・A2 グループ：MS Word の基本操作と APA の学習** **B1・B2 グループ：研究論文の読解と討論(1 回目)** 事前学修：[60 分] テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく(A1・A2)。指定の研究論文を読み自分の意見をまとめる(B1・B2)。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、発表、討論	各担当教員
8	**A1・A2 グループ：研究論文の読解、討論(2 回目)** **B1・B2 グループ：APA 方式の復習** 事前学修：[60 分] 指定の研究論文を読み自分の意見をまとめる(A1・A2)。テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく(B1・B2)。 事後学修：[15 分] 授業の振り返り	演習、発表、討論	各担当教員
9	**A1・A2 グループ：APA 方式の復習** **B1・B2 グループ：研究論文の読解、討論(2 回目)** 事前学修：[60 分] テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく(A1・A2)。指定の研究論文を読み自分の意見をまとめる(B1・B2)。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、発表、討論	各担当教員
10	**レポート作成要領の説明と個別指導** 事前学修：[15 分] テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく。レポートのテーマを考えノートに記す。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習	各担当教員
11	**レポート作成のための個別指導：** **・テーマの設定、必要な資料の検索など** 事前学修：[30 分] レポートのテーマに関して必要な資料や情報を整理しノートに記す。 事後学修：[15 分] 個別指導の内容を踏まえ、不足している資料の収集を行う。	演習	各担当教員
12	**レポート作成のための個別指導：** **・設定したテーマに従って必要な資料(文献等)を収集し、検討するなど。** 事前学修：[30 分] レポートテーマについて、文献検索を進める。 事後学修：[15 分] 検索した資料を整理し、不足している資料があればさらに検索する。	演習	各担当教員
13	**レポート中間発表会(前半)** 事前学修：[30 分] レポート中間発表の準備(レジュメやスライドの作成)をする。 事後学修：[15 分] 他者の発表を聞き、自分の発表内容の課題を明確にする。	演習	各担当教員
14	**レポート中間発表会(後半)** 事前学修：[60 分] レポート中間発表の準備(レジュメやスライドの作成)をする。 事後学修：[15 分] 他者の発表を聞き、自分の発表内容の課題を明確にする。	発表	各担当教員
15	**レポート作成のための個別指導：** **・最終レポート作成に向け、論文に適した表現などについて担当教員の指導を受ける。** 事前学修：[30 分] レポートテーマについて、文献検索を進め、執筆を進める。 事後学修：[15 分] 作成中のレポートを再検討し、論理的な表現など指導された内容を確認する。	演習	各担当教員

▌教科書
なし(プリントを配布します)。

▌参考書、参考資料等
必要に応じて紹介します。

▌フィードバックの仕方
レポートは担当教員のコメントを付して、後期の基礎ゼミ II の授業時に返却します。

▌他の授業科目との関連
この科目の発展的応用的科目として 1 年次後期に「基礎ゼミⅡ」(必修科目)があります。

▌成績評価の仕方

授業スケジュールの 1〜10 の課題を達成した合計が 50 点、レポート評価が 50 点（レポート中間発表会でのプレゼンテーション評価 10 点を含む）。

▌オフィスアワー・研究室等

時間：専任教員は授業開講日の 12:30〜13:00。非常勤講師は授業終了後。
場所：遠藤（花）（401 研究室）、川﨑（修）（402 研究室）、遠藤（公）（404 研究室）、川﨑（洋）（407 研究室）、井上（409 研究室）、角田（410 研究室）、鷹田 (404 研究室)、白井（401 研究室）、非常勤講師（各教室または講師が指定する方法）。

▌受講上の注意事項

＊指定された担当教員のゼミを履修する。

基礎ゼミⅠ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　実務経験がある教員：**ー**
科目ナンバー：**HBFS100**

○角田　敦彦

▌授業の目的

大学で学問を学ぶために必要な「聴く力」「話す力」「読む力」「書く力」「調べる力」の基本を身につける。

▌到達目標

1. 人文・社会・自然科学の講義や他者の意見の内容を理解できる。
2. 学術的な文章を読んでその内容を理解できる。
3. 自分の意見をその根拠も含めて相手にわかりやすく説明できる。
4. 調べたいテーマに関する文献を検索・収集できる。
5. テーマに即した論理的な文章を書くことができる。

▌学習の進め方

「AL」
上記の到達目標が達成できるように、少人数(10 数名)のゼミにおいて個人やグループで課題に取り組む。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**自己紹介を兼ねて「私はどのような大学生になりたいか。なぜそう考えるか。」等のテーマで自分の意見を発表する。授業終了前に 4 回目の討論テーマを決める。** 事前学修：[15 分] 自己紹介の内容を考えて A4 用紙 1 枚にまとめ、発表準備をする 事後学修：[15 分] 授業の振り返り	発表	各担当教員
2	**A1 グループ** **(前半)(オンラインを含む)文献検索の練習** **(後半)図書館の図書・雑誌・辞典類・AV 資料の配置を覚える。** **A2 グループ** **(前半)図書館の図書・雑誌・辞典類・AV 資料の配置を覚える。** **B1・B2 グループ** **第 4 回の討論の準備** 事前学修：[15 分] 関連するテキストの部分を読み、注意点をノートにメモしておく。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、討論	各担当教員
3	**A1・A2 グループ** **第 4 回討論の準備** **B1 グループ** **(前半)(オンラインを含む)文献検索の復習** **(後半)指定された図書・雑誌論文等の検索** **B2 グループ** **(前半)指定された図書・雑誌論文等の検索** **(後半)(オンラインを含む)文献検索の復習** **B1・B2 グループ** **1 回目で決めたテーマについての賛否とその理由について討論する。** 事前学修：[30 分] 関連するテキストの部分を読み、注意点をノートにメモしておく。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、討論	各担当教員
4	**第 1 回で決定したテーマについて討論** 事前学修：[30 分] 討論テーマについて、自身の考えをまとめノートに記す。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	発表、討論	各担当教員
5	**指定図書を読み自分の意見を発表し討論する。** 事前学修：[30 分] 事前に提示された指定図書を読み発表資料を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	発表、討論	各担当教員

No	内容	形式	教員
6	**A1・A2 グループ：研究論文の読解と討論(1 回目)** **B1・B2 グループ：MS Word の基本操作と APA の学習** 事前学修：[60 分] 指定の研究論文を読み自分の意見をまとめる(A1・A2)。テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく(B1・B2)。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、発表、討論	各担当教員
7	**A1・A2 グループ：MS Word の基本操作と APA の学習** **B1・B2 グループ：研究論文の読解と討論(1 回目)** 事前学修：[60 分] テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく(A1・A2)。指定の研究論文を読み自分の意見をまとめる(B1・B2)。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、発表、討論	各担当教員
8	**A1・A2 グループ：研究論文の読解、討論(2 回目)** **B1・B2 グループ：APA 方式の復習** 事前学修：[60 分] 指定の研究論文を読み自分の意見をまとめる(A1・A2)。テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく(B1・B2)。 事後学修：[15 分] 授業の振り返り	演習、発表、討論	各担当教員
9	**A1・A2 グループ：APA 方式の復習** **B1・B2 グループ：研究論文の読解、討論(2 回目)** 事前学修：[60 分] テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく(A1・A2)。指定の研究論文を読み自分の意見をまとめる(B1・B2)。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、発表、討論	各担当教員
10	**レポート作成要領の説明と個別指導** 事前学修：[15 分] テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく。レポートのテーマを考えノートに記す。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習	各担当教員
11	**レポート作成のための個別指導：** **・テーマの設定、必要な資料の検索など** 事前学修：[30 分] レポートのテーマに関して必要な資料や情報を整理しノートに記す。 事後学修：[15 分] 個別指導の内容を踏まえ、不足している資料の収集を行う。	演習	各担当教員
12	**レポート作成のための個別指導：** **・設定したテーマに従って必要な資料(文献等)を収集し、検討するなど。** 事前学修：[30 分] レポートテーマについて、文献検索を進める。 事後学修：[15 分] 検索した資料を整理し、不足している資料があればさらに検索する。	演習	各担当教員
13	**レポート中間発表会(前半)** 事前学修：[30 分] レポート中間発表の準備(レジュメやスライドの作成)をする。 事後学修：[15 分] 他者の発表を聞き、自分の発表内容の課題を明確にする。	演習	各担当教員
14	**レポート中間発表会(後半)** 事前学修：[60 分] レポート中間発表の準備(レジュメやスライドの作成)をする。 事後学修：[15 分] 他者の発表を聞き、自分の発表内容の課題を明確にする。	発表	各担当教員
15	**レポート作成のための個別指導：** **・最終レポート作成に向け、論文に適した表現などについて担当教員の指導を受ける。** 事前学修：[30 分] レポートテーマについて、文献検索を進め、執筆を進める。 事後学修：[15 分] 作成中のレポートを再検討し、論理的な表現など指導された内容を確認する。	演習	各担当教員

▌教科書
なし(プリントを配布します)。

▌参考書、参考資料等
必要に応じて紹介します。

▌フィードバックの仕方
レポートは担当教員のコメントを付して、後期の基礎ゼミ II の授業時に返却します。

▌他の授業科目との関連
この科目の発展的応用的科目として後期に「基礎ゼミⅡ」(必修科目)があります。

▌成績評価の仕方

授業スケジュールの 1〜10 の課題を達成した合計が 50 点、レポート評価が 50 点（レポート中間発表会でのプレゼンテーション評価 10 点を含む）。

▌オフィスアワー・研究室等

時間：授業開講日の 12:30〜13:00
場所：410 研究室

▌受講上の注意事項

＊指定された担当教員のゼミを履修する。

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBFS150**

〇遠藤　公久

▌授業の目的

対人関係や対人コミュニケーションを中心テーマに据えて、普段私たちが日常生活で不思議に思っていることを取り上げて検証することで、科学的に探求する態度を身につける。

▌到達目標

1．対人関係や対人コミュニケーションについて探求する態度をもつことができる。
2．調査法(実験法)などの研究方法について知ることができる。
3．グループワークを通して、対人関係を深める。
4．効果的なプレゼンテーションについて学習する。

▌学習の進め方

基本的にはグループ(2 名または 3 名) 活動である。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** 事前学修：特にない 事後学修：［15 分］来週までに興味のあるテーマを考えてくる。	講義	遠藤
2	**考えてきたテーマ発表(キーワード)する。** 事前学修：［10 分］自分の取り上げたいテーマを考えてくる 事後学修：［10 分］来週までにさらにテーマを絞ってくる	発表・討論	遠藤
3	**いくつかにまとめられたテーマから、自分の検討したいテーマを決定し、グループになる。** 事前学修：［10 分］来週までにさらにテーマを絞ってくる 事後学修：［10 分］決定したテーマについて、何を調べたいのか考えておく	発表、討論	遠藤
4	**グループワーク１：各グループでテーマについて討論し、検証したい現象について考える。** 事前学修：［10 分］決定したテーマについて、何を調べたいのか考えておく 事後学修：［10 分］さらにテーマについて具体的に考えておく	討論	遠藤
5	**グループワーク２：検証したい現象などについて、さらにグループで考え、また調べてみる。** 事前学修：［10 分］さらにテーマについて具体的に考えておく 事後学修：［10 分］調べたことを取り入れて、さらに具体化を進める	討論	遠藤
6	**グループワーク３：調べたことをもとに、検証したいことについてさらに深めてみる。** 事前学修：［10 分］調べたことを取り入れて、さらに具体化を進める 事後学修：［10 分］仮説や検証方法などを考え、調べておく	討論	遠藤
7	**グループワーク４：調べたいテーマについて、グループとして具体的な仮説と検証方法について考えてみる。** 事前学修：［10 分］仮説や検証方法などを考え、調べておく 事後学修：［10 分］特に無い	発表、討論	遠藤
8	**グループワーク５：検証方法について具体化していく。(例えば、質問紙作成など)** 事前学修：［10 分］特に無いが、検証方法について考えておく 事後学修：［10 分］検証方法を具体化する	討論	遠藤
9	**グループワーク６：検証方法についてさらに具体化する。** 事前学修：［10 分］検証方法を具体化する 事後学修：［10 分］検証したいこととその方法との対応があっているか考える	討論	遠藤
10	**グループワーク７：各グループで出された検証方法について、グループで発表して修正箇所などをみつける。** 事前学修：［10 分］検証したいこととその方法との対応があっているか考える 事後学修：［10 分］調査(実験)の準備を進めておく	討論	遠藤

No	内容	形式	教員
11	**グループワーク８：修正箇所を取り入れて、完成版を作成する。** **また、調査(実験)などをスタートする。** 事前学修：[15 分] 調査(実験)の準備を進めておく 事後学修：[30 分] 次回までに調査(実験)を終了しておく	討論	遠藤
12	**グループワーク９：調査(実験)結果などを持ち寄り、データ入力(エクセル)する。** 事前学修：[60 分] 次回までに調査(実験)を終了しておく 事後学修：[60 分] データ入力を終了しておく(エクセル入力)	討論	遠藤
13	**グループワーク 10：分析結果(単純集計など)をもとに、発表の準備をする。** 事前学修：[30 分] データ入力を終了しておく(エクセル入力) 事後学修：[30 分] 分析結果について解釈を進める	討論	遠藤
14	**グループワーク 11：各グループで発表の準備をする。** 事前学修：[30 分] 分析結果について解釈を進める 事後学修：[30 分] パワーポイントについて慣れる	討論	遠藤
15	**発表：各グループで研究したことについて発表し(パワーポイント)、質疑応答を体験する。** 事前学修：[60 分] パワーポイント資料を完成しておく 事後学修：[15 分] 授業全体についてコメントを作成する	発表・討論	遠藤

▌教科書
使用しない。各人、各グループで調べた資料

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
発表までが課題となる。レポートはない。

▌他の授業科目との関連
基礎ゼミⅠ

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み(50 %)　2. グループ発表の内容(50 %)。

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30～13:00、遠藤公久(404 研究室)。

▌受講上の注意事項
調査(実験)期間(数日間)が必要になることがあります。

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　**「3」連携**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFS150**

○川﨑　修一

▌授業の目的

テーマ：日本語の「ふしぎ」に焦点を当て、その背後にある仕組みを探る
(1)先行研究を理解する　(2)自分の意見をわかりやすく発表する。

▌到達目標

先行研究を分析し、自分の意見をわかりやすく発表できるようになる。

▌学習の進め方

AL
日本語の表現には、いまだ規則らしきものが発見されず「ふしぎ」のままの現象が数多く存在しています。この授業では、これらの様々な「ふしぎ」に焦点を当て、分析し、疑問に感じたことなどを議論していきたいと思っています。といっても、なにも小難しいことをやるわけではありません。ごく身近な表現を取り上げ、言語研究者がどのように分析しているかをわかり易く解説した上で、代替案の可能性を探っていきます。
履修のために必要な事前学修：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。
履修のために必要な事後学修：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**「全然＋肯定」―「全然大丈夫！」は全然大丈夫か？** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川﨑
2	**「～かけの～」―「立ちかけのキリンを写真に撮った」は自然な日本語か？** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川﨑
3	**「～ている」―「桜の花が散っている」はなぜ曖昧か？** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川﨑
4	**「ろくな～しない」―「ろくなタレントがふざけなかった」はなぜヘン？** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川﨑
5	**最近の気になる日本語** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川﨑
6	**日本語に対する「直感」** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川﨑
7	**これはゴミ箱なので、それ以外のものはすてちゃダメ！ ―“それ”＝“ごみ”の解釈は可能か？** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川﨑
8	**なぜ音楽は「甘い」？ ―共感覚表現** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川﨑
9	**「た」の意味** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川﨑
10	**「モノ」と「場所」の交替** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川﨑

No	内容	形式	教員
11	**「子供がいっぱい走った」はなぜ曖昧か？** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川﨑
12	**「川で泳いだ」と「川を泳いだ」の違いは？** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川﨑
13	**「降りさえ雨がした」はなぜ変？** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川﨑
14	**「公久は眞に自分の部屋で殴られた」はどっちの部屋で殴られた？** 事前学修：［30 分］課題を仕上げる。 事後学修：［30 分］授業で指摘されたポイントを復習する。	討論	川﨑
15	**総括** 事前学修：［30 分］１～１４回の課題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：［30 分］全てのポイントを復習する。		川﨑

▌教科書

下記の参考書を基にしたプリントを配布しますので、購入の必要はありません。

▌参考書、参考資料等

「日本語機能的構文研究」久野暲・高見健一(著)大修館書店
「ケジメのない日本語」景山太郎(著)岩波書店
「ふしぎなことば　ことばのふしぎ」池上嘉彦(著)筑摩書房

▌フィードバックの仕方

課題の評価は授業最終日にフィードバックします。

▌他の授業科目との関連

基礎ゼミ 1 の内容を復習しておくこと。

▌成績評価の仕方

毎回の課題のポートフォリオに基づくプレゼン 80%
授業参加度 20%

▌オフィスアワー・研究室等

402 研究室　水曜日 10：40 － 12：10、13：10 － 14：40

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」国際貢献**　**「3」関係**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBFS150**

〇遠藤　花子

▌授業の目的

テーマ：イギリスの文化を学ぶ

現在のイギリスを理解するには、歴史的な背景を知ることが必要です。2000 年に及ぶ歴史の中で、人々は何を身に付け、何を発明し、そして何に苦しんできたのでしょうか。この授業では、イギリスの歴史に触れながら、現代のイギリスの国民性や衣食住、更には娯楽や文学について探っていきます。

▌到達目標

1. プレゼンテーションを通して自分で原稿をまとめる力と発表する能力を身に付けることができる。
2. 歴史を学ぶ中で、「人間とは何か」を理解することができる。
3. 論理的な思考を身に付けることができる。

▌学習の進め方

1. 担当者を決め、トピックに関連する事柄のプレゼンテーションを行う。
2. スライド、配布資料、DVD などからイギリス文化の理解を深める。
3. 討議を行った後、自分の考えをまとめる。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**イントロダクション** **発表のグループ分け** 事前学修：［60 分］イギリスの歴史、文化、文学に関心をもつ 事後学修：［30 分］興味のある範囲を調べる（映画などでも構いません）	発表・講義・討論	遠藤
2	**道具の歴史とローマン・ブリテンの衣食住** 事前学修：［60 分］文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：［30 分］リフレクション・ペーパーを作成する（次回授業で提出）	発表・講義・討論	遠藤
3	**マナーと中世騎士道精神** 事前学修：［60 分］文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：［30 分］リフレクション・ペーパーを作成する（次回授業で提出）	発表・講義・討論	遠藤
4	**娯楽とシェイクスピアの演劇** 事前学修：［60 分］文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：［30 分］リフレクション・ペーパーを作成する（次回授業で提出）	発表・講義・討論	遠藤
5	**食と大航海時代** 事前学修：［60 分］文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：［30 分］リフレクション・ペーパーを作成する（次回授業で提出）	発表・講義・討論	遠藤
6	**階級社会** 事前学修：［60 分］文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：［30 分］リフレクション・ペーパーを作成する（次回授業で提出）	発表・講義・討論	遠藤
7	**産業革命** 事前学修：［60 分］文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：［30 分］リフレクション・ペーパーを作成する（次回授業で提出）	発表・講義・討論	遠藤
8	**スポーツの文化と人種差別** 事前学修：［60 分］文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：［30 分］リフレクション・ペーパーを作成する（次回授業で提出）	発表・講義・討論	遠藤
9	**イギリス文学と美術** 事前学修：［60 分］文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：［30 分］リフレクション・ペーパーを作成する（次回授業で提出）	発表・講義・討論	遠藤
10	**ビアトリクス・ポッターとナショナル・トラスト** 事前学修：［60 分］文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：［30 分］リフレクション・ペーパーを作成する（次回授業で提出）	発表・講義・討論	遠藤

No	内容	形式	教員
11	**ザ・ビートルズと音楽における反戦運動** 事前学修：［60 分］文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：［30 分］リフレクション・ペーパーを作成する（次回授業で提出）	発表・講義・討論	遠藤
12	**イギリス文学と医学** 事前学修：［60 分］文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：［30 分］リフレクション・ペーパーを作成する（次回授業で提出）	発表・講義・討論	遠藤
13	**学校制度と『ハリーポッター』** 事前学修：［60 分］文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：［30 分］リフレクション・ペーパーを作成する（次回授業で提出）	発表・講義・討論	遠藤
14	**イギリスの観光地** 事前学修：［60 分］文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：［30 分］リフレクション・ペーパーを作成する（次回授業で提出）	発表・講義・討論	遠藤
15	**イギリスの地域性** 事前学修：［60 分］文献検討に基づき発表資料を作成する 事後学修：［30 分］レポート課題に取り組む	演習	遠藤

▌教科書
パワーポイントや配布資料、ビデオ教材を使用する。

▌参考書、参考資料等
授業の中で適宜紹介する。

▌フィードバックの仕方
リフレクション・ペーパーは授業の最終回にフィーバックを、レポートの返却は試験期間終了後に採点基準の解説を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
基礎ゼミⅠの学習内容に基づき、より発展的・専門的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方
口頭発表 20 %、授業への取り組み 50 %、レポート 30 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30-12:50、遠藤研究室（401）

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」連携**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFS150**

〇井上　明宏

▌授業の目的

当ゼミのテーマとして「健康・スポーツ」を軸に設定し、それと医学、医療、女性、障がい者、マイノリティ（性的、国籍、人種）、ライフスタイル、ライフサイクル、社会、地域、教育、国際との関わりを扱う。基礎ゼミⅠで学んだスキルを、文献検索、文献読解、少人数グループにおける討論、発表などにおいて応用、実践し、看護関連研究の方法についても学び、考えることを目的とする。

▌到達目標

・学術論文について研究的視点や論文構成を学ぶ（探求）。
・自ら理解したことや意見をまとめて、論理的で平易かつ明瞭に聞き手に伝える実践力を養う（実践）。
・グループワークを通して、自らの役割を務め、協力し、意見交換する力を養う（連携）。
・看護学研究の方法論を学び、アンケート調査・インタービューの演習を通して研究的視点を実践に移す（探求・実践）。

▌学習の進め方

AL
基本的に演習形式とし、一部、教員から講義形式の話題提供を行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション、自己紹介、グループ分け、討論テーマの説明** 事前学修：［20 分］自己紹介について準備する。 事後学修：［20 分］次回の討論のテーマについて調べる。	発表、講義	井上
2	**マイノリティに関する自由選択テーマについての発表・討論** 事前学修：［30 分］討論のテーマについて意見をまとめる。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、学びを A4 用紙 1 枚のレポートにまとめる。	発表、討論	井上
3	**看護研究理論に関しての発表およびフィールドワークの説明** 事前学修：［60 分］事前に提示された資料についての発表準備を行う。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、学びを A4 用紙 1 枚のレポートにまとめる。	発表、講義	井上
4	**看護研究理論の実践の発表** 事前学修：［90 分］フィールドワークを実施する。 事後学修：［60 分］授業を振り返り、学びを A4 用紙 2 枚程度のレポートにまとめる。	演習、発表	井上
5	**指定テーマについての説明、個別学習またはグループワーク** 事前学修：［30 分］指定テーマについて関連事項を調べる。 事後学修：［60 分］授業内の作業で足りなかった部分を補う。	講義、演習、GW	井上
6	**成長期に関する自由選択テーマについての発表・討論（1）** 事前学修：［60 分］指定テーマの発表および討論の準備をする。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、学びをノートにまとめる。	発表、討論	井上
7	**性成熟期に関する自由選択テーマについての発表・討論（2）** 事前学修：［60 分］指定テーマの発表および討論の準備をする。 事後学修：［60 分］授業を振り返り、学びをノートにまとめる。	発表、討論	井上
8	**個別学習またはグループワーク** 事前学修：［30 分］指定テーマについて関連事項を調べる。 事後学修：［60 分］授業内の作業で足りなかった部分を補う。	演習、GW	井上
9	**中高齢期に関する自由選択テーマについての発表・討論（3）** 事前学修：［60 分］指定テーマの発表および討論の準備をする。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、学びをノートにまとめる。	発表、討論	井上
10	**個別学習またはグループワーク** 事前学修：［30 分］指定テーマについて関連事項を調べる。 事後学修：［60 分］授業内の作業で足りなかった部分を補う。	演習、GW	井上
11	**社会、地域、教育、国際に関する自由テーマについての発表・討論（4）** 事前学修：［60 分］指定テーマの発表および討論の準備をする 事後学修：［30 分］授業を振り返り、学びをノートにまとめる。	発表、討論	井上

No	内容	形式	教員
12	**アンケートテーマの検討・アンケート作成** 事前学修：［30 分］アンケートテーマについて考える。 事後学修：［60 分］グループでアンケートを作成を行う。	演習、GW	井上
13	**アンケート準備の中間報告・検討** 事前学修：［60 分］アンケートの完成 事後学修：［90 分］アンケートの実施	発表、討論	井上
14	**アンケート結果報告・討論** 事前学修：［90 分］アンケート集計・発表準備を行う。 事後学修：［90 分］調査結果と考察をレポートにまとめる。	発表、討論	井上
15	**総括** 事前学修：［30 分］科目全体を通しての学びを振り返る。 事後学修：［60 分］科目全体を通しての学びをレポートにまとめる。	討論	井上

▌教科書
必要に応じて担当教員もしくは学生が資料を配付する。

▌参考書、参考資料等
必要に応じて紹介されるが、原則として学生が自らが選ぶ

▌フィードバックの仕方
授業での発表、提出物レポートフィードバックは授業時あるいは授業終了後に行う。

▌他の授業科目との関連
当科目は、1 年次前期の「基礎ゼミ I」(必修科目)の応用発展的科目である。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み(20%)、プレゼンテーション(50%)、グループワークおよびディスカッションへの貢献(30%)

▌オフィスアワー・研究室等
開講日の 18:10〜18:40　ゼミ開催場所または 409 (井上明宏)研究室

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFS150**

〇角田　敦彦

▌授業の目的

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。
特に本ゼミでは、国際協力分野(紛争・災害など)に関する事柄に関して学生各自が興味を持ったニュースや記事を検索し要約する。また、これを他者に分かりやすく発表する技術、また、他者の発表を聞き質問や自分の意見を述べるスキルを身につけることを目的とする。

▌到達目標

・自分が関心を持つ分野のニュースや記事を探索的に読み、関心を持った事柄についてわかりやすく論理的に他者に伝えることができる。
・他者の発表を聞き、それに対する質問や意見をまとめ、討論できる。

▌学習の進め方

「AL」
・学生が自分の関心を持ったニュースや記事を検索し、要約し発表する。
・発表を聞き、質疑を行う。
・教員がコメントを行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**コースガイダンス** **効果的なプレゼンテーション** 事前学修：［30 分］基礎ゼミⅠの内容を復習し、文献検索の方法などについてまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料を読み返すとともに次回以降のテーマについて検討する。	講義・討論	角田
2	**テーマの決定と関係するニュース・記事等の検索** 事前学修：［30 分］関心あるテーマを複数検討し、取組みたい理由などをまとめておく。 事後学修：［30 分］決定したテーマの論文を入手し、発表の準備をする。	演習	角田
3	**発表と質疑・討論** 事前学修：［30 分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［30 分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
4	**発表と質疑・討論** 事前学修：［30 分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［30 分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
5	**発表と質疑・討論** 事前学修：［30 分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［30 分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
6	**発表と質疑・討論** 事前学修：［30 分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［30 分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
7	**発表と質疑・討論** 事前学修：［30 分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［30 分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
8	**発表と質疑・討論** 事前学修：［30 分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［30 分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
9	**発表と質疑・討論** 事前学修：［30 分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［30 分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
10	**発表と質疑・討論** 事前学修：［30 分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［30 分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田

No	内容	形式	教員
11	**発表と質疑・討論** 事前学修：［30 分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［30 分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
12	**発表と質疑・討論** 事前学修：［30 分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［30 分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
13	**発表と質疑・討論** 事前学修：［30 分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［30 分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
14	**発表と質疑・討論** 事前学修：［30 分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［30 分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
15	**まとめ** 事前学修：［30 分］これまでの討論を振り返り整理する。 事後学修：［30 分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	討論	角田

▌教科書
ゼミの中で適宜指示する。

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
各回の発表後、学生相互のディスカッションを踏まえ、教員からコメントする。

▌他の授業科目との関連
基礎ゼミ I の学習内容に基づき、発展的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み 20 %、プレゼンテーションの準備、内容、態度 50 %、質疑、討論への参加度 30 %

▌オフィスアワー・研究室等
月曜日　12:30〜13:00　410 研究室

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」成長**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFS150**

○川﨑　洋平

▌授業の目的

本ゼミでは、ライフサイエンス分野における「データサイエンス力」を磨く事を主眼として、以下の２つの課題を設定する。
１．各自が興味を持った論文(和文又は英文)の要約をし、他者に分かりやすく発表する(個人発表)。
２．看護分野におけるリサーチクエスチョンを立てて、実データを利活用し、研究発表を行う。仮説を立て結論を導くまでの一連の過程を経験する(グループ発表)。

▌到達目標

１．論文を要約し、探索的かつ批判的に読み、明らかになった点と明らかになっていない点とを明確にできる。
２．研究課題を立てて、それを解決する力を身につける。

▌学習の進め方

AL
１．学生が論文を検索して、要約した内容を発表する。また、発表を聞き、質疑を行う。
２．グループで協力をして、研究発表を行なう。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**グループの決定・テーマの決定・論文等の検索** 事前学修：［３０分］文献検索の方法などについてまとめておく。 事後学修：［３０分］配布資料を読み返すとともに次回以降のテーマについて検討する	ディスカッション(討論)・ディベート	川﨑　洋平
2	**テーマの決定・論文等の検索** 事前学修：［３０分］関心あるテーマを複数検討し、取組みたい理由などをまとめておく。 事後学修：［３０分］決定したテーマの論文を入手し、発表の準備をする。	ディスカッション(討論)・ディベート	川﨑　洋平
3	**発表準備** 事前学修：［３０分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［３０分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	ディスカッション(討論)・ディベート	川﨑　洋平
4	**発表準備** 事前学修：［３０分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［３０分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	ディスカッション(討論)・ディベート	川﨑　洋平
5	**発表準備** 事前学修：［３０分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［３０分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	ディスカッション(討論)・ディベート	川﨑　洋平
6	**発表と質疑・討論** 事前学修：［３０分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［３０分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川﨑　洋平
7	**発表と質疑・討論** 事前学修：［３０分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［３０分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川﨑　洋平
8	**発表と質疑・討論** 事前学修：［３０分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［３０分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川﨑　洋平
9	**発表と質疑・討論** 事前学修：［３０分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［３０分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川﨑　洋平
10	**発表と質疑・討論** 事前学修：［３０分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［３０分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川﨑　洋平
11	**発表と質疑・討論** 事前学修：［３０分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［３０分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川﨑　洋平

No	内容	形式	教員
12	**発表と質疑・討論** 事前学修：［３０分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［３０分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川﨑　洋平
13	**発表と質疑・討論** 事前学修：［３０分］論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：［３０分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川﨑　洋平
14	**研究発表会** 事前学修：［３０分］発表資料を用いたプレゼンテーションの準備をする。 事後学修：［３０分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川﨑　洋平
15	**研究発表会** 事前学修：［３０分］発表資料を用いたプレゼンテーションの準備をする。 事後学修：［３０分］討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	発表	川﨑　洋平

▌教科書
必要に応じて、ゼミ中に資料を配布する

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
各回の発表後、その都度教員からコメントする。

▌他の授業科目との関連
基礎ゼミⅠの学習内容に基づき、より発展的・専門的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み２０%、プレゼンテーションの準備、内容、態度５０%、質疑、討論への参加度３０%

▌オフィスアワー・研究室等
質問は講義前後の時間、開講期間中の木曜日１０時～１２時に４０７研究室もしくはオンラインで受け付ける。

▌受講上の注意事項

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」成長**　**「3」連携**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFS150**

〇鈴木 勝己

▌授業の目的

このゼミでは、まず医療人類学（medical anthropology）および医療社会学（medical sociology）という学問について学びます。医療人類学および医療社会学は、私たちがこの世に生を受けてから年齢を重ねて、病気になり、死にゆくまでの生老病死のライフサイクルのなかで起こりえる、健康と病気に関するすべての出来事を対象としています。

具体的には、恋愛や友情などの人間関係、出産・育児、生殖医療の可能性、ストレスと心身医学、病いの語り、生活習慣病、宗教と医療の関係性、病気の自己治療、高齢者医療と介護の課題、看取り文化、脳死と臓器移植、安楽死と尊厳死、遺伝子治療の是非など幅広いテーマが挙げられます。ゼミ生は関心のある研究テーマを設定し、文献調査によって理解を深め、その成果を報告します。

ゼミでは発表資料の作成と口頭発表の練習を行いますので、医療・看護の専門職に求められる発表資料の作成方法、文章作成の技術、効果的な情報検索、発表技術や討論の進め方について基本技術を習得することになります。

▌到達目標

本ゼミの具体的な到達目標は以下の 3 項目です。
1）文献調査の実施：研究テーマに沿った的確な文献調査が実施できる
2）報告資料の作成：正確な文章表現で報告資料をまとめることができる
3）発表技術の向上：調べた内容を効果的に発表し、質疑応答することができる

▌学習の進め方

この授業の進め方はアクティブラーニング（AL）の形態をとります。具体的な授業の進め方は、文献調査と報告資料の作成および発表の練習を重ねていきます。最終的には、グループ討論を経て最終レポートの作成に取り組みます。具体的な項目は以下の通りです。

◆文献の読解：基本的文献の内容を要約し、文献の内容を整理してみよう
◆発表資料の作成：適切な形式で発表資料を作成してみよう
◆プレゼンテーション演習：各自で研究発表に取り組んでみよう
◆グループ討論：発表内容に対して様々な意見を聞き取り、理解を深めてみよう
◆報告書の作成：正確でわかりやすい報告書を書いてみよう

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**イントロダクション** 事前学修：［15 分］自己紹介の準備（なぜ看護師を目指すのか？）をしておく。 事後学修：［20 分］関心のある研究テーマを箇条書きにしておく。	討論	鈴木勝己
2	**医療人類学・医療社会学とはどのような学問か？** 事前学修：［15 分］看護師が人文社会科学を学ぶ理由を箇条書きにしておく。 事後学修：［30 分］医療人類学・医療社会学の意味を説明できるようにしておく。	講義＋討論	鈴木勝己
3	**文献調査その１** 事前学修：［15 分］研究テーマの洗い出しをしておく。 事後学修：［30 分］研究テーマに沿った文献調査を実施しておく。	演習	鈴木勝己
4	**文献調査その２** 事前学修：［15 分］研究テーマを選定しておく。 事後学修：［30 分］研究テーマに沿った文献調査を実施しておく。	演習	鈴木勝己
5	**文献の内容紹介その１** 事前学修：［30 分］発表資料（ワード・パワーポイント）を作成しておく。 事後学修：［30 分］発表資料（ワード・パワーポイント）の改善・改稿をしておく。	発表＋討論	鈴木勝己
6	**文献の内容紹介その２** 事前学修：［30 分］発表資料（ワード・パワーポイント）を作成しておく。 事後学修：［30 分］マイクロソフト・パワーポイントの基本操作を確認しておく。	発表＋討論	鈴木勝己
7	**プレゼンテーションのコツ** 事前学修：［15 分］プレゼンテーションについての配布資料を読んでおく。 事後学修：［30 分］授業内容および配布資料の確認をしておく。	講義	鈴木勝己

No	内容	形式	教員
8	**発表資料の作成その１** 事前学修：［30 分］パワーポイントの基本操作の復習し、習熟しておく。 事後学修：［30 分］参考文献の読解を進めておく。	演習	鈴木勝己
9	**発表資料の作成その２** 事前学修：［30 分］参考文献の読解を進めておく。 事後学修：［30 分］発表資料（パワーポイント）の草案を作成しておく。	演習	鈴木勝己
10	**発表資料の作成その３** 事前学修：［30 分］発表資料草案（パワーポイント）の論点を明確にしておく。 事後学修：［30 分］発表資料（パワーポイント）を完成させておく。	演習	鈴木勝己
11	**プレゼンテーション演習その１** 事前学修：［30 分］発表演習（パワーポイント）の時間配分を確認し、実際に練習しておく。 事後学修：［30 分］各自の発表テーマについて質問・疑問点を箇条書きにしておく。	発表＋討論	鈴木勝己
12	**プレゼンテーション演習その２** 事前学修：［30 分］発表演習（パワーポイント）の時間配分を確認し、実際に練習しておく。 事後学修：［30 分］各自の発表テーマについて質問・疑問点を箇条書きにしておく。	発表＋討論	鈴木勝己
13	**プレゼンテーション演習その３** 事前学修：［30 分］発表演習（パワーポイント）の時間配分を確認し、実際に練習しておく。 事後学修：［30 分］各自で最優秀の発表者を選定しておく。	発表＋討論	鈴木勝己
14	**最終レポートの作成その１** 事前学修：［30 分］最終レポート（ワード）の書式を確認しておく。 事後学修：［30 分］文章作成に関する技術的なポイントを箇条書きにして確認しておく。	講義＋演習	鈴木勝己
15	**最終レポートの作成その２** 事前学修：［30 分］最終レポート（ワード）の内容・書式に関する疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：［120 分］最終レポート（ワード）を仕上げる。	講義＋演習	鈴木勝己

▌教科書

ゼミ学生の興味や関心によって文献を選択するため、特定の教科書は事前に指定しません。なお、参考文献については下記を参照。必要に応じてコピーを配布する。

▌参考書、参考資料等

・『ヘルマン医療人類学：文化・健康・病い』C. ヘルマン著、金剛出版、2018
・『苦悩とケアの人類学：サファリングは創造性の源泉になりうるか?』浮ヶ谷幸代編著、世界思想社、2015
・『テキスト臨床死生学：日常生活における「生と死」の向き合い方』臨床死生学テキスト編集委員会、勁草書房、2014
・『医療人類学のレッスン』池田光穂・奥野克巳共編著、学陽書房、2007
・『フィールドワークへの挑戦：実践人類学入門』菅原和孝、世界思想社、2006
・『脳死と臓器移植の医療人類学』M. ロック著、みすず書房、2004
・『語りかける身体』西村ユミ著、ゆみる出版、2001
・『病いの語り―慢性の病いをめぐる臨床人類学』A. クラインマン著、誠信書房、1996
・「ALS を生きる者の尊厳」若林保子、早稲田大学人間科学部卒業論文、2021

▌フィードバックの仕方

発表資料へのフィードバックは、授業中に口頭で行い、修正すべき点を明らかにします。最終報告書については、授業終了から 3 週間以内に教務係を通じて個別のコメントを配布します。

▌他の授業科目との関連

基礎ゼミⅡは、基礎ゼミⅠの学習内容の理解に基づき、より発展的・専門的な内容を扱います。

▌成績評価の仕方

基礎ゼミⅡは演習形式のため、毎回授業へ出席する必要があります。成績評価は、１）授業への参加態度・取り組み 20 %、２）基本的知識の習得 20 %、２）発表技術 20 %、３）最終報告書 40 %、の四項目を点数化し、総合的に勘案して決定されます。

▌オフィスアワー・研究室等

授業の前後に個別の質問や相談、その他の連絡を受け付けます。授業日以外は、電子メール (educoach646@kurenai.waseda.jp) による質問・連絡を受け付けます。詳細は初回授業時に告知します。

▌受講上の注意事項

パソコンを用いた資料作成および情報検索が必須となるため、自由に使用できるパソコン（ワード・パワーポイント）が用意できること

が望ましいです。

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」成長**　**「3」変化**　実務経験がある
教員：**ー**　科目ナンバー：**HBFS150**

〇越後　敬子

▌授業の目的

テーマ：差別の問題を考える

世の中には様々な差別が存在している。それは人種・宗教・文化・身分・性別・能力の差など多岐にわたり、また病者に対する差別もその一つである。先年、障がい者に対する差別的な事件が起きたことも記憶に新しいであろう。

かつて日本ではハンセン病患者差別の時代が長く続いた。この授業の前半では、ハンセン病患者で作家の北条民雄の作品『いのちの初夜』や彼の日記をもとに、ハンセン病患者差別の全容、そして今に続く患者の苦悩を知ることに努めたい。

さらに授業の中盤以降では各自がテーマを設定し、世界及び日本に存在する差別の問題を考察する。具体的なテーマをもとに、差別の問題について考えることを目的とする。

▌到達目標

1．日本におけるハンセン病患者差別の問題について深く知る。
2．世界や日本に存在する様々な差別について調査し、ディスカッションやプレゼンテーションを通して、自分の考えを明確に伝える力を養う。

▌学習の進め方

AL
1．ハンセン病患者差別の問題については、教員が講義を行い、受講者には適宜意見を求める。
2．１と並行して、各自がテーマを設定し、差別の問題について文献を調査する。
3．自分の考えをまとめてプレゼンテーションする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**イントロダクション** 事前学修：［30 分］シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：［30 分］配布された資料を改めて読み、疑問点がないかどうかを考える。	講義	越後
2	**ハンセン病患者差別について考える①** 事前学修：［30 分］事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：［30 分］事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
3	**ハンセン病患者差別について考える②** 事前学修：［30 分］事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：［30 分］事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
4	**ハンセン病患者差別について考える③** 事前学修：［30 分］事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：［30 分］事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
5	**ハンセン病患者差別について考える④** 事前学修：［30 分］事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：［30 分］事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
6	**ハンセン病患者差別について考える⑤** **差別の問題に関する文献調査①** 事前学修：［30 分］事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：［30 分］事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・討論・実習	越後
7	**ハンセン病患者差別について考える⑥** **差別の問題に関する文献調査②** 事前学修：［30 分］事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：［30 分］事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・討論・実習	越後

No	内容	形式	教員
8	**ハンセン病患者差別について考える⑦** **差別の問題に関する文献調査③** 事前学修：［30 分］事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：［30 分］事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・討論・実習	越後
9	**ハンセン病患者差別について考える⑧** **差別の問題に関する文献調査④** 事前学修：［30 分］事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：［30 分］事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・討論・実習	越後
10	**差別の問題に関する文献調査⑤** 事前学修：［30 分］各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：［30 分］各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習	越後
11	**差別の問題に関する文献調査⑥** 事前学修：［30 分］各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：［30 分］各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習	越後
12	**差別の問題に関する文献調査⑦** 事前学修：［30 分］各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：［30 分］各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習	越後
13	**プレゼンテーション①** 事前学修：［30 分］各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：［30 分］各自の設定したテーマについて、調査を行う。	発表・討論	越後
14	**プレゼンテーション②** 事前学修：［30 分］各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：［30 分］各自の設定したテーマについて、調査を行う。	発表・討論	越後
15	**プレゼンテーション③** 事前学修：［30 分］各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：［30 分］レポート提出に向けて、各自の設定したテーマについてさらに調査を行う。	発表・討論	越後

▌教科書
プリントを配布する。

▌参考書、参考資料等
授業時に適宜紹介する。

▌フィードバックの仕方
レポートのフィードバックは、ガイダンス期間に成績通知表を配布する際に、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
基礎ゼミⅠの学習内容に基づき、より発展的な事項を扱う。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み２０%、口頭発表４０%、レポート４０%

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後に教室で質問を受け付ける。

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」成長**　**「3」実践**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFS150**

〇伊藤　麻希

▌授業の目的

本ゼミは、文献や先行研究の読解、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートに必要な基礎的能力の習得を目的とします。文献や先行研究等資料収集で得た知識を踏まえて情報を精査すること、主体的に自分の意見を持ちそれを他者に分かりやすく伝えること、グループワークを通じて相互理解を深めることを全体の目的として行っていきます。取り扱う具体的なテーマは、健康と運動、ストレスと癒し、健康と栄養、福祉と芸術などを予定していますが、テーマはゼミ生の希望を考慮して決定します。

▌到達目標

1. 文献や先行研究読解のポイントを習得する。
2. 各自テーマに沿った資料を収集し、まとめてプレゼンテーションを行う。
3. グループワークで相互理解を深める。

▌学習の進め方

はじめに、文献や先行研究の読解、要点のまとめかた、資料作成について説明を行います。
次に、各自興味関心のあるテーマの決め、資料を作成し、個人発表をしてもらいます。
その後、グループワークにてディスカッション、ディベートを行い、相互理解を深めます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ゼミの進め方の説明、自己紹介** 事前学修：［10 分］本ゼミで習得したいことをノートにメモをしておく。 事後学修：［20 分］これからゼミで行いたいことをノートにまとめる。	講義	伊藤
2	**文献検索、読解のポイント** 事前学修：［10 分］自分の興味あるテーマを調べノートにメモする。 事後学修：［30 分］実際に各自テーマについて文献や先行研究を検索し、授業で行ったポイントに沿ってまとめたものをノートに記入する。	講義	伊藤
3	**各自テーマ決定および個人発表の進め方** 事前学修：［10 分］各自興味関心のあるテーマの文献や論文を 5 つ検索し、メモをする。 事後学修：［60 分］決定したテーマの文献検索、資料作成を行う。	講義	伊藤
4	**テーマについての個人発表とディスカッション** 事前学修：［60 分］発表者はレジュメを作成。その他の学生は指定された文献や論文を読み、自分の意見をメモする。 事後学修：［60 分］個人発表、討論で得られた知識、自分の意見をノートに記入する。	発表・討論	伊藤
5	**テーマについての個人発表とディスカッション** 事前学修：［60 分］発表者はレジュメを作成。その他の学生は指定された文献や論文を読み、自分の意見をメモする。 事後学修：［60 分］個人発表、討論で得られた知識、自分の意見をノートに記入する。	発表・討論	伊藤
6	**テーマについての個人発表とディスカッション** 事前学修：［60 分］発表者はレジュメを作成。その他の学生は指定された文献や論文を読み、自分の意見をメモする。 事後学修：［60 分］個人発表、討論で得られた知識、自分の意見をノートに記入する。	発表・討論	伊藤
7	**テーマについての個人発表とディスカッション** 事前学修：［60 分］発表者はレジュメを作成。その他の学生は指定された文献や論文を読み、自分の意見をメモする。 事後学修：［60 分］個人発表、討論で得られた知識、自分の意見をノートに記入する。	発表・討論	伊藤
8	**テーマについての個人発表とディスカッション** 事前学修：［60 分］発表者はレジュメを作成。その他の学生は指定された文献や論文を読み、自分の意見をメモする。 事後学修：［60 分］個人発表、討論で得られた知識、自分の意見をノートに記入する。	発表・討論	伊藤

No	内容	形式	教員
9	**テーマについての個人発表とディスカッション** 事前学修：［60 分］発表者はレジュメを作成。その他の学生は指定された文献や論文を読み、自分の意見をメモする。 事後学修：［60 分］個人発表、討論で得られた知識、自分の意見をノートに記入する。	発表・討論	伊藤
10	**テーマについての個人発表とディスカッション** 事前学修：［60 分］発表者はレジュメを作成。その他の学生は指定された文献や論文を読み、自分の意見をメモする。 事後学修：［60 分］個人発表、討論で得られた知識、自分の意見をノートに記入する。	発表・討論	伊藤
11	**テーマについての個人発表とディスカッション** 事前学修：［60 分］発表者はレジュメを作成。その他の学生は指定された文献や論文を読み、自分の意見をメモする。 事後学修：［60 分］個人発表、討論で得られた知識、自分の意見をノートに記入する。	発表・討論	伊藤
12	**テーマについての個人発表とディスカッション** 事前学修：［60 分］発表者はレジュメを作成。その他の学生は指定された文献や論文を読み、自分の意見をメモする。 事後学修：［60 分］個人発表、討論で得られた知識、自分の意見をノートに記入する。	発表・討論	伊藤
13	**テーマについての個人発表とディスカッション** 事前学修：［60 分］発表者はレジュメを作成。その他の学生は指定された文献や論文を読み、自分の意見をメモする。 事後学修：［60 分］個人発表、討論で得られた知識、自分の意見をノートに記入する。	発表・討論	伊藤
14	**これまでの発表の中からテーマを出し合い、ディベートを行う** 事前学修：［60 分］今までの扱った参考資料の中から興味関心のあるテーマをメモする。 事後学修：［60 分］ディベートで感じたこと、自分の意見をノートにまとめる。	討論	伊藤
15	**まとめ** 事前学修：［60 分］今まで講義を通じて習得できたこと、疑問点などをメモする。 事後学修：［60 分］講義で得たこと、グループ討論により感じたことをノートに記入する。	講義・討論	伊藤

▌教科書
なし

▌参考書、参考資料等
各自のテーマに沿って授業時に適宜紹介する。

▌フィードバックの仕方
各自テーマに沿った個人発表、レジュメ、レポートに関してコメントを付して返却する。

▌他の授業科目との関連
他科目受講の際、興味関心のあるテーマを自身で考えておくと良いと思います。

▌成績評価の仕方
個人発表における準備、内容、態度等 50 %、授業への取り組み 50 % (課題やディスカッションへの参加度等)

▌オフィスアワー・研究室等
随時、電子メールで質問を受け取る。

▌受講上の注意事項
主体的な学生の参加を希望します。

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBFS150**

〇三好　洋

▌授業の目的

日進月歩の医療・看護に遅れないように生涯にわたって学習し続けるために、必要な学習項目を自分で発見して学ぶ(自学自習)能力を養う。物事・事象を自然・社会科学的に理解し、自分の意見をかみ砕いて他の人に伝える能力を養う。

▌到達目標

1. 課題に対して、すでに持っている知識を整理・説明でき、問題点や疑問点を自ら見出して指摘できる。
2. 自習すべき事柄に順位をつけて列挙でき、必要な情報を適切な方法で検索できる。
3. 得られた情報を吟味して整理でき、グループ討論に積極的に参加して成果を発表できる。
4. 調べてきたことを自分の言葉で分り易く説明でき、他者の話を理解して、考えの違いを論述できる。

▌学習の進め方

PBL（Project-Based Learning)「課題解決型学習」は個々の学生に適した方法論の習得と確立を重視する方法で、課題解決に向かって学生は自主的に意欲的に取り組む過程で自分の方法論を獲得する学習法である。この PBL の手法に沿って学習を行っていく。
平易な言葉で置き換えれば、「自学自習」である。

1. 教員が準備した課題を配り、可能であれば 2 グループに分かれて、学生全員で問題点や疑問を抽出する。
2. その場で抽出した問題点や疑問を共有し、調査すべき事項に優先順位を付ける。学生各自が優先順位に基づいて調査を行う。
3. 調査した事柄を持ち寄って、グループ全員で議論を行って、意見を集約する。
4. 集約した意見を教員および学生全員の前で発表・説明し、グループ間での議論を行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

課題テーマは、社会的・倫理的話題、あるいは健康などの医療・看護分野のものを取り上げる。時事的な話題も取り上げる。題目は予定である。

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション -PBL の概要や説明用の課題による進め方の説明、グループ分け-** 事前学修：［10 分］シラバスの確認 事後学修：［20 分］説明用の配布資料の見直し	講義	三好
2	**課題 1(マナー) の論点抽出・自己学習項目抽出** 事前学修：［10 分］ポートフォリオ・ノートの準備 事後学修：［30 分］自己学習項目に沿った調査	議論	三好
3	**課題 1 の調査内容からの討論、学習成果の整理** 事前学修：［20 分］調査内容のまとめ 事後学修：［30 分］議論内容の確認とまとめ	議論	三好
4	**課題 1 の発表・議論** 事前学修：［30 分］発表用資料の準備 事後学修：［10 分］ポートフォリオ・ノートの見直し・まとめ	議論	三好
5	**課題 2(生命倫理) の論点抽出・自己学習項目抽出** 事前学修：［10 分］ポートフォリオ・ノートの準備 事後学修：［30 分］自己学習項目に沿った調査	議論	三好
6	**課題 2 の調査内容からの討論、学習成果の整理** 事前学修：［20 分］調査内容のまとめ 事後学修：［30 分］議論内容の確認とまとめ	議論	三好
7	**課題 2 の発表・議論** 事前学修：［30 分］発表用資料の準備 事後学修：［10 分］ポートフォリオ・ノートの見直し・まとめ	議論	三好
8	**課題 3(個人情報など) の論点抽出・自己学習項目抽出** 事前学修：［10 分］ポートフォリオ・ノートの準備 事後学修：［30 分］自己学習項目に沿った調査	議論	三好
9	**課題 3 の調査内容からの討論、学習成果の整理** 事前学修：［20 分］調査内容のまとめ 事後学修：［30 分］議論内容の確認とまとめ	議論	三好

No	内容	形式	教員
10	**課題 3 の発表・議論** 事前学修：［30 分］発表用資料の準備 事後学修：［10 分］ポートフォリオ・ノートの見直し・まとめ	議論	三好
11	**課題 4(感染症など) の論点抽出・自己学習項目抽出** 事前学修：［10 分］ポートフォリオ・ノートの準備 事後学修：［30 分］自己学習項目に沿った調査	議論	三好
12	**課題 4 の調査内容からの討論、学習成果の整理** 事前学修：［20 分］調査内容のまとめ 事後学修：［30 分］議論内容の確認とまとめ	議論	三好
13	**課題 4 の発表・議論** 事前学修：［30 分］発表用資料の準備 事後学修：［10 分］ポートフォリオ・ノートの見直し・まとめ	議論	三好
14	**基礎ゼミⅡ全体を通した自己学習項目抽出** 事前学修：［10 分］ポートフォリオ・ノートの準備 事後学修：［40 分］自己学習項目に沿った調査	議論	三好
15	**基礎ゼミⅡ全体を通したまとめ・発表** 事前学修：［30 分］発表用資料の準備 事後学修：［30 分］ポートフォリオ・ノートの見直し・まとめ	議論	三好

▌教科書
教員が課題シートを用意する。教科書は使用しない。

▌参考書、参考資料等
辞書、教科書、雑誌、論文、インターネット検索などの様々な情報が資料となる。

▌フィードバックの仕方
適宜、気付きを講義中あるいは Glexa にてフィードバックする。

▌他の授業科目との関連
他の授業科目との直結はないが、医療関係者として必須なコミュニケーション能力を高められ、情報リテラシーなどにも触れることができる。
疑問に対して自分で調べる癖を付けることで、大学や看護師として学習すべき項目に対して自分で取り組む主体性を学ぶことができる。

▌成績評価の仕方
論点抽出・自己学習（ノートの作成など）・自己学習項目の討論（50%）、学習成果の整理と発表など（50%）の授業に対する姿勢（計 100 %）をオリエンテーション時に示す評価表に沿って行う。試験およびレポートによる評価は行わない。したがって、出席は重要になる。

▌オフィスアワー・研究室等
非常勤講師なので研究室はありません。Glexa および電子メール（hmiyoshi@marianna-u.ac.jp）による問い合わせに応じる。

▌受講上の注意事項
自分の意見を、他の人に正確に「伝える」ことの難しさを学んでください。「伝える」ためには自然・社会科学的な理論を正確に理解することや噛み砕いて自分の言葉に置き換えることを学んでください。
ゼミ担当者の三好は化学Ⅰ・Ⅱの講義を行っていますが、基礎ゼミⅡでは化学の知識は全く必要ありません。
抽出した論点・自己学習項目を必ず次週の授業までに調査してノートにまとめて討論出来るようにしておく必要があります。これがないと単なる茶話会になってしまいます。

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」連携**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFS150**

○鷹田　佳典

▌授業の目的

大学では多くの文献・資料を読み、そこから新たな知識や情報を得たり、それらを踏まえて自分の考えを述べたりすることが重要になります。また、複数の人と協力して作業をしたり、討論をして相互理解を深めたりする場面も多くあります。本講義では「平成」をテーマに、資料収集、文献読解、レジュメ作成、プレゼンテーション、グループワーク、ディスカッションに必要な基礎力の習得を目指します。

▌到達目標

1．図書館やオンライン・データベースを活用して文献検索を行うことができる。
2．パソコンで資料を作成し、それをもとにプレゼンテーションを行うことができる。
3．他者と協力して、グループワークを効果的に進めることができる。

▌学習の進め方

AL
本講義は受講生によるグループワークと発表、受講生全員による討論がメインとなります。前半は平成の年表づくりを行い、後半は各グループから提供された話題をもとに、討論を行い、平成という時代についての理解を深めていきます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション：講義の進め方についての説明、教員・受講生自己紹介** 事前学修：［30 分］平成で起きた一番印象に残った出来事についての感想をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］課題実施のためのスケジュールをたてる。	講義	鷹田
2	**文献読解、レジュメ作成、プレゼンテーションの基礎** 事前学修：［30 分］TED を視聴し、どんなところがよかったのかをノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
3	**平成の年表【生活編】** 事前学修：［30 分］平成で起きた【生活】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	GW・発表	鷹田
4	**平成の年表【社会編】** 事前学修：［30 分］平成で起きた【社会】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	GW・発表	鷹田
5	**平成の年表【文化編】** 事前学修：［30 分］平成で起きた【文化】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	GW・発表	鷹田
6	**平成の年表【国際編】** 事前学修：［30 分］平成で起きた【国際】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	GW・発表	鷹田
7	**平成の年表【経済編】** 事前学修：［30 分］平成で起きた【経済】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	GW・発表	鷹田
8	**平成の年表【政治編】** 事前学修：［30 分］平成で起きた【政治】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	GW・発表	鷹田
9	**ディスカッションテーマの選定** 事前学修：［60 分］ディスカッションしたいテーマを二つ考えておく。 事後学修：［30 分］平成に関する文献リストを完成させる。	GW・討論	鷹田
10	**平成を読み解く①** 事前学修：［60 分］課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	発表・討論	鷹田

No	内容	形式	教員
11	**平成を読み解く②** 事前学修：［60 分］課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	発表・討論	鷹田
12	**平成を読み解く③** 事前学修：［60 分］課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	発表・討論	鷹田
13	**平成を読み解く④** 事前学修：［60 分］課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	発表・討論	鷹田
14	**平成を読み解く⑤** 事前学修：［60 分］課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：［30 分］配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	発表・討論	鷹田
15	**まとめ：平成とはどんな時代だったのか、平成以後はどんな時代になるのか。** 事前学修：［30 分］身近な人に平成がどんな時代だったのかについてミニインタビューを行う。 事後学修：［30 分］平成とはどんな時代だったのかについて要点をまとめておく。	討論	鷹田

▌教科書
特定の教科書は使用しません。

▌参考書、参考資料等
講義時に適宜紹介します。

▌フィードバックの仕方
発表内容について、授業内でフィードバックします。

▌他の授業科目との関連
基礎ゼミⅠで学習した内容を確認しておくこと。

▌成績評価の仕方
グループワーク（30 %）、プレゼンテーション（30 %）、討論への参加（40 %）

▌オフィスアワー・研究室等
①水曜日、② 4 限、③ 405、また、Glexa でも質問を受けつけます。

▌受講上の注意事項
パソコン（ワード、パワーポイント）の基礎的スキルが必要になります。

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」成長**　**「3」変化**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFS150**

〇水野　壮

▌授業の目的

本ゼミでは、近年社会と生物学が関わるテーマを自ら選定して調べ、全員で理解を深めていく。また、ディスカッションを通して、未来の社会で私たちがどう生きていくべきか考える一助とする。

▌到達目標

1．話題や事柄を調べる手段と方法を身につける。
2．プレゼンテーションに関する基礎的なスキルを習得し、自分なりの意見を論理的に表現できる。
3．理解したことと実社会の諸問題との関わりを知る。

▌学習の進め方

各グループ２～３人程度で関心のあるテーマを選定し、資料を調査し理解を深める。また、調査したテーマと社会との関わりについて考察を深める。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ゼミの進め方について、自己紹介**	発表・討論	水野
2	**調査テーマの設定**	発表・調査	水野
3	**グループワーク**	発表・調査	水野
4	**グループワーク**	発表・調査	水野
5	**グループワーク**	発表・調査	水野
6	**グループワーク**	発表・調査	水野
7	**グループワーク**	発表・調査	水野
8	**グループワーク**	発表・調査	水野
9	**グループワーク**	発表・調査	水野
10	**グループワーク**	発表・調査	水野
11	**グループワーク**	発表・調査	水野
12	**グループワーク**	発表・調査	水野
13	**グループワーク**	発表・調査	水野
14	**グループワーク成果発表と全体討論**	発表・調査	水野
15	**まとめ**	発表・調査	水野

▌教科書

特に指定はありません。

▌参考書、参考資料等

講義時に適宜紹介する。

▌他の授業科目との関連

生物学 I。基礎ゼミⅠの学習内容の理解に基づき、より発展的・専門的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方

授業への参加度（50 %）、グループワークを通した課題への取り組み（50 %）

▌オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受けつける。

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」成長**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFS150**

○渋谷　真樹

▌授業の目的

この授業は、基礎ゼミⅠでの学習成果を文献の検索や読解、討論、発表などにおいて応用し、探究する力をさらに伸ばすことを目的としています。
国際連合(国連)は、2030 年までに達成すべき「持続可能な開発目標」(SDGs)として、「すべての人に健康と福祉を」や「質の高い教育をみんなに」といった目標を 17 個、掲げています。
本ゼミでは、この SDGs に基づいて、各自や小グループでテーマを設定して調査し、クラスで発表・討論をしていきます。

▌到達目標

1　自らの問題意識に沿って、文献を検索し、読解した上で、簡潔に発表することができる。
2　アンケートやインタビュー、参与観察といった研究方法の概要を理解し、基礎的な実践ができる。
3　調べたことや考えたことを、根拠に基づいて、論理的に発表することができる。

▌学習の進め方

AL
一部、講義がありますが、主要な部分は、学生主体のグループワークや発表、討論です。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** 事前学修：[30 分] 基礎ゼミⅡで学びたいこと、身に付けたい力を考える。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
2	**SDGs とは：国連の「持続可能な開発目標」** 事前学修：[30 分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
3	**テーマの設定とグループ作り** 事前学修：[30 分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	討論・GW	渋谷
4	**研究テーマの焦点化と研究方法の検討** 事前学修：[30 分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	討論・GW	渋谷
5	**先行研究の検討①** 事前学修：[60 分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷
6	**先行研究の検討②** 事前学修：[60 分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷
7	**先行研究の検討③** 事前学修：[60 分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷
8	**調査の方法：量的調査と質的調査** 事前学修：[30 分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・演習	渋谷
9	**調査方法の計画と実施①** 事前学修：[60 分] 自らのテーマに沿って調査を計画し、実施する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷

No	内容	形式	教員
10	**調査方法の計画と実施②** 事前学修：［60 分］自らのテーマに沿って調査を計画し、実施する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷
11	**調査方法の計画と実施③** 事前学修：［60 分］自らのテーマに沿って調査を計画し、実施する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷
12	**調査結果の分析と考察①** 事前学修：［60 分］自らの研究を伝えるために、口頭発表の準備をするとともに、パワーポイントや配布資料を作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷
13	**調査結果の分析と考察②** 事前学修：［60 分］自らの研究を伝えるために、口頭発表の準備をするとともに、パワーポイントや配布資料を作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷
14	**調査結果の分析と考察③** 事前学修：［60 分］自らの研究を伝えるために、口頭発表の準備をするとともに、パワーポイントや配布資料を作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷
15	**まとめ：授業のふりかえりと今後の課題** 事前学修：［30 分］指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：［30 分］授業全体を通して、学んだこと、身についたこと、疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷

▌教科書
教科書は使用しません。
授業中に関連資料を配布します。

▌参考書、参考資料等
必要に応じて紹介しますが、原則的には、学生自らが検索して入手します。

▌フィードバックの仕方
本授業は、教員と受講生との対話を主としています。
口頭発表については、授業内でその都度フィードバックします。
提出課題は、Glexa でフィードバックします。

▌他の授業科目との関連
「基礎ゼミⅠ」の応用発展的科目です。また、「研究方法論」や卒業研究に関連します。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み（50 %）
プレゼンテーション（50 %）

▌オフィスアワー・研究室等
火曜日 14:0-17:00、404 研究室

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBFS150**

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員

基礎ゼミⅡ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」成長**　**「3」関係**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBFS150**

〇渋谷　真樹

▌授業の目的

人間と関係を築き、支援する領域に関する学術論文を精読し、その内容を理解する。そのうえで、先行研究の問題点や改善点などを検討し、批判的思考能力を身につける。

▌到達目標

1．学術論文を精読し、内容を理解したうえで、自らの言葉で説明できる。
2．学術論文を批判的に検討し、問題点や改善点を指摘することができる。
3．専門職として成長するために必要な、学び続ける態度を形成する。

▌学習の進め方

前半は、「基礎ゼミⅠ」での学習内容を振り返りつつ、批判的思考について理解を深める。
後半は、人間と関係を築き、支援する領域に関する学術論文を読み、そのテーマ、目的、方法、結果、考察について批判的に検討し、発表資料(レジュメ)にまとめて発表し、参加者とのディスカッションを行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** 事前学修：［15 分］この授業で学びたいこと、身に付けたい力を考える。 事後学修：［15 分］オリエンテーションの内容を復習する。	講義	渋谷
2	**「基礎ゼミⅠ」の振り返り** 事前学修：［30 分］「基礎ゼミⅠ」の資料を整理する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義、討論	渋谷
3	**テーマの設定とグループ作り** 事前学修：［30 分］指定課題に取り組む。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	討論、発表	渋谷
4	**批判的思考とはなにか** 事前学修：［30 分］指定課題に取り組む。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義、討論	渋谷
5	**研究テーマの検討** 事前学修：［30 分］指定課題に取り組む。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表、討論	渋谷
6	**研究方法の検討** 事前学修：［30 分］指定課題に取り組む。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表、討論	渋谷
7	**研究結果の検討** 事前学修：［30 分］指定課題に取り組む。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表、討論	渋谷
8	**考察の検討** 事前学修：［30 分］指定課題に取り組む。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表、討論	渋谷
9	**研究の意義や限界の検討** 事前学修：［30 分］指定課題に取り組む。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表、討論	渋谷
10	**文献クリティーク①** 事前学修：［30 分］指定課題に取り組む。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表、討論	渋谷
11	**文献クリティーク②** 事前学修：［30 分］指定課題に取り組む。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表、討論	渋谷

No	内容	形式	教員
12	**文献クリティーク③** 事前学修：［30 分］指定課題に取り組む。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表、討論	渋谷
13	**文献クリティーク④** 事前学修：［30 分］指定課題に取り組む。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表、討論	渋谷
14	**文献クリティーク⑤** 事前学修：［30 分］指定課題に取り組む。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表、討論	渋谷
15	**ふりかえりとまとめ** 事前学修：［30 分］これまでの授業資料を整理する。 事後学修：［30 分］授業全体を通して、自分の学びを振り返る。	討論	渋谷

▌教科書
授業内で随時、資料を配布します。

▌参考書、参考資料等
必要に応じて紹介します。

▌フィードバックの仕方
本授業は、受講生と教員との対話を主としています。
口頭発表については、授業の中でその都度フィードバックします。
提出課題には、Glexa でフィードバックします。

▌他の授業科目との関連
「基礎ゼミⅠ」をベースに授業を展開します。
３年次に履修する「研究方法論Ⅰ・Ⅱ」の発展的応用的科目であり、４年次の「研究Ⅰ・Ⅱ」の基礎になる科目です。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み（50 %）
プレゼンテーション（50 %）

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30〜13:00、404 研究室

▌受講上の注意事項
受講生の状況等に応じて、授業内容や方法を修正する場合があります。

人体の構造と機能Ⅰ（解剖と生理①）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」成長**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHS100**

〇井上　明宏

▌授業の目的

人体解剖生理学は、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくように意識しながら学ぶことを目的とします。

▌到達目標

・身体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく、他者にわかりやすく説明できる。
・身体の機能を構造に結びつけて、他者にわかりやすく説明できる。
・身体の正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。

▌学習の進め方

「AL」
・授業は講義形式を基本としますが、適宜、自習ノート作成、演習、小テストを行います。
・授業は教科書の内容を基本として進めていきます。
・授業の参考資料は紙媒体で配布しますが、あくまで補助的なものとして考えてください。
・学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入します。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**解剖生理学を学ぶための基礎知識（1）** 事前学修：［60 分］教科書第 1 章 B ①～⑤を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［60 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
2	**解剖生理学を学ぶための基礎知識（2）** 事前学修：［60 分］教科書第 1 章 B ⑥～第 1 章 C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
3	**栄養の消化と吸収（1）** 事前学修：［60 分］教科書第 2 章 A ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・小テスト	井上
4	**栄養の消化と吸収（2）** 事前学修：［60 分］教科書第 2 章 B ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
5	**栄養の消化と吸収（3）** 事前学修：［60 分］教科書第 2 章 B ③～⑤を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
6	**栄養の消化と吸収（4）** 事前学修：［60 分］教科書第 2 章 B ⑥⑦、第 2 章 C ②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
7	**栄養の消化と吸収（5）** 事前学修：［60 分］教科書第 2 章 C ③①、第 2 章 D を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・演習	井上
8	**呼吸と血液のはたらき（1）** 事前学修：［60 分］教科書第 3 章 A、第 3 章 B ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・小テスト	白井・井上

No	内容	形式	教員
9	**呼吸と血液のはたらき(2)** 事前学修：[60 分] 教科書第 3 章 B ③～⑦を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
10	**呼吸と血液のはたらき(3)** 事前学修：[60 分] 教科書第 3 章 C ①～④を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
11	**呼吸と血液のはたらき(4)** 事前学修：[60 分] 教科書第 3 章 C ⑤～⑦を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・演習	白井・井上
12	**血液の循環と調節(1)** 事前学修：[60 分] 教科書第 4 章 A、B、C ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・小テスト	井上
13	**血液の循環と調節(2)** 事前学修：[60 分] 教科書第 4 章 C ③、第 4 章 D ②～④を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
14	**血液の循環と調節(3)** 事前学修：[60 分] 教科書第 4 章 D ①、第 4 章 E ①～④を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
15	**血液の循環と調節(4)** 事前学修：[60 分] 教科書第 4 章 E ⑤、第 4 章 F を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義･小テスト･演習	井上

▌教科書
系統看護学講座 専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能①　医学書院(2021)

▌参考書、参考資料等
必要に応じて、適宜紹介します。また、参考資料のプリントを配布します。

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは、「人体の構造と機能Ⅱ」の授業中またはポータルサイトにて、対策、総評および特に注意が必要な点について説明します。

▌他の授業科目との関連
「人体の構造と機能Ⅰおよび Ⅱ」は独立した科目設定になっていますが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できます。なお、本科目は「看護援助論実習 [レベルⅠ]」の履修要件となっています。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み(課題提出、Quiz など) 30%および定期試験 70%を総合して評価します。

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 18:00～18:30　井上研究室(409)

人体の構造と機能Ⅰ（解剖と生理①）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」成長**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHS100**

〇井上　明宏

▌授業の目的

人体解剖生理学は、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくように意識しながら学ぶことを目的とします。

▌到達目標

・身体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく、他者にわかりやすく説明できる。
・身体の機能を構造に結びつけて、他者にわかりやすく説明できる。
・身体の正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。

▌学習の進め方

「AL」
・授業は講義形式を基本としますが、適宜、自習ノート作成、演習、小テストを行います。
・授業は教科書の内容を基本として進めていきます。
・授業の参考資料は紙媒体で配布しますが、あくまで補助的なものとして考えてください。
・学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入します。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**解剖生理学を学ぶための基礎知識（1）** 事前学修：［60 分］教科書第 1 章 B ①～⑤を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［60 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
2	**解剖生理学を学ぶための基礎知識（2）** 事前学修：［60 分］教科書第 1 章 B ⑥～第 1 章 C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
3	**栄養の消化と吸収（1）** 事前学修：［60 分］教科書第 2 章 A ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・小テスト	井上
4	**栄養の消化と吸収（2）** 事前学修：［60 分］教科書第 2 章 B ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
5	**栄養の消化と吸収（3）** 事前学修：［60 分］教科書第 2 章 B ③～⑤を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
6	**栄養の消化と吸収（4）** 事前学修：［60 分］教科書第 2 章 B ⑥⑦、第 2 章 C ②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
7	**栄養の消化と吸収（5）** 事前学修：［60 分］教科書第 2 章 C ③①、第 2 章 D を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・演習	井上
8	**呼吸と血液のはたらき（1）** 事前学修：［60 分］教科書第 3 章 A、第 3 章 B ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・小テスト	白井・井上

No	内容	形式	教員
9	**呼吸と血液のはたらき(2)** 事前学修：[60 分] 教科書第 3 章 B ③～⑦を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
10	**呼吸と血液のはたらき(3)** 事前学修：[60 分] 教科書第 3 章 C ①～④を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
11	**呼吸と血液のはたらき(4)** 事前学修：[60 分] 教科書第 3 章 C ⑤～⑦を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・演習	白井・井上
12	**血液の循環と調節(1)** 事前学修：[60 分] 教科書第 4 章 A、B、C ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・小テスト	井上
13	**血液の循環と調節(2)** 事前学修：[60 分] 教科書第 4 章 C ③、第 4 章 D ②～④を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
14	**血液の循環と調節(3)** 事前学修：[60 分] 教科書第 4 章 D ①、第 4 章 E ①～④を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
15	**血液の循環と調節(4)** 事前学修：[60 分] 教科書第 4 章 E ⑤、第 4 章 F を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義･小テスト･演習	井上

▌教科書
系統看護学講座 専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能①　医学書院(2021)

▌参考書、参考資料等
必要に応じて、適宜紹介します。また、参考資料のプリントを配布します。

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは、「人体の構造と機能Ⅱ」の授業中またはポータルサイトにて、対策、総評および特に注意が必要な点について説明します。

▌他の授業科目との関連
「人体の構造と機能Ⅰおよび Ⅱ」は独立した科目設定になっていますが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できます。なお、本科目は「看護援助論実習 [レベルⅠ]」の履修要件となっています。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み(課題提出、Quiz など) 30%および定期試験 70%を総合して評価します。

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 18:00～18:30　井上研究室(409)

人体の構造と機能Ⅱ（解剖と生理②）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」成長**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHS101**

〇井上　明宏

▌授業の目的

「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」では、解剖生理学等の知識を基にして、実際にどのような健康の異状や疾病が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解し、疾患からの回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学ぶことを目的とします。

▌到達目標

・身体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく、他者にわかりやすく説明できる。
・身体の機能を構造に結びつけて、他者にわかりやすく説明できる。
・身体の正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。

▌学習の進め方

AL
・授業は講義形式を基本としますが、適宜、自習ノート作成、演習、小テストを行います。
・授業は教科書の内容を基本として進めていきます。
・授業の参考資料は紙媒体で配布しますが、あくまで補助的なものとして考えてください。
・学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入します。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**体液の調節と尿の生成(1)** 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 A ①～③を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
2	**体液の調節と尿の生成(2)** 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 A ③④、第 5 章 B、C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・演習	井上
3	**内臓機能の調節(1)** 事前学修：[60 分] 教科書第 6 章 B、第 6 章 C ①を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・小テスト	井上
4	**内臓機能の調節(2)** 事前学修：[60 分] 教科書第 6 章 C ②③を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
5	**内臓機能の調節(3)** 事前学修：[60 分] 教科書第 6 章 C ④～⑥、第 6 章 D、E を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・演習	井上
6	**身体の支持と運動(1)** 事前学修：[60 分] 教科書第 7 章 A～C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・小テスト	白井・井上
7	**身体の支持と運動(2)** 事前学修：[60 分] 教科書第 7 章 D、E を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
8	**身体の支持と運動(3)** 事前学修：[60 分] 教科書第 7 章 F を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上

No	内容	形式	教員
9	**身体の支持と運動(4)** 事前学修：[60 分] 教科書第 7 章 G、H を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
10	**情報の受容と処理(1)** 事前学修：[60 分] 教科書第 8 章 A、B を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・小テスト	井上
11	**情報の受容と処理(2)** 事前学修：[60 分] 教科書第 8 章 C～F を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
12	**情報の受容と処理(3)** 事前学修：[60 分] 教科書第 8 章 G～J を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・演習	井上
13	**外部環境からの防御** 事前学修：[60 分] 教科書第 9 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
14	**生殖・発生と老化のしくみ(1)** 事前学修：[60 分] 教科書第 10 章 B、C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・小テスト	井上
15	**生殖・発生と老化のしくみ(2)** 事前学修：[60 分] 教科書第 10 章 A、D を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上

▌教科書

系統看護学講座　専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能①　医学書院(2021)

▌参考書、参考資料等

必要に応じて、適宜紹介します。また、参考資料のプリントを配布します。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、「人体の構造と機能Ⅱ」の授業中またはポータルサイトにて、対策、総評および特に注意が必要な点について説明します。

▌他の授業科目との関連

「人体の構造と機能Ⅰおよび Ⅱ」は独立した科目設定になっていますが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できます。なお、本科目は「看護援助論実習 [レベルⅠ]」の履修要件となっています。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み(課題提出、Quiz など) 30%および定期試験 70%を総合して評価します。

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30　井上研究室(409)

人体の構造と機能Ⅱ（解剖と生理②）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」成長**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHS101**

〇井上　明宏

▌授業の目的

「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」では、解剖生理学等の知識を基にして、実際にどのような健康の異状や疾病が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解し、疾患からの回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学ぶことを目的とします。

▌到達目標

・身体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく、他者にわかりやすく説明できる。
・身体の機能を構造に結びつけて、他者にわかりやすく説明できる。
・身体の正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。

▌学習の進め方

AL
・授業は講義形式を基本としますが、適宜、自習ノート作成、演習、小テストを行います。
・授業は教科書の内容を基本として進めていきます。
・授業の参考資料は紙媒体で配布しますが、あくまで補助的なものとして考えてください。
・学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入します。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**体液の調節と尿の生成(1)** 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 A ①～③を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
2	**体液の調節と尿の生成(2)** 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 A ③④、第 5 章 B、C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・演習	井上
3	**内臓機能の調節(1)** 事前学修：[60 分] 教科書第 6 章 B、第 6 章 C ①を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・小テスト	井上
4	**内臓機能の調節(2)** 事前学修：[60 分] 教科書第 6 章 C ②③を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
5	**内臓機能の調節(3)** 事前学修：[60 分] 教科書第 6 章 C ④～⑥、第 6 章 D、E を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・演習	井上
6	**身体の支持と運動(1)** 事前学修：[60 分] 教科書第 7 章 A～C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・小テスト	白井・井上
7	**身体の支持と運動(2)** 事前学修：[60 分] 教科書第 7 章 D、E を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
8	**身体の支持と運動(3)** 事前学修：[60 分] 教科書第 7 章 F を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上

No	内容	形式	教員
9	**身体の支持と運動(4)** 事前学修：[60 分] 教科書第 7 章 G、H を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
10	**情報の受容と処理(1)** 事前学修：[60 分] 教科書第 8 章 A、B を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・小テスト	井上
11	**情報の受容と処理(2)** 事前学修：[60 分] 教科書第 8 章 C～F を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
12	**情報の受容と処理(3)** 事前学修：[60 分] 教科書第 8 章 G～J を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・演習	井上
13	**外部環境からの防御** 事前学修：[60 分] 教科書第 9 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
14	**生殖・発生と老化のしくみ(1)** 事前学修：[60 分] 教科書第 10 章 B、C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・小テスト	井上
15	**生殖・発生と老化のしくみ(2)** 事前学修：[60 分] 教科書第 10 章 A、D を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上

▌教科書

系統看護学講座　専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能①　医学書院(2021)

▌参考書、参考資料等

必要に応じて、適宜紹介します。また、参考資料のプリントを配布します。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、「人体の構造と機能Ⅱ」の授業中またはポータルサイトにて、対策、総評および特に注意が必要な点について説明します。

▌他の授業科目との関連

「人体の構造と機能Ⅰおよび Ⅱ」は独立した科目設定になっていますが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できます。なお、本科目は「看護援助論実習 [レベルⅠ]」の履修要件となっています。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み(課題提出、Quiz など) 30%および定期試験 70%を総合して評価します。

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30　井上研究室(409)

人体の構造と機能Ⅲ（生体防御と代謝/生化学、感染）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　**「3」連携**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHS150**

〇誉田　晴夫

▌授業の目的

1. 代謝・生化学

人体が摂取した糖質、脂質、タンパク質は、体内でエネルギー源及び体の構成成分の原料として使われ、やがて分解・排泄される。この過程は代謝と呼ばれ、これを研究する分野を生化学という。この授業では糖質、脂質、タンパク質の構造・性質・働きを学んでから代謝の仕組みを学ぶ。また代謝に必要なビタミン、無機質、酵素について、さらに遺伝情報を担う核酸についても学ぶ。

2. 生体防御・感染

疾患の原因となる微生物（細菌、真菌、原虫、ウイルス）の性質と、それらが人体に感染する仕組み,
および発症の仕組みを学ぶ。さらに、感染症に対する生体防御の仕組み、また化学療法および院内感染について学ぶ。

▌到達目標

1. 糖質、脂質、タンパク質、核酸の構造・性質・働きについて説明できる。
2. 摂取した糖質、脂質、タンパク質の体内代謝の過程を説明できる。
3. 細菌、真菌、原虫、ウイルスの性質について説明できる。
4. 病原微生物による感染の仕組み、生体防御の仕組み、感染症および化学療法について説明できる。

▌学習の進め方

1. 授業の予定：前半 8 回を「代謝・生化学」の講義に、後半 7 回を「生体防御・感染」の講義にあてる。
2. 図表の提示：教科書の図表に解説を加えた資料を授業ごとに配る。同じ資料をパワーポイントで図示しながら講義を進める。
3. 質問に基づく授業展開：学生からの疑問点を取り上げ、授業内容の理解を深める。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**生化学の基礎** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
2	**ビタミン・無機質の性質と働き** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
3	**酵素の性質と働き** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
4	**糖質の構造・性質・働き** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
5	**脂質の構造・性質・働き** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
6	**タンパク質の構造・性質・働き** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
7	**核酸の構造・性質・働き、遺伝情報伝達の仕組み** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
8	**糖・脂質・タンパク質の代謝** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
9	**細菌の性質** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田

No	内容	形式	教員
10	**真菌・原虫・ウイルスの性質** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
11	**感染と感染症** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
12	**感染に対する生体防御の仕組み** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
13	**感染源・感染経路からみた感染症** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
14	**滅菌と消毒** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
15	**感染症の治療、院内感染とその特徴** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田

▌教科書

1. 代謝・生化学：系統看護学講座 [生化学 人体の構造と機能 ②] 畠山鎮次（著）（医学書院） 2021
2. 生体防御・感染：系統看護学講座 [微生物学 疾病のなりたちと回復の促進 ④] 南嶋洋一、他 4 名（著）（医学書院） 2021

▌参考書、参考資料等

なし

▌フィードバックの仕方

定期試験のフィードバックは、試験直後に問題の解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

この科目は、主に内科系の科目に関連する基礎科目の 1 つであることを理解して授業に臨むこと。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み（15 %）、定期試験（85 %）

▌オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で、また電子メールで随時質問を受け付ける。
質問先メールアドレス：Glexa に掲載

▌受講上の注意事項

疑問点はそのままにせず、積極的に質問すること。

人体の構造と機能Ⅲ（生体防御と代謝/生化学、感染）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　**「3」連携**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHS150**

〇誉田　晴夫

▌授業の目的

1. 代謝・生化学

人体が摂取した糖質、脂質、タンパク質は、体内でエネルギー源及び体の構成成分の原料として使われ、やがて分解・排泄される。この過程は代謝と呼ばれ、これを研究する分野を生化学という。この授業では糖質、脂質、タンパク質の構造・性質・働きを学んでから代謝の仕組みを学ぶ。また代謝に必要なビタミン、無機質、酵素について、さらに遺伝情報を担う核酸についても学ぶ。

2. 生体防御・感染

疾患の原因となる微生物（細菌、真菌、原虫、ウイルス）の性質と、それらが人体に感染する仕組み,
および発症の仕組みを学ぶ。さらに、感染症に対する生体防御の仕組み、また化学療法および院内感染について学ぶ。

▌到達目標

1. 糖質、脂質、タンパク質、核酸の構造・性質・働きについて説明できる。
2. 摂取した糖質、脂質、タンパク質の体内代謝の過程を説明できる。
3. 細菌、真菌、原虫、ウイルスの性質について説明できる。
4. 病原微生物による感染の仕組み、生体防御の仕組み、感染症および化学療法について説明できる。

▌学習の進め方

1. 授業の予定：前半 8 回を「代謝・生化学」の講義に、後半 7 回を「生体防御・感染」の講義にあてる。
2. 図表の提示：教科書の図表に解説を加えた資料を授業ごとに配る。同じ資料をパワーポイントで図示しながら講義を進める。
3. 質問に基づく授業展開：学生からの疑問点を取り上げ、授業内容の理解を深める。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**生化学の基礎** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
2	**ビタミン・無機質の性質と働き** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
3	**酵素の性質と働き** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
4	**糖質の構造・性質・働き** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
5	**脂質の構造・性質・働き** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
6	**タンパク質の構造・性質・働き** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
7	**核酸の構造・性質・働き、遺伝情報伝達の仕組み** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
8	**糖・脂質・タンパク質の代謝** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
9	**細菌の性質** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田

No	内容	形式	教員
10	**真菌・原虫・ウイルスの性質** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
11	**感染と感染症** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
12	**感染に対する生体防御の仕組み** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
13	**感染源・感染経路からみた感染症** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
14	**滅菌と消毒** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
15	**感染症の治療、院内感染とその特徴** 事前学修：［30 分］教科書の講義範囲を事前に読み、Ａ 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田

▌教科書

1. 代謝・生化学：系統看護学講座 [生化学 人体の構造と機能 ②] 畠山鎮次（著）（医学書院） 2021
2. 生体防御・感染：系統看護学講座 [微生物学 疾病のなりたちと回復の促進 ④] 南嶋洋一、他 4 名（著）（医学書院） 2021

▌参考書、参考資料等

なし

▌フィードバックの仕方

定期試験のフィードバックは、試験直後に問題の解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

この科目は、主に内科系の科目に関連する基礎科目の 1 つであることを理解して授業に臨むこと。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み（15 %）、定期試験（85 %）

▌オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で、また電子メールで随時質問を受け付ける。
質問先メールアドレス：Glexa に掲載

▌受講上の注意事項

疑問点はそのままにせず、積極的に質問すること。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ（病理学総論、内分泌・代謝、消化器）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」成長**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHS151**

○井上　明宏、吉田　英雄、髙屋　和彦

▌授業の目的

「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」では、解剖生理学等の知識を基にして、実際にどのような健康の異状や疾病が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解し、疾患からの回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学ぶことを目的とする。

▌到達目標

・正常な生理機能の異常による病態について、解剖学、生理学のことばと概念で理解、説明できる（病態生理学）。
・基本的な病気の原因、発症、進展とその結果としての病状を病理学のことばで理解、説明できる（病理学）。
・消化器系および内分泌・代謝の個々の疾患についての病態生理を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略を学ぶ。

▌学習の進め方

・授業は講義形式を基本とするが、適宜、ミニテストを行う。
・授業は基本的に教科書の内容に沿って進める。
・授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまで補助的なものとして考える。
・必要に応じて LMS(Learning Management System・Glexa) を活用する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**病理学総論（1）「病理学序論、細胞・組織障害」** 事前学修：［60 分］教科書第 1 章、第 2 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
2	**病理学総論（2）「循環障害」** 事前学修：［60 分］教科書第 3 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
3	**病理学総論（3）「炎症と免疫」** 事前学修：［60 分］教科書第 4 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
4	**病理学総論（4）「感染症・代謝障害」** 事前学修：［60 分］教科書第 5 章、第 6 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
5	**病理学総論（5）「老化と死・先天異常」** 事前学修：［60 分］教科書第 7 章、第 8 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
6	**病理学総論（6）「腫瘍」** 事前学修：［60 分］教科書第 9 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
7	**消化器疾患（1）「症状」「上部消化管の疾患」** 事前学修：［60 分］教科書第 3 章、第 4 章 A、第 5 章 A を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	吉田
8	**消化器疾患（2）「上部・下部消化管の疾患」** 事前学修：［60 分］教科書第 5 章 B、C ①～⑧⑪を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	吉田
9	**消化器疾患（3）「下部消化管の疾患」「肝臓の疾患」** 事前学修：［60 分］教科書第 5 章 C ⑨⑩、D ①を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	吉田

No	内容	形式	教員
10	**消化器疾患(4)「肝臓の疾患」** 事前学修：［60 分］教科書第 5 章 D ②～⑤を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	吉田
11	**消化器疾患(5)「胆嚢・膵臓の疾患」** 事前学修：［60 分］教科書第 5 章 D ⑦～⑪、第 5 章 E を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	吉田
12	**内分泌疾患(1)「下垂体の疾患①」** 事前学修：［60 分］教科書第 2 章、3 章、4 章、5 章 A の関連する内容を A4 用紙 2 枚程度にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	高屋
13	**内分泌疾患(2)「下垂体の疾患②」「甲状腺・副甲状腺の疾患」「副腎の疾患」** 事前学修：［60 分］教科書第 2 章、3 章、4 章、5 章 A の関連する内容を A4 用紙 2 枚程度にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	高屋
14	**代謝疾患(1)「糖尿病」** 事前学修：［60 分］教科書第 2 章、3 章、4 章、5 章 B および C の関連する内容を A4 用紙 2 枚程度にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	高屋
15	**代謝疾患(2)「脂質異常症」「肥満症とメタボリックシンドローム」** 事前学修：［60 分］教科書第 2 章、3 章、4 章、5 章 B および C の関連する内容を A4 用紙 2 枚程度にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	高屋

▌教科書

・系統看護学講座・専門基礎「病理学」疾病のなりたちと回復の促進①　第 5 版、医学書院(2015 改訂)
・系統看護学講座・専門 II「消化器」成人看護学⑤　第 15 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・専門 II「内分泌・代謝」成人看護学⑥　第 15 版、医学書院(2019 改訂)

▌参考書、参考資料等

・系統看護学講座・専門基礎「病態生理学」疾病のなりたちと回復の促進②　第 2 版、医学書院(2016)
・参考資料のプリントを配布する。

▌フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば 、試験の前後 3 週間の間に、ポータルサイト、LMS(Glexa) 等で伝達する。

▌他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能 I、II、Ⅲ」、「薬理学」、「栄養学」などと密接に関連している。また、「看護援助論実習」[レベル II] の履修要件となっている。

▌成績評価の仕方

・講義の出席は試験受験資格確認のためとし、評価は主として記述式または選択式の筆記試験で行う。
・ミニテスト・リフレクションペーパー・演習(20%)および定期試験(80%)を総合して評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30 (井上研究室 409)。非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受けます。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ（疾病論：呼吸、循環、腎・泌尿器）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」成長**　**「2」関係**　**「3」探求**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHS152**

○井上　明宏、出雲　雄大、石橋　由孝

▌授業の目的

「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」では、解剖生理学等の知識を基にして、実際にどのような健康の異状や疾病が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解し、疾患からの回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学ぶことを目的とする。

▌到達目標

・正常な生理機能の異常による病態について、解剖学、生理学のことばと概念で理解、説明できる（病態生理学）。
・基本的な病気の原因、発症、進展とその結果としての病状を病理学のことばで理解、説明できる（病理学）。
・呼吸器系、循環器系、腎・泌尿器系の個々の疾患についての病態生理を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略を学ぶ。

▌学習の進め方

AL
・授業は講義形式を基本とするが、適宜、ミニテスト・演習を行う。
・授業は基本的に教科書の内容に沿って進める。
・授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまで補助的なものとして考える。
・学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入する。
・必要に応じて LMS(Learning Management System・Glexa) を活用する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** 事前学修：［90 分］各科の教科書第 2 章を A4 用紙 6 枚程度にまとめて解剖生理学の復習をする。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
2	**呼吸器疾患（1）「症状・病態生理」「検査・治療」** 事前学修：［60 分］教科書第 3 章、第 4 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	出雲
3	**呼吸器疾患（2）「感染症」** 事前学修：［60 分］教科書第 4 章 B ⑧、第 5 章 A ①～③を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	出雲
4	**呼吸器疾患（3）「結核」** 事前学修：［60 分］教科書第 5 章 A ④を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	出雲
5	**呼吸器疾患（4）「気道疾患」** 事前学修：［60 分］教科書第 5 章 C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	出雲
6	**呼吸器疾患（5）「間質性肺炎」「肺腫瘍」** 事前学修：［60 分］教科書第 5 章 B、G を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	出雲
7	**循環器疾患（1）「症状・病態生理」** 事前学修：［60 分］教科書第 3 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
8	**循環器疾患（2）「検査・治療」** 事前学修：［60 分］教科書第 4 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
9	**循環器疾患（3）「虚血性心疾患」「心不全」** 事前学修：［60 分］教科書第 5 章 A、B を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義・GW・演習	井上

No	内容	形式	教員
10	**循環器疾患(4)「血圧異常」「不整脈」** 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 C、D を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
11	**循環器疾患(5)「弁膜症」「心膜炎」「心筋疾患」「先天性心疾患」「動・静脈系疾患」** 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 E～K を A4 用紙 6 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義・GW・演習	井上
12	**腎疾患(1)「腎臓の構造と機能」** 事前学修：[60 分] 教科書第 2 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて解剖生理学の復習をする。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石橋
13	**腎疾患(2)「症状・病態生理」「検査・治療」** 事前学修：[60 分] 教科書第 3 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石橋
14	**腎疾患(3)「腎不全」「ネフローゼ」** 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 A、B を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石橋
15	**腎疾患(4)「糸球体腎炎」、まとめ** 事前学修：[30 分] 教科書第 5 章 C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義・GW・演習	石橋

▌教科書

・系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学②　第 15 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③　第 15 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・専門Ⅱ「腎・泌尿器」成人看護学⑧　第 15 版、医学書院(2019 改訂)

▌参考書、参考資料等

・系統看護学講座・専門基礎「病理学」疾病のなりたちと回復の促進①　第 5 版、医学書院(2015 改訂)
・系統看護学講座・専門基礎「病態生理学」疾病のなりたちと回復の促進②　第 2 版、医学書院(2016 改訂)
・参考資料のプリントを配布する。

▌フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば 、試験の前後 3 週間の間に、ポータルサイト、LMS(Glexa) 等で伝達する。

▌他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能 I、II、Ⅲ」、「薬理学」、「栄養学」などと密接に関連している。また、「看護援助論実習」[レベル II] の履修要件となっている。

▌成績評価の仕方

・講義の出席は試験受験資格確認のためとし、評価は主として記述式または選択式の筆記試験で行う。
・ミニテスト・リフレクションペーパー・演習(20%)および定期試験(80%)を総合して評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30 (井上研究室 409)。非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受けます。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ（疾病論：運動器、脳・神経、感覚器）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」成長**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHS153**

○井上　明宏、河村　直洋、大谷　隼一、田中　滋之、伊藤　英也、井桁　之総、舟木　俊成、物部　寛子、今門　純久

▌授業の目的

「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」では、解剖生理学等の知識を基にして、実際にどのような健康の異状や疾病が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解し、疾患からの回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学ぶことを目的とする。

▌到達目標

・正常な生理機能の異常による病態について、解剖学、生理学のことばと概念で理解、説明できる（病態生理学）。
・基本的な病気の原因、発症、進展とその結果としての病状を病理学のことばで理解、説明できる（病理学）。
・運動器系、脳・神経系、眼、耳鼻咽喉、皮膚の個々の疾患についての病態生理を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略を学ぶ。

▌学習の進め方

・授業は講義形式を基本とするが、適宜、ミニテストを行う。
・授業は基本的に教科書の内容に沿って進める。
・授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまで補助的なものとして考える。
・必要に応じて LMS(Learning Management System・Glexa) を活用する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** 事前学修：［90 分］各科の教科書第 2 章を A4 用紙 8 枚程度にまとめて解剖生理学の復習をする。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義・演習	井上
2	**運動器疾患（1）「検査・治療」「外傷性疾患①」** 事前学修：［60 分］教科書第 4 章、第 5 章Ⅰ A を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	伊藤
3	**運動器疾患（2）「外傷性疾患②」「非外傷性疾患①」** 事前学修：［60 分］教科書第 5 章Ⅰ B、Ⅱ B、I～M を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	伊藤
4	**運動器疾患（3）「非外傷性疾患②」** 事前学修：［60 分］教科書第 5 章Ⅱ A を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	河村
5	**運動器疾患（4）「非外傷性疾患③」** 事前学修：［60 分］教科書第 5 章Ⅱ C～F を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	田中
6	**運動器疾患（5）「非外傷性疾患④」** 事前学修：［60 分］教科書第 5 章Ⅱ G、H を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	大谷
7	**眼科疾患** 事前学修：［60 分］教科書第 3～5 章を A4 用紙 6 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	舟木
8	**耳鼻科疾患** 事前学修：［60 分］教科書第 3～5 章を A4 用紙 6 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	物部
9	**皮膚科疾患** 事前学修：［60 分］教科書第 3～5 章を A4 用紙 6 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	今門

No	内容	形式	教員
10	**脳・神経疾患(1)「構造と機能」** 事前学修：[60 分] 教科書第 2 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井桁
11	**脳・神経疾患(2)「症状・病態生理」** 事前学修：[60 分] 教科書第 3 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井桁
12	**脳・神経疾患(3)「検査・治療」** 事前学修：[60 分] 教科書第 4 章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井桁
13	**脳・神経疾患(4)「脳疾患」** 事前学修：[30 分] 教科書第 5 章 A を A4 用紙 2 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井桁
14	**脳・神経疾患(5)「脊髄疾患」「末梢神経障害」「神経・筋疾患」** 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 B～D を A4 用紙 2 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井桁
15	**脳・神経疾患(6)「脱髄・変性疾患」「認知症」その他** 事前学修：[60 分] 教科書第 5 章 E～J を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30 分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井桁

▌教科書

・系統看護学講座・専門Ⅱ「脳・神経」成人看護学⑦　第 15 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・専門Ⅱ「運動器」成人看護学⑨　第 15 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・専門Ⅱ「皮膚」成人看護学⑫　第 15 版、医学書院(2020 改訂)
・系統看護学講座・専門Ⅱ「眼」成人看護学⑬　第 14 版、医学書院(2020 改訂)
・系統看護学講座・専門Ⅱ「耳鼻咽喉」成人看護学⑭　第 14 版、医学書院(2020 改訂)

▌参考書、参考資料等

・系統看護学講座・専門基礎「病理学」疾病のなりたちと回復の促進①　第 5 版、医学書院(2015 改訂)
・系統看護学講座・専門基礎「病態生理学」疾病のなりたちと回復の促進②　第 2 版、医学書院(2016 改訂)
・参考資料のプリントを配布する。

▌フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば 、試験の前後 3 週間の間に、ポータルサイト、LMS(Glexa) 等で伝達する。

▌他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能 I、II、Ⅲ」、「薬理学」、「栄養学」などと密接に関連している。また、「看護援助論実習」[レベル II] の履修要件となっている。

▌成績評価の仕方

・講義の出席は試験受験資格確認のためとし、評価は主として記述式または選択式の筆記試験で行う。
・リフレクションペーパー(15%)および定期試験(85%)を総合して評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30 (井上研究室 409)。非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受けます。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ（内科学、外科学、検査学）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」成長**　**「2」関係**　**「3」探求**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHS250**

○井上　明宏、石田　禎夫、石川　晃、高屋　和彦、石橋　由孝、山田　学、増田　亮、永岡　栄、中原　さおり、今井　庸子、壹岐　聖子、山田　哲久

▌授業の目的

看護においては、病気およびそれに対処するためのさまざまな医療行為に対する人間の反応を取り扱うことになる。「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ～Ⅴ」では、解剖生理学等の基礎医学の知識を基にして、実際にどのような疾患が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解した上で、診断のための検査、診断、治療や看護など、臨床の現場で行われている診療の実際を系統的に学び、実践にも役立てるようにする。

▌到達目標

・内科、外科、小児科、産婦人科の疾病の病態生理、診療の流れについて理解し、自ら考えて判断できる。
・放射線医学、臨床検査の概要について理解する。

▌学習の進め方

・授業は基本的に講義形式で行うが、一部受講生が自ら考える形式をとる。
・授業後は内容を振り返り、リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Learning Management System・Glexa) に提出する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** 事前学修：［30 分］関係する解剖生理学の内容を復習し A4 用紙 2 枚程度にまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
2	**内科学(1)血液内科疾患** 事前学修：［30 分］第 5 章を A4 用紙 4 枚にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石田
3	**内科学(2)内分泌疾患の臨床** 事前学修：［30 分］内分泌器官の構造、機能、疾病の復習を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	高屋
4	**内科学(3)腎不全の治療** 事前学修：［30 分］腎不全と腎代替療法についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石橋
5	**外科学(1)乳腺疾患** 事前学修：［30 分］乳房の構造、機能についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	増田
6	**外科学(2)女性生殖器疾患** 事前学修：［30 分］女性生殖器の構造、機能についての復習を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	山田(学)
7	**外科学(3)泌尿器疾患** 事前学修：［30 分］男女の泌尿器の構造、機能についての復習を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石川
8	**外科学(4)消化器外科の臨床** 事前学修：［30 分］消化器疾患についての復習を A4 用紙 2 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	永岡
9	**小児科概論(1)** 事前学修：［30 分］小児の解剖生理学的特徴についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	今井
10	**小児科概論(2)** 事前学修：［30 分］小児の解剖生理学的特徴についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	今井
11	**外科学(5)小児外科疾患** 事前学修：［30 分］先天性疾患についての復習を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	中原

No	内容	形式	教員
12	**放射線医学概論** 事前学修：［90 分］教科書第 1～3 部を A4 用紙 6 枚にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	山田(哲)
13	**臨床検査(1)「総論」「血液検査」「生体検査」** 事前学修：［60 分］教科書第 1、2、4、10 章を A4 用紙 4 枚で予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	壹岐
14	**臨床検査(2)「尿・便検査」** 事前学修：［30 分］教科書第 3 章を A4 用紙 2 枚にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	壹岐
15	**臨床検査(3)「微生物学検査」** 事前学修：［30 分］教科書第 8 章を A4 用紙 2 枚にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	壹岐

▌教科書

・系統看護学講座・専門Ⅱ「血液・造血器」成人看護学④　第 15 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・別巻「臨床検査」第 8 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・別巻「臨床放射線医学」第 9 版、医学書院(2016 改訂)

▌参考書、参考資料等

・各回の担当教員が用意した資料を配布する。
・系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学②　第 15 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③　第 15 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」成人看護学⑤　第 15 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・専門Ⅱ「内分泌・代謝」成人看護学⑥　第 15 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・専門Ⅱ「脳・神経」成人看護学⑦　第 15 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・専門Ⅱ「腎・泌尿器」成人看護学⑧　第 15 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・専門Ⅱ「女性生殖器」成人看護学⑨　第 15 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・専門Ⅱ「運動器」成人看護学⑩　第 15 版、医学書院(2019 改訂)
・系統看護学講座・別巻「臨床外科看護総論・各論」第 11 版、第 9 版、医学書院(2017 改訂)

▌フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば 、試験の前後 3 週間の間に、ポータルサイト、LMS(Glexa) 等で伝達する。

▌他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ」、「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」で履修した内容を基盤とし、かつ「薬理学」、「栄養学」などの科目と有機的に関連している。また、「精神保健看護学実習 [レベル III]」、「発達看護学実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ [レベル III]」、および「健康レベル別看護学実習 [レベルⅢ]」の履修要件となっている。

▌成績評価の仕方

リフレクションペーパー(15%)、および定期試験(85%)を総合して評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30 (井上研究室 409)。非常勤講師については、各授業終了後に教室(またはオンライン)で質問を受ける。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ（内科学、外科学）

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」成長**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHS450**

○井上　明宏、石田　禎夫、鈴木　毅、壹岐　聖子、石川　晃、小林　城太郎、永岡　栄、安藤　常浩、國頭　英夫

▌授業の目的

看護においては、病気およびそれに対処するためのさまざまな医療行為に対する人間の反応を取り扱うことになる。「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ～Ⅴ」では、解剖生理学等の基礎医学の知識を基にして、実際にどのような疾患が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解した上で、診断のための検査、診断、治療や看護など、臨床の現場で行われている診療の実際を系統的に学び、実践にも役立てるようにする。

▌到達目標

・看護の実践に向けて、成人疾患の病態とケアを展開するために必要な概念や理論を理解する。
・各診療科の臨床における代表的疾患の診断と治療について、患者および家族にもわかりやすく説明できる。
・保険制度や地域で支える医療についても理解できる。
・国家試験対策として必要な事項を復習し、学力を定着させる。

▌学習の進め方

各診療科における典型的な疾患の病態および治療例を中心に講義し、臨床現場でのトピックや国家試験対策を意識したサンプル問題の演習および解説なども盛り込む。授業後は内容を振り返り、リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Learning Management System・Glexa) に提出する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**血液腫瘍の治療** 事前学修：［30 分］Ⅳの内容や実習での知識、経験、疑問点などを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石田
2	**輸血の実際** 事前学修：［30 分］授業、実習、自習などで得た関連事項を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	壹岐
3	**アレルギー・膠原病の概要と治療** 事前学修：［30 分］授業、実習、自習などで得た関連事項を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	鈴木
4	**画像診断（消化器外科）** 事前学修：［30 分］授業、実習、自習などで得た関連事項を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	永岡
5	**移植医療（泌尿器科）** 事前学修：［30 分］授業、実習、自習などで得た関連事項を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石川
6	**心臓・血管外科の臨床** 事前学修：［90 分］教科書第 1～3 部の要点を A4 用紙 6 枚程度にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	小林
7	**院内感染症** 事前学修：［30 分］授業、実習、自習などで得た関連事項を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	安藤
8	**臨床腫瘍学** 事前学修：［30 分］授業、実習、自習などで得た関連事項を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	國頭

▌教科書

各回の担当教員が必要に応じて用意した資料を配付する。

▌参考書、参考資料等

・系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学②　第 15 版、医学書院（2019 改訂）
・系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③　第 15 版、医学書院（2019 改訂）
・系統看護学講座・専門Ⅱ「血液・造血器」成人看護学④　第 15 版、医学書院（2019 改訂）
・系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」成人看護学⑤　第 15 版、医学書院（2019 改訂）

・系統看護学講座・専門Ⅱ「腎・泌尿器」成人看護学⑧　第 15 版、医学書院（2019 改訂）
・系統看護学講座・専門 II「アレルギー膠原病感染症」成人看護学⑪　第 15 版、医学書院（2020）
・系統看護学講座・別巻「臨床外科看護総論・各論」第 11 版、第 9 版、医学書院（2017）

▌フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば 、試験の前後 3 週間の間に、ポータルサイト、LMS(Glexa) 等で伝達する。

▌他の授業科目との関連

これまで学んだ内容を発展させ、臨床の現場における治療と看護の統合とその実践について理解し、医療安全、他職種との連携協調ができるよう、他の講義・演習・実習との隙間も埋めていく。

▌成績評価の仕方

リフレクションペーパー（15%）、および定期試験（85%）を総合して評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30（井上研究室 409）。非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受ける。

▌受講上の注意事項

看護師国家試験受験資格のみ取得する者の選択必修科目である。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ（精神医学）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」擁護**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHS300**

○梅野　充

▌授業の目的

精神看護の実践に必要な精神医学の方法と精神疾患に関する基本知識を学ぶとともに，当事者にとって「精神を病む」こととはどのようなことかを理解する.

▌到達目標

1. 精神疾患の病態を理解し，症状や状態を把握し記載できるようになる.
2. 各精神疾患の病態，治療についての理論を理解する.
3. 生物的・心理的・社会的な存在としての人間を理解し，当事者をめぐる関係性を把握できるようになる.
4. 精神疾患を抱えるひとに対する，倫理的で治療的な関わりを理解する.

▌学習の進め方

1. 授業の展開：主に教科書に沿って講義し，適宜，参考書で補いながら進める．適宜ワークを取り入れて行う.
2. 参考資料の提示：学生個々で学びを深められるように，配布資料に授業テーマに関連した参考図書や資料を記す.

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No.1，4，8 が総論的事項，No.2，3，5，6，7 が各論的事項である.

No	内容	形式	教員
1	**導入：精神医学の観点** 事前学修：［30 分］教科書５章Ａ，Ｂ，Ｃ①を読んで，要点をノートにまとめておく. 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し，疑問点があれば抽出しておく.	講義	梅野
2	**統合失調症の成り立ちと回復の促進** 事前学修：［30 分］教科書５章Ｃ②を読んで，要点をノートにまとめておく. 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し，疑問点があれば抽出しておく.	講義	梅野
3	**気分障害の成り立ちと回復の促進** 事前学修：［30 分］教科書５章Ｃ③を読んで，要点をノートにまとめておく. 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し，疑問点があれば抽出しておく.	講義	梅野
4	**精神科薬物療法** 事前学修：［30 分］教科書 6 章 A，B を読んで，要点をノートにまとめておく. 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し，疑問点があれば抽出しておく.	講義	梅野
5	**精神作用物質使用による精神・行動の障害および成人の人格・行動の障害** 事前学修：［30 分］教科書５章Ｃ⑧を読んで，要点をノートにまとめておく. 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し，疑問点があれば抽出しておく.	講義	梅野
6	**小児・青年期の精神・心身医学的疾患** 事前学修：［30 分］教科書５章Ｃ⑩を読んで，要点をノートにまとめておく. 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し，疑問点があれば抽出しておく.	講義	梅野
7	**身体的要因に関連した精神障害および神経症性障害・ストレス関連障害** 事前学修：［30 分］教科書５章Ｃ④，⑤を読んで，要点をノートにまとめておく. 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し，疑問点があれば抽出しておく.	講義	梅野
8	**まとめ：精神科治療の実際** 事前学修：［30 分］教科書６章Ｃ，Ｄを読んで，要点をノートにまとめておく. 事後学修：［120 分］本科目全般について，配布資料を読み返して復習しておく	講義	梅野

▌教科書

武井麻子、小宮敬子ほか（2017）．精神看護の基礎　系統看護学講座 専門分野Ⅱ　精神看護学 [1]．第 5 版．医学書院.

▌参考書、参考資料等

中井久夫、山口直彦（2004）．看護のための精神医学．第 2 版．医学書院.
落合慈之、秋山剛ほか（2015）．精神神経疾患ビジュアルブック．学研メディカル秀潤社.

▌フィードバックの仕方

定期試験終了 1 日後に，試験の正解と解説を Glexa にて公開する.

▌他の授業科目との関連

この科目は，精神保健看護学実習（レベルⅢ）の履修要件となっている．また，精神保健看護学Ⅰ・Ⅱと深くかかわっている．

▌成績評価の仕方

授業への取組み 20 %，定期試験 80 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受けつける．

薬理学

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHS350**

○吉見　猛

▌授業の目的

臨床現場で使われている薬物の意義や役割を正しく理解する。

▌到達目標

1．薬理作用の基礎知識の基づき、薬物の特徴・作用機序・人体への影響について理解できる。
2．主な薬物の特徴について理解できる。

▌学習の進め方

1．授業の展開：講義形式
2．参考資料の提示：教科書を使用するが、補足でスライド、プリントも使用予定。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**薬理学の概要、体内情報伝達機構、薬の作用機序、薬物体内動態、薬理作用** 事前学修：［80 分］教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：［10 分］授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
2	**末梢神経系に作用する薬** 事前学修：［80 分］教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：［10 分］授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
3	**中枢神経系に作用する薬** 事前学修：［80 分］教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：［10 分］授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
4	**心臓・血管系に作用する薬** 事前学修：［80 分］教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：［10 分］授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
5	**呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬** 事前学修：［80 分］教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：［10 分］授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
6	**免疫・抗アレルギー・抗炎症薬、代謝物質に作用する薬** 事前学修：［80 分］教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：［10 分］授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
7	**感染症に作用する薬、皮膚外用薬** 事前学修：［80 分］教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：［10 分］授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見
8	**抗がん薬** 事前学修：［80 分］教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：［10 分］授業資料、ノートを読み返す	講義	吉見

▌教科書

吉岡　充弘／泉　剛／井関　健／横式　尚司／菅原　満（2018 年）系統看護学講座　疾病のなりたちと回復の促進［3］　薬理学　第 14 版.　医学書院

▌参考書、参考資料等

田中千賀子／加藤隆一／成宮　周（2017 年）NEW 薬理学　改訂第 7 版.　南江堂

▌フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭にて解説を行う。

▌他の授業科目との関連

人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、栄養学等と関連する内容があると思います。

▌成績評価の仕方

定期試験（80 %）、授業参加度（20 %）

▌オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受ける。

▌受講上の注意事項

授業への主体的な参加を期待します。

＊この科目は看護師国家試験受験資格のみ取得者の選択必修科目です。

リハビリテーション医学

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**3 年・編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」連携**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBHS301**

○森本　正、長　晶子、安藤　慧二、樋口　晶

▌授業の目的

疾患や外傷によって生じた障害を持つ人がその人らしく生きることを支援するためのアプローチについて学ぶ。機能・形態の障害、生活活動の制限、社会参加の制約という障害の構造を理解し、様々な障害に対して多職種の連携と協働によって対処する方策について学ぶ。

▌到達目標

1. 障害の構造について理解し、障害の全体像をとらえることができる。
2. 障害を生じる疾患や外傷について理解する。
3. 障害の各レベルに対応したアプローチについて理解する。
4. 各患者の持つ問題点を把握し、到達すべきゴールを設定し、多職種が連携してゴールの達成を目指すというチーム医療について理解する。

▌学習の進め方

医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による講義を中心に授業を行う。
授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう適宜参考資料を提示する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**リハビリテーション総論** 事前学修：［30 分］解剖生理学に関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：［30 分］授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	森本
2	**脳血管疾患のリハビリテーション** 事前学修：［30 分］脳神経疾患に関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：［30 分］授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	森本
3	**骨関節疾患のリハビリテーション** 事前学修：［30 分］運動器疾患に関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：［30 分］授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	森本
4	**内部障害のリハビリテーション** 事前学修：［30 分］呼吸器、循環器、腎・泌尿器の疾患に関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：［30 分］授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	森本
5	**癌のリハビリテーション** 事前学修：［30 分］緩和・終末期ケアに関する授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：［30 分］授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	森本
6	**理学療法** 事前学修：［30 分］前回までの授業資料、ノートを読み返し、要点をまとめておく。 事後学修：［30 分］授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	安藤
7	**作業療法** 事前学修：［30 分］前回までの授業資料、ノートを読み返し要点をまとめておく。 事後学修：［30 分］授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	長
8	**言語聴覚療法** 事前学修：［30 分］脳神経疾患と「看護援助論Ⅳ（嚥下機能の障害と看護）」の授業内容について、要点をまとめておく。 事後学修：［30 分］授業の配布資料、ノートを読み返す。	講義	樋口

▌教科書

使用しない。講義内容に合わせて適宜資料を配布する。

▌参考書、参考資料等

なし。

▌フィードバックの仕方

フィードバックの予定はない。質問のある方は各自お問い合わせ下さい。

▌他の授業科目との関連

リハビリテーションが対象とする疾患は多岐にわたるが、脳血管疾患、骨関節疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、腎・泌尿器疾患などが中心になるので、「疾病の成り立ちと回復の促進」(特に脳神経、筋骨格、呼吸器、循環器、腎・泌尿器)の授業内容について復習しておくことが望ましい。

▌成績評価の仕方

筆記試験 80%、授業への取り組み 20%

▌オフィスアワー・研究室等

平日の 13:00～17:00、医療センター 2 階リハビリテーション室。各自アポイントメントを取って下さい。

▌その他

講義の順序は変更されます。

遺伝と遺伝カウンセリング

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年・編入 4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」擁護**　**「3」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHS400**

〇守田　美奈子、笠井　靖代、納富　理絵

▌授業の目的

はじめにヒトの遺伝子の構造、機能、機能発現、等の遺伝学の基本を学ぶ。一方ヒトゲノムの一次構造決定に伴い、病気とその原因遺伝子の同定、遺伝子の機能と病因との関連が明らかになりつつある。この最新の遺伝学情報と遺伝子の発現や伝達様式を学び、増加している遺伝カウンセリングなど遺伝医療の進展に伴って求められるチーム医療の在り方と看護の役割を理解する。

▌到達目標

1）遺伝子の発現や遺伝形式を理解できる。
2）遺伝子疾患を理解できる。
3）遺伝子の技術進歩がもたらす倫理社会的問題を理解できる。
4）遺伝性疾患をもつ人々、あるいはその可能性のある人々への看護援助を考えることができる。

▌学習の進め方

生物のもつ形質は遺伝子を介して親から子に伝えられる。遺伝の仕方に一定の規則性があることを発見したのは Mendel で、Mendel の「遺伝の法則」は今日の分子生物学の源流である。また Watson&Crick が明らかにしたように、酵素は蛋白質であり、蛋白質は遺伝子により規定され、遺伝子は染色体上の一定の位置に存在する DNA 分子そのものである。現在、ヒトの染色体の全 DNA（30 億文字）の一次構造が明らかにされ、DNA 配列の意味づけ（解読、annotation）も進んできた。さらに蛋白質をコードしない RNA 分子が多量に転写（合成）され、生物活動に重要な働きをする事も明らかになった。ヒトゲノム解読に伴い生命現象についての考え方、研究方法も変化し、生命科学、医学、遺伝学が飛躍的に進展している。以上をふまえて、下記のように授業を進めていく予定である。
1）遺伝子の構造と機能などの遺伝学の基礎を理解できるよう講義を行う。
2）遺伝子と病気、癌との関連、遺伝子診断、遺伝子治療、遺伝医療における倫理的・法的・社会的問題を理解できるようになるために、講義とグループワークを行う。
3）ビデオを用いて遺伝カウンセリングの実際を分かりやすく紹介することで、遺伝カウンセリングへの理解を深める。
4）看護の役割についてグループメンバーと意見交換を行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**遺伝医学の歴史。ヒト全ゲノムの一次構造決定の成果。遺伝性疾患の概要。** 事前学修：［30 分］遺伝に関する基礎知識の復習〔高校の内容） 事後学修：［30 分］授業資料を読み返す	講義	笠井
2	**遺伝子の構造と機能と発現様式。DNA の変異による遺伝（子）病。** 事前学修：［30 分］遺伝子の構造、染色体に関する予習 事後学修：［30 分］授業資料を読み返す	講義	笠井
3	**代謝異常による先天性代謝異常症。** 事前学修：［30 分］代謝異常、遺伝子治療に関する情報を検索し読む 事後学修：［30 分］資料資料を読み返す	講義	笠井
4	**癌と遺伝子（癌遺伝子と癌抑制遺伝子の異常による発癌）。** 事前学修：［30 分］癌と遺伝に関する情報を検索し読む 事後学修：［30 分］授業資料を読み返す	講義	笠井
5	**集団スクリーニング・遺伝子診断・遺伝子治療・再生医療。** 事前学修：［30 分］遺伝子診断に関する情報を検索し読む 事後学修：［30 分］授業資料を読み返す	講義	笠井
6	**遺伝医療と看護の役割** **遺伝に伴う倫理的・法的・社会的問題と看護の役割** 事前学修：［30 分］遺伝看護に関する情報を検索し読む 事後学修：［30 分］授業資料を読み返す	講義 GW	守田
7	**遺伝看護の役割と遺伝カウンセリング** 事前学修：［30 分］遺伝カウンセリングに関する情報を検索し読む 事後学修：［30 分］授業資料を読み返す	講義 GW	納富
8	**遺伝看護の実際** 事前学修：［30 分］遺伝看護に関する情報を検索し読む 事後学修：［30 分］授業資料を読み返す	講義 GW	納富

▌教科書

渡邉淳／著(2017 年発行). 診療・研究にダイレクトにつながる「遺伝医学」. 羊土社
そのほかに、プリントを作成します。授業はスライドまたは OHP を使用します。

▌参考書、参考資料等

遺伝医学　渡邉淳　羊土社
遺伝／ゲノム看護　有森直子　溝口満子編　医歯薬出版

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは, 試験終了後,3 週間以内にポータルサイトにて、対策、総評および特に注意が必要な点について説明します。

▌他の授業科目との関連

科目区分「健康」及び「人間」とくに生命倫理の基礎知識が必要となります。

▌成績評価の仕方

授業中の課題レポート 10 %、定期試験 90 %で評価する。ノート等の持ち込みなし。

▌オフィスアワー・研究室等

講義終了後に質問をうけます。授業開講日の 12:30 から 13：00. 守田研究室 413

▌受講上の注意事項

＊この科目は、看護師国家試験受験資格のみ取得者の選択必修科目です。

栄養学

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHS351**

〇齋藤　沙織

▌授業の目的

栄養の定義及び栄養素の種類と働き、エネルギー代謝、栄養素の消化吸収、栄養素の体内代謝について基礎的な内容を学びます。さらに、栄養ケア・マネジメント及びライフステージごとの栄養、臨床栄養の基礎となる知識を習得することを目的とします。

▌到達目標

1. 栄養素の種類、はたらきについて説明できる。
2. エネルギー代謝について説明できる。
3. 栄養素の消化吸収と体内代謝について説明できる。
4. 栄養ケア・マネジメント及びライフステージごとの栄養、臨床栄養の基礎となる知識を理解する。

▌学習の進め方

1. 下記の授業内容に沿って、教科書を中心に講義形式で行います。
2. レポート(書き込み資料)を配布します。
3. 予習は教科書の指定された章を読み、レポートにまとめてきてください。
4. 授業中に質疑応答の時間を設けます。積極的に授業に参加してください。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**人間栄養学と看護** 事前学修：[30 分] 授業開始前に第 1 章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げること	[講義]	齋藤
2	**栄養素の種類とはたらき** 事前学修：[30 分] 授業開始前に第 2 章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げること	[講義]	齋藤
3	**食物の消化と栄養素の吸収・代謝** 事前学修：[30 分] 授業開始前に第 3 章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げること	[講義]	齋藤
4	**エネルギー代謝、食事と食品** 事前学修：[30 分] 授業開始前に第 4-5 章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げること	[講義]	齋藤
5	**栄養ケア・マネジメント、栄養状態の評価・判定** 事前学修：[30 分] 授業開始前に第 6-7 章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げること	[講義]	齋藤
6	**ライフステージと栄養、健康づくりと食生活** 事前学修：[30 分] 授業開始前に第 8 章、第 10 章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げること	[講義]	齋藤
7	**臨床栄養** 事前学修：[30 分] 授業開始前に第 9 章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30 分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げること	[講義]	齋藤
8	**総まとめ** 事前学修：[30 分] 授業開始前に総復習をしてくること 事後学修：[30 分] 全授業内容の復習をし、レポート内容を確認すること	[講義]	齋藤

▌教科書

系統看護学講座　専門基礎分野　「人体の構造と機能③　栄養学」　医学書院

▌参考書、参考資料等

なし

▌フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験実施後 2 週間以内に解説時間を設けてを行う

▌他の授業科目との関連

本科目で出てくる栄養学の専門用語は、看護を学ぶ皆さんには馴染みの薄い言葉かもしれません。しかし、チーム医療を基本としたNST（ニュートリションサポートチーム）が組織化されつつある現在、看護を学ぶ皆さんも、こうした栄養学の専門用語に慣れ、知識を深める必要があります。この科目では、看護および関連科目で学んできた内容と栄養学の関係を明らかにしながら、実践的な例を挙げて講義を進めて行きます。

▌成績評価の仕方

1. 筆記試験　80%
2. レポート　20%

▌オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

▌受講上の注意事項

積極的に授業に参加し、分からない内容、もっと知りたい内容があれば、授業内及び授業終了後に質疑時間を設けます。
質問に関する解説は、全体で共有するため、次回の授業で詳しく説明をします。沢山の疑問、質問をお待ちしています。

ラボラトリー・プラクティス

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHS200**

〇壹岐　聖子、裴　有安、石橋　雪乃、青木　由美子、積田　雅央、網野　彩、富田　健一郎、松尾　梢恵、用具　恭子、昆　雅士、今井　一仁、菅野　恵子、桑原　麻樹、平石　直己、藤井　幸太郎

▌授業の目的

臨床検査に関する知識を習得する。

▌到達目標

医学的基礎知識を基盤に臨床検査の意義、役割が理解できる。

▌学習の進め方

病院検査部・病理部(日本赤十字社医療センター)で見学実習する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

少人数に分かれて、下記７部署を見学実習する。
・病理
・生理
・生化免疫
・輸血
・微生物
・血液尿一般
・染色体
具体的なスケジュールはガイダンスで説明する。

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス** 事前学修：[15 分] 本科目のシラバスを読み、疑問点があれば抽出しておくこと 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	講義	壹岐聖子
2	**班に分かれて各部署を見学実習** 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴 有安、他
3	**班に分かれて各部署を見学実習** 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴 有安、他
4	**班に分かれて各部署を見学実習** 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴 有安、他
5	**班に分かれて各部署を見学実習** 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴 有安、他
6	**班に分かれて各部署を見学実習** 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴 有安、他
7	**8 班に分けてローテーション** 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴 有安、他
8	**班に分かれて各部署を見学実習** 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴 有安、他
9	**班に分かれて各部署を見学実習** 事前学修：[30 分] 参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴 有安、他

No	内容	形式	教員
10	**班に分かれて各部署を見学実習** 事前学修：［30 分］参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴 有安、他
11	**班に分かれて各部署を見学実習** 事前学修：［30 分］参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴 有安、他
12	**班に分かれて各部署を見学実習** 事前学修：［30 分］参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴 有安、他
13	**班に分かれて各部署を見学実習** 事前学修：［30 分］参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴 有安、他
14	**班に分かれて各部署を見学実習** 事前学修：［30 分］参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴 有安、他
15	**班に分かれて各部署を見学実習** 事前学修：［30 分］参考書の該当章を読み、要点をノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業資料やノートを読み返す	実習	壹岐聖子、裴 有安、他

▌教科書
プリントを配付する場合もある。

▌参考書、参考資料等
系統看護学講座　別巻　臨床検査　医学書院

▌フィードバックの仕方
試験は実施しない。全実習終了後 2 週間以内に「実習で学んだこと」についてレポートを提出してもらう。レポートのフィードバックはしない。

▌他の授業科目との関連
疾病の成り立ちと回復の促進 IV（内科学、外科学、検査学）

▌成績評価の仕方
授業への取組み 80 %、レポート 20 %

▌オフィスアワー・研究室等
講義終了時に質問を受け付ける。

▌受講上の注意事項
第 2 回目以降は日赤医療センター検査部で講義と実習を行うので、実習服とナースシューズを着用して出席すること。

看護学概論Ⅰ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」擁護**　**「2」関係**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBIN100**

○川原　由佳里

▌授業の目的

ケアの原理を中心として看護とは何かを探求し、これ以後に展開される看護学全体の学びへの動機づけを図る。

▌到達目標

1. ケアの原理を理解できる。
2. 看護の歴史の基礎を理解できる。
3. 看護学の重要概念（健康、環境、人間、看護）を説明できる。
4. 看護の提供システムに関する基礎知識を理解できる。
5. 看護の法と倫理に関する基礎知識を理解できる。
6. 看護とは何かに関する自己の考えを表現することができる。

▌学習の進め方

1.Glexa にアクセスします。
2.「看護学概論Ⅰ」に入り、フォルダを開きます。
3. パワーポイント資料や動画を視聴します。
4. 教科書の関連部分を読みます。
5. 提示された課題（クイズへの回答やボード、Teams、レポートの提出）に取り組みます。
6. 教員は、課題提出を確認し、１週間以内に Glexa 上でコメントを返したり、クイズの解答解説などのフィードバックを行います。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**看護とは：看護の歴史** 事前学修：［30 分］教科書の pp.2-7、pp.14-16 を読み、空欄を補充 事後学修：［30 分］ナイチンゲールの業績に関するレポート作成	対面・遠隔	川原
2	**専門職としての看護** 事前学修：［30 分］教科書の pp.16-17、pp.38-39, pp.138-150 を 読み、空欄を補充 事後学修：［30 分］日本の看護の専門職化とかかわりのある職能団体、学協会、制度の調べ学習	対面・遠隔	川原
3	**人々の健康と生活　看護職の養成と就業状況、保健医療福祉システムと多職種連携** 事前学修：［30 分］教科書の pp.59-61、pp.115-136, pp.158-162, pp.225-246 を読み、空欄を補充 事後学修：［30 分］グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔	川原
4	**看護の定義、看護とその主要概念（健康・環境・人間・看護）、看護理論、ケアリング** 事前学修：［30 分］教科書の pp.20-46、pp.78-100, pp.108-115 を読み、空欄を補充 事後学修：［30 分］グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔	川原
5	**看護の法的基盤：医療倫理と看護倫理** 事前学修：［30 分］教科書の pp.150-154、pp.186-217 を読み、空欄を補充 事後学修：［30 分］グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔	川原
6	**課題学習　看護に関する資料を読んで理解し、議論を深め、自分たちの意見を発表する①** 事前学修：［30 分］グループで課題に取り組み、A4 用紙 4 枚で発表資料を作成する。 事後学修：［30 分］グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔 グループワーク・発表	川原
7	**課題学習　看護に関する資料を読んで理解し、議論を深め、自分たちの意見を発表する②** 事前学修：［30 分］グループで課題に取り組み、A4 用紙 4 枚で発表資料を作成する。 事後学修：［30 分］グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔 グループワーク・発表	川原
8	**課題学習　看護に関する資料を読んで理解し、議論を深め、自分たちの意見を発表する③** 事前学修：［30 分］グループで課題に取り組み、A4 用紙 4 枚で発表資料を作成する。 事後学修：［30 分］グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔 グループワーク・発表	川原

▌教科書

看護学概論　基礎看護学①　医学書院

▌参考書、参考資料等
授業開始 1 日前までに Glexa 上にて動画の PPT を配布、参考資料を提示する

▌フィードバックの仕方
提出物のフィードバックは 1 週間以内に Glexa 上で行う。
試験問題の解説に関する資料を試験後に掲示する。

▌他の授業科目との関連
レベル I 実習の履修要件になって居います。1 年時以降に開講される看護技術論あるいは看護援助論などこれから学ぶ看護学専門科目の基礎的な学習となる。

▌成績評価の仕方
授業中の課題 20 %と定期試験 80 %で評価する。

▌オフィスアワー・研究室等
授業日の 12 時 20 分〜12 時 50 分　447 研究室にて

▌受講上の注意事項
特にない

看護学概論Ⅰ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」擁護**　**「2」関係**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBIN100**

○川原　由佳里

▌授業の目的

ケアの原理を中心として看護とは何かを探求し、これ以後に展開される看護学全体の学びへの動機づけを図る。

▌到達目標

1. ケアの原理を理解できる。
2. 看護の歴史の基礎を理解できる。
3. 看護学の重要概念（健康、環境、人間、看護）を説明できる。
4. 看護の提供システムに関する基礎知識を理解できる。
5. 看護の法と倫理に関する基礎知識を理解できる。
6. 看護とは何かに関する自己の考えを表現することができる。

▌学習の進め方

1.Glexa にアクセスします。
2.「看護学概論Ⅰ」に入り、フォルダを開きます。
3. パワーポイント資料や動画を視聴します。
4. 教科書の関連部分を読みます。
5. 提示された課題（クイズへの回答やボード、Teams、レポートの提出）に取り組みます。
6. 教員は、課題提出を確認し、１週間以内に Glexa 上でコメントを返したり、クイズの解答解説などのフィードバックを行います。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**看護とは：看護の歴史** 事前学修：［30 分］教科書の pp.2-7、pp.14-16 を読み、空欄を補充 事後学修：［30 分］ナイチンゲールの業績に関するレポート作成	対面・遠隔	川原
2	**専門職としての看護** 事前学修：［30 分］教科書の pp.16-17、pp.38-39, pp.138-150 を 読み、空欄を補充 事後学修：［30 分］日本の看護の専門職化とかかわりのある職能団体、学協会、制度の調べ学習	対面・遠隔	川原
3	**人々の健康と生活　看護職の養成と就業状況、保健医療福祉システムと多職種連携** 事前学修：［30 分］教科書の pp.59-61、pp.115-136, pp.158-162, pp.225-246 を読み、空欄を補充 事後学修：［30 分］グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔	川原
4	**看護の定義、看護とその主要概念（健康・環境・人間・看護）、看護理論、ケアリング** 事前学修：［30 分］教科書の pp.20-46、pp.78-100, pp.108-115 を読み、空欄を補充 事後学修：［30 分］グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔	川原
5	**看護の法的基盤：医療倫理と看護倫理** 事前学修：［30 分］教科書の pp.150-154、pp.186-217 を読み、空欄を補充 事後学修：［30 分］グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔	川原
6	**課題学習　看護に関する資料を読んで理解し、議論を深め、自分たちの意見を発表する①** 事前学修：［30 分］グループで課題に取り組み、A4 用紙 4 枚で発表資料を作成する。 事後学修：［30 分］グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔 グループワーク・発表	川原
7	**課題学習　看護に関する資料を読んで理解し、議論を深め、自分たちの意見を発表する②** 事前学修：［30 分］グループで課題に取り組み、A4 用紙 4 枚で発表資料を作成する。 事後学修：［30 分］グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔 グループワーク・発表	川原
8	**課題学習　看護に関する資料を読んで理解し、議論を深め、自分たちの意見を発表する③** 事前学修：［30 分］グループで課題に取り組み、A4 用紙 4 枚で発表資料を作成する。 事後学修：［30 分］グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔 グループワーク・発表	川原

▌教科書

看護学概論　基礎看護学①　医学書院

▌参考書、参考資料等
授業開始 1 日前までに Glexa 上にて動画の PPT を配布、参考資料を提示する

▌フィードバックの仕方
提出物のフィードバックは 1 週間以内に Glexa 上で行う。
試験問題の解説に関する資料を試験後に掲示する。

▌他の授業科目との関連
レベル I 実習の履修要件になって居います。1 年時以降に開講される看護技術論あるいは看護援助論などこれから学ぶ看護学専門科目の基礎的な学習となる。

▌成績評価の仕方
授業中の課題 20 %と定期試験 80 %で評価する。

▌オフィスアワー・研究室等
授業日の 12 時 20 分〜12 時 50 分　447 研究室にて

▌受講上の注意事項
特にない

看護学概論Ⅱ（看護倫理含）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**4 年・編入 4 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」変化　「2」擁護　「3」成長**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBIN450**

○吉田　みつ子、樋口　佳栄、細野　知子、川原　由佳里、吉良　理恵、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈

▌授業の目的

これまでの実習等による看護実践体験について振り返り、考察することで、自己の看護観を探究するための基礎的能力を育成する。

▌到達目標

1. 学生一人一人が体験した看護実践を自分の言葉で語り、互いに問い直すことができる。
2. 一人ひとりの発言の仕方や考え方に耳を傾け、価値観の相違等を尊重しあいながら話し合うことができる。
3. 自らの看護実践を振り返ることができる。
4. 看護に関する理論や研究成果と照らしあわせて、看護実践の特徴（倫理問題含む）を考察することができる。
5. 看護とは何かについて自己の看護観を整理し表現することができる。

▌学習の進め方

1. 事前課題レポートを提出する。
   テーマ「実習での体験」
   内容：これまでの実習等の中で、心に残る実践や出来事、看護を深く考えさせられた事例、患者の権利について考えさせられた事例とその体験について記述する。A4 用紙 1 枚 1000 字程度
2. 講義
   看護理論と看護現象との関連に関する講義を行う。
3. グループワーク
   ・事前課題レポートで記述した体験について、グループメンバーで話し合う。
   ・文献を活用して体験事例の特徴を考察する。
   ・まとめた内容をプレゼンテーションし、クラス全体で意見交換を行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**看護実践の中にある倫理** 事前学修：［120 分］事前レポートを作成する。 事後学修：［60 分］事前レポートで記載した内容について、講義内容と照らし、考察する。	講義	吉田みつ子
2	**実習・看護実践体験の振り返り** 事前学修：［60 分］事前レポートで記載した内容について、考察する。 事後学修：［60 分］グループメンバーの経験と自分の経験を照らし、考察する。	グループワーク	全教員
3	**実習・看護実践体験の振り返りと文献検討** 事前学修：［60 分］グループワークで取り上げる現象に関連する文献を検索、選択しておく。 事後学修：［60 分］グループワークを踏まえ、さらに文献を検討し、自分の考えをまとめる。	グループワーク	全教員
4	**実習・看護実践体験の振り返りと文献検討** 事前学修：［60 分］焦点を当てた現象について、文献検索・検討をする。 事後学修：［60 分］グループワークを踏まえ、さらに文献を検討し、自分の考えをまとめる。	グループワーク	全教員
5	**グループワークのまとめ：発表資料作成・準備** 事前学修：［60 分］グループワークを踏まえ、さらに疑問点などを整理する。 事後学修：［60 分］発表のための準備（発表方法、内容の整理、司会進行等）を行う。	グループワーク	全教員
6	**グループワークのまとめ：発表資料作成・準備** 事前学修：［60 分］発表のための準備を行う。 事後学修：［60 分］発表のための準備を行う。	グループワーク	全教員
7	**グループワークの発表およびディスカッション** 事前学修：［60 分］他のグループの発表資料を読み、疑問点などを整理する。 事後学修：［60 分］グループワーク、発表、講義を踏まえ、自分の考えをまとめ、サポートを作成する。	発表・ディスカッション	全教員
8	**グループワークの発表およびディスカッション・まとめ** 事前学修：［30 分］他のグループの発表資料を読み、疑問点などを整理する。 事後学修：［60 分］グループワーク、発表、講義を踏まえ、自分の考えをまとめ、サポートを作成する。	発表・ディスカッション	全教員

▌教科書
使用しない。

▌参考書、参考資料等
授業のなかで関連する文献を提示する。

▌フィードバックの仕方
発表内容のフィードバックは授業時に行う。

▌他の授業科目との関連
看護学概論Ⅱは、看護学概論Ⅰおよびこれまでのすべての看護系科目に関連します。

▌成績評価の仕方
事前レポート 15 %、グループワークの取り組み 35 %、最終レポート 50 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業日の昼休み　吉田研究室（448）。

看護関係法規

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」連携　「2」成長　「3」変化**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBIN400**

〇安部　陽子、高田　由紀子、古川　祐子

▌授業の目的

看護実践に必要な基礎知識として、保健師助産師看護師法ならびに関係する領域の法令について理念・目的・主要な行政施策を理解する。

▌到達目標

・法の種類と厚生行政のしくみについて説明できる。
・保健師助産師看護師法の構造、目的、看護職の定義、名称独占・業務独占、看護職の業務範囲、看護職の義務について説明できる。
・保健師助産師看護師法で規定されている免許の取得要件、籍の登録、免許の申請、籍の訂正、免許の書換交付・再交付、免許の取消・業務停止・再免許、登録の抹消、試験の受験資格と試験科目、看護職の養成所、保助看法の制定と改正の経緯について説明できる。
・保健師助産師看護師法で規定されている看護事故の法的責任について説明できる。
・看護師等の人材確保の促進に関する法律の目的、および同法で規定されている基本指針、看護師等の責務等、ナースセンターについて説明できる。
・医療法に規定されている目的、医療提供の理念、医療施設の種類、医療施設の開設・管理、医療計画、医療法人等について説明できる。
・さまざまな医療関係職種に関する法律とそれらに規定されている業務範囲について説明できる。
・薬事法の目的、および同法に規定されている医薬品等の定義、医薬品等に関する規制、薬害被害者の救済等に関する法律の概要、麻薬及び向精神薬取締法の目的および同法に規定されている麻薬・毒物等の取扱いについて説明できる。
・労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法、男女雇用機会均等法で規定されている内容について説明できる。

▌学習の進め方

・ 看護に携わる者にとって最も重要な法である保健師助産師看護師法を中心に，周辺の医事や衛生，社会保障，労働などの関係法令を理解するために，講義と演習を用いる。
・ 法令を単に知識として学ぶだけでなく，なぜこの様な内容になっているのか，看護との関係はどうか，他の科目で学んだこと，日常生活や実習での経験と関連づけた学習を目指す。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**法の概念と厚生行政のしくみ/保健師助産師看護師法 1:①保健師助産師看護師法の構造と付属法令，②目的，③保健師，助産師，看護師，准看護師の定義，④看護職の業務独占・名称独占，⑤看護職の義務** 事前学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題(講義の視聴・クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題(クイズの解答・講義の視聴等)を行い、事後課題を提出する。	演習	安部・古川・髙田
2	**保健師助産師看護師法 2:①免許の取得要件、②籍の登録、③免許の申請、④籍の訂正、⑤免許の書換交付・交付、⑥免許の取消・業務停止・再免許、⑦登録の抹消、⑧試験の受験資格と試験科目、⑨看護職の養成所、⑩保助看法の制定と改正の経緯** 事前学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題(講義の視聴・クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題(クイズの解答・講義の視聴等)を行い、事後課題を提出する。	演習	安部・古川・髙田
3	**看護事故の法的責任：①医療過誤とは、②看護事故の法的責任とは、③民事上の責任、④刑事上の責任、⑤行政上の責任／看護師等の人材確保の促進に関する法律①目的、基本指針、看護師等の責務等、ナースセンター** 事前学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題(講義の視聴・クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題(クイズの解答・講義の視聴等)を行い、事後課題を提出する。	演習	安部・古川・髙田
4	**医療法 1: 医療法 1:①目的、医療提供の理念、②医療施設の種類、③医療に関する情報の提供、④医療の安全の確保** 事前学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題(講義の視聴・クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題(クイズの解答・講義の視聴等)を行い、事後課題を提出する。	演習	安部・古川・髙田

No	内容	形式	教員
5	**医療法 2: ①医療施設の開設・管理、②医療計画、③医療法人** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題（講義の視聴・クイズの解答等）を行い、事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題（クイズの解答・講義の視聴等）を行い、事後課題を提出する。	演習	安部・古川・髙田
6	**医師法等医療関係職種に関する法律** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題（講義の視聴・クイズの解答等）を行い、事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題（クイズの解答・講義の視聴等）を行い、事後課題を提出する。	演習	安部・古川・髙田
7	**薬務法と看護:医薬品，医療機器等の品質，有効性及び安全性の確保等に関する法律，麻薬及び向精神薬取締法等** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題（講義の視聴・クイズの解答等）を行い、事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題（クイズの解答・講義の視聴等）を行い、事後課題を提出する。	演習	安部・古川・髙田
8	**労働法と看護／社会基盤整備と看護** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題（講義の視聴・クイズの解答等）を行い、事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護関係法規」の授業サイトにアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題（クイズの解答・講義の視聴等）を行い、事後課題を提出する。	演習	安部・古川・髙田

▌教科書
森山幹夫「系統看護学講座　専門基礎分野　健康支援と社会保障制度④　看護関係法令」　最新版　（医学書院）

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
課題の提出を確認し、Glexa 上でコメントの返却、解説資料や動画の提示などのフィードバックを行う。

▌他の授業科目との関連
「看護管理学Ⅰ」で触れた制度に関する内容は「看護関係法規」で学びを深める。「看護管理学Ⅰ」で触れたマネジメントの理論等は「看護管理学Ⅱ」で学びを深める。

▌成績評価の仕方
事前課題（16 %）、授業中の課題 (28 %)、事後課題 (16 %)、定期試験（40 %）により評価する。

▌オフィスアワー・研究室等
開講期間中の金曜日、12:20-12:50、415 研究室

▌受講上の注意事項
なし

看護の歴史

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」変化**　**「2」成長**　**「3」連携**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBIN350**

○川原　由佳里

▌授業の目的

近代以降の日本の看護の歴史を学ぶ。過去に看護がたどった道のりを学ぶことを通じて、今日の看護が拠って立つ基盤を理解し、広い視野から将来の看護を展望することを目的とする。

▌到達目標

・さまざまな時代や社会における人々の健康ニーズや看護のありように関心を持つことができる。
・より良い社会の実現にむけて、新たな看護を創り出そうとする姿勢を持つことができる。

▌学習の進め方

教科書の抄読に基づく発表と討論、解説により進める。教科書の内容に応じて適宜、資料を紹介し、歴史的事実の解釈と理解の深まりをめざす。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** **ナイチンゲールと看護** **・産業革命時代の人々の健康と衛生思想** **・ヴィクトリア朝時代の女性：カサンドラ** **・カイゼルスヴェルト学園での学び** **・クリミア戦争での体験** **・ナイチンゲールの宗教と科学：真理の探究** **・看護覚え書とセントトマス病院での看護婦養成** 事前学修：［15 分］シラバスを読んでくる 事後学修：［15 分］課題を確認する	講義ディスカッション 対面もしくは遠隔	川原
2	**明治期における看護教育の始まり** **・明治維新と医制** **・府県立病院と従来看護婦** **・明治期の女性の職業** **・看護婦養成の実際：日本赤十字社病院の場合** **・卒業看護婦による派出看護** 事前学修：［30 分］参考資料を読み、初期の看護婦養成所を一つ選び、調べてまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義ディスカッション 対面もしくは遠隔	川原
3	**日米における看護専門職の歴史** **・ナイチンゲールスクールと病院付属専門学校** **・第一次世界大戦と世界恐慌** **・資格試験、免許制度、職能団体、倫理綱領、高等教育化** **・研究** **・高度実践看護：CNS、NP、NA、CNM** 事前学修：［30 分］参考資料を読み、日本の看護資格制度について調べ、まとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義ディスカッション 対面もしくは遠隔	川原
4	**災害看護の歴史** **・明治期の災害対策と人々の災害のとらえ方** **・交通・通信・メディアの発達による災害対応の迅速化** **・外科学の発展と医療資源の増大** **・磐梯山噴火、トルコ軍艦沈没事故、濃尾震災、三陸海嘯における災害救護** **・災害時の健康問題と救護の実際に基づく経験知** 事前学修：［30 分］参考資料を読み、日本の災害を一つ選び、調べまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義ディスカッション 対面もしくは遠隔	川原

No	内容	形式	教員
5	**戦争と看護１：日本** **・ジュネーブ条約と赤十字** **・日清戦争と日露戦争における救護** **・陸軍における戦時衛生勤務** **・軍属としての日赤看護婦** **・ビルマにおける日本赤十字社救護班** 事前学修：［30 分］参考資料を読み、日赤救護看護婦の体験をまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義ディスカッション 対面もしくは遠隔	川原
6	**戦争と看護２：英国** **・ナイチンゲールと英国陸軍衛生制度** **・英国赤十字社 VAD** **・アレクサンドリア女王陸軍看護サービス** **・第２次世界大戦アジアでの英国看護婦の体験** **・香港シンガポール・ビルマでの看護** 事前学修：［30 分］参考資料を読み、イギリスの陸軍看護婦について興味関心をもった点についてあげる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義ディスカッション 対面もしくは遠隔	川原
7	**母子保健に見る助産師・保健師の歴史** **・大正期の乳幼児死亡率の国際比較** **・巡回助産婦・小児保健婦の活躍** **・戦後の母子対策と児童福祉法** **・母子保健センターと妊産婦への支援** **・地域保健法：サービスの一般財源化と保健師への期待** 事前学修：［30 分］参考資料を読み、乳児死亡率の変遷とそれに影響した要因を考える。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義ディスカッション 対面もしくは遠隔	川原
8	**看護の役割拡大と高度実践** **・米国における NP** **・コロラド大学看護学部ロレッタフォードの取り組み** **・法的地位、評価と報酬、裁量権、統一規定モデル** **・日本における NP への取り組み** **・特定行為と２つの NP** **・看護の役割拡大をどのように考えるか** 事前学修：［30 分］参考資料を読み、アメリカの NP について調べ、まとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義ディスカッション	川原

▌教科書
なし

▌参考書、参考資料等
亀山美智子、新版看護学全書別巻 7 看護史、メヂカルフレンド社 2004 年

▌フィードバックの仕方
レポートのフィードバックは、翌年度 4 月中に川原研究室にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

▌他の授業科目との関連
なし

▌成績評価の仕方
発表・討論 50 %　課題レポート 50 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30 － 13:00 川原研究室（447）

▌受講上の注意事項
なし

▌その他
HBIN350

看護技術論Ⅰ（援助的人間関係）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」関係**　**「2」実践**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFN100**

○堀川　英起、堀井　湖浪、佐々木　幾美、田代　祐子、内藤　なづな

▌授業の目的

看護の基本をなす対象との援助的人間関係について、心理・社会的な観点を踏まえて理解を深め、実際の体験を通して学ぶ。

▌到達目標

1. 援助を提供する道具としての自分の対人関係におけるくせや、陥りやすい感じ方、考え方について気づくことができる。
2. 他者とかかわるということを体験する。
3. 自分と他者の間で、何が起こっている（いた）のかを感じ、考えることができる。
4. 自分の体験を通して、援助とは何かについて考えることができる。

▌学習の進め方

「AL」講義と演習とを組み合わせて行います。演習の主な内容は、グループワークです。
学生を全 12 グループに分け、12 の教員がそれぞれのグループを担当します。グループの進め方としては、特にテーマを設定せず、その場で話したいことを自由に話し合い、その体験を通して自己理解を深め、他者とかかわることを学びます。これを全 4 回行います。
その他の演習として、リラクセーションやタッチング、ビデオ鑑賞に基づく話し合いなどを予定しています。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**援助的人間関係の基本的な考え方／大学で学ぶということ** 事前学修：［10 分］シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：［30 分］講義および演習の進め方について資料を読んで理解する。	講義	古城門・堀川
2	**感覚や感情を用いる** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる 事後学修：［30 分］自分が体験した印象的な場面を想起し、指定の用紙にまとめる。	講義	古城門・堀川
3	**異和感の対自化** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［1 時間分］異和感を覚えた場面について振り返って、指定の用紙にまとめる。	演習	古城門・堀川
4	**映画観賞とグループワーク①** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門･堀川･鷹野・堀井・内藤
5	**映画観賞とグループワーク②** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門･堀川･鷹野・堀井・内藤
6	**構成的グループワーク①** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門･堀川･鷹野・堀井・内藤
7	**構成的グループワーク②** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門･堀川･鷹野・堀井・内藤
8	**小グループに分かれてのグループワーク①** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
9	**小グループに分かれてのグループワーク②** 事前学修：［15 分］前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：［30 分］演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
10	**小グループに分かれてのグループワーク③** 事前学修：［15 分］前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：［30 分］演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
11	**小グループに分かれてのグループワーク④** 事前学修：［15 分］前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：［30 分］演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員

No	内容	形式	教員
12	**グループワークのまとめ** 事前学修：［15 分］グループワーク演習での体験を読み返して要点をノートにまとめる。 事後学修：［1 時間分］小グループワークでの体験について要点をノートにまとめる。	講義	古城門・堀川
13	**自己理解を深める－性格の様々なタイプ－** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容について資料を読み返す。	講義	古城門・堀川
14	**援助的人間関係の基礎－自己一致－** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容について資料を読み返す。	講義	古城門・堀川
15	**レポートを書く** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容について資料を読み返す。	演習	古城門・堀川

▌教科書
適宜、プリントを配布します。

▌参考書、参考資料等
武井麻子(2002).『グループ』という方法，医学書院.

▌フィードバックの仕方
レポートのフィードバックは、後期ガイダンス期間中に、コメントを付したレポートの返却を通じて行います。返却可能な時間や教室はポータルで連絡します。

▌他の授業科目との関連
看護援助論実習［レベルⅠ］を履修するにあたって、本授業科目の修了試験受験資格を有していることが履修要件となります。また、看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)の基礎となる科目です。

▌成績評価の仕方
1. 演習への取り組み 55 %　2. レポート 45 %：レポートは演習に参加しての感想文(15 %)と最終レポート(30 %)で評価。

▌オフィスアワー・研究室等
授業日の 12:30～12:50、412 研究室(古城門靖子)あるいは 426 研究室(堀川英起)で質問や相談に応じます。

▌受講上の注意事項
演習は、何よりも参加が基本です。欠席をしないようにして下さい。
講義形式および、内容は変更する可能性があります。

看護技術論Ⅰ（援助的人間関係）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」関係**　**「2」実践**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFN100**

○古城門　靖子、渋谷　真樹、鷹野　朋実、武井　麻子、池田　良輔子

▌授業の目的

看護の基本をなす対象との援助的人間関係について、心理・社会的な観点を踏まえて理解を深め、実際の体験を通して学ぶ。

▌到達目標

1. 援助を提供する道具としての自分の対人関係におけるくせや、陥りやすい感じ方、考え方について気づくことができる。
2. 他者とかかわるということを体験する。
3. 自分と他者の間で、何が起こっている（いた）のかを感じ、考えることができる。
4. 自分の体験を通して、援助とは何かについて考えることができる。

▌学習の進め方

「AL」講義と演習とを組み合わせて行います。演習の主な内容は、グループワークです。
学生を全 12 グループに分け、12 の教員がそれぞれのグループを担当します。グループの進め方としては、特にテーマを設定せず、その場で話したいことを自由に話し合い、その体験を通して自己理解を深め、他者とかかわることを学びます。これを全 4 回行います。
その他の演習として、リラクセーションやタッチング、ビデオ鑑賞に基づく話し合いなどを予定しています。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**援助的人間関係の基本的な考え方／大学で学ぶということ** 事前学修：［10 分］シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：［30 分］講義および演習の進め方について資料を読んで理解する。	講義	古城門・堀川
2	**感覚や感情を用いる** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる 事後学修：［30 分］自分が体験した印象的な場面を想起し、指定の用紙にまとめる。	講義	古城門・堀川
3	**異和感の対自化** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［1 時間分］異和感を覚えた場面について振り返って、指定の用紙にまとめる。	演習	古城門・堀川
4	**映画観賞とグループワーク①** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門･堀川･鷹野・堀井・内藤
5	**映画観賞とグループワーク②** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門･堀川･鷹野・堀井・内藤
6	**構成的グループワーク①** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門･堀川･鷹野・堀井・内藤
7	**構成的グループワーク②** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門･堀川･鷹野・堀井・内藤
8	**小グループに分かれてのグループワーク①** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
9	**小グループに分かれてのグループワーク②** 事前学修：［15 分］前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：［30 分］演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
10	**小グループに分かれてのグループワーク③** 事前学修：［15 分］前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：［30 分］演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
11	**小グループに分かれてのグループワーク④** 事前学修：［15 分］前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：［30 分］演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員

No	内容	形式	教員
12	**グループワークのまとめ** 事前学修：［15 分］グループワーク演習での体験を読み返して要点をノートにまとめる。 事後学修：［1 時間分］小グループワークでの体験について要点をノートにまとめる。	講義	古城門・堀川
13	**自己理解を深める－性格の様々なタイプ－** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容について資料を読み返す。	講義	古城門・堀川
14	**援助的人間関係の基礎－自己一致－** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容について資料を読み返す。	講義	古城門・堀川
15	**レポートを書く** 事前学修：［15 分］事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義内容について資料を読み返す。	演習	古城門・堀川

▌教科書
適宜、プリントを配布します。

▌参考書、参考資料等
武井麻子(2002).『グループ』という方法，医学書院.

▌フィードバックの仕方
レポートのフィードバックは、後期ガイダンス期間中に、コメントを付したレポートの返却を通じて行います。返却可能な時間や教室はポータルで連絡します。

▌他の授業科目との関連
看護援助論実習［レベルⅠ］を履修するにあたって、本授業科目の修了試験受験資格を有していることが履修要件となります。また、看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)の基礎となる科目です。

▌成績評価の仕方
1. 演習への取り組み 55 %　2. レポート 45 %：レポートは演習に参加しての感想文(15 %)と最終レポート(30 %)で評価。

▌オフィスアワー・研究室等
授業日の 12:30～12:50、412 研究室(古城門靖子)あるいは 426 研究室(堀川英起)で質問や相談に応じます。

▌受講上の注意事項
演習は、何よりも参加が基本です。欠席をしないようにして下さい。
講義形式および、内容は変更する可能性があります。

看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFN150**

○樋口　佳栄、細野　知子、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明

▌授業の目的

日常生活行動と心身のメカニズムとの関連を理解したうえで、対象者の健康状態を把握するためのフィジカルアセスメントの考え方、方法およびプロセスを学習する。

▌到達目標

この科目の目標は、人々を擁護し援助するための実践的な方法を学ぶこと、およびそのプロセス全体を通して関係を築きながら人々への理解を深める方法を学ぶことである。それを通して、自らの身体感覚を活用しながら人間の〝からだ〟の在りようを探求する手掛かりを得る。具体的には以下の通りである。

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して情報を得ながら相手をケアすること、自らの身体を通して学んだことを表現できる。

▌学習の進め方

AL

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義のなかで確認する。技術的な側面は DVD 視聴やデモンストレーションで示しながら進められるので、学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことは積極的に表現する。ショートディスカッションには主体的に参加し理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、全体ディスカッションで体験を共有する。
4. 振り返り：演習ノートを記入することで授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**フィジカルアセスメント概論と基本技術** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口
2	**面接技法と基本技術** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
3	**一般状態と生命の徴候 1　体温・呼吸・意識** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	遠山/樋口
4	**体温・呼吸・意識に関連したフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	**一般状態と生命の徴候 2　脈拍・血圧** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	遠山/樋口
6	**脈拍・血圧に関連したフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	**身体を動かすこと** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	細野
8	**身体を動かすことに関連したフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員

No	内容	形式	教員
9	**食べること・栄養を取り込むこと** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	鬼頭/樋口
10	**食べること・栄養を取り込むことに関連したフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	**排泄すること・セクシュアリティ** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	吉良/樋口
12	**排泄すること・セクシュアリティに関連したフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	**ひとりひとりの技術の習得について確認を行う** 事前学修：［30 分］技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う 事後学修：［60 分］技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う	技術チェック・振り返り	全員
14	**ひとりひとりの技術の習得について確認を行う** 事前学修：［30 分］技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う 事後学修：［60 分］技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う	技術チェック・振り返り	全員
15	**実践にむけてのまとめ** 事前学修：［30 分］全体振り返りシートに取り組む 事後学修：［60 分］技術を洗練させるために反復練習を行う	講義	樋口

▌教科書

1. 守田美奈子監修（2020）新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメデイカ.

▌参考書、参考資料等

1. フィジカルアセスメント完全ガイド第 3 版（藤崎郁．学習研究社．2017）
2. 「みえる人体－構造・機能・病態」Steve parker. 南江堂．2009

＊資料は適宜配布

▌フィードバックの仕方

①事前課題は授業中に活用します。
②事後課題は提出された課題用紙に必要時コメントし次回授業時に全体で共有します。
③技術チェックの結果は終了後の授業内に返却し個別指導につなぎます。
④筆記試験の結果はこの単元のシリーズであるフィジカルアセスメント②の初回授業で振り返りを行います。

▌他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習［レベルⅠ］の履修要件となっています。
2. 看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）、看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント②）で一連のフィジカルアセスメントを学びます。

▌成績評価の仕方

演習記録 10 %　　技術チェック 40 %　　筆記試験 50 %

▌オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の 12：10～12：40（場所：第 2 実習室）
技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設定します（技術の練習や質問など自由に行うことができます）。詳細な日程は 1 回目の授業時間内に提示します。
研究室：広尾キャンパス　樋口（411 研究室）細野（437 研究室）鬼頭（438 研究室）吉良（439 研究室）遠山（453 研究室）

▌受講上の注意事項

◆基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行います。
◆ 30 分以上の遅刻は欠席とみなします。

看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFN150**

○樋口　佳栄、細野　知子、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明

▌授業の目的

日常生活行動と心身のメカニズムとの関連を理解したうえで、対象者の健康状態を把握するためのフィジカルアセスメントの考え方、方法およびプロセスを学習する。

▌到達目標

この科目の目標は、人々を擁護し援助するための実践的な方法を学ぶこと、およびそのプロセス全体を通して関係を築きながら人々への理解を深める方法を学ぶことである。それを通して、自らの身体感覚を活用しながら人間の〝からだ〟の在りようを探求する手掛かりを得る。具体的には以下の通りである。

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して情報を得ながら相手をケアすること、自らの身体を通して学んだことを表現できる。

▌学習の進め方

AL

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義のなかで確認する。技術的な側面は DVD 視聴やデモンストレーションで示しながら進められるので、学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことは積極的に表現する。ショートディスカッションには主体的に参加し理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、全体ディスカッションで体験を共有する。
4. 振り返り：演習ノートを記入することで授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**フィジカルアセスメント概論と基本技術** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口
2	**面接技法と基本技術** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
3	**一般状態と生命の徴候 1　体温・呼吸・意識** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	遠山/樋口
4	**体温・呼吸・意識に関連したフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	**一般状態と生命の徴候 2　脈拍・血圧** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	遠山/樋口
6	**脈拍・血圧に関連したフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	**身体を動かすこと** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	細野
8	**身体を動かすことに関連したフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員

No	内容	形式	教員
9	**食べること・栄養を取り込むこと** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	鬼頭/樋口
10	**食べること・栄養を取り込むことに関連したフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	**排泄すること・セクシュアリティ** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	吉良/樋口
12	**排泄すること・セクシュアリティに関連したフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	**ひとりひとりの技術の習得について確認を行う** 事前学修：［30 分］技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う 事後学修：［60 分］技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う	技術チェック・振り返り	全員
14	**ひとりひとりの技術の習得について確認を行う** 事前学修：［30 分］技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う 事後学修：［60 分］技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う	技術チェック・振り返り	全員
15	**実践にむけてのまとめ** 事前学修：［30 分］全体振り返りシートに取り組む 事後学修：［60 分］技術を洗練させるために反復練習を行う	講義	樋口

▌教科書

1. 守田美奈子監修（2020）新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメデイカ.

▌参考書、参考資料等

1. フィジカルアセスメント完全ガイド第 3 版（藤崎郁．学習研究社．2017）
2. 「みえる人体－構造・機能・病態」Steve parker. 南江堂．2009

＊資料は適宜配布

▌フィードバックの仕方

①事前課題は授業中に活用します。
②事後課題は提出された課題用紙に必要時コメントし次回授業時に全体で共有します。
③技術チェックの結果は終了後の授業内に返却し個別指導につなぎます。
④筆記試験の結果はこの単元のシリーズであるフィジカルアセスメント②の初回授業で振り返りを行います。

▌他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習［レベルⅠ］の履修要件となっています。
2. 看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）、看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント②）で一連のフィジカルアセスメントを学びます。

▌成績評価の仕方

演習記録 10 %　　技術チェック 40 %　　筆記試験 50 %

▌オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の 12：10～12：40（場所：第 2 実習室）
技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設定します（技術の練習や質問など自由に行うことができます）。詳細な日程は 1 回目の授業時間内に提示します。
研究室：広尾キャンパス　樋口（411 研究室）細野（437 研究室）鬼頭（438 研究室）吉良（439 研究室）遠山（453 研究室）

▌受講上の注意事項

◆基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行います。
◆ 30 分以上の遅刻は欠席とみなします。

看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント②）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFN200**

○樋口　佳栄、細野　知子、吉良　理恵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明

▌授業の目的

看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）で学んだことも踏まえつつ、対象者の生を支える看護実践に必要な身体診察技法の知識と技術について、系統的に学び、それらを統合して実践する力を養う。

▌到達目標

この科目の目標は、人々を擁護し援助するための実践的な方法を学ぶこと、およびそのプロセス全体を通して関係を築きながら人々への理解を深める方法を学ぶことである。それを通して、自らの身体感覚を活用しながら人間の〝からだ〟の在りようを探求する手掛かりを得る。具体的には以下の通りである。

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して情報を得ながら相手をケアすること、自らの身体を通して学んだことを表現できる。
5. 学んだ知識・技術を活用し実践に即した態度で総合的にフィジカルアセスメントを行うことができる。

▌学習の進め方

AL

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義のなかで確認する。技術的な側面は DVD 視聴やデモンストレーションで示しながら進められるので、学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことは積極的に表現する。ショートディスカッションには主体的に参加し理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、全体ディスカッションで体験を共有する。
4. 振り返り：演習ノートを記入することで授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。
5. 総合演習では、グループメンバーでケースについてのフィジカルアセスメントを行ない、プロセスも含めてプレゼンテーションする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**フィジカルアセスメント①振り返り** **フィジカルイグザムの復習** 事前学修：［30 分］事前に掲示板などで提示した課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義・演習	樋口・全員
2	**フィジカルアセスメント①振り返り** **フィジカルイグザムの復習** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	講義・演習	樋口・全員
3	**見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる・話す** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	遠山/樋口
4	**見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる・話すことに関するフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	**身体を守る・加齢による変化** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口
6	**身体を守ることに関するフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	**生命を維持する①　呼吸器系** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［60 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	鬼頭/樋口

No	内容	形式	教員
8	**呼吸器系のフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
9	**生命を維持する②　循環器系** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	吉良/樋口
10	**循環器系のフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	**生命の危機** 事前学修：［45 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［45 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	吉田里奈/樋口
12	**生命の危機におけるフィジカルイグザム** 事前学修：［45 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［45 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	**総合演習　グループワークによる事例検討** 事前学修：［45 分］プレゼンテーションの準備に取り組む 事後学修：［45 分］プレゼンテーションの準備に取り組む	演習	全員
14	**総合演習　事例検討発表** 事前学修：［45 分］プレゼンテーションの準備に取り組む 事後学修：［45 分］発表後のリフレクションシートの記入	演習	全員
15	**まとめ** 事前学修：［30 分］全体振り返りシートに取り組む 事後学修：［60 分］最終レポート課題に取り組む	講義	樋口

▌教科書

1. 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント　アドバンス（監修：守田美奈子．インターメデイカ．2020）

▌参考書、参考資料等

1. フィジカルアセスメント完全ガイド第 3 版（藤崎郁．学習研究社．2017）
2. 「みえる人体－構造・機能・病態」Steve parker. 南江堂．2009

＊資料は適宜配布

▌フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用します
2. 事後課題は提出された課題用紙に必要時コメントを記載し次回授業時に全体で共有します
3. 最終課題レポートにはコメントを記載し機会をつくり返却します

▌他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習［レベルⅡ］の履修要件になっています。
2. 看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）、看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント②）で一連のフィジカルアセスメントを学びます。

▌成績評価の仕方

演習記録 10 %　総合演習 40 %　筆記試験 50 %

▌オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の 12：10〜12：40（第 2 実習室）

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設けます（技術の練習や質問など自由に行うことができます）。詳細な日程は 1 回目の授業時間内に提示します。

研究室：広尾キャンパス　樋口（411 研究室）、吉良（439 研究室）、鬼頭・吉田里奈（438 研究室）、遠山（453 研究室）

▌受講上の注意事項

◆基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行います

◆ 30 分以上の遅刻は欠席とみなします

看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント②）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFN200**

○樋口　佳栄、細野　知子、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明

▌授業の目的

看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）で学んだことも踏まえつつ、対象者の生を支える看護実践に必要な身体診察技法の知識と技術について、系統的に学び、それらを統合して実践する力を養う。

▌到達目標

この科目の目標は、人々を擁護し援助するための実践的な方法を学ぶこと、およびそのプロセス全体を通して関係を築きながら人々への理解を深める方法を学ぶことである。それを通して、自らの身体感覚を活用しながら人間の〝からだ〟の在りようを探求する手掛かりを得る。具体的には以下の通りである。

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して情報を得ながら相手をケアすること、自らの身体を通して学んだことを表現できる。
5. 学んだ知識・技術を活用し実践に即した態度で総合的にフィジカルアセスメントを行うことができる。

▌学習の進め方

AL

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義のなかで確認する。技術的な側面は DVD 視聴やデモンストレーションで示しながら進められるので、学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことは積極的に表現する。ショートディスカッションには主体的に参加し理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、全体ディスカッションで体験を共有する。
4. 振り返り：演習ノートを記入することで授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。
5. 総合演習では、グループメンバーでケースについてのフィジカルアセスメントを行ない、プロセスも含めてプレゼンテーションする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**フィジカルアセスメント①振り返り** **フィジカルイグザムの復習** 事前学修：［30 分］事前に掲示板などで提示した課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義・演習	樋口・全員
2	**フィジカルアセスメント①振り返り** **フィジカルイグザムの復習** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	講義・演習	樋口・全員
3	**見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる・話す** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	遠山/樋口
4	**見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる・話すことに関するフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	**身体を守る・加齢による変化** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口
6	**身体を守ることに関するフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	**生命を維持する①　呼吸器系** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［60 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	鬼頭/樋口

No	内容	形式	教員
8	**呼吸器系のフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
9	**生命を維持する②　循環器系** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	吉良/樋口
10	**循環器系のフィジカルイグザム** 事前学修：［30 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	**生命の危機** 事前学修：［45 分］「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：［45 分］「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	吉田里奈/樋口
12	**生命の危機におけるフィジカルイグザム** 事前学修：［45 分］該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：［45 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	**総合演習　グループワークによる事例検討** 事前学修：［45 分］プレゼンテーションの準備に取り組む 事後学修：［45 分］プレゼンテーションの準備に取り組む	演習	全員
14	**総合演習　事例検討発表** 事前学修：［45 分］プレゼンテーションの準備に取り組む 事後学修：［45 分］発表後のリフレクションシートの記入	演習	全員
15	**まとめ** 事前学修：［30 分］全体振り返りシートに取り組む 事後学修：［60 分］最終レポート課題に取り組む	講義	樋口

▌教科書

1. 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント　アドバンス（監修：守田美奈子．インターメデイカ．2020）

▌参考書、参考資料等

1. フィジカルアセスメント完全ガイド第 3 版（藤崎郁．学習研究社．2017）
2. 「みえる人体－構造・機能・病態」Steve parker. 南江堂．2009

＊資料は適宜配布

▌フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用します
2. 事後課題は提出された課題用紙に必要時コメントを記載し次回授業時に全体で共有します
3. 最終課題レポートにはコメントを記載し機会をつくり返却します

▌他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習［レベルⅡ］の履修要件になっています。
2. 看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）、看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント②）で一連のフィジカルアセスメントを学びます。

▌成績評価の仕方

演習記録 10 %　総合演習 40 %　筆記試験 50 %

▌オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の 12：10〜12：40（第 2 実習室）

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設けます（技術の練習や質問など自由に行うことができます）。詳細な日程は 1 回目の授業時間内に提示します。

研究室：広尾キャンパス　樋口（411 研究室）、吉良（439 研究室）、鬼頭・吉田里奈（438 研究室）、遠山（453 研究室）

▌受講上の注意事項

◆基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行います

◆ 30 分以上の遅刻は欠席とみなします

看護技術論Ⅲ（基礎看護技術①）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFN101**

○樋口　佳栄、細野　知子、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明

▌授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

▌到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

▌学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：講義にて、看護技術を実践するために必要な知識を確認する。技術的な側面は教員によるデモンストレーションや動画視聴で示す。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについては、ショートディスカッションを何度か行うことで理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：演習ノートを記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。知識の定着を図るため、授業後グレクサで提示されるクイズ（振り返りチャレンジ）に取り組む。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**看護技術概論** 事前学修：［30 分］1 週間前に提示された「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義	樋口
2	**感染予防に関する援助技術①** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義	遠山/樋口
3	**感染予防に関する援助技術①＜技術演習：手洗い、ガウンテクニック＞** 事前学修：［30 分］該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
4	**環境調整に関する援助技術** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	樋口
5	**環境調整に関する援助技術＜技術演習：環境整備、ベッドメイキング、シーツ交換＞** 事前学修：［30 分］該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
6	**休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術①** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	遠山/樋口
7	**休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術①＜技術演習：体位変換＞** 事前学修：［30 分］該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
8	**活動・運動に関する援助技術②** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	鬼頭/樋口
9	**活動・運動に関する援助技術②＜技術演習：車椅子・ストレッチャーへの移乗と移送＞** 事前学修：［30 分］該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員

No	内容	形式	教員
10	**食事・口腔ケアに関する援助技術** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	吉田里奈/樋口
11	**食事・口腔ケアに関する援助技術＜技術演習：食事介助・口腔ケア＞** 事前学修：［30 分］該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
12	**排泄に関する援助技術①** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	吉良/樋口
13	**排泄に関する援助技術①＜技術演習：一般的な排泄の援助＞** 事前学修：［30 分］該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
14	**前期技術総合演習** 事前学修：［30 分］知識の振り返りクイズに取り組む（Glexa） 事後学修：［30 分］知識の振り返りクイズに取り組む（Glexa）	講義および演習	樋口・全員
15	**前期技術総合演習** 事前学修：［30 分］事前課題（総合振り返りシート）に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	樋口・全員

▌教科書

1. 写真でわかる基礎看護技術アドバンス　吉田みつ子・本庄恵子監修．インターメデイカ．最新版．
2. ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術　第 6 版．志自岐康子他編．メディカ出版．最新版

▌参考書、参考資料等

1. 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術．川嶋みどり監修．医学書院．2007

＊資料は適宜配布

▌フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用する。
2. 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
3. 演習記録に記載された内容について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
4. 実技試験のフィードバックは、試験終了時に採点者が行う。
5. 筆記試験のフィードバックは、関連する後期科目看護技術論Ⅲ（基礎看護技術②）の第 1 回目の授業にて、問題用紙の返却と解説を通じて行う。実技試験の採点表も同日に返却する。

▌他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習［レベルⅠ］の履修要件になっている。
2. 看護技術論Ⅲ（基礎看護技術①）、看護技術論Ⅲ（基礎看護技術②）、看護技術論Ⅲ（基礎看護技術③）で一連の基礎看護技術を学ぶ。

▌成績評価の仕方

演習記録 10 %　　技術チェック 40 %　　筆記試験 50 %

▌オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の 12：10～12：40（第 2 実習室）

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設ける（技術の練習や質問など自由に行うことができる）。詳細な日程は 1 回目の授業時間内に提示する。

研究室：樋口（411）、吉良（439）、鬼頭・吉田里奈（438）、遠山（453）

▌受講上の注意事項

基本的にすべて実習ユニフォームと実習靴で行う。

看護技術論Ⅲ（基礎看護技術①）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFN101**

○樋口　佳栄、細野　知子、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明

▌授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

▌到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

▌学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：講義にて、看護技術を実践するために必要な知識を確認する。技術的な側面は教員によるデモンストレーションや動画視聴で示す。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについては、ショートディスカッションを何度か行うことで理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：演習ノートを記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。知識の定着を図るため、授業後グレクサで提示されるクイズ（振り返りチャレンジ）に取り組む。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**看護技術概論** 事前学修：［30 分］1 週間前に提示された「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義	樋口
2	**感染予防に関する援助技術①** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義	遠山/樋口
3	**感染予防に関する援助技術①＜技術演習：手洗い、ガウンテクニック＞** 事前学修：［30 分］該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
4	**環境調整に関する援助技術** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	樋口
5	**環境調整に関する援助技術＜技術演習：環境整備、ベッドメイキング、シーツ交換＞** 事前学修：［30 分］該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
6	**休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術①** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	遠山/樋口
7	**休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術①＜技術演習：体位変換＞** 事前学修：［30 分］該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
8	**活動・運動に関する援助技術②** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	鬼頭/樋口
9	**活動・運動に関する援助技術②＜技術演習：車椅子・ストレッチャーへの移乗と移送＞** 事前学修：［30 分］該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員

No	内容	形式	教員
10	**食事・口腔ケアに関する援助技術** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	吉田里奈/樋口
11	**食事・口腔ケアに関する援助技術＜技術演習：食事介助・口腔ケア＞** 事前学修：［30 分］該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
12	**排泄に関する援助技術①** 事前学修：［30 分］「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：［30 分］「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	吉良/樋口
13	**排泄に関する援助技術①＜技術演習：一般的な排泄の援助＞** 事前学修：［30 分］該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	全員
14	**前期技術総合演習** 事前学修：［30 分］知識の振り返りクイズに取り組む(Glexa) 事後学修：［30 分］知識の振り返りクイズに取り組む(Glexa)	講義および演習	樋口・全員
15	**前期技術総合演習** 事前学修：［30 分］事前課題(総合振り返りシート)に取り組む 事後学修：［60 分］①演習記録に取り組む　②技術の反復練習を行う	演習	樋口・全員

▌教科書

1. 写真でわかる基礎看護技術アドバンス　吉田みつ子・本庄恵子監修．インターメデイカ．最新版．
2. ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術　第 6 版．志自岐康子他編．メディカ出版．最新版

▌参考書、参考資料等

1. 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術．川嶋みどり監修．医学書院．2007

＊資料は適宜配布

▌フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用する。
2. 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
3. 演習記録に記載された内容について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
4. 実技試験のフィードバックは、試験終了時に採点者が行う。
5. 筆記試験のフィードバックは、関連する後期科目看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)の第 1 回目の授業にて、問題用紙の返却と解説を通じて行う。実技試験の採点表も同日に返却する。

▌他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習［レベルⅠ］の履修要件になっている。
2. 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)で一連の基礎看護技術を学ぶ。

▌成績評価の仕方

演習記録 10 %　　技術チェック 40 %　　筆記試験 50 %

▌オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の 12：10～12：40 (第 2 実習室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設ける(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。詳細な日程は 1 回目の授業時間内に提示する。

研究室：樋口(411)、吉良(439)、鬼頭・吉田里奈(438)、遠山(453)

▌受講上の注意事項

基本的にすべて実習ユニフォームと実習靴で行う。

看護技術論Ⅲ（基礎看護技術②）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFN151**

○細野　知子、樋口　佳栄、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、吉田　みつ子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明

▌授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

▌到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

▌学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心に振り返りを行う。
2. 講義：看護技術を実践するために必要な知識を学ぶ。講義では、状況設定やデモンストレーションなどにより、看護技術の実施に必要なアセスメントの視点を育成する。
3. 演習：グループ内でのロールプレイを通じて看護技術を実践する。グループ内のディスカッションを交え、実践の体験及び思考過程を共有する。
4. 振り返り：演習記録の記入により、授業内で体験的に学んだことを言語化して整理する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**清潔の援助　概論** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	講義	細野
2	**清潔の援助＜寝衣交換＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録に取り組む	講義および演習	吉田里奈／細野
3	**清潔の援助＜寝衣交換＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［60 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	演習	全員
4	**清潔の援助＜全身清拭＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録に取り組む	講義および演習	吉良
5	**清潔の援助＜全身清拭＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［60 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	演習	全員
6	**清潔の援助＜部分浴（洗髪・手足浴・爪切り）＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録に取り組む	講義および演習	鬼頭
7	**清潔の援助＜部分浴（洗髪・手足浴・爪切り）＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［60 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	演習	全員
8	**清潔の援助＜陰部洗浄＞** **その他の援助＜罨法＞＜ヒヤリハット＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録に取り組む	講義および演習	鬼頭 樋口
9	**清潔の援助＜陰部洗浄＞** **その他の援助＜罨法＞＜ヒヤリハット＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［60 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	演習	全員

No	内容	形式	教員
10	**感染予防に関する援助＜滅菌・消毒・無菌操作＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録に取り組む	講義および演習	遠山
11	**感染予防に関する援助＜滅菌・消毒・無菌操作＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［60 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	演習	全員
12	**排泄に関する援助＜導尿＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録に取り組む	講義および演習	吉良
13	**排泄に関する援助＜導尿＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［60 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	演習	全員
14	**技術総合演習** 事前学修：［30 分］事前課題とグループワークの準備に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録に取り組む	講義および演習	細野
15	**技術総合演習** 事前学修：［30 分］グループワークの準備をする 事後学修：［60 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	演習	全員

▌教科書

1. 写真でわかる基礎看護技術アドバンス　吉田みつ子・本庄恵子監修．インターメデイカ．2020
2. ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術　第 6 版．志自岐康子他編．メディカ出版．2017

▌参考書、参考資料等

1. 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術．川嶋みどり監修．医学書院．2007

＊資料は適宜配布

▌フィードバックの仕方

1. 事前課題は、授業中にその内容を取り上げ、活用することによってフィードバックする。
2. 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
3. 演習記録に記載された内容について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
4. 実技試験のフィードバックは、試験終了時に採点者から行う。実技試験の採点表は別途返却する。
5. 筆記試験のフィードバックは、問題用紙の返却と解説を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

1. 本科目は看護援助論実習［レベルⅠ］の履修要件である。
2. 看護技術論Ⅲ（基礎看護技術①）、看護技術論Ⅲ（基礎看護技術②）、看護技術論Ⅲ（基礎看護技術③）で一連の基礎看護技術を学ぶ。

▌成績評価の仕方

演習記録 10 %　実技試験 30 %　筆記試験 60 %、合計 100 %で評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の 12：10～12：40（第 2 実習室あるいは担当教員の研究室）

＊研究室：細野（437）・樋口（411）・吉良（439）・鬼頭／吉田里奈（438）・遠山（453）

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設ける（技術の練習や質問など自由に行うことができる）。日程は別途提示する。

▌受講上の注意事項

基本的にすべて実習ユニフォーム・ナースシューズで行う。

看護技術論Ⅲ（基礎看護技術②）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFN151**

○細野　知子、樋口　佳栄、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、吉田　みつ子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明

▌授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

▌到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

▌学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心に振り返りを行う。
2. 講義：看護技術を実践するために必要な知識を学ぶ。講義では、状況設定やデモンストレーションなどにより、看護技術の実施に必要なアセスメントの視点を育成する。
3. 演習：グループ内でのロールプレイを通じて看護技術を実践する。グループ内のディスカッションを交え、実践の体験及び思考過程を共有する。
4. 振り返り：演習記録の記入により、授業内で体験的に学んだことを言語化して整理する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**清潔の援助　概論** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	講義	細野
2	**清潔の援助＜寝衣交換＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録に取り組む	講義および演習	吉田里奈／細野
3	**清潔の援助＜寝衣交換＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［60 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	演習	全員
4	**清潔の援助＜全身清拭＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録に取り組む	講義および演習	吉良
5	**清潔の援助＜全身清拭＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［60 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	演習	全員
6	**清潔の援助＜部分浴（洗髪・手足浴・爪切り）＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録に取り組む	講義および演習	鬼頭
7	**清潔の援助＜部分浴（洗髪・手足浴・爪切り）＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［60 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	演習	全員
8	**清潔の援助＜陰部洗浄＞** **その他の援助＜罨法＞＜ヒヤリハット＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録に取り組む	講義および演習	鬼頭 樋口
9	**清潔の援助＜陰部洗浄＞** **その他の援助＜罨法＞＜ヒヤリハット＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［60 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	演習	全員

No	内容	形式	教員
10	**感染予防に関する援助＜滅菌・消毒・無菌操作＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録に取り組む	講義および演習	遠山
11	**感染予防に関する援助＜滅菌・消毒・無菌操作＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［60 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	演習	全員
12	**排泄に関する援助＜導尿＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録に取り組む	講義および演習	吉良
13	**排泄に関する援助＜導尿＞** 事前学修：［30 分］事前課題に取り組む 事後学修：［60 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	演習	全員
14	**技術総合演習** 事前学修：［30 分］事前課題とグループワークの準備に取り組む 事後学修：［30 分］演習記録に取り組む	講義および演習	細野
15	**技術総合演習** 事前学修：［30 分］グループワークの準備をする 事後学修：［60 分］演習記録ないし事後課題に取り組む	演習	全員

▌教科書

1. 写真でわかる基礎看護技術アドバンス　吉田みつ子・本庄恵子監修．インターメデイカ．2020
2. ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術　第 6 版．志自岐康子他編．メディカ出版．2017

▌参考書、参考資料等

1. 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術．川嶋みどり監修．医学書院．2007

＊資料は適宜配布

▌フィードバックの仕方

1. 事前課題は、授業中にその内容を取り上げ、活用することによってフィードバックする。
2. 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
3. 演習記録に記載された内容について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
4. 実技試験のフィードバックは、試験終了時に採点者から行う。実技試験の採点表は別途返却する。
5. 筆記試験のフィードバックは、問題用紙の返却と解説を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

1. 本科目は看護援助論実習［レベルⅠ］の履修要件である。
2. 看護技術論Ⅲ（基礎看護技術①）、看護技術論Ⅲ（基礎看護技術②）、看護技術論Ⅲ（基礎看護技術③）で一連の基礎看護技術を学ぶ。

▌成績評価の仕方

演習記録 10 %　実技試験 30 %　筆記試験 60 %、合計 100 %で評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の 12：10〜12：40（第 2 実習室あるいは担当教員の研究室）

＊研究室：細野（437）・樋口（411）・吉良（439）・鬼頭／吉田里奈（438）・遠山（453）

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設ける（技術の練習や質問など自由に行うことができる）。日程は別途提示する。

▌受講上の注意事項

基本的にすべて実習ユニフォーム・ナースシューズで行う。

看護技術論Ⅲ（基礎看護技術③）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFN201**

〇吉田　みつ子、細野　知子、樋口　佳栄、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明

▌授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

▌到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を学ぶことができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら、学ぶことができる。
3. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

▌学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義で伝えたあと、技術的な側面は DVD 視聴やデモンストレーションで示しながら進める。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについてはショートディスカッションを何度か行うことで理解を深められるようにする。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを設けて、交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：演習ノートを記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**薬物療法・検査時の援助技術** 事前学修：［60 分］事前に配布する課題について調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	吉田みつ子
2	**薬物療法・検査時の援助技術＜演習内容：注射器の取り扱い、バイアルの吸い上げ＞** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
3	**静脈血採血の援助技術** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	吉良
4	**静脈血採血の援助技術＜演習内容：静脈血採血＞** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
5	**注射法の援助技術** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	吉良・吉田みつ子
6	**注射法の援助技術＜演習内容：アンプルの吸い上げ・皮下注射・筋肉注射＞** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
7	**排泄に関する援助技術（グリセリン浣腸・摘便）** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	吉田里奈
8	**排泄に関する援助技術＜演習内容：グリセリン浣腸＞** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
9	**呼吸に関する援助技術（酸素療法・気道加湿法）** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義および演習	遠山

No	内容	形式	教員
10	**呼吸に関する援助技術＜演習内容：酸素ボンベの取り扱い、酸素吸入法、ネブライザー＞** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
11	**呼吸に関する援助技術（口腔内・鼻腔内吸引）** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	鬼頭
12	**呼吸に関する援助技術＜演習内容：口腔内・鼻腔内吸引＞** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
13	**実技チェック（静脈血採血法）** 事前学修：［60 分］実技試験のポイントを見直す。 事後学修：［60 分］実技試験結果を振り返り改善点を見出す。	その他	全員
14	**技術チェック（静脈血採血法）** 事前学修：［60 分］実技試験のポイントを見直す。 事後学修：［60 分］実技試験結果を振り返り改善点を見出す。	その他	全員
15	**まとめ（実技チェックのフィードバック、授業のまとめ）** 事前学修：［60 分］知識の確認問題に取り組む。 事後学修：［60 分］実技チェックのフィードバックおよび知識の確認問題の解答を見直す。	その他	吉田みつ子

▌教科書

①本庄恵子・吉田みつ子監修（2020）新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1. アドバンス　[Web 動画付] インターメデイカ.　②本庄恵子・吉田みつ子監修 (2020）新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2.　アドバンス　[Web 動画付]. インターメデイカ. ③吉田みつ子・本庄恵子監修（2020）. 新訂版 写真でわかる基礎看護技術. アドバンス　[Web 動画付] . インターメデイカ（③は 1 年次に購入済です）

▌参考書、参考資料等

川島みどり監修（2007）. 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術.

▌フィードバックの仕方

実技チェックの返却はまとめの講義で行います。筆記試験のフィードバックは、8 月下旬レベルⅡ実習前までに解説資料の配布、答案用紙の返却を行います。返却日時、方法はポータルにて連絡します。

▌他の授業科目との関連

1 年次「看護技術論Ⅲ①②」で学んだ技術のステップアップです。本科目はレベルⅡ実習履修の履修要件です。

▌成績評価の仕方

演習記録 20 %・実技チェック 20 %・筆記試験 60 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業日の 12:10～12:30　実習室あるいは研究室：吉田（448 室）

▌受講上の注意事項

講義・演習時は実習ユニホームを着用して行います。30 分以上の遅刻は欠席となります。

看護技術論Ⅲ（基礎看護技術③）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBFN201**

〇吉田　みつ子、細野　知子、樋口　佳栄、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明

▌授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

▌到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を学ぶことができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら、学ぶことができる。
3. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

▌学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義で伝えたあと、技術的な側面は DVD 視聴やデモンストレーションで示しながら進める。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについてはショートディスカッションを何度か行うことで理解を深められるようにする。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを設けて、交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：演習ノートを記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**薬物療法・検査時の援助技術** 事前学修：［60 分］事前に配布する課題について調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	吉田みつ子
2	**薬物療法・検査時の援助技術＜演習内容：注射器の取り扱い、バイアルの吸い上げ＞** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
3	**静脈血採血の援助技術** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	吉良
4	**静脈血採血の援助技術＜演習内容：静脈血採血＞** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
5	**注射法の援助技術** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	吉良・吉田みつ子
6	**注射法の援助技術＜演習内容：アンプルの吸い上げ・皮下注射・筋肉注射＞** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
7	**排泄に関する援助技術（グリセリン浣腸・摘便）** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	吉田里奈
8	**排泄に関する援助技術＜演習内容：グリセリン浣腸＞** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
9	**呼吸に関する援助技術（酸素療法・気道加湿法）** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義および演習	遠山

No	内容	形式	教員
10	**呼吸に関する援助技術＜演習内容：酸素ボンベの取り扱い、酸素吸入法、ネブライザー＞** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
11	**呼吸に関する援助技術（口腔内・鼻腔内吸引）** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	講義	鬼頭
12	**呼吸に関する援助技術＜演習内容：口腔内・鼻腔内吸引＞** 事前学修：［60 分］1 週間前に提示された事前課題を調べる。 事後学修：［60 分］演習記録を記入し、自己の学習課題や疑問点を明確化する。	演習	全員
13	**実技チェック（静脈血採血法）** 事前学修：［60 分］実技試験のポイントを見直す。 事後学修：［60 分］実技試験結果を振り返り改善点を見出す。	その他	全員
14	**技術チェック（静脈血採血法）** 事前学修：［60 分］実技試験のポイントを見直す。 事後学修：［60 分］実技試験結果を振り返り改善点を見出す。	その他	全員
15	**まとめ（実技チェックのフィードバック、授業のまとめ）** 事前学修：［60 分］知識の確認問題に取り組む。 事後学修：［60 分］実技チェックのフィードバックおよび知識の確認問題の解答を見直す。	その他	吉田みつ子

▌教科書

①本庄恵子・吉田みつ子監修（2020）新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1. アドバンス　[Web 動画付] インターメデイカ.　②本庄恵子・吉田みつ子監修 (2020）新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2.　アドバンス　[Web 動画付]. インターメデイカ. ③吉田みつ子・本庄恵子監修（2020）. 新訂版 写真でわかる基礎看護技術. アドバンス　[Web 動画付] . インターメデイカ（③は 1 年次に購入済です）

▌参考書、参考資料等

川島みどり監修（2007）. 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術.

▌フィードバックの仕方

実技チェックの返却はまとめの講義で行います。筆記試験のフィードバックは、8 月下旬レベルⅡ実習前までに解説資料の配布、答案用紙の返却を行います。返却日時、方法はポータルにて連絡します。

▌他の授業科目との関連

1 年次「看護技術論Ⅲ①②」で学んだ技術のステップアップです。本科目はレベルⅡ実習履修の履修要件です。

▌成績評価の仕方

演習記録 20 %・実技チェック 20 %・筆記試験 60 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業日の 12:10～12:30　実習室あるいは研究室：吉田（448 室）

▌受講上の注意事項

講義・演習時は実習ユニホームを着用して行います。30 分以上の遅刻は欠席となります。

看護援助論Ⅰ（看護過程）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求　「2」実践　「3」連携**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBCN200**

〇細野　知子、樋口　佳栄、西田　朋子、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、河田　照絵、冨澤　真紀、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明

▌授業の目的

健康上の問題や障害をもつ人々の生活上のニーズや諸課題を明らかにし、その解決に向けた的確な援助を提供するための問題解決のプロセスを学びます。これを通じて、看護が蓄えてきた知識や技術を包括的に再編成し、方向性を明示しながらケアを実践する力を養います。

▌到達目標

・看護の対象者の健康に関する情報を既習の知識に基づいて解釈、理解することができる。
・看護の対象者の健康について全体論的な視点から捉えることができる。
・看護の対象者の健康に資するための看護援助を計画することができる。

▌学習の進め方

AL
Ⅰ看護過程についての講義とⅡ事例を用いた演習（グループワーク：GW、発表・討論、解説）を通じて学びます。適宜小テストを行い、理解度を確認しながら授業を進めます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Ⅰ．看護過程の講義** **1. 看護過程とは何か（4 月 13 日 2 限）** **■実習の経験と看護理論から考える** **■事例１の紹介** 事前学修：［15 分］レベルⅠ実習のレポートを読んで課題に取り組む 事後学修：［15 分］事後課題に取り組む	講義	細野
2	**2. 医学情報の整理（4 月 20 日 2 限）** **■看護に必要な医学情報を読み解き整理する** 事前学修：［30 分］事例１を読み、事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］事後課題に取り組む	講義	細野
3	**3. アセスメントと関連図（4 月 20 日 3 限）** **■ 11 のアセスメント項目に基づき分析する** 事前学修：［30 分］配付資料を読み、課題に取り組む 事後学修：［30 分］事後課題に取り組む	講義	細野
4	**4. 全体像の描写（4 月 27 日 2 限）** **■全体像を記述し望まれる姿を考える** **5. ケア計画の立案** **■優先順位を決めケアプランを立案する** **■望まれる姿を実現するための具体的援助を考える** 事前学修：［30 分］配付資料を読み、事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］事後課題に取り組む	講義	細野
5	**6. ケアの実施と評価（4 月 27 日 3 限）** **■実施・評価・修正の循環** **■患者さんと共に実現していくための方法** 事前学修：［30 分］配付資料を読み、事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］事後課題に取り組む	講義	細野
6	**Ⅱ．事例２を用いた演習** **1-(1). 医学情報の整理（5 月 11 日 2 限）** **■小テスト 1 回目（看護過程とは何か・事例１の医学情報の整理）** **■講義：演習オリエンテーション、医学情報の整理** **■個人ワーク：図書館資料等を用いて事例２の医学情報を様式 2-2 をまとめる** 事前学修：［30 分］1,2 回講義資料を読み返し事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］事例２についての医学情報を様式 2-2 にまとめる準備をする（資料を集める）	小テスト・講義	細野

No	内容	形式	教員
7	**1-(2). 医学情報の整理(5 月 11 日 3 限)** **■グループワーク：個人ワークの結果を持ち寄り討議を経て様式 2-2 をまとめる。** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて、医学情報を様式 2-2 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経て、医学情報を様式 2-2 にまとめる	演習・GW	全員
8	**2-(1). アセスメント(安全防御、栄養・水分バランス、排泄)(5 月 18 日 2 限)** **■全体発表・討議：医学情報の整理** **■小テスト 2 回目(事例2アセスメント)** **■講義：アセスメント(安全防御、栄養・水分バランス、排泄)** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2の 2 のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経て医学情報を補足する	発表・討議・小テスト・講義	細野
9	**2-(2). アセスメント(安全防御、栄養・水分バランス、排泄)(5 月 18 日 3 限)** **■個人ワーク：アセスメント(安全防御・栄養水分バランス・排泄)** **■グループワーク：アセスメント(安全防御・栄養水分バランス・排泄)** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経てアセスメントを様式 2-3 にまとめる	演習・GW	全員
10	**3-(1). アセスメント(安楽、呼吸・循環、体位姿勢/活動休息、清潔)(5 月 25 日 2 限)** **■全体発表・討議：アセスメント(安全防御、栄養・水分バランス、排泄)** **■小テスト 2 回目(事例 2 アセスメント)** **■講義：アセスメント(安楽、呼吸・循環、体位姿勢/活動休息、清潔)** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経てアセスメントを補足する	発表・討議・小テスト・講義	細野
11	**3-(2). アセスメント(安楽、呼吸・循環、体位姿勢/活動休息、清潔)(5 月 25 日 3 限)** **■個人ワーク：アセスメント(安楽、呼吸・循環、体位姿勢/活動休息、清潔)** **■グループワーク：アセスメント(安楽、呼吸・循環、体位姿勢/活動休息、清潔)** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例 2-3 のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経てアセスメントを様式 2-3 にまとめる	演習・GW	全員
12	**4-(1). アセスメント(健康増進、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達) (6 月 1 日 2 限)** **■全体発表・討議：アセスメント(安楽、呼吸・循環、体位姿勢/活動休息、清潔)** **■小テスト 3 回目(事例2アセスメント)** **■講義：アセスメント(健康増進、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達)** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経てアセスメントを補足する	発表・討議・小テスト・講義	細野
13	**4-(2). アセスメント(健康増進、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達)(6 月 1 日 3 限)** **■個人ワーク：アセスメント(健康増進、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達)** **■グループワーク：アセスメント(健康増進、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達)** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経てアセスメントを様式 2-3 にまとめる	演習・GW	全員

No	内容	形式	教員
14	**5-(1). 関連図の作成、全体像の描写(6 月 8 日 2 限)** **■全体発表・討議：アセスメント(健康増進、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達)** **■小テスト 4 回目(事例２の関連図、全体像の記述)** **■講義：関連図、全体像の記述** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例２の関連図、全体像を様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経てアセスメントを補足する	発表・討議・小テスト・講義	細野
15	**5-(2). 関連図の作成、全体像の描写(6 月 8 日 3 限)** **■個人ワーク：関連図の作成、全体像の記述** **■グループワーク：関連図の作成、全体像の記述** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例２の関連図と全体像を様式 2-4 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経て関連図と全体像を様式 2-3 にまとめる	演習・GW	全員
16	**6-(1). 看護問題リスト・ケアプランの立案(6 月 15 日 2 限)** **■全体発表・討議：関連図、全体像の記述** **■小テスト 5 回目(事例２看護問題リスト・ケアプランの立案)** **■講義：看護問題リスト・ケアプランの立案** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例２の看護問題リストを作成し様式 2-5 にまとめる。リストの内２つの看護問題に対してケアプランを立案し様式 2-5 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経て関連図と全体像の記述について補足する	発表・討議・小テスト・講義	細野
17	**6-(2). 看護問題リスト・ケアプランの立案(6 月 15 日 3 限)** **■個人ワーク：看護問題リスト・ケアプランの立案** **■グループワーク：看護問題リスト・ケアプランの立案** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例２の看護問題リストを作成し様式 2-5 にまとめる。リストの内２つの看護問題に対してケアプランを立案し様式 2-5 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経て関連図と全体像の記述について補足する	演習・GW	全員
18	**7-(1) 全体のリフレクションとピアレビュー(6 月 22 日 2 限)** **■講義：ピアレビューについて** **■全体討議：難しく感じるところについて理解を深める** 事前学修：[30 分] これまでの演習ノートを読み理解を深めたいところを確認する 事後学修：[30 分] 全体討議を経て、演習ノートをまとめる	講義・全体討論	細野
19	**7-(2) 全体のリフレクションとピアレビュー(6 月 22 日 3 限)** **■個人ワーク：ケアプランをまとめる** **■グループワーク：看護問題リスト・ケアプランのピアレビューまとめ** 事前学修：[15 分] ケアプランに作成に取り組む 事後学修：[15 分] 看護問題リスト・ケアプランのピアレビューをまとめる	演習・GW	全員
20	**8-(1) 看護問題リスト・ケアプラン発表(6 月 29 日 2 限)** 事前学修：[15 分] 発表資料を準備する 事後学修：[15 分] 発表・討議を経て、演習記録を洗練させる	発表・討論	細野
21	**8-(2) 看護問題リスト・ケアプラン発表(6 月 29 日 3 限)** 事前学修：[30 分] 発表資料を準備する 事後学修：[15 分] 発表・討議を経て、演習記録を洗練させる	発表・討議	細野
22	**9. 筆記試験(7 月 6 日 2 限)** 事前学修：[30 分] 演習記録を完成させる。これまでの資料を見直す 事後学修：[15 分] 理解が不足していたところの資料を見直す	試験	細野
23	**10. 試験の振り返り(7 月 20 日 2 限)** 事前学修：[15 分] 事前課題に取り組む 事後学修：[15 分] 事後課題に取り組む	講義	細野
24	**Ⅲ. 看護記録(7 月 20 日 3 限)** 事前学修：[15 分] 事前課題に取り組む 事後学修：[15 分] 事後課題に取り組み、期限までに提出する	講義	細野

▌教科書
授業は配付資料を用いて行います。教科書は使用しません。

▌参考書、参考資料等
ありません。文献などはその都度ご紹介します。

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは、第 23 回の授業で行います。採点後の答案用紙の返却ならびに試験問題と採点基準の解説を通じて行います。

▌他の授業科目との関連
看護援助論Ⅰ（看護過程）は看護援助論実習［レベルⅡ実習］の履修用件科目となっています。

▌成績評価の仕方
事例を用いた演習記録 40 %、グループワークの取り組み 10%、筆記試験 50 %、合計 100 %で評価します。

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30〜13:00 に 細野研究室（437）ないし遠隔で細野が対応します。

看護援助論Ⅰ（看護過程）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求　「2」実践　「3」連携**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBCN200**

〇細野　知子、樋口　佳栄、西田　朋子、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、河田　照絵、冨澤　真紀、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明

▌授業の目的

健康上の問題や障害をもつ人々の生活上のニーズや諸課題を明らかにし、その解決に向けた的確な援助を提供するための問題解決のプロセスを学びます。これを通じて、看護が蓄えてきた知識や技術を包括的に再編成し、方向性を明示しながらケアを実践する力を養います。

▌到達目標

・看護の対象者の健康に関する情報を既習の知識に基づいて解釈、理解することができる。
・看護の対象者の健康について全体論的な視点から捉えることができる。
・看護の対象者の健康に資するための看護援助を計画することができる。

▌学習の進め方

AL
Ⅰ看護過程についての講義とⅡ事例を用いた演習（グループワーク：GW、発表・討論、解説）を通じて学びます。適宜小テストを行い、理解度を確認しながら授業を進めます。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**Ⅰ．看護過程の講義** **1. 看護過程とは何か（4 月 13 日 2 限）** **■実習の経験と看護理論から考える** **■事例１の紹介** 事前学修：［15 分］レベルⅠ実習のレポートを読んで課題に取り組む 事後学修：［15 分］事後課題に取り組む	講義	細野
2	**2. 医学情報の整理（4 月 20 日 2 限）** **■看護に必要な医学情報を読み解き整理する** 事前学修：［30 分］事例１を読み、事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］事後課題に取り組む	講義	細野
3	**3. アセスメントと関連図（4 月 20 日 3 限）** **■ 11 のアセスメント項目に基づき分析する** 事前学修：［30 分］配付資料を読み、課題に取り組む 事後学修：［30 分］事後課題に取り組む	講義	細野
4	**4. 全体像の描写（4 月 27 日 2 限）** **■全体像を記述し望まれる姿を考える** **5. ケア計画の立案** **■優先順位を決めケアプランを立案する** **■望まれる姿を実現するための具体的援助を考える** 事前学修：［30 分］配付資料を読み、事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］事後課題に取り組む	講義	細野
5	**6. ケアの実施と評価（4 月 27 日 3 限）** **■実施・評価・修正の循環** **■患者さんと共に実現していくための方法** 事前学修：［30 分］配付資料を読み、事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］事後課題に取り組む	講義	細野
6	**Ⅱ．事例２を用いた演習** **1-(1). 医学情報の整理（5 月 11 日 2 限）** **■小テスト 1 回目（看護過程とは何か・事例１の医学情報の整理）** **■講義：演習オリエンテーション、医学情報の整理** **■個人ワーク：図書館資料等を用いて事例２の医学情報を様式 2-2 をまとめる** 事前学修：［30 分］1,2 回講義資料を読み返し事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］事例２についての医学情報を様式 2-2 にまとめる準備をする（資料を集める）	小テスト・講義	細野

No	内容	形式	教員
7	**1-(2). 医学情報の整理(5 月 11 日 3 限)** **■グループワーク：個人ワークの結果を持ち寄り討議を経て様式 2-2 をまとめる。** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて、医学情報を様式 2-2 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経て、医学情報を様式 2-2 にまとめる	演習・GW	全員
8	**2-(1). アセスメント(安全防御、栄養・水分バランス、排泄)(5 月 18 日 2 限)** **■全体発表・討議：医学情報の整理** **■小テスト 2 回目(事例2アセスメント)** **■講義：アセスメント(安全防御、栄養・水分バランス、排泄)** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2の 2 のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経て医学情報を補足する	発表・討議・小テスト・講義	細野
9	**2-(2). アセスメント(安全防御、栄養・水分バランス、排泄)(5 月 18 日 3 限)** **■個人ワーク：アセスメント(安全防御・栄養水分バランス・排泄)** **■グループワーク：アセスメント(安全防御・栄養水分バランス・排泄)** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経てアセスメントを様式 2-3 にまとめる	演習・GW	全員
10	**3-(1). アセスメント(安楽、呼吸・循環、体位姿勢/活動休息、清潔)(5 月 25 日 2 限)** **■全体発表・討議：アセスメント(安全防御、栄養・水分バランス、排泄)** **■小テスト 2 回目(事例 2 アセスメント)** **■講義：アセスメント(安楽、呼吸・循環、体位姿勢/活動休息、清潔)** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経てアセスメントを補足する	発表・討議・小テスト・講義	細野
11	**3-(2). アセスメント(安楽、呼吸・循環、体位姿勢/活動休息、清潔)(5 月 25 日 3 限)** **■個人ワーク：アセスメント(安楽、呼吸・循環、体位姿勢/活動休息、清潔)** **■グループワーク：アセスメント(安楽、呼吸・循環、体位姿勢/活動休息、清潔)** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例 2-3 のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経てアセスメントを様式 2-3 にまとめる	演習・GW	全員
12	**4-(1). アセスメント(健康増進、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達) (6 月 1 日 2 限)** **■全体発表・討議：アセスメント(安楽、呼吸・循環、体位姿勢/活動休息、清潔)** **■小テスト 3 回目(事例2アセスメント)** **■講義：アセスメント(健康増進、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達)** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経てアセスメントを補足する	発表・討議・小テスト・講義	細野
13	**4-(2). アセスメント(健康増進、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達)(6 月 1 日 3 限)** **■個人ワーク：アセスメント(健康増進、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達)** **■グループワーク：アセスメント(健康増進、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達)** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例2のアセスメントを様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経てアセスメントを様式 2-3 にまとめる	演習・GW	全員

No	内容	形式	教員
14	**5-(1). 関連図の作成、全体像の描写(6 月 8 日 2 限)** **■全体発表・討議：アセスメント(健康増進、コミュニケーション、自己知覚/役割関係、成長/発達)** **■小テスト 4 回目(事例２の関連図、全体像の記述)** **■講義：関連図、全体像の記述** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例２の関連図、全体像を様式 2-3 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経てアセスメントを補足する	発表・討議・小テスト・講義	細野
15	**5-(2). 関連図の作成、全体像の描写(6 月 8 日 3 限)** **■個人ワーク：関連図の作成、全体像の記述** **■グループワーク：関連図の作成、全体像の記述** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例２の関連図と全体像を様式 2-4 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経て関連図と全体像を様式 2-3 にまとめる	演習・GW	全員
16	**6-(1). 看護問題リスト・ケアプランの立案(6 月 15 日 2 限)** **■全体発表・討議：関連図、全体像の記述** **■小テスト 5 回目(事例２看護問題リスト・ケアプランの立案)** **■講義：看護問題リスト・ケアプランの立案** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例２の看護問題リストを作成し様式 2-5 にまとめる。リストの内２つの看護問題に対してケアプランを立案し様式 2-5 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] 発表・討議を経て関連図と全体像の記述について補足する	発表・討議・小テスト・講義	細野
17	**6-(2). 看護問題リスト・ケアプランの立案(6 月 15 日 3 限)** **■個人ワーク：看護問題リスト・ケアプランの立案** **■グループワーク：看護問題リスト・ケアプランの立案** 事前学修：[30 分] グループワークに向けて講義資料を読み返し、事例２の看護問題リストを作成し様式 2-5 にまとめる。リストの内２つの看護問題に対してケアプランを立案し様式 2-5 にまとめ準備する(資料を集める) 事後学修：[30 分] グループワークを経て関連図と全体像の記述について補足する	演習・GW	全員
18	**7-(1) 全体のリフレクションとピアレビュー(6 月 22 日 2 限)** **■講義：ピアレビューについて** **■全体討議：難しく感じるところについて理解を深める** 事前学修：[30 分] これまでの演習ノートを読み理解を深めたいところを確認する 事後学修：[30 分] 全体討議を経て、演習ノートをまとめる	講義・全体討論	細野
19	**7-(2) 全体のリフレクションとピアレビュー(6 月 22 日 3 限)** **■個人ワーク：ケアプランをまとめる** **■グループワーク：看護問題リスト・ケアプランのピアレビューまとめ** 事前学修：[15 分] ケアプランに作成に取り組む 事後学修：[15 分] 看護問題リスト・ケアプランのピアレビューをまとめる	演習・GW	全員
20	**8-(1) 看護問題リスト・ケアプラン発表(6 月 29 日 2 限)** 事前学修：[15 分] 発表資料を準備する 事後学修：[15 分] 発表・討議を経て、演習記録を洗練させる	発表・討論	細野
21	**8-(2) 看護問題リスト・ケアプラン発表(6 月 29 日 3 限)** 事前学修：[30 分] 発表資料を準備する 事後学修：[15 分] 発表・討議を経て、演習記録を洗練させる	発表・討議	細野
22	**9. 筆記試験(7 月 6 日 2 限)** 事前学修：[30 分] 演習記録を完成させる。これまでの資料を見直す 事後学修：[15 分] 理解が不足していたところの資料を見直す	試験	細野
23	**10. 試験の振り返り(7 月 20 日 2 限)** 事前学修：[15 分] 事前課題に取り組む 事後学修：[15 分] 事後課題に取り組む	講義	細野
24	**Ⅲ. 看護記録(7 月 20 日 3 限)** 事前学修：[15 分] 事前課題に取り組む 事後学修：[15 分] 事後課題に取り組み、期限までに提出する	講義	細野

▌教科書
授業は配付資料を用いて行います。教科書は使用しません。

▌参考書、参考資料等
ありません。文献などはその都度ご紹介します。

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは、第 23 回の授業で行います。採点後の答案用紙の返却ならびに試験問題と採点基準の解説を通じて行います。

▌他の授業科目との関連
看護援助論Ⅰ（看護過程）は看護援助論実習［レベルⅡ実習］の履修用件科目となっています。

▌成績評価の仕方
事例を用いた演習記録 40 %、グループワークの取り組み 10%、筆記試験 50 %、合計 100 %で評価します。

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30〜13:00 に 細野研究室（437）ないし遠隔で細野が対応します。

看護援助論Ⅱ（生命の維持）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」擁護**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBCN201**

〇千葉　京子

▌授業の目的

呼吸機能障害および循環機能障害が生活に与える影響をアセスメントし、影響を低減あるいは解消するために必要な基本的な看護援助を学ぶ。

▌到達目標

1. 呼吸機能障害が生活に与える影響を低減あるいは解消するための知識を述べることができる。
2. 循環機能障害が生活に与える影響を低減あるいは解消するための知識を述べることができる。
3. 生命を維持するために必要な基本的な看護援助の方法を述べることができる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開：講義形式の授業に加え、グループワークを行うことがある。
2. 参考資料の提示：授業内容に応じた資料を作成し、配布する。
3. リアクションペーパーの内容を授業に反映する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**呼吸機能障害による症状とその看護** 事前学修：［30 分］教科書 224-242 頁を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
2	**呼吸機能障害よる検査と治療・処置を受ける患者の看護** 事前学修：［30 分］教科書 242-302 頁を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
3	**呼吸機能障害をもつ患者の看護（肺炎・肺血栓塞栓症・慢性閉塞性肺疾患）** 事前学修：［30 分］教科書 303-339 頁を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
4	**呼吸機能障害をもつ患者の看護（慢性閉塞性肺疾患患者の事例）** 事前学修：［30 分］教科書 321-336 頁を読んでノートにまとめる。 事後学修：［60 分］リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	GW・発表	千葉
5	**循環機能障害による症状とその看護** 事前学修：［30 分］教科書 234-254 頁を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
6	**循環機能障害による検査と治療・処置を受ける患者の看護** 事前学修：［30 分］教科書 254-271 頁を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
7	**循環機能障害をもつ患者の看護（虚血性心疾患・心不全）** 事前学修：［30 分］教科書 306-357 頁を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
8	**呼吸機能障害をもつ患者の看護および循環機能障害をもつ患者の看護** 事前学修：［60 分］7 回目までの学修内容を整理し、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］不明瞭な点や疑問点があれば、調べてノートにまとめる。	筆記試験・解説	千葉

▌教科書

系統看護学講座　成人看護学〔2〕呼吸器　医学書院最新版
系統看護学講座　成人看護学〔3〕循環器　医学書院最新版

▌参考書、参考資料等

毎回、作成した資料を配布する。

▌フィードバックの仕方

1．各回のリアクションペーパーのフィードバックは、次の授業回で説明を行う。
2．筆記試験のフィードバックは、筆記試験終了直後に解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

本授業は 2 年次の看護援助論実習［レベルⅡ］の履修要件となっている。
2 年次前期開講の「看護援助論Ⅰ」と関連する。

▌成績評価の仕方

1. リアクションペーパーの記述内容 21%　2. グループワークでの貢献度 5%　3. 小テスト 14%　4. 筆記試験　60%

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30、千葉（429 研究室）で質問を受ける。

看護援助論Ⅱ（生命の維持）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」擁護**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBCN201**

○千葉　京子

▌授業の目的

呼吸機能障害および循環機能障害が生活に与える影響をアセスメントし、影響を低減あるいは解消するために必要な基本的な看護援助を学ぶ。

▌到達目標

1. 呼吸機能障害が生活に与える影響を低減あるいは解消するための知識を述べることができる。
2. 循環機能障害が生活に与える影響を低減あるいは解消するための知識を述べることができる。
3. 生命を維持するために必要な基本的な看護援助の方法を述べることができる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開：講義形式の授業に加え、グループワークを行うことがある。
2. 参考資料の提示：授業内容に応じた資料を作成し、配布する。
3. リアクションペーパーの内容を授業に反映する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**呼吸機能障害による症状とその看護** 事前学修：［30 分］教科書 224-242 頁を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
2	**呼吸機能障害よる検査と治療・処置を受ける患者の看護** 事前学修：［30 分］教科書 242-302 頁を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
3	**呼吸機能障害をもつ患者の看護（肺炎・肺血栓塞栓症・慢性閉塞性肺疾患）** 事前学修：［30 分］教科書 303-339 頁を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
4	**呼吸機能障害をもつ患者の看護（慢性閉塞性肺疾患患者の事例）** 事前学修：［30 分］教科書 321-336 頁を読んでノートにまとめる。 事後学修：［60 分］リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	GW・発表	千葉
5	**循環機能障害による症状とその看護** 事前学修：［30 分］教科書 234-254 頁を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
6	**循環機能障害による検査と治療・処置を受ける患者の看護** 事前学修：［30 分］教科書 254-271 頁を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
7	**循環機能障害をもつ患者の看護（虚血性心疾患・心不全）** 事前学修：［30 分］教科書 306-357 頁を読んでノートにまとめる。 事後学修：［30 分］リアクションペーパーを作成し、Glexa に提出する。	講義	千葉
8	**呼吸機能障害をもつ患者の看護および循環機能障害をもつ患者の看護** 事前学修：［60 分］7 回目までの学修内容を整理し、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］不明瞭な点や疑問点があれば、調べてノートにまとめる。	筆記試験・解説	千葉

▌教科書

系統看護学講座　成人看護学〔2〕呼吸器　医学書院最新版
系統看護学講座　成人看護学〔3〕循環器　医学書院最新版

▌参考書、参考資料等

毎回、作成した資料を配布する。

▌フィードバックの仕方

1．各回のリアクションペーパーのフィードバックは、次の授業回で説明を行う。
2．筆記試験のフィードバックは、筆記試験終了直後に解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

本授業は 2 年次の看護援助論実習［レベルⅡ］の履修要件となっている。
2 年次前期開講の「看護援助論Ⅰ」と関連する。

▌成績評価の仕方

1. リアクションペーパーの記述内容 21%　2. グループワークでの貢献度 5%　3. 小テスト 14%　4. 筆記試験　60%

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30、千葉（429 研究室）で質問を受ける。

看護援助論Ⅲ（感染防御と清潔）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」擁護**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBCN100**

○清田　明美

▌授業の目的

人の感染防御・清潔の仕組みと働き及びそれらが脅かされる状況について理解し、感染防御と清潔が維持されるための援助を考える基礎的知識を養う。

▌到達目標

1. 様々な年齢や異なる状況において清潔とは何かを説明できる。
2. 清潔が脅かされるときの生活への影響を説明できる。
3. 感染症の特徴とその対応を説明できる。
4. 感染症が人々の生活や社会に与える影響について説明できる。
5. 感染防御の必要性及びその方法について説明できる。

▌学習の進め方

講義の中で行うディスカッションを通して学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
ディスカッションでは、多くの学生と意見を共有し考えの多様性についても学んでいく。
学習内容を復習した上で講義に臨む。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**清潔とは？** 事前学修：［20 分］高校の生物基礎の復習（生物の体内環境について）をし、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］[ディスカッション]	清田
2	**清潔である状態になるために** 事前学修：［30 分］講義で提示する課題学習を行う。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。Glexa でのクイズを解く。	［講義］[ディスカッション]	清田
3	**感染防御のしくみと感染** 事前学修：［30 分］高校の生物基礎（免疫について）の復習をし、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］	清田
4	**感染と感染症** 事前学修：［30 分］講義で提示する課題学習を行う。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。Glexa でのクイズを解く。	［講義］[ディスカッション]	清田
5	**感染症の予防** 事前学修：［30 分］看護学実習における感染予防対策 p1-9 を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］[ディスカッション]	清田
6	**感染症とその対応** 事前学修：［20 分］看護学実習における感染予防対策 p10-11 を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。Glexa でのクイズを解く。	［講義］[ディスカッション]	清田
7	**感染症のある人への看護** 事前学修：［30 分］講義で提示する課題学習を行う。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。Glexa でのクイズを解く。	［講義］[ディスカッション]	清田
8	**まとめ** 事前学修：［60 分］第 1 回から 7 回までの資料と教科書等を読み返し、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義全体を通して理解が不十分であった内容について明確にする。	［振り返り］[その他]	清田

▌教科書

特に指定しない。授業中に資料を配布する。

▌参考書、参考資料等

志自岐康子他編　ナーシング・グラフィカ基礎看護学③　基礎看護技術　第 6 版　2017　メディカ出版
看護学実習における感染予防対策　日本赤十字看護大学
その他、随時授業で資料を配布する。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後に解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

本科目は、1 年前期から開始される「人体の構造と機能Ⅱ・Ⅲ」「看護技術論Ⅲ（基礎看護技術②）」に関連し、また全学年を通しての実習に臨むための基礎知識となる。なお、1 年生後期に行われる看護援助論実習［レベルⅠ］の履修要件となっている。

▌成績評価の仕方

筆記試験：70%
講義内での課題、事前課題：30%
計　100%

▌オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：授業開講日翌週月曜日の 12:20～12:50　清田研究室 431 研究室あるいは Glexa 内で行う。

看護援助論Ⅲ（感染防御と清潔）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」擁護**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBCN100**

○清田　明美

▌授業の目的

人の感染防御・清潔の仕組みと働き及びそれらが脅かされる状況について理解し、感染防御と清潔が維持されるための援助を考える基礎的知識を養う。

▌到達目標

1. 様々な年齢や異なる状況において清潔とは何かを説明できる。
2. 清潔が脅かされるときの生活への影響を説明できる。
3. 感染症の特徴とその対応を説明できる。
4. 感染症が人々の生活や社会に与える影響について説明できる。
5. 感染防御の必要性及びその方法について説明できる。

▌学習の進め方

講義の中で行うディスカッションを通して学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
ディスカッションでは、多くの学生と意見を共有し考えの多様性についても学んでいく。
学習内容を復習した上で講義に臨む。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**清潔とは？** 事前学修：［20 分］高校の生物基礎の復習（生物の体内環境について）をし、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］[ディスカッション]	清田
2	**清潔である状態になるために** 事前学修：［30 分］講義で提示する課題学習を行う。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。Glexa でのクイズを解く。	［講義］[ディスカッション]	清田
3	**感染防御のしくみと感染** 事前学修：［30 分］高校の生物基礎（免疫について）の復習をし、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］	清田
4	**感染と感染症** 事前学修：［30 分］講義で提示する課題学習を行う。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。Glexa でのクイズを解く。	［講義］[ディスカッション]	清田
5	**感染症の予防** 事前学修：［30 分］看護学実習における感染予防対策 p1-9 を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］[ディスカッション]	清田
6	**感染症とその対応** 事前学修：［20 分］看護学実習における感染予防対策 p10-11 を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。Glexa でのクイズを解く。	［講義］[ディスカッション]	清田
7	**感染症のある人への看護** 事前学修：［30 分］講義で提示する課題学習を行う。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。Glexa でのクイズを解く。	［講義］[ディスカッション]	清田
8	**まとめ** 事前学修：［60 分］第 1 回から 7 回までの資料と教科書等を読み返し、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義全体を通して理解が不十分であった内容について明確にする。	［振り返り］[その他]	清田

▌教科書

特に指定しない。授業中に資料を配布する。

▌参考書、参考資料等

志自岐康子他編　ナーシング・グラフィカ基礎看護学③　基礎看護技術　第 6 版　2017　メディカ出版
看護学実習における感染予防対策　日本赤十字看護大学
その他、随時授業で資料を配布する。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後に解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

本科目は、1 年前期から開始される「人体の構造と機能Ⅱ・Ⅲ」「看護技術論Ⅲ（基礎看護技術②）」に関連し、また全学年を通しての実習に臨むための基礎知識となる。なお、1 年生後期に行われる看護援助論実習［レベルⅠ］の履修要件となっている。

▌成績評価の仕方

筆記試験：70%
講義内での課題、事前課題：30%
計　100%

▌オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：授業開講日翌週月曜日の 12:20～12:50　清田研究室 431 研究室あるいは Glexa 内で行う。

看護援助論Ⅳ（栄養と代謝/排泄）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBCN202**

〇清田　明美

▌授業の目的

人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能の性質、及びそれらが障害されたときの影響を理解し、看護援助の目標と方法を導き出すための看護援助の基礎知識を養う。

▌到達目標

1. 人間にとっての食と栄養の意味、生命・活動維持に必要な栄養について説明できる。
2. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の正常な諸機能の性質を説明できる。
3. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能が障害されたときの生活への影響を説明できる。
4. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能の障害により治療を受ける、あるいは受けたことへの生活への影響を説明できる。
5. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる看護援助の目標と方法を考案することができる。

▌学習の進め方

1. 講義の中での体験学習や課題について、グループディスカッションを行い、これらを通して学生同士で意見交換しながら課題の知識と理解を深める。また、意見を共有する中で、考えの多様性についても学ぶ。
2. 提示する講義内容に関連した資料を参考に、本授業に関連した関心あるテーマについて個々で更に学びを深める。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**栄養摂取・代謝機能と看護** 事前学修：［30 分］人体の構造と機能Ⅰ（栄養の消化と吸収）を復習し、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］[ディスカッション]	清田
2	**摂食調節機能の障害と看護** 事前学修：［30 分］講義で示した課題学習を行う。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］[ディスカッション]	清田
3	**嚥下機能の障害と看護** 事前学修：［20 分］講義で示した課題学習を行う。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］[ディスカッション]	清田
4	**消化・吸収機能の障害と看護、** 事前学修：［20 分］人体の構造と機能Ⅰ（栄養の消化と吸収）を復習し、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］[ディスカッション]	清田
5	**排便・排尿機能の障害と看護** **栄養代謝機能の障害と看護　グループ課題学習** 事前学修：［20 分］人体の構造と機能Ⅰ（内臓機能の調節）を復習し、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］[GW]	清田
6	**栄養代謝機能の障害と看護　グループワーク** 事前学修：［30 分］講義で示した課題学習を行う。 事後学修：［15 分］GWで不足であった課題を確認し調べる。	［GW］	清田
7	**栄養代謝機能の障害と看護:グループワーク内容の発表** 事前学修：［20 分］GW発表の資料準備を行う。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成する。	[発表][ディスカッション][GW]	清田
8	**まとめ** 事前学修：［60 分］第 1 回から 7 回までの資料を読み返し、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義全体を通して理解が不十分であった内容について復習する。	［振り返り］[その他]	清田

▌教科書

特に指定しない。授業中に資料を配布する。

▌参考書、参考資料等

前原澄子/野口美和子監修　図説　新臨床看護学全書　第 8 巻　栄養機能の障害と看護　同朋舎
前原澄子/野口美和子監修　図説　新臨床看護学全書　第 13 巻　身体運動機能の障害と看護/排尿機能の障害と看護　同朋舎
明石恵子編　ナーシンググラフィカ　健康の回復と看護②　栄養代謝機能障害　メディカ出版
その他、参考文献等は随時提示します。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後に解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

本科目は、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの理解に基づいた看護援助についての内容を扱う。また、2 年生前期に行われる看護援助論実習［レベルⅡ］の履修要件となっている。

▌成績評価の仕方

授業内での課題・事前課題：30 %、筆記試験：70 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講翌日の 12：20〜12：50　清田研究室 431 研究室あるいは Glexa 内で行う。

看護援助論Ⅳ（栄養と代謝/排泄）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBCN202**

〇清田　明美

▌授業の目的

人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能の性質、及びそれらが障害されたときの影響を理解し、看護援助の目標と方法を導き出すための看護援助の基礎知識を養う。

▌到達目標

1. 人間にとっての食と栄養の意味、生命・活動維持に必要な栄養について説明できる。
2. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の正常な諸機能の性質を説明できる。
3. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能が障害されたときの生活への影響を説明できる。
4. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能の障害により治療を受ける、あるいは受けたことへの生活への影響を説明できる。
5. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる看護援助の目標と方法を考案することができる。

▌学習の進め方

1. 講義の中での体験学習や課題について、グループディスカッションを行い、これらを通して学生同士で意見交換しながら課題の知識と理解を深める。また、意見を共有する中で、考えの多様性についても学ぶ。
2. 提示する講義内容に関連した資料を参考に、本授業に関連した関心あるテーマについて個々で更に学びを深める。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**栄養摂取・代謝機能と看護** 事前学修：［30 分］人体の構造と機能Ⅰ（栄養の消化と吸収）を復習し、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］[ディスカッション]	清田
2	**摂食調節機能の障害と看護** 事前学修：［30 分］講義で示した課題学習を行う。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］[ディスカッション]	清田
3	**嚥下機能の障害と看護** 事前学修：［20 分］講義で示した課題学習を行う。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］[ディスカッション]	清田
4	**消化・吸収機能の障害と看護、** 事前学修：［20 分］人体の構造と機能Ⅰ（栄養の消化と吸収）を復習し、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］[ディスカッション]	清田
5	**排便・排尿機能の障害と看護** **栄養代謝機能の障害と看護　グループ課題学習** 事前学修：［20 分］人体の構造と機能Ⅰ（内臓機能の調節）を復習し、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義で配布する資料を読み返す。	［講義］[GW]	清田
6	**栄養代謝機能の障害と看護　グループワーク** 事前学修：［30 分］講義で示した課題学習を行う。 事後学修：［15 分］GWで不足であった課題を確認し調べる。	［GW］	清田
7	**栄養代謝機能の障害と看護:グループワーク内容の発表** 事前学修：［20 分］GW発表の資料準備を行う。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成する。	[発表][ディスカッション][GW]	清田
8	**まとめ** 事前学修：［60 分］第 1 回から 7 回までの資料を読み返し、ノートにまとめる。 事後学修：［15 分］講義全体を通して理解が不十分であった内容について復習する。	［振り返り］[その他]	清田

▌教科書

特に指定しない。授業中に資料を配布する。

▌参考書、参考資料等

前原澄子/野口美和子監修　図説　新臨床看護学全書　第 8 巻　栄養機能の障害と看護　同朋舎
前原澄子/野口美和子監修　図説　新臨床看護学全書　第 13 巻　身体運動機能の障害と看護/排尿機能の障害と看護　同朋舎
明石恵子編　ナーシンググラフィカ　健康の回復と看護②　栄養代謝機能障害　メディカ出版
その他、参考文献等は随時提示します。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後に解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

本科目は、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの理解に基づいた看護援助についての内容を扱う。また、2 年生前期に行われる看護援助論実習［レベルⅡ］の履修要件となっている。

▌成績評価の仕方

授業内での課題・事前課題：30 %、筆記試験：70 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講翌日の 12：20〜12：50　清田研究室 431 研究室あるいは Glexa 内で行う。

看護援助論Ⅴ（活動と休息）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」擁護**　**「3」実践**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBCN203**

○山内　朋子

▌授業の目的

人が生活の中で動くために必要な身体の仕組みと働きを理解し、運動機能が維持されるとき、脅かされる状況を多角的にアセスメントし、援助を考えるための基礎知識を養う。

▌到達目標

1. さまざまな年齢や異なる状況において活動と休息とは何かを説明できる。
2. 生活行動に関連する身体の成り立ちを説明できる。
3. 生活行動に関連する身体の仕組みや働きを説明できる。
4. 活動と休息が脅かされるときの生活への影響と援助について説明できる。

▌学習の進め方

AL

1. 授業の形式
・時間割で指定された授業形式（対面ないし遠隔）で行う。
・大学の方針に則って、授業形式が変更になる場合がある。
2. 授業の展開
・講義や演習を行うとともに、討論を通して学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
・遠隔授業で利用するオンライン会議システム（Zoom または Teams）は、授業開始前に授業概要等で示す。
・出欠席の確認方法は、授業概要にて示す。
・対面授業における授業資料の配布は、授業時に紙面にて行う。遠隔授業にける授業資料の配布は、大学の方針（紙媒体の配布や Glexa での配信など）に則る。
3. 参考資料の提示
・授業内容に沿った事柄をより深く学修できるよう、授業概要または講義資料に参考資料等を記す。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション／「動くこと（活動）」と「休むこと（休息）」とは** 事前学修：［15 分］1 日の自分の活動と休息のスケジュールについてノートにまとめる 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
2	**生活の中で動くということの意味** 事前学修：［15 分］前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	演習・発表	山内
3	**活動の成り立ち** 事前学修：［15 分］前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
4	**活動と休息に必要な身体のしくみ・感覚器系** 事前学修：［15 分］前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
5	**日常生活における配慮や工夫** 事前学修：［15 分］前回提示された課題に取り組む 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	講義・GW・発表・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
6	**活動を脅かす疾患／生活への理解と援助の視点①** 事前学修：［15 分］前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内

No	内容	形式	教員
7	**活動を脅かす疾患／生活への理解と援助の視点②** 事前学修：［15 分］前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
8	**その人にとっての動くことの意味** 事前学修：［15 分］前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	講義・GW・発表・ディスカッション（討論）・ディベート	山内

▌教科書

1.1 年次後期の「看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）」および「看護技術論Ⅲ（基礎看護技術①）」で用いた以下の教科書を使用する。

守田美奈子監修（2020）．新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメデイカ.

志自岐康子他編（2020）．ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術　第 6 版．メディカ出版.

2.2 年次前期の「発達看護学概論」で用いる教科書を使用する。

筒井真優美監修（2018）．小児看護学 第 8 版．日総研出版.

▌参考書、参考資料等

1. 西須孝（2018）．これが私の小児整形外科診療－適切な診療への道しるべ－．南山堂.
2. 石川ふみよ・遠藤健司・山本恵子編（2018）．運動機能障害　第 3 版．メディカ出版.

その他、随時授業で資料を提示する。

▌フィードバックの仕方

1. 試験のフィードバックは、試験終了後に試験問題と解答の解説を通じて行う。
2. 課題（成果物）のフィードバックは、授業期間内にコメントを付した成果物の返却を通じて行う。

上記 1.2. の日程は、授業内で知らせる。

▌他の授業科目との関連

この科目は看護援助論実習［レベルⅡ］の履修要件となっている。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み 25%、課題（成果物）15%、定期試験 60%

▌オフィスアワー・研究室等

授業終了後 30 分、山内（443 研究室）

▌受講上の注意事項

・既習知識の確認をしながら進めるため、予習・復習をして主体的に参加すること。

・インターネット環境などの問題で、オンラインでの受講ができない、オンラインでの課題提出ができない、受講時に音声や画像にトラブルがあるといった不都合がある場合は、受講前や課題提出締切前に担当教員へ相談すること。受講時にトラブルがあった場合には、受講後当日のうちに担当教員へ相談すること。

看護援助論Ⅴ（活動と休息）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」擁護**　**「3」実践**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBCN203**

○山内　朋子

▌授業の目的

人が生活の中で動くために必要な身体の仕組みと働きを理解し、運動機能が維持されるとき、脅かされる状況を多角的にアセスメントし、援助を考えるための基礎知識を養う。

▌到達目標

1. さまざまな年齢や異なる状況において活動と休息とは何かを説明できる。
2. 生活行動に関連する身体の成り立ちを説明できる。
3. 生活行動に関連する身体の仕組みや働きを説明できる。
4. 活動と休息が脅かされるときの生活への影響と援助について説明できる。

▌学習の進め方

AL

1. 授業の形式
・時間割で指定された授業形式（対面ないし遠隔）で行う。
・大学の方針に則って、授業形式が変更になる場合がある。
2. 授業の展開
・講義や演習を行うとともに、討論を通して学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
・遠隔授業で利用するオンライン会議システム（Zoom または Teams）は、授業開始前に授業概要等で示す。
・出欠席の確認方法は、授業概要にて示す。
・対面授業における授業資料の配布は、授業時に紙面にて行う。遠隔授業にける授業資料の配布は、大学の方針（紙媒体の配布や Glexa での配信など）に則る。
3. 参考資料の提示
・授業内容に沿った事柄をより深く学修できるよう、授業概要または講義資料に参考資料等を記す。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション／「動くこと（活動）」と「休むこと（休息）」とは** 事前学修：［15 分］1 日の自分の活動と休息のスケジュールについてノートにまとめる 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
2	**生活の中で動くということの意味** 事前学修：［15 分］前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	演習・発表	山内
3	**活動の成り立ち** 事前学修：［15 分］前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
4	**活動と休息に必要な身体のしくみ・感覚器系** 事前学修：［15 分］前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
5	**日常生活における配慮や工夫** 事前学修：［15 分］前回提示された課題に取り組む 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	講義・GW・発表・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
6	**活動を脅かす疾患／生活への理解と援助の視点①** 事前学修：［15 分］前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内

No	内容	形式	教員
7	**活動を脅かす疾患／生活への理解と援助の視点②** 事前学修：［15 分］前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
8	**その人にとっての動くことの意味** 事前学修：［15 分］前回の学修内容について復習してノートにまとめる 事後学修：［15 分］リフレクションシートに取り組む	講義・GW・発表・ディスカッション（討論）・ディベート	山内

▌教科書

1.1 年次後期の「看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）」および「看護技術論Ⅲ（基礎看護技術①）」で用いた以下の教科書を使用する。

守田美奈子監修（2020）．新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメデイカ.

志自岐康子他編（2020）．ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術　第 6 版．メディカ出版.

2.2 年次前期の「発達看護学概論」で用いる教科書を使用する。

筒井真優美監修（2018）．小児看護学 第 8 版．日総研出版.

▌参考書、参考資料等

1. 西須孝（2018）．これが私の小児整形外科診療－適切な診療への道しるべ－．南山堂.

2. 石川ふみよ・遠藤健司・山本恵子編（2018）．運動機能障害　第 3 版．メディカ出版.

その他、随時授業で資料を提示する。

▌フィードバックの仕方

1. 試験のフィードバックは、試験終了後に試験問題と解答の解説を通じて行う。

2. 課題（成果物）のフィードバックは、授業期間内にコメントを付した成果物の返却を通じて行う。

上記 1.2. の日程は、授業内で知らせる。

▌他の授業科目との関連

この科目は看護援助論実習［レベルⅡ］の履修要件となっている。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み 25%、課題（成果物）15%、定期試験 60%

▌オフィスアワー・研究室等

授業終了後 30 分、山内（443 研究室）

▌受講上の注意事項

・既習知識の確認をしながら進めるため、予習・復習をして主体的に参加すること。

・インターネット環境などの問題で、オンラインでの受講ができない、オンラインでの課題提出ができない、受講時に音声や画像にトラブルがあるといった不都合がある場合は、受講前や課題提出締切前に担当教員へ相談すること。受講時にトラブルがあった場合には、受講後当日のうちに担当教員へ相談すること。

看護援助論Ⅵ（セクシュアリティ）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」関係**　**「2」擁護**　**「3」変化**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBCN300**

〇新田　真弓

▌授業の目的

人間のセクシュアリティについて、身体的・心理的・発達的・社会文化的な観点から理解を深め、性的存在としての人間への援助について学ぶ。また、疾患や障害をもつ人々のセクシュアリティとその援助について学ぶ。自己の概念についても学び、人それぞれのセクシュアリティを尊重した看護のあり方を省察する。

▌到達目標

1. セクシュアリティに関連する基本的な概念について説明できる。
2. セクシュアリティについて、身体的・心理的・発達的・社会文化的な観点から説明できる。
3. 人間の生活行動に影響するセクシュアリティの多様な機能と役割について説明できる。
4. 性と生殖に関連する健康問題と看護について説明できる。
5. 自己の概念を理解し、セクシュアリティを尊重した看護について自分の考えを述べることができる。

▌学習の進め方

1. 基本的には講義形式である。
2. 手記や新聞記事、当事者の語りなど活用して、学生がディスカッションする時間を設ける。学生が意見交換をしながら具体的に理解を深められるようにする。
3. 配布資料には教授内容に関連する参考資料を記し、興味関心のある分野について学生個々で学びを深められるようにする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ヒューマンセクシュアリティの概念** 事前学修：［30 分］発達看護学Ⅰ①の第３回講義資料（女性のライフサイクル各期の健康問題と援助）について復習し、性の発達についてノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業資料を読み、ヒューマンセクシュアリティの概念について整理する。	講義	新田
2	**性的健康の概念、男女の性差と連続性** 事前学修：［30 分］授業内で配布する予習資料をに沿って、男女の性差についてノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業資料を読み、男女の性差やジェンダーについて考えをまとめる。	講義	新田
3	**性の多様性、性同一性障害という体験** 事前学修：［30 分］授業内で配布する予習資料をに沿って、性の多様性についてノートにまとめる。 事後学修：［30 分］性同一性障害について復習し、医療場面での課題をまとめる。	講義および演習	新田
4	**性の発達と性教育** 事前学修：［30 分］高校生までに受けた性教育について体験した内容と感想、感じた課題などをノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を参考に、これからの性教育の在り方について自分の考えをまとめる。	講義および演習	新田
5	**疾患を持つ人のセクシュアリティ** 事前学修：［30 分］授業内で配布する予習資料をに沿って、疾患（とくにがん）の方の妊娠について、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］疾患を持つ人の将来の妊娠・出産への支援の在り方について、自分の考えをまとめる。	講義	新田
6	**妊孕性とセクシュアリティ** 事前学修：［30 分］発達看護学Ⅰ①第 7 回講義資料を参考に、妊娠の成立と機序についてノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業資料を振り返り、不妊症や不育症の看護について考えをまとめる。	講義	新田
7	**性暴力と援助** 事前学修：［30 分］授業内で配布する予習資料に沿って、性暴力により生じる諸問題をノートにまとめる。 事後学修：［30 分］性暴力によって生じる健康問題と看護の在り方について考えをまとめる。	講義	新田

No	内容	形式	教員
8	**性と生殖に関わる健康問題と看護** 事前学修：［30 分］授業内で配布する予習資料に沿って、性と生殖に関わる健康問題についてノートにまとめる。 事後学修：［30 分］性と生殖に関わる健康問題を持つ人への看護について考えをまとめる。	講義	新田

▌教科書
授業資料を配布する。

▌参考書、参考資料等
各回の授業で紹介する。

▌フィードバックの仕方
定期試験のフィードバックは、終了直後に試験場にて回答・解説集を配布し、自己採点、振り返りをできるようにします。定期試験に対する疑問は、定期試験期間中に担当教員まで連絡してください。

▌他の授業科目との関連
生殖に関わる学習内容を扱うため、2 年次後期の発達看護学Ⅰ（リプロダクティブヘルスと看護①）と関連の強い科目となります。発達看護学Ⅰ実習（レベルⅢ）の履修要件となっています。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み（小テスト・リアクションシート含む）40%、定期試験　60%

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30〜13:00。新田研究室（451 研究室）。

▌受講上の注意事項
遅刻３回で１回の欠席とみなします。

看護援助論Ⅵ（セクシュアリティ）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」関係**　**「2」擁護**　**「3」変化**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBCN300**

○新田　真弓

▌授業の目的

人間のセクシュアリティについて、身体的・心理的・発達的・社会文化的な観点から理解を深め、性的存在としての人間への援助について学ぶ。また、疾患や障害をもつ人々のセクシュアリティとその援助について学ぶ。自己の概念についても学び、人それぞれのセクシュアリティを尊重した看護のあり方を省察する。

▌到達目標

1. セクシュアリティに関連する基本的な概念について説明できる。
2. セクシュアリティについて、身体的・心理的・発達的・社会文化的な観点から説明できる。
3. 人間の生活行動に影響するセクシュアリティの多様な機能と役割について説明できる。
4. 性と生殖に関連する健康問題と看護について説明できる。
5. 自己の概念を理解し、セクシュアリティを尊重した看護について自分の考えを述べることができる。

▌学習の進め方

1. 基本的には講義形式である。
2. 手記や新聞記事、当事者の語りなど活用して、学生がディスカッションする時間を設ける。学生が意見交換をしながら具体的に理解を深められるようにする。
3. 配布資料には教授内容に関連する参考資料を記し、興味関心のある分野について学生個々で学びを深められるようにする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ヒューマンセクシュアリティの概念** 事前学修：［30 分］発達看護学Ⅰ①の第３回講義資料（女性のライフサイクル各期の健康問題と援助）について復習し、性の発達についてノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業資料を読み、ヒューマンセクシュアリティの概念について整理する。	講義	新田
2	**性的健康の概念、男女の性差と連続性** 事前学修：［30 分］授業内で配布する予習資料をに沿って、男女の性差についてノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業資料を読み、男女の性差やジェンダーについて考えをまとめる。	講義	新田
3	**性の多様性、性同一性障害という体験** 事前学修：［30 分］授業内で配布する予習資料をに沿って、性の多様性についてノートにまとめる。 事後学修：［30 分］性同一性障害について復習し、医療場面での課題をまとめる。	講義および演習	新田
4	**性の発達と性教育** 事前学修：［30 分］高校生までに受けた性教育について体験した内容と感想、感じた課題などをノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を参考に、これからの性教育の在り方について自分の考えをまとめる。	講義および演習	新田
5	**疾患を持つ人のセクシュアリティ** 事前学修：［30 分］授業内で配布する予習資料をに沿って、疾患（とくにがん）の方の妊娠について、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］疾患を持つ人の将来の妊娠・出産への支援の在り方について、自分の考えをまとめる。	講義	新田
6	**妊孕性とセクシュアリティ** 事前学修：［30 分］発達看護学Ⅰ①第 7 回講義資料を参考に、妊娠の成立と機序についてノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業資料を振り返り、不妊症や不育症の看護について考えをまとめる。	講義	新田
7	**性暴力と援助** 事前学修：［30 分］授業内で配布する予習資料に沿って、性暴力により生じる諸問題をノートにまとめる。 事後学修：［30 分］性暴力によって生じる健康問題と看護の在り方について考えをまとめる。	講義	新田

No	内容	形式	教員
8	**性と生殖に関わる健康問題と看護** 事前学修：［30 分］授業内で配布する予習資料に沿って、性と生殖に関わる健康問題についてノートにまとめる。 事後学修：［30 分］性と生殖に関わる健康問題を持つ人への看護について考えをまとめる。	講義	新田

▌教科書
授業資料を配布する。

▌参考書、参考資料等
各回の授業で紹介する。

▌フィードバックの仕方
定期試験のフィードバックは、終了直後に試験場にて回答・解説集を配布し、自己採点、振り返りをできるようにします。定期試験に対する疑問は、定期試験期間中に担当教員まで連絡してください。

▌他の授業科目との関連
生殖に関わる学習内容を扱うため、2 年次後期の発達看護学Ⅰ（リプロダクティブヘルスと看護①）と関連の強い科目となります。発達看護学Ⅰ実習（レベルⅢ）の履修要件となっています。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み（小テスト・リアクションシート含む）40%、定期試験　60%

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30〜13:00。新田研究室（451 研究室）。

▌受講上の注意事項
遅刻３回で１回の欠席とみなします。

看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBCN204**

○堀川　英起

▌授業の目的

人間を、心理社会的、生理的な側面から総合的に理解できる。

▌到達目標

1. 人間の行動と感情との関連について理解し、説明することができる。
2. ストレスや危機への対処の仕方について、説明できる。

▌学習の進め方

1. 講義とディスカッション：基本的に講義を中心とするが、事例や実習での体験などを踏まえて学生がディスカッションする時間を、随時授業時間内に設ける。
2. ワークシート：授業終了時、ワークシートを配布し授業内容の振り返りを行う。なお、ワークシートに「感想・意見」の欄を設けているので、次回以降の授業において必要時補足説明を行い、理解を深められるようにする。
3. 授業レポート：授業の中で提示した課題についてレポートにまとめてもらう。レポートを作成する授業については、初回の授業で提示する。
4. 参考資料の提示：興味関心がある領域について学生個々の学びを深められるように、授業内容に関連する参考資料を授業で紹介する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ストレスとその対処** 事前学修：［20 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	古城門
2	**こころと身体** 事前学修：［20 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	古城門
3	**ライフサイクルとこころの危機** 事前学修：［20 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
4	**意識** 事前学修：［30 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
5	**不安と防衛機制** 事前学修：［30 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
6	**人間の怒りと攻撃心** 事前学修：［30 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
7	**家族とダイナミクス** 事前学修：［15 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	古城門
8	**まとめ** 事前学修：［15 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［30 分］これまでの授業内容を振り返り、提示した課題について、レポートとしてまとめる。	講義とディスカッション	古城門・堀川

▌教科書

武井麻子ほか著：系統看護学講座精神看護学［1］精神看護の基礎，精神看護学［2］精神看護の展開(医学書院)，最新版.

▌参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介します。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後から 1 ヶ月以内に 412 研究室（古城門靖子）あるいは 426 研究室（堀川英起）にて、採点後の答案用紙ならびに試験問題の返却と解説資料の配布を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

▌他の授業科目との関連

看護援助論実習［レベルⅡ］を履修するにあたって、本授業科目の修了試験受験資格を有していることが履修要件となります。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み 15%・レポート:5 %、筆記試験:80 %に基づいて評価します。

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：30〜12：50、412 研究室（古城門靖子）あるいは 426 研究室（堀川英起）で質問や相談に応じます。

▌受講上の注意事項

講義形式および、内容は変更する可能性があります。

看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBCN204**

〇古城門　靖子

▌授業の目的

人間を、心理社会的、生理的な側面から総合的に理解できる。

▌到達目標

1. 人間の行動と感情との関連について理解し、説明することができる。
2. ストレスや危機への対処の仕方について、説明できる。

▌学習の進め方

1. 講義とディスカッション：基本的に講義を中心とするが、事例や実習での体験などを踏まえて学生がディスカッションする時間を、随時授業時間内に設ける。
2. ワークシート：授業終了時、ワークシートを配布し授業内容の振り返りを行う。なお、ワークシートに「感想・意見」の欄を設けているので、次回以降の授業において必要時補足説明を行い、理解を深められるようにする。
3. 授業レポート：授業の中で提示した課題についてレポートにまとめてもらう。レポートを作成する授業については、初回の授業で提示する。
4. 参考資料の提示：興味関心がある領域について学生個々の学びを深められるように、授業内容に関連する参考資料を授業で紹介する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ストレスとその対処** 事前学修：［20 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	古城門
2	**こころと身体** 事前学修：［20 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	古城門
3	**ライフサイクルとこころの危機** 事前学修：［20 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
4	**意識** 事前学修：［30 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
5	**不安と防衛機制** 事前学修：［30 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
6	**人間の怒りと攻撃心** 事前学修：［30 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	堀川
7	**家族とダイナミクス** 事前学修：［15 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出し、ノートにまとめる	講義とディスカッション	古城門
8	**まとめ** 事前学修：［15 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［30 分］これまでの授業内容を振り返り、提示した課題について、レポートとしてまとめる。	講義とディスカッション	古城門・堀川

▌教科書

武井麻子ほか著：系統看護学講座精神看護学［1］精神看護の基礎，精神看護学［2］精神看護の展開(医学書院)，最新版.

▌参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介します。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後から 1 ヶ月以内に 412 研究室（古城門靖子）あるいは 426 研究室（堀川英起）にて、採点後の答案用紙ならびに試験問題の返却と解説資料の配布を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

▌他の授業科目との関連

看護援助論実習［レベルⅡ］を履修するにあたって、本授業科目の修了試験受験資格を有していることが履修要件となります。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み 15%・レポート:5 %、筆記試験:80 %に基づいて評価します。

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：30〜12：50、412 研究室（古城門靖子）あるいは 426 研究室（堀川英起）で質問や相談に応じます。

▌受講上の注意事項

講義形式および、内容は変更する可能性があります。

精神保健看護学Ⅰ（理論）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　**「3」実践**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBMN250**

○鷹野　朋実、堀井　湖浪、古城門　靖子、堀川　英起

▌授業の目的

人格の発達と病理、精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて、さらに看護という職業の特徴について、対象関係論およびシステム論的観点から探求し、精神の健康のあらゆる面から、看護の基礎となる人間理解を深める。

▌到達目標

1. 人格の発達と病理について理解し、看護が取り組むべき課題を見出すことができる。
2. 精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて理解できる。
3. 看護という職業の特徴について、対象関係論およびシステム論的観点から理解できる。
4. 関係のなかの人間という概念が理解できる。
5. 精神の健康のあらゆる面から看護の基礎となる人間理解を深め、人間理解の観点から自らの看護実践を振り返り、評価することができる。

▌学習の進め方

講義を中心とするが、適宜、学生が討論する時間を設ける。リフレクションペーパー、次回授業の予習シートは授業終了時に教室にて配布する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**精神看護の現状と課題** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 1 章」を読み、要旨を A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
2	**精神の健康とは** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 2 章」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
3	**人間の心は何をしているのか** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 3 章 A」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義	鷹野
4	**人格の成熟①　人格、気質、アイデンティティ** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 3 章 B ①②」を読んでおくこと 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
5	**人格の成熟②　対象関係論としてとらえ方** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 3 章 B ④」を読んでおくこと 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
6	**人格の成熟③　甘えと自己** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 3 章 B ⑤⑥⑦」を読んでおくこと 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
7	**心的外傷と精神障害・・・サヴァイバーの生きにくさ** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 2 章 DE」を読んでおくこと 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	堀井

No	内容	形式	教員
8	**不安の防衛としての症状** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 3 章 B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義	鷹野
9	**うつの心情と行動** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 5 章 C ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義	鷹野
10	**アディクションという病い** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 5 章 C ⑧」を読んでおくこと 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	堀井
11	**集団のダイナミクス** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 4 章 B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義	鷹野
12	**自殺のリスクと予防** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 10 章 B」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	古城門
13	**社会の中の精神障害①　スティグマと精神障害者の人権** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 7 章 A・B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	堀井
14	**社会の中の精神障害②　精神保健福祉にかかわる法制度** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 7 章 E ③」を読み、A41 枚にまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	堀川
15	**感情と看護** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］終章」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野

▌教科書

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学［1］精神看護の基礎」、医学書院。
武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学［2］精神看護の展開」、医学書院。
使用する教科書の版、発行年については改めて提示する。

▌参考書、参考資料等

武井麻子著、精神看護学ノート、第 2 版、医学書院、2005。
その他の参考書については、講義の中で提示する。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、学内での対面試験を実施した場合は、試験実施から 2 週間以内に鷹野朋実研究室（428）にて、答案用紙と解説資料の返却を通して行う予定である。返却可能な時間はポータルにて連絡するので、受け取りに来ること。オンラインを活用した試験となった場合は、フィードバック方法などは最終回の授業にてアナウンスする。

▌他の授業科目との関連

この科目は、精神保健看護学実習（レベルⅢ）実習の履修要件となっています。また、3 年次前期に開講される、「精神保健看護学Ⅱ（技法）」、「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ（精神医学）の基盤となります。

▌成績評価の仕方

1. 筆記試験…70 %、2. 授業への取り組み…30 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業の開講日の 12：20～12：50、18：00～18：30。鷹野朋実研究室（428）、堀井湖浪研究室（427）、古城門靖子研究室（412）堀川英起研究室（426）。

▌受講上の注意事項

精神の健康を、生活の中の人間関係の視点から捉え、人間が生きていく過程の中で精神障害の意味について考えてもらいたいです。

精神保健看護学Ⅰ（理論）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　**「3」実践**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBMN250**

○鷹野　朋実、堀井　湖浪、古城門　靖子、堀川　英起

▌授業の目的

人格の発達と病理、精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて、さらに看護という職業の特徴について、対象関係論およびシステム論的観点から探求し、精神の健康のあらゆる面から、看護の基礎となる人間理解を深める。

▌到達目標

1. 人格の発達と病理について理解し、看護が取り組むべき課題を見出すことができる。
2. 精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて理解できる。
3. 看護という職業の特徴について、対象関係論およびシステム論的観点から理解できる。
4. 関係のなかの人間という概念が理解できる。
5. 精神の健康のあらゆる面から看護の基礎となる人間理解を深め、人間理解の観点から自らの看護実践を振り返り、評価することができる。

▌学習の進め方

講義を中心とするが、適宜、学生が討論する時間を設ける。リフレクションペーパー、次回授業の予習シートは授業終了時に教室にて配布する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**精神看護の現状と課題** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 1 章」を読み、要旨を A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
2	**精神の健康とは** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 2 章」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
3	**人間の心は何をしているのか** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 3 章 A」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義	鷹野
4	**人格の成熟①　人格、気質、アイデンティティ** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 3 章 B ①②」を読んでおくこと 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
5	**人格の成熟②　対象関係論としてとらえ方** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 3 章 B ④」を読んでおくこと 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
6	**人格の成熟③　甘えと自己** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 3 章 B ⑤⑥⑦」を読んでおくこと 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野
7	**心的外傷と精神障害・・・サヴァイバーの生きにくさ** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 2 章 DE」を読んでおくこと 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	堀井

No	内容	形式	教員
8	**不安の防衛としての症状** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 3 章 B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義	鷹野
9	**うつの心情と行動** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 5 章 C ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義	鷹野
10	**アディクションという病い** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 5 章 C ⑧」を読んでおくこと 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	堀井
11	**集団のダイナミクス** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 4 章 B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義	鷹野
12	**自殺のリスクと予防** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 10 章 B」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	古城門
13	**社会の中の精神障害①　スティグマと精神障害者の人権** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 7 章 A・B ③」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	堀井
14	**社会の中の精神障害②　精神保健福祉にかかわる法制度** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 7 章 E ③」を読み、A41 枚にまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	堀川
15	**感情と看護** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］終章」を読み、予習用ペーパーにまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する（講義後 2 日以内にレポートボックスに提出）	講義・討論	鷹野

▌教科書

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学［1］精神看護の基礎」、医学書院。
武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学［2］精神看護の展開」、医学書院。
使用する教科書の版、発行年については改めて提示する。

▌参考書、参考資料等

武井麻子著、精神看護学ノート、第 2 版、医学書院、2005。
その他の参考書については、講義の中で提示する。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、学内での対面試験を実施した場合は、試験実施から 2 週間以内に鷹野朋実研究室（428）にて、答案用紙と解説資料の返却を通して行う予定である。返却可能な時間はポータルにて連絡するので、受け取りに来ること。オンラインを活用した試験となった場合は、フィードバック方法などは最終回の授業にてアナウンスする。

▌他の授業科目との関連

この科目は、精神保健看護学実習（レベルⅢ）実習の履修要件となっています。また、3 年次前期に開講される、「精神保健看護学Ⅱ（技法）」、「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ（精神医学）の基盤となります。

▌成績評価の仕方

1. 筆記試験…70 %、2. 授業への取り組み…30 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業の開講日の 12：20～12：50、18：00～18：30。鷹野朋実研究室（428）、堀井湖浪研究室（427）、古城門靖子研究室（412）堀川英起研究室（426）。

▌受講上の注意事項

精神の健康を、生活の中の人間関係の視点から捉え、人間が生きていく過程の中で精神障害の意味について考えてもらいたいです。

精神保健看護学Ⅱ（技法）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」擁護**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBMN300**

○堀井　湖浪、古城門　靖子、堀川　英起、内藤　なづな

▌授業の目的

精神看護を実践するための考え方や実践方法について学び、精神保健領域において看護援助を行うための基礎的な知識と技法を習得する。

▌到達目標

1. 精神医療の現状や課題について理解し、説明できる。
2. 精神保健領域において看護援助を展開するために必要な考え方や方法を説明できる。
3. 精神的健康について援助を必要としている人々の個人の尊厳や権利擁護について理解できる。

▌学習の進め方

1. 講義と討論：基本的に講義を中心とするが、事例などを提示して学生が討論する時間を、随時授業時間内に設けて、具体的理解を深められるようにする。
2. 授業レポート：授業で考えたこと、感じたことを A4 用紙 1 枚程度のレポートにまとめてもらう。初回の授業で提示される授業について、このレポートを作成し、授業内容や自らの考えについてまとめる。
3. ワークシート：授業終了時、ワークシートを配布し、授業内容の振り返りを行う。なお、ワークシートに「疑問に思ったこと、感想」を記載する欄を設けているので、次回以降の授業において必要時には補足説明を行い、学習をより深められるようにする。
4. 参考資料の提示：興味関心がある領域について学生個々の学びを深められるように、授業内容に関連する参考資料を、授業で紹介する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**日本の精神医療の現状** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 1 章」を読んでノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめて提出する	講義・討論	堀井
2	**回復を助ける：入院治療と看護の展開** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 9 章」を読んで、予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめて提出する	講義	堀井
3	**患者とのかかわり：そばにいること、遊ぶこと** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 8 章」を読んで、予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	鷹野
4	**安全を守る** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 10 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	堀井
5	**身体をケアする** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 11 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	古城門
6	**薬物療法と看護** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 8 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	内藤
7	**精神科におけるアセスメント** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 5 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートをまとめ提出する	講義	古城門
8	**地域における精神保健と精神看護①** **－長期入院患者の地域移行への支援－** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 13 章 A・B」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	堀川
9	**地域における精神保健と精神看護②** **－地域生活を支える諸制度と地域での看護の実際－** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 13 章 C・D」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	堀川

No	内容	形式	教員
10	**精神科訪問看護** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 13 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	内藤
11	**地域で暮らすということ** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 10 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、レポートを作成する	講義・討論	堀井
12	**精神科看護における記録** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 11 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義・演習	堀井
13	**事例から学ぶ－患者の人となりを理解する－** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 5 章 C ⑧」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義・討論	古城門
14	**アルコール依存症の治療プログラム** 事前学修：［30 分］2 年次「アディクションという病」の授業資料を読み返し、予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	堀井
15	**リエゾン精神看護** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 14 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	古城門

▌教科書

武井麻子ほか，系統看護学講座　精神看護学［1］精神看護の基礎（医学書院）最新版.
武井麻子ほか，系統看護学講座　精神看護学［2］精神看護の展開（医学書院）最新版.

▌参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介する。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、成績返却後 1 か月以内に 427 研究室にて試験に関する質問に応じる。対応可能な日程はポータルで連絡するので、該当部分の授業資料や教科書をよく読み、質問をまとめておくこと。

▌他の授業科目との関連

この科目は精神保健看護学実習［レベルⅢ］実習の履修要件です。授業内容は、2 年次開講の「看護援助論Ⅶ（心・身体・人間関係）」、「精神保健看護学Ⅰ（理論）」で学んだ内容を基盤として、より発展的な精神保健看護学の内容を取扱います。

▌成績評価の仕方

1. 定期試験 75 %　2. 授業への取り組み・授業レポート 25 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：30〜12：50
堀井湖浪（427 研究室）、鷹野朋実（428 研究室）、古城門靖子（412 研究室）、堀川英起（426 研究室）、内藤なづな（423 研究室）

精神保健看護学Ⅱ（技法）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」擁護**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBMN300**

○堀井　湖浪、古城門　靖子、堀川　英起、内藤　なづな

▌授業の目的

精神看護を実践するための考え方や実践方法について学び、精神保健領域において看護援助を行うための基礎的な知識と技法を習得する。

▌到達目標

1. 精神医療の現状や課題について理解し、説明できる。
2. 精神保健領域において看護援助を展開するために必要な考え方や方法を説明できる。
3. 精神的健康について援助を必要としている人々の個人の尊厳や権利擁護について理解できる。

▌学習の進め方

1. 講義と討論：基本的に講義を中心とするが、事例などを提示して学生が討論する時間を、随時授業時間内に設けて、具体的理解を深められるようにする。
2. 授業レポート：授業で考えたこと、感じたことを A4 用紙 1 枚程度のレポートにまとめてもらう。初回の授業で提示される授業について、このレポートを作成し、授業内容や自らの考えについてまとめる。
3. ワークシート：授業終了時、ワークシートを配布し、授業内容の振り返りを行う。なお、ワークシートに「疑問に思ったこと、感想」を記載する欄を設けているので、次回以降の授業において必要時には補足説明を行い、学習をより深められるようにする。
4. 参考資料の提示：興味関心がある領域について学生個々の学びを深められるように、授業内容に関連する参考資料を、授業で紹介する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**日本の精神医療の現状** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 1 章」を読んでノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめて提出する	講義・討論	堀井
2	**回復を助ける：入院治療と看護の展開** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 9 章」を読んで、予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめて提出する	講義	堀井
3	**患者とのかかわり：そばにいること、遊ぶこと** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 8 章」を読んで、予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	鷹野
4	**安全を守る** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 10 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	堀井
5	**身体をケアする** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 11 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	古城門
6	**薬物療法と看護** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 8 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	内藤
7	**精神科におけるアセスメント** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 5 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートをまとめ提出する	講義	古城門
8	**地域における精神保健と精神看護①** **－長期入院患者の地域移行への支援－** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 13 章 A・B」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	堀川
9	**地域における精神保健と精神看護②** **－地域生活を支える諸制度と地域での看護の実際－** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 13 章 C・D」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	堀川

No	内容	形式	教員
10	**精神科訪問看護** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 13 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	内藤
11	**地域で暮らすということ** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 10 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、レポートを作成する	講義・討論	堀井
12	**精神科看護における記録** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 11 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義・演習	堀井
13	**事例から学ぶ－患者の人となりを理解する－** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［1］第 5 章 C ⑧」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義・討論	古城門
14	**アルコール依存症の治療プログラム** 事前学修：［30 分］2 年次「アディクションという病」の授業資料を読み返し、予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	堀井
15	**リエゾン精神看護** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］第 14 章」を読んで予習用シートにまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、ワークシートにまとめ提出する	講義	古城門

▌教科書

武井麻子ほか，系統看護学講座　精神看護学［1］精神看護の基礎（医学書院）最新版.
武井麻子ほか，系統看護学講座　精神看護学［2］精神看護の展開（医学書院）最新版.

▌参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介する。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、成績返却後 1 か月以内に 427 研究室にて試験に関する質問に応じる。対応可能な日程はポータルで連絡するので、該当部分の授業資料や教科書をよく読み、質問をまとめておくこと。

▌他の授業科目との関連

この科目は精神保健看護学実習［レベルⅢ］実習の履修要件です。授業内容は、2 年次開講の「看護援助論Ⅶ（心・身体・人間関係）」、「精神保健看護学Ⅰ（理論）」で学んだ内容を基盤として、より発展的な精神保健看護学の内容を取扱います。

▌成績評価の仕方

1. 定期試験 75 %　2. 授業への取り組み・授業レポート 25 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：30〜12：50
堀井湖浪（427 研究室）、鷹野朋実（428 研究室）、古城門靖子（412 研究室）、堀川英起（426 研究室）、内藤なづな（423 研究室）

発達看護学概論

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」擁護**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBDN200**

○江本　リナ、千葉　京子、山内　朋子

▌授業の目的

小児期から老年期にわたって子どもから大人へ成長・発達する過程を理解し、それぞれの発達段階に沿って家族も含めた援助を学ぶ。

▌到達目標

1. 子どもの成長・発達の特徴を説明できる。
2. 子どもと家族の生活をふまえた援助を考案できる。
3. 成人期・老年期の発達の特徴を説明できる。
4. 生涯発達をふまえた援助のあり方を説明できる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開：
   講義と討論を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
2. 参考資料の提示：
   授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配付資料に参考資料・参考 DVD を記す。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション／人の成長と発達** 事前学修：［10 分］シラバスを読み、授業の目的・学習内容を把握する 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
2	**子どもの成長と発達** 事前学修：［15 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
3	**乳児期の子どもと家族の生活** 事前学修：［15 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
4	**幼児期の子どもと家族の生活** 事前学修：［15 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
5	**学童・思春期の子どもと家族の生活** 事前学修：［15 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
6	**成人期の発達（生活と家族）** 事前学修：［15 分］成人期に関する関心あるテーマについてノートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	千葉
7	**老年期の発達（老年期と高齢者の特徴）** 事前学修：［15 分］老年期に関する関心あるテーマについてノートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	千葉
8	**老年期の発達（生活と家族）** 事前学修：［15 分］6 回目と 7 回目の授業内容を参考に成人期と老年期の特徴についてノートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	千葉

▌教科書
1～5 回の授業（小児期）：筒井真優美監修（2019）. 小児看護学 第 8 版. 日総研出版.
6～8 回の授業（成人期・老年期）：教科書は使用しない。

▌参考書、参考資料等
①ユニセフ協会著．子どもの権利条約カードブック．日本ユニセフ協会
②小児期に関連する参考文献の目録は、初回授業の時に配布する。
③成人期・老年期は、毎回資料を配付する。

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは定期試験後に解説を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
この科目はレベルⅢ実習の履修要件となっている。また、2 年次後期以降に開講される「発達看護学（成人期の看護）」、「発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護）①②」、「発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）①②」、「発達看護学Ⅲ（老年期の看護）①②」は、この科目に基づき、より発展的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方
1．授業への取り組み：25%　　2．定期試験：75%

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後 30 分間、各講義担当者の研究室で受け付ける。
江本（419 研究室）、山内（443 研究室）、千葉（429 研究室）

▌受講上の注意事項
遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。
既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。
講義形式および、定期試験の方法は変更する可能性がある。

発達看護学概論

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」擁護**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBDN200**

○江本　リナ、千葉　京子、山内　朋子

▌授業の目的

小児期から老年期にわたって子どもから大人へ成長・発達する過程を理解し、それぞれの発達段階に沿って家族も含めた援助を学ぶ。

▌到達目標

1. 子どもの成長・発達の特徴を説明できる。
2. 子どもと家族の生活をふまえた援助を考案できる。
3. 成人期・老年期の発達の特徴を説明できる。
4. 生涯発達をふまえた援助のあり方を説明できる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開：
   講義と討論を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
2. 参考資料の提示：
   授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配付資料に参考資料・参考 DVD を記す。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション／人の成長と発達** 事前学修：［10 分］シラバスを読み、授業の目的・学習内容を把握する 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
2	**子どもの成長と発達** 事前学修：［15 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
3	**乳児期の子どもと家族の生活** 事前学修：［15 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
4	**幼児期の子どもと家族の生活** 事前学修：［15 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
5	**学童・思春期の子どもと家族の生活** 事前学修：［15 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
6	**成人期の発達（生活と家族）** 事前学修：［15 分］成人期に関する関心あるテーマについてノートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	千葉
7	**老年期の発達（老年期と高齢者の特徴）** 事前学修：［15 分］老年期に関する関心あるテーマについてノートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	千葉
8	**老年期の発達（生活と家族）** 事前学修：［15 分］6 回目と 7 回目の授業内容を参考に成人期と老年期の特徴についてノートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	千葉

▌教科書
1～5 回の授業（小児期）：筒井真優美監修（2019）. 小児看護学 第 8 版. 日総研出版.
6～8 回の授業（成人期・老年期）：教科書は使用しない。

▌参考書、参考資料等
①ユニセフ協会著．子どもの権利条約カードブック．日本ユニセフ協会
②小児期に関連する参考文献の目録は、初回授業の時に配布する。
③成人期・老年期は、毎回資料を配付する。

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは定期試験後に解説を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
この科目はレベルⅢ実習の履修要件となっている。また、2 年次後期以降に開講される「発達看護学（成人期の看護）」、「発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護）①②」、「発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）①②」、「発達看護学Ⅲ（老年期の看護）①②」は、この科目に基づき、より発展的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方
1．授業への取り組み：25%　　2．定期試験：75%

▌オフィスアワー・研究室等
授業終了後 30 分間、各講義担当者の研究室で受け付ける。
江本（419 研究室）、山内（443 研究室）、千葉（429 研究室）

▌受講上の注意事項
遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。
既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。
講義形式および、定期試験の方法は変更する可能性がある。

発達看護学（成人期の看護）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」変化**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBDN201**

〇本庄　恵子、三浦　英恵

▌授業の目的

成人期にある人々の理解とケアを展開するために必要な概念や理論について学び、成人期にある人への看護支援方法を検討する。

▌到達目標

1. 成人期にある人々の特性について説明できる。
2. 成人期にある人々の理解とケアを展開するために、必要な概念や理論を説明できる。
3. 成人期にある人々に合わせた看護支援を考案することができる。

▌学習の進め方

AL

1. 授業の展開：講義、討議、小テストで、各自が学びを深められるようにする。

１)講義：教科書と配布資料にもとづく講義を行う。

２)討議：講義内容を踏まえて、学生間での討議を行う。

３)小テスト:Glexa で小テスト（Quize）を行い、理解度を確認できるようにする。小テストの回答は、2 週間以内に Glexa 内に提示する「感想・意見・小テストへのフィードバック」で提示する。

2. 「感想・意見」の記入：学生が Glexa 内に「感想・意見」をアップロードすることで、授業内容の振り返りができるようにする。2 週間以内に、Glexa 内に提示する「感想・意見・小テストへのフィードバック」によって、学生同士の意見を知るとともに、補足説明を通して、学習を深められるようにする。

3. 参考資料の提示：興味関心のある分野について学生個々で学びを深められるように、配布資料に教授内容に関連する参考資料を記す。

＊各回の学修は、時間割に基づき、対面授業、遠隔（同時双方向型）授業、Glexa を活用してすすめる。

＊各授業における小テストや感想、意見等を期日までに提出することで「出席」とみなす。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション：ライフサイクルからみた成人期の理解** 事前学修：［30 分］教科書 2～13 頁を読み、成人期の特徴についてノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料と「感想・意見・小テスト」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議・小テスト	本庄・三浦
2	**成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論①:** **成人期に特徴的な健康問題、、成人期にある人々への支援（アンドラゴジーの観点から）** 事前学修：［30 分］教科書 14～24 頁、132 頁を読み、成人期に特徴的な健康問題と、成人期の学習 (アンドラゴジー) について、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料と「感想・意見・小テスト」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議・小テスト	本庄
3	**成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論②:** **セルフエフィカシー、ステージ変容理論** 事前学修：［30 分］教科書 125 頁、126 頁を読み、セルフエフィカシーとステージ変容理論についてノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料と「感想・意見・小テスト」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議・小テスト	本庄
4	**成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論③:** **ストレス・コーピング** 事前学修：［30 分］教科書 94～95 頁を読み、ストレス・コーピングについてノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料と「感想・意見・小テスト」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議・小テスト	三浦
5	**成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論④:** **危機理論** 事前学修：［30 分］教科書　82～84 頁を読み、危機理論についてノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料と「感想・意見・小テスト」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議・小テスト	三浦

No	内容	形式	教員
6	**成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論⑤:** **意思決定、セルフケア、セルフケア能力** 事前学修：［30 分］教科書　123-125 頁を読み、意思決定やセルフケアの特徴をノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料と「感想・意見・小テスト」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議・小テスト	本庄
7	**成人期にある人々への看護支援の検討：** **セルフケア能力を高める支援に焦点をあてて** 事前学修：［30 分］実習などの事例を思い起して、セルフケアを行う力を高める支援の例を考える 事後学修：［30 分］授業の配布資料と「感想・意見・小テスト」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・演習・小テスト	本庄
8	**まとめ** 事前学修：［30 分］1～7 回までの授業資料を読み返し、成人期の看護の特徴をノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料とフィードバックの資料を読み返し復習する	まとめ・定期試験	本庄・三浦

▌教科書

1. 黒田裕子編集(2011). 成人看護学　第 2 版. 医学書院.

▌参考書、参考資料等

1. 本庄恵子監修(2015). セルフケア看護. ライフサポート社.
2. 本庄恵子総監修(2018). セルフケア支援ガイド. ライフサポート社

その他の参考資料については、随時、紹介する。

▌フィードバックの仕方

各界の授業感想・意見や小テスト等のフィードバックは、2 週間以内に配布資料にてフィードバックする。定期試験のフィードバックは、試験終了後に、採点基準等について配布資料にて解説を行う。

▌他の授業科目との関連

看護学概論Ⅰの授業を復習しておくこと。
2 年次の授業「慢性期ケア」「急性期ケア」と関連が深い科目です。

▌成績評価の仕方

1. 授業への取組み (小テスト、感想・意見)：50 %　2. 定期試験：50 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：20～12：50。授業開講期間中はメールでの問い合わせも受け付けます。 本庄(442 研究室　honjo@redcross.ac.jp)
三浦(444 研究室　h-miura@redcross.ac.jp)

▌受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。
・Web 環境などの事情で、指定された期日までに Glexa にアクセスできない場合には、事前に教員に連絡をしてください。
・COVID-19 感染症等の状況により、変更の可能性があります。変更がある場合には、Glexa メール等で全員にお知らせします。

発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護①）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」擁護**　**「3」関係**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBDN250**

○新田　真弓、加藤　千穂、井村　真澄、由利　紗織

▌授業の目的

概論
女性の健康問題を身体的・精神的・社会的な観点から幅広く学習する。現在の女性の状況を理解し、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方をもとに今後の女性のヘルスサービスやエンパワーメントについて考える。具体的には、女性と子どもの健康状態の国際比較、女性の性と生殖にかかわる解剖・生理、女性のライフサイクル、母子保健に関する法制度、生殖医療をめぐる倫理的問題等を取り上げ、女性と家族の健康支援に関する看護の役割を考える。
各論：妊娠期・分娩期
女性のライフサイクルの中で、周産期の女性と子ども、そのパートナーを中心とした家族の健康に焦点をあて、対象の生理的、心理・社会的変化と生活への適応、健康逸脱時の援助を学習する。

▌到達目標

概論
1. リプロダクティブ・ヘルスと看護における主な概念について説明できる。
2. 女性の性と生殖にかかわる解剖と生理について説明できる。
3. 女性のライフサイクルを通じての健康問題と援助について説明できる。
4. 世界と日本の母子保健の動向について説明できる。
5. 母子保健関連法規と母子保健政策について説明できる。
6. リプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる倫理的課題について考察できる。
7. 特別な配慮が必要な女性・子ども・家族への援助のポイントを説明できる。

妊娠期
1. 妊娠の概念、妊娠の成立と維持機構について説明できる。
2. 胎児の成長発達とその健康状態に影響を及ぼす要因について説明できる。
3. 妊娠に伴う女性の身体的変化、心理・社会的変化と生じやすい異常について説明できる。
4. 妊娠期にある女性・子ども・家族の看護について考察できる。

分娩期
1. 分娩の概念、分娩期の基本的用語、分娩機序について説明できる。
2. 分娩に伴う胎児、出生直後の新生児に及ぼす影響について説明できる。
3. 分娩に伴う女性の身体的変化、心理・社会的変化と生じやすい異常について説明できる。
4. 分娩期にある女性・子ども・家族の看護について考察できる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開：
講義や演習、討論を通じて、学生同士で意見交換しながら理解を深める。
授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、動画、手記、新聞記事、事例等を活用する。
また、リアクションシートを活用し、授業内の疑問や質問、感想などを記入、提出する。書かれた内容は次回授業時に紹介し、意見の共有や疑問の解決を図る能力を養う。
授業後半に実際の状況に基づいたアセスメントを行う演習で、妊娠期・分娩期にある対象を理解するために学習した知識や技術を応用する能力を養う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**コースオリエンテーション** **概論：** **・リプロダクティブ・ヘルスと看護における主な概念** **・世界と日本の母子保健の動向** 事前学修：［40 分］2 年前期の発達学概論の授業内容のうち、人の成長と発達、子ども（思春期まで）の成長と発達について、ノートにまとめる。 事後学修：［20 分］講義を振り返り、世界から見た日本の母子保健の動向の特徴を整理する。	講義	全員
2	**概論：女性の性と生殖にかかわる解剖と生理** 事前学修：［40 分］人体の構造と機能Ⅱ（解剖と生理②）の生殖と発生の内容をノートにまとめる 事後学修：［20 分］性周期とその機序について復習する。	講義	新田

No	内容	形式	教員
3	**概論：女性のライフサイクル各期の健康問題と援助** 事前学修：［40 分］発達看護学概論の授業内容（成人期・老年期の発達）についてノートにまとめる。 事後学修：［20 分］授業資料を振り返り、ライフサイクル各期の特徴に応じた援助を考える。	講義	新田
4	**概論：日本の母子保健に関連する法律と政策** 事前学修：［40 分］母子保健に関連する法律を挙げ、その特徴をノートにまとめる。 事後学修：［20 分］授業資料を振り返り、日本の母子保健サービスの特徴を整理する。	講義	新田
5	**概論：特別な配慮が必要な女性・子ども・パートナーや家族への援助** **リプロダクティブ・ヘルスと看護をめぐる倫理** 事前学修：［30 分］事前配布した資料を読み、現状の課題と改善方法をノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業資料と討議内容を振り返る。	講義	新田
6	**看護過程・事例** 事前学修：［30 分］事前配布する授業資料を読み、わからない点や質問をまとめる。 事後学修：［30 分］看護過程の進め方と事前学習の方法について確認する。	講義	加藤
7	**妊娠期：妊娠の概念と妊娠の成立・維持機構、妊娠期の基本的用語** 事前学修：［30 分］第 6 回授業資料で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、妊娠経過に伴う胎児の変化について整理する。	講義	加藤
8	**妊娠期：胎児の成長と発達過程** 事前学修：［30 分］第 7 回授業資料で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、妊娠に伴う女性の変化や妊娠週数に応じた援助について考える。	講義	加藤
9	**妊娠期：妊娠に伴う女性の身体的変化、心理・社会的変化と生じやすい異常** 事前学修：［30 分］第 8 回授業資料で示した課題についてノートにまとめる。 事後学修：［20 分］授業内容を振り返り、妊娠に伴う心理・社会的変化への援助について考える。	講義	全員
10	**妊娠期のアセスメントとケア** 事前学修：［30 分］第 7～9 回授業で示した課題についてノートにまとめる 事後学修：［20 分］講義内で間違った箇所を見直す。	演習	全員
11	**分娩期：** **分娩の概念と基本的用語、分娩の機序** 事前学修：［30 分］第 2 回授業資料から女性の骨盤および生殖器についてノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、分娩に関連する用語や機序を整理する。	講義	加藤
12	**分娩期：分娩期の胎児・出生直後の新生児** 事前学修：［30 分］第 11 回授業資料で示した課題について、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、分娩による児への影響について整理する。	講義	加藤
13	**分娩期：分娩位伴う身体的変化、心理・社会的変化、生じやすい異常** 事前学修：［30 分］第 12 授業資料で示した課題について、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、分娩経過に応じた援助について考える。	講義	加藤
14	**分娩期のアセスメントとケア** 事前学修：［30 分］第 11～13 回授業で配布した予習資料の課題についてノートにまとめる 事後学修：［20 分］講義内で間違った問題を見直す。	演習	全員
15	**看護過程・事例の妊娠期と分娩期のアセスメントとケア** 事前学修：［60 分］配布した看護過程ガイドを参照しながら、看護過程ノートの該当ページを記載する。 事後学修：［30 分］授業内で取り組んだ看護過程ノート内の課題を見直し、追加・修正を行う。	演習	全員

▌教科書

概論

授業資料を配付する。

妊娠期の看護・分娩期の看護

森恵美他（2021）．系統看護学講座専門分野Ⅱ　母性看護学各論第 14 版　母性看護学 2．医学書院.

▌参考書、参考資料等

各回の授業で紹介する。

▌フィードバックの仕方

授業中のリアクションシートは、内容をまとめ、次回授業時に紹介し、疑問を解決します。
定期試験は終了直後に試験場にて回答・解説集を配布し、自己採点、振り返りをできるようにします。定期試験に対する疑問は、定期試験期間中に担当教員まで連絡してください。

▌他の授業科目との関連

2 年前期の発達看護学概論で学んだ人の成長発達を理解しておくことが必要となります。
3 年次前期の発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護②）と合わせて周産期一連の過程を学ぶことになります。
また、性と生殖にかかわる学習内容を扱うため、3 年前期の看護援助学Ⅵで学ぶセクシュアリティは関連の強い科目となります。加えて発達看護学Ⅰ実習 (レベルⅢ)の履修要件となっています。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み（リアクションシート、小テストを含む）　50 %、筆記試験　50 %

▌オフィスアワー・研究室等

概論・看護過程 授業開講日の 12:30～12:50。新田研究室（451 研究室)
妊娠期・分娩期の看護・授業開講日の 12:30～12:50。加藤研究室（434 研究室）

▌受講上の注意事項

遅刻 3 回で 1 回の欠席とみなします。リアクションペーパーの提出をもって出席確認します。

発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護②）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」関係**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBDN300**

○加藤　千穂、新田　真弓、井村　真澄、由利　紗織

▌授業の目的

女性のライフサイクルの中で、周産期の母親・子ども・父親/パートナーを中心とした家族の健康に焦点を当て、対象の生理的、心理社会的変化と生活への適応、健康逸脱時のケアなどについて学習する。リプロダクティブ・ヘルスと看護②では、産褥期・新生児期の対象理解とケアに焦点を当てる。

▌到達目標

1. 産褥期・新生児期の看護の概念・意義について説明できる。
2. 産褥期・新生児期の生理的・心理社会的変化について説明できる。
3. 新生児の健康と生理的変化・適応状態の把握に必要な看護技術を理解できる。
4. 褥婦の健康と産褥経過の把握に必要な看護技術を理解できる。
5. 産褥早期の褥婦と新生児の生活を理解し、褥婦や新生児への健康支援について説明できる。
6. 地域における育児支援について考察できる。
7. 事例の看護過程を展開し、周産期における母親・子ども・父親/パートナーとその家族の特性や経時的な変化のアセスメントおよび全体像の把握、対象に合わせた看護計画の立案ができる。
8. 特別な支援を必要とする妊産褥婦と新生児への支援について考察できる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開

講義：産褥期・新生児期にある母子の対象特性を理解するための基本的な知識を得る。授業ごとにリアクションシートを活用し、授業内容に関連する疑問や質問、感想などを記入、提出する。書かれた内容は、次回授業時に紹介し、意見の共有や疑問の解決を図る能力を養う。
デモンストレーション：臨床の場面を見学することで、実際の母子の様子をイメージしながら学習に取り組む。
事例を用いた看護過程の演習：発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護①）の「アセスメントのガイドライン」を参照して、看護過程展開に取り組むことで、関連するデータの基礎的知識の理解、情報収集とアセスメント能力の向上、対象者の統合的理解、優先順位を考慮した看護目標と具体策を立案する能力を養う。

2. 参考資料の提示

授業では現代の母親・子ども・父親/パートナーとその家族を取り巻く状況を理解するための資料を適宜配布する。また、対象の深い理解につながるように、映像資料を活用できるよう紹介する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**コースオリエンテーション** **『ご安産一座』** 事前学修：［30 分］発達看護学Ⅰ①の授業資料、看護過程ノートを読み返し、『ご安産一座』での情報収集項目を考える。 事後学修：［15 分］授業配布資料を読み直す。	講義・演習 デモンストレーション	全員
2	**産褥期・新生児期の概念／産褥期・新生児期の看護と役割** **新生児の正常経過** 事前学修：［20 分］産褥期・新生児期の概念について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［25 分］看護過程ガイド pp.6-7 を読み、看護過程ノート p.4 の母子経過記録に必要な情報を記載する。	講義	加藤
3	**新生児の正常経過** 事前学修：［30 分］新生児の正常経過について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業配布資料を読み直す。	講義	加藤
4	**新生児の健康逸脱と看護** 事前学修：［30 分］新生児の健康逸脱について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］看護過程ガイド pp.6-7 を読み、看護過程ノート pp.5-8 のアセスメント用紙に必要な情報を記載する。	講義	加藤
5	**新生児のアセスメントとケア** 事前学修：［30 分］第 1～4 回までの授業内容を整理し、各授業での復習課題を行う。 事後学修：［30 分］授業内で間違った問題を振り返る。	講義・演習	全員

No	内容	形式	教員
6	**母子の生活と健康支援：褥婦の正常経過と健康逸脱** 事前学修：［20 分］発達看護学Ⅰ①の妊娠期・分娩期の資料を振り返る。 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返す。	講義	加藤
7	**母子の生活と健康支援；入院中の母子・子どもの誕生と家族** 事前学修：［30 分］入院中の母子の生活について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す。	講義	加藤
8	**母子の生活と健康支援；退院後の母子・家族** 事前学修：［30 分］退院後の母子の生活について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］看護過程ガイド pp.6-7 を読み、看護過程ノート pp.5-8 のアセスメント用紙にアセスメントを記載する。	講義・演習	加藤
9	**褥婦のアセスメントとケア** 事前学修：［30 分］第 6～8 回授業内容を整理し、各授業での復習課題を行う。 事後学修：［30 分］授業内で間違った問題を振り返る。	講義・演習	全員
10	**母子の生活と健康支援：地域での子育てと制度** 事前学修：［30 分］母子に関連する制度や法律についてノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す。	講義	加藤
11	**母子のアセスメントとケア** 事前学修：［30 分］第 5 回、第 11 回の授業資料を振り返り、内容をまとまる。 事後学修：［30 分］授業内で間違った問題を振り返る。	演習	全員
12	**看護過程の事例：全体像の把握** 事前学修：［30 分］看護過程ノート pp.9-10 の全体像を記載する上で、分からないことをノートにまとめる。 事後学修：［30 分］看護過程ノート pp.9-10 の全体像の追加修正をし、看護過程ノート pp.10-11 のケアプランを記載する。	講義・演習	全員
13	**特別講義『母乳育児』** 事前学修：［30 分］母乳育児について整理しノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業資料を読み直す。	講義	井村　・加藤
14	**特別な配慮を要する母子への支援** 事前学修：［20 分］特別な配慮を要するとは何を指しているのか、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］看護過程ノート pp.9-10 の全体像の追加修正をし、看護過程ノート pp.10-11 のケアプランを記載する。	講義	加藤
15	**事例の看護計画立案** 事前学修：［30 分］看護過程ノート pp.10-11 のケアプランを記載する上で、分からないことをノートにまとめる。 事後学修：［30 分］看護過程ノート pp.10-11 のケアプランの追加修正をする。	講義・演習	全員

▌教科書

①森恵美他（2016）．系統看護学講座専門分野Ⅱ　母性看護学各論第 13 版　母性看護学［2］．医学書院.
②平澤美恵子・村上睦子監修（2020）．新装版写真でわかる母性看護技術アドバンス．インターメディカ.

▌参考書、参考資料等

参考資料・図書は随時紹介します。

▌フィードバックの仕方

事例の看護過程記録は、発達看護学Ⅰ実習（レベルⅢ）の実習初日に担当教員から返却します。

▌他の授業科目との関連

2 年次後期の発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護①）から引き続いている科目です。
妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期を一連の過程としてとらえることが重要となります。
この科目は発達看護学Ⅰ実習（レベルⅢ）の履修要件となっています。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み（リアクションシート、小テスト、看護過程の学習課題などを含む）50 %、定期試験 50 %

▌オフィスアワー・研究室等

開講期間中の①金曜日、② 12：30～12：50、③加藤（434 研究室）・新田（451 研究室）

▌受講上の注意事項

遅刻 3 回で欠席 1 回とみなします。

発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護①）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」擁護**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBDN251**

○江本　リナ、山内　朋子、鈴木　健太、柴田　純子、田代　祐子

▌授業の目的

成長・発達過程にある子どもと家族の健康レベルを理解し、変化する社会の中で、子どもと家族が生き生きと生活できるような援助を学ぶ。さらに、子どもの安全、安楽、自立を考慮し、最善の利益を守るための私たちの役割を考える。

▌到達目標

1. 急性期にある子どもと家族の看護について考案できる。
2. 慢性期にある子どもと家族の看護について考案できる。
3. 外来・入院における子どもと家族の健康増進、健康回復のための看護について考案できる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開
講義と討論を通して、学生同士で意見交換しながら理解を深める。
2. 参考資料の提示
授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配布資料に参考資料・参考 DVD を記す。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション／生活習慣の自立と健康** 事前学修：［30 分］「発達看護学概論」で学んだ内容を復習し、授業に臨む 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	全員/山内
2	**子どもの急性期症状と看護（1）発熱** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
3	**子どもの急性期症状と看護（2）嘔吐・下痢** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
4	**子どもの急性期症状と看護（3）脱水** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
5	**子どもの急性期症状と看護（4）呼吸困難** 事前学修：［20 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
6	**子どもの急性期と看護（５）けいれん/乳幼児突然死症候群** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
7	**子どもの感染症** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	鈴木
8	**子どもの権利** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本

No	内容	形式	教員
9	**子どもの事故と救急** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	柴田
10	**子どもの痛み** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
11	**外来における看護** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
12	**入院している子どもと家族** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
13	**慢性状態にある子どもと家族** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	未定
14	**隔離と活動制限** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	未定
15	**虐待と社会的養護** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本

▌教科書

①筒井真優美監修（2019）. 小児看護学 第 8 版. 日総研出版.
②筒井真優美監修（2019）. パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護　第 2 版. 照林社.

▌参考書、参考資料等

ユニセフ協会著. 子どもの権利条約カードブック. 日本ユニセフ協会.
その他、随時授業で資料を配付する。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施直後もしくは試験期間に解答の解説を行う。

▌他の授業科目との関連

この科目は発達看護学実習Ⅱ（子どもと家族の看護）［レベルⅢ］の履修要件となっている。また、2 年次以降に開講される「発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）②」は、この科目に基づき、より発展的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 15%　2. 定期試験 85%

▌オフィスアワー・研究室等

各回の授業終了後 30 分間、各講義担当者の研究室で受け付ける。
江本（419 研究室）　山内（443 研究室）　柴田（441 研究室）　鈴木（453 研究室）　　未定（　　研究室）

▌受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。
既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。
講義形式および、定期試験の方法は変更する可能性がある。

発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護①）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」擁護**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBDN251**

○江本　リナ、山内　朋子、鈴木　健太、柴田　純子、田代　祐子

▌授業の目的

成長・発達過程にある子どもと家族の健康レベルを理解し、変化する社会の中で、子どもと家族が生き生きと生活できるような援助を学ぶ。さらに、子どもの安全、安楽、自立を考慮し、最善の利益を守るための私たちの役割を考える。

▌到達目標

1. 急性期にある子どもと家族の看護について考案できる。
2. 慢性期にある子どもと家族の看護について考案できる。
3. 外来・入院における子どもと家族の健康増進、健康回復のための看護について考案できる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開
講義と討論を通して、学生同士で意見交換しながら理解を深める。
2. 参考資料の提示
授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配布資料に参考資料・参考 DVD を記す。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション／生活習慣の自立と健康** 事前学修：［30 分］「発達看護学概論」で学んだ内容を復習し、授業に臨む 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	全員/山内
2	**子どもの急性期症状と看護（1）発熱** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
3	**子どもの急性期症状と看護（2）嘔吐・下痢** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
4	**子どもの急性期症状と看護（3）脱水** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
5	**子どもの急性期症状と看護（4）呼吸困難** 事前学修：［20 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
6	**子どもの急性期と看護（５）けいれん/乳幼児突然死症候群** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
7	**子どもの感染症** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	鈴木
8	**子どもの権利** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本

No	内容	形式	教員
9	**子どもの事故と救急** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	柴田
10	**子どもの痛み** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
11	**外来における看護** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
12	**入院している子どもと家族** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
13	**慢性状態にある子どもと家族** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	未定
14	**隔離と活動制限** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	未定
15	**虐待と社会的養護** 事前学修：［30 分］教科書の関連ページを読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本

▌教科書

①筒井真優美監修（2019）. 小児看護学 第 8 版. 日総研出版.
②筒井真優美監修（2019）. パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護　第 2 版. 照林社.

▌参考書、参考資料等

ユニセフ協会著. 子どもの権利条約カードブック. 日本ユニセフ協会.
その他、随時授業で資料を配付する。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施直後もしくは試験期間に解答の解説を行う。

▌他の授業科目との関連

この科目は発達看護学実習Ⅱ（子どもと家族の看護）［レベルⅢ］の履修要件となっている。また、2 年次以降に開講される「発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）②」は、この科目に基づき、より発展的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 15%　2. 定期試験 85%

▌オフィスアワー・研究室等

各回の授業終了後 30 分間、各講義担当者の研究室で受け付ける。
江本（419 研究室）　山内（443 研究室）　柴田（441 研究室）　鈴木（453 研究室）　　未定（　　研究室）

▌受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。
既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。
講義形式および、定期試験の方法は変更する可能性がある。

発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護②）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」擁護**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBDN301**

○江本　リナ、山内　朋子、鈴木　健太、柴田　純子、田代　祐子

▌授業の目的

疾患や障がいをもつ子どもの置かれている状況を理解し、子どもと家族が生き生きとその人らしく生活できるよう身体的・精神的・社会的援助について学ぶ。さらに、子どもと家族に対する私たちの役割を保健、医療、福祉、教育及び子どもの権利条約などの面から考える。

▌到達目標

1. 疾患や障がいをもち、さまざまな状況にある子どもと家族の援助を考案することができる。
2. 日本と世界の母子保健の動向を捉えることができる。

▌学習の進め方

AL
1. 授業の展開
講義と討論を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
事例を用いた演習（グループワーク・発表・討論）を通じて学ぶ。
2. 参考資料の提示
授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配布資料に参考資料・参考 DVD を記す。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション／川崎病の子どもと家族** 事前学修：［30 分］「発達看護学概論」「発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護①）」を復習し授業に臨む 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	全員／山内
2	**先天性の疾患をもつ子どもと家族（1）－先天性代謝異常・染色体異常－** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	未定
3	**先天性の疾患をもつ子どもと家族（2）－先天奇形－** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	柴田
4	**先天性の疾患をもつ子どもと家族（3）－子どもの手術の特徴－** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読む 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	未定
5	**手術を受ける子どもと家族** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	未定
6	**子どもと家族のアセスメント（1）** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、アセスメントの視点についてノートにまとめる 事後学修：［60 分］事例のアセスメント・全体像の作成を行う	講義・演習・GW・発表・ディスカッション（討論）・ディベート	全員
7	**子どもと家族のアセスメント（2）** 事前学修：［60 分］全体像の発表資料を整え、準備する 事後学修：［30 分］発表を踏まえ、全体像の修正や追記を行う	講義・演習・GW・発表・ディスカッション（討論）・ディベート	全員

No	内容	形式	教員
8	**障がいのある子どもと家族** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	未定
9	**在宅療養をする子どもと家族** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	鈴木
10	**小児がんの子どもと家族** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
11	**子どもの死** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
12	**災害における子どもと家族の看護** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
13	**子どものこころのケア** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
14	**予防接種** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	鈴木
15	**小児保健／子どもと家族の健康に関する私達の役割と課題** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本

▌教科書

①筒井真優美監修（2019）. 小児看護学 第 8 版. 日総研出版.
②筒井真優美監修（2017）. パーフェクト臨床実習ガイド小児看護 第 2 版. 照林社.

▌参考書、参考資料等

ユニセフ協会著. 子どもの権利条約カードブック. 日本ユニセフ協会.
その他、随時授業で資料を配布する。

▌フィードバックの仕方

子どもと家族のアセスメントなど成果物のフィードバックは授業中の解説および、最終回までに返却を通じて行う。
試験のフィードバックは試験実施後に試験会場にて解答と解説を行う。

▌他の授業科目との関連

この科目は発達看護学実習Ⅱ（子どもと家族の看護）［レベルⅢ］の履修要件となっている。また、2 年次後期に開講された「発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）①」に基づき、より発展的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 15%　2. 子どもと家族のアセスメント成果物（関連図・全体像）5 %　3. 定期試験 80%

▌オフィスアワー・研究室等

各回の授業終了後 30 分間、各講義担当者の研究室で受け付ける。
江本（419 研究室）　山内（443 研究室）　柴田（441 研究室）　鈴木（453 研究室）　未定（　研究室）

▌受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。

既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。
講義形式および、定期試験の方法は変更する可能性がある。

発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護②）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」擁護**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBDN301**

○江本　リナ、山内　朋子、鈴木　健太、柴田　純子、田代　祐子

▌授業の目的

疾患や障がいをもつ子どもの置かれている状況を理解し、子どもと家族が生き生きとその人らしく生活できるよう身体的・精神的・社会的援助について学ぶ。さらに、子どもと家族に対する私たちの役割を保健、医療、福祉、教育及び子どもの権利条約などの面から考える。

▌到達目標

1. 疾患や障がいをもち、さまざまな状況にある子どもと家族の援助を考案することができる。
2. 日本と世界の母子保健の動向を捉えることができる。

▌学習の進め方

AL
1. 授業の展開
講義と討論を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
事例を用いた演習（グループワーク・発表・討論）を通じて学ぶ。
2. 参考資料の提示
授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配布資料に参考資料・参考 DVD を記す。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション／川崎病の子どもと家族** 事前学修：［30 分］「発達看護学概論」「発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護①）」を復習し授業に臨む 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	全員／山内
2	**先天性の疾患をもつ子どもと家族（1）－先天性代謝異常・染色体異常－** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	未定
3	**先天性の疾患をもつ子どもと家族（2）－先天奇形－** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	柴田
4	**先天性の疾患をもつ子どもと家族（3）－子どもの手術の特徴－** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読む 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	未定
5	**手術を受ける子どもと家族** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	未定
6	**子どもと家族のアセスメント（1）** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、アセスメントの視点についてノートにまとめる 事後学修：［60 分］事例のアセスメント・全体像の作成を行う	講義・演習・GW・発表・ディスカッション（討論）・ディベート	全員
7	**子どもと家族のアセスメント（2）** 事前学修：［60 分］全体像の発表資料を整え、準備する 事後学修：［30 分］発表を踏まえ、全体像の修正や追記を行う	講義・演習・GW・発表・ディスカッション（討論）・ディベート	全員

No	内容	形式	教員
8	**障がいのある子どもと家族** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	未定
9	**在宅療養をする子どもと家族** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	鈴木
10	**小児がんの子どもと家族** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
11	**子どもの死** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
12	**災害における子どもと家族の看護** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
13	**子どものこころのケア** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
14	**予防接種** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	鈴木
15	**小児保健／子どもと家族の健康に関する私達の役割と課題** 事前学修：［30 分］該当する教科書の章を読み、ノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返して、ノートにまとめる	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	江本

▌教科書

①筒井真優美監修（2019）. 小児看護学 第 8 版. 日総研出版.
②筒井真優美監修（2017）. パーフェクト臨床実習ガイド小児看護 第 2 版. 照林社.

▌参考書、参考資料等

ユニセフ協会著. 子どもの権利条約カードブック. 日本ユニセフ協会.
その他、随時授業で資料を配布する。

▌フィードバックの仕方

子どもと家族のアセスメントなど成果物のフィードバックは授業中の解説および、最終回までに返却を通じて行う。
試験のフィードバックは試験実施後に試験会場にて解答と解説を行う。

▌他の授業科目との関連

この科目は発達看護学実習Ⅱ（子どもと家族の看護）［レベルⅢ］の履修要件となっている。また、2 年次後期に開講された「発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）①」に基づき、より発展的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 15%　2. 子どもと家族のアセスメント成果物（関連図・全体像）5 %　3. 定期試験 80%

▌オフィスアワー・研究室等

各回の授業終了後 30 分間、各講義担当者の研究室で受け付ける。
江本（419 研究室）　山内（443 研究室）　柴田（441 研究室）　鈴木（453 研究室）　未定（　研究室）

▌受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。

既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。
講義形式および、定期試験の方法は変更する可能性がある。

発達看護学Ⅲ（老年期の看護①）

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」擁護**　**「3」連携**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBDN252**

○坂口　千鶴、清田　明美、池田　良輔子、管野　心葉

▌授業の目的

さまざまな健康レベルの老年期にある人とその家族を対象に、その人の生きてきた過程における顕在的・潜在的な能力が最大限に発揮されるよう看護のあり方について学ぶ。

▌到達目標

1. 看護学における老い（Aging）の捉え方について説明できる。
2. 老年期にある人の健康と障害について説明できる。
3. 老年期にある人の価値観や信念を尊重する意味について説明できる。
4. 老年期にある人とその家族の関係性について説明できる。
5. 老年期にある人がおかれている日本の保健医療福祉システムについて説明できる。

▌学習の進め方

AL 授業の前半は講義形式で行うが、後半は学生の疑問や意見を中心に学生間で討論できる時間を設定する。その際、高齢者が生きてきた過程、家族関係、社会的背景等についてリアルに学べる教材（映画、書籍、事例等）を用いる。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション/老い（Aging）とは** 事前学修：［30 分］教科書 p.7～11, 25～27 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：［30 分］授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する。	講義・討論	坂口
2	**老年看護学における老年期の捉え方** 事前学修：［30 分］教科書 p.27～30 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度に記述する。 事後学修：［30 分］授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する。	講義・討論	坂口
3	**老年期の健康と生活援助（1）－老年期における健康と生きがい－** 事前学修：［30 分］教科書 p.12～16、p.30～32 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：［30 分］授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する。	講義・討論	坂口
4	**老年期の健康と生活援助（2）－パターンとしての生活行動と健康維持・増進①－** 事前学修：［30 分］教科書 p.16～21、p.32～35 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：［30 分］授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する（次回授業で提出）	講義・討論	坂口
5	**老年期の健康と生活援助（3）－パターンとしての生活行動と健康維持・増進②－** 事前学修：［30 分］教科書 p.22～24、p.199～207 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：［30 分］授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する（次回授業で提出）	講義・討論	坂口
6	**老年期看護学における倫理的課題（1）－高齢者の尊厳と意思決定－** 事前学修：［30 分］教科書 p.35～43 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：［30 分］授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する（次回授業で提出）	講義・討論	坂口
7	**老年看護学における倫理的課題（2）－高齢者の終末期ケア－** 事前学修：［30 分］教科書 p.207～214 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：［30 分］授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する（次回授業で提出）	講義・討論	坂口

No	内容	形式	教員
8	**高齢者を取り巻く家族への看護(1)－高齢者の健康障害が家族に及ぼす影響と家族支援－** 事前学修：[30 分] 教科書 p.269～287 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で提出)	講義・討論	坂口
9	**高齢者を取り巻く家族への看護(2)－高齢者を看取る家族への支援－** 事前学修：[30 分] 教科書 p.287～292 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で	講義・討論	坂口
10	**高齢者を支える保健医療福祉制度(1)－医療保険制度と高齢者ケア－** 事前学修：[30 分] 教科書 p.293～300 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で	講義・討論	菅野・坂口
11	**高齢者を支える保健医療福祉制度(2)－介護保険制度と高齢者ケア－** 事前学修：[30 分] 教科書 p.301～312 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で	講義・討論	池田
12	**医療を受ける高齢者への看護(1)－受療形態に講じた高齢者の看護－** 事前学修：[30 分] 教科書 p.223～233 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で	講義：討論	清田
13	**医療を受ける高齢者への看護(2)－医療機関における慢性期にある高齢者の看護－** 事前学修：[30 分] 教科書 p.313～316 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で	講義・討論	清田
14	**介護保険施設に暮らす高齢者の看護** 事前学修：[30 分] 教科書 p.316～319 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で	講義・討論	菅野・坂口
15	**在宅高齢者の看護** 事前学修：[30 分] 教科書 p.321～329 を読んで、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程に記述する。 事後学修：[30 分] 授業を通して疑問や意見がどのように変わったのかリアクションペーパーに記述する(次回授業で	講義・討論	池田

▌教科書

川島みどり監修(2015). 老年看護学. 看護の科学社.

▌参考書、参考資料等

参考資料については随時授業内で配布する。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。レポートのフィードバックは、次年度前期科目の発達看護学Ⅲ②の第 1 回目の授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

この科目は、3 年次の発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習(レベルⅢ)の履修要件となっている。また、この科目をもとに、3 年次の発達看護学Ⅲ(老年期の看護)②の授業では、より具体的な看護実践について学ぶ。

▌成績評価の仕方

1. 授業参加度 15 %　2. レポート 25 %　3. 筆記試験 60 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日当日 12:30～13:00　坂口(414 研究室)、清田(431 研究室)、池田・菅野(450 研究室)

発達看護学Ⅲ（老年期の看護②）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」擁護**　**「3」連携**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBDN302**

○千葉　京子、坂口　千鶴、清田　明美、池田　良輔子、管野　心葉

▌授業の目的

老年期にある人の加齢や疾患により生じた健康障害について理解し、老年期にある人がそれぞれの価値・信念に基づいた生き方を選択でき、充実した生活がおくれるための看護のあり方について考える。

▌到達目標

1. 老年期にある人の加齢や疾患の特徴について説明できる。
2. 老年期にある人の加齢や疾患による変化について説明できる。
3. 老年期にある人が自らの健康を目指すうえでの障害について説明できる。
4. 老年期にある人の価値・信念について理解でき、抱えている倫理的課題について説明できる。
5. 老年期にある人の意思決定に基づいた実現可能な目標を設定し、生活の維持・再構成が行われるよう看護のあり方を説明できる。

▌学習の進め方

講義とグループ・ワークを行う。
1. 各回の授業と関連する教科書の内容を読み、その内容に関する疑問や意見を 3 つ、用紙に記入して授業に臨む。授業により自らの疑問が解決したのか、あるいは考えが変化したのか、その他授業に関する感想などを記述し授業終了時に提出する。
2. 初回講義に提示されたペーパーペイシェントに関して、各講義に沿って呈示されたアセスメント項目について分析し、解釈を行う。
3. 事例演習ではグループ・ワークを行う。1 回目の事例演習はアセスメント項目間の関連図をもとにグループ・ディスカッションを行う。2 回目の事例演習は高齢者の加齢や障害を理解し、価値・信念を尊重したうえで考えられる看護上の問題を発表する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション：高齢者の生活と看護＜食べる・飲む＞** 事前学修：［40 分］シラバスを読む。教科書の 45-63 頁を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［40 分］授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	千葉
2	**高齢者の生活と看護＜活動する＞** 事前学修：［40 分］教科書の 79-94 頁を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［40 分］授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	池田
3	**高齢者の生活と看護＜動く・休む＞** 事前学修：［40 分］教科書の 94-122 頁を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［40 分］授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	清田
4	**高齢者の生活と看護＜排泄する＞** 事前学修：［40 分］教科書の 63-78 頁を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［40 分］授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	千葉
5	**高齢者の生活と看護＜安全を維持する＞** 事前学修：［40 分］教科書の 170-179 頁を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［40 分］授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	清田
6	**高齢者の生活と看護＜感じる＞** 事前学修：［40 分］教科書の 123-135 頁を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［40 分］授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	千葉
7	**高齢者の生活と看護＜清潔を保持する＞** 事前学修：［40 分］教科書の 179-191 頁を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［40 分］授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	管野
8	**高齢者の生活と看護＜理解する＞** 事前学修：［40 分］教科書の 135-156 頁を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［40 分］授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	千葉
9	**高齢者の生活と看護＜コミュニケーションする＞** 事前学修：［40 分］教科書の 157-169 頁を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［40 分］授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	千葉

No	内容	形式	教員
10	**高齢者の生活と看護＜セクシュアリティ＞** 事前学修：［40 分］教科書の 192-199 頁を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［40 分］授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	千葉
11	**事例演習 1（グループワーク）** 事前学修：［40 分］アセスメントを作成する 事後学修：［40 分］グループワークで作成した資料を読み返す	GW	清田・池田・管野・千葉・坂口
12	**医療を受ける高齢者への看護＜手術・リハビリテーション＞** 事前学修：［40 分］教科書の 240-267 頁を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［40 分］授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	坂口
13	**医療を受ける高齢者への看護＜薬物療法＞** 事前学修：［40 分］教科書の 233-240 頁を読み、質問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［40 分］授業内容に該当するアセスメント項目を作成する	講義・討論	千葉
14	**事例演習 2（グループワーク）発表** 事前学修：［40 分］事例の看護問題とケア計画を作成する 事後学修：［40 分］発表時に得たアドバイスをもとに作成資料を検討する	発表・討論	清田・池田・管野・千葉・坂口
15	**老年期の看護のまとめ** 事前学修：［40 分］授業の配布資料を読み返す 事後学修：［40 分］授業の配布資料および演習資料を読み返す	振り返り・その他	千葉・坂口・清田・池田・管野

▌教科書

川嶋みどり監修 (2015). 老年看護学. 看護の科学社.

▌参考書、参考資料等

参考図書は適宜紹介する。授業担当教員作成による資料は随時配布する。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験の終了直後あるいは前期中に解説資料を配布する。

▌他の授業科目との関連

本授業は 3 年次の発達看護学実習Ⅲ（老年期の看護）［レベルⅢ］の履修要件となっている。
2 年次前期開講の「発達看護学概論」および後期開講の「発達看護学Ⅲ（老年期の看護）①」で学んだ内容に基づき展開する。
3 年次前期開講の「健康レベル別看護学演習Ⅱ」では、本授業で学んだ知識をもとに高齢者への看護技術を演習する。

▌成績評価の仕方

1. 事前学習で記述した 3 つの疑問や意見 10 %　2. アセスメント記録・グループワーク 20 %　3. 筆記試験　70 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業翌日の 12：20〜13：00、担当教員の研究室で質問を受ける。
坂口（414 研究室）、千葉（429 研究室）、清田（431 研究室）、池田・管野（450 研究室）

▌受講上の注意事項

事前学習により疑問や意見を明確化し、授業に積極的に参加すること。

プライマリーヘルスケア

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」関係**　**「2」擁護**　**「3」連携**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHN250**

〇井口　理、石田　千絵

▌授業の目的

看護専門職としてプライマリーヘルスケアの概念を学んだうえで、在宅療養者・家族の特性と看護ニーズを理解し、在宅療養者を支える看護や地域包括ケアシステムの基本を学ぶ。

▌到達目標

1. プライマリーヘルスケアの概念を説明できる。
2. 在宅療養者・家族の特性と看護ニーズについて説明できる。
3. 在宅療養者を支える訪問看護師と多職種の役割を理解できる。
4. 在宅療養を支える地域包括ケアシステムについて説明できる。

▌学習の進め方

基本的に講義形式とする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**プライマリーヘルスケアと在宅看護の社会背景・概要** 事前学修：［15 分］プライマリーヘルスケアの概念について調べ、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	石田
2	**在宅療養を支える看護①　脳血管障害・リハビリと地域包括ケアシステム** 事前学修：［15 分］自宅改修と福祉用具について、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	井口
3	**在宅療養を支える看護②　小児、難病・障がい** 事前学修：［15 分］家族看護の概要について、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	石田
4	**在宅療養を支える看護③　精神疾患** 事前学修：［15 分］べてるの家の概要を調べて、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	井口
5	**在宅療養を支える看護④　訪問看護の魅力** 事前学修：［15 分］訪問看護の成立要件について、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	石田
6	**在宅療養を支える看護⑤　認知症、プライマリーヘルスケアと地域包括ケアシステム** 事前学修：［15 分］新オレンジプランについて、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	井口
7	**在宅療養を支える看護⑥　老衰・がんの終末期** 事前学修：［15 分］がんのトータルペインについて、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義	石田
8	**在宅療養を支える看護⑦　在宅における看護過程** 事前学修：［15 分］「自分らしさ」について考え、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］配布資料と教科書を読み直し、理解を深める。	講義・演習	石田

▌教科書

1. 臺有桂、石田千絵、山下瑠理子編集：ナーシング・グラフィカ　在宅看護論①　地域療養を支えるケア，　メディカ出版（最新版）
2. 臺有桂、石田千絵、山下瑠理子編集：ナーシング・グラフィカ　在宅看護論②　地域療養を支える技術，　メディカ出版（最新版）

▌参考書、参考資料等

鈴木和子　渡辺裕子：家族看護学　日本看護協会出版会（最新版）
その他、適宜、紹介する。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験後に解説を行う。

▌他の授業科目との関連

3 年次以降の在宅看護学では本科目の知識が基礎となる。保健師教育課程を選択した場合には、訪問看護師との地域連携において重要な

関連科目となる。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み(20%)、定期試験(80%)

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-13:00　石田(432 研究室)井口(〇〇研究室)

▌受講上の注意事項

１．授業内容と日程は変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
２．欠席や遅刻は、減点の対象となる。また、歩く、関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性がある。
３．試験はマークシート方式とする。(変更の際は、事前に伝える)。

▌その他

HBHN250

慢性期ケア

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHN200**

〇田中　孝美、本庄　恵子、池田　圭子、河田　照絵、桑原　雄三、守谷　千明

▌授業の目的

1. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴を理解するための概念について学ぶ。
2. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴を理解し、慢性の各期(局面)に応じて変化するケアについて学ぶ。
3. 慢性疾患の病態を踏まえ、病いとともに生活する人々が直面する困難を理解し、長期にわたり様々な療養法を行っていく人々への看護の実際について理解を深める。

▌到達目標

1. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴について説明できる。
2. 慢性の各期(局面)に応じて変化するケアについて説明できる。
3. 慢性疾患をもつ人の病態を踏まえ、病いとともに生活する人々が直面する困難を説明できる。
4. 長期にわたり様々な療養法を行っていく慢性疾患をもつ人への看護支援について説明できる。
5. 慢性疾患をもちながら生きる人への看護支援を考察することができる。

▌学習の進め方

AL

・教科書と配布資料に基づいた講義を通して、基礎的な知識を学修する。
・事例やディスカッションを通して、病いとともに生活する人々の立場に近づき、必要な看護ケアへの理解を深める。
・各回の学修は、時間割に基づき、対面授業、遠隔(同時双方向型)授業、Glexa を活用してすすめる。
・各授業における課題や感想、意見等を期日までに提出することで「出席」とみなす。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**慢性疾患をもちながら生きるということ(病みの軌跡とケア)** **内分泌・代謝系の慢性疾患をもつ人へのケア** **糖尿病の病態生理、主な治療(食事療法、運動療法、薬物療法)、糖尿病をもつ人への看護について** 事前学修：[45 分] 教科書 113-136 ページを読み、病みの軌跡についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組み Glexa へ提出する。事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	田中
2	**内分泌・代謝系の慢性疾患をもつ人へのケア①** 事前学修：[45 分] 1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、内分泌・代謝系の解剖生理や病態について復習する。教科書 306-345 ページを読み、代謝障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	池田
3	**内分泌・代謝系の慢性疾患をもつ人へのケア②** 事前学修：[45 分] 1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、内分泌・代謝系の解剖生理や病態について復習する。教科書 306-345 ページを読み、代謝障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	池田
4	**慢性疾患をもつ人のリハビリテーション・障害受容** 事前学修：[45 分] 教科書 113-136 ページを読み、慢性期に特徴的な概念や理念についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：[45 分] 事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	田中

No	内容	形式	教員
5	**呼吸器系の慢性疾患をもつ人へのケア** 事前学修：［45 分］1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、呼吸器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 196-219 ページを読み、呼吸器系機能障害をもつ人への看護について予習してのぞむ。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	田中
6	**循環器系の慢性疾患をもつ人へのケア** 事前学修：［45 分］1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、循環器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 220-257 ページを読み、循環器系機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	守谷・田中
7	**消化器系の慢性疾患をもつ人へのケア①** 事前学修：［45 分］1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、消化器系の解剖生理や病態を復習する。教科書 258-287 ページを読み、消化器系機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	河田
8	**消化器系の慢性疾患をもつ人へのケア②** 事前学修：［45 分］1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、消化器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 293-304 ページを読み、肝・膵機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	河田
9	**運動器系の慢性疾患をもつ人へのケア** 事前学修：［45 分］1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、運動器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 410-446 ページを読み、運動機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	桑原・河田
10	**脳・神経系の慢性疾患をもつ人へのケア①** 事前学修：［45 分］脳・神経系の解剖生理や病態について復習する。教科書 389-409 ページを読み、脳神経系機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	田中
11	**脳・神経系の慢性疾患をもつ人へのケア②** 事前学修：［45 分］脳・神経系の解剖生理や病態について復習する。教科書 389-409 ページを読み、脳神経系機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	田中
12	**造血器腫瘍をもつ人へのケア** 事前学修：［45 分］1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、造血器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 346-351 ページを読み、防御機能障害をもつ人への看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	河田
13	**腎・泌尿器系の慢性疾患をもつ人へのケア** 事前学修：［45 分］］1 年次に学習した教科書や資料を読み返し、腎・泌尿器系の解剖生理や 病態について復習する。教科書 447-497 ページを読み、腎・尿路系機能障害をもつ人への 看護についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	池田

No	内容	形式	教員
14	**慢性疾患と共に生きる人の療養法と特徴** 事前学修：［45 分］教科書 113-136 ページを読み、慢性疾患をもつ人の特徴や慢性期の捉え方についてノートにまとめる。Glexa で提示される事前学修課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	本庄
15	**慢性期ケアとは** 事前学修：［45 分］Glexa で提示される事前学修課題 (慢性期ケアに関連する内容)に取り組む 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み Glexa へ提出する。後日 Glexa で提示する事後課題の解説や受講生からの質問へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する。	講義・討論	本庄

▌教科書

黒田裕子編(2013). 成人看護学(第 2 版). 医学書院.

▌参考書、参考資料等

1 年次の人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ～Ⅳの教科書。他は、適宜、紹介・提示する。

▌フィードバックの仕方

・事前・事後課題に関しては、授業内での学修につなげるとともに、授業後に資料等を用いた解説を Glexa 上で個別もしくは全体にフィードバックする。※基本的に授業後 2 週間以内に行う。
・定期試験に関しては、試験終了後に資料等を用いて Glexa 上で解説を行う。

▌他の授業科目との関連

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件科目である。
発達看護学(成人期の看護)、急性期ケア、健康レベル別看護学演習Ⅰと関連している。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み(事前事後課題：15 回× 3 点) 45 %、定期試験 55 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:20～12:50。授業開講期間内 Glexa メール等での問合せにも随時対応します。
田中(449 研究室)、河田(446 研究室)、本庄(442 研究室)、池田(421 研究室)、　桑原(***研究室)、　守谷(***研究室)

▌受講上の注意事項

・Web 環境などの事情で、指定された期日までに Glexa にアクセスできない場合には、事前に教員に連絡をしてください。
・COVID-19 感染症等の状況により、変更の可能性があります。変更がある場合には、Glexa メール等で全員にお知らせします。

急性期ケア

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBHN201**

〇三浦　英恵、林　宗博、池田　圭子、河田　照絵、桑原　雄三、守谷　千明

▌授業の目的

様々な疾患により侵襲的治療や検査を受ける人とその家族を援助するために、生命の維持・回復に向けた看護の基礎的知識と看護援助方法について理解する。

▌到達目標

1. 急激な身体侵襲を受けて急性期にある人とその家族の特徴について説明できる。
2. 急性期にある人と家族の生命の維持・回復の促進に必要な看護の基礎的知識について説明できる。
3. 急性期にある人とその家族の回復過程に応じた看護援助を考案できる。

▌学習の進め方

AL

対面および同時双方向型のオンライン環境での講義や Glexa を用いたオンデマンド型の教材（事前・事後課題を含む）を活用して、主体的に学びを深める。

・授業の展開：教科書・配布する資料、Glexa に掲載する教材等に基づき講義を行い、基礎的な知識を学修する。
・事例検討などの時間を設け、学生が意見交換をしながら講義内容の理解を深められるようにする。
・授業終了時に配布する「感想・意見」の用紙に記入し、自己の学びを深める。
・看護学実習で活用できるように参考資料を提示し、興味関心のある分野について学生個々で学びを発展させる。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション：急性期ケアとは、周手術期ケア①（手術前のケア）** 事前学修：［45 分］シラバスおよび教科書 p.91-98 の「手術前のケア」に関する内容を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	三浦・河田
2	**周手術期ケア②（手術室のケア）** 事前学修：［45 分］教科書 p.87-90、101-105 の「手術室のケア」に関する内容を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	河田
3	**周手術期ケア③（術後のケア）** 事前学修：［45 分］教科書 p.90-91、105-112 の「術後のケア」に関する内容を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	河田
4	**化学療法を受ける患者へのケア** 事前学修：［45 分］教科書 p.152-158 の「化学療法」に関する内容を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	池田
5	**放射線療法を受ける患者へのケア** 事前学修：［45 分］教科書 p.158-162 の「放射線療法」に関する内容を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	池田
6	**生殖器系の手術を受ける患者へのケア** 事前学修：［45 分］1 年次に学修した乳房および子宮の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.508-515、521-528 を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	河田

No	内容	形式	教員
7	**消化器系の手術を受ける患者へのケア①** 事前学修：［45 分］1 年次に学修した食道、胃、小腸、大腸の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.275-282、289-291 を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	桑原
8	**消化器系の手術を受ける患者へのケア②** 事前学修：［45 分］1 年次に学修した肝臓、胆のう、膵臓の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.300-302 を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	守谷
9	**腎・泌尿器系の手術を受ける患者へのケア** 事前学修：［45 分］1 年次に学修した腎臓および男性泌尿器の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.460-462、515-520 を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	池田
10	**救急医療の現況と急性期医療から医療全体の流れ** 事前学修：［45 分］初期救急医療体制、第 2 次救急医療体制、第 3 次救急医療体制の違いについて、調べノートにまとめる。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書を読み返し復習する。	講義・討議	林
11	**侵襲（外傷・感染等）やショックの病態・観察・治療管理、救急医療の実際** 事前学修：［45 分］教科書 p.46-82 の侵襲・意識レベル・ショックとその対応・多臓器障害・外傷に関する内容をよく読みノートにまとめる。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書を読み返し復習する。	講義・討議	林
12	**呼吸器系の手術を受ける患者へのケア** 事前学修：［45 分］1 年次に学修した呼吸器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.215-217 を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	三浦
13	**循環器系の手術を受ける患者へのケア** 事前学修：［45 分］1 年次に学修した循環器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.233-240、247-252 を読み、ノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	三浦
14	**運動器系の手術を受ける患者へのケア** 事前学修：［45 分］1 年次に学修し運動器系の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.429-438 を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	三浦
15	**脳神経系の手術を受ける患者へのケア、まとめ** 事前学修：［45 分］1 年次に学修した脳神経系の解剖生理や病態について復習する。教科書 p.398-405 を読みノートにまとめる。Glexa 内に提示する事前課題に取り組む。 事後学修：［45 分］事後課題に取り組み、Glexa へ提出する。配布資料や教科書、フィードバック資料を読み返し復習する。	講義・討議	三浦

▌教科書

黒田裕子編（2013）．成人看護学（第 2 版）．　医学書院.

▌参考書、参考資料等

坂井建雄・岡田隆夫（2018）．系統看護学講座　人体の構造と機能［1］　解剖生理学（第 10 版）．医学書院.
その他、適宜、紹介・提示する。

▌フィードバックの仕方

授業の感想・意見の紹介やフィードバック、授業内容、事前・事後課題についての補足説明や解説は、原則として授業開始前までに Glexa に提示する。定期試験の解説・フィードバックは、定期試験終了後、後期授業開始前までに Glexa 内で提示する。

▌他の授業科目との関連

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件科目である。
人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの理解に基づき、より発展的な内容を取り扱う。
また、発達看護学(成人期の看護)、慢性期ケア、健康レベル別看護学演習Ⅰと関連している。

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前・事後課題や授業の内容・感想の提出等：15 回× 3 点)：45 %　2. 筆記試験：55 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：20〜12：50。授業開講期間内は、Glexa メール等での質問、問い合わせにも随時対応します。
三浦(444 研究室)、河田(446 研究室)、池田(421 研究室)、桑原(〇〇研究室)、守谷(〇〇研究室)

▌受講上の注意事項

・主体的な参加を期待します。
・Web 環境などの事情で、指定された期日までに受講が難しい場合は事前に教員に連絡をしてください。
・COVID-19 感染症等の状況により、変更の可能性があります。変更がある場合には、Glexa メール等で全員にお知らせいたします。

緩和・終末期ケア

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**3 年・編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」擁護**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBHN301**

〇吉田　みつ子、田中　孝美、遠山　義人

▌授業の目的

緩和ケア（パリアテイブ・ケア）、終末期（エンド・オブ・ライフ）ケアに関する諸概念・諸課題について学習し、緩和ケア、終末期ケアを必要とする人々への援助方法論を深める。

▌到達目標

1. 緩和ケアに関わる諸概念等、援助の基本的な考え方などの知識を学び実践につなげることができる。
2. がん、慢性疾患等によって、患者や家族が抱える問題や苦痛について理解を深め、緩和ケア、終末期ケアの必要性を具体的な事例を通して、学ぶことができる。
3. 人間の尊厳と権利擁護、倫理的問題など、現代的な諸課題に対する看護実践のあり方や看護の役割などを考察することができる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開：講義を行うとともに、ビデオ、事例等を提示し、学生がデイスカッションする時間を設ける。
2. 「感想・意見」の記入：授業途中で、デイスカッション等を踏まえ、感想・意見・質問を記入する。
3. 意見交換・共有：記入された感想・意見・質問等について紹介しながら、全体討議を行う。
4. 参考資料の提示：授業内に使用した DVD、事例、参考文献等を紹介し、学生がさらに自己学習できるようにする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**緩和ケア・終末期ケア概論** 事前学修：［30 分］教科書の該当ページを読み、緩和ケアの概念について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論	吉田
2	**がん疾患の緩和ケア・終末期ケアにおける身体症状・精神症状とその治療・看護** 事前学修：［30 分］実習で受け持った患者の身体的・精神的苦痛とその緩和について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論	吉田・遠山
3	**心理社会的側面のケア、意思決定支援とコミュニケーション** 事前学修：［30 分］実習で受け持った患者の心理社会的苦痛とその緩和について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論	吉田・遠山
4	**家族ケア** 事前学修：［30 分］教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論	吉田
5	**非がん疾患の緩和ケア・終末期ケア (1) 非がん疾患の緩和ケアとは（２）神経疾患・慢性心不全の緩和ケア** 事前学修：［30 分］教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論	田中
6	**非がん疾患の緩和ケア・終末期ケア (3) 腎不全・慢性閉塞性肺疾患・認知症の緩和ケア** 事前学修：［30 分］教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論	田中
7	**在宅における緩和ケア・終末期ケア** 事前学修：［30 分］教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論	田中
8	**スピリチュアルケア、臨死期のケア、緩和ケアと倫理** 事前学修：［30 分］教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］感想の記入、クイズに取り組む	講義・討論	吉田

▌教科書
宮下光令編 (2016). ナーシング・グラフィカ 成人看護学 (6)：緩和ケア　第 2 版. メデイカ出版.

▌参考書、参考資料等
各回の授業時に紹介する

▌フィードバックの仕方
適宜コメントを付け返却する（グレクサ）。試験のフィードバックは、試験実施 3 週間以内に答案および解説資料の配布により行う。返却期間、場所はグレクサルにて連絡する。

▌他の授業科目との関連
4 年次総合実習において、緩和ケア領域の実習を希望する学生は必ず履修すること。

▌成績評価の仕方
1. 感想の記入・提出、クイズの取り組み 40%　2. 定期試験　60 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:20〜12:50：吉田（448 室）　田中（449 室）　遠山（453 室）

健康レベル別看護学演習 I

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHN251**

○河田　照絵、三浦　英恵、田中　孝美、吉良　理絵、池田　圭子、鬼頭　幸子、遠山　義人、髙田　由紀子、桑原　雄三、守谷　千明、吉田　里奈

▌授業の目的

健康レベル(急性期、慢性期)に合わせた適切な看護援助が提供できるよう、応用的な援助技術を習得する。

▌到達目標

1. 輸液療法について理解し、管理できる。
2. 術後患者の身体観察、創部の観察、ドレッシング、ドレーンの観察と管理等、一連の術後ケアを理解し、実施できる。
3. 経管栄養法について理解し、管理できる。
4. 血糖管理法を理解し、血糖自己測定ができる。
5. モニター心電図測定、12 誘導心電図測定等の循環器に関わるケアについて理解し、実施できる。
6. 気管吸引等の呼吸器ケアを理解し、実施できる。

▌学習の進め方

1. 対面での学内演習並びに Glexa を活用したオンデマンド型授業を組み合わせて行う。配布物とともに Glexa の各回に保存されているコンテンツを必ず確認すること。
2. 事前学修をふまえた授業の展開：演習要項や各回の Glexa で提示する事前課題に取り組み、自己学修を行っていることを前提に授業をすすめる。重要なポイントを確認しながら理解を深めること。
3. 技術演習ではケアを提供する対象者の体験を想像しながらケアを実施する。演習時にはグループで意見交換し、互いにフィードバックすることで演習での学びを深め、今後のケアの活かせるよう理解を深める。
4. 事後課題への取り組み：各回に提示される事後課題に取り組み、学修内容を振り返り自らの修得状況を把握する。オフィスアワーを活用し、自己学修を行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション・事前課題** 事前学修：[60 分] シラバスのスケジュールを確認し、各演習で学習する内容について教科書を読み、技術演習に必要な既習の知識をノートにまとめて臨む。 事後学修：[60 分] 各演習内容の事前学修課題、指定図書・参考 VTR を確認し、学修に必要な資料を確認し、今後の演習に備える。	講義等	担当者全員
2	**輸液療法①** 事前学修：[60 分] 改訂版　写真でわかる臨床看護技術 1　67-106 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
3	**輸液療法②** 事前学修：[60 分] 改訂版　写真でわかる臨床看護技術 1　67-106 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
4	**輸液療法③(中心静脈注射等)** 事前学修：[60 分] 改訂版　写真でわかる臨床看護技術 1　67-106 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員

No	内容	形式	教員
5	**術後ケア①（ドレッシング、ドレーン管理等）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　146-184 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
6	**術後ケア②（術後の観察等）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　146-184 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
7	**術後ケア③（早期離床等）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　185-194 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
8	**経管栄養法・血糖管理法・心電図測定（モニター心電図・12 誘導心電図）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 1　165-188 ページ、改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　99-128 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
9	**経管栄養法・血糖管理法・心電図測定（モニター心電図・12 誘導心電図）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 1　165-188 ページ、改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　99-128 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
10	**経管栄養法・血糖管理法・心電図測定（モニター心電図・12 誘導心電図）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 1　165-188 ページ、改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　99-128 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
11	**経管栄養法・血糖管理法・心電図測定（モニター心電図・12 誘導心電図）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 1　165-188 ページ、改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　99-128 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
12	**呼吸器ケア (胸腔ドレーン)** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　129-145 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
13	**呼吸器ケア（気管吸引法）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　52-64 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員

No	内容	形式	教員
14	**事例を用いた技術の実践①** 事前学修：［60 分］各演習内容について配布資料、事前・事後学修したノートを読み返して臨む。 事後学修：［60 分］実施した演習内容について、教科書や指定図書、配布資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
15	**事例を用いた技術の実践②** 事前学修：［60 分］各演習内容について配布資料、事前・事後学修したノートを読み返して臨む。 事後学修：［60 分］実施した演習内容について、教科書や指定図書、配布資料を読み、復習する。	演習	担当者全員

▌教科書

本庄恵子・吉田みつ子監修(2020). 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1　アドバンス. インターメディカ.
本庄恵子・吉田みつ子監修(2020). 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2　アドバンス. インターメディカ.

▌参考書、参考資料等

吉田みつ子・本庄恵子監修 (2020). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス. インターメデイカ
守田美奈子監修(2020)新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメデイカ.
その他、適宜授業で提示する。

▌フィードバックの仕方

各の講義後に講義内容、質問等をまとめた解説資料の配布を通じて行う。
実技試験のフィードバックは、試験終了後に実技内容を教員と共に振り返りながら行う。
筆記試験のフィードバックは、筆記試験終了後に試験問題と解答の解説を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件科目である。

▌成績評価の仕方

1. 技術試験 30 %　2. 筆記試験 40 %　3. 授業への取り組み(事前/事後学修への取り組み、看護師役・患者役の体験の共有・ディスカッション・振り返り等) 30 %
注意：2/3 以上の出席がない場合、成績評価の対象とならない。

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00　河田(446 研究室)　田中(449 研究室)　三浦(444 研究室)　池田(421 研究室)　桑原(　　研究室)
守谷(　　研究室)　○○(　　研究室)
適宜、技術の自主練習ができる時間を設けるので、是非活用してほしい。日時などの詳細は、授業で配布する資料を参照。

▌受講上の注意事項

実習着とナースシューズを着用し、演習にふさわしい身だしなみで受講して下さい。秒針付時計と聴診器を持参すること。主体的な参加を期待します。

健康レベル別看護学演習 I

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHN251**

〇河田　照絵、三浦　英恵、田中　孝美、吉良　理絵、池田　圭子、鬼頭　幸子、遠山　義人、髙田　由紀子、桑原　雄三、守谷　千明、吉田　里奈

▌授業の目的

健康レベル(急性期、慢性期)に合わせた適切な看護援助が提供できるよう、応用的な援助技術を習得する。

▌到達目標

1. 輸液療法について理解し、管理できる。
2. 術後患者の身体観察、創部の観察、ドレッシング、ドレーンの観察と管理等、一連の術後ケアを理解し、実施できる。
3. 経管栄養法について理解し、管理できる。
4. 血糖管理法を理解し、血糖自己測定ができる。
5. モニター心電図測定、12 誘導心電図測定等の循環器に関わるケアについて理解し、実施できる。
6. 気管吸引等の呼吸器ケアを理解し、実施できる。

▌学習の進め方

1. 対面での学内演習並びに Glexa を活用したオンデマンド型授業を組み合わせて行う。配布物とともに Glexa の各回に保存されているコンテンツを必ず確認すること。
2. 事前学修をふまえた授業の展開：演習要項や各回の Glexa で提示する事前課題に取り組み、自己学修を行っていることを前提に授業をすすめる。重要なポイントを確認しながら理解を深めること。
3. 技術演習ではケアを提供する対象者の体験を想像しながらケアを実施する。演習時にはグループで意見交換し、互いにフィードバックすることで演習での学びを深め、今後のケアの活かせるよう理解を深める。
4. 事後課題への取り組み：各回に提示される事後課題に取り組み、学修内容を振り返り自らの修得状況を把握する。オフィスアワーを活用し、自己学修を行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション・事前課題** 事前学修：[60 分] シラバスのスケジュールを確認し、各演習で学習する内容について教科書を読み、技術演習に必要な既習の知識をノートにまとめて臨む。 事後学修：[60 分] 各演習内容の事前学修課題、指定図書・参考 VTR を確認し、学修に必要な資料を確認し、今後の演習に備える。	講義等	担当者全員
2	**輸液療法①** 事前学修：[60 分] 改訂版　写真でわかる臨床看護技術 1　67-106 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
3	**輸液療法②** 事前学修：[60 分] 改訂版　写真でわかる臨床看護技術 1　67-106 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
4	**輸液療法③(中心静脈注射等)** 事前学修：[60 分] 改訂版　写真でわかる臨床看護技術 1　67-106 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：[60 分] 事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員

No	内容	形式	教員
5	**術後ケア①（ドレッシング、ドレーン管理等）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　146-184 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
6	**術後ケア②（術後の観察等）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　146-184 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
7	**術後ケア③（早期離床等）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　185-194 ページと付属動画などを参考に、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
8	**経管栄養法・血糖管理法・心電図測定（モニター心電図・12 誘導心電図）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 1　165-188 ページ、改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　99-128 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
9	**経管栄養法・血糖管理法・心電図測定（モニター心電図・12 誘導心電図）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 1　165-188 ページ、改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　99-128 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
10	**経管栄養法・血糖管理法・心電図測定（モニター心電図・12 誘導心電図）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 1　165-188 ページ、改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　99-128 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
11	**経管栄養法・血糖管理法・心電図測定（モニター心電図・12 誘導心電図）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 1　165-188 ページ、改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　99-128 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
12	**呼吸器ケア (胸腔ドレーン)** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　129-145 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
13	**呼吸器ケア（気管吸引法）** 事前学修：［60 分］改訂版　写真でわかる臨床看護技術 2　52-64 ページを読み、援助技術の目的、適応、ポイント、エビデンス等を確認しながら知識をノートにまとめ、事前課題に取り組む。 事後学修：［60 分］事後学修課題に取り組む。教科書や指定図書、演習の配布資料、記録用紙内容へのフィードバックをまとめた資料を読み、復習する。	演習	担当者全員

No	内容	形式	教員
14	**事例を用いた技術の実践①** 事前学修：［60 分］各演習内容について配布資料、事前・事後学修したノートを読み返して臨む。 事後学修：［60 分］実施した演習内容について、教科書や指定図書、配布資料を読み、復習する。	演習	担当者全員
15	**事例を用いた技術の実践②** 事前学修：［60 分］各演習内容について配布資料、事前・事後学修したノートを読み返して臨む。 事後学修：［60 分］実施した演習内容について、教科書や指定図書、配布資料を読み、復習する。	演習	担当者全員

▌教科書

本庄恵子・吉田みつ子監修(2020). 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 1　アドバンス. インターメディカ.
本庄恵子・吉田みつ子監修(2020). 新訂版 写真でわかる臨床看護技術 2　アドバンス. インターメディカ.

▌参考書、参考資料等

吉田みつ子・本庄恵子監修 (2020). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス. インターメデイカ
守田美奈子監修(2020)新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメデイカ.
その他、適宜授業で提示する。

▌フィードバックの仕方

各の講義後に講義内容、質問等をまとめた解説資料の配布を通じて行う。
実技試験のフィードバックは、試験終了後に実技内容を教員と共に振り返りながら行う。
筆記試験のフィードバックは、筆記試験終了後に試験問題と解答の解説を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件科目である。

▌成績評価の仕方

1. 技術試験 30 %　2. 筆記試験 40 %　3. 授業への取り組み(事前/事後学修への取り組み、看護師役・患者役の体験の共有・ディスカッション・振り返り等) 30 %
注意：2/3 以上の出席がない場合、成績評価の対象とならない。

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00　河田(446 研究室)　田中(449 研究室)　三浦(444 研究室)　池田(421 研究室)　桑原(　　研究室)
守谷(　　研究室)　○○(　　研究室)
適宜、技術の自主練習ができる時間を設けるので、是非活用してほしい。日時などの詳細は、授業で配布する資料を参照。

▌受講上の注意事項

実習着とナースシューズを着用し、演習にふさわしい身だしなみで受講して下さい。秒針付時計と聴診器を持参すること。主体的な参加を期待します。

健康レベル別看護学演習Ⅱ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」関係**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHN300**

○江本　リナ、千葉　京子、清田　明美、池田　良輔子、鷹野　朋実、堀井　湖浪、古城門　靖子、内藤　なづな、堀川　英起、新田　真弓、加藤　千穂、由利　紗織、山内　朋子、鈴木　健太、柴田　純子、管野　心葉、田代　祐子

▌授業の目的

精神保健上の問題や、それぞれの発達段階に伴う健康上の課題など、さまざまな健康問題やあらゆる発達段階にある人への看護援助を行うための具体的技術を習得する。

▌到達目標

1. 精神保健看護学：他者との相互作用を通して、自分理解、他者理解を深めることができる。
2. 母性看護学：妊産褥婦と新生児の特徴を考慮したうえで、健康診査と新生児の沐浴を実施できる。
3. 小児看護学：子どもの健康診査、バイタルサイン測定、薬物療法、点滴管理を実施できる。
4. 老年看護学：高齢者の特徴を考慮した摂食・嚥下ケア、移乗・移動動作と排泄ケアを実施できる。

▌学習の進め方

AL
技術演習：授業の目的および到達目標を理解して演習に取り組む。実習状況を想定し取り組み、演習後は意見交換することで学習をさらに深める。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**小児看護学演習①　クラス A** **老年看護学演習①　クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
2	**小児看護学演習①　クラス B** **老年看護学演習①　クラス A** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
3	**小児看護学演習②　クラス A** **老年看護学演習②　クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
4	**小児看護学演習②　クラス B** **老年看護学演習②　クラス A** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
5	**小児看護学演習③　クラス A** **老年看護学演習③　クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員

No	内容	形式	教員
6	**小児看護学演習③　クラス B** **老年看護学演習③　クラス A** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
7	**小児看護学演習④　クラス A** **老年看護学演習④　クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
8	**小児看護学演習④　クラス B** **老年看護学演習④　クラス A** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
9	**母性看護学演習①　　クラス A** **精神保健看護学演習①　クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
10	**母性看護学演習②　　クラス A** **精神保健看護学演習②　クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
11	**母性看護学演習①　　クラス B** **精神保健看護学演習①　クラス A** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
12	**母性看護学演習②　　クラス B** **精神保健看護学演習②　クラス A** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
13	**母性看護学演習③　　クラス A** **精神保健看護学演習③ クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる　ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
14	**母性看護学演習④　　クラス A** **精神保健看護学演習④ クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる　ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
15	**母性看護学演習③　クラス B** **精神保健看護学演習③　クラス A** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる　ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員

No	内容	形式	教員
16	**母性看護学演習④　　クラス B** **精神保健看護学演習④　クラス A** 事前学修：［30 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる　ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション（討論）・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員

▌教科書

領域毎に随時提示する

精神保健看護学：武井麻子・小宮敬子他（2020）. 系統看護学講座専門分野Ⅱ　精神看護学②精神看護の展開　第 5 版. 医学書院.

母性看護学：平澤美恵子・村上睦子監修（2020）. 新訂版　写真でわかる母性看護技術アドバンス. インターメディカ.

小児看護学：①筒井真優美監修（2019）. 小児看護学　第 8 版. 日総研出版. ②筒井真優美監修（2019）. パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護　第 2 版. 照林社.

老年看護学：川嶋みどり監修（2015）. 老年看護学　改訂版. 看護の科学社.

▌参考書、参考資料等

領域毎に随時提示する。

▌フィードバックの仕方

領域毎に演習内容は随時フィードバックする。記録・レポートのフィードバックは、授業での解説あるいは解説資料、コメントを付した資料の返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

本科目は精神保健看護学実習［レベルⅢ］と各発達看護学実習［レベルⅢ］の履修要件となっている。

▌成績評価の仕方

各領域 25 %（演習への取り組み 15 %、記録・レポート 10 %）× 4 領域　　合計 100 %

▌オフィスアワー・研究室等

演習終了後の 18:00〜18:30。各演習担当者の研究室。

▌受講上の注意事項

4 領域の演習で構成しているので、オリエンテーション内容を理解して取り組むことを望む。

オリエンテーションは授業開始前に実施するので、オリエンテーションの日時を確認し、必ず出席すること。演習のため出席することが前提となる。

講義形式および、内容は変更する可能性がある。

健康レベル別看護学演習Ⅱ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」関係**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBHN300**

○江本　リナ、千葉　京子、清田　明美、池田　良輔子、鷹野　朋実、堀井　湖浪、古城門　靖子、内藤　なづな、堀川　英起、新田　真弓、加藤　千穂、由利　紗織、山内　朋子、鈴木　健太、柴田　純子、管野　心葉、田代　祐子

▌授業の目的

精神保健上の問題や、それぞれの発達段階に伴う健康上の課題など、さまざまな健康問題やあらゆる発達段階にある人への看護援助を行うための具体的技術を習得する。

▌到達目標

1. 精神保健看護学：他者との相互作用を通して、自分理解、他者理解を深めることができる。
2. 母性看護学：妊産褥婦と新生児の特徴を考慮したうえで、健康診査と新生児の沐浴を実施できる。
3. 小児看護学：子どもの健康診査、バイタルサイン測定、薬物療法、点滴管理を実施できる。
4. 老年看護学：高齢者の特徴を考慮した摂食・嚥下ケア、移乗・移動動作と排泄ケアを実施できる。

▌学習の進め方

AL
技術演習：授業の目的および到達目標を理解して演習に取り組む。実習状況を想定し取り組み、演習後は意見交換することで学習をさらに深める。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**小児看護学演習①　クラス A** **老年看護学演習①　クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
2	**小児看護学演習①　クラス B** **老年看護学演習①　クラス A** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
3	**小児看護学演習②　クラス A** **老年看護学演習②　クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
4	**小児看護学演習②　クラス B** **老年看護学演習②　クラス A** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
5	**小児看護学演習③　クラス A** **老年看護学演習③　クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員

No	内容	形式	教員
6	**小児看護学演習③　クラス B** **老年看護学演習③　クラス A** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
7	**小児看護学演習④　クラス A** **老年看護学演習④　クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
8	**小児看護学演習④　クラス B** **老年看護学演習④　クラス A** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献を読むあるいは課題を行い、ノート(老年)または事前課題用紙 (小児) にまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて課題用紙(老年)またはノート(小児)にまとめ、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	小児看護学担当教員全員 老年看護学担当教員
9	**母性看護学演習①　　クラス A** **精神保健看護学演習①　クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
10	**母性看護学演習②　　クラス A** **精神保健看護学演習②　クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
11	**母性看護学演習①　　クラス B** **精神保健看護学演習①　クラス A** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
12	**母性看護学演習②　　クラス B** **精神保健看護学演習②　クラス A** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
13	**母性看護学演習③　　クラス A** **精神保健看護学演習③ クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる　ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
14	**母性看護学演習④　　クラス A** **精神保健看護学演習④ クラス B** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる　ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員
15	**母性看護学演習③　クラス B** **精神保健看護学演習③　クラス A** 事前学修：[30 分] 事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる　ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員

No	内容	形式	教員
16	**母性看護学演習④　　クラス B** **精神保健看護学演習④　クラス A** 事前学修：［30 分］事前に提示された文献をノートにまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる　ゼミでの討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・演習・GW・ディスカッション（討論）・ディベート	母性看護学担当教員全員 精神保健看護学担当教員全員

▌教科書

領域毎に随時提示する

精神保健看護学：武井麻子・小宮敬子他（2020）. 系統看護学講座専門分野Ⅱ　精神看護学②精神看護の展開　第 5 版. 医学書院.

母性看護学：平澤美恵子・村上睦子監修（2020）. 新訂版　写真でわかる母性看護技術アドバンス. インターメディカ.

小児看護学：①筒井真優美監修（2019）. 小児看護学　第 8 版. 日総研出版. ②筒井真優美監修（2019）. パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護　第 2 版. 照林社.

老年看護学：川嶋みどり監修（2015）. 老年看護学　改訂版. 看護の科学社.

▌参考書、参考資料等

領域毎に随時提示する。

▌フィードバックの仕方

領域毎に演習内容は随時フィードバックする。記録・レポートのフィードバックは、授業での解説あるいは解説資料、コメントを付した資料の返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

本科目は精神保健看護学実習［レベルⅢ］と各発達看護学実習［レベルⅢ］の履修要件となっている。

▌成績評価の仕方

各領域 25 %（演習への取り組み 15 %、記録・レポート 10 %）× 4 領域　　合計 100 %

▌オフィスアワー・研究室等

演習終了後の 18:00〜18:30。各演習担当者の研究室。

▌受講上の注意事項

4 領域の演習で構成しているので、オリエンテーション内容を理解して取り組むことを望む。

オリエンテーションは授業開始前に実施するので、オリエンテーションの日時を確認し、必ず出席すること。演習のため出席することが前提となる。

講義形式および、内容は変更する可能性がある。

地域看護学

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」連携　「2」実践　「3」関係**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBCH150**

〇石田　千絵、吉川　悦子、井口　理、湯淺　晶子

▌授業の目的

地域で生活する人びとの健康や QOL の向上をめざした地域看護における活動の場と看護職の役割を理解する。

▌到達目標

1. 地域における看護職の活躍の場と役割について理解できる。
2. 看護の継続の必要性や地域連携の重要性を理解できる。
3. 国内の社会情勢に応じた看護ニーズの変化と対応を理解できる。
4. 諸外国の社会情勢と看護活動を理解し、考察することができる。

▌学習の進め方

講義・演習・グループワークを通して、地域看護活動について理解を深める。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**健康とは　社会の変化と健康課題** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページ（第 4.5 章）を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・GW	石田
2	**在宅療養における健康ニーズ** 事前学修：［15 分］文字盤の使い方に関して学び、A4 用紙数枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す。	講義・演習	石田
3	**公衆衛生看護の展開方法①　地域診断** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページ（第 1 章、第 10 章）を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・演習	井口
4	**地域看護・公衆衛生看護の理念・概念①** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・GW	吉川
5	**地域看護・公衆衛生看護の理念・概念②** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
6	**地域看護活動の場と特性①　行政機関** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	井口
7	**地域看護活動の場と特性②　職域保健** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	湯淺
8	**地域看護活動の場と特性③　学校保健** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
9	**地域看護活動の場と特性④　在宅療養** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	石田
10	**公衆衛生看護の対象①　母子保健** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	石田
11	**公衆衛生看護の対象②　成人保健** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	湯淺
12	**公衆衛生看護の対象③　高齢者保健** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す。授業で指定された宿題を実施する	講義・GW	井口

No	内容	形式	教員
13	**公衆衛生看護の展開方法②　施策化** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・GW	井口
14	**国際協力と地域看護** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
15	**健康危機管理** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	石田

▌教科書
標美奈子他、標準保健師講座.1　公衆衛生看護学概論（第 5 版）医学書院　2020 年

▌参考書、参考資料等
適宜、紹介する。

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは、試験実施後 2 週間以内に指定した教室、時間にて試験問題と採点基準の解説を通じて行う。具体的な日時、場所については定期試験時間割発表時に提示する。

▌他の授業科目との関連
2 年次以降で学習するプライマリーヘルスケア、在宅看護学など地域関連科目及び保健師教育課程選択者の準備科目である。

▌成績評価の仕方
授業への取り組み（20 %）、定期試験（80 %）

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:20～12:50。
石田（432 研究室）　吉川（425 研究室）井口（452 研究室）　湯淺（445 研究室）

▌受講上の注意事項
１．授業内容と日程は変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
２．欠席や遅刻は、授業への取り組み不足として減点の対象となる。また、歩く、関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性がある。
３．試験はマークシート方式とする（変更の際は、事前に伝える）。

公衆衛生看護活動論

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」成長**　**「2」実践**　**「3」連携**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBCH250**

〇吉川　悦子、湯淺　晶子、井口　理、石田　千絵

▌授業の目的

あらゆるライフステージ、健康レベルにある人々とその生活をライフサイクル、健康課題別にとらえ、個人・家族・集団を対象とした公衆衛生看護活動を展開するために必要な知識と方法について具体的に理解する。

▌到達目標

1. 母子、成人、高齢者、障害者(児)、精神、感染症など地域で生活する人々を対象とした保健活動とその活動を支える法的基盤について説明できる。
2. 地域の人々と協働して地域の健康課題を改善し、健康増進能力を高める保健師の支援について考えることができる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開：講義のほか、資料や動画を利用し参加型学習を中心に展開し、知識と共に実践力を高める。
2. 参考資料の提示：学びを深められるよう、適宜参考資料や情報を提示する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション：日本の公衆衛生看護活動の流れ** 事前学修：［20 分］1 年次の地域看護学の教科書や配布資料に目を通し、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義	吉川
2	**母子保健活動の歴史と理念、目的** 事前学修：［20 分］教科書の第 1 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［20 分］授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	井口
3	**母子保健活動の実際と課題** 事前学修：［20 分］前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義・演習	井口
4	**成人保健活動の歴史と理念、目的** 事前学修：［20 分］教科書の第 2 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［20 分］授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	湯淺
5	**成人保健活動の実際と課題** 事前学修：［20 分］前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義・演習	湯淺
6	**高齢者保健活動の歴史と理念、目的** 事前学修：［20 分］教科書の第 3 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［20 分］授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	井口
7	**高齢者保健活動の実際と課題** 事前学修：［20 分］前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義・演習	井口
8	**障害者(児)保健活動の歴史と理念、目的** 事前学修：［20 分］教科書の第 5 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［20 分］授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	吉川
9	**障害者(児)保健活動の実際と課題** 事前学修：［20 分］前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義・演習	吉川
10	**精神保健活動の歴史と理念、目的** 事前学修：［20 分］教科書の第 4 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［20 分］授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	吉川

No	内容	形式	教員
11	**精神保健活動の実際と課題** 事前学修：［20 分］前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義・演習	吉川
12	**難病保健活動の歴史と理念、目的** 事前学修：［20 分］教科書の第 6 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［20 分］授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	石田
13	**難病保健活動の実際と課題** 事前学修：［20 分］前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義・演習	石田
14	**感染症保健活動の歴史と理念、目的** 事前学修：［20 分］教科書の第 7 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［20 分］授業で出された課題について調べ、まとめる	講義	吉川
15	**感染症保健活動の実際と課題** 事前学修：［20 分］前回の授業資料で不明だったことを教科書を再確認しながら見直しておく 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義・演習	吉川

▌教科書

中谷芳美、山口忍、奥野ひろみ他(2018)．標準保健師講座・３　対象別公衆衛生看護活動(第 4 版)医学書院.

▌参考書、参考資料等

１．厚生労働統計協会編、国民衛生の動向 2021/2022 年、厚生労働統計協会、2021、東京
２．東京の母子保健(東京都福祉保健局)令和２年１月改訂版､URL　https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/koho/tokyo_no_boshihoken.fil
発達看護学で使用した資料など。 その他授業時に紹介する。

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了後の解説講座を通じて、または、試験実施後 3 週間以内に吉川研究室にて、採点後の答案用紙の閲覧と採点基準の解説を通じて行う。フィードバック実施可能な時間はポータルで連絡するので希望者する場合は提示された時間に来ること。受講者人数によりいずれかの方法を選択するので、授業時間内にアナウンスする。

▌他の授業科目との関連

この科目は保健師教育課程の選択必修科目であり、保健師教育課程の履修には、2 年次での単位修得が必要です。

▌成績評価の仕方

1．筆記試験 80 %　　2．授業への取り組み 20%

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：30～12：50
吉川(425 研究室)井口(452 研究室)　湯淺(445 研究室)　石田(432 研究室)

▌受講上の注意事項

＊この科目は保健師国家試験受験資格取得者の選択必修科目です。

保健福祉行政論

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年・編入 4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」連携**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBCH400**

○櫻山　豊夫

▌授業の目的

公衆衛生の目的は、健康を社会全体にもたらすことであり、この授業ではそれを実践するための保健・医療・福祉行政のしくみについての理解を深めることを目的とする。

▌到達目標

1. 健康の社会的決定要因について説明できる。
2. 保健医療福祉行政の理念としくみについて説明できる。
3. 公衆衛生全般について説明できる。
4. 衛生行政関連の法令や制度について説明できる。

▌学習の進め方

1. 講義の展開
   講義とディスカッションを通して保健福祉行政についての理解を深める。
2. 参考資料の提示
   授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、適宜、参考資料を提示する。
3. 教室外学習
   事前学習で「自ら学ぶ」習慣を身につける。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション、保健福祉行政概説** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、序章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。可能であれば参考書②を参照しておくことが望ましい。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
2	**公衆衛生の歴史** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、１章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
3	**保健福祉行政の歴史、新たな課題と政策の発展** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、１章、２章Ａを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
4	**保健、医療、福祉に係る、国の行政のしくみ** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、２章Ａ・Ｂを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
5	**保健、医療、福祉に係る、地方公共団体の行政のしくみ** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、２章Ａ・Ｂを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
6	**保健医療福祉の財政** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、２章Ｃを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
7	**公衆衛生に関する国際的な活動** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、２章Ｄを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山

No	内容	形式	教員
8	**社会保障制度概論** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、３章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
9	**年金保険制度、健康保険制度、その他の社会保障制度** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、３章Ｃ・Ｄを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
10	**地域保健の体系** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、４章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
11	**保健師活動** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、２章Ｂを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
12	**健康危機管理** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、３章Ｂを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。可能であれば、参考書①などで、健康危機の概念についても予習しておくことが望ましい。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
13	**医療提供体制と医療安全対策** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、３章Ｂを読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。可能であれば参考書①を参照しておくことが望ましい。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
14	**医療計画** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、３章Ｂ、５章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山
15	**保健福祉計画と評価** 事前学修：［30 分］授業の開始前に教科書の、５章を読み、要点・疑問点などをノートにまとめておくこと。 事後学修：［30 分］授業内容をよく復習し、要点をノートにまとめておくこと。	講義・ディスカッション	櫻山

▌教科書

藤内修二，他 (2021) 標準保健師講座別巻 1「保健医療福祉行政論」(第 5 版)，医学書院.

▌参考書、参考資料等

①櫻山豊夫; 知っておきたい医療監視・指導の実際，医学書院
②栗原敏，他；医療入門―よりよいコラボレーションのために，医学書院
③宮崎美砂子、他；最新公衆衛生看護学　第 3 版　2020 年版　各論２、日本看護協会出版会

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

▌他の授業科目との関連

保健師教育課程の科目に関連します。

▌成績評価の仕方

1. 授業への参加度　25 %　　2. 筆記試験　75 %

▌オフィスアワー・研究室等

講義終了後、講義室前ラウンジにて個別の質問に対応します。

▌受講上の注意事項

既習知識の確認をしながら進めますので、予習、復習をして主体的に授業に参加してください。
＊この科目は、保健師国家試験受験資格取得者の選択必修科目です。

疫学

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」成長**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBCH251**

○川﨑　洋平

▌授業の目的

人間集団を対象として疾病の原因を解明し予防するための学問である疫学の考え方を学ぶ。
EBN において根拠を与える疫学の方法について学ぶ。
集団の健康状態を把握するための指標について学ぶ。

▌到達目標

1．疫学に関する用語とその意味を正しく説明できる。
2．疫学研究の方法を説明できる。
3．疫学にあらわれる様々な指標の意味を説明し、計算できる。
4．疫学データの解析結果を解釈できる。

▌学習の進め方

授業の展開：講義を主体とするが、演習を適宜行って、理解を着実にする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	**疫学の基本概念(１)：疫学的な考え方** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平
2	**疫学の基本概念(２)：疫学の基本用語** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平
3	**疫学の基本概念(３)：疫学的な因果関係** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平
4	**疫学での指標(１)：疫病頻度の指標** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平
5	**疫学での指標(２)：暴露効果を表す指標** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平
6	**疫学での指標(３)：まとめ** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平
7	**疫学研究のデザイン(１)** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平
8	**疫学研究のデザイン(２)** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平
9	**疫学研究の質(１)** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平
10	**疫学研究の質(２)** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平
11	**疫学研究の質(３)** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平

No	内容	形式	教員
12	**臨床疫学と EBN（1）** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平
13	**臨床疫学と EBN（2）** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平
14	**臨床疫学と EBN（3）** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平
15	**疫学の総まとめ** 事前学修：［３０分］事前配付資料を読み、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の配付資料を読み返す。	講義	川﨑　洋平

▌教科書
授業中に配布する資料

▌参考書、参考資料等
１．浅野 嘉延（２０１８年）．楽しく学べる!看護学生のための疫学・保健統計．改訂３版．南山堂.
２．日本疫学会 (監修)（２０１８年）．はじめて学ぶやさしい疫学．改訂３版．南江堂.

▌フィードバックの仕方
試験のフィードバックは、試験実施後に４０７研究室又は Glexa にて、解説資料の配布を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
疫学は統計学を応用した学問であるので、保健統計学の学習内容に基づく。

▌成績評価の仕方
定期試験７０%、授業への取り組み３０%(レポート・演習問題)

▌オフィスアワー・研究室等
質問は講義前後の時間、開講期間中の木曜日１０時～１２時に４０７研究室もしくはオンラインで受け付ける。

▌受講上の注意事項
疫学は保健師のみならず臨床看護師を目指す学生にとっても EBN を理解するために重要な科目である。

在宅看護学

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年・編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」連携**　**「3」探求**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBCH300**

〇石田　千絵、井口　理、湯淺　晶子、吉川　悦子

▌授業の目的

安心安全な在宅ケアの継続と生活の質的向上を目指し、在宅療養環境と療養者・家族のニーズに応じた具体的な看護実践の方法を学ぶ。また、地域包括ケアシステムにおける関連機関・職種との連携のあり方や看護の役割を考える。

▌到達目標

1. 看護の継続を可能とする在宅における看護技術を理解できる。
2. 療養者と家族の特性に応じた社会資源の活用について説明できる。
3. 療養者と家族の生活の質を高めるための看護技術を考えることができる。
4. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割を考えることができる。

▌学習の進め方

AL

講義、演習、GW、発表

※原則、課題提出や遠隔授業方式（Glexa でのオンデマンド型、Teams や Zoom を使用した同時双方向型またはその併用）で進めます

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション、在宅における看護技術** 事前学修：［30 分］教科書②の 1 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［30 分］教科書と配布資料を読み直して、理解を深める	講義	石田、井口
2	**看護過程の展開①　在宅看護過程と家計図・エコマップ** 事前学修：［15 分］家計図とエコマップについて、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［30 分］教科書と配布資料を読み直して、理解を深める	講義・演習	石田、井口
3	**看護過程の展開②　在宅看護過程の特徴とケアマネジメント、演習のオリエンテーション** 事前学修：［15 分］在宅におけるアセスメント項目について、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［30 分］自分が担当する事例の疾患や家族特性について、理解を深める。	講義・演習	石田、井口
4	**在宅療養生活を支える看護技術①　コミュニケーションとユマニチュード** 事前学修：［15 分］教科書②の P26-33 について、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］教科書と配布資料を読み直して、理解を深める	講義	石田
5	**在宅療養生活を支える看護技術②　環境整備** 事前学修：［15 分］間取りと住宅改修について、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［30 分］演習事例の居宅環境や間取りと住宅改修について検討する	講義・演習	井口
6	**日常生活を支える看護技術①** 事前学修：［30 分］教科書②の P56-89 を読み、A4 用紙２枚にまとめる 事後学修：［30 分］教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義	井口
7	**日常生活を支える看護技術②** 事前学修：［15 分］教科書②の P48-53 を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［30 分］教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義	石田
8	**療養を支える医療ケア①　ICT を用いたコミュニケーション** 事前学修：［15 分］ICT を用いたコミュニケーションについて、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［30 分］教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義・演習	全員
9	**療養を支える医療ケア②　COPD と在宅酸素療法** 事前学修：［15 分］COPD と在宅酸素療法について、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［30 分］教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義・演習	全員
10	**ケアマネジメント演習①　演習の進め方の確認、実施** 事前学修：［15 分］教科書①のケアマネジメントの概要について、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［30 分］事例発表の準備を進める	講義・演習	石田、井口
11	**マネジメント演習②　発表準備** 事前学修：［15 分］グループで作成した事例で使用可能な社会保障制度を調べる 事後学修：［30 分］配布資料や発表資料を作成する	演習・GW	石田、井口

No	内容	形式	教員
12	**マネジメント演習③　発表** 事前学修：［15 分］パワーポイントでの発表の準備をする 事後学修：［30 分］他の事例におけるケアマネジメントの理解を深める	発表	石田、井口
13	**在宅療養を支える災害対策** 事前学修：［30 分］教科書②５章を読み、A4 用紙１枚にまとめる 事後学修：［30 分］教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義	石田
14	**療養を支える医療ケア③** 事前学修：［30 分］教科書②の P92-162 を読み、A4 用紙２枚にまとめる 事後学修：［30 分］教科書と配布資料を読み直して、授業の理解を深める	講義・演習	石田
15	**まとめ** 事前学修：［30 分］全ての配布資料を読み直す 事後学修：［30 分］教科書と配布資料を読み直し、学びを深める	講義・演習	石田、井口、TA

▌教科書

１．臺有桂、石田千絵、山下瑠理子編集、ナーシング・グラフィカ　在宅看護論　地域療養を支えるケア、第 5 版　メディカ出版、2020（2 年次プライマリヘルスケアで使用した教科書）
２．臺有桂、石田千絵、山下瑠理子編集、ナーシング・グラフィカ　在宅看護論②　地域療養を支える技術　第 1 版、メディカ出版（2020）（2 年次プライマリヘルスケアで使用した教科書）

▌参考書、参考資料等

なし。必要時、資料等を配布する。

▌フィードバックの仕方

演習はその場で講評する。

▌他の授業科目との関連

プライマリーヘルスケアの対象者を支える看護技術であるとともに、地域・在宅看護学実習［レベルⅣ－ 2］の履修要件である。

▌成績評価の仕方

演習と授業への取り組み 50%、定期試験 50%

▌オフィスアワー・研究室等

石田研究室（432）井口研究室（452）湯淺研究室（445）　授業開講日の 12:30～13:00

▌受講上の注意事項

１．授業日程と内容は変更することがある。変更時は、事前にメールなどで連絡する。
２．定期試験は国家試験に準じた内容とし、マークシートで解答する。

看護管理学Ⅰ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」連携　「2」成長　「3」変化**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBME350**

○安部　陽子、高田　由紀子、古川　祐子

▌授業の目的

・看護を提供するための「しくみ」である、集団、組織、制度について学習する。
・集団、組織、制度で、最も良質な看護を提供するための方策について考察を深める。

▌到達目標

・日本の医療制度について説明することができる。
・看護管理の基本的概念について説明することができる。
・健康的な職場環境とは何かを説明することができる。
・健康的な職場環境を作るための方策を説明することができる。
・職場における人間関係の重要性について説明することができる。
・医療事故防止・院内感染防止のための理論や方法について説明することができる。
・看護情報学の基本的概念について説明することができる。
・医療の場における情報の重要性について説明できる。
・対象者のプライバシーや個人情報を保護するための方法について説明することができる。
・チームにおける看護と他職種の協働・連携について説明することができる。
・保健・医療・福祉の協働・連携について説明することができる。
・健全な病院経営の重要性について説明することができる。
・医療・看護の質を評価する方法について説明することができる。
・自己のキャリアのマネジメントにむけて自発的に行動することができる。

▌学習の進め方

・事前課題では、該当する回のテーマの概念を理解するための学習を行う。
・授業中の課題では、事前課題で扱ったテーマの概念と実際を結びつけるための演習・講義、または、テーマに関連した集団、組織、制度の問題解決過程を展開するための演習を行う。
・事後課題では、テーマに関して振り返りを行い、理解を深める。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**看護をとりまく諸制度** 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	演習・発表	安部・古川・髙田
2	**看護管理の基本的概念** 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	演習・発表	安部・古川・髙田
3	**人的資源管理** 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	事例検討	安部・古川・髙田

No	内容	形式	教員
4	**安全管理** 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	事例検討	安部・古川・髙田
5	**情報管理** 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	事例検討	安部・古川・髙田
6	**チームアプローチ** 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	事例検討	安部・古川・髙田
7	**医療・看護の質と経営** 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	事例検討	安部・古川・髙田
8	**キャリアの構築** 事前学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「看護管理学Ⅰ」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	講義	安部・古川・髙田

▌教科書

なし(Glexa の授業サイトに各回の資料リストを掲示する。)

▌参考書、参考資料等

なし(Glexa の授業サイトに各回の参考資料リストを掲示する。)

▌フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、Glexa 上でコメントの返却、解説資料や動画の掲示などを行う。

▌他の授業科目との関連

「看護管理学Ⅰ」で触れた制度にする内容は、看護関係法規で学びを深める。「看護管理学Ⅰ」で触れたマネジメントの理論等は「看護管理学Ⅱ」で学びを深める。

▌成績評価の仕方

事前課題(24 %)、授業中の課題(24 %)、事後課題(24 %)、定期試験(28 %)により評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

開講期間中の金曜日、12:20-12:50、415 研究室

▌受講上の注意事項

なし

看護管理学Ⅱ

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」連携**　**「2」成長**　**「3」変化**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBME400**

〇安部　陽子、高田　由紀子、古川　祐子

▌授業の目的

看護管理の科学的かつ実践的な知識を深め、看護単位の運営に関する諸原則を学び、質の高い看護実践を可能にするための「しくみ」を構築する方策について考える。

▌到達目標

・管理者に必要な能力について説明することができる。
・現在の看護管理者のあり方について自分の考えを述べることができる。
・経済学的視点からみた看護師の働き方の特性について説明することができる。
・看護学生が就職活動をする際に考慮するべき事項について自分の考えを述べることができる。
・チーム医療が成功するためには何が必要か自分の考えを述べることができる。
・リーダーシップとは何か、フォロワーシップとは何かを説明することができる。
・チーム医療における看護のリーダーシップとフォロワーシップについて、自分の考えを述べることができる。
・力および力の源泉について説明することができる。
・他者に対して影響を及ぼす方法とその方法の使い方について自分の考えを述べることができる。
・コミュニケーションとは何かを説明することができる。
・効果的なコミュニケーションの方法について自分の考えを述べることができる。
・意思決定の合理的なモデルと非合理的なモデルについて説明することができる。
・意思決定をする際にはどのようなことに留意するべきか自分の考えを述べることができる。
・対立について説明することができる。
・対立が起きたときの対処方法について自分の考えを述べることができる。
・２種類の交渉方法について、それぞれ説明することができる。
・２種類の交渉方法について、どちらがより効果的であるか自分の考えを述べることができる。
・動機づけとは何かを定義することができる。
・動機づけ理論の 1 つを用いて、自分が体験した事例を説明することができる。
・組織文化と組織社会化とは何かについて説明することができる。
・新卒看護師の組織社会化を促進する方法について自分の考えを述べることができる。
・日本の主な交代制勤務の方式をあげることができる。
・夜勤・交代制勤務に関する原則の必要性について自分の考えを述べることができる。
・代表的な看護ケア提供システムとその長所・短所について説明することができる。
・看護単位の特徴に基づき、どのような看護ケア提供システムが良いか自分の考えを述べることができる。
・組織分析の方法について説明することができる。
・組織の変革の原因、種類、モデルについて説明することができる。
・変革を円滑に進めるためにはどうすればよいか自分の考えを述べる。
・看護師が起業する方法について説明することができる。
・看護師の起業について自分の意見を述べることができる。
・日本における立法過程について説明することができる。
・看護政策の立案に参画するための方策について、自分の意見を述べることができる。
・看護職が診療報酬上の評価を得る方法について説明することができる。
・診療報酬上の評価を得るための方策について自分の考えを述べることができる。

▌学習の進め方

・事前課題では、該当する回のテーマに関して、講義の視聴、資料の精読、資料の作成、クイズの解答等を行う。
・授業中の課題では、事前課題で扱ったテーマの理解を深めるために、グループまたはペアによる事例検討、シミュレーション、ディスカッション等の演習を行う。
・事後課題では、テーマに関して、資料の作成、クイズの回答等の振り返りを行い、理解を深める。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**看護管理者の役割** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田

No	内容	形式	教員
2	**看護師としての就職** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田
3	**チーム医療とリーダーシップ** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田
4	**力関係とコミュニケーション** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田
5	**意思決定** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田
6	**対立とネゴシエーション** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田
7	**動機づけ** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田
8	**組織文化と組織社会化** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田
9	**スケジューリング** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田
10	**ケア提供モデル** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田
11	**組織分析と組織変革** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田

No	内容	形式	教員
12	**看護師の起業** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田
13	**政策の立案** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田
14	**診療報酬上の看護の評価** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田
15	**まとめ** 事前学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事前課題を行い、提出期限までに事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「看護管理学Ⅱ」の授業にアクセスする。説明に従って該当する授業回の事後課題を行い、提出期限までに事後課題を提出する。	演習	安部・古川・高田

▌教科書
なし（Glexa の授業サイトに各回の資料リストを掲示する）

▌参考書、参考資料等
なし（Glexa の授業サイトに各回の参考資料リストを掲示する）

▌フィードバックの仕方
課題の提出を確認し、Glexa 上でコメントの返却、解説資料や動画の提示などのフィードバックを行う。

▌他の授業科目との関連
「看護管理学Ⅰ」で触れたマネジメントの理論等について、「看護管理学Ⅱ」で学びを深める。

▌成績評価の仕方
事前課題（30 %）、授業中の課題（30 %）、事後課題（30 %）、定期試験（10 %）により評価する。

▌オフィスアワー・研究室等
開講期間中の金曜日、12:20-12:50、415 研究室

▌受講上の注意事項
なし

▌その他
HBME400

看護教育学 I

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」成長**　**「2」変化**　**「3」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBME351**

○佐々木　幾美、西田　朋子

▌授業の目的

看護学教育とは何かを明確にすることから出発し、その目的を達成するための看護教育制度の現状と課題を理解する。また看護教育方法の基礎的な考え方を学び、自らが学んでいる看護学への教育的関心を高め、成長する力について考える。

▌到達目標

1. 看護学教育の定義と目的・目標について説明できる。
2. 看護教育制度の現状について説明できる。
3. 大学教育拡充の要因について説明できる。
4. 看護学教育の課題について自分の考えが説明できる。
5. 「わかること」と「できること」について、具体的事例を挙げて自分の考えを説明できる。
6. 自らの今後のキャリアを考え、必要な教育・学習の機会について考えることができる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開：講義を行うとともに、講義の途中または最後に、ワークシート等の課題に取り組む中で問題意識を持ち、あるいは自分の体験と結びつけながら具体的に理解できるようにする。
2. 課題の提出：ワークシート等の課題に取り組むことで講義の理解を深めるとともに、授業内容の振り返りができるようにする。次の授業の初めにそれらの紹介と質問に対する補足説明等によって、学習を深められるようにする。
3. グループワークへの参加：グループワークで学生同士の意見交換を行い、自分の考えを整理する機会とする。
4. 参考資料の提示：配布資料に示した参考資料から興味関心のある内容について、学生自身で学びを深められるようにする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**看護学教育とは** 事前学修：［15 分］大学で看護を学ぶことについて、200 字程度でまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、看護学教育と看護教育の違いについて整理する。	講義	佐々木
2	**看護教育制度：看護基礎教育** 事前学修：［15 分］看護大学、看護短期大学、看護専門学校の違いについて、200 字程度でまとめる 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、各教育機関の違いを整理する。	講義	佐々木
3	**看護教育制度：看護継続教育** 事前学修：［15 分］看護師の資格取得後の学習の機会について、200 字程度でまとめる。 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、資格取得後の学習の機会について整理する。	講義	佐々木
4	**大学教育の拡充の要因** 事前学修：［15 分］平成以降に設立された看護系大学の数の推移について調べて、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、大学教育が拡充した要因と現状の課題について、整理する。	講義	佐々木
5	**看護教育制度の現状と課題** 事前学修：［15 分］前回までの授業から、看護教育制度の課題に対する自己の考えを 200 字程度にまとめる。 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、看護教育制度の課題について整理する。	講義、ディスカッション	佐々木
6	**教えることと学ぶこと** 事前学修：［15 分］自分が誰かに教えた経験について振り返り、200 字程度でにまとめる。 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読みかえし、教えることと学ぶことについて整理する。	講義・ディスカッション	西田
7	**「わかること」と「できること」** 事前学修：［15 分］「わかっているができないこと」と「できているがわからないこと」の経験について振り返り、200 字程度でまとめる。 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返し、わかることとできることの関係について整理する。	講義・ディスカッション	西田

No	内容	形式	教員
8	**看護学教育の展望・キャリアプランニング** 事前学修：［15 分］自分の今後のキャリアについて考え、400 字以内でまとめる。 事後学修：［30 分］看護学教育の課題と展望について整理する。	講義・GW	佐々木

▌教科書
教科書は使用せず授業中にプリントを配布する。

▌参考書、参考資料等
各回の授業で、紹介する。

▌フィードバックの仕方
ワークシートは原則として返却します。試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に佐々木研究室にて、採点結果と解説資料の配布を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

▌他の授業科目との関連
この科目は将来、看護を教える際に必要となる基礎的な内容を取り上げます。4 年次に選択科目として開講される「看護教育方法」、「看護教育学Ⅱ」の基礎的科目です。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取組み 30 %　2. 定期試験 70 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30～13:00。佐々木研究室（436 研究室）または西田研究室（435 研究室）。

▌受講上の注意事項
授業中の私語は慎んで下さい。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなします。

看護教育学Ⅱ

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」成長**　**「2」変化**　**「3」探求**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBME450**

〇西田　朋子

▌授業の目的

日本の看護教育制度について、日本の学校教育制度、看護教育の歴史、諸外国の看護教育制度との比較からその特徴と課題について考察する。また、看護教育を具体化するための教育課程、看護教師論について学ぶ。

▌到達目標

1. 諸外国の看護教育制度との比較から、日本の看護教育制度の特徴と課題を説明し、看護教育の発展を考察できる。
2. 看護教育の歴史的変遷を説明できる。
3. 看護教育課程の特徴とその作成過程を説明できる。
4. 看護教師の地位と役割、その教育制度について考察できる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開：講義とディスカッションおよびその発表から、現在の看護教育制度に関する理解を深め、考察する。
2. 演習を通して諸外国の看護教育制度を知る。
3. 参考資料の提示：授業内容をより理解できるように、配布資料には参考資料を提示する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス：日本の看護教育の歴史** 事前学修：［15 分］教育制度について関心のあるテーマを考え、A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義	西田
2	**日本の学校教育制度と看護教育制度** 事前学修：［15 分］看護教育学Ⅰの資料を読み返し、日本の看護教育制度について A ４用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義	西田
3	**看護基礎教育と看護継続教育** 事前学修：［15 分］看護教育学Ⅰの資料を読み返し日本の看護継続の教育制度について A ４用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
4	**諸外国の看護教育制度①** 事前学修：［15 分］関心のある諸外国の学校教育制度を調べ、15 分で発表するためのパワーポイント 15 枚以内にまとめる 事後学修：［15 分］関心のある諸外国の学校教育制度をまとめる	演習	西田
5	**諸外国の看護教育制度②** 事前学修：［15 分］関心のある諸外国の学校教育制度を調べ、、15 分で発表するためのパワーポイント 15 枚以内にまとめる 事後学修：［30 分］関心のある諸外国の学校教育制度をまとめる	演習	西田
6	**諸外国の看護教育制度③** 事前学修：［15 分］関心のある諸外国の学校教育制度を調べ、、15 分で発表するためのパワーポイント 15 枚以内にまとめる 事後学修：［30 分］関心のある諸外国の学校教育制度をまとめる	演習	西田
7	**諸外国の看護教育制度④** 事前学修：［15 分］関心のある諸外国の看護教育制度を調べ、15 分で発表するためのパワーポイント 15 枚以内にまとめる 事後学修：［30 分］関心のある諸外国の看護教育制度をまとめる	演習	西田
8	**諸外国と日本の看護教育制度の比較・考察** 事前学修：［30 分］15 枚以内にまとめた発表資料を口頭で発表し、質疑応答の準備をして A4 用紙 1 枚程度にまとめておく 事後学修：［30 分］授業の配布資料を読み返す	発表・討論	西田

No	内容	形式	教員
9	**看護教育課程：カリキュラムの概念とカリキュラムを規定する要因** 事前学修：［15 分］日本の看護基礎教育課程がどのように規定されているか、配布した事前ワークシートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
10	**看護教育課程：さまざまなカリキュラム** 事前学修：［15 分］他の学校・養成所のカリキュラムを調べ、気づいたことを A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
11	**看護教育課程：カリキュラムの評価** 事前学修：［30 分］本学のカリキュラムを確認し、考えたことを A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［15 分］これまで学習をした学校・養成所のカリキュラムのよいところや課題を考えまとめる	講義・討論	西田
12	**看護教師論：看護教師に必要な資質と能力** 事前学修：［15 分］これまで出会った看護教師からのかかわりを振り返り、気づいたことを A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
13	**看護教師論：看護教師の養成** 事前学修：［15 分］看護教育学Ⅰの資料を読み返し、看護教師の資格要件を確認して配布したワークシートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
14	**日本の看護教育制度における課題と今後の展望** 事前学修：［15 分］学習者として看護教師の課題を考え、配布したワークシートにまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義・討論	西田
15	**まとめ** 事前学修：［15 分］本科目を通しての学びを振り返り、配布したワークシートにまとめる 事後学修：［120 分］授業の配布資料を読み返し、レポートを作成する	講義	西田

▌教科書
特定のテキストは使用せず、授業時にプリントを配布する。

▌参考書、参考資料等
看護行政研究会（2021）看護六法 その他の文献は適宜紹介する。

▌フィードバックの仕方
レポート課題へのコメントを研究室で行う。返却時期はポータルで通知する。

▌他の授業科目との関連
この科目は、看護教育学Ⅰの内容をさらに発展させるとともに、新たな内容を組み込んだものとなっています。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み：20 % 2. 演習の取り組み・成果発表：50 % 3. 課題レポート：30 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 12:30〜13:00。西田研究室（435 研究室）。

▌受講上の注意事項
この科目は、看護師等養成所の専任教員となる際の要件である「大学において教育に関する科目を履修して卒業した者」の教育に関する科目に相当します。 講義が主体の回でも、ディスカッションの時間を必ず設け、みなさんから発せられた疑問を一緒に考えながら進めていきます。積極的な参加を期待します。

看護教育方法

単位：**2 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」成長**　**「2」変化**　**「3」探求**　実務経験がある
教員：**ー**　科目ナンバー：**HBME401**

〇西田　朋子

▌授業の目的

看護学教育における各専門領域で行われている教育実践の基礎的な「指導技術・教育方法」について学ぶ。

▌到達目標

1. 主体的な学びを支援するような教育的関わりについて説明できる。
2. 学習指導法について学びを深め、具体的な展開方法を知る。
3. 臨地実習について自らの経験を振り返り、よりよい臨地実習指導のあり方を考察できる。
4. 教育評価について説明できる。
5. 自らが受けてきた看護教育を振り返り、教える立場から看護教育の発展について考察できる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開：講義を行うとともに、具体的な事例や講義・演習・実習での体験を踏まえたディスカッションにより理解を深める。
2. ワークシート等の活用：授業開始時に配布もしくは配信し、学生自身が自らの経験を振り返って記入することで、具体的な理解をしていく。また、授業終了後には授業を受けて気づいたこと等を記載することで、学習内容を深めていく。
3. 参考資料の提示：特定の教科書は使用しないが、毎回の授業内容に関する参考資料を提示し、個々の学生が主体的に学びを深められるようにする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**1. ガイダンス** 事前学修：［15 分］本科目のシラバスを確認し、学習したい内容を考えまとめる。 事後学修：［15 分］本日の授業をふり返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
2	**2. 看護学教育における看護教育方法** **看護教育方法の概念と特徴** 事前学修：［15 分］看護教育方法にはどのようなことがあるか考え、A4 用紙 1 枚以内にまとめる。 事後学修：［15 分］本日の授業をふり返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
3	**3. 看護教育方法の視点　「技能」と「技術」** 事前学修：［15 分］看護技術を学習してきた中で、どのような教えられ方が効果的だったか振り返り、A4 用紙 1 枚以内にまとめる。 事後学修：［15 分］本日の授業をふり返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
4	**4. 学習に関する理論** 事前学修：［15 分］学習に関する理論について、関心のある理論を 1 つ選択し A4 用紙 1 枚以内にまとめる。 事後学修：［15 分］本日の授業をふり返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
5	**5. 看護における教育的かかわり：主体的な学びの支援** 事前学修：［15 分］これまで自分が主体的になれた授業について振り返り A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：［15 分］本日の授業をふり返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
6	**6. おとなの学習と教育** 事前学修：［15 分］学習するときに、おとなと子どもではどのような違いがあると考えるか A4 用紙 1 枚以内にまとめる。 事後学修：［15 分］本日の授業をふり返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
7	**7. 学習指導法①：教材研究** 事前学修：［15 分］これまで受けてきた授業の特徴を振り返りわかりやすかった教材を考え、A4 用紙 1 枚以内にまとめる。 事後学修：［15 分］本日の授業をふり返り、疑問や質問を Forms に提出する。	講義・討議	西田
8	**8. 学習指導法②：授業案の作り方／授業の展開** 事前学修：［15 分］これまで受けてきた授業の特徴を振り返り A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：［15 分］本日の授業をふり返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田

No	内容	形式	教員
9	**8. 学習指導法②：授業案の作成** 事前学修：［15 分］授業の資料を読み返し、演習に活用する準備を行う。 事後学修：［15 分］演習内容で不明点がないか確認し、参考資料を読む。	演習	西田
10	**8. 学習指導法②：授業案の作成** 事前学修：［15 分］授業の資料を読み返し、演習に活用する準備を行う。 事後学修：［15 分］演習内容で不明点がないか確認し、参考資料を読む。。	演習	西田
11	**9. 学習指導法③－演習：模擬授業** 事前学修：［15 分］これまで受けてきた授業がどのように構成されていたか、学習者の視点で考えて A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：［15 分］本日の授業をふり返り、感想を Forms に提出する。	発表・討議	西田
12	**10. 臨地実習指導：** **実習の位置づけと意義、学習環境としての条件** 事前学修：［15 分］これまで経験した実習を想起し、A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：［15 分］本日の授業をふり返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
13	**11. 実習指導の実際** 事前学修：［15 分］これまで経験した実習を想起し、指導者と教員の連携について考えたことを A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：［15 分］本日の授業をふり返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
14	**12. 看護教育評価** 事前学修：［15 分］自分にとっての評価の意義を考え、A4 用紙 1 枚以内にまとめる 事後学修：［15 分］本日の授業をふり返り、疑問や質問を Microsoft Forms に提出する。	講義・討議	西田
15	**本科目のまとめ** 事前学修：［15 分］本科目での学びを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［120 分］レポートを作成する	講義・討議	西田

▌教科書
特定の教科書は使用しないが、参考書籍を紹介する。

▌参考書、参考資料等
毎回の資料に参考資料は提示する。

▌フィードバックの仕方
事前事後課題およびレポートに対するコメントを行う。

▌他の授業科目との関連
看護教育学Ⅰの内容を発展させた内容となっています。これまでに、一般の教育学や心理学（学習心理に関する内容）を履修している方はその内容も復習しておくとさらに理解が深まります。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み 50 %　　2. 課題レポート 50 %

▌オフィスアワー・研究室等
Glexa および大学のメール（t-nishida@redcross.ac.jp）に連絡をしてください。

▌受講上の注意事項
各回では討議（ディスカッション）の機会を設けますので、積極的に参加してください。
この科目は、看護師等養成所の専任教員になる際の要件である「大学において教育に関する科目を履修して卒業した者」の教育に関する科目に相当します。

応用看護学特論Ⅰ①(チーム医療)

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」連携**　**「2」関係**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBAN400**

〇安部　陽子、古川　祐子、高田　由紀子、塚田　信弘

▌授業の目的

患者を志向した質の高い医療を提供するために、チーム医療に関する基本的知識、技能、態度を習得する。

▌到達目標

1. チーム医療とは何か。チーム医療の目的を説明できる。
2. 各職種の専門性、役割及び責任を看護に関連づけて説明できる。
3. チーム医療における看護のあり方について考えることができる。

▌学習の進め方

1. オムニバス形式
2. 講義を行うとともに、事例や実習などの体験を踏まえて学生が討議する時間をもうける。学生が意見交換をしながら具体的に理解を深められるようにする。
3. フィールドワーク

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**チーム医療とは** 事前学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	講義・討議	安部・古川・髙田
2	**看護とインタープロフェッショナル・ワーク** 事前学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	講義・討議	ゲストスピーカー (未定)
3	**「多職種探検」のグループワーク** 事前学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	演習	安部・古川・髙田
4	**疾患と医療チーム** 事前学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	発表・討議	ゲストスピーカー (未定)
5	**医療と福祉のチームケア** 事前学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：[90 分] Glexa の「応用看護学特論Ⅰ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	発表・討議	ゲストスピーカー (未定)

No	内容	形式	教員
6	**チーム医療と医師** 事前学修：［90 分］Glexa の「応用看護学特論 I ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 v 事後学修：［90 分］Glexa の「応用看護学特論 I ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	発表・討議	ゲストスピーカー (未定)
7	**医療センターで「多職種探検」** 事前学修：［90 分］Glexa の「応用看護学特論 I ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「応用看護学特論 I ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	フィールドワーク	安部・古川・髙田
8	**チーム医療フォーラム** 事前学修：［90 分］Glexa の「応用看護学特論 I ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事前課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事前課題を提出する。 事後学修：［90 分］Glexa の「応用看護学特論 I ①」の授業サイトにアクセスする。説明に従って、該当する授業回の事後課題(資料の作成、講義の視聴、クイズの解答等)を行い、事後課題を提出する。	発表・討議	安部・古川・髙田

▌教科書
なし(Glexa の授業サイトに各回の資料リストを掲示する)

▌参考書、参考資料等
なし(Glexa の授業サイトに各回の参考資料リストを掲示する)

▌フィードバックの仕方
課題の提出を確認し、Glexa 上でコメントの返却、解説資料や動画の掲示を行う。

▌他の授業科目との関連
看護関係法規で学習する医療関係資格法の実践的な理解につながる。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み　20 %　2.「多職種探検」ワークブック　30 %　3.　レポート評価　50%

▌オフィスアワー・研究室等
開講期間中金曜日、12:20-12:50、415 研究室

▌受講上の注意事項
主体的な学習を期待する

応用看護学特論Ⅰ②(リプロダクティブ・ヘルス)

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」擁護**　**「2」関係**　**「3」連携**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBAN400**

〇齋藤　英子

▌授業の目的

リプロダクティブ・ヘルス/ライツに保障されている男女が共に持つ権利について理解する。さらにセクシュアルライツ、及びリプロダクティブ・ライツを確保していくために、現状から生じている問題点を明らかにする。また、女性が基本的権利と最高水準のリプロダクティブ・ヘルスケアを得られるよう、看護の立場から日常生活に応じた支援のあり方を追求する。

▌到達目標

1. リプロダクティブ・ヘルス/ライツに保障されている全ての人が共に持つ尊厳と権利を倫理的な視点から考察できる。
2. 日本の周産期医療や現状から生じる課題について、国内外の動向・関連法規・政策・実情等をふまえ新たな視点を提案できる。
3. ひとりひとりの意見を尊重しながら、根拠を持って自分の意見を述べられる。
4. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ観点から多様なニーズを理解し、看護者の役割を述べられる。

▌学習の進め方

「AL」
プレゼンテーションとディベート・討論を通して国内外の課題を見出す。授業参加前にテーマに関する国内外の状況を自分なりに調べ、自己の見解を頭の中にまとめておく。相対する意見について担当者がプレゼンテーションをして考察を深める。プレゼンテーションは、どれか 1 つを担当する。
プレゼンテーターは、作成したプレゼンの際の配布資料を、授業前々日までに Glexa 内の「プレゼンテーション資料提出」へ提出し、メールで担当教員へ連絡する。PowerPoint は 8 枚以内、Word は A4 で 2 枚以内にまとめる。配布資料には、写真は掲載しない。配布資料と発表資料は、完全に同じでなくとも良い。
教員は、授業前日に、プレゼンテーターから提出のあった発表資料を確認した後に PDF 化して、受講生へ配布資料としてメールで配信する。
参加者は、事前にプレゼンテーション資料に目を通して、わからないことを調べたり、自分の意見をまとめる。
教員は、前日に受講生へメール連絡で URL（Room key）を知らせる。
Zoom を用いて授業展開するため、参加者は授業開始時間に指定された場所へ集合する。
授業時間内は、以下の運びで進める。
前回の学びのまとめと本日のトピックについて教員よりコメント（10 分）、プレゼンテーション（10 分× 2）、グループ討議（15 分）· 全体討論（20 分）、教員よりコメント（10 分）
授業終了後に Glexa　Board のトピック毎のスレッドへ本日の感想をアップロード する（次の授業開始 1 時間前まで）。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション、自己紹介、ミニディベート体験** **テーマ 1「日本で出産・子育てをするなら都会である」** **課題の分担** 事前学修：［30 分］この授業で学びたいこと述べられるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［20 分］本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	Zoom 発表 討論	齋藤
2	**テーマ 2「日本は親の育児休暇を義務化すべきである」** 事前学修：［30 分］自分の主張とその根拠を意見できるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［20 分］本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	Zoom 発表 討論	齋藤
3	**テーマ 3「日本は頸がんワクチン接種を再開すべきである」** 事前学修：［30 分］自分の主張とその根拠を意見できるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［20 分］本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	Zoom 発表 討論	齋藤
4	**テーマ 4「日本は出生前診断に基づく人工妊娠中絶を認めるべきである」** 事前学修：［30 分］自分の主張とその根拠を意見できるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［20 分］本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	Zoom 発表 討論	齋藤
5	**テーマ 5「日本は男性助産師を認めるべきである」** 事前学修：［30 分］自分の主張とその根拠を意見できるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［20 分］本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	Zoom 発表 討論	齋藤
6	**テーマ 6「日本は代理母出産や精子バンクを認めるべきである」** 事前学修：［30 分］自分の主張とその根拠を意見できるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［20 分］本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	Zoom 発表 討論	齋藤

No	内容	形式	教員
7	**テーマ 7「日本は LGBT カップルが妊娠・出産・育児を行う体制を整備すべきである」** 事前学修：［30 分］自分の主張とその根拠を意見できるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［20 分］本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	Zoom 発表 討論	齋藤
8	**テーマ 8「日本は子どもを持つ外国人労働者/移民とその家族に日本国民と同等の権利を与えるべきである」** 事前学修：［30 分］自分の主張とその根拠を意見できるよう A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［20 分］本日の学びを Board へ入力する・閲覧する	Zoom 発表 討論	齋藤

▌教科書

特に指定しない。
様々な媒体から国内外の動向・関連法規・政策・取り決め・実情等を調べること。

▌参考書、参考資料等

参考資料は、プレゼンテーターが適切に引用をして紹介する。

▌フィードバックの仕方

教員のコメントは授業の最後と授業開始前に伝える。
みなの学びのまとめは、Board を使って、授業後に共有する。

▌他の授業科目との関連

リプロダクティブ・ヘルス関連科目（授業・演習・実習）、他関連科目、社会生活で学んだことに基づき、より発展的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方

1．プレゼンテーション 30%、２．討論（論旨展開、態度）40%、３．学びのまとめ 20 %、４．ピア評価 10%

▌オフィスアワー・研究室等

開講期間中の①水曜日、② 12：10〜12：50、③ 417 研究室・メール

▌受講上の注意事項

積極的な授業参加を期待します。
・Web 環境や音声機能に使いづらさがある方は、早目にメールでご相談ください。
・受講人数等により、多少、進め方を変更する可能性がありますが、ご了解ください。

応用看護学特論Ⅰ③（子どもの権利と家族）

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」成長**　**「2」擁護**　**「3」連携**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBAN400**

○江本　リナ、山内　朋子、鈴木　健太、柴田　純子、田代　祐子

▌授業の目的

育児困難現象、児童虐待、キレる子ども、校内暴力などの子どもと家族をめぐる課題や、小児医療をめぐる課題が近年増加している。応用看護学特論Ⅰ③では、これらの実態を把握し、子どもの最善の利益を守るために看護師に求められている役割を探求する。

▌到達目標

1. 子どもの最善の利益とは何かを理解することができる。
2. 子どもの最善の利益を守るための看護師の役割について考えることができる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開
講義、演習、発表、討論を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
2. 参考資料の提示
授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配付資料に参考資料・参考 DVD を記す。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション／子どもと家族の看護～小児看護専門看護師の役割～** 事前学修：［30 分］小児看護学領域が担当した講義や演習および実習記録を読みノートにまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	全員/江本・山内
2	**子どもと医療者を癒すプレパレーション** 事前学修：［30 分］テーマに関連した文献を読みノーとにまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・演習・GW・発表	江本・山内
3	**里親制度と里親支援～里親委託など推進委員からのお話～** 事前学修：［30 分］テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	柴田
4	**夢のある子どもの医療環境を考えよう！** 事前学修：［30 分］テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・演習・GW・発表	鈴木
5	**世界の子ども** 事前学修：［30 分］テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・演習・GW・発表	柴田
6	**子どもの心のケア～精神看護専門看護師からのお話～** 事前学修：［30 分］テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
7	**障がい児への訪問看護** 事前学修：［30 分］テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	鈴木
8	**重症心身障害児の療育支援** **～小児看護専門看護師からのお話～** 事前学修：［30 分］テーマに関連した文献を読みノートにまとめる 事後学修：［30 分］リフレクションペーパーを作成して提出する	講義・ディスカッション（討論）・ディベート	山内

▌教科書

授業内容に沿って随時資料を配布する。そのため、教科書は特に指定しない。

▌参考書、参考資料等

スーザン・ファウンテン（1994）. わたしの権利みんなの権利. 日本ユニセフ協会.
その他、開講時参考文献リストを配布し、随時授業で配布する。

▌フィードバックの仕方

課題へのフィードバックは、最終回までにコメントを付したレポートの返却をする。 最終回の課題に関しては返却日時をポータルで連絡するので 441 研究室に取りにくること。

▌他の授業科目との関連

2 年次前期に開講される「発達看護学概論」、2 年次後期に開講される「発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）①」、3 年次前期に開講される「発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）②」より発展的な内容を扱うが、編入生の場合はこの科目を履修していなくても選択可能である。

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 40 %　2. 課題レポート 60 %

▌オフィスアワー・研究室等

各回の授業終了後、30 分間各講義担当者の研究室で受け付ける。
江本（419 研究室）　山内（443 研究室）　柴田（441 研究室）　鈴木（453 研究室）　未定（　研究室）

▌受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。
授業の形式は変更する可能性がある。

応用看護学特論Ⅰ④(看護実践にいかす看護理論)

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**編入 4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」変化**　**「2」探求**　**「3」成長**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBAN400**

〇筒井　真優美

▌授業の目的

看護理論、看護学、看護科学とは何かを探究し、これまでの経験と関連付け、看護理論を実践に生かす意味を明らかにする。

▌到達目標

1. 看護学、看護科学について説明できる。
2. 看護理論と看護学・看護科学の関連を説明できる。
3. ロジャーズ、オレム、レイニンガー、ワトソン、ベナーなどの看護理論を説明できる。
4. 自身の看護経験事例(エピソード)を記述し、いずれかの理論を用いて意味づけを試みる。

▌学習の進め方

講義、課題についてグループワーク、プレゼンテーションとディスカッションを組み合わせて進める。
課題 1：看護学、看護科学とは
課題 2：看護理論と看護学・看護科学との関連
課題 3：看護経験事例の意味づけ

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション、看護理論とはなにか** 事前学修：[15 分] 看護理論に関する書物(参考図書)を読みノートにまとめる 事後学修：[20 分] 講義内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義	筒井
2	**看護理論** 事前学修：[15 分] テーマに関連した文献を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20 分] 討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・発表・討論	筒井
3	**看護理論と看護学・看護科学** 事前学修：[15 分] テーマに関連した文献を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20 分] 討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・発表・討論	筒井
4	**看護理論と看護学・看護科学** 事前学修：[15 分] テーマに関連した文献を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20 分] 討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・発表・討論	筒井
5	**看護経験事例の意味づけ** **1)看護経験事例に関する場(病棟、施設など)の簡単な紹介** **2)看護経験事例の課題は何か？** **3)その解決のため、どのような看護理論を選択するのか、その理由は？** **4)その看護理論をその場に導入する(他の人を納得させ参加させる)ためのプロセスや方法は？** **5)導入するに当たっての課題は何か?その課題を解決するためにはどうすればよいか？** **6)導入するためにかかる費用は？ どこから捻出できるか？** **7)看護理論をその場に導入した評価(効果)はどのようにみるか？** 事前学修：[15 分] 授業内容に関連した事柄について A4 用紙 2 枚程度にまとめる 事後学修：[20 分] 討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	発表・討論	筒井
6	**看護経験事例の意味づけ** 事前学修：[15 分] テーマに関連した文献を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20 分] 討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	発表・討論	筒井
7	**看護経験事例の意味づけ** 事前学修：[15 分] テーマに関連した文献を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[20 分] 討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	発表・討論	筒井
8	**看護理論と看護学・看護科学における今後の課題** 事前学修：[15 分] テーマに関連した文献を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15 分] 討論内容を要約し、自己の課題を明確化する	講義・発表・討論	筒井

▌教科書

筒井真優美編著(2019). 看護理論―看護理論 21 の理解と実践への応用 改訂第 2 版. 南江堂.

▌参考書、参考資料等

Fawcett, J.（1993）/太田喜久子・筒井真優美監訳（2008）．フォーセット看護理論の分析と評価．医学書院.
筒井真優美編著（2020）．看護理論家の業績と理論評価第 2 版．医学書院.

▌フィードバックの仕方

プレゼンテーションへのフィードバックを授業内で行う。

▌他の授業科目との関連

「看護学概論Ⅱ」より、発展的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 50%　2. プレゼンテーション 50%

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：30〜13：00。
筒井（557 研究室）

▌受講上の注意事項

授業を楽しみ、自由に意見を述べ、他者と対話する。

応用看護学特論Ⅱ①（看護とメンタルヘルス）

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBAN401**

○古城門　靖子、鷹野　朋実、堀井　湖浪、堀川　英起

▌授業の目的

看護職の特有なメンタルヘルスの問題について探求し、それに対処するための方法について理解する。

▌到達目標

1. 看護職のメンタルヘルスに影響を及ぼす社会的な状況について理解し、説明できる。
2. 感情労働やうつ、バーンアウトなど、メンタルヘルス上の具体的課題を見出すことができる。
3. リフレクションの概念やリエゾン精神専門看護師の役割といったメンタルヘルス上の問題に対処するための方法や制度について理解し、メンタルヘルス上の問題をもつ対象への支援に関心をもつことができる。
4. メンタルヘルスについてグループワークを通して学生同士で共に学びあい、成長し合う姿勢をもつことができる。

▌学習の進め方

50 分程度の講義を行い、残りの時間で教員と学生とでグループ形式での討論を行い、メンタルヘルス上の問題について理解を深めるとともに、グループの中で表現すること、他者を理解することを、体験を通して学ぶ。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**看護職のメンタルヘルス１** 事前学修：［30 分］これまでの実習で精神的に疲れた体験について振り返り、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく	講義とグループワーク	鷹野
2	**看護職のメンタルヘルス２** 事前学修：［30 分］前回の授業での疑問点や感想を整理しておく 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習する	講義とグループワーク	鷹野
3	**感情労働としての看護１** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］終章」を事前に読み、要旨を A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：［30 分］授業内容を振り返り、リフレクションペーパーを作成する	講義とグループワーク	堀川
4	**感情労働としての看護２** 事前学修：［30 分］感情労働に関する自己の体験を振り返り、A4 用紙 1 枚に記述する。 事後学修：［30 分］教科書「精神看護学［2］終章」を再読し、リフレクションペーパーを作成する	講義とグループワーク	堀川
5	**看護とリフレクション１** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学 [2] 終章 F2」を読み、グループワークのテーマを考える 事後学修：［30 分］配布資料を読み返す	講義とグループワーク	堀井
6	**看護とリフレクション２** 事前学修：［30 分］実習で気がかりな場面や出来事を A4 用紙 1 枚にまとめておく 事後学修：［30 分］討議で気づいたことをまとめ、リフレクションペーパーを作成する	講義とグループワーク	堀井
7	**リエゾン精神専門看護師の役割１** 事前学修：［30 分］教科書「精神看護学〔2〕14 章」を読んでおく 事後学修：［30 分］配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく	講義とグループワーク	古城門
8	**リエゾン精神専門看護師の役割２** 事前学修：［30 分］前回の授業での疑問点や感想を整理しておく 事後学修：［30 分］今日の討論の内容を振り返り、リフレクションペーパーを作成する	講義とグループワーク	古城門

▌教科書

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学［2］精神看護の展開」、医学書院。
学部 2 年次 (編入学部生は 3 年次)に購入した発行年のものを使用します。

▌参考書、参考資料等

武井麻子(2001)、感情と看護、第 1 版、医学書院.
パム・スミス著／武井麻子・前田泰樹監訳(2000)、感情労働としての看護、第 1 版、ゆるみ出版.

他にも随時、授業中に参考文献を示します。

▌フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、対面授業の場合は後期授業開始日から 1 週間以内に、コメントを付したレポートの返却を古城門研究室（412）にて行う。返却可能な時間はポータルにて連絡する。対面授業が難しい場合は、最終授業日にアナウンスする。

▌他の授業科目との関連

「精神保健看護学Ⅰ（理論）」（2 年次履修）、「精神保健看護学Ⅱ（技法）」（3 年次履修）を基盤として、各自のレベルⅠ～Ⅲ実習での体験やこれまでの実習・臨床での体験の振り返りを行い、さらに理解や体験を深めていく科目です。

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 50 %　2. レポート 50 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：30～13：00、18：00～18：30
鷹野朋実研究室（428）、堀井湖浪研究室（427）、古城門靖子研究室（412）、堀川英紀（426）

▌受講上の注意事項

講義形式および、内容は変更する可能性がある。

応用看護学特論Ⅱ②（ホーリスティック・ナーシング）

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」関係**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBAN401**

〇坂口　千鶴、千葉　京子

▌授業の目的

ホーリスティック・ナーシングの理論的背景を理解し、環境との相互作用によって生じたストレスや生活スタイルの不調等へのアプローチについて理解できる。

▌到達目標

1. ホーリスティック・ナーシングの理論的背景について説明できる。
2. 環境との相互作用によって生じたストレスや生活スタイルの不調等について説明できる。
3. 看護において活用できる具体的なホーリスティック・アプローチについて説明できる。
4. 将来的に看護の現場可能なホーリスティック・アプローチについて説明できる。

▌学習の進め方

AL

1. 第 1 回と第 2 回の授業では、60 分程度の講義を行い、残り 30 分で学生から質問や学生間での討論を行う。
2. 第 3 回から第 6 回の授業では、実際のホーリスティック・アプローチについての説明を 30 分程度行った後、アプローチに関するデモンストレーションを行う。学生もデモンストレーションに参加し、参加後学生間での質問や感想を共有する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション/ホーリスティック・ナーシングとは** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］質問や感想等についてリアクションペーパーに記述する（次回授業までに提出）	講義・討論	坂口
2	**環境との相互作用によって生じた健康問題** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］質問や感想等についてリアクションペーパーに記述する（次回授業までに提出）	講義・討論	坂口
3	**ストレスマネジメント①エクササイズ** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］質問や感想等についてリアクションペーパーに記述する（次回授業までに提出）	講義・演習	坂口
4	**ストレスマネジメント②音楽と匂いを用いたリラクゼーション** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］質問や感想等についてリアクションペーパーに記述する（次回授業までに提出）	講義・演習	坂口
5	**タクティールケアの理論的背景** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］質問や感想等についてリアクションペーパーに記述する（次回授業までに提出）	講義・討論	千葉
6	**タクティールケアの実際** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］疑問や意見をもとにリアクションペーパーに記述する（次回授業で提出）	講義・演習	千葉
7	**ホーリスティック・ナーシングの将来的活用** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］質問や感想等についてリアクションペーパーに記述する（次回授業までに提出）	講義・討論	坂口
8	**まとめ** 事前学修：［30 分］事前に配布した資料を読み、疑問や意見を A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［30 分］授業の内容を復習する	討論	坂口

▌教科書

なし

▌参考書、参考資料等
授業中に適宜参考文献を提示する。

▌フィードバックの仕方
レポートのフィードバックは、前期試験週間に Glexa 上にて、コメント付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
看護学概論、基礎看護学との関連があり、アプローチによっては実習の際に参考とすることも可能な学習内容を扱う。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取り組み・・・20 %
2. 研究文献のクリティーク：関心のあるアプローチに関する研究論文を 1 編以上読み、研究の対象、方法、効果について調べ、A4 用紙 2 枚以上にまとめる。提出は Glexa 上とする・・・40 %
3. リアクションペーパー：各アプローチに関する感想をまとめる、翌週の授業までに Glexa 上で提出する・・・40 %

▌オフィスアワー・研究室等
授業当日の 12:10～13:00　　坂口（414 研究室）· 太田（403 研究室）· 千葉（429 研究室）

国際看護学Ⅰ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年・編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」国際貢献　「2」連携　「3」成長**
実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBID300**

〇織方　愛、野口　眞貴子

▌授業の目的

世界の健康格差是正に貢献する国際看護活動を展開するために必要な基礎知識を理解する

▌到達目標

1. 世界の健康課題を知る
2. グローバルヘルスの諸概念について説明できる
3. 国際看護活動を展開するための仕組みについて理解できる
4. 実際に国際看護活動の様子を聞き，世界の健康格差是正に向けたアプローチのイメージを持つことができる

▌学習の進め方

「AL」
1. 事前課題に取り組む
2. 授業の展開：講義を行うとともに、グループワークやディスカッションといった演習・討論の時間を設ける。
3. 事後課題に取り組む。
4. 授業終了後にリフレクションペーパーに記入し，学生が考えたことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
5.4. に対するフィードバックを行い，さらに学習を深められるようにする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**コースオリエンテーション、グローバルヘルス・国際看護の概念と歴史** 事前学修：［15 分］教科書の「国際看護」の定義該当箇所を書き出し，その他１つの定義について共通点・相違点をＡ４用紙１枚にまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義	野口
2	**グローバルヘルス①：健康指標から読み解く健康格差（疾病負荷の構造）** 事前学修：［15 分］人間の安全保障に関する書籍や資料を読み，Ａ 4 用紙１枚にまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方
3	**グローバルヘルス②：グローバルヘルスイニシアティブ** 事前学修：［15 分］SDGs に関する書籍や資料を読み，Ａ 4 用紙１枚にまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義	野口
4	**グローバルヘルス③：SDGs・UHC** 事前学修：［15 分］UHC に関する書籍や資料を読み，Ａ 4 用紙１枚にまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方
5	**国際看護活動と国際機関・国際協力の仕組み** 事前学修：［15 分］国際看護活動を行う世界の看護職１名（時代は問わない）について調べ，その活動内容をＡ４用紙１枚にまとめる. 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義	野口
6	**世界の健康課題：感染症，非感染性疾患** 事前学修：［15 分］世界の健康課題の内訳を調べ，疾病負荷の高い順に並べ，その理由を考えＡ４用紙１枚にまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方
7	**国際看護活動の実際** 事前学修：［15 分］国際支援活動について調べＡ４用紙１枚にまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方
8	**国際看護活動におけるリスクマネジメント** 事前学修：［15 分］多文化社会に関する書籍や資料を読みＡ４用紙１枚にまとめる 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方

▌教科書

浦田喜久子編（2019). 系統看護学講座 統合分野　災害看護学・国際看護学. 第４版. 医学書院

▌参考書、参考資料等

Paul F. Basch 著（2001）. バッシュ国際保健学講座. 初版. じほう.

デビットワーナー(2009). 医師のいないところで. 初版. 国際保健協力市民の会.

▌フィードバックの仕方

①リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、Glexa 内や次回の講義で行う。
②定期試験のフィードバックは、試験実施後 9 月 30 日までに Glexa 上で行う。

▌他の授業科目との関連

国際看護学Ⅱ、国際看護学演習の学習基盤となる知識を学習する。

▌成績評価の仕方

1. 定期試験 60 %　2. 授業への取り組み(リフレクションペーパー) 40 %　合計 100 %
※提出期限に遅れた場合は 20 %の減点とする。

▌オフィスアワー・研究室等

毎週のリフレクションペーパーも活用ください。オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で次週の授業で公開し全員の学びとする。
①授業終了後に教室で直接、質問を受け付ける。
②授業開講日に随時メールで受け付ける(授業開講日ではない日の質問は、授業開講日にお答えします)。
③授業開講日に直接織方(554 研究室)、野口(403 研究室)まで。

▌受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。更に学習したい方は、3 年次後期の選択科目(国際看護学Ⅱ, 国際看護学演習)も履修ください。

国際看護学Ⅱ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」連携**　**「3」成長**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBID350**

〇織方　愛、角田　敦彦

▌授業の目的

国際看護学Ⅰの学習を踏まえ、実際に国際看護を実践するための基本的な知識・技術を学ぶ。

▌到達目標

1. グローバルヘルスにおける政治・経済・宗教・教育・疾病構造等、世界の健康課題の背景を理解する。
2. 保健指標・疾病構造・保健政策等から，人びとのヘルスニーズを把握する。
3. 健康課題から、現在の課題と将来の課題解決のための展望について考えを深める。
4. 将来国際看護に携わるために必要な健康管理・危機管理の具体的方法について学ぶ。

▌学習の進め方

「AL」

1. 授業の展開：講義を行うとともに、グループワークやディスカッションといった演習・討論の時間を設ける。
2. 授業終了後にリフレクションペーパーに記入し，学生が考えたことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
3.2. に対するフィードバックを行い，さらに学習を深められるようにする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**コースオリエンテーション:講義概要と導入** **カントリープロファイル①講義** 事前学修：［15 分］国際看護学Ⅰ「グローバルヘルス①」の授業資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［15 分］講義内容を元に配布資料を確認整理する。リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	織方
2	**国際看護活動におけるストレスケア** 事前学修：［15 分］教科書 pp.223-246 に目をとおし A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［15 分］講義内容を元に配布資料を確認整理する。リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	織方
3	**国際看護活動の実際（事業管理・健康管理・危機管理）** 事前学修：［15 分］日本国外務省海外安全虎の巻　最新版をダウンロードし海外生活の留意点について A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［15 分］講義内容を元に配布資料を確認整理する。リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	織方
4	**国家の安全保障と人間の安全保障** 事前学修：［15 分］事前配布資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［15 分］講義内容を元に配布資料を確認整理する。リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	角田
5	**特別講義「健康と人間の安全保障」** 事前学修：［20 分］事前配布資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる。講師への質問を 1 つ以上英語で考えておく 事後学修：［20 分］講義内容を元に配布資料を確認整理する。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	H.E.L.P. in Japan（予定）※ 2021 講師またはゲストスピーカーと織方，H.E.L.P. in Japan が開催されない場合は織方
6	**人道支援の現場におけるリスクと危機管理** 事前学修：［20 分］事前配布資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：［20 分］講義内容を元に配布資料を確認整理する。リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	角田・宮﨑

No	内容	形式	教員
7	**カントリープロファイル②グループワーク** 事前学修：［20 分］発表資料を作成する 事後学修：［20 分］講義内容を元に配布資料を確認整理する。リフレクションペーパーを作成する	演習・討論	織方
8	**カントリープロファイル③成果プレゼンテーション** 事前学修：［20 分］発表資料を作成する 事後学修：［20 分］討論をもとに資料を修正する。リフレクションペーパーを作成する	発表・討論	織方

▌教科書

浦田喜久子編(2019)．系統看護学講座　統合分野　災害看護学・国際看護学．第 4 版．医学書院.

▌参考書、参考資料等

David Werner、川田いこひ原訳　シェア監訳 (2009)．医者のいないところで　村のヘルスケア手引書．非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会.

Richard Skolnik、木原正博・木原雅子監訳 (2017)．グローバルヘルス 世界の健康と対処戦略の最新動向．メディカルサイエンスインターナショナル.

日本国外務省海外安全ホームページ　https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf

日本国外務省海外安全虎の巻　最新版をダウンロードすること

厚生労働省検疫所　海外で安全に過ごすために　https://www.forth.go.jp/index.html

その他、随時授業で提示する。

▌フィードバックの仕方

①リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、Glexa 内や次回の講義で行う。

②成果プレゼンテーション(第 8 回)へのフィードバックは、授業最終回に行う。

③定期試験のフィードバックは、試験実施後 Glexa 上で行う。

▌他の授業科目との関連

１．国際看護学Ⅰの単位取得を履修要件とする。

２．国際看護学演習履修者は、本科目を履修すること。

▌成績評価の仕方

1. 成果プレゼンテーション(第 8 回)への取り組み 40 %　2. 定期試験(課題レポート) 60 %　合計 100 %

※提出期限に遅れた場合は 20 %の減点とする。

▌オフィスアワー・研究室等

毎週のリフレクションペーパーも活用ください。オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で次週の授業で公開し全員の学びとする。

①授業終了後に教室で直接、質問を受け付ける。

②授業開講日に随時メールで受け付ける(授業開講日ではない日の質問は、授業開講日にお答えします)。

③授業開講日に直接織方(554 研究室)・角田(410 研究室)・〇〇(△△研究室)まで。

▌受講上の注意事項

※ H.E.L.P. in Japan：Health Emergencies in Large Populations in JAPAN：赤十字国際委員会(International Committee of the Red Cross (ICRC)、日本赤十字社、日本赤十字看護大学が企画する 10 日間の国際人道援助研修です。隔年開催で今年度は開催年に当たりますので、人道援助のスペシャリストである講師から、学生の皆さんにお話をして頂く予定です。人道援助機関の研修の様子を知る良い機会となると存じます。

積極的に授業に参加し，どのようにグローバルヘルスに貢献していくかを学友と議論することを期待しています。

国際看護学演習

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」国際貢献**　**「2」連携**　**「3」成長**　実務経験がある教員：ー　科目ナンバー：**HBID351**

〇織方　愛、野口　眞貴子

▌授業の目的

国際看護学Ⅰ・Ⅱの学習を基礎に海外へ渡航し、現地の健康課題，提供される保健医療福祉看護について学ぶ。

▌到達目標

1. 保健医療福祉看護システムの異なる国における健康課題を把握し、その国・地域の看護の役割・機能を理解する。
2. 海外での体験を通して、国際看護に必要な知識・技術・感性を身に付ける。
3. 現地における看護体験を他者に説明することができる。

▌学習の進め方

「AL」

1. 授業の展開：海外への渡航による演習となる。研修先はフィリピン，ルワンダ等を検討中である。
2. 参考資料の提示：当該国に関する資料等を提示するので熟読し、事前準備を行う。
3. 演習前オリエンテーション：現地での演習プログラムの概要・健康管理・危機管理・渡航手続等のオリエンテーションを数回実施するので必ず出席すること。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 演習前オリエンテーション：事前に 2〜3 回演習プログラムの概要・健康管理・危機管理・渡航手続等の説明を行う（時間割を確認すること）。事前学習として①国際看護学Ⅱで行ったカントリープロファイルを各自の演習目標に焦点化したもので展開，②演習国における危機管理を課す。
2. 演習日程：3 月中旬〜下旬に 7〜10 日間程度実施（2017 年度は 2018 年 3 月 12 日〜21 日に実施）。
3. 演習内容：現地の保健医療制度、保健医療課題について学ぶ。姉妹赤十字社事業・現地大学の看護学生との交流・医療施設（病院・保健センター）見学を通じ、現地の健康課題へのアプローチ方法を学び、健康課題解決へ向けての考察を行う。
4. 演習費用：全額自己負担とする。2017 年度は航空券代金・宿泊費・3 食・専用車両付きで 20 万円前後（個人の通信費・飲食代金は除く）であったが、演習国・時期・参加人数により変動する。海外旅行保険加入は必須である。現地渡航に当たり、事前の予防接種を強く推奨する。
5. 履修学生は、承諾書（本人と保護者）を提出する。
6. 現地の治安・感染症等の学生の安全が懸念されるような状況によっては、日本赤十字看護大学の判断に従い、演習開講中止やスケジュール変更がありうる。

▌教科書

その都度提示する。

▌参考書、参考資料等

David Werner、川田いこひ原訳　シェア監訳 (2009)．医者のいないところで　村のヘルスケア手引書．非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会.

Richard Skolnik、木原正博・木原雅子監訳 (2017)．グローバルヘルス 世界の健康と対処戦略の最新動向．メディカルサイエンスインターナショナル.

日本国外務省海外安全ホームページ　https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf

日本国外務省海外安全虎の巻　最新版をダウンロードすること。

厚生労働省検疫所　海外で安全に過ごすために　https://www.forth.go.jp/index.html

その他、演習先国及び保健医療福祉看護状況に関する資料を提示する。

▌フィードバックの仕方

定期試験のフィードバックは、試験終了後 3 月 31 日までに Glexa 上で行う。

▌他の授業科目との関連

本科目の履修要件は、①国際看護学Ⅰの単位取得・②国際看護学Ⅱの単位取得・③保護者の同意・④海外旅行傷害保険への加入である。

▌成績評価の仕方

1. 研修への取り組み 50 %　2. 定期試験（演習終了後の課題レポート）50 %　合計 100 %

※提出期限に遅れた場合は 20 %の減点とする。

▌オフィスアワー・研究室等

オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で公開し全員の学びとする。

①授業終了後に教室で直接、質問を受け付ける。

②授業開講日に随時メールで受け付ける（授業開講日ではない日の質問は、授業開講日にお答えします）。

③授業開講日に直接織方（554 研究室）まで。
研修への取り組みについては，研修中の振り返り時に適宜フィードバックを行う。

災害看護論 I

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」変化**　**「2」連携**　**「3」探求**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBID150**

○内木　美恵、橋爪　朋子

▌授業の目的

災害発生から自分や家族の身を守る防災や減災対策を習得すると同時に、災害という異常事態のなかで赤十字やその他の機関が行う救護活動の全体像から災害看護の役割を理解し、将来、災害救護活動の推進者として成長できるように基礎的能力を養う。

▌到達目標

1. 国内および国外で発生する大災害の現状と今日的課題について説明できる。
2. 災害看護の歴史的発展を理解する。
3. 災害救護活動における赤十字に果たす役割について説明できる。
4. 災害の概念、災害時の健康障害について理解する。
5. 災害時における、人々の生命や健康および生活を支えるために必要な看護の基本について説明できる。
6. トリアージの基本的知識と方法について説明できる。
7. 自己防災および地域防災の重要性とその実際について説明できる。

▌学習の進め方

・授業の展開：1 学年を 2 クラスに分け講義形式で行う。
・映像シミュレーション：災害現場や被災者の状況、救護班の活動のイメージができるように適宜取り入れる。
1. 時間割通りに授業を実施し、出席確認は、Glexa 上で行う。
2. 事前学修は、授業内容の部分を指定教科書や関連図書や資料で知識を深めておくこと。
3. 前回の質問や小テストの解答に対してフィードバックをする。
4. 授業時間内に Glexa 上で小テストを 6 回実施（第 2 回目～第 7 回目授業）。
5. リフレクションペーパーは、翌日 13 時までに Glexa 上の指定された場所に提出すること。
6. 出席状況は適宜 Glexa に提示するので、各自、自分の出席状況を確認すること。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション、災害と気候変動・災害の定義** 事前学修：［30 分］昨今の災害についての文献や自身の体験を交えて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪・内木
2	**災害看護の歴史と定義、赤十字における災害救護活動の実際** 事前学修：［30 分］教科書の「A 災害看護のあゆみ」について読み発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪・内木
3	**災害サイクルに対応した災害看護活動** 事前学修：［30 分］災害サイクルについて調べノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪・内木
4	**防災対策の基本（自助・共助・公助）** 事前学修：［30 分］自助について説明できるよう調べ、自分が実際に行っている自助について発言できるようノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	内木・橋爪
5	**災害看護と法律・制度** 事前学修：［30 分］災害発生時の法律について興味のあるものについて調べノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	内木・橋爪
6	**災害とこころの変化** 事前学修：［30 分］ストレスついての文献や自身の体験を交えて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義、シミュレーション	内木・橋爪

No	内容	形式	教員
7	**災害医療とトリアージの原則・方法** 事前学修：［30 分］2 種類のトリアージについて調べ概要が説明できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪・内木
8	**災害と健康課題** **コースサマリー** 事前学修：［30 分］災害による健康課題について調べてノートにまとめる。 事後学修：［120 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。授業を振り返り、課題レポートに取り組む。	講義、討論	橋爪・内木

▌教科書
浦田喜久子編. 系統看護学講座　統合分野　災害看護学・国際看護学. 最新版. 医学書院.

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
小テストの解説やリフレクションペーパーの質問についてのフィードバックは、次回の講義で行う。また、課題レポートのフィードバックは、Glexa にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学習したことを基盤に、被災者との関わり方や災害看護に欠かせない基本的な知識を学習する。

▌成績評価の仕方
1. 小テスト：6 回（第 2 回目～第 7 回目授業）60 %：10 点× 6 回（60 点）
2. 事後課題レポート：授業内で課題レポートのテーマを提示する。40 %（40 点）

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 16：00～17：00
内木（406 研究室）、橋爪（408 研究室）

▌受講上の注意事項
★ 4 年次の総合実習で災害看護学（救急看護）を希望する学生は、赤十字救急法を受講しておいてください。
★令和３年度は大学では実施しません。
個人で各都道府県の赤十字支部のホームページから申し込み受講することができます。（令和３年度は赤十字支部でも実施予定はありません）
＊ただし、今後の Covid-19 の状況をみながら総合実習での受講条件は検討いたします。

災害看護論 I

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」変化**　**「2」連携**　**「3」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBID150**

○内木　美恵、橋爪　朋子

▌授業の目的

災害発生から自分や家族の身を守る防災や減災対策を習得すると同時に、災害という異常事態のなかで赤十字やその他の機関が行う救護活動の全体像から災害看護の役割を理解し、将来、災害救護活動の推進者として成長できるように基礎的能力を養う。

▌到達目標

1. 国内および国外で発生する大災害の現状と今日的課題について説明できる。
2. 災害看護の歴史的発展を理解する。
3. 災害救護活動における赤十字に果たす役割について説明できる。
4. 災害の概念、災害時の健康障害について理解する。
5. 災害時における、人々の生命や健康および生活を支えるために必要な看護の基本について説明できる。
6. トリアージの基本的知識と方法について説明できる。
7. 自己防災および地域防災の重要性とその実際について説明できる。

▌学習の進め方

・授業の展開：1 学年を 2 クラスに分け講義形式で行う。
・映像シミュレーション：災害現場や被災者の状況、救護班の活動のイメージができるように適宜取り入れる。

1. 時間割通りに授業を実施し、出席確認は、Glexa 上で行う。
2. 事前学修は、授業内容の部分を指定教科書や関連図書や資料で知識を深めておくこと。
3. 前回の質問や小テストの解答に対してフィードバックをする。
4. 授業時間内に Glexa 上で小テストを 6 回実施（第 2 回目～第 7 回目授業）。
5. リフレクションペーパーは、翌日 13 時までに Glexa 上の指定された場所に提出すること。
6. 出席状況は適宜 Glexa に提示するので、各自、自分の出席状況を確認すること。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション、災害と気候変動・災害の定義** 事前学修：［30 分］昨今の災害についての文献や自身の体験を交えて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪・内木
2	**災害看護の歴史と定義、赤十字における災害救護活動の実際** 事前学修：［30 分］教科書の「A 災害看護のあゆみ」について読み発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪・内木
3	**災害サイクルに対応した災害看護活動** 事前学修：［30 分］災害サイクルについて調べノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪・内木
4	**防災対策の基本（自助・共助・公助）** 事前学修：［30 分］自助について説明できるよう調べ、自分が実際に行っている自助について発言できるようノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	内木・橋爪
5	**災害看護と法律・制度** 事前学修：［30 分］災害発生時の法律について興味のあるものについて調べノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	内木・橋爪
6	**災害とこころの変化** 事前学修：［30 分］ストレスついての文献や自身の体験を交えて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義、シミュレーション	内木・橋爪

No	内容	形式	教員
7	**災害医療とトリアージの原則・方法** 事前学修：［30 分］2 種類のトリアージについて調べ概要が説明できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪・内木
8	**災害と健康課題** **コースサマリー** 事前学修：［30 分］災害による健康課題について調べてノートにまとめる。 事後学修：［120 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。授業を振り返り、課題レポートに取り組む。	講義、討論	橋爪・内木

▌教科書
浦田喜久子編. 系統看護学講座　統合分野　災害看護学・国際看護学. 最新版. 医学書院.

▌参考書、参考資料等
なし

▌フィードバックの仕方
小テストの解説やリフレクションペーパーの質問についてのフィードバックは、次回の講義で行う。また、課題レポートのフィードバックは、Glexa にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学習したことを基盤に、被災者との関わり方や災害看護に欠かせない基本的な知識を学習する。

▌成績評価の仕方
1. 小テスト：6 回（第 2 回目～第 7 回目授業）60 %：10 点× 6 回（60 点）
2. 事後課題レポート：授業内で課題レポートのテーマを提示する。40 %（40 点）

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 16：00～17：00
内木（406 研究室）、橋爪（408 研究室）

▌受講上の注意事項
★ 4 年次の総合実習で災害看護学（救急看護）を希望する学生は、赤十字救急法を受講しておいてください。
★令和３年度は大学では実施しません。
個人で各都道府県の赤十字支部のホームページから申し込み受講することができます。（令和３年度は赤十字支部でも実施予定はありません）
＊ただし、今後の Covid-19 の状況をみながら総合実習での受講条件は検討いたします。

災害看護論Ⅱ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年・編入 4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」連携**　**「2」探求**　**「3」成長**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBID400**

○内木　美恵、橋爪　朋子

▌授業の目的

災害時要援護者の理解と共に、地域社会における防災ネットワークの重要性とその構築・活用方法について習得する。災害サイクル別における保健活動の役割、災害時における感染症の発生とその対策、更に災害に関する倫理と法律について習得する。災害時における病院の危機管理体制と対応について学習する。

▌到達目標

1. 災害時要援護者の定義とその特性に応じた支援内容について説明できる。
2. 災害ネットワークの活用において、地域社会との連携の実際について説明できる。
3. 災害時に発生しやすい疾病と、感染症対策の意義と方法について理解できる。
4. 災害時、被災者や救援者に関する倫理的配慮について理解できる。
5. 災害サイクル別における保健活動の意義と役割について説明できる。
6. 災害看護活動に関連する法律について説明できる。
7. 病院の危機管理体制・対応について理解できる。

▌学習の進め方

・授業の展開：1 学年を 2 クラスに分け対面と遠隔(Zoom)のハイブリット形式で行う。

1. 時間割通対面のクラスは指定された教室で、遠隔のクラスは指定された Zoom に参加する。出席確認は、いずれも Glexa 上で行う。
2. 事前学修は、授業内容の部分を指定教科書や関連図書や資料で知識を深めておくこと。
3. 前回の質問や小テストの解答に対してフィードバックをする。
4. 授業時間内に Glexa 上で小テストを 6 回実施(第 2 回目～第 7 回目授業)。
5. リフレクションペーパーは、翌日 13 時までに Glexa 上の指定された場所に提出すること。
6. 出席状況は適宜 Glexa に提示するので、各自、自分の出席状況を確認すること。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** **被災者特性に応じた災害看護(災害時要配慮者を含む)** 事前学修：[30 分] 教科書を読み災害看護論Ⅰの授業内容を復習しておく。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪・内木
2	**災害とこころのケア** 事前学修：[30 分] こころのケアついての文献や自身の体験を交えて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪・内木
3	**急性期における支援と看護の役割、災害医療** 事前学修：[30 分] 災害医療と平時の医療の違いについて調べノートにまとめる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪・内木
4	**亜急性期における支援と看護の役割(避難所等)** 事前学修：[30 分] 実家(自宅)の避難所に関する情報を調べノートにまとめる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪・内木
5	**慢性期・復興期における支援と看護の役割(仮設住宅等)** 事前学修：[30 分] 東日本大震災での応急仮設住宅に関する情報を調べノートにまとめる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪・内木
6	**静穏期における支援と看護の役割(病院防災含む)** 事前学修：[30 分] 実家(自宅)がある地域の防災に関する情報を調べノートにまとめる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪・内木
7	**災害看護学における倫理** 事前学修：[30 分] 看護者の倫理綱領を調べノートにまとめる。 事後学修：[15 分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	内木・橋爪

No	内容	形式	教員
8	**災害対応にかかわる職種間・組織間連携** **コースサマリー** 事前学修：［30 分］災害にかかわる団体を 1 つ取り上げ、その活動内容を調べノートにまとめる。 事後学修：［120 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。授業を振り返り、課題レポートに取り組む。	講義・討論	橋爪・内木

▌教科書

浦田喜久子他(2019). 系統看護学講座　災害看護学・国際看護学. 第 4 版. 医学書院.
その他各プログラムに必要な資料を作成し授業で配布する。

▌参考書、参考資料等

小原真理子(2012). 災害看護―心得ておきたい基本知識. 改訂 2 版. 南山堂.

▌フィードバックの仕方

小テストの解説やリフレクションペーパーの質問についてのフィードバックは、次回の講義で行う。また、課題レポートのフィードバックは、Glexa にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

災害看護論Ⅰより発展的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方

1. 小テスト：6 回(第 2 回目～第 7 回目授業) 60 %：10 点× 6 回(60 点)
2. 事後課題レポート：授業内で課題レポートのテーマを提示する。40 %(40 点)

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 16：00～17：00
内木(406 研究室)、橋爪(408 研究室)

▌受講上の注意事項

5/19、5/26 のみ水曜日 5 限となるため注意すること。
＊この科目は看護師国家試験受験資格のみ取得者の選択必修科目であること。

災害看護活動論Ⅰ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」連携**　**「3」探求**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBID200**

○内木　美恵、織方　愛、橋爪　朋子

▌授業の目的

1. 災害発生時における現場救護所の設営や運営に必要な組織的な運営、各役割について理解する。
2. シミュレーションや演習を通して、災害急性期の看護活動に必要とされる基本的な判断力、救護技術、心構えと態度、行動力を習得する。

▌到達目標

1. 赤十字救護班の派遣体制の基本について理解する。
2. 災害現場を想定したシミュレーションを通じ，状況の情報収集から必要な救護活動をアセスメントできる。
3. 避難所の運営に必要な知識・技術を習得することができる。
4. 広尾地区を知り災害ハザードに気づくことができる。
5. 災害急性期に果たす役割を理解することができる。

▌学習の進め方

「AL」
プログラムは講義、図上訓練、救護訓練、総合演習と段階的に参加型で進める。
1. 授業内容は、東京都支部との調整で前後する場合がある。
2. 事前学修は、授業内容の部分を指定教科書や関連図書や資料で知識を深めておくこと。
3. リフレクションペーパーの質問に対して、次回授業でフィードバックをする。
4. リフレクションペーパーは、翌日 13 時までに Glexa 上の指定された場所に提出すること。
5. 出席状況は適宜 Glexa に提示するので、各自、自分の出席状況を確認すること。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション，目標設定のグループワーク** 事前学修：［30 分］災害看護論Ⅰ授業資料に目を通し、復習しておく。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪・内木
2	**災害図上訓練（DIG）Ⅰ講義** 事前学修：［15 分］災害看護論Ⅰ授業資料に目を通し、復習しておく。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪・内木
3	**災害図上訓練（DIG）Ⅱ－①　地域探索** 事前学修：［30 分］DIG に関する参考書を読み、A4 用紙 1 枚程度にまとめる。 事後学修：［120 分］地区探索を行い、発表資料を制作する。	地域探索、グループワーク	橋爪・内木
4	**災害図上訓練（DIG）Ⅱ－②　地域探索** 事前学修：［30 分］DIG に関する参考書を読み、A4 用紙 1 枚程度にまとめる。 事後学修：［120 分］地区探索を行い、発表資料を制作する。	地域探索・グループワーク	橋爪・内木
5	**災害図上訓練（DIG）Ⅲ－①　まとめ** 事前学修：［60 分］発表資料の作成準備を行う。 事後学修：［60 分］発表資料を修正し、グループごとに提出。	グループワーク・討論	橋爪・内木
6	**災害図上訓練（DIG）Ⅲ－②　発表** 事前学修：［60 分］発表資料の作成準備を行う。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	グループワーク・討論	橋爪・内木
7	**救護技術演習Ⅰ-①　規律行動訓練** 事前学修：［15 分］オリエンテーション資料を読み演習の内容をイメージしておく。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	演習	日本赤十字社東京都支部･橋爪･内木・織方
8	**救護技術演習Ⅰ-②　無線機・自家発電機の取り扱い** 事前学修：［15 分］オリエンテーション資料を読み演習の内容をイメージしておく。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	演習	日本赤十字社東京都支部･橋爪･内木・織方
9	**救護技術演習Ⅱ－①　担架・簡易ベッド・救護テントの設営等** 事前学修：［15 分］救護技術演習で学んだものを復習しておく。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	演習	日本赤十字社東京都支部･橋爪･内木・織方

No	内容	形式	教員
10	**救護技術演習Ⅱ－②　搬送等** 事前学修：［15 分］救護技術演習で学んだものを復習しておく。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	演習	日本赤十字社東京都支部･橋爪･内木・織方
11	**救護技術演習Ⅲ－①　きずの手当て等** 事前学修：［15 分］救護技術演習で学んだものを復習しておく。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	演習	日本赤十字社東京都支部･橋爪･内木・織方
12	**救護技術演習Ⅲ－②　きずの手当て等** 事前学修：［15 分］救護技術演習で学んだものを復習しておく。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	演習	日本赤十字社東京都支部･橋爪･内木・織方
13	**救護技術演習Ⅳ　総合演習** 事前学修：［30 分］救護技術演習で学んだものを復習しておく。 事後学修：［15 分］救護技術演習を振り返り、リフレクションペーパーを作成・提出する。	演習	橋爪・内木・織方
14	**救護技術演習Ⅳ　総合演習・まとめ** 事前学修：［30 分］救護技術演習で学んだものを復習しておく。 事後学修：［15 分］救護技術演習を振り返り、リフレクションペーパーを作成・提出する。	シミュレーション	橋爪・内木・織方
15	**コースサマリー** 事前学修：［15 分］これまでの授業内容を振り返っておく。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪・内木

▌教科書
各プログラムに必要な資料を作成し授業中に配付する。

▌参考書、参考資料等
浦田喜久子他(2019). 系統看護学講座　災害看護学・国際看護学. 第 4 版. 医学書院.

▌フィードバックの仕方
発表のフィードバックは、授業の中で行っていく。リフレクションペーパーの質問についてのフィードバックは、次回の講義で行う。また、課題レポートのフィードバックは、Glexa にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
1 年次の災害看護論Ⅰで学んだ「災害サイクルに対応した災害看護活動」、4 年次で学ぶ災害看護論Ⅱの「急性期における支援と看護の役割、災害医療」、2 年次後期で学ぶ災害看護活動論Ⅱによる「避難所シミュレーション」が、演習を通して災害急性期の傷病者の援助を学ぶ上で本活動論に関連している。

▌成績評価の仕方
1. プレゼンテーション、課題への取り組み 40 %(40 点)
2. 事後課題レポート：授業内で課題レポートのテーマを提示する。60 %(60 点)

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 17：00～18：00
内木(406 研究室)、織方(554 研究室)、橋爪(408 研究室)

▌受講上の注意事項
7/28 水曜日 5 限となるため注意すること。
※大学広報のための写真撮影にご協力ください。大学広報媒体に掲載される可能性があります。不都合のある学生は教員までご一報ください。

災害看護活動論Ⅱ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**2 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」連携**　**「3」探求**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBID250**

○内木　美恵、橋爪　朋子

▌授業の目的

防災・被災対応の意味や基盤となる知識について学ぶ。その一環として、避難所・仮設住宅における生活の視点、起きやすい健康課題とその予防について、具体的に学ぶ。

▌到達目標

1. 防災・被害対応の意味、危機管理対応について理解する。
2. 避難所の目的や立ち上げに関連する行政の役割やシステムについて説明できる。
3. 避難所の特徴や避難所生活が被災者の心身に及ぼす影響について説明できる。
4. 被災者の生活の視点から捉えた避難所・仮設住宅における生活支援の必要性について説明できる。
5. 演習を通して、避難所の設営に必要な人材や資機材、被災者同士の協働のあり方について考察できる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開：講義と演習
2. 講習：日本赤十字社高齢者の健康生活支援講習の受講。
3. 演習：避難所および仮設住宅で生活する人びとへの支援。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** 事前学修：［30 分］昨年度の災害を一つ選び被災地域について調べ、発言できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪・内木
2	**被災地域特性と看護の役割** 事前学修：［30 分］昨年度の災害を一つ選び被災地域について調べ、発言できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪・内木
3	**避難所及び仮設住宅の生活と高齢者に起きやすい健康課題** 事前学修：［30 分］高齢の被災者に起こりうる問題について発言できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・グループワーク	内木・橋爪
4	**避難所及び仮設住宅の生活と高齢者に起きやすい健康課題** 事前学修：［30 分］高齢の被災者に起こりうる問題について発言できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	内木・橋爪
5	**避難所シミュレーション** 事前学修：［30 分］避難所で生活中の被災者について具体的なできごとを調べ発言できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	シミュレーション	内木・橋爪
6	**避難所シミュレーション** 事前学修：［30 分］避難所で生活中の被災者について具体的なできごとを調べ発言できるよう A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	シミュレーション・発表・討論	内木・橋爪
7	**赤十字健康生活支援講習①　高齢者の健康と安全** 事前学修：［30 分］講習教本の（高齢者の健康と安全）の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：［15 分］演習を行った知識・技術の復習をする。	講義・演習	日本赤十字社東京都支部・橋爪・内木
8	**赤十字健康生活支援講習②　高齢者の健康と安全** 事前学修：［30 分］講習教本の（高齢者の健康と安全）の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：［15 分］演習を行った知識・技術の復習をする。	講義・演習	日本赤十字社東京都支部・橋爪・内木

No	内容	形式	教員
9	**赤十字健康生活支援講習③　日常生活における介護** 事前学修：［30 分］講習教本の（日常生活における介護）の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：［15 分］演習を行った知識・技術の復習をする。	講義・演習	日本赤十字社東京都支部･橋爪･内木
10	**赤十字健康生活支援講習④　日常生活における介護** 事前学修：［30 分］講習教本の（日常生活における介護）の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：［15 分］演習を行った知識・技術の復習をする。	講義・演習	日本赤十字社東京都支部･橋爪･内木
11	**赤十字健康生活支援講習⑤　移動・食事・排泄・着替え** 事前学修：［30 分］講習教本の（移動・食事・排泄・着替え）の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：［15 分］演習を行った知識・技術の復習をする。	講義・演習	日本赤十字社東京都支部･橋爪･内木
12	**赤十字健康生活支援講習⑥　移動・食事・排泄・着替え** 事前学修：［30 分］講習教本の（移動・食事・排泄・着替え）の範囲を読み、どのような事を行うのかイメージでき物品の準備ができる。 事後学修：［15 分］演習を行った知識・技術の復習をする。	講義・演習	日本赤十字社東京都支部･橋爪･内木
13	**赤十字健康生活支援講習⑦　清潔・認知症高齢者の介護** 事前学修：［30 分］講習教本に目を通し学科検定試験で合格できるよう準備をする。 事後学修：［15 分］演習を行った知識・技術の復習をする。	講義・演習	日本赤十字社東京都支部･橋爪･内木
14	**赤十字健康生活支援講習⑧　学科検定** 事前学修：［30 分］講習教本に目を通し学科検定試験で合格できるよう準備をする。 事後学修：［15 分］演習を行った知識・技術の復習をする。	試験	日本赤十字社東京都支部･橋爪･内木
15	**コースサマリー** 事前学修：［15 分］これまでの授業内容を振り返っておく。 事後学修：［120 分］課題レポートに取り組み提出する。	講義・討論	日本赤十字社東京都支部･橋爪･内木

▌教科書
必要な資料を作成し授業で配布する。

▌参考書、参考資料等
小原真理子 (2010). 演習で学ぶ災害看護. 第 1 版. 南山堂.

▌フィードバックの仕方
プレゼンテーションのフィードバックは、授業の中で行い、リフレクションペーパーの質問についてのフィードバックは、次回の講義で行う。また、課題レポートのフィードバックは、Glexa にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
災害看護論Ⅰ、災害看護活動論Ⅰの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方
1. プレゼンテーション、課題への取り組み 40 %（40 点）
2. 事後課題レポート：授業内で課題レポートのテーマを提示する。60 %（60 点）

▌オフィスアワー・研究室等
授業開講日の 16：00〜17：00
内木（406 研究室）・橋爪（408 研究室）

▌受講上の注意事項
赤十字健康生活支援講習 (受講料別途 1,000 円程度・第 2 回で徴収）の全日程出席者には「健康生活支援員」の受験資格が与えられる。最終日に行う認定試験に合格すると、日本赤十字社より「健康生活支援員」の資格が認定され、認定証が授与される。
※ Covid-19 の状況をみながら、最終的に実施するかどうか決定します。

災害看護活動論Ⅲ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」連携**　**「3」探求**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBID301**

○内木　美恵、橋爪　朋子

▌授業の目的

災害中長期において起きやすい健康および生活に関する問題、対応について学ぶ。被災者および救護者に対する「こころのケア」の必要性と共に、時期的変化をふまえた「こころの状態」について理解し、基本的なコミュニケーションの方法について具体的に学ぶ。

▌到達目標

1. 被災者の危機的状況と心の反応を時期的変化と共に説明できる。
2. こころのケアとは何か、こころのケアの効果と実施上の基本原則について説明できる。
3. こころのトリアージの必要性およびこころのトリアージの分類について説明できる。
4. 災害中長期における被災者の生活の場の特性と被災者のニーズについて理解する。
5. こころのケアを展開する生活の場についての具体的な方法を演習で展開できる。
6. 救護者のこころのケアについて、その必要性と具体的な方法について説明できる。
7. 遺族及び救援者のこころのケアについて討論を展開し、考察展開できる。

▌学習の進め方

「AL」
1. 授業の展開：講義と演習、基本的に毎回２コマ続きの講義・ディスカッションを行う。
2. 講義：こころのケアの概論と被災者・救援者・遺族へのこころのケア

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** 事前学修：［30 分］災害看護論Ⅰ授業資料に目を通し、復習しておく。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪・内木
2	**被災者の生活とこころの変化** 事前学修：［30 分］災害看護論Ⅰ授業資料に目を通し、復習しておく。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	橋爪・内木
3	**被災者のこころのケア** 事前学修：［30 分］被災者のこころのケアについての文献を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	橋爪・内木
4	**被災者のこころのケア** 事前学修：［30 分］被災者のこころのケアについての文献を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	橋爪・内木
5	**災害時要配慮者のこころのケア** 事前学修：［30 分］災害時要配慮者の特徴を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	橋爪・内木
6	**災害時要配慮者のこころのケア** 事前学修：［30 分］災害時要配慮者の特徴を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	橋爪・内木
7	**救援者のこころのケア** 事前学修：［30 分］第 3、4 回目授業資料を読み、被災者のこころのケアについて復習する。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	橋爪・内木
8	**救援者のこころのケア** 事前学修：［30 分］第 3，4 回目授業資料を読み、被災者のこころのケアについて復習する。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	橋爪・内木
9	**遺族のこころのケア** 事前学修：［30 分］映画「遺体　明日への十日間」のあらすじを読み、遺族の心情について A4 用紙にまとめてくる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	橋爪・内木

No	内容	形式	教員
10	**遺族のこころのケア** 事前学修：［30 分］映画「遺体　明日への十日間」のあらすじを読み、遺族の心情について A4 用紙にまとめてくる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	橋爪・内木
11	**日本赤十字社救護班の活動：整体** 事前学修：［30 分］第 9 回、10 回の授業内容を振り返り、遺族のこころのケアについて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	内木・橋爪
12	**日本赤十字社救護班の活動：整体** 事前学修：［30 分］第 9 回、10 回の授業内容を振り返り、遺族のこころのケアについて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	内木・橋爪
13	**日本赤十字社救護班の活動：整体** 事前学修：［30 分］第 11 回、12 回の授業内容を振り返り、整体について発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	内木・橋爪
14	**日本赤十字社救護班の活動：整体** 事前学修：［30 分］第 11 回、12 回の授業内容を振り返り、整体について発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：［15 分］リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	内木・橋爪
15	**コースサマリー** 事前学修：［30 分］これまでの授業内容を振り返っておく。 事後学修：［120 分］課題レポートに取り組み提出する。	講義・討論	橋爪・内木

▌教科書

必要な資料を作成し授業で配布する。

▌参考書、参考資料等

浦田喜久子編（2019）．系統看護学講座 統合分野　災害看護学・国際看護学．第 4 版．医学書院.
斉藤仁（2008）．看護師金田和子と救護班．インターメディカ.
飯塚訓（1998）．墜落遺体．講談社.
君塚良一（2013）．遺体　明日への十日間．ポニーキャニオン（DVD).

▌フィードバックの仕方

プレゼンテーションのフィードバックは、授業の中で行い、リフレクションペーパーの質問についてのフィードバックは、次回の講義で行う。また、課題レポートのフィードバックについては、Glexa にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

1. 災害看護論Ⅰの単位取得を履修要件とする。
2. 災害看護活動論Ⅰ・Ⅱの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を扱う。

▌成績評価の仕方

1. プレゼンテーション、課題への取り組み 40 %（40 点）
2. 事後課題レポート：授業内で課題レポートのテーマを提示する。60 %（60 点）

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 16：00〜17：00
内木（406 研究室）・橋爪（408 研究室）

看護援助論実習〔レベルⅠ〕

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」関係**　**「3」探求**　実務経験がある
教員：○　科目ナンバー：**HBNP150**

○川原由佳里、吉田みつ子、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、鬼頭幸子、遠山義人、吉田里奈、田中孝美、河田照絵、池田圭子、西田朋子、織方愛、橋爪朋子、湯淺晶子、髙田由紀子、池田良輔子、内藤なづな、鈴木健太、桑原雄三、守谷千明、冨澤真紀

▌授業の目的

臨床看護の場において看護ケアを必要としている人々との直接的な関わりを通して、個々人の必要とするニーズを理解し、既習の知識・技術を活用しながら基本的な看護援助の方法を学ぶ。

▌到達目標

1. 対象者に積極的に関心をもつ
2. 対象者と自分との相互作用に気づき、対象者の身になって感じ、考える。
3. 対象者を生活者として把握する。
4. 健康上の問題が対象者の生活行動に及ぼす影響を理解する。
5. 対象者の、援助を必要とするニーズを理解する。
6. 既習の知識・技術を用いて対象者の健康に資するよう援助する。
7. 対象者のもつ力を活かすように援助する。
8. 行った看護を言語化し、吟味する。

▌学習の進め方

1. 学内オリエンテーション：実習の目標、スケジュール、事前学習課題等を確認し、事前準備、実習に求められる知識や技術等について確認する。
2. 病院実習：入院中の患者を 1～2 名担当し、患者への関わりを通して必要なニーズを把握し、日常生活行動の援助を行う。その過程を通し、援助的な関係を深める。学生自身が看護の展開プロセスの中で気付いたり、感じ、考えたりしたことは、実習記録、カンファレンスで言語化し、グループメンバーとディスカッションできるようにする。
3. 学習体験発表・レポート：学習体験発表では、実習での学びを振り返り発表する。学習体験発表内容をさらに深めてレポートにまとめる。
4. 評価面接：学生が記録した自己評価表をもとに、学生と担当教員が評価面接を行う。実習での学びと課題について振り返る。
5. 状況に応じて臨地実習、学内実習、遠隔実習、オンデマンドの学習を組み合わせて実施する可能性がある。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習日程：2022 年 1 月 17 日(月)～1 月 28 日(金)
実習場所：日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、大森赤十字病院、横浜市立みなと赤十字病院
実習時間：8 時 30 分～16 時 00 分
＊実習オリエンテーションは時間割を参照のこと。
＊なお、レベルⅠ実習の一部として、2021 年 8 月 6 日(金)に見学実習を行う。見学実習では、「さまざまな健康レベルにある人々への看護援助場面の見学を通して、援助の実際や場の特性を知る。」ことを目的とする。詳細は実習要項を参照のこと。

▌教科書

なし

▌参考書、参考資料等

実習オリエンテーションのときに、参考図書・資料を提示する。

▌フィードバックの仕方

①最終面接で自己評価内容を確認しながら全体評価についてのフィードバックを行う
②実習記録自己評価表の教員コメント欄にてフィードバックを行う

▌他の授業科目との関連

看護学概論Ⅰ、看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ①・Ⅲ②、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなどの学習が土台になります。レベルⅠ実習履修に必要な科目の試験受験資格を有していること(「履修の手引き」の実習について：履修要件科目を参照のこと)

▌成績評価の仕方

自己評価表に基づく面接 35 点、学習体験発表 10 点、実習への取り組み姿勢(実習オリエンテーション時の課題を含む)・カンファレンスへの参加度 35 点、課題レポート 20 点　合計 100 点で評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

実習オリエンテーション日の昼休み。　各施設責任者(各研究室)＊各施設責任者名は別途資料を参照のこと。

▌受講上の注意事項

実習オリエンテーションは、時間厳守で臨むこと。原則として、事前に連絡せずに実習オリエンテーションに遅刻、欠席した場合は、実習を履修できませんので注意してください。
実習形式、記録提出方法、および面接方法は状況により変更する可能性があります。

看護援助論実習〔レベルⅡ〕

単位：**5 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**2 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践　「2」関係　「3」探求**　実務経験がある
教員：○　科目ナンバー：**HBNP200**

○三浦英恵、○吉田みつ子、○本庄恵子、○安部陽子、○佐々木幾美、○川原由佳里、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、鬼頭幸子、遠山義人、吉田里奈、田中孝美、河田照絵、池田圭子、西田朋子、織方愛、橋爪朋子、髙田由紀子、内藤なづな、柴田純子、桑原雄三、守谷千明、冨澤真紀、管野心葉

▌授業の目的

健康障害をもつ人を対象とし、援助的人間関係を発展させる。
看護過程を用いて対象となる人を全体論的に捉え、対象者の健康にかかわる能力が発揮されるよう、看護援助を行うことができる。

▌到達目標

1. 対象者との援助的人間関係を発展させる。
2. 対象者を尊重し、権利と尊厳を守るための課題に気づくことができる。
3. 看護アセスメントを行い、全体像を捉える。
4. 看護援助を計画することができる。
5. 援助を対象者の状況に合わせて実施し、考察することができる。
6. 対象者をとりまく人々と連携し、より良い方策を考えることができる。
7. 学生として責任のある行動をとり、主体的に学びを深める。

▌学習の進め方

1. 事前学習・学内学習
オリエンテーション時に実習の概要および事前学習課題について説明するため、実習開始前に事前学習を行う。
実習の開始前や期間中に学内学習日を設ける。実習に必要な事前知識や技術を学び、実習に生かすようにする。看護過程の展開に関する個別指導やグループ指導を受けることができるため学習状況に合わせて主体的に活用する。
2. 臨地実習および学内実習（対面/遠隔）
臨地実習とオンデンマンド型・同時双方向型のオンライン環境および対面による学内実習を組み合わせて実習を進める。
受け持ち患者を担当し、看護過程を用いて看護援助の検討を行う。
視覚的教材を活用して、できるだけ場面を想像しながら対象者の理解と看護援助を思考していくことができるようにする。
実習は記録物、視覚教材、ロールプレイ、カンファレンスを通して対象を理解し、援助的人間関係を発展させながら、患者一人ひとりに合わせた看護を実施し振り返りを行う中で学びを深める。
毎日開催されるカンファレンスでは、グループダイナミクスを生かし、学びを共有し深める。
事例の中で、医療安全や多職種連携など実習目標に合わせた取り組みなども学習できるようにする。
3. ケース発表・レポート
ケース発表では、実習での学びを振り返り考察する。
レポートでは、ケース発表を発展させる形で　学びを深める。
4. 評価面接
学生が記載した自己評価表をもとに、学生と教員とで評価面接を行う。
実習での学びと課題について振り返る機会とする。
5.　事後学習
カンファレンス・ケース発表・評価面接を通して得た学びや自己の課題を整理し、今後の学習につなげる。
＊詳細は、オリエンテーションなどで提示する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：2021 年 8 月 30 日（月）～10 月 1 日（金）の 5 週間
実習形態：状況に応じて臨地実習および学内実習（遠隔あるいは対面）を組み合わせた実習を行う。
担当教員：教員 1 名につき 1 グループ 6～7 名を担当し、直接、実習指導を行う。
実習場所（予定）：日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、大森赤十字病院、横浜市立みなと赤十字病院
臨床指導者：日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、大森赤十字病院、横浜市立みなと赤十字病院の看護部の皆様、指導者の皆様から情報提供、助言を得る機会を設ける。

▌教科書

吉田みつ子・本庄恵子編著（2020）．新訂版 写真でわかる実習で使える看護技術 アドバンス．インターメディカ.

▌参考書、参考資料等

川島みどり監修（2007）．学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術．医学書院.
守田美奈子監修（2020）．新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス．インターメディカ.

▌フィードバックの仕方

1. 全体評価のフィードバックは、最終面接にて自己評価表を確認しながら行う。

2. 実習記録やレポートのフィードバックは、コメントを付した実習記録の返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

レベルⅡ実習履修に必要な科目の修了試験受験資格を有していること(「履修の手引き／シラバス」の実習について：履修要件を参照のこと)。看護援助論Ⅰ(看護過程)で用いた書式にて、受け持ち患者の看護過程を展開する。

▌成績評価の仕方

1. 全体像検討・ケース発表 20 %　2. ケースレポート 20 %　3. 自己評価による実習達成度 35 %　4. 実習への取り組み(出席状況含む) 25 %

▌オフィスアワー・研究室等

5 週間の中で、各週に自己学習日を設けており、その日はオフィスアワーとする。具体的な時間と方法は、実習開始後に担当教員より提示する。尚、実習全般に関する相談は、三浦(444 研究室：h-miura@edcross.ac.jp)、吉田(448 研究室：yoshida@redcross.ac.jp) まで、連絡してください。

▌受講上の注意事項

原則として、実習オリエンテーションを遅刻・欠席した者は、実習の履修ができなくなるので注意すること。
COVID-19 感染症等の状況により、スケジュールや実習方法が変更される可能性があります。変更がある場合には、ポータル、Glexa メール等で連絡がありますので、よく確認してください。

精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期/後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」関係**　**「3」探求**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**HBNP300**

○鷹野朋実、古城門靖子、堀井湖浪、堀川英起、内藤なづな

▌授業の目的

精神保健上の問題を抱えている個人を対象に、その人となりを生活上の文脈において理解することを主限として、自らをケアの道具として最大限に生かし、対象とかかわることを学ぶ。

▌到達目標

1. 対象の理解：対象の性格・人柄・価値観・認知のパターンなどを、その人の生活史や家族背景とのつながりから、理解できる。
2. 「生きにくさ」と「リジリアンス」の理解：その人が日常生活を送る上で、どのような問題を抱えているのか、それがどのような「生きにくさ」として体験されているのかを理解できる。
3. かかわりと参加：自分のかかわりの意味を考えながら、その人の日常生活に参加することができる。
4. 振り返りと言語化：かかわりの中で生じる自分の感情や考えを振り返り、ことばにして記録し、吟味できる。
5. 治療的環境の理解：自分の治療的環境の一部として存在していることを意識して行動することができる。

▌学習の進め方

1. 病棟実習：入院中の患者を、原則として 1 人受持ち、患者の日常生活に参加しながらかかわり、患者理解、自己理解を深める。
2. ケース発表・レポート：ケース発表では、患者とのかかわりのプロセスを振り返って報告し、ディスシッションによって深める。レポートでは、ケース発表をさらに発展させる形で、文献を用いて考察し、体験を深める。

【事前学修】下記の課題１と２について記述し、実習初日に教員に提出すること。
課題１．①精神保健福祉法に定める入院形態、②統合失調症と気分障害の主要症状、③抗精神病薬の種類と作用・有害反応、についてＡ4 用紙 2〜3 枚程度にまとめる。
課題２．実習において患者とどのようにかかわってみたいかを A4 用紙 1 枚にまとめる。
【事後学修】実習を振り返り「学生とのかかわりを通して見えてきた患者の生きにくさとリジリエンス」をテーマとしてクリニカルレポートを作成し、提出する。
なお、事前学修、事後学修については、実習オリエンテーション時に詳しく説明する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：3 年次 7 月から 2 月にかけて、2 週間行う。実習場所：井之頭病院（三鷹市）、青木病院（調布市）、成増厚生病院（板橋区）、根岸病院（府中市）、三恵病院（東村山市）、多摩中央病院（多摩市）。詳細は実習要項を参照のこと。

▌教科書

武井麻子他著、系統看護学講座　精神看護学［1］［2］、医学書院。（2 年次に購入した版、発行年のものを使用する）

▌参考書、参考資料等

治療や薬物療法に関する図書については、実習前オリエンテーションにて提示する。

▌フィードバックの仕方

クリニカルレポートは、実習終了後 2〜3 ヶ月以内に、コメントをつけて各担当教員から返却する。返却の連絡は、学生宛にポータルとメールにて行うので、担当教員の指示に従って指定の場所に取りに来ること。

▌他の授業科目との関連

レベルⅡ実習に合格していること、授業科目として、精神保健看護学Ⅰ、精神保健看護学Ⅱ、疾病の成立ちと回復の促進Ⅳ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ、健康レベル別看護学演習Ⅱの全ての科目の修了試験受験資格を有していることが精神保健看護学実習 [レベルⅢ] 実習の履修要件となっています。

▌成績評価の仕方

実習への取り組み 45 %、実習記録 20 %、ケース発表 10 %、レポート 25 %。ただし欠席は 2 日以内であること。遅刻・早退は 3 回で 1 日欠席とみなす。

▌オフィスアワー・研究室等

実習前でもそれぞれの教員の研究室で相談に応じる。鷹野研究室（428）、堀井研究室（427）、古城門研究室（412）、堀川研究室（426）、内藤研究室（423）。実習中は必要なとき、遠慮せず声をかけてもらいたい。実習時間後に実習場の教員控え室で話を聞くこともできる。

▌受講上の注意事項

実習の成果ではなく、どれだけ自分が対象にコミットできたか、その結果どれだけ自己理解・対象理解が進んだかのプロセスが重要である。そのためのサポート資源として教員を活用してほしい。
実習方法、記録提出方法および面接方法は、状況によって変更する可能性がある。

発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護）実習〔レベルⅢ〕

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期/後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」関係**　**「3」擁護**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**HBNP301**

○井村真澄、新田真弓、斎藤英子、加藤千穂、東園子、由利紗織

▌授業の目的

妊娠・分娩・産褥期にある母親・子ども・父親/パートナーとその家族の健康問題を、ライフサイクルの視点と社会生活を営む人としての視点から理解し、対象の価値観を尊重し、かつ安全なケアを保証するとともに、セルフケア能力を高める援助を学ぶ。

▌到達目標

1. ライフサイクルの視点から周産期（妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期）を位置づけ、対象者を捉えることができる。
2. 周産期における対象者の健康レベルを生理的、心理・社会的な特性を踏まえて明確にし、健康の保持・増進を促すよう関わることができる。
3. 対象者の価値観を尊重し、安全で納得のいく出産体験の保証や、対象が新しい生命を家族の一員として迎え、慈しみ育てられるような関わりを学ぶことができる。
4. 社会生活を営む対象者の援助を通して、保健・医療・福祉・その他関連領域の専門家と連携し、協働による援助のあり方を考えることができる。
5. 対象者と密接に関連する社会状況の変化を捉え、well-being の視点から周産期における看護の役割を考えることができる。

▌学習の進め方

1. 病産院での実習：産科外来、分娩室、産科棟、NICU/GCU をめぐり、周産期における女性と新生児・父親/パートナーへの看護を学ぶ。産科棟では産褥早期の母親と新生児を 1 組受け持ち、看護過程を用いて看護援助を行なう。
2. 学内学習：実習期間中に学内学習日を設ける。実習に必要な知識や技術を学び、実習に活かせるよう、学生は実習室や図書館等を活用し、自己学習を行なう。また、看護過程の展開にあたっての個別指導やグループ指導を受けることができるので、自己の学習状況に合わせて主体的に活用し学習を進めること。
3. カンファレンス：日々のテーマカンファレンスでは、周産期の看護に関連するトピックスについてグループで話し合い、実習での学習体験を深める。
4. ケース発表・レポート：ケース発表では、産科棟での看護過程に焦点を当てて発表し、学びを共有する。レポートでは、各実習場での学習を通して学生個々にテーマを設定して考察する。
5. 評価面接：学生が記載した実習自己評価表をもとに、学生と教員とで評価面接を行なう。実習での学びと課題について振り返る機会とする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：2 週間
実習施設：日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、大森赤十字病院、葛飾赤十字産院、横浜市立みなと赤十字病院
実習場所：産科外来、分娩室、産科棟、NICU/GCU
実習時間：原則として 8:00～16:00（又は 8:30～16:30）であるが、実習施設、実習場所にて異なる。
※詳細については、実習要項を参照のこと。

▌教科書

平澤美恵子・村上睦子監修（2020）．新装版写真でわかる母性看護技術アドバンス．インターメディカ.

▌参考書、参考資料等

発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護①②）の講義資料、演習資料、および教科書を活用する。
教科書は森恵美他（2016）系統看護学講座専門分野Ⅱ　母性看護学各論第 13 版　母性看護学 2．医学書院である。

▌フィードバックの仕方

①最終面接で自己評価内容を確認しながら全体評価についてのフィードバックを行う
②実習記録自己評価表の教員コメント欄にフィードバックを行う

▌他の授業科目との関連

1. 看護援助論実習（レベルⅡ）に合格していること
2. 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ、発達看護学概論、発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護①）、発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護②）、看護援助論Ⅵ、健康レベル別看護学演習Ⅱの修了試験受験資格を有していること

▌成績評価の仕方

実践内容　30 %、実習記録　30 %、ケース発表　10 %、最終レポート　10%、発達看護学実習Ⅰ個人評価表　20 %とする。詳細は、実習要項を参照のこと。

▌オフィスアワー・研究室等

実習期間中の①学内学習日、② 12：10-13：00、③新田（451 研究室）、加藤（434 研究室）、東（430 研究室）、新任講師（研究室）、由利

（433 研究室）、新任助教（研究室）、新任助教（研究室）、各実習担当教員が主に対応する。

▌受講上の注意事項

1. 欠席 2 日以上の場合は再履修、遅刻・早退は 3 回で 1 日欠席とする。
2. 新生児やハイリスク児と関わるため、健康管理には十分留意する。
3. 自己の感性や生命に対する畏敬の念を高め、看護者としての倫理的な視点を養うことを期待する。
4. 実習方法、記録提出方法および面接方法は、状況に応じて変更する可能性がある。

発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）実習〔レベルⅢ〕

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期/後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」関係**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**HBNP302**

○江本リナ、山内朋子、鈴木健太、柴田純子、田代裕子

▌授業の目的

乳児・幼児・学童・思春期にある子どもとその家族の健康レベルを理解し、変化する社会の中で、子どもと家族が人間として尊重され、その人らしく生き生きと生活できるように、それぞれの健康レベルに応じた援助を考える。

▌到達目標

1. 子どもとその家族（成長発達、生活状況、健康状態）を理解するとともに、子どもと家族を取り巻く環境を認識し、その影響を考察することができる。
2. 子どもと家族の健康の保持、増進、回復のために、適切な情報を収集、分析し、既存の知識・技術を発展させ援助することができる。
3. 子どもと家族のニードに応じて、子どもと家族の尊厳と権利を擁護した援助を実践することができる。
4. 他領域の専門家と協力する重要性を認識し、調整的な機能を理解し、説明することができる。
5. 変化する社会に応じた小児看護の役割を考察することができる。

▌学習の進め方

1. オリエンテーション：広尾キャンパス内にて、各フィールドのオリエンテーションを行う。
2. 学内演習：実習の開始前、学内において小児看護技術演習を行い、実習に必要な事前知識や技術を復習する。
3. 病棟実習：小児病棟、混合病棟、のいずれかにおいて患者を受け持ち、看護援助を行う。また、院内学級の様子を見学する。カンファレンスでは、子どもと家族とかかわってみて感じたこと、考えたことをグループ内で共有し、看護援助や子どもと家族の理解につなげる。
4. 小児地域実習：小児保健、乳児院、小児科外来、クリニックのいずれかのフィールドにおいて実習を行う。カンファレンスでは、各フィールドの役割や意義について学びを共有し、子どもと家族を取り巻く環境について理解を深める。
5. ケース発表：病棟実習中の学びを振り返り、子どもと家族の特性と対象の個別性について学びを共有する。
6. 実務経験のある教員による指導：各実習フィールドに配置された実習指導者が、実習生へ実践における直接的な指導を担う。実習指導者は実習フィールドに勤務している看護師とする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 実習期間：2 週間
2. 実習場所：日本赤十字社医療センター／日本赤十字社医療センター附属乳児院／武蔵野赤十字病院／武蔵野赤十字病院内いとすぎ学級／東小金井駅前こどもクリニック／心身障害児総合医療療育センター　※詳細は、実習要項を参照のこと。

▌教科書

①筒井真優美監修（2019）. 小児看護学 第 8 版. 日総研.
②筒井真優美監修（2019）. パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護　第 2 版. 照林社.

▌参考書、参考資料等

必要に応じて文献を提示する。

▌フィードバックの仕方

レポート・実習記録のフィードバックは、コメントを付したレポート・実習記録の返却を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

▌他の授業科目との関連

履修については、履修の手引きに記載されている履修要件を確認すること。
この科目の履修には、レベルⅡ実習の単位を修得していること。発達看護学概論（小児期）、発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護①）、発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護②）、健康レベル別看護学演習Ⅱの修了試験受験資格を有すること。
この科目を合格していなければ、看護学総合実習を履修することはできない。

▌成績評価の仕方

1. 自己評価 30%　2. 実習の記録＆レポート 50%　3. 実習への取り組み 20%
※詳細は、実習要項を参照のこと。

▌オフィスアワー・研究室等

オフィスアワーは実習終了後 30 分とする。具体的な時間および場所は、実習開始後に担当教員より提示する。江本（419 研究室）　山内（443 研究室）　柴田（441 研究室）鈴木（453 研究室）　未定（　研究室）

▌受講上の注意事項

1. 子どもの発達段階、行動傾向、病状などを考慮して、安全で安楽な環境を整え、事故防止に努める。
2. 自己の健康管理に留意し、体調を整えて実習に臨む。
3. 実習形式および記録提出、面接方法は変更する可能性がある。

※詳細は、実習要項を参照のこと。

発達看護学Ⅲ（老年期の看護）実習〔レベルⅢ〕

単位：**2 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期/後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」擁護**　**「3」関係**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**HBNP303**

○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、池田良輔子、菅野心葉

▌授業の目的

さまざまな健康レベルの老年期にある個人とその家族を対象とし、対象の顕在的・潜在的能力が最大限に発揮されるよう、看護援助を実践できる。

▌到達目標

1. 老年期にある人を、環境との相互作用によって変化する個別的で複雑な発達の過程であると捉えることができる。
2. 老年期にある人の加齢および疾患などにより生じた健康障害について説明できる。
3. 老年期にある人が、それぞれの価値・信念に基づいた生き方を選択でき、充実した生活がおくれるよう、看護援助を実践することができる。
4. 老年期にある人とその家族を、常に相互作用し合いながら変化する一つのシステムとして捉えることができる。
5. 老年期にある人がおかれている我が国の保健医療福祉システムについて説明できる。

▌学習の進め方

1. 施設実習：入所中の高齢者を原則として 1 名受け持ち、看護過程を用いて看護援助を行う。看護師として高齢者への看護実践能力を身につけるため、施設の現場において、実習指導者と実習担当教員の指導の下、受け持った高齢者の健康や生活に関する情報をもとにアセスメントを行い、健康問題を明らかにし、高齢者の意思、価値観、日常生活を尊重した看護援助を実施する。
2. ケース発表・レポート：ケース発表では実習での自らの看護について振り返り考察する。レポートでは、発表での他者からの質問、意見をもとにさらに内容を深め発展させる。
3. 評価面接：学生の自己評価表をもとに学生と教員との個別面接を行い、実習での学びと課題について振り返る。

※詳細は、実習要項を参照のこと。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：3 年次 7 月～翌年 2 月までの間で 2 週間行う。

実習場所：日本赤十字社総合福祉センター（千葉・清田）、介護老人保健施設ばらの園（池田）、介護老人福祉施設やすらぎの郷（池田・坂口）、介護老人福祉施設きのこ南麻布（菅野・坂口）

＊詳細は実習要項を参照のこと

▌教科書

川島みどり監修　老年看護学　看護の科学社

▌参考書、参考資料等

老年看護学で配布された資料等

▌フィードバックの仕方

最終の実習記録やレポートのフィードバックについては、実習担当教員がコメントを付した実習記録やレポートの返却を通じて行う。実習担当教員が３月までにポータルで返却可能な時間と場所を連絡するので、取りに来ること。

▌他の授業科目との関連

疾病の成り立ちと回復の促進、発達看護学概論（老年期）、発達看護学Ⅲ①、②、健康レベル別看護学演習Ⅱ（老年看護学）の全科目の終了試験受験資格を有することで実習が可能となり、その後 4 年次で行われる看護学総合実習（老年看護学）につながる。

▌成績評価の仕方

1. 実習への参加と態度 20 %　2. 発表 10 %　3. ケースレポート 20 %　4. 自己評価表 50 %

▌オフィスアワー・研究室等

自己学習日の木曜日 12:30-13:00　坂口（414 研究室）、千葉（429 研究室）、清田（431 研究室）、池田・菅野（450 研究室）

▌受講上の注意事項

1. 実習オリエンテーションを連絡なしに欠席した場合、原則として実習をすることはできない。
2. 自己の健康管理に留意し、体調を整えて実習に取り組むこと。
3. 学外実習での基本的マナー（実習開始時刻、服装、挨拶等）を遵守し、節度を持って主体的に実習すること。
4. 実習方法、記録提出方法および面接方法は、状況によって変更する可能性がある。

健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕

単位：**3 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践　「2」連携　「3」成長**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**HBNP400**

○本庄恵子、○三浦英恵、田中孝美、西田朋子、河田照絵、樋口佳栄、織方愛、橋爪朋子、髙田由紀子、細野知子、吉良理絵、池田圭子、遠山義人、鬼頭幸子、吉田里奈、桑原雄三、守谷千明

▌授業の目的

成人期にある人々の健康にかかわる能力が発揮されるように、対象者の健康レベル(発症前期、急性期、慢性期、リハビリ期、エンドオブライフ期)に応じた看護援助を行うことができる。

▌到達目標

1. 対象者をライフサイクルの中に位置づけ、常に発達する存在として捉えることができる。
2. 成人期にある個人の健康レベルを踏まえて、身体的、心理的、社会的に捉えることができる。
3. 計画した看護援助を、対象者の状況に合わせて実施し、評価することができる。
4. 成人期にある個人の意思を尊重し、専門職者としての行動をとることができる。
5. 対象者をとりまく人々と連携し、看護の場で生じる様々な葛藤を建設的に解決するよう努力する。
6. 学生として責任のある行動をとり、主体的に学びを深めることができる。

▌学習の進め方

1. 学内演習・学習：実習の開始前および実習期間中に、学内演習・学習日を設ける。ここでは、病棟実習での目標を達成するための実習計画を立案し、実習に必要な事前知識や技術を学び、実習に生かせるようにする。また、実習での学びをまとめるための学習に活用する。
2. 病棟実習：入院中の患者を原則として 1～2 名担当し、看護過程を用いて、対象者の健康レベル(発症前期、急性期、慢性期、リハビリ期、エンドオブライフ期)に応じた看護援助を行う。対象者のケアを通して、チーム医療の一員として、看護ケアに取り組むことをめざす。
3. ケース発表・レポート：ケース発表では、実習での学びを振り返り考察する。レポートでは、ケース発表をさらに発展させる形で学びを深める。
4. 評価面接：学生が記載した実習自己評価表をもとに、学生と教員とで評価面接を行う。実習での学びと課題について振り返る機会とする。

看護師に必要な能力を身につけるため、実習施設病院の臨床現場において、実務経験のある教員と実習指導者による指導の下、担当患者のアセスメントをし、看護計画を立案する。

＊実習方法、記録提出方法および面接方法は、状況によって変更する可能性がある。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：3 週間

実習場所：日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、大森赤十字病院、横浜市立みなと赤十字病院
（詳細は実習要項を参照のこと）

▌教科書

吉田みつ子・本庄恵子編著(2017)．写真でわかる実習で使える看護技術 アドバンス [DVD 付] 学生・指導者が、一体となってケアを展開するために!．初版　インターメディカ.

▌参考書、参考資料等

川島みどり監修(2007)．学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術．初版 医学書院.

守田美奈子監修(2016)．写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス．初版 インターメディカ.

▌フィードバックの仕方

教員は評価面接において、実習目標の達成度を判定し、評価のフィードバックを行う。実習記録、ケースレポートのフィードバックは、実習評価がすべて終了した後、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。具体的な時期は、担当教員から別途連絡する。

▌他の授業科目との関連

4 年次前期の応用看護学特論Ⅰ①(チーム医療)を履修することが望ましい。

レベルⅢ実習履修に必要な科目の修了試験受験資格を有していること(「履修の手引き／シラバス」の実習について：履修要件を参照のこと)。

▌成績評価の仕方

1. 全体像ケアプラン検討・ケース発表 20%　2. ケースレポート 20%　3. カンファレンス参加度等の実習の取り組み 30%　4. 実習目標達成度 30%

▌オフィスアワー・研究室等

実習中に設けてある学内演習・学習もしくは自己学習日はオフィスアワーとする。具体的な時間と場所は、実習開始後に担当教員より提示する。尚、実習全般に関する相談は、本庄(442 研究室)、三浦(444 研究室)まで、連絡してください。

▌受講上の注意事項

原則として、実習オリエンテーションを遅刻・欠席した者は、実習の履修ができなくなるので注意すること。

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－1（精神保健看護学）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期/後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」連携**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**HBNP304**

○鷹野朋実、古城門靖子、堀井湖浪、堀川英起、内藤なづな

▌授業の目的

1. 障害者の回復と地域生活を支えるさまざまな施設の活動と目的、および法制度上の位置づけ（根拠）について理解する。
2. 精神障害者地域リハビリテーション施設に関与する人々の活動に参加しながら、そこでの相互交流の様子を観察するとともに、みずから体験し、その意味について考える。
3. 精神科病院での実習と地域リハビリテーション施設での実習の体験を統合し、精神障害者の回復のプロセスにとって、それぞれにどのような意味があるのか、何が重要なのかについて考察する。

▌到達目標

1. 障害者の回復と地域生活を支えるさまざまな施設の活動と目的、および法制度上の位置づけ（根拠）について理解できる。
2. 精神障害者地域リハビリテーション施設に関与する人々の活動に参加しながら、そこでの相互交流の様子を観察するとともに、みずから体験し、その意味について考える。
3. 精神科病院での実習と地域リハビリテーション施設での実習の体験を統合し、精神障害者の回復のプロセスにとって、それぞれにどのような意味があるのか、何が重要なのかについて考察できる。

▌学習の進め方

看護師に必要な能力を身につけるため、精神障害者地域リハビリテーションの実務家である精神保健福祉士、保健師の指導の下、精神障害者のリハビリテーションのための援助活動に参加する。

1. 事前学修
・障害者総合支援法の中に、障害者の地域生活を支援するサービスにはどのようなものがあるのかを調べて、A4 用紙 2 枚にまとめる。
・自分が実習する施設は、障害者総合支援法の中でどのように位置づけられているのか、その施設の目的や特徴は何かを調べ、A4 用紙 2 枚にまとめる。
2. 施設での実習
・ひとつの施設につき学生 2～4 人のグループに分かれ、3 日間、実習する。
・施設で実施されるプログラムに参加しながら、メンバーやスタッフとの交流を図る。
3. カンファレンス
・それぞれの施設での体験について報告し、体験の共有と深化を図る。文献を用いてそれをさらに深める。
4. 事後学修
・学んだことを文献を用いてさらに深めレポートにまとめる。（詳しくは実習要項を参照すること）

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：1 週間
実習場所：あおば福祉会（障害者総合支援法、就労継続支援 B 型）、あとりえふぁんとむ（同法、就労継続支援 B 型）、Navio けやき（同法、就労継続支援 B 型）、せせらぎ（同法、地域活動支援センター）・青桐茶房（同法、地域活動支援センター）、ストライドクラブ（同法、就労移行・継続支援 B 型、クラブハウスモデル）、巣立ち会（同法、就労継続支援 B 型）のいずれかの施設にて実習する。各施設の詳細は実習要項を参照のこと。

▌教科書

武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学［1］精神看護の基礎」第 5 版、医学書院、2020.
武井麻子他著、系統看護学講座「精神看護学［2］精神看護の展開」第 5 版、医学書院、2020
※ 2 年次に購入したものを使用する予定である。

▌参考書、参考資料等

なし

▌フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、実習終了から 4 週間後に、実習担当教員の研究室にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

▌他の授業科目との関連

レベルⅡ実習に合格していること、地域看護学の修了試験受験資格を有していることが履修条件である。精神保健看護学実習（レベルⅢ）を発展させた内容を扱います。

▌成績評価の仕方

1. 実習への取り組み 30 %　2. カンファレンスへの取り組み 20 %　3. 事前学習 10 %　4. 実習記録 20 %　5. レポート 20 %

▌オフィスアワー・研究室等

学内実習日の 12：30〜13：00、18：00〜18：30。鷹野研究室（428）、堀井研究室（427）、古城門研究室（412）、堀川研究室（426）、内藤研究室（423）。

▌受講上の注意事項

病棟実習を踏まえて、障害者が地域生活を送るために、どのような工夫をしているのか、またどんな支援を受けているのかを、実際の体験を通して、理解を深めてください。
形式および、内容は変更する可能性がある。

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－1（母性看護学）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期/後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」連携**　**「3」擁護**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**HBNP304**

○井村真澄、新田真弓、齋藤英子、加藤千穂、東園子、由利紗織

▌授業の目的

・生活の場を病院や施設を含む地域全体を単位として捉え、健康課題をもつ個人、家族、集団について、それぞれの特徴を理解する。
・多様な社会資源やそのネットワーク状況を理解し、地域におけるケアシステムおよび施設と自宅との継続支援のあり方を考える。

▌到達目標

1．地域で生活する母親と子ども、父親/パートナーとその家族を対象とし、その健康をライフサイクルの視点と生活者の視点から理解する。
2．様々な社会的背景や健康状態にある母親と子ども、父親/パートナーとその家族を理解し、健康増進のための援助を考案することができる。
3．母親と子ども、父親/パートナーとその家族への支援に際し、活用できる社会資源やそのネットワークの状況を理解し、施設と自宅との継続支援のあり方を考察することができる。

▌学習の進め方

1. 事前学習：全体オリエンテーションにて、事前課題資料を配布し、子育て経験のある女性の気持ちや、周産期、育児期に関連した法律や制度、実習施設のある地域の育児支援等について整理し理解を深める。事前課題は実習 3 週間前に提出し、実習前週の金曜日に担当教員から返却される。
2. 産科外来・母乳外来：発達看護学Ⅰ実習（レベルⅢ）での学習を踏まえ、母親と子ども、父親/パートナーとその家族との関わりを通じて対象特性を理解し、地域でより健康的に生活するための支援について理解する。
3. 医療連携・患者支援推進室：入院中あるいは外来通院中の母親と子ども、父親/パートナーとその家族への退院に向けた支援の実際を見学実習する。病院における医療連携・患者支援推進室の位置づけ、機能を理解する。
4. 産後ケアハウス：入所中の母親と子どものケア、施設で実施されるプログラム、施設の環境整備（掃除・洗濯・炊事など）を実習する。病院と自宅をつなぐケアハウスの位置づけ、地域で期待される施設の役割や関連施設（保育園等）の実際や機能を理解する。地域で生活を営む人としての母親と子ども、父親/パートナーとその家族が、既習の母子保健に関連する制度や法律、政策などをどのように活用しながら妊娠期・育児期を送っているのかについて、実習を通じて学び考察する。
5. 実習の振り返り・カンファレンス：施設毎に日々の実習の振り返りおよびカンファレンスを行う。『各自の実習目標に沿って体験を振り返り、地域で生活する母親と子ども、父親/パートナーとその家族への健康促進を促す援助』について考え、意見交換を通じて実習体験を共有し学びを深める。
6. 実習報告会：全施設で実習した学生の学びを共有する。実習目標に則して『実習体験を振り返り、地域社会において母親と子ども、父親/パートナーとその家族が抱える課題と看護のあり方』について地域特性や施設特性を踏まえて体験を共有し意見交換を通じて学びを深める。
7. 課題レポート：実習体験より捉えた現代社会における母親と子ども、父親/パートナーとその家族に関連した課題を 1 つ取り上げて説明し、看護者として期待される支援のあり方について文献を用いて考察する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 実習施設：日本赤十字社医療センター（産科外来、医療連携・患者支援推進室）、武蔵野赤十字病院（産科外来、母子保健相談室）、豊倉助産院、ウパウパ産後ケアハウス
2. 学生は、上記実習施設のうち、1～2 施設で実習する。1 施設につき、学生 1～2 名のグループに分かれて実習する。
3. 実習期間：1 週間　　＊詳細は実習要項参照のこと

▌教科書

森恵美他（2019）. 系統看護学講座専門分野Ⅱ　母性看護学各論第 13 版　母性看護学 2. 医学書院.

▌参考書、参考資料等

発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護①）、発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護②）の授業資料や健康レベル別演習Ⅱの資料を活用する。

▌フィードバックの仕方

全体評価のフィードバックは、最終の実習記録返却時に、コメントを付した実習記録自己評価表の返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護①）、発達看護学Ⅰ（リプロダクティブ・ヘルスと看護②）、健康レベル別看護学演習Ⅱ、発達看護学Ⅰ実習（レベルⅢ）等での学習内容を発展させた内容を扱います。
レベルⅡ実習に合格していること、地域看護学の受験資格を有していることが履修の要件となります。

▌成績評価の仕方

実習内容（実習への取り組み、カンファレンスの参加度など）30 %、事前学習課題 10 %、実習記録 20 %、課題レポート 20 %、個人評

価表 20 %　計 100 %

▌オフィスアワー・研究室等

実習期間中の①学内学習日、② 12：10-13：00、③新田（451 研究室）、加藤（433 研究室）、東（430 研究室）、新任講師（研究室）、由利（433 研究室）、新任助教（○○研究室）、新任助教（○○研究室）。実習担当教員の研究室にて対応する。

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－1（小児看護学）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期/後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」連携**　**「3」探求**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**HBNP304**

○江本リナ、山内朋子、鈴木健太、柴田純子、田代裕子

▌授業の目的

子どもの身体的・精神的・社会的な成長発達の状況を捉えた上で、社会で生活する子どもと家族の育児状況を理解し、健康増進のための適切な援助を考える。

▌到達目標

1. 社会で生活する子どもとその家族の生活状況、健康状態を理解し、健康増進のための援助を考案することができる。
2. 子どもと家族を取り巻く社会や小児保健医療制度を理解し、説明することができる。
3. 小児保健医療福祉チームにおける看護の役割を考察することができる。

▌学習の進め方

1. オリエンテーション：広尾キャンパス内にて、各フィールドのオリエンテーションを行う。また、各フィールドに関連のある法律・制度の事前学習内容を確認、共有する。
2. 実習：小児保健・小児科外来・乳児院のいずれか 1 か所で実習を行う。各フィールドで出会う子どもと家族と触れ合い、スタッフと共に行動し、スタッフからのアドバイスを得る。
3. カンファレンス：各フィールドでカンファレンスを行い、事前学習を踏まえた学びを共有する。
4. 実務経験のある教員による指導：各実習フィールドに配置された実習指導者が、実習生へ実践における直接的な指導を担う。実習指導者は実習フィールドに勤務している看護師とする。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 実習期間：1 週間
2. 実習施設：日本赤十字社医療センター 小児保健／日本赤十字社医療センター 小児科外来／日本赤十字社医療センター附属 乳児院

▌教科書

①筒井真優美監修（2018）．小児看護学 第 8 版．日総研.
②筒井真優美監修（2017）．パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護　第 2 版．照林社.

▌参考書、参考資料等

必要に応じて文献を提示する。

▌フィードバックの仕方

レポート・実習記録のフィードバックは、コメントを付したレポート・実習記録の返却を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

▌他の授業科目との関連

履修には、レベルⅡ実習の単位を修得していること、地域看護学の修了試験受験資格を有していることが必須である。この科目を合格していなければ、看護学総合実習を履修することはできない。
この科目は、発達看護学概論（小児期）、発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護①）、発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護②）、健康レベル別看護学演習Ⅱ、発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）実習［レベルⅢ］の内容をもとに、地域で生活する子どもと家族に焦点を当てた実習である。

▌成績評価の仕方

1. 自己評価 45 %　2. 事前課題レポート 10 %　3. 実習の記録＆レポート 25 %　4. 実習への取り組み 20 %
※詳細は、実習要項を参照のこと。

▌オフィスアワー・研究室等

実習期間中に自己学習日・学内学習日を設けており、その日はオフィスアワーとする。具体的な時間は、実習開始後に担当教員より提示する。江本（419 研究室）　山内（443 研究室）　柴田（441 研究室）鈴木（441 研究室）　未定（　研究室）

▌受講上の注意事項

1. 子どもの発達段階、行動傾向、病状などを考慮して、安全で安楽な環境を整え、事故防止に努める。
2. 自己の健康管理に留意し、体調を整えて実習に臨む。
3. 実習形式および記録の提出方法、面接方法は変更する可能性がある。
※詳細は、実習要項を参照のこと。

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（老年看護学）

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期/後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」擁護**　**「3」連携**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**HBNP304**

○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、池田良輔子、管野心葉

▌授業の目的

地域で生活する高齢者個人、その家族、それらの集団を対象とし、人々の健康を生活者の視点から捉え、看護活動を展開するために必要な知識・態度・技術を学ぶ。

▌到達目標

1. 通所施設における高齢者とスタッフ・高齢者同士の関わりについて説明できる。
2. 高齢者が地域で生活を継続するための通所施設と自宅の連携のあり方について説明できる。
3. 高齢者にとっての通所施設への参加の意味について説明できる。
4. 高齢者の家族にとっての通所施設の役割について説明できる。
5. 高齢者と家族を取り巻く社会環境や介護保険制度等について説明できる。

▌学習の進め方

1. 初日の学内演習：老年看護学領域を希望した学生を対象に実習のオリエンテーションを行い、その後、学生は実習に関連した重要事項のレポート作成に取り組む。
2. 看護師に必要な在宅で暮らす高齢者への看護実践に関する能力を身につけるために、施設の現場において、実習指導者と実習担当教員の指導の下、実習に関する重要事項に基づきながら、通所施設のプログラムに参加する。
3. 実習の学びをもとに、地域で暮らす高齢者への支援について検討し、発表資料を作成する。作成した資料をもとにグループで発表し、ディスカッションを行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：1 週間
実習時間：原則として 8:10～16:00
実習施設：日本赤十字社　総合福祉センター　通所施設（デイケアとデイサービスの 2 施設のうちの 1 施設）(千葉・清田・池田・菅野・坂口）
＊詳細は実習要項を参照して下さい。

▌教科書

川島みどり監修（2010）. 老年看護学. 看護の科学社.

▌参考書、参考資料等

老年看護学の授業で配布した資料等

▌フィードバックの仕方

最終の実習記録とレポートのフィードバックについて、実習担当教員がコメントを付した実習記録やレポートの返却を通じて行う。実習担当教員が３月までにポータルで返却可能な時間と場所を連絡するので、取りに来ること。

▌他の授業科目との関連

発達看護学概論（老年期）、発達看護学Ⅲ①、②、健康レベル別看護学演習、発達看護学Ⅲ実習（老年期の看護）（レベルⅢ）の内容をもとに、地域で生活する高齢者に焦点を当てた実習内容となる。なお、地域看護学、在宅看護学の終了試験受験資格を有することが必要である。

▌成績評価の仕方

1. 実習の参加態度　20 %　2. 学内学習記録（重要項目レポート）10 %　3. 臨地実習記録（行動計画、参加したプログラム、カンファレンス）40 %　4. 発表資料　10 %　5. レポート　20 %

▌オフィスアワー・研究室等

学内演習日木曜日、金曜日の 12:30～13:00　　坂口（414 研究室）、千葉（429 研究室）、清田（429 研究室）、池田・菅野（450 研究室）

▌受講上の注意事項

実習方法、記録提出方法および面接方法は、状況によって変更する可能性がある。

地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－２

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**4 年次**　開講期：**前期/後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」変化**　**「3」連携**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**HBNP401**

○石田千絵、吉川悦子、湯淺晶子、井口理

▌授業の目的

個々の健康を生活者の視点からとらえ、地域で生活する個人、家族、集団、それらを取り巻く地域を対象とした看護活動を展開するために必要な知識・技術・態度を学ぶとともに、基礎的な実践能力を習得する。

▌到達目標

1. 疾病や障害を持つ人とその家族を地域の生活者としてとらえ、療養者とその家族に必要な看護を考えることができる。
2. 地域における、保健・医療・福祉サービスとそれらの連携について理解し、看護の役割を認識することができる。
3. 地区踏査と既存の資料から地域の強みと弱みを抽出し、療養者の暮らしと看護の役割を考察する。

▌学習の進め方

臨地の実習施設は、訪問看護ステーションであり、訪問場面の見学、看護過程の展開を行う。
また、実習地域の地区踏査を行い、事前学習の資料と統合し、地域の特性（強み・弱み）をまとめ、学内の報告会で発表する。
そのため、事前学習として、地域の概要を調べる、実習目標を明確にして臨むなどに関わる事前学習課題を設けている（オリエンテーションで説明する）。また、事後学習では、実習での学びとと地域の特性（強み・弱み）を統合し、報告会に向けた準備を行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習は、4 年次の 6 月～10 月までの期間に行う。オリエンテーションは別途行う。詳細は、実習要項・オリエンテーション等にて通知する。
パンデミック等の影響で実習方法等を変更する可能性がある。変更時には、随時周知する。

▌教科書

適宜、掲示する。

▌参考書、参考資料等

厚生労働統計協会編、国民衛生の動向 2019/2020 年、厚生労働統計協会、2019、東京

▌フィードバックの仕方

実習記録は、４年次末に返却する。

▌他の授業科目との関連

履修要件：地域看護学および在宅看護学の修了試験受験資格を有する。

▌成績評価の仕方

1. 事前課題レポート　10 点
2. 実習への取り組み　30 点
3. 実習記録　30 点
4. 実習後レポート　20 点
5. 地区診断の課題の取り組み状況と学内報告会発表　10 点

なお、欠席、遅刻・早退、実習態度は、その都度、減点する。

▌オフィスアワー・研究室等

各オリエンテーションおよび報告会の実施日の 12：30～13：00。
実習期間中は、教員が実習先の訪問看護ステーションにいくため、連絡・相談はメールや電話で行う。

▌受講上の注意事項

1. 実習オリエンテーションの参加、事前課題の提出は、実習の前提条件となるので留意する。
2. 担当教員および学務課に最新の連絡先を届けて、実習に臨む。
3. 交通事故に留意し、緊急時は実習指導者、教員、事務、警察に適宜連絡する。

看護学総合実習

単位：**3 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**4 年・編入 4 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」実践　「2」連携　「3」成長**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**HBNP450**

○川原由佳里、○吉田みつ子、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、遠山義人、鬼頭幸子、吉田里奈、桑原雄三、守谷千明、○鷹野朋実、堀井湖浪、古城門靖子、堀川英起、内藤なづな、○本庄恵子、○三浦英恵、田中孝美、河田照絵、池田圭子、○井村真澄、新田真弓、斎藤英子、加藤千穂、東園子、由利紗織、○江本リナ、山内朋子、鈴木健太、柴田純子、田代裕子○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、池田良輔子、管野心葉、○石田千絵、吉川悦子、井口理、湯淺晶子、○佐々木幾美、西田朋子、○安部陽子、髙田由紀子、○野口眞貴子、内木美恵、織方愛、橋爪朋子

▌授業の目的

(1) 地域社会で生活する対象を全体論的に把握し、より望ましい健康や問題解決に向けて総合的な看護実践を行う。
(2) 看護実践場面における現象を倫理的視点から考察する。
(3) 保健・医療・福祉その他の関連職種とのチームアプローチや多職種連携などを通した、良質で総合的な看護実践を展開する。
(4) エビデンスに基づいた看護実践を通して、看護の専門的な役割・機能を探究し、看護の概念や自己の看護観をより深く吟味する。

▌到達目標

(1) 対象にとってのウェルネス（Wellness）を目指し、対象を全体論的に捉え、看護援助を実践することができる。
(2) 看護実践場面における倫理的課題に着目し、対応策を検討することができる。
(3) 保健・医療・福祉その他の関連職種とのチームアプローチや多職種連携に参加し、看護の調整的な機能や連携機能に携わることができる。
(4) 看護におけるマネジメント、医療安全などの視点から、看護の質保証に向けた取り組みを学ぶことができる。
(5) 看護実践を通して看護の専門性を探究することができる。
(6) これまでの実習経験を応用し、自立した実践や主体的な学習に取り組むことができる。
(7) 既習の理論・概念および文献を応用し、看護の概念や自己の看護観を吟味することができる。

▌学習の進め方

AL
4 年次実習要項をよく確認する他、実習担当教員の指導を受けながら学修を進める。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：2021 年 10 月 18 日（月）～11 月 5 日（金）
実習施設：基礎・成人看護学、精神保健看護学、母性看護学、小児看護学、老年看護学、地域看護学、国際・災害看護学の領域のいずれかの領域で総合実習を行う。各領域で指定された実習施設でそれぞれ実習を行う。
実習時間：8 時 30 分－ 16 時 30 分を原則とする。但し、実習場所によって変更することができる。
実習方法：総合実習オリエンテーション等で、各領域の総合実習の目的、特徴などについて説明を行う。その説明内容をもとにした学生の希望によって、各領域に分かれて実習を行う。
詳細は 4 年次実習要項を参照。

▌教科書

なし

▌参考書、参考資料等

4 年次実習要項。その他、必要な場合は実習担当教員から指示する。

▌他の授業科目との関連

看護学総合実習はこれまでの実習を踏まえた 4 年間の総仕上げの実習となる。レベルⅠ～Ⅳまでの全ての実習、履修の手引きに記載された各実習の履修要件となる全ての講義・演習科目に関連する。

▌成績評価の仕方

出席日数、実習への取り組み、実習記録、ケース発表（学習体験発表）、レポート、評価表等を参考にして教員が総合的に評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

実習を行う領域が決定後、担当教員に確認する。

▌受講上の注意事項

＊ 実習領域及び実習施設は希望通りにいかない場合もあること。
＊ 詳細は、総合実習オリエンテーションや実習要項で確認すること。
＊ COVID-19 感染症等の状況により、スケジュールや実習方法が変更される可能性があります。
　変更がある場合には、担当教員からポータル、Glexa メール等で連絡がありますので、よく確認してください。

研究方法論 I

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年・編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」変化　「2」成長　「3」擁護**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBRE300**

○江本　リナ、渋谷　真樹、坂口　千鶴、古城門　靖子、清田　明美、山内　朋子、川﨑　修一、川﨑　洋平、稲田　千春、鷹田　佳典、橋爪　朋子

▌授業の目的

・看護現象を客観的に捉え、その中に存在する疑問あるいは問題を科学的に探求する能力を養う。
・看護現象を探求し、看護の質を向上させるための看護研究方法論の基礎を学習する。
・研究課題に関して、社会の動向を踏まえた文献検討のスキルを身につける。

▌到達目標

1. 看護における研究の定義や意義、研究テーマの絞り込みのプロセス、主な方法論的アプローチについて説明できる。
2. 量的なアプローチの研究デザインと研究方法の概要を説明できる。
3. 質的なアプローチの研究デザインと研究方法の概要を説明できる。
4. 文献を検索、整理・分析し、文献検討としてまとめることができる。

▌学習の進め方

AL
1. 看護研究を取り組むにあたって関心のあるテーマを決める。
2. テーマに沿って関連のある既存の研究を調べる（文献検索）。
3. 入手した研究をもとにテーマに沿ってまとめ、研究課題を考察する（文献検討）。
4. 教員のオフィスアワーを利用して、文献検索・文献検討のアドバイスを受ける。
5. 文献検索・文献検討ステップ 5 の後、文献検討レポートを授業概要に記載されている日時までに提出する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション／看護研究とは－研究の概念と基本的ステップの理解** 事前学修：［30 分］研究テーマとして関心のあることをノートにまとめる 事後学修：［30 分］基本ステップをノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
2	**量的研究①：量的研究とは** 事前学修：［30 分］量的研究とは何かを調べてノートにまとめる 事後学修：［30 分］仮説と変数に関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・ディスカッション（討論）・ディベート	川﨑（洋）
3	**量的研究②：量的研究の実際** 事前学修：［30 分］量的調査方法についてノートにまとめる 事後学修：［30 分］測定尺度に関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・ディスカッション（討論）・ディベート	川﨑（洋）
4	**質的研究①：質的研究とは** 事前学修：［30 分］質的研究とは何かを調べてノートにまとめる 事後学修：［30 分］関心のあるテーマに関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・GW・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
5	**質的研究②：質的研究の進め方** 事前学修：［30 分］質的研究のテーマをノートにまとめる 事後学修：［30 分］質的研究に関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・GW・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
6	**文献検索のオリエンテーション** 事前学修：［30 分］関心のある検索キーワードをノートにまとめる 事後学修：［30 分］文献検討を行う	講義・演習	全員

No	内容	形式	教員
7	**文献検討とは／文献検討レポートの書き方** 事前学修：［30 分］文献検討とは何かを調べてノートにまとめる 事後学修：［30 分］文献検討に関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
8	**文献を用いるということ／研究テーマの絞り込み／研究方法を考える** 事前学修：［30 分］関心のある文献を 1 つ選び、概要をノートにまとめる 事後学修：［30 分］研究テーマの絞り込みポイントをノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
9	**文献検索・文献検討：ステップ 1** 事前学修：［30 分］自己の検索キーワードを検討してノートにまとめる 事後学修：［30 分］文献検索を行う	演習	全員
10	**文献検索・文献検討：ステップ 2** 事前学修：［30 分］文献検索を行う 事後学修：［30 分］検索した文献を読んで概要をノートにまとめる	演習	全員
11	**文献検索・文献検討：ステップ 3** 事前学修：［30 分］文献検索を行う 事後学修：［30 分］検索した文献を読んで文献検討の柱をノートにまとめる	演習	全員
12	**文献検索・文献検討：ステップ 4** 事前学修：［30 分］文献検索を行う 事後学修：［30 分］検索した文献を読んで文献検討の柱をノートにまとめる	演習	全員
13	**文献検索・文献検討：ステップ 5** 事前学修：［30 分］文献検討を行いレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究課題を考察してレポートにまとめる	演習	全員
14	**文献検索・文献検討：ステップ 6** 事前学修：［30 分］文献検討を行いレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究課題を考察してレポートにまとめる	演習	全員
15	**文献検索・文献検討：ステップ 7** 事前学修：［30 分］研究課題を考察してレポートにまとめる 事後学修：［30 分］文献検討レポートを作成して提出する	演習	全員

▌教科書

授業内容に沿って随時資料を配付する。そのため、教科書は特に指定しない。

▌参考書、参考資料等

授業内容に沿って参考資料を随時提示する。

▌フィードバックの仕方

・提出された事後課題のフィードバックは、次回授業時に解説、または授業の最終回までに解説資料ないしコメント付き資料の配布・返却を通じて行う。
・文献検討レポートのフィードバックは、後期科目研究方法論Ⅱの第 1 回目授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

・本科目の学習内容の理解に基づき、後期科目研究方法論Ⅱではより発展的な内容を行う。
・本科目の単位修得が、4 年次前期科目研究Ⅰの履修要件である。
・本科目を基に、4 年次の前期科目研究Ⅰと後期科目研究Ⅱが展開される。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、文献検討レポート 80%

▌オフィスアワー・研究室等

文献検索・文献検討の演習時間、および、その日の 12:30-12:50 をオフィスアワーとする。
江本（419 研究室）、渋谷（404 研究室）、坂口（414 研究室）、古城門（412 研究室）、清田（431 研究室）、山内（443 研究室）、川﨑 (修) （402 研究室）、織方（554 研究室）、加藤（434 研究室）、鷹田（大宮キャンパス 427 研究室）、堀川（426 研究室）

▌受講上の注意事項

この科目は講義形式が変更になる可能性がある。この科目が遠隔で実施される場合、インターネット環境などの問題でオンライン受講ができない、受講時に音声や画像にトラブルがあるといった不都合が生じた際は、受講前あるいは受講後当日のうちに担当教員へ相談

すること。

研究方法論 I

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」変化　「2」成長　「3」擁護**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBRE300**

○江本　リナ、渋谷　真樹、坂口　千鶴、古城門　靖子、清田　明美、山内　朋子、川﨑　修一、川﨑　洋平、稲田　千春、鷹田　佳典、橋爪　朋子

▌授業の目的

・看護現象を客観的に捉え、その中に存在する疑問あるいは問題を科学的に探求する能力を養う。
・看護現象を探求し、看護の質を向上させるための看護研究方法論の基礎を学習する。
・研究課題に関して、社会の動向を踏まえた文献検討のスキルを身につける。

▌到達目標

1. 看護における研究の定義や意義、研究テーマの絞り込みのプロセス、主な方法論的アプローチについて説明できる。
2. 量的なアプローチの研究デザインと研究方法の概要を説明できる。
3. 質的なアプローチの研究デザインと研究方法の概要を説明できる。
4. 文献を検索、整理・分析し、文献検討としてまとめることができる。

▌学習の進め方

AL
1. 看護研究を取り組むにあたって関心のあるテーマを決める。
2. テーマに沿って関連のある既存の研究を調べる（文献検索）。
3. 入手した研究をもとにテーマに沿ってまとめ、研究課題を考察する（文献検討）。
4. 教員のオフィスアワーを利用して、文献検索・文献検討のアドバイスを受ける。
5. 文献検索・文献検討ステップ 5 の後、文献検討レポートを授業概要に記載されている日時までに提出する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション／看護研究とは－研究の概念と基本的ステップの理解** 事前学修：［30 分］研究テーマとして関心のあることをノートにまとめる 事後学修：［30 分］基本ステップをノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
2	**量的研究①：量的研究とは** 事前学修：［30 分］量的研究とは何かを調べてノートにまとめる 事後学修：［30 分］仮説と変数に関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・ディスカッション（討論）・ディベート	川﨑（洋）
3	**量的研究②：量的研究の実際** 事前学修：［30 分］量的調査方法についてノートにまとめる 事後学修：［30 分］測定尺度に関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・ディスカッション（討論）・ディベート	川﨑（洋）
4	**質的研究①：質的研究とは** 事前学修：［30 分］質的研究とは何かを調べてノートにまとめる 事後学修：［30 分］関心のあるテーマに関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・GW・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
5	**質的研究②：質的研究の進め方** 事前学修：［30 分］質的研究のテーマをノートにまとめる 事後学修：［30 分］質的研究に関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・GW・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
6	**文献検索のオリエンテーション** 事前学修：［30 分］関心のある検索キーワードをノートにまとめる 事後学修：［30 分］文献検討を行う	講義・演習	全員

No	内容	形式	教員
7	**文献検討とは／文献検討レポートの書き方** 事前学修：［30 分］文献検討とは何かを調べてノートにまとめる 事後学修：［30 分］文献検討に関する事後課題用紙に解答する	講義・演習・ディスカッション（討論）・ディベート	山内
8	**文献を用いるということ／研究テーマの絞り込み／研究方法を考える** 事前学修：［30 分］関心のある文献を 1 つ選び、概要をノートにまとめる 事後学修：［30 分］研究テーマの絞り込みポイントをノートにまとめる	講義・演習・GW・ディスカッション（討論）・ディベート	江本
9	**文献検索・文献検討：ステップ 1** 事前学修：［30 分］自己の検索キーワードを検討してノートにまとめる 事後学修：［30 分］文献検索を行う	演習	全員
10	**文献検索・文献検討：ステップ 2** 事前学修：［30 分］文献検索を行う 事後学修：［30 分］検索した文献を読んで概要をノートにまとめる	演習	全員
11	**文献検索・文献検討：ステップ 3** 事前学修：［30 分］文献検索を行う 事後学修：［30 分］検索した文献を読んで文献検討の柱をノートにまとめる	演習	全員
12	**文献検索・文献検討：ステップ 4** 事前学修：［30 分］文献検索を行う 事後学修：［30 分］検索した文献を読んで文献検討の柱をノートにまとめる	演習	全員
13	**文献検索・文献検討：ステップ 5** 事前学修：［30 分］文献検討を行いレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究課題を考察してレポートにまとめる	演習	全員
14	**文献検索・文献検討：ステップ 6** 事前学修：［30 分］文献検討を行いレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究課題を考察してレポートにまとめる	演習	全員
15	**文献検索・文献検討：ステップ 7** 事前学修：［30 分］研究課題を考察してレポートにまとめる 事後学修：［30 分］文献検討レポートを作成して提出する	演習	全員

▌教科書

授業内容に沿って随時資料を配付する。そのため、教科書は特に指定しない。

▌参考書、参考資料等

授業内容に沿って参考資料を随時提示する。

▌フィードバックの仕方

・提出された事後課題のフィードバックは、次回授業時に解説、または授業の最終回までに解説資料ないしコメント付き資料の配布・返却を通じて行う。
・文献検討レポートのフィードバックは、後期科目研究方法論Ⅱの第 1 回目授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

・本科目の学習内容の理解に基づき、後期科目研究方法論Ⅱではより発展的な内容を行う。
・本科目の単位修得が、4 年次前期科目研究Ⅰの履修要件である。
・本科目を基に、4 年次の前期科目研究Ⅰと後期科目研究Ⅱが展開される。

▌成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、文献検討レポート 80%

▌オフィスアワー・研究室等

文献検索・文献検討の演習時間、および、その日の 12:30-12:50 をオフィスアワーとする。
江本（419 研究室）、渋谷（404 研究室）、坂口（414 研究室）、古城門（412 研究室）、清田（431 研究室）、山内（443 研究室）、川﨑 (修) （402 研究室）、織方（554 研究室）、加藤（434 研究室）、鷹田（大宮キャンパス 427 研究室）、堀川（426 研究室）

▌受講上の注意事項

この科目は講義形式が変更になる可能性がある。この科目が遠隔で実施される場合、インターネット環境などの問題でオンライン受講ができない、受講時に音声や画像にトラブルがあるといった不都合が生じた際は、受講前あるいは受講後当日のうちに担当教員へ相談

すること。

研究方法論Ⅱ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」変化　「2」擁護　「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBRE350**

○江本　リナ、渋谷　真樹、遠藤　花子、堀井　湖浪、千葉　京子、山内　朋子、稲田　千春、鷹田　佳典、橋爪　朋子、堀川　英起、池田　良輔子

▌授業の目的

・看護現象を探究し、看護の質を向上させるための看護研究方法論の基礎を学習する。
・研究疑問を明確化し、研究計画書を作成するスキルを身につける。

▌到達目標

1. 量的なアプローチの研究デザインと研究方法について具体的に説明できる。
2. 質的なアプローチの研究デザインと研究方法について具体的に説明できる。
3. 研究全体の流れを説明することができる。
4. 看護研究における倫理的配慮について説明できる。

▌学習の進め方

AL
1. 研究計画書作成の演習を行う。
2. 担当教員のオフィスアワーを利用して、研究計画書作成にあたってのアドバイスを受ける。
3. 作成した研究計画書は、研究計画書作成ステップ 1〜4 の期間中で必ず 1 回以上、ステップ 5〜11 の期間中で必ず 1 回以上、担当教員と面接し、アドバイスを基に修正を行う。
4. 担当教員にオフィスアワー以外で相談に行く際には、事前に教員の予定を相談する。
5. 研究計画書作成ステップ 2 の後、第 1 回目の研究計画書を授業概要に記載されている日時までに提出する。
6. 研究計画書作成ステップ 11 の後、最終版の研究計画書を授業概要に記載されている日時までに提出する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**授業オリエンテーション／研究計画書とは／研究計画書作成について** 事前学修：［30 分］研究方法論Ⅰの授業資料を復習し、研究の基本ステップをノートにまとめる 事後学修：［30 分］研究テーマをまとめる	講義	江本
2	**質的研究①：分析方法** 事前学修：［30 分］質的研究の進め方をノートにまとめる 事後学修：［30 分］インタビュー結果から逐語録を作成する	講義	江本
3	**質的研究②：分析の実際** 事前学修：［30 分］インタビュー結果から逐語録を作成する 事後学修：［30 分］逐語録を読み込んで分析したことを書き込む	講義	江本
4	**研究者の倫理／看護研究における倫理的配慮** 事前学修：［30 分］質的研究文献に記載された倫理的配慮を読んでノートにまとめる 事後学修：［30 分］倫理的配慮を討議してノートにまとめる	講義	江本
5	**研究計画書作成：ステップ 1** 事前学修：［30 分］文献検索・文献検討を行う 事後学修：［30 分］研究テーマを討議してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
6	**研究計画書作成：ステップ 2** 事前学修：［30 分］文献検索・文献検討を行う 事後学修：［30 分］研究テーマ・研究目的・研究の意義を検討してレポートにまとめて提出する(第 1 回目の研究計画書の提出)	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
7	**研究計画書作成：ステップ 3 ／第 1 回の研究計画書返却** 事前学修：［30 分］文献検索・文献検討を行う 事後学修：［30 分］研究テーマ・研究目的・研究の意義を再検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員

No	内容	形式	教員
8	**研究計画書作成：ステップ 4** 事前学修：［30 分］文献検討をレポートにまとめる 事後学修：［30 分］検索した文献を読んで文献検討の柱を検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
9	**研究計画書作成：ステップ 5** 事前学修：［30 分］文献検討をレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究計画を検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
10	**研究計画書作成：ステップ 6** 事前学修：［30 分］文献検討をレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究計画を検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
11	**研究計画書作成：ステップ 7** 事前学修：［30 分］研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
12	**研究計画書作成：ステップ 8** 事前学修：［30 分］研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
13	**研究計画書作成：ステップ 9** 事前学修：［30 分］研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
14	**研究計画書作成：ステップ 10** 事前学修：［30 分］倫理的配慮を練ってレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
15	**研究計画書作成：ステップ 11** 事前学修：［30 分］倫理的配慮を練ってレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究計画書を作成して提出する(最終版の研究計画書提出)	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員

▌教科書

授業内容に沿って随時資料を配付する。そのため、教科書は特に指定しない。

▌参考書、参考資料等

授業内容に沿って参考資料を随時提示する。

▌フィードバックの仕方

・提出された事後課題のフィードバックは、次回授業時に解説、または授業の最終回までに解説資料ないしコメント付き資料の配布・返却を通じて行う。

・提出された第 1 回目の研究計画書のフィードバックは、研究計画書作成ステップ 3 の授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

・提出された最終版の研究計画書のフィードバックは、4 年次の 4 月に、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

・本科目は、前期科目研究方法論Ⅰの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を取り扱う。

・本科目の単位取得が、4 年次前期科目研究Ⅰの履修要件である。

・本科目を基に、4 年次の前期科目研究Ⅰと後期科目研究Ⅱが展開される。

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20%
2. 研究計画書最終版 80%

▌オフィスアワー・研究室等

研究計画書作成の演習時間、および、その日の 12:30-12:50 をオフィスアワーとする。

江本(419 研究室)、渋谷(404 研究室)、遠藤 (花) (401 研究室)、堀井(427 研究室)、千葉 (京) (429 研究室)、山内(443 研究室)、織方

（554 研究室）、加藤（433 研究室）、鷹田（さいたまキャンパス 427 研究室）、井口（452 研究室）、池田 (良) （450 研究室）

▌受講上の注意事項

この科目は講義形式が変更になる可能性がある。この科目が遠隔で実施される場合、インターネット環境などの問題でオンライン受講ができない、受講時に音声や画像にトラブルがあるといった不都合が生じた際は、受講前あるいは受講後当日のうちに担当教員へ相談すること。

研究方法論Ⅱ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**3 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」変化　「2」擁護　「3」成長**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBRE350**

○江本　リナ、渋谷　真樹、遠藤　花子、堀井　湖浪、千葉　京子、山内　朋子、稲田　千春、鷹田　佳典、橋爪　朋子、堀川　英起、池田　良輔子

▌授業の目的

・看護現象を探究し、看護の質を向上させるための看護研究方法論の基礎を学習する。
・研究疑問を明確化し、研究計画書を作成するスキルを身につける。

▌到達目標

1. 量的なアプローチの研究デザインと研究方法について具体的に説明できる。
2. 質的なアプローチの研究デザインと研究方法について具体的に説明できる。
3. 研究全体の流れを説明することができる。
4. 看護研究における倫理的配慮について説明できる。

▌学習の進め方

AL
1. 研究計画書作成の演習を行う。
2. 担当教員のオフィスアワーを利用して、研究計画書作成にあたってのアドバイスを受ける。
3. 作成した研究計画書は、研究計画書作成ステップ 1〜4 の期間中で必ず 1 回以上、ステップ 5〜11 の期間中で必ず 1 回以上、担当教員と面接し、アドバイスを基に修正を行う。
4. 担当教員にオフィスアワー以外で相談に行く際には、事前に教員の予定を相談する。
5. 研究計画書作成ステップ 2 の後、第 1 回目の研究計画書を授業概要に記載されている日時までに提出する。
6. 研究計画書作成ステップ 11 の後、最終版の研究計画書を授業概要に記載されている日時までに提出する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**授業オリエンテーション／研究計画書とは／研究計画書作成について** 事前学修：［30 分］研究方法論Ⅰの授業資料を復習し、研究の基本ステップをノートにまとめる 事後学修：［30 分］研究テーマをまとめる	講義	江本
2	**質的研究①：分析方法** 事前学修：［30 分］質的研究の進め方をノートにまとめる 事後学修：［30 分］インタビュー結果から逐語録を作成する	講義	江本
3	**質的研究②：分析の実際** 事前学修：［30 分］インタビュー結果から逐語録を作成する 事後学修：［30 分］逐語録を読み込んで分析したことを書き込む	講義	江本
4	**研究者の倫理／看護研究における倫理的配慮** 事前学修：［30 分］質的研究文献に記載された倫理的配慮を読んでノートにまとめる 事後学修：［30 分］倫理的配慮を討議してノートにまとめる	講義	江本
5	**研究計画書作成：ステップ 1** 事前学修：［30 分］文献検索・文献検討を行う 事後学修：［30 分］研究テーマを討議してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
6	**研究計画書作成：ステップ 2** 事前学修：［30 分］文献検索・文献検討を行う 事後学修：［30 分］研究テーマ・研究目的・研究の意義を検討してレポートにまとめて提出する(第 1 回目の研究計画書の提出)	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
7	**研究計画書作成：ステップ 3 ／第 1 回の研究計画書返却** 事前学修：［30 分］文献検索・文献検討を行う 事後学修：［30 分］研究テーマ・研究目的・研究の意義を再検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員

No	内容	形式	教員
8	**研究計画書作成：ステップ 4** 事前学修：［30 分］文献検討をレポートにまとめる 事後学修：［30 分］検索した文献を読んで文献検討の柱を検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
9	**研究計画書作成：ステップ 5** 事前学修：［30 分］文献検討をレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究計画を検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
10	**研究計画書作成：ステップ 6** 事前学修：［30 分］文献検討をレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究計画を検討してレポートにまとめる	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
11	**研究計画書作成：ステップ 7** 事前学修：［30 分］研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
12	**研究計画書作成：ステップ 8** 事前学修：［30 分］研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
13	**研究計画書作成：ステップ 9** 事前学修：［30 分］研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
14	**研究計画書作成：ステップ 10** 事前学修：［30 分］倫理的配慮を練ってレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究計画書を作成する	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
15	**研究計画書作成：ステップ 11** 事前学修：［30 分］倫理的配慮を練ってレポートにまとめる 事後学修：［30 分］研究計画書を作成して提出する(最終版の研究計画書提出)	演習・GW・ディスカッション(討論)・ディベート	全員

▌教科書

授業内容に沿って随時資料を配付する。そのため、教科書は特に指定しない。

▌参考書、参考資料等

授業内容に沿って参考資料を随時提示する。

▌フィードバックの仕方

・提出された事後課題のフィードバックは、次回授業時に解説、または授業の最終回までに解説資料ないしコメント付き資料の配布・返却を通じて行う。

・提出された第 1 回目の研究計画書のフィードバックは、研究計画書作成ステップ 3 の授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

・提出された最終版の研究計画書のフィードバックは、4 年次の 4 月に、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

・本科目は、前期科目研究方法論Ⅰの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を取り扱う。

・本科目の単位取得が、4 年次前期科目研究Ⅰの履修要件である。

・本科目を基に、4 年次の前期科目研究Ⅰと後期科目研究Ⅱが展開される。

▌成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20%
2. 研究計画書最終版 80%

▌オフィスアワー・研究室等

研究計画書作成の演習時間、および、その日の 12:30-12:50 をオフィスアワーとする。

江本(419 研究室)、渋谷(404 研究室)、遠藤 (花) (401 研究室)、堀井(427 研究室)、千葉 (京) (429 研究室)、山内(443 研究室)、織方

（554 研究室）、加藤（433 研究室）、鷹田（さいたまキャンパス 427 研究室）、井口（452 研究室）、池田 (良) （450 研究室）

▌受講上の注意事項

この科目は講義形式が変更になる可能性がある。この科目が遠隔で実施される場合、インターネット環境などの問題でオンライン受講ができない、受講時に音声や画像にトラブルがあるといった不都合が生じた際は、受講前あるいは受講後当日のうちに担当教員へ相談すること。

研究方法論Ⅲ（量的研究方法論）

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年次**　開講期：**集中**　対応 DP：**「1」探求**　**「2」実践**　**「3」成長**　実務経験がある
教員：ー　科目ナンバー：**HBRE401**

○川﨑　洋平

▌授業の目的

看護研究に必要な統計手法に関して、実際的なデータを用いて解析方法について学ぶ。
統計ソフト SPSS の使用法を学ぶ。

▌到達目標

1. 統計ソフトを用いて、グラフを描いたり、データを要約して、データの特性を説明できる。
2. 研究目的とデータの性質に適する統計手法を選択して、母数に関する推定および検定を行える。
3. 統計ソフトの出力から分析結果を読みとり、解釈できる。

▌学習の進め方

授業の展開：統計手法の講義と統計ソフト SPSS を利用した実データの解析演習を行う。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更（追加・削除）する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	**データの型から適切な統計処理を学ぶ・基礎統計量と区間推定** 事前学修：［３０分］量的研究のテーマを考え、A4 用紙１枚にまとめる。 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認）と次回の統計手法の予習	講義・演習	川﨑　洋平
2	**２つの母平均の差の検定、ウィルコクスンの順位和検定** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認）と次回の統計手法の予習	講義・演習	川﨑　洋平
3	**対応のある２つの母平均の差の検定、ウィルコクスンの符号付順位検定** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認）と次回の統計手法の予習	講義・演習	川﨑　洋平
4	**１元配置の分散分析と多重比較、クラスカル・ウォリスの検定** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認）と次回の統計手法の予習	講義・演習	川﨑　洋平
5	**共分散分析、２元配置の分散分析** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認）と次回の統計手法の予習	講義・演習	川﨑　洋平
6	**独立性の検定、２つの母比率の差の検定** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認）と次回の統計手法の予習	講義・演習	川﨑　洋平
7	**レポート課題の発表準備** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認）と次回の統計手法の予習	講義・演習	川﨑　洋平
8	**レポート課題の発表** 事前学修：［３０分］前回までの復習（用語の確認、計算法の確認） 事後学修：［３０分］授業の復習（用語の確認）と次回の統計手法の予習	講義・演習	川﨑　洋平

▌教科書

１．授業中に配布する資料.

▌参考書、参考資料等

１．石村 貞夫・石村 光資郎（２０１８）．SPSS による統計処理の手順．第８版．東京図書株式会社

▌フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、Glexa で行う。

▌他の授業科目との関連

研究方法論Ⅲ（量的研究方法論）は保健統計学の学習内容の理解に基づき、実際に解析を実行できるようになるための内容を扱う。
２年次開講科目「情報科学」を事前に履修しておくことが望ましいが、未履修でも構わない。

▌成績評価の仕方
レポート７０%、課題への取り組み３０%

▌オフィスアワー・研究室等
質問は講義前後の時間、開講期間中の木曜日１０時〜１２時に広尾キャンパス４０７研究室もしくはオンラインで受け付ける。

▌受講上の注意事項
卒業研究の計画書作成を意識して受講することが望ましい。

研究Ⅰ

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**4 年・編入 4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」変化**　**「2」成長**　**「3」擁護**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBRE400**

〇全教員

▌授業の目的

学生個々が関心のある研究テーマを探求するための研究計画書を作成する。

▌到達目標

1)自己の関心のある看護や人間に関する現象を明らかにすることができる。
2)関連する文献を検討し、自己の研究テーマを明確化することができる。
3)研究テーマを科学的に探求するための方法を検討できる。
4)研究を実施するにあたって必要な倫理的配慮を検討できる。
5)規定の執筆要領に従い、計画書を作成することができる。

▌学習の進め方

1)「研究方法論Ⅰ」「研究方法論Ⅱ」の単位修得見込者は、3 年次の 1・2 月中に希望する研究テーマと領域等を学務課に提出する(指導教員・領域は 3 月下旬に発表される)。
2)学生は毎回、自己の研究テーマに関する発表資料を準備する。学生による発表、学生間での討論、教員の指導により授業を展開する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** 事前学修：[30 分] 研究方法論Ⅰ・Ⅱの授業内容を復習し要点をノートにまとめる 事後学修：[30 分] 自己の研究テーマを検討する	発表・討論	全教員
2	**研究疑問や関心のある現象の明確化** 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
3	**研究テーマの検討と絞込み** 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
4	**研究テーマに関連した文献検討** 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
5	**研究テーマに関連した文献検討** 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
6	**研究テーマに関連した文献検討** 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
7	**文献検討のまとめ・研究の方向性の検討** 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
8	**研究方法の検討：デザインの選択** 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
9	**研究方法の検討：研究場所・参加者・参加者の募り方** 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
10	**研究方法の検討：データ収集・分析方法** 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
11	**研究方法の検討：倫理的配慮** 事前学修：[30 分] 自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：[30 分] 討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員

No	内容	形式	教員
12	**研究計画書の作成** 事前学修：［30 分］自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
13	**研究計画書の作成** 事前学修：［30 分］自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
14	**研究計画書の作成** 事前学修：［30 分］自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究計画を検討する	発表・討論	全教員
15	**研究計画書の作成** 事前学修：［30 分］自己の研究テーマに関する資料を作成する 事後学修：［30 分］研究計画書の提出に向けて準備をする	発表・討論	全教員

▌教科書
各担当教員の指示による

▌参考書、参考資料等
「研究方法論Ⅰ」「研究方法論Ⅱ」の項参照（配布資料含む）

▌フィードバックの仕方
後期に、指導教員よりコメントを付した研究計画書の返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
「研究方法論Ⅰ」「研究方法論Ⅱ」（いずれも 1 単位・必修）の単位を修得していることが条件である。「研究Ⅰ」に続いて「研究Ⅱ」を履修する場合、教員の指導のもとに夏季休業（前期）にデータ収集を実施する計画を立案し、実施することができる。

▌成績評価の仕方
評価は作成された研究計画書にて行う。研究計画書は所定の期日までに学務課（レポートボックス）に提出する。提出が遅れた場合は原則として単位認定の対象とならない（9 月卒業者は別途、提出期限を設ける）。評価は指導教員が以下の観点で行う。①研究の着眼点、意義、必要性　②研究課題に対する研究方法の適切性　③研究の独自性・独創性　④研究計画書の形式と論理性・明瞭性・簡潔性　⑤研究に取り組む積極性・主体性　など

▌オフィスアワー・研究室等
指導教員の決定後に確認する。

▌受講上の注意事項
「研究Ⅰ」に要する費用はすべて学生の個人負担である。

研究Ⅱ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年・編入 4 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」変化**　**「2」成長**　**「3」擁護**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBRE450**

〇全教員

▌授業の目的

「研究Ⅰ」で作成した研究計画書に基づいて、教員の指導のもと、学生個々が関心のある研究テーマを探求し、研究論文を作成することを目的とする。

▌到達目標

1)研究計画書に基づき、研究フィールドを開拓し、研究参加者を募ることができる。
2)研究テーマに沿って必要なデータを収集することができる。
3)研究テーマに沿って収集したデータを分析し、解釈することができる。
4)明らかになった研究結果を既存の知識と関連づけることができる。
5)規定の執筆要領に従い、研究論文を作成することができる。

▌学習の進め方

1) 3 年次の 2 月中に学務課に希望する研究テーマ・領域等を提出する際、「研究Ⅰ」に継続して「研究Ⅱ」を履修するかどうかを届け出る。「研究Ⅰ」と「研究Ⅱ」の指導教員は原則として同じ教員が担当する。
2) 4 年次の 4 月の履修登録期間中に正式な「研究Ⅱ」の履修届を学務課に提出する。ただし 4 年次前期の「研究Ⅰ」を履修してみて「研究Ⅱ」の履修を取りやめる場合、また 4 月の時点で「研究Ⅱ」の履修届を出していなくて追加履修を希望する場合、後期の履修登録期間中に履修の取り消しあるいは履修届の手続きをすることができる（※いずれの場合も必ず事前に指導教員と相談の上で決定すること）。
3)学生は毎回、自己の研究テーマに関する発表資料を準備する。学生による発表、学生間での討論、教員の指導により授業を展開する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション** 事前学修：［30 分］研究Ⅰのコメントを参考に研究計画書を修正する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
2	**研究フィールド・参加者の募集** 事前学修：［30 分］研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
3	**データ収集：観察法・面接法・質問紙等の検討** 事前学修：［30 分］研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
4	**データ収集：実施** 事前学修：［30 分］研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
5	**データ収集：実施** 事前学修：［30 分］研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
6	**データ収集：実施** 事前学修：［30 分］研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
7	**データ分析：データの整理・分析方法の検討** 事前学修：［30 分］研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
8	**データ分析：実施** 事前学修：［30 分］研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
9	**データ分析：実施** 事前学修：［30 分］研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員

No	内容	形式	教員
10	**データ分析：実施** 事前学修：［30 分］研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
11	**研究結果の考察** 事前学修：［30 分］研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
12	**研究論文の作成：結果の記述** 事前学修：［30 分］研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
13	**研究論文の作成：考察他** 事前学修：［30 分］研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
14	**研究論文の作成：抄録の作成** 事前学修：［30 分］研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に研究を進める	発表・討論	全教員
15	**研究論文の作成：論文を整える** 事前学修：［30 分］研究テーマに関する資料・論文等を作成する 事後学修：［30 分］討論や教員の指導を参考に論文提出の準備をする	発表・討論	全教員

▌教科書
各担当の指示による

▌参考書、参考資料等
「研究方法論Ⅰ」「研究方法論Ⅱ」の項参照(配布資料含む)

▌フィードバックの仕方
「研究Ⅱ」の評価後にコメントを付した研究論文の返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連
「研究Ⅰ」を履修していることが条件である。

▌成績評価の仕方
評価は作成された研究論文にて行う。研究論文は所定の期日までに学務課に提出する。なお、提出が遅れた場合は、原則として単位認定の対象とならない(9 月卒業者は別途、提出期限を設ける)。評価は指導教員が以下の観点で行う。①データ収集の適切性　②データ分析の適切性　③論文の形式および論理性・明瞭性・簡潔性④研究に取り組む積極性・主体性　など

▌オフィスアワー・研究室等
各指導教員に確認する。

▌受講上の注意事項
「研究Ⅱ」に要する費用はすべて学生の個人負担とする。

公衆衛生看護活動展開論

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**3 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」変化**　**「2」連携**　**「3」探求**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBPN350**

〇吉川　悦子、湯淺　晶子

▌授業の目的

学校保健、産業保健について、歴史、理念と目的、制度とシステム、活動の実際と課題を学ぶ
地域で生活する住民を取り巻く生活環境の特徴と健康・生活との関係、課題と対策を学ぶ

▌到達目標

1. 学校・産業保健活動の歴史、理念と目的、法規や制度を説明できる
2. 公衆衛生看護活動の展開ツールとしての保健指導、家庭訪問、健康教育の意義とプロセス、保健師の役割を説明できる

▌学習の進め方

AL
授業の展開：講義・演習を通して意見交換を行い、学校保健、産業保健の保健師活動について学習する
保健指導、家庭訪問は事例を用いた演習を行う
健康教育は企画書の作成や健康教育企画の実際の進め方について学習する

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**学校保健活動（理念と歴史、制度とシステム、活動の実際）** 事前学修：［20 分］教科書の該当ページを読み、A ４用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義	吉川
2	**産業保健活動 1（歴史と理念、目的、制度とシステム）** 事前学修：［20 分］教科書の該当ページを読み、A ４用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	講義	吉川
3	**産業保健活動 2（活動の実際と課題）** 事前学修：［20 分］教科書の該当ページを読み、A ４用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［40 分］提示された課題についてのミニレポートをまとめ、提出する	講義	吉川
4	**公衆衛生保健活動のツール①事例に基づく保健指導演習** 事前学修：［40 分］提示された事例について事前に保健指導計画を立案する 事後学修：［40 分］提示された課題についてのミニレポートをまとめ、提出する	演習	湯淺
5	**公衆衛生保健活動のツール②家庭訪問の目的・対象・技術** 事前学修：［20 分］教科書の該当ページを、A ４用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［40 分］提示された事例について事前に家庭訪問計画を立案する	講義	湯淺
6	**公衆衛生保健活動のツール③家庭訪問演習** 事前学修：［20 分］提示された動画を見たうえで家庭訪問計画に基づく技術項目について、A ４用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［40 分］家庭訪問記録を作成する	演習	湯淺・吉川
7	**公衆衛生保健活動のツール③家庭訪問演習** 事前学修：［20 分］家庭訪問計画に基づく技術項目について、A ４用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［40 分］家庭訪問記録を作成する	演習	湯淺・吉川
8	**健康教育の基本（企画書の作成、実際の進め方）** 事前学修：［20 分］提示された課題に沿った資料について自分の意見をまとめておく 事後学修：［40 分］提示された課題に沿った資料を作成し、提出する	講義・演習	吉川・湯淺

▌教科書

標準保健師講座 3　対象別公衆衛生看護活動 (2018)・第 4 版・医学書院
標準保健師講座 2　公衆衛生看護技術 (2020)・第 4 版・医学書院
厚生労働統計協会．国民衛生の動向　vol.68 No.9　2021/2022（2021）

▌参考書、参考資料等

標準保健師講座 1　公衆衛生看護学概論・医学書院・1 年次に購入した教科書を使用
必要時追加資料を配布。文部科学省、厚生労働省、日本学校保健会、日本看護協会等 HP も参考にすること。

▌フィードバックの仕方

授業内に課したレポートのフィードバックは次回以降の授業時にコメントを付したレポートの返却を通じて行う。
試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に吉川研究室にて採点後の答案用紙の閲覧と採点基準の解説を通じて行う。フィードバック実施可能な時間はグレクサまたはポータルで示す。希望する場合は提示された時間に事前アポイントを取ったうえで来ること。

▌他の授業科目との関連

保健師教育課程の必修科目

▌成績評価の仕方

定期試験（70 %）、授業・演習への取り組み（30 %）

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:20〜12:50
吉川（425 研究室）　湯淺（445 研究室）

▌受講上の注意事項

＊この科目は保健師教育課程選択者のみ履修可（保健師国家試験受験資格取得のための必須科目)

公衆衛生看護管理論

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年・編入 4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」連携**　**「2」成長**　**「3」変化**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBPN400**

○吉川　悦子、石田　千絵、井口　理

▌授業の目的

保健師活動における公衆衛生看護管理の目的と展開方法についてとりあげる。地域住民の健康向上、地域の健康課題解決のための施策化のプロセスについて基本的な枠組みを理解し、公衆衛生看護管理における保健師の役割を考える。

▌到達目標

・地域住民の健康向上を実現するための公衆衛生看護管理の目的と展開方法、健康危機管理、地域ケアシステムにおける保健活動について説明ができる。
・保健師が有する管理機能について理解し、説明できるとともに、公衆衛生看護管理における保健師に必要とされる態度や姿勢について考察できる。
・地域の健康課題を解決するために必要な PDCA サイクルを説明でき、地域の諸資源を活用しながらネットワークを構築し、住民や地域の諸資源と共同する能力について考察できる。

▌学習の進め方

学生が自ら考え、学びを深めることができるように、事例検討や課題に対する意見交換を取り入れる。保健師活動は法律に則って実施されることが多いため、日頃より新聞やニュースを見て、社会情勢の変化や国の動きに関心を持つとよい。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**コミュニティ・ヘルス・アセスメント (地域看護診断)の基本的知識** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A ４用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返しワークブックを適宜修正する	［講義］	吉川
2	**地域看護診断に必要な保健統計の知識** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A ４用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［20 分］授業の配布資料を読み返しワークブックを適宜修正する	［講義］	吉川
3	**公衆衛生看護管理の目的と機能** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A ４用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	［講義］	吉川
4	**地域ケアシステムの構築と保健師活動（地区組織活動を含む）** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A ４用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	［講義］	吉川
5	**公衆衛生看護管理の実際①** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A ４用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	［講義］	吉川
6	**公衆衛生看護管理の実際②** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A ４用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	［講義］	吉川
7	**健康危機管理と保健師活動①** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A ４用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	［講義・演習］	石田・井口
8	**健康危機管理と保健師活動②** 事前学修：［15 分］教科書の該当ページを読み、A ４用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：［15 分］授業の配布資料を読み返す	［講義・演習］	石田・井口

▌教科書

標準保健師講座　公衆衛生看護学概論　医学書院（1 年次・編入 3 年次に購入した教科書）

▌参考書、参考資料等

エリザベスＴアンダーソン編、金川克子、早川和夫監訳、コミュニティアズパートナー地域看護学の理論と実際第 2 版、医学書院
金川克子・田髙悦子編（2000）．地域看護診断〔第 2 版〕．東京大学出版会
その他、必要時授業で紹介する

▌フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後 3 週間以内に吉川研究室にて採点後の答案用紙の閲覧と採点基準の解説を通じて行う。フィードバック実施可能な時間はグレクサまたはポータルで連絡する。希望する場合は提示された時間に事前アポイントを取ったうえで来ること。

▌他の授業科目との関連

保健師教育課程の科目に関連します。

▌成績評価の仕方

定期試験　60%、演習と授業への取り組み　40%

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50　吉川（425 研究室）　井口（452 研究室）　石田（432 研究室）

▌受講上の注意事項

＊本科目は保健師教育課程選択者のみ履修可（保健師国家試験受験資格取得のための必須科目）

公衆衛生看護方法論

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**3 年・編入 3 年次**　開講期：**後期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」成長**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBPN351**

〇吉川　悦子、湯淺　晶子、石田　千絵、井口　理

▌授業の目的

公衆衛生看護技術のうち、健康教育の展開の上で必要な知識・技術を習得する

▌到達目標

①健康教育の目的と意義について理解できる
②健康教育に活用できる理論および必要な技術について理解できる
③これまで学んだ知識、技術を用いて、集団を対象とした健康教育を学内で実施できる

▌学習の進め方

講義、演習で授業を進める。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**講義およびオリエンテーション** **・健康教育の目的と意義、健康教育に活用できる理論、必要な技術(評価含む)を理解する** **・演習オリエンテーション** 事前学修：[30 分] 教科書等で、関心のある健康教育テーマについて考える 事後学修：[60 分] 授業の配布資料や健康教育テーマに関する情報を集め、個人で企画案を作成する	講義	吉川、井口、湯淺
2	**企画書の作成 1** **演習オリエンテーション** **テーマに基づき、目的・目標・対象・主な内容等・評価計画について企画書を作成する** 事前学修：[60 分] 健康教育の目的、目標、評価について、自分なりの企画書を作成する 事後学修：[60 分] 討議しグループで統合した健康教育企画書に関する追加情報を調べ、企画書を加筆修正する	演習	吉川、井口、湯淺
3	**企画書の作成２** **・テーマに基づき、目的・目標・対象・主な内容等・評価計画について企画書を完成する** **・指導案・媒体案の作成を開始する** 事前学修：[60 分] 討議しグループで統合した健康教育企画書に関する追加情報を調べ、企画書を加筆修正する 事後学修：[60 分] グループ内で討議した企画書を完成し、指導案・媒体に関する資料等を調べまとめる	演習	吉川、井口、湯淺
4	**指導案・媒体案の作成①** **指導案の作成、媒体案の下書きを行う** 事前学修：[90 分] 計画した企画書に基づき、必要な情報を調べる 事後学修：[90 分] 指導案・媒体案の作成を進める	演習	吉川、井口、湯淺
5	**指導案・媒体案の作成②** **・指導案の作成・媒体案を完成させ、担当教員に確認してもらう** **・予演会に向けて、健康教育実施のメンバーの動きなどの運営方法の確認を行う** 事前学修：[90 分] 指導案・媒体案の作成を進める 事後学修：[90 分] 指導案・媒体案の修正と健康教育の練習	演習	吉川、井口、湯淺
6	**予演会および修正** **・予演会での指摘を踏まえた指導案・媒体案の修正を行う** **・発表会に向けた練習を行う** 事前学修：[90 分] 効果的なプレゼンテーションについて確認する 事後学修：[90 分] 予演会の振り返りと発表準備	演習	吉川、井口、湯淺
7	**発表会** 事前学修：[60 分] 発表練習を行う 事後学修：[60 分] 発表会の振り返りと評価の実施を行う	演習	全員

No	内容	形式	教員
8	**発表会および評価、まとめ** **発表会を受けて、健康教育全体の評価を行い、健康教育実施報告書を作成する。** 事前学修：［60 分］発表会での講評、企画書および教科書を参考に、評価方法を確認しまとめる 事後学修：［90 分］グループで、健康教育の評価および報告書作成を完成させる。	演習	吉川、井口、湯淺

▌教科書

標準保健師講座１　公衆衛生看護学概論、医学書院、最新版
標準保健師講座２　公衆衛生看護技術、医学書院、最新版
標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動、医学書院、最新版

▌参考書、参考資料等

国民衛生の動向、厚生労働統計協会、最新版

▌フィードバックの仕方

個人で作成したレポート（企画案）は、４年生公衆衛生看護実習オリエンテーション時にて、コメントを付けたレポートの返却を行う。グループ評価は、演習中、予演会および発表会後の教員講評を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

保健師選抜学生は必須科目である。

▌成績評価の仕方

１．個人レポートとグループレポート（50 %）　２．演習への参加状況・発表会評価（50 %）に加えて授業態度をふまえて評価する。

▌オフィスアワー・研究室等

昼休み　吉川（425 研究室）　湯淺（445 研究室）　井口（452 研究室）　石田（432 研究室）その他、随時電子メールで質問を受け付ける

▌受講上の注意事項

タイトなスケジュールの中で、健康教育を作成・学内発表しますので、計画的かつ主体的に受講することが望ましいです。
＊本科目は保健師教育課程選択者のみ履修可（保健師国家試験受験資格取得のための必須科目）

公衆衛生看護活動論演習Ⅰ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年・編入 4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」成長**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBPN401**

○井口　理、吉川　悦子、湯淺　晶子、石田　千絵

▌授業の目的

公衆衛生看護の対象である地域に顕在・潜在化している健康課題について、既存の資料を用いてアセスメント、計画立案を行う一連の過程を通じて、地域看護診断の実際を体験する。公衆衛生看護実習での実習地区に対する地域看護診断の実施につながる基盤を構築するとともに、地域住民の生活に密着し、地域を支援する保健師の機能と役割について学ぶ。

▌到達目標

1. 地域看護診断の目的を理解し、地域診断に用いる理論について説明できる。
2. 既存の統計資料、地区踏査などから収集した情報をアセスメントし、地域の健康課題を抽出することができる。
3. 既存の資料を用いて地域の社会資源や保健事業についてまとめ、地域の健康課題に対して保健師として今後必要な対策について考えることができる。
4. 地域保健活動の手法としての健康診査の意義とプロセス、保健師の役割を説明できる。

▌学習の進め方

AL

実習に行く地域の情報を行政資料、ホームページ、地区踏査等により収集・整理し、地域診断を行い、地区診断ワークブックを作成する。グループワークを通じて、マッピングや地域のアセスメントを行い、地域の特徴、健康課題についてパワーポイントスライドにまとめ、発表する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**地域診断演習オリエンテーション** 事前学修：［120 分］実習地域について事前に調べ、ワークブックを作成する 事後学修：［20 分］ワークブックを見直し、今後の演習計画を立てる	講義、GW	井口
2	**実習先の地域に関する基本的な情報収集とアセスメント** 事前学修：［30 分］実習先の地域に関する統計資料等を検索し、ワークブックにまとめる 事後学修：［30 分］実習先の地域に関する基本的な情報収集を行う	GW	井口・吉川・湯淺
3	**実習先の地域に関する基本的な情報収集とアセスメント** 事前学修：［20 分］グループで課題について話し合う 事後学修：［20 分］ワークブックを用いて情報収集とアセスメントをすすめる	GW	井口・吉川・湯淺
4	**地区踏査の計画** 事前学修：［20 分］各自、地区踏査計画を立案する 事後学修：［20 分］グループとして合意した地区踏査計画をワークブックに反映する	GW	井口・吉川・湯淺
5	**演習（実習先地区踏査と現地での情報収集）** 事前学修：［30 分］地区踏査計画に基づき具体的な道順を決める 事後学修：［20 分］地区踏査で得た情報をワークブックにまとめる	演習	井口・吉川・湯淺
6	**演習（実習先地区踏査と現地での情報収集）** 事前学修：［30 分］地区踏査計画に基づき具体的な道順を決める 事後学修：［30 分］地区踏査で得た情報をワークブックにまとめる	演習	井口・吉川・湯淺
7	**情報の統合と課題の抽出** 事前学修：［30 分］情報を統合して健康課題について自分の意見をまとめておく 事後学修：［30 分］ワークブックを用いて情報の統合と課題の抽出についてまとめる	GW	井口・吉川・湯淺
8	**情報の統合と課題の抽出** 事前学修：［30 分］地区踏査計画をたてる 事後学修：［30 分］ワークブックを用いて情報の統合と課題の抽出についてまとめる	GW	井口・吉川・湯淺
9	**地域診断報告会準備** 事前学修：［30 分］地域の健康課題について自分の意見をまとめておく 事後学修：［60 分］報告内容や使用する資料について整える	GW	井口・吉川・湯淺
10	**地域診断報告会** 事前学修：［30 分］報告内容や使用する資料について整える 事後学修：［20 分］質疑応答や助言を受けた箇所について修正する	発表・討議	全員

No	内容	形式	教員
11	**地域診断報告会** 事前学修：［30 分］報告内容や使用する資料について整える 事後学修：［20 分］質疑応答や助言を受けた箇所について修正する	発表・討議	全員
12	**地域診断の修正** 事前学修：［60 分］修正すべき点について追加した情報を収集する 事後学修：［60 分］修正した内容にしたがって資料を作成し、提出する	GW	全員
13	**地域保健活動の手法：乳幼児健康診査予診演習①** 事前学修：［60 分］提示された事前課題に取り組み提出する 事後学修：［30 分］自身の演習を振り返り自己の課題を明確化する	演習	井口・吉川・湯淺
14	**地域保健活動の手法：乳幼児健康診査予診演習②** 事前学修：［60 分］提示された事前課題に取り組み提出する 事後学修：［30 分］自身の演習を振り返り、明確化した自己の課題や学びについて記録にまとめる	演習	井口・吉川・湯淺
15	**地域保健活動の手法：乳幼児健康診査予診演習③** 事前学修：［60 分］提示された事前課題に取り組む 事後学修：［30 分］演習を通して学修が不足していた箇所について復習を行う	演習	井口・吉川・湯淺

▌教科書

標美奈子　標準保健師講座・1　公衆衛生看護学概論　医学書院 (1 年次または編入 3 年次に購入した教科書)
中村裕美子　標準保健師講座 2　公衆衛生看護技術 - 医学書院 (3 年次または編入 3 年次に購入した教科書)
国民衛生の動向 (3 年次または編入 3 年次に購入した教科書)

▌参考書、参考資料等

公衆衛生看護学実習地域の行政資料各種（統計資料、報告書、地図、広報等）
厚生労働統計協会 国民の福祉と介護の動向、保険と年金の動向 統計局や東京都福祉保健局ＨＰの各種統計データなど

▌フィードバックの仕方

地区診断に関するフィードバックは地域診断報告会の際、教員からコメントを返す。
乳幼児健診の演習に関するフィードバックは公衆衛生看護学実習オリエンテーション期間中にコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

▌他の授業科目との関連

保健師教育課程の科目に関連する。

▌成績評価の仕方

授業・演習・発表への取り組み（40 %）、レポート・発表成果（60 %）

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～12:50
井口（452 研究室）吉川（425 研究室）　湯淺（445 研究室）　石田（432 研究室）

▌受講上の注意事項

＊この科目は保健師教育課程選択者のみ履修可（保健師国家試験受験資格取得のための必須科目）

公衆衛生看護活動論演習Ⅱ

単位：**1 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年・編入 4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」探求**　**「3」成長**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBPN402**

○吉川　悦子、湯淺　晶子、石田　千絵、井口　理

▌授業の目的

さまざまなライフステージ、健康レベルにある個人・家族・集団を対象とした健康教育を展開するために必要な知識と方法について理解するとともに、具体的な実践の技術を習得する。

▌到達目標

1. 地域特性や公衆衛生上の課題に気づき、論理的に説明できる。
2. 対象となる人々の特性に合わせた健康教育を考案できる。
3. 集団を対象とした健康教育の企画から評価までのプロセスを実践できる。
4. 住民の立場から健康上の課題と保健行動を考え、健康教育のあり方を検討できる。

▌学習の進め方

1. 授業の展開：演習を通して、集団を対象とした健康教育方法について学習する。
2. 演習を通して、保健師としての健康教育を企画、実施・評価の在り方について学ぶ。また、発表会では参加住民として健康教育を受けることで、保健師・住民双方の立場から効果的な健康教育のあり方について学ぶ。
３．各演習の作業目標を参照に、進捗に応じて、教員に確認してもらいながら進める。教員からの指導は、原則として演習内で行い、教員に時間調整のお願いを行う（リーダ）
５．予演会や教員に確認してほしい場合は、事前に教員に了解を得た上で企画書・シナリオ・媒体草案を電子メール等で送付する。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**オリエンテーション、** **企画書の作成①対象者や地域特性の分析**	演習	吉川・井口・湯浅
2	**企画書の作成②対象者や地域特性の分析**	演習	吉川・井口・湯浅
3	**企画書の作成③企画案の作成**	演習	吉川・井口・湯浅
4	**企画の作成④企画案の完成** **担当教員の確認後、指導案・媒体案の作成を開始する**	演習	吉川・井口・湯浅
5	**指導案・媒体案の作成①**	演習	吉川・井口・湯浅
6	**指導案・媒体案の作成②** 事前学修：［120 分］作成に必要な情報収集を行う 事後学修：［120 分］指導案・媒体案の作成を進める	演習	吉川・井口・湯浅
7	**指導案・媒体案の作成③** 事前学修：［120 分］指導案・媒体案の作成を進める 事後学修：［120 分］指導案および媒体案の作成の作成を進める	演習	吉川・井口・湯浅
8	**指導案・媒体案の作成④** **担当教員に指導案・媒体案を確認してもらった上で、さらなる改善を進める** 事前学修：［120 分］指導案・媒体案の作成を進める 事後学修：［120 分］教員の指摘事項について確認・修正を行う	演習	吉川・井口・湯浅
9	**指導案・媒体案の作成⑤** 事前学修：［120 分］指導案・媒体案の修正を行う 事後学修：［60 分］健康教育発表にあたり、役割分担などを確認する	演習	吉川・井口・湯浅
10	**指導案・媒体案の作成⑥** 事前学修：［120 分］指導案および媒体案を完成に向けて作成する 事後学修：［60 分］指導案および媒体案を完成に向けて作成する	演習	吉川・井口・湯浅
11	**指導案・媒体案の作成⑦** 事前学修：［120 分］指導案および媒体案を完成に向けて作成する 事後学修：［60 分］指導教員の指摘事項を受けて修正を行う	演習	吉川・井口・湯浅

No	内容	形式	教員
12	**予指導案・媒体案の作成⑧** 事前学修：［120 分］指導案および媒体案を完成に向けて作成する 事後学修：［60 分］指導教員の指摘事項を受けて修正する	演習	吉川・井口・湯浅
13	**予指導案・媒体案の作成と練習** 事前学修：［120 分］発表会に向けて練習する 事後学修：［60 分］指導教員の指摘事項を修正する	演習	吉川・井口・湯浅
14	**健康教育 発表会** 事前学修：［120 分］発表会に向けて練習する 事後学修：［60 分］指導教員の指摘事項を修正する	演習	全員
15	**健康教育の発表会・評価・報告書作成** 事前学修：［120 分］発表会に向けて練習を行う 事後学修：［60 分］実施報告書を作成し、実習での健康教育本番に向けてさらなるブラッシュアップを行う。	演習	吉川・井口・湯浅

▌教科書

・標準保健師講座 1. 公衆衛生看護学概論、医学書院、最新版（1 年次または編入 3 年次に購入したもの）
・標準保健師講座 2. 公衆衛生看護学技術、医学書院、最新版（3 年次に購入したもの）
・標準保健師講座 3. 対象別公衆衛生看護活動、医学書院、最新版（2 年次または編入 3 年次に購入したもの）
・厚生労働統計協会:国民衛生の動向 最新版（3 年次に購入したもの）

▌参考書、参考資料等

授業にて資料を配布する。

▌フィードバックの仕方

演習中および演習後、作成した企画書・指導案・媒体についての講評を指導教員より口頭やコメントを付けたレポート返却をメールを通じて行う

▌他の授業科目との関連

実習で地域住民を対象に実践する健康教育について演習を行う。
保健師教育課程の科目です。

▌成績評価の仕方

1. 授業・演習への取組み 60 %　2. レポート・演習成果資料 40 %

▌オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～12:50
吉川（425 研究室）井口（452 研究室）湯淺（445 研究室）　石田（432 研究室）

▌受講上の注意事項

＊この科目は保健師教育課程選択者のみ履修可（保健師国家試験受験資格取得のための必須科目）

公衆衛生看護学実習

単位：**5 単位**　必修/選択：**選択**　履修年次：**4 年・編入 4 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」成長　「2」連携　「3」変化**　実務経験がある教員：**ー**　科目ナンバー：**HBPN403**

○石田　千絵、吉川　悦子、湯淺　晶子、井口　理

▌授業の目的

地域で生活する個人・家族や集団、地域社会を対象とした健康の保持・増進のための公衆衛生看護実践について学びを深める。
地域で生活する人々の生活と健康を支える地域の保健医療福祉システムにおける特別区保健所等の特性および機能を理解し、多職種・多機関による連携について理解を深める。さらに、行政機関における保健師の役割と機能について学習する。

▌到達目標

1. 地域で生活する個人および家族、集団、組織を対象とした看護実践を支える地域の保健医療福祉に関する制度やしくみ、諸資源を理解する。
2. 地域診断のプロセスを通じて、地域で生活する個人・家族、集団、地域社会のニーズや健康課題を明らかにし、対象の健康を支えるための公衆衛生看護活動を計画・実施・評価する。
3. 地域で生活する個人・家族、集団の健康課題の解決のために用いられる手法（家庭訪問、健康教育、健康相談、地区組織活動等）の実際を経験し、特別区保健所等の保健師の役割と機能を理解する。

▌学習の進め方

1. 事前学習：実習開始前に各種オリエンテーション（全体・施設別等）を受ける。実習地域の地域診断・実習中の参加事業についての事前学習などをすすめ、各自の実習目標をたてる。実習施設への事前訪問を行い、実習スケジュールの確認と健康教育実施のための事前見学・相談をする。
2. 臨地実習：実習先保健所・保健センター等の管轄内における各種事業への参加、家庭訪問・相談対応、健康教育等の体験等を重ね、地域における保健活動について学びを深める。
3. カンファレンス・報告会：実習中及び終了後にカンファレンスや報告会を行い、学びの共有や定着をはかる。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：5 週間
実習場所：東京都特別区内の保健所、保健センター等

▌教科書

適宜、掲示する。

▌参考書、参考資料等

実習先行政の保健所事業概要、各種統計資料、広報、報告書等（HP、実習先より借用など）
東京の母子保健、母子健康手帳、発達・精神保健看護学各教科書

▌フィードバックの仕方

実習報告会の直後にフィードバックするとともに、実習記録にもコメントを記して返却する。

▌他の授業科目との関連

保健師教育課程の科目に関連する。

▌成績評価の仕方

1. 実習の取り組み：実習施設事前訪問、地区踏査、健康教育展開、実習態度、カンファレンス、報告会など（80 点）
2. 実習記録：健康教育、家庭訪問、地域診断に関連する記録、事業概要記録、実習記録（10 点）
3. レポート（10 点）

▌オフィスアワー・研究室等

実習期間中の 12：30 － 12：50、担当教員の研究室

▌受講上の注意事項

原則として、オリエンテーションを遅刻・欠席したものは履修することができない。
＊この科目は保健師教育課程選択者のみ履修可（保健師国家試験受験資格取得のための必須科目）

テスト科目　赤十字概論　12/14引用デモ用

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年・編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」実践**　**「2」擁護**　**「3」探求**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**ZBRC100**

〇赤十字　太郎

▌授業の目的

国際赤十字・赤新月運動の歴史、活動、理念の学びを通して人間として、また人道を実現する医療人に相応しい人間的資質を養う。

▌到達目標

1．国際赤十字・赤新月運動(日本赤十字社を含む)の歴史、理念、活動について理解し、説明できる。
2．赤十字と国際人道法の基本的な内容や赤十字標章の正しい使い方について自分の言葉で説明できる。
3．人道と人権の概念の理解を深め、人間尊重の文化について自分なりの意見を持つことができる。
4．学習した内容を元に他者に赤十字の概要を説明できる。

▌学習の進め方

授業は、講義のほか質疑、意見交換(ディスカッション)を交えて展開する。科目担当者の実務経験から、人道支援に関する具体的な事例を取り上げ、映像等も交えて紹介する。
特に授業参加者は自らの問題意識を高め、積極的な質疑、発言を行うことが期待される。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

ｋｊｋｌｊ

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス：授業の進め方について** **国際赤十字・赤新月運動の起源とアンリ・デュナン** 事前学修：［30 分］国際赤十字運動に関する記事等を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
2	**国際赤十字のしくみと活動** 事前学修：［30 分］国際赤十字に関する資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
3	**日本赤十字社のしくみと活動** 事前学修：［30 分］日本赤十字社の組織・活動に関する資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
4	**赤十字運動の基本原則:人道　公平　中立　独立　奉仕　単一　世界性** 事前学修：［30 分］赤十字運動の基本原則について参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
5	**戦争の歴史と国際人道法** 事前学修：［30 分］国際人道法に関する参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
6	**現代の武力紛争と赤十字及び国際人道法** 事前学修：［30 分］現代の武力紛争の特徴について資料を検索し、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
7	**赤十字標章の意味と適正な使用** 事前学修：［30 分］赤十字標章について参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
8	**国際社会における赤十字の役割** 事前学修：［30 分］現代の人道危機に関する報道記事などを検索し、ノートにまとめる。 事後学修：［30 分］講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田

▌教科書
授業の中で、適宜資料を提示する。

▌参考書、参考資料等
「戦争と国際人道法」(井上忠男、東信堂、2015)「解説赤十字基本原則」(ピクテ、東信堂、2013)、「ソルフェリーノの思い出」(日本赤十字社刊)、「赤十字のしくみと活動」(日本赤十字社刊)、その他、日本赤十字社、ICRC の刊行物、ウェブサイトなど。

▌フィードバックの仕方
レポートまたは試験のフィードバックは、実施後 7 日目以降 21 日以内に 410 研究室にて、採点後の答案用紙(レポートの場合はコメント付き)の返却により行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りに来ること。

▌他の授業科目との関連
赤十字国際活動論、赤十字国際活動論演習は、赤十字概論を基礎に、より発展的な内容を取り扱う。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取組み 20 %　　2. 試験または課題レポートの提出 80 %

▌オフィスアワー・研究室等
開講期間中の①火曜日　② 12:30〜13:00　③ 410 研究室

▌受講上の注意事項
赤十字を知ることは世界を知ること。学ぶ楽しさを共に発見したいと思います。

テスト科目　赤十字概論　12/15引用デモ用

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年・編入 3 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」関係**　**「2」実践**　**「3」連携**　実務経験がある教員：○　科目ナンバー：**ZBRC100**

○赤十字　太郎

▌授業の目的

国際赤十字・赤新月運動の歴史、活動、理念の学びを通して人間として、また人道を実現する医療人に相応しい人間的資質を養う。

▌到達目標

1．国際赤十字・赤新月運動(日本赤十字社を含む)の歴史、理念、活動について理解し、説明できる。
2．赤十字と国際人道法の基本的な内容や赤十字標章の正しい使い方について自分の言葉で説明できる。
3．人道と人権の概念の理解を深め、人間尊重の文化について自分なりの意見を持つことができる。
4．学習した内容を元に他者に赤十字の概要を説明できる。

▌学習の進め方

授業は、講義のほか質疑、意見交換(ディスカッション)を交えて展開する。科目担当者の実務経験から、人道支援に関する具体的な事例を取り上げ、映像等も交えて紹介する。
特に授業参加者は自らの問題意識を高め、積極的な質疑、発言を行うことが期待される。

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	**ガイダンス：授業の進め方について** **国際赤十字・赤新月運動の起源とアンリ・デュナン** 事前学修：[30 分] 国際赤十字運動に関する記事等を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
2	**国際赤十字のしくみと活動** 事前学修：[30 分] 国際赤十字に関する資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
3	**日本赤十字社のしくみと活動** 事前学修：[30 分] 日本赤十字社の組織・活動に関する資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
4	**赤十字運動の基本原則:人道　公平　中立　独立　奉仕　単一　世界性** 事前学修：[30 分] 赤十字運動の基本原則について参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
5	**戦争の歴史と国際人道法** 事前学修：[30 分] 国際人道法に関する参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
6	**現代の武力紛争と赤十字及び国際人道法** 事前学修：[30 分] 現代の武力紛争の特徴について資料を検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
7	**赤十字標章の意味と適正な使用** 事前学修：[30 分] 赤十字標章について参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
8	**国際社会における赤十字の役割** 事前学修：[30 分] 現代の人道危機に関する報道記事などを検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田

▌教科書
授業の中で、適宜資料を提示する。

▌参考書、参考資料等
「戦争と国際人道法」(井上忠男、東信堂、2015)「解説赤十字基本原則」(ピクテ、東信堂、2013)、「ソルフェリーノの思い出」(日本赤十字社刊)、「赤十字のしくみと活動」(日本赤十字社刊)、その他、日本赤十字社、ICRC の刊行物、ウェブサイトなど。

▌フィードバックの仕方
レポートまたは試験のフィードバックは、実施後 7 日目以降 21 日以内に 410 研究室にて、採点後の答案用紙(レポートの場合はコメント付き)の返却により行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りに来ること。

▌他の授業科目との関連
赤十字国際活動論、赤十字国際活動論演習は、赤十字概論を基礎に、より発展的な内容を取り扱う。

▌成績評価の仕方
1. 授業への取組み 20 %　　2. 試験または課題レポートの提出 80 %

▌オフィスアワー・研究室等
開講期間中の①火曜日　② 12:30〜13:00　③ 410 研究室

▌受講上の注意事項
赤十字を知ることは世界を知ること。学ぶ楽しさを共に発見したいと思います。

テスト科目　赤十字概論　12/14・15　一から入力デモ用

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年・編入 3 年次**　開講期：**前期**　実務経験がある教員：〇　科目ナンバー：**ZBRC100**

〇赤十字　太郎

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員

テスト ※ CNS 科目

単位：**1 単位**　必修/選択：**必修**　履修年次：**1 年次**　開講期：**前期**　対応 DP：**「1」関係**　**「2」擁護**　**「3」探求**

赤十字太郎

▌授業の目的

ｋｋｋｋｋｋｋｋｋ

▌到達目標

らあああああああああああ

▌学習の進め方

ff333

▌スケジュール：学習内容・方法・担当教員

ｓｓｓｓｓｓｓ

No	内容	形式	教員
1	ああああああああああ		
2	ｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓ		
3	ｇｇｇｇｇｇｇｇｇｇｇｇ		
4	ｆｆｆｆｆｆｆｆｆｆｆｆ		
5	ｇｇｇｇｇｇｇｇｇｇｇｇ		
6	mmmmmmmmmmmmm		
7	mmmmmmmmmmm		
8	ｋｋｋｋｋｋｋｋｋｋｋｋｋ		

▌教科書

ｉｉｉｉｉｉｉｉｉｉｉ

▌参考書、参考資料等

うううううううううう

▌フィードバックの仕方

ｑｑｑｑｑｑｑｑｑｑｑｑ

▌他の授業科目との関連

ｄｄｄｄｄｄｄｄｄｄｄｄ

▌成績評価の仕方

ｄｄｄｄｄｄｄｄｄ

▌オフィスアワー・研究室等

ｓｓｓｓｓｓｓ

▌受講上の注意事項

ｆｆｆｆｆｆｆｆｆｆ

科目一覧

★赤十字概論★（○角田　敦彦） 1
★赤十字国際活動論★（○角田　敦彦） 3
★赤十字国際活動論演習★（○角田　敦彦） 5
★哲学と倫理★（○榊原　哲也） 6
★生命倫理★（○榊原　哲也） 8
★生命倫理★（○榊原　哲也） 10
★心理学Ⅰ★（○遠藤　公久） 12
★心理学Ⅰ★（○遠藤　公久） 14
★心理学Ⅰ★（○遠藤　公久） 16
★心理学Ⅱ★（○遠藤　公久） 18
★心理学Ⅱ★（○遠藤　公久） 20
★教育学概論★（○渋谷　真樹） 22
★教育学概論★（○渋谷　真樹） 24
★教育学概論★（○渋谷　真樹） 26
★現代教育論★（○渋谷　真樹） 28
★身体運動論Ⅰ(理論)★（○伊藤　麻希） 30
★身体運動論Ⅱ(実技)★（○伊藤　麻希） 32
★身体運動論Ⅱ(実技)★（○伊藤　麻希） 35
★身体運動論Ⅱ(実技)★（○伊藤　麻希） 38
★身体運動論Ⅱ(実技)★（○伊藤　麻希） 41
★生活環境論★（○石田　千絵、井口　理、湯淺　晶子、吉川　悦子） 44
★障がい論★（○坂口　千鶴、鷹野　朋実、堀井　湖浪、山内　朋子、湯淺　晶子、井口　理、池田　良輔子） 46
★社会学Ⅰ★（○鷹田　佳典） 48
★社会学Ⅱ★（○鷹田　佳典） 50
★社会保障論★（○奥貫　妃文） 52
★家族社会学★（○三具　淳子） 54
★世界の文化と宗教★（○佐藤　眞） 56
★国際関係論★（○角田　敦彦） 58
★日本国憲法★（○吉田　直正） 60
★医療と文化★（○鈴木　勝己） 62
★数学Ⅰ★（○山下　龍生） 64
★数学Ⅱ★（○山下　龍生） 66
★生物学Ⅰ★（○水野　壮） 68
★生物学Ⅱ★（○宮﨑　正峰） 70
★化学Ⅰ★（○三好　洋） 73
★化学Ⅰ★（○三好　洋） 75
★化学Ⅱ★（○三好　洋） 77
★情報学概論★（○鷹田　佳典、川﨑　洋平） 80
★情報科学★（○川﨑　洋平） 82
★情報科学★（○川﨑　洋平） 84
★保健統計学★（○川﨑　洋平） 86
★保健統計学★（○川﨑　洋平） 88
★日本語の表現★（○越後　敬子） 90
★日本語の表現★（○越後　敬子） 92
★英語 R1-1 ★（○川﨑　修一） 94
★英語 R1-1 ★（○遠藤　花子） 96
★英語 R1-1 ★（○川﨑　修一） 98
★英語 R1-1 ★（○遠藤　花子） 100
★英語 R1-2 ★（○遠藤　花子） 102
★英語 R1-2 ★（○川﨑　修一） 104
★英語 R1-2 ★（○遠藤　花子） 106
★英語 R1-2 ★（○川﨑　修一） 108
★英語 W1-1 ★（○佐藤　眞） 110
★英語 W1-1 ★（○ Michelle　van　Bokhorst） 113

★英語 W1-1 ★（○佐藤　眞）……115
★英語 W1-1 ★（○ Michelle　van　Bokhorst）……118
★英語 W1-2 ★（○佐藤　眞）……120
★英語 W1-2 ★（○ Michelle　van　Bokhorst）……123
★英語 W1-2 ★（○佐藤　眞）……125
★英語 W1-2 ★（○ Michelle　van　Bokhorst）……128
★英語 LS1-1 ★（○ Benjamin Tutcher）……130
★英語 LS1-1 ★（○ Sam Bamkin）……132
★英語 LS1-1 ★（○ Michelle　van　Bokhorst）……135
★英語 LS1-1 ★（○ Benjamin Tutcher）……137
★英語 LS1-1 ★（○ Sam Bamkin）……139
★英語 LS1-1 ★（○ Michelle　van　Bokhorst）……142
★英語 LS1-2 ★（○ Benjamin Tutcher）……144
★英語 LS1-2 ★（○ Sam Bamkin）……146
★英語 LS1-2 ★（○ Michelle　van　Bokhorst）……149
★英語 LS1-2 ★（○ Benjamin Tutcher）……151
★英語 LS1-2 ★（○ Sam Bamkin）……153
★英語 LS1-2 ★（○ Michelle　van　Bokhorst）……156
★英語 R2-1 ★（○皆川　健次郎）……158
★英語 R2-1 ★（○野村　美由紀）……160
★英語 R2-1 ★（○皆川　健次郎）……162
★英語 R2-1 ★（○野村　美由紀）……164
★英語 R2-2 ★（○野村　美由紀）……166
★英語 R2-2 ★（○皆川　健次郎）……168
★英語 R2-2 ★（○野村　美由紀）……170
★英語 R2-2 ★（○皆川　健次郎）……172
★英語 W2-1 ★（○遠藤　花子）……174
★英語 W2-1 ★（○遠藤　花子）……176
★英語 W2-1 ★（○川﨑　修一）……178
★英語 W2-2 ★（○遠藤　花子）……180
★英語 W2-2 ★（○遠藤　花子）……182
★英語 LS2-1 ★（○川﨑　修一）……184
★英語 LS2-2 ★（○川﨑　修一）……186
★英語文献を読むⅠ★（○遠藤　花子）……188
★英語文献を読むⅡ★（○遠藤　花子）……190
★中国語Ⅰ★（○神谷　智幸）……192
★中国語Ⅰ★（○神谷　智幸）……195
★中国語Ⅱ★（○神谷　智幸）……198
★中国語Ⅱ★（○神谷　智幸）……201
★フランス語Ⅰ★（○西脇　雅彦）……204
★フランス語Ⅰ★（○西脇　雅彦）……206
★フランス語Ⅱ★（○西脇　雅彦）……208
★フランス語Ⅱ★（○西脇　雅彦）……210
★基礎ゼミⅠ★（渋谷　真樹、川﨑　修一、遠藤　花子、井上　明宏、遠藤　公久、逸見　功、川﨑　洋平、鷹田　佳典、越後
敬子、宮﨑　正峰、伊藤　麻希、佐藤　眞）……212
★基礎ゼミⅠ★（○角田　敦彦）……215
★基礎ゼミⅡ★（○遠藤　公久）……218
★基礎ゼミⅡ★（○川﨑　修一）……220
★基礎ゼミⅡ★（○遠藤　花子）……222
★基礎ゼミⅡ★（○井上　明宏）……224
★基礎ゼミⅡ★（○角田　敦彦）……226
★基礎ゼミⅡ★（○川﨑　洋平）……228
★基礎ゼミⅡ★（○鈴木 勝己）……230
★基礎ゼミⅡ★（○越後　敬子）……233
★基礎ゼミⅡ★（○伊藤　麻希）……235
★基礎ゼミⅡ★（○三好　洋）……237
★基礎ゼミⅡ★（○鷹田　佳典）……239
★基礎ゼミⅡ★（○水野　壮）……241

★基礎ゼミⅡ★（○渋谷　真樹）.....242
★基礎ゼミⅡ★（）.....244
★基礎ゼミⅡ★（○渋谷　真樹）.....245
★人体の構造と機能Ⅰ(解剖と生理①)★（○井上　明宏）.....247
★人体の構造と機能Ⅰ(解剖と生理①)★（○井上　明宏）.....249
★人体の構造と機能Ⅱ(解剖と生理②)★（○井上　明宏）.....251
★人体の構造と機能Ⅱ(解剖と生理②)★（○井上　明宏）.....253
★人体の構造と機能Ⅲ(生体防御と代謝/生化学、感染)★（○誉田　晴夫）.....255
★人体の構造と機能Ⅲ(生体防御と代謝/生化学、感染)★（○誉田　晴夫）.....257
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ(病理学総論、内分泌・代謝、消化器)★（○井上　明宏、吉田　英雄、髙屋　和彦）.....259
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ(疾病論：呼吸、循環、腎・泌尿器)★（○井上　明宏、出雲　雄大、石橋　由孝）.....261
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ(疾病論：運動器、脳・神経、感覚器)★（○井上　明宏、河村　直洋、大谷　隼一、田中　滋之、伊藤　英也、井桁　之総、舟木　俊成、物部　寛子、今門　純久）.....263
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ(内科学、外科学、検査学)★（○井上　明宏、石田　禎夫、石川　晃、高屋　和彦、石橋　由孝、山田　学、増田　亮、永岡　栄、中原　さおり、今井　庸子、壹岐　聖子、山田　哲久）.....265
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ(内科学、外科学)★（○井上　明宏、石田　禎夫、鈴木　毅、壹岐　聖子、石川　晃、小林　城太郎、永岡　栄、安藤　常浩、國頭　英夫）.....267
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ(精神医学)★（○梅野　充）.....269
★薬理学★（○吉見　猛）.....271
★リハビリテーション医学★（○森本　正、長　晶子、安藤　慧二、樋口　晶）.....273
★遺伝と遺伝カウンセリング★（○守田　美奈子、笠井　靖代、納富　理絵）.....275
★栄養学★（○齋藤　沙織）.....277
★ラボラトリー・プラクティス★（○壹岐　聖子、裴　有安、石橋　雪乃、青木　由美子、積田　雅央、網野　彩、富田　健一郎、松尾　梢恵、用具　恭子、昆　雅士、今井　一仁、菅野　恵子、桑原　麻樹、平石　直己、藤井　幸太郎）.....279
★看護学概論Ⅰ★（○川原　由佳里）.....281
★看護学概論Ⅰ★（○川原　由佳里）.....283
★看護学概論Ⅱ(看護倫理含)★（○吉田　みつ子、樋口　佳栄、細野　知子、川原　由佳里、吉良　理恵、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈）.....285
★看護関係法規★（○安部　陽子、高田　由紀子、古川　祐子）.....287
★看護の歴史★（○川原　由佳里）.....289
★看護技術論Ⅰ(援助的人間関係)★（○堀川　英起、堀井　湖浪、佐々木　幾美、田代　祐子、内藤　なづな）.....291
★看護技術論Ⅰ(援助的人間関係)★（○古城門　靖子、渋谷　真樹、鷹野　朋実、武井　麻子、池田　良輔子）.....293
★看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)★（○樋口　佳栄、細野　知子、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明）.....295
★看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)★（○樋口　佳栄、細野　知子、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明）.....297
★看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)★（○樋口　佳栄、細野　知子、吉良　理恵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明）.....299
★看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)★（○樋口　佳栄、細野　知子、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明）.....301
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)★（○樋口　佳栄、細野　知子、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明）.....303
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)★（○樋口　佳栄、細野　知子、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明）.....305
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)★（○細野　知子、樋口　佳栄、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、吉田　みつ子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明）.....307
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)★（○細野　知子、樋口　佳栄、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、吉田　みつ子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明）.....309
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)★（○吉田　みつ子、細野　知子、樋口　佳栄、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明）.....311
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)★（○吉田　みつ子、細野　知子、樋口　佳栄、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明）.....313
★看護援助論Ⅰ(看護過程)★（○細野　知子、樋口　佳栄、西田　朋子、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、河田　照絵、冨澤　真紀、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明）.....315
★看護援助論Ⅰ(看護過程)★（○細野　知子、樋口　佳栄、西田　朋子、吉良　理絵、池田　圭子、高田　由紀子、鬼頭　幸子、遠山　義人、河田　照絵、冨澤　真紀、吉田　里奈、桑原　雄三、守谷　千明）.....319
★看護援助論Ⅱ(生命の維持)★（○千葉　京子）.....323
★看護援助論Ⅱ(生命の維持)★（○千葉　京子）.....325

★看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)★（○清田　明美）.....327
★看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)★（○清田　明美）.....329
★看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)★（○清田　明美）.....331
★看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)★（○清田　明美）.....333
★看護援助論Ⅴ(活動と休息)★（○山内　朋子）.....335
★看護援助論Ⅴ(活動と休息)★（○山内　朋子）.....337
★看護援助論Ⅵ(セクシュアリティ)★（○新田　真弓）.....339
★看護援助論Ⅵ(セクシュアリティ)★（○新田　真弓）.....341
★看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)★（○堀川　英起）.....343
★看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)★（○古城門　靖子）.....345
★精神保健看護学Ⅰ(理論)★（○鷹野　朋実、堀井　湖浪、古城門　靖子、堀川　英起）.....347
★精神保健看護学Ⅰ(理論)★（○鷹野　朋実、堀井　湖浪、古城門　靖子、堀川　英起）.....350
★精神保健看護学Ⅱ(技法)★（○堀井　湖浪、古城門　靖子、堀川　英起、内藤　なづな）.....353
★精神保健看護学Ⅱ(技法)★（○堀井　湖浪、古城門　靖子、堀川　英起、内藤　なづな）.....355
★発達看護学概論★（○江本　リナ、千葉　京子、山内　朋子）.....357
★発達看護学概論★（○江本　リナ、千葉　京子、山内　朋子）.....359
★発達看護学(成人期の看護)★（○本庄　恵子、三浦　英恵）.....361
★発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)★（○新田　真弓、加藤　千穂、井村　真澄、由利　紗織）.....363
★発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護②)★（○加藤　千穂、新田　真弓、井村　真澄、由利　紗織）.....366
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)★（○江本　リナ、山内　朋子、鈴木　健太、柴田　純子、田代　祐子）.....369
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)★（○江本　リナ、山内　朋子、鈴木　健太、柴田　純子、田代　祐子）.....371
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)★（○江本　リナ、山内　朋子、鈴木　健太、柴田　純子、田代　祐子）.....373
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)★（○江本　リナ、山内　朋子、鈴木　健太、柴田　純子、田代　祐子）.....376
★発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)★（○坂口　千鶴、清田　明美、池田　良輔子、管野　心葉）.....379
★発達看護学Ⅲ(老年期の看護②)★（○千葉　京子、坂口　千鶴、清田　明美、池田　良輔子、管野　心葉）.....381
★プライマリーヘルスケア★（○井口　理、石田　千絵）.....383
★慢性期ケア★（○田中　孝美、本庄　恵子、池田　圭子、河田　照絵、桑原　雄三、守谷　千明）.....385
★急性期ケア★（○三浦　英恵、林　宗博、池田　圭子、河田　照絵、桑原　雄三、守谷　千明）.....388
★緩和・終末期ケア★（○吉田　みつ子、田中　孝美、遠山　義人）.....391
★健康レベル別看護学演習Ⅰ★（○河田　照絵、三浦　英恵、田中　孝美、吉良　理絵、池田　圭子、鬼頭　幸子、遠山　義人、髙田　由紀子、桑原　雄三、守谷　千明、吉田　里奈）.....393
★健康レベル別看護学演習Ⅰ★（○河田　照絵、三浦　英恵、田中　孝美、吉良　理絵、池田　圭子、鬼頭　幸子、遠山　義人、髙田　由紀子、桑原　雄三、守谷　千明、吉田　里奈）.....396
★健康レベル別看護学演習Ⅱ★（○江本　リナ、千葉　京子、清田　明美、池田　良輔子、鷹野　朋実、堀井　湖浪、古城門　靖子、内藤　なづな、堀川　英起、新田　真弓、加藤　千穂、由利　紗織、山内　朋子、鈴木　健太、柴田　純子、管野　心葉、田代　祐子）.....399
★健康レベル別看護学演習Ⅱ★（○江本　リナ、千葉　京子、清田　明美、池田　良輔子、鷹野　朋実、堀井　湖浪、古城門　靖子、内藤　なづな、堀川　英起、新田　真弓、加藤　千穂、由利　紗織、山内　朋子、鈴木　健太、柴田　純子、管野　心葉、田代　祐子）.....402
★地域看護学★（○石田　千絵、吉川　悦子、井口　理、湯淺　晶子）.....405
★公衆衛生看護活動論★（○吉川　悦子、湯淺　晶子、井口　理、石田　千絵）.....407
★保健福祉行政論★（○櫻山　豊夫）.....409
★疫学★（○川﨑　洋平）.....411
★在宅看護学★（○石田　千絵、井口　理、湯淺　晶子、吉川　悦子）.....413
★看護管理学Ⅰ★（○安部　陽子、高田　由紀子、古川　祐子）.....415
★看護管理学Ⅱ★（○安部　陽子、高田　由紀子、古川　祐子）.....417
★看護教育学Ⅰ★（○佐々木　幾美、西田　朋子）.....420
★看護教育学Ⅱ★（○西田　朋子）.....422
★看護教育方法★（○西田　朋子）.....424
★応用看護学特論Ⅰ①(チーム医療)★（○安部　陽子、古川　祐子、高田　由紀子、塚田　信弘）.....426
★応用看護学特論Ⅰ②(リプロダクティブ・ヘルス)★（○齋藤　英子）.....428
★応用看護学特論Ⅰ③(子どもの権利と家族)★（○江本　リナ、山内　朋子、鈴木　健太、柴田　純子、田代　祐子）.....430
★応用看護学特論Ⅰ④(看護実践にいかす看護理論)★（○筒井　真優美）.....432
★応用看護学特論Ⅱ①(看護とメンタルヘルス)★（○古城門　靖子、鷹野　朋実、堀井　湖浪、堀川　英起）.....434
★応用看護学特論Ⅱ②(ホーリスティック・ナーシング)★（○坂口　千鶴、千葉　京子）.....436
★国際看護学Ⅰ★（○織方　愛、野口　眞貴子）.....438
★国際看護学Ⅱ★（○織方　愛、角田　敦彦）.....440
★国際看護学演習★（○織方　愛、野口　眞貴子）.....442

★災害看護論Ⅰ★（○内木　美恵、橋爪　朋子）……444
★災害看護論Ⅰ★（○内木　美恵、橋爪　朋子）……446
★災害看護論Ⅱ★（○内木　美恵、橋爪　朋子）……448
★災害看護活動論Ⅰ★（○内木　美恵、織方　愛、橋爪　朋子）……450
★災害看護活動論Ⅱ★（○内木　美恵、橋爪　朋子）……452
★災害看護活動論Ⅲ★（○内木　美恵、橋爪　朋子）……454
★看護援助論実習〔レベルⅠ〕★（○川原由佳里、吉田みつ子、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、鬼頭幸子、遠山義人、吉田里奈、田中孝美、河田照絵、池田圭子、西田朋子、織方愛、橋爪朋子、湯淺晶子、髙田由紀子、池田良輔子、内藤なづな、鈴木健太、桑原雄三、守谷千明、冨澤真紀）……456
★看護援助論実習〔レベルⅡ〕★（○三浦英恵、○吉田みつ子、○本庄恵子、○安部陽子、○佐々木幾美、○川原由佳里、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、鬼頭幸子、遠山義人、吉田里奈、田中孝美、河田照絵、池田圭子、西田朋子、織方愛、橋爪朋子、髙田由紀子、内藤なづな、柴田純子、桑原雄三、守谷千明、冨澤真紀、管野心葉）……458
★精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕★（○鷹野朋実、古城門靖子、堀井湖浪、堀川英起、内藤なづな）……460
★発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護)実習〔レベルⅢ〕★（○井村真澄、新田真弓、斎藤英子、加藤千穂、東園子、由利紗織）……461
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)実習〔レベルⅢ〕★（○江本リナ、山内朋子、鈴木健太、柴田純子、田代裕子）……463
★発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習〔レベルⅢ〕★（○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、池田良輔子、管野心葉）……465
★健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕★（○本庄恵子、○三浦英恵、田中孝美、西田朋子、河田照絵、樋口佳栄、織方愛、橋爪朋子、髙田由紀子、細野知子、吉良理絵、池田圭子、遠山義人、鬼頭幸子、吉田里奈、桑原雄三、守谷千明）……466
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１(精神保健看護学)★（○鷹野朋実、古城門靖子、堀井湖浪、堀川英起、内藤なづな）468
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１(母性看護学)★（○井村真澄、新田真弓、齋藤英子、加藤千穂、東園子、由利紗織）470
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１(小児看護学)★（○江本リナ、山内朋子、鈴木健太、柴田純子、田代裕子）……472
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１(老年看護学)★（○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、池田良輔子、管野心葉）……473
★地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－２★（○石田千絵、吉川悦子、湯淺晶子、井口理）……474
★看護学総合実習★（○川原由佳里、○吉田みつ子、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、遠山義人、鬼頭幸子、吉田里奈、桑原雄三、守谷千明、○鷹野朋実、堀井湖浪、古城門靖子、堀川英起、内藤なづな、○本庄恵子、○三浦英恵、田中孝美、河田照絵、池田圭子、○井村真澄、新田真弓、斎藤英子、加藤千穂、東園子、由利紗織、○江本リナ、山内朋子、鈴木健太、柴田純子、田代裕子○坂口千鶴、千葉京子、清田明美、池田良輔子、管野心葉、○石田千絵、吉川悦子、井口理、湯淺晶子、○佐々木幾美、西田朋子、○安部陽子、髙田由紀子、○野口眞貴子、内木美恵、織方愛、橋爪朋子）……475
★研究方法論Ⅰ★（○江本　リナ、渋谷　真樹、坂口　千鶴、古城門　靖子、清田　明美、山内　朋子、川﨑　修一、川﨑　洋平、稲田　千春、鷹田　佳典、橋爪　朋子）……476
★研究方法論Ⅰ★（○江本　リナ、渋谷　真樹、坂口　千鶴、古城門　靖子、清田　明美、山内　朋子、川﨑　修一、川﨑　洋平、稲田　千春、鷹田　佳典、橋爪　朋子）……479
★研究方法論Ⅱ★（○江本　リナ、渋谷　真樹、遠藤　花子、堀井　湖浪、千葉　京子、山内　朋子、稲田　千春、鷹田　佳典、橋爪　朋子、堀川　英起、池田　良輔子）……482
★研究方法論Ⅱ★（○江本　リナ、渋谷　真樹、遠藤　花子、堀井　湖浪、千葉　京子、山内　朋子、稲田　千春、鷹田　佳典、橋爪　朋子、堀川　英起、池田　良輔子）……485
★研究方法論Ⅲ(量的研究方法論)★（○川﨑　洋平）……488
★研究Ⅰ★（○全教員）……490
★研究Ⅱ★（○全教員）……492
★公衆衛生看護活動展開論★（○吉川　悦子、湯淺　晶子）……494
★公衆衛生看護管理論★（○吉川　悦子、石田　千絵、井口　理）……496
★公衆衛生看護方法論★（○吉川　悦子、湯淺　晶子、石田　千絵、井口　理）……498
★公衆衛生看護活動論演習Ⅰ★（○井口　理、吉川　悦子、湯淺　晶子、石田　千絵）……500
★公衆衛生看護活動論演習Ⅱ★（○吉川　悦子、湯淺　晶子、石田　千絵、井口　理）……502
★公衆衛生看護学実習★（○石田　千絵、吉川　悦子、湯淺　晶子、井口　理）……504
★テスト科目　赤十字概論　12/14 引用デモ用★（○赤十字　太郎）……505
★テスト科目　赤十字概論　12/15 引用デモ用★（○赤十字　太郎）……507
★テスト科目　赤十字概論　12/14・15　一から入力デモ用★（○赤十字　太郎）……509
看護技術論★テスト※ CNS 科目★（赤十字太郎）……510